様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6　月　16　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒275-0026

住　所　千葉県習志野市谷津2-4-29

氏　名　サード・エクシブ株式会社
代表取締役　齋藤　清貴

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-455-0777

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	サード・エクシブ株式会社
事業場の所在地	〒275-0026 千葉県習志野市谷津2-4-29
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	15.85億円
③　従業員数	9名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類→破砕→再生利用（路盤材・埋戻材など） ・コンクリート破片→破砕→再生利用（再生砕石など） ・アスコン→破砕→再生利用（アスファルト原料など） ・廃プラ→破砕→再生利用（代替燃料など） ・紙くず→焼却→熱回収（発電など） ・木くず→破砕→再生利用（燃料チップなど） ・金属くず→破砕→再生利用（製鉄原料など） ・ガラス･陶磁器くず→破砕→再生利用（石膏ボード原料など） ・建設混合廃棄物→選別→破砕→再生利用または埋立 ・燃え殻→再生利用または埋立

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
工事部長→安全衛生責任者→現場監督

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
排出量	44.46 t	56.005 t

（これまでに実施した取組）
現場での廃棄物の分別。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
排出量	0 t	54 t

（今後実施する予定の取組）
発生した廃棄物は現場にて極力分別し、排出量を低減する。
電子マニフェストの運用を原則とし、適正処分の確認を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場での廃棄物の分別。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
発生した廃棄物は現場にて極力分別し、排出量を低減する。
電子マニフェストの運用を原則とし、適正処分の確認を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
全処理委託量	44.46 t	56.005 t
優良認定処理業者への処理委託量	44.46 t	5.53 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	56.005 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面及び電子による契約を実施。

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
全処理委託量	0 t	54 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	20 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	54 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

②計画

（今後実施する予定の取組）
優良業者との委託契約締結を優先する。

※事務処理欄

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
①現状	排　出　量	0.15 t	6895.75 t	7.49 t	17.25 t	48.79 t	608 t	4706.519 t	82.83 t

【目標】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
②計画	排　出　量	0.1 t	6700 t	7 t	16 t	46 t	600 t	4650 t	80 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
全処理委託量	0.15 t	6895.75 t	7.49 t	17.25 t	48.79 t	608 t	4706 t	82.83 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	6895.75 t	7.49 t	17.25 t	48.79 t	608 t	4706 t	82.83 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
全処理委託量	0.1 t	6700 t	7 t	16 t	46 t	600 t	4650 t	80 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	6700 t	7 t	16 t	46 t	600 t	4650 t	80 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 6日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒275-0014
住 所　千葉県習志野市鷺沼2-10-13
氏 名　栄 工 業 株 式 会 社
代表取締役 渡邊 健敏
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-451-6661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	建設業:栄工業株式会社
事業場の所在地	〒275-0014 千葉県習志野市鷺沼2丁目10番13号
事業の種類	D08ー設備工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

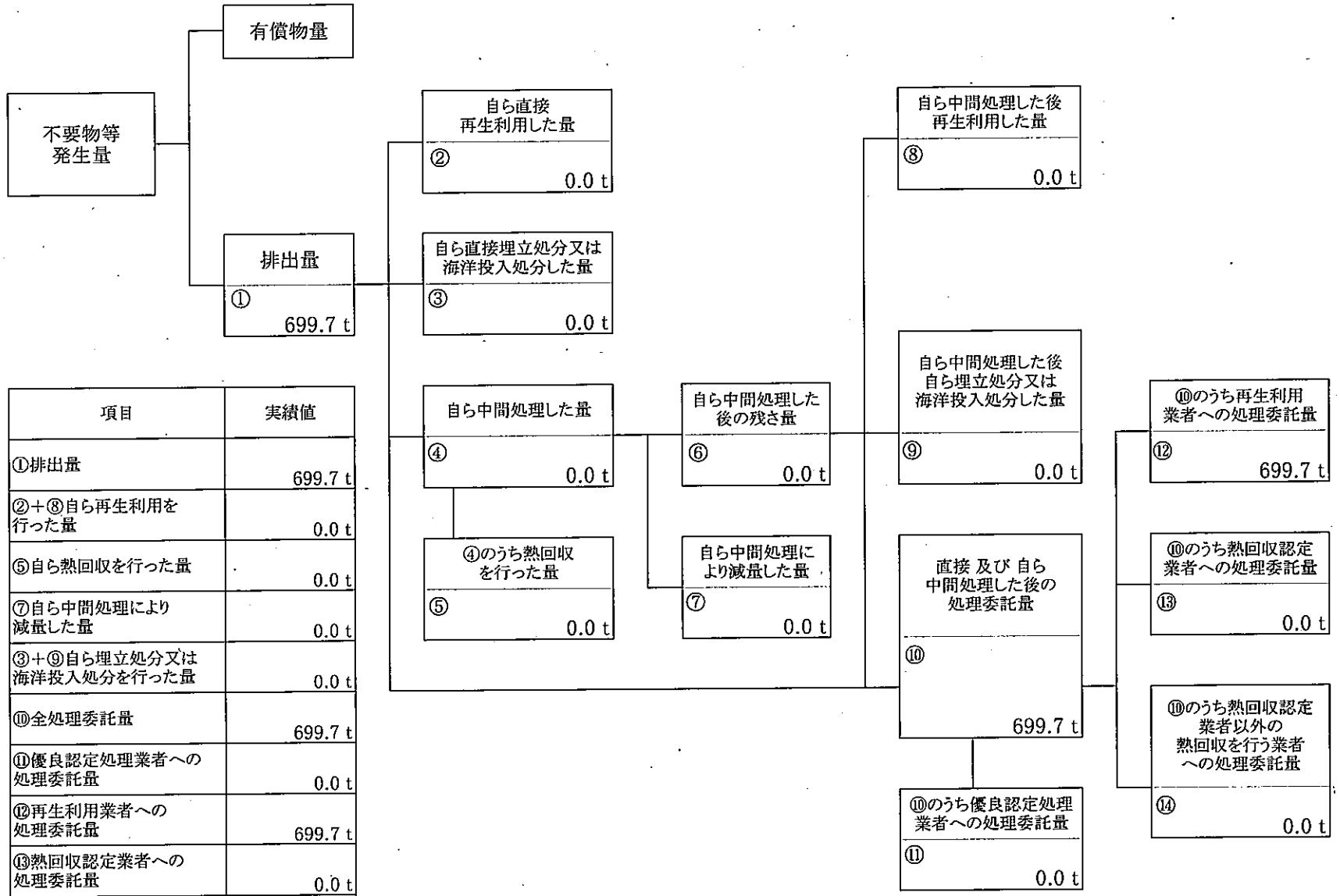
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1742.0 t	全処理委託量	1742.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1740.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

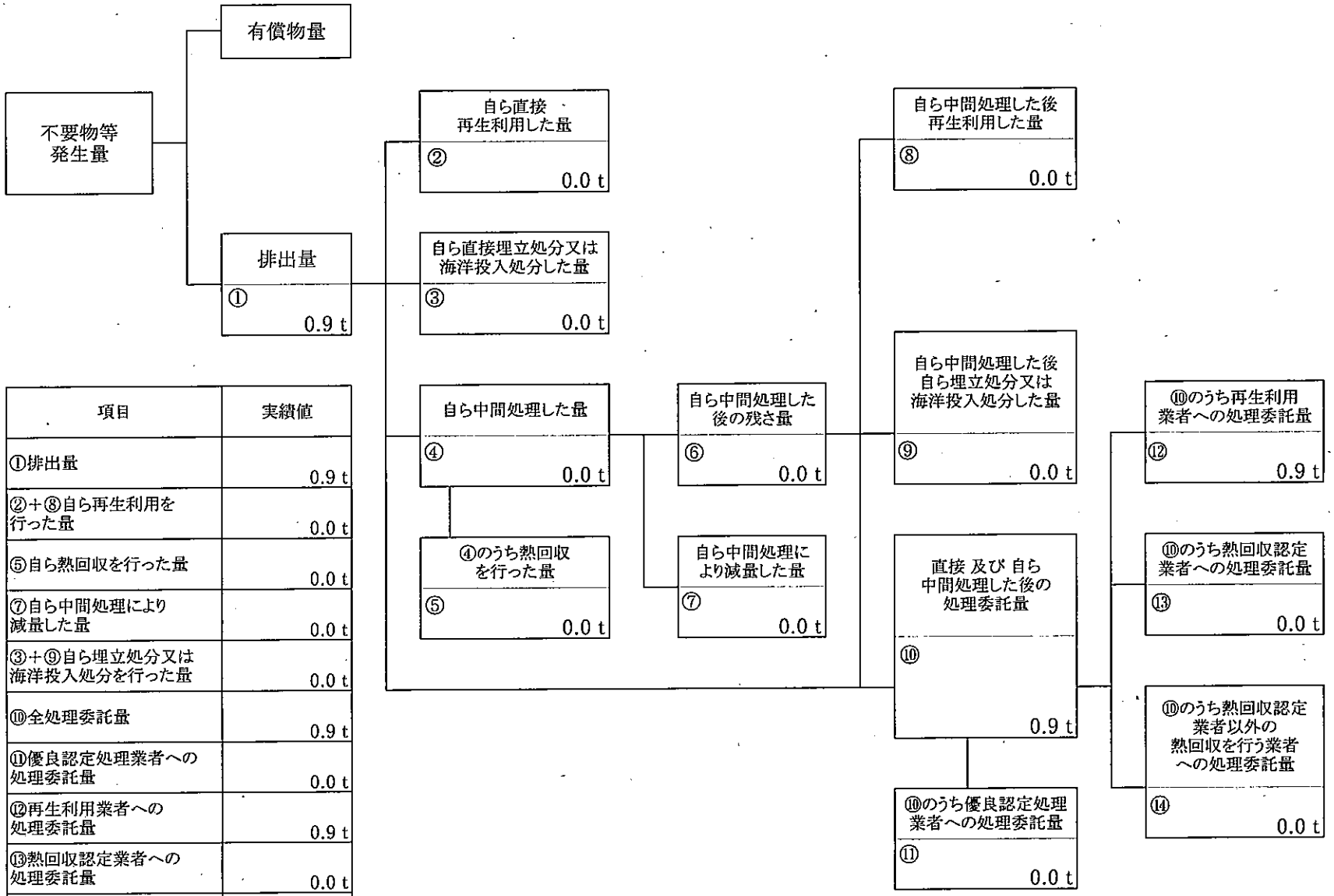


項目	実績値
①排出量	699.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	699.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	699.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

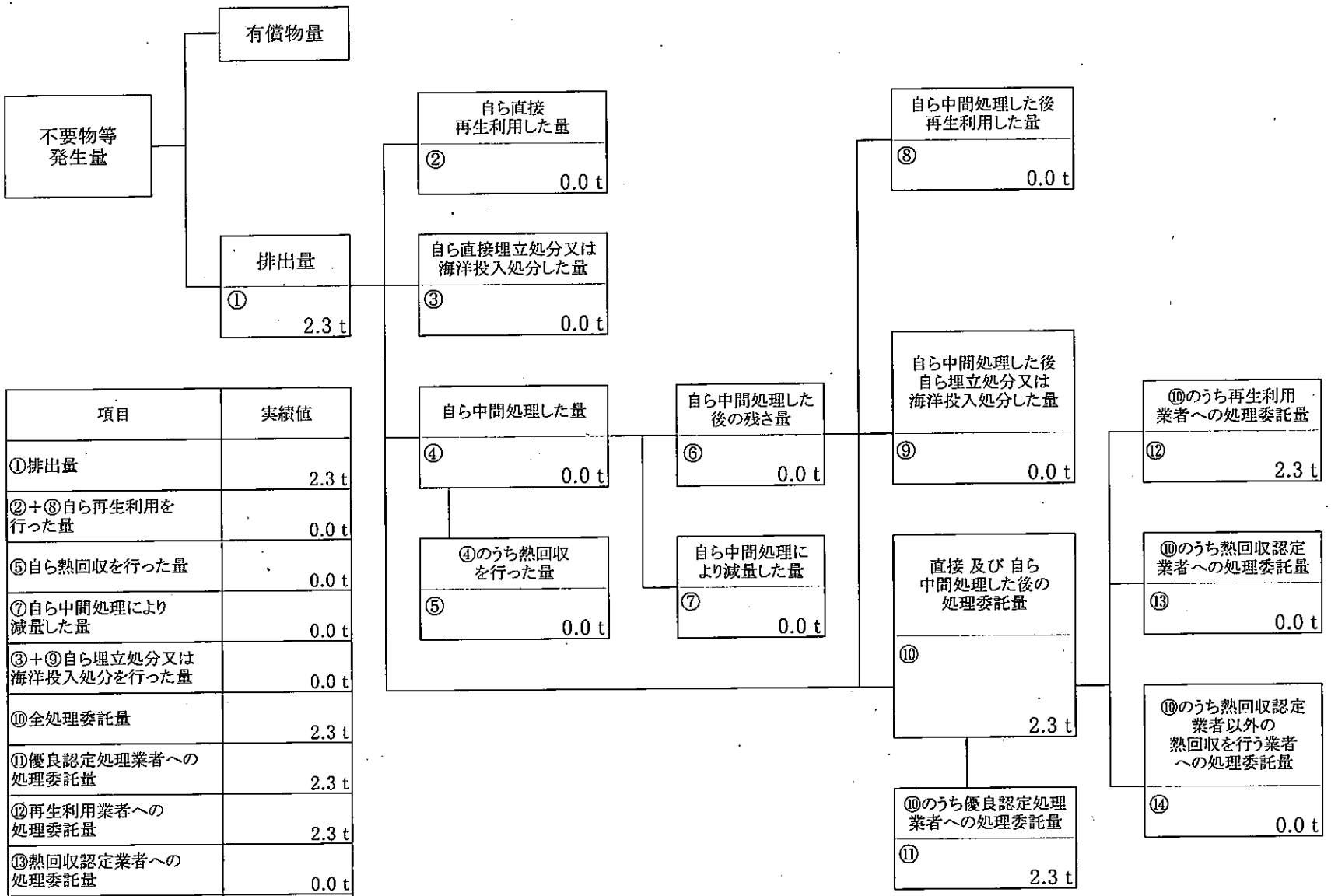


項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	2.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　　6月　　2日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒541-8585

住　所　大阪府大阪市中央区伏見町４－３－９

氏　名　阪和興業株式会社
建設リサイクル営業部　八木　和芳

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　06-7525-5000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	阪和興業株式会社　大阪本社
事業場の所在地	大阪市中央区伏見町４－３－９
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
②事業の規模	元請完成工事高　6,525,150千円
③従業員数	1,656名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→再生処理業者に委託してボイラー燃料として再資源化 コンクリートがら、アスコンがら→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 管理型建設混合廃棄物→処理業者に委託して、選別・破砕処理をし、再生利用出来るものは再資源化、再生利用出来ないものは管理型最終処分場にて埋立 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化。再生利用出来ないものは最終処分場にて埋立

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
本社建設リサイクル営業部（統括役員、部長、課長、営業担当）
↓
工事管理者（監理技術者、主任者、現場担当）
↓
工事協力会社
↓
産業廃棄物処理業者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
排出量	299.75 t	1366.4 t

（これまでに実施した取組）

・電子マニフェスト対応業者の選定
・優良業者の選定
・工法の改善

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
排出量	0 t	22.2 t

（今後実施する予定の取組）

・現時点で排出予定の事業場４月分以降予定無し
・発生した場合、これまでの取組を継続

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・適正な分別による廃棄物排出の低減化

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・上記に加え、混合廃棄物の分別の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
	全処理委託量	299.75 t	1366.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物の処分に関して許可証を有している業者の選定をし、契約書及び許可証の内容を確認している		

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリート破片
全処理委託量	0 t	22.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・現状４月分終了後排出予定事業場無し
・発生した場合、可能な限り優良認定業者から選定する
・電子マニフェスト対応業者の選定
・再資源率の高い業者の選定

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】						
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
		排　出　量	680.8 t	2.08 t	35.52 t	t	t	t
	②計画	【目標】						
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
		排　出　量	340.4 t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】						
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】						
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】						
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】						
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行

①現状①

【前年度（令和６年度）実績】

額産業廃棄物の種類産	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った産業廃棄物の量産業廃棄物の量産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t

②計画②

【目標】

額産業廃棄物の種類産	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
は自ら埋立処分又は自う海洋投入処分を行う海量産業廃棄物の量産	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関す

①現状①

【前年度（令和６年度）実績】

額産業廃棄物の種類産	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
託量全処理委託量全処	680.8 t	2.08 t	35.52 t	t	t	t
の優良認定処理業者への優理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t
業者への再生利用理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t
収業者への認定熱回収理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t
収業者以外の認定熱回収行う業者への熱回収を行理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t

②計画②

【目標】【目標】

棄物の種類産業廃棄物	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	がれき類			
処理委託量全処理委託	340.4 t	t	t	t	t	t
処理業者への優良認定処理理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t
業者への再生利用理委託量処理委託	t	t	t	t	t	t
収業者への認定熱回収処理委託量	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 7日

千葉県知事　熊谷俊人　殿

提出者　〒275-0002
住　所　習志野市実籾２丁目４１番２１号
氏　名　株式会社サクラ設備
代表取締役 岩　井　　健
電話番号　047-476-2511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社サクラ設備
事業場の所在地	習志野市実籾２丁目４１番２１号
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31日

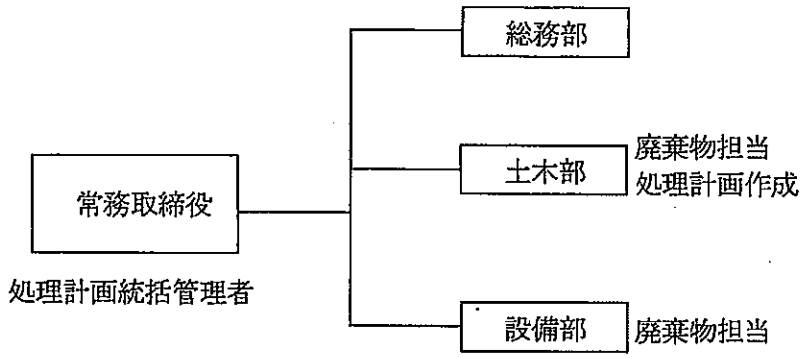
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　中分類：設備工事業　小分類：管工事業
②事業の規模	6年度完成工事高　13億円
③従業員数	12人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	排出現場 → アスファルトがら コンクリートがら がれき類 → 委託処理（中間処理・破砕）（再生処理） 排出現場 → 廃アルカリ　排水 → 委託処理（中間処理・焼却）（再生処理） 排出現場 → 建設混合廃棄物 → 委託処理（中間処理・圧縮）（再生処理）（最終処分）

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　6　年度）実績】　別紙１の通り

産業廃棄物の種類			
排　出　量			

（これまでに実施した取組）

② 計画

【目標】　別紙１の通り

産業廃棄物の種類			
排　出　量			

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄがら・ｺﾝｸﾘｰﾄがら・がれき類・廃アルカリ汚泥 を分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の通り分別する。 また、混合廃棄物コンテナに廃棄物種類を明確表示して分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（　6　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	すべての種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	すべての種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（　6　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	すべての種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0ｔ	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0ｔ	
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	すべての種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="4">【前年度（　　6　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>すべての種類</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>すべての種類</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

特になし</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="4">【前年度（　　6　　年度）実績】　　別紙２の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	② 計画	【目標】			別紙２の通り
		産業廃棄物の種類			
		全処理委託量			
		優良認定処理業者への処理委託量			
		再生利用業者への処理委託量			
		認定熱回収業者への処理委託量			
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
		（今後実施する予定の取組）			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙１

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

③ 現状	【前年度（　6　年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃アルカリ	建設混合廃棄物	
	排　出　量	882.1 t	11.6 t	1013.01 t	5.27 t	11.18 t	
	（これまでに実施した取組） 廃棄物数量の増加を防ぐため掘削作業範囲の検討を事前に行い余分な廃棄物の発生を制御している。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃アルカリ	建設混合廃棄物	
	排　出　量	850.0 t	10.0ｔ	950.0ｔ	5.0ｔ	6.0ｔ	
	（今後実施する予定の取組） 作業範囲の検討を継続するとともに、資材梱包材等の分別を一層強化し混合廃棄物の発生を制御する。						

別紙２

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃アルカリ	建設混合廃棄物	
全処理委託量	882.1 t	11.6 t	1013.01 t	5.27 t	11.18 t	
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	882.1 t	11.6 t	1013.01 t	5.27 t	11.18 t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						

（これまでに実施した取組）
　すべての廃棄物は、再生処分業者に委託した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	廃アルカリ	建設混合廃棄物	
全処理委託量	850.0 t	10.0 t	950.0 t	5.0 t	6.0 t	
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	850.0 t	10.0 t	950.0 t	5.0 t	6.0 t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						

（今後実施する予定の取組）
　前年同様、再生処分業者に処理を委託する。

※事務処理欄

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 5 月 7日

千葉県知事　熊谷俊人　殿

提出者　〒275-0002
住　所　習志野市実籾２丁目４１番２１号
氏　名　株式会社サクラ設備
代表取締役 岩　井　　健
電話番号　047-476-2511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社サクラ設備
事業場の所在地	習志野市実籾２丁目４１番２１号
事業の種類	大分類：建設業　中分類：設備工事業　小分類：管工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

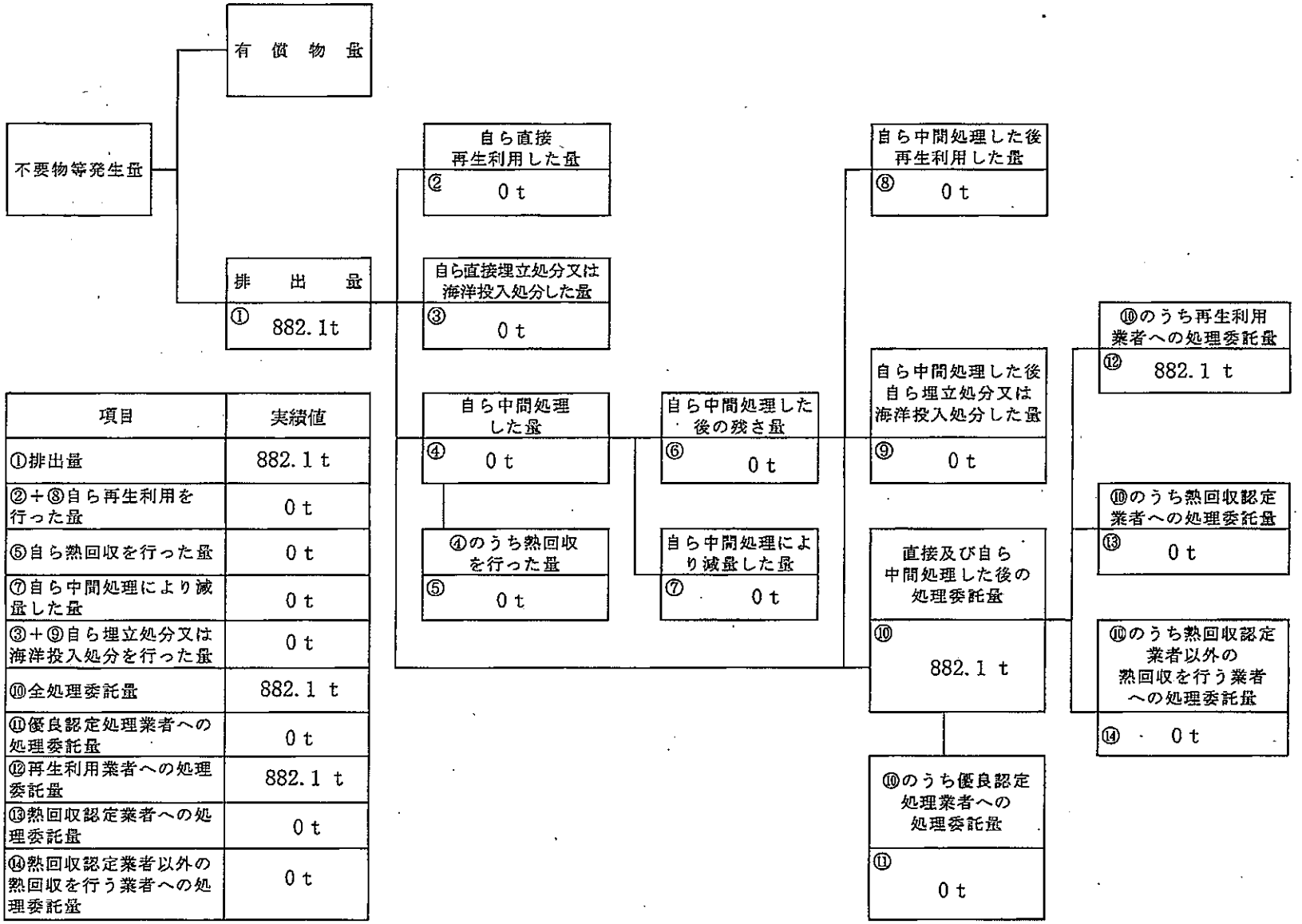
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1979.0ｔ	全処理委託量	1979.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	1979.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルトコンクリートがら　）

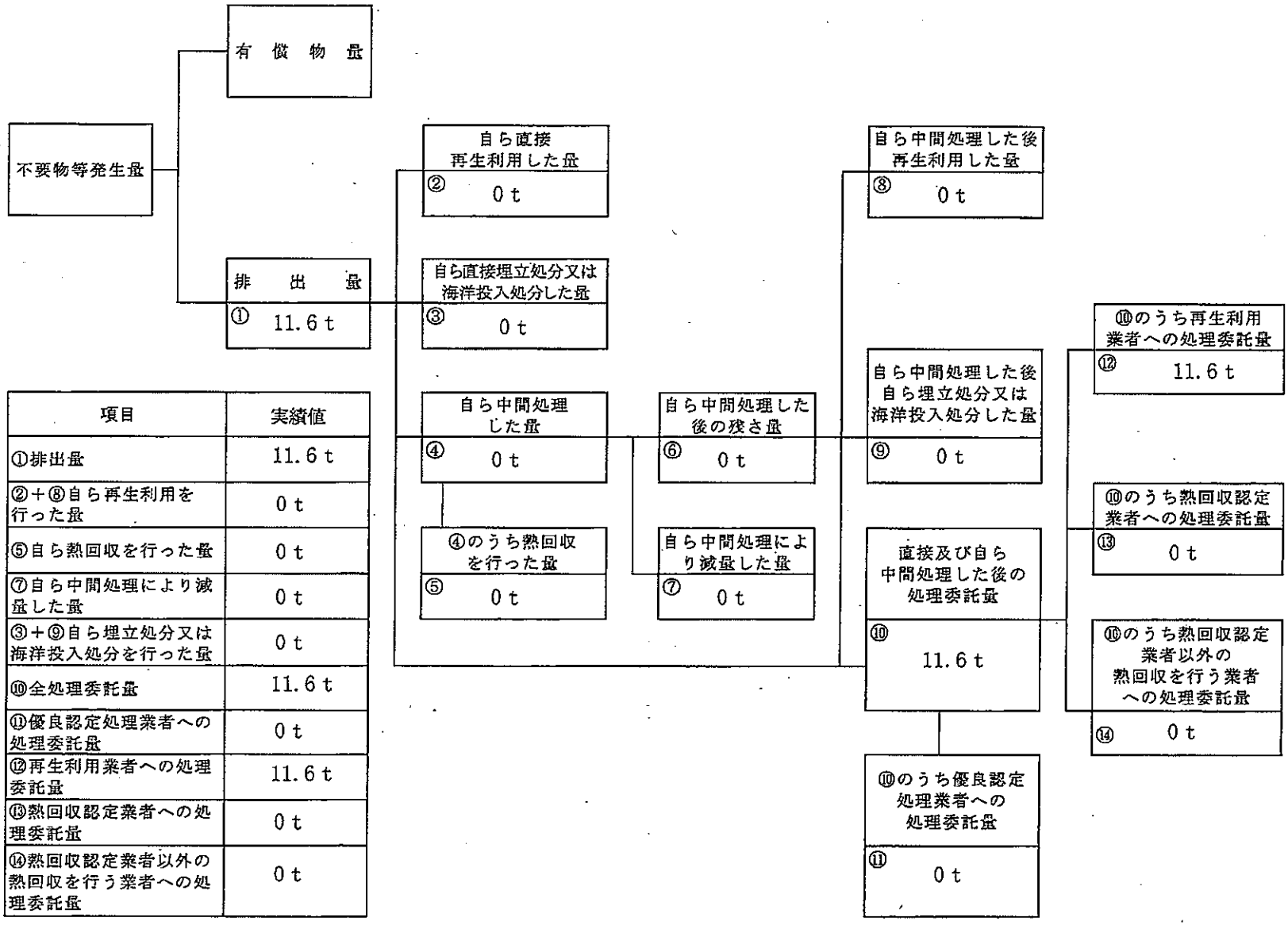


項目	実績値
①排出量	882.1t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	882.1t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	882.1t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

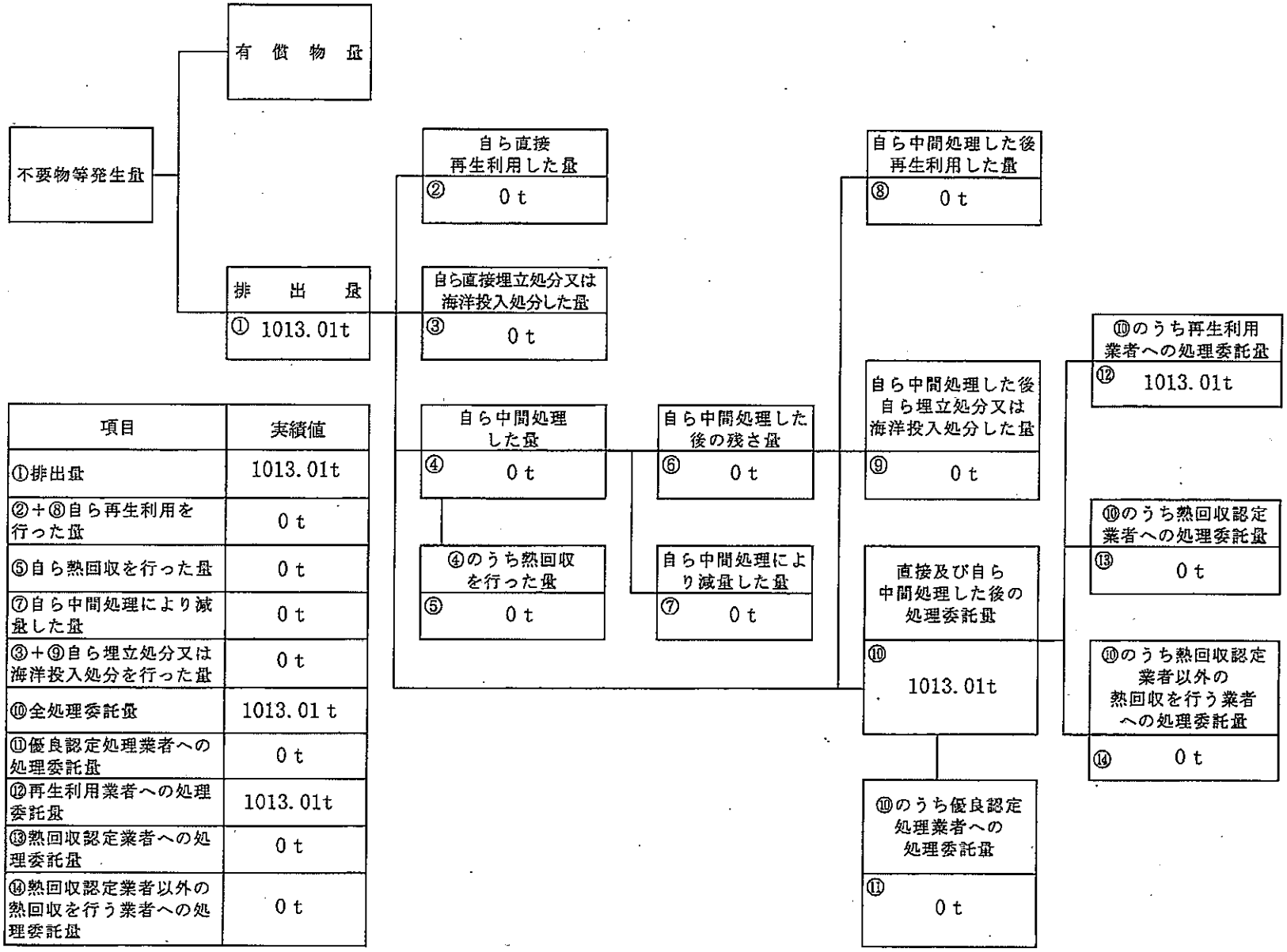


項目	実績値
①排出量	11.6ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	11.6ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	11.6ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

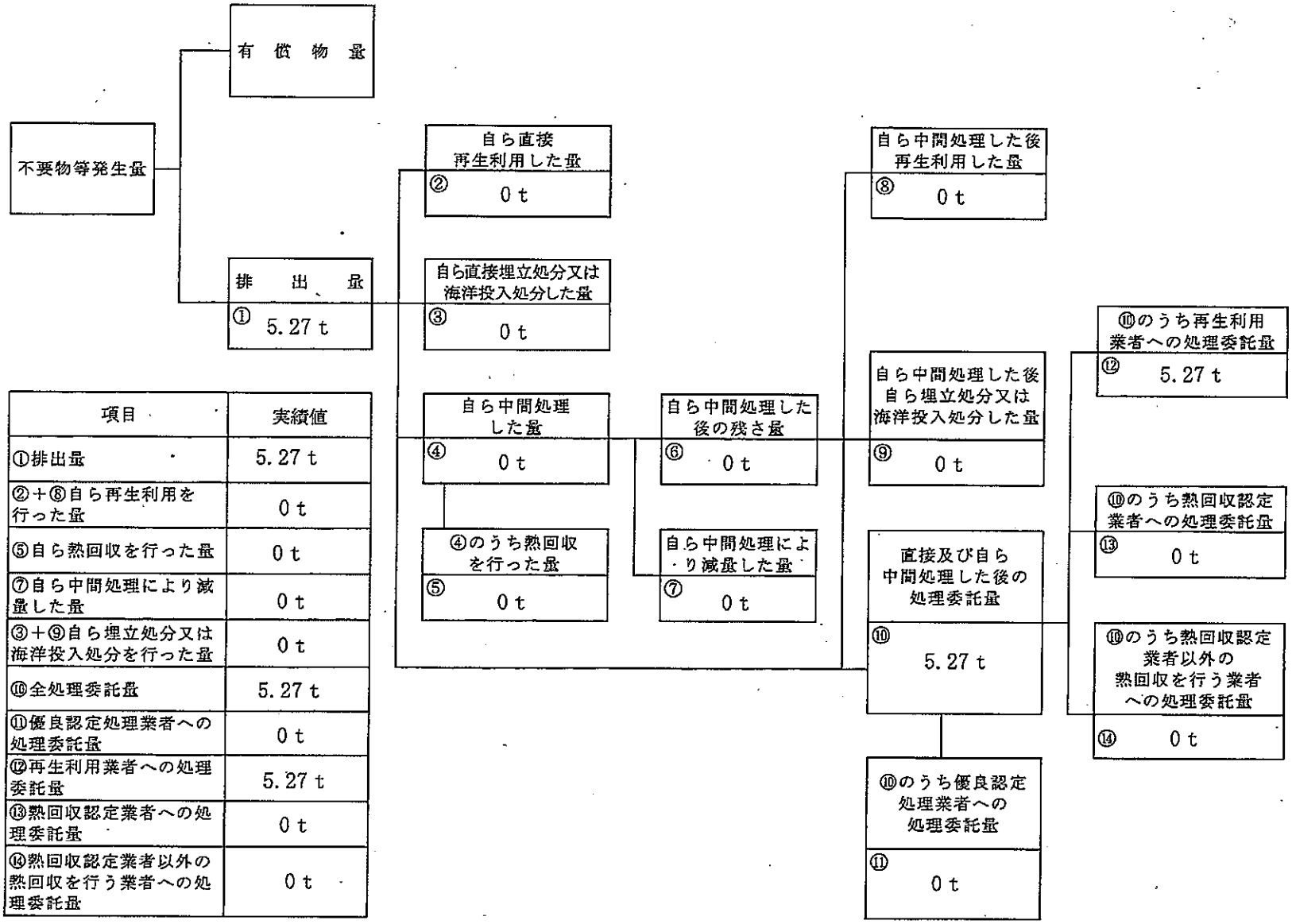


項目	実績値
①排出量	1013.01t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1013.01t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	1013.01t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第２面）

計画の実施状況

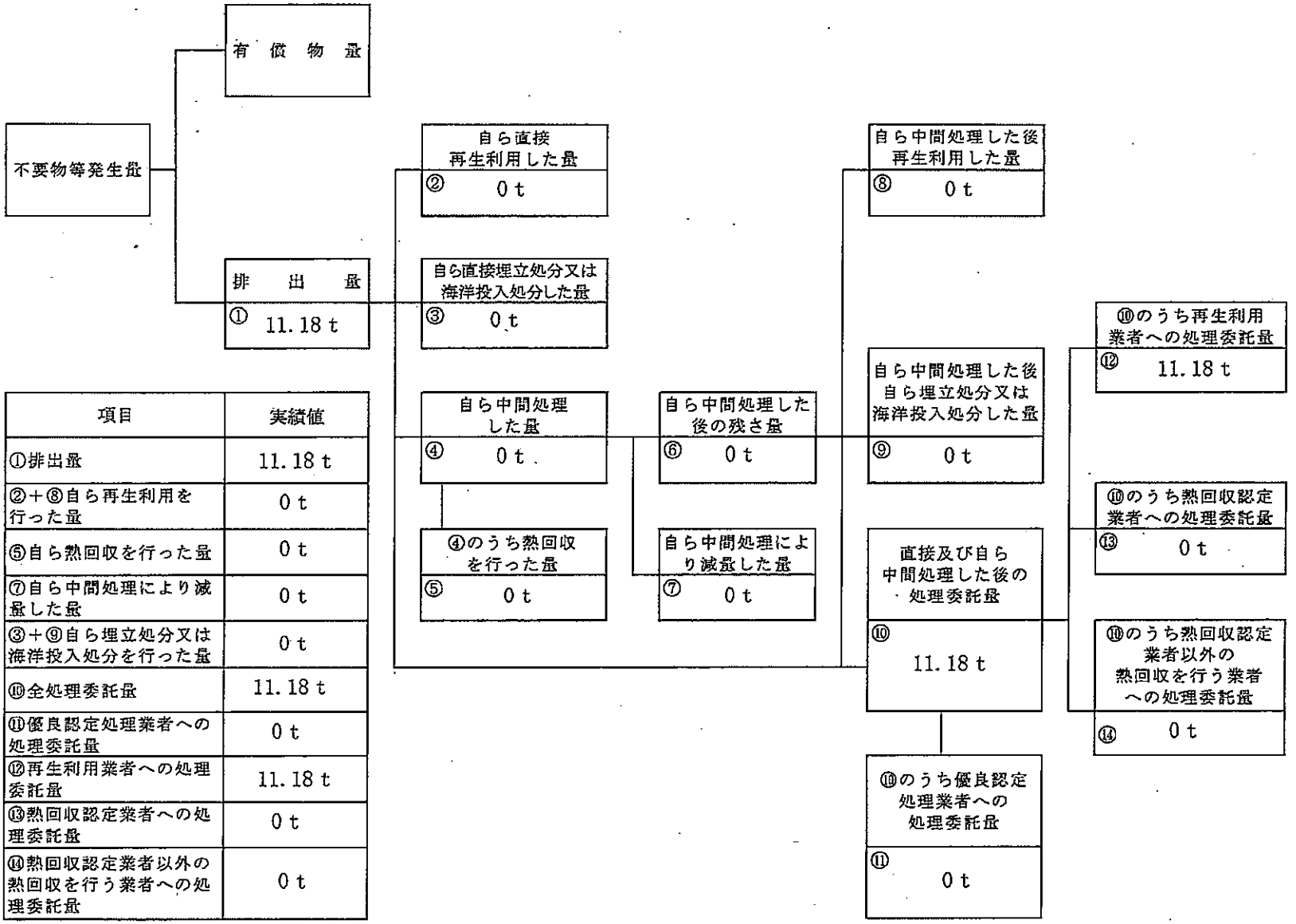
（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　）



項目	実績値
①排出量	5.27 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	5.27 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.27 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第２面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	11.18 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	11.18 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.18 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第２面）

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月12日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　287-0017

住　所　千葉県香取市香取1820番地1

法人名　株式会社笹本土建

代表者　笹本 勝啓

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0478-79-7731

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社笹本土建
事業場の所在地	千葉県香取市香取１８２０番地１
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	７４０，０００千円
③従業員数	２３人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→中間処理委託　破砕→再生利用 木くず→中間処理委託　破砕→再生利用 廃プラスチック類→中間処理委託　圧縮、破砕、切断→再生利用 コンクリートくず→中間処理委託　破砕→再生利用 管理型混合廃棄物→中間処理委託　埋立 汚泥→中間処理委託　脱水、埋立、焼却、中和、油水分離 がれき類（石綿含有廃棄物）→中間処理委託　埋立

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

株式会社笹本土建　→　総務部・工務部
※官公庁発注工事のため、各現場の管理による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	1067.1 t	1.6 t

（これまでに実施した取組）

公共工事に関する産業廃棄物の排出が主であるため、各発注機関の仕様書等に従い、適切に産業廃棄物の排出を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	900 t	1.5 t

（今後実施する予定の取組）

公共工事に関する産業廃棄物の排出が主であるため、各発注機関の仕様書等に従い、適切に産業廃棄物の排出を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

各現場において廃棄物の分別を徹底している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

今まで通り分別を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		がれき類	木くず
全処理委託量		1067.1ｔ	1.6ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	再生利用業者への処理委託量	1067.1ｔ	1.6ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ

（これまでに実施した取組）

許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託を行った。

<table>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="6">②計画</td><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>900 t</td><td>1.5 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>900 t</td><td>1.5 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）
許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
		排　出　量	1067.1　t	1.6　t	3.2　t	38.8　t	1.6　t	5　t	42.9　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
		排　出　量	900　t	1.5　t	3　t	35　t	1.5　t	4.5　t	40　t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
	全処理委託量	1067.1 t	1.6 t	3.2 t	38.8 t	1.6 t	5 t	42.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	1.6 t	t	42.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1067.1 t	1.6 t	3.2 t	38.8 t	t	5 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	コンクリートくず	混合廃棄物	汚泥	がれき類（石綿含有）	
	全処理委託量	900 t	1.5 t	3 t	35 t	1.5 t	4.5 t	40 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	35 t	1.5 t	t	40 t	t
	再生利用業者への処理委託量	900 t	1.5 t	3 t	t	t	4.5 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月29日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　103-0023

住　所　東京都中央区日本橋本町4-12-19

法人名　佐藤工業株式会社　東京支店

代表者　三澤　早登志

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3661-5616

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	佐藤工業株式会社　東京支店
事業場の所在地	東京都中央区日本橋本町4-12-19
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　510億円
③従業員数	350人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
排出量	2423.51 t	t

（これまでに実施した取組）

・作業所搬入資材の梱包材の簡素化
・有価物として有償売却

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
排出量	2181.17 t	t

（今後実施する予定の取組）

・資材搬入業者と協議を行い、梱包材を簡素化することにより、紙くず等の発生抑制を行う。
・専ら業者への有償売却を促進することにより、金属くず・紙くず等の発生を削減する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・分別コンテナの設置による混合廃棄物排出量の削減。
・作業員への分別徹底教育。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・作業所への入所時に、作業員へ分別教育を実施する。
・写真掲示等により分別品目をわかりやすく掲示する等、工夫により分別頻度を高め混合廃棄物の発生量を削減する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・建設特定資材の現場内再利用の促進。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・発注者及び自治体と協議を行い、コンクリートがら等特定建設資材の現場内再利用の促進を実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
全処理委託量	2423.51 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	762.81 t	t
再生利用業者への処理委託量	2422.21 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

・再生利用先が確立された中間処理業者を選定し、産業廃棄物処理を委託。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
		全 処 理 委 託 量	2181.17 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	686.54 t	t
		再生利用業者への処理委託量	2180 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） ・再生利用先が確立された中間処理業者を選定し、産業廃棄物処理を委託。 ・優良認定処理業者を優先的に選定し、産業廃棄物処理を委託する。		
※事務処理欄				

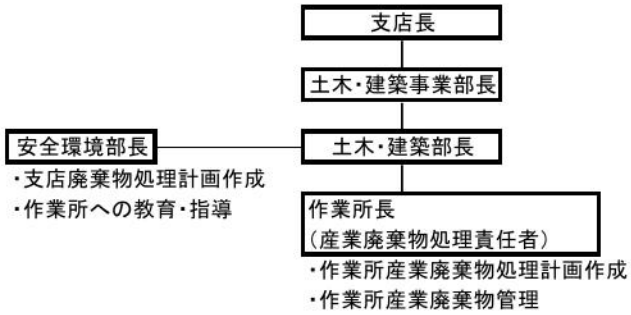
備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

がれき類	→	委託処理（破砕）	→	再生利用
廃プラスチック	→	委託処理（破砕・圧縮）	→	再生利用・燃料使用・最終処分
ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	→	委託処理（破砕）	→	再生利用・最終処分
金属くず	→	委託処理（破砕）	→	再生利用
汚泥	→	委託処理（脱水・固化）	→	再生利用
木くず	→	委託処理（破砕・圧縮）	→	再生利用・燃料使用
紙くず	→	委託処理（破砕・圧縮）	→	再生利用・燃料使用
混合廃棄物	→	委託処理（分別・破砕）	→	再生利用・最終処分

別添２ 管理体制図

東京支店



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
排出量	158.40 t	131.96 t	21.75 t	563.46 t	20.91 t	26.50 t	9.45 t	1,102.63 t	170.55 t	156.88 t	0.23 t	60.79 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
排出量	142.56 t	118.76 t	19.58 t	507.11 t	18.82 t	23.85 t	8.51 t	992.37 t	153.50 t	141.19 t	0.21 t	54.71 t						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
全処理委託量	158.40 t	131.96 t	21.75 t	563.46 t	20.91 t	26.50 t	9.45 t	1,102.63 t	170.55 t	156.88 t	0.23 t	60.79 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	131.96 t	21.75 t	120.20 t	20.91 t	26.50 t	8.25 t	68.82 t	146.52 t	156.88 t	0.23 t	60.79 t						
再生利用業者への処理委託量	158.40 t	131.96 t	21.75 t	563.46 t	20.91 t	26.50 t	9.45 t	1,102.63 t	170.55 t	156.88 t	0.23 t	59.49 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）						
全処理委託量	142.56 t	118.76 t	19.58 t	507.11 t	18.82 t	23.85 t	8.51 t	992.37 t	153.50 t	141.19 t	0.21 t	54.71 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	118.76 t	19.58 t	108.18 t	18.82 t	23.85 t	7.43 t	61.94 t	131.87 t	141.19 t	0.21 t	54.71 t						
再生利用業者への処理委託量	142.56 t	118.76 t	19.58 t	507.11 t	18.82 t	23.85 t	8.51 t	992.37 t	153.50 t	141.19 t	0.21 t	53.54 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月29日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　103-0023

住所 東京都中央区日本橋本町4-12-19

法人名 佐藤工業株式会社 東京支店

代表者 三澤 早登志

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3661-5616

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	佐藤工業株式会社 東京支店
事業場の所在地	東京都中央区日本橋本町4-12-19
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

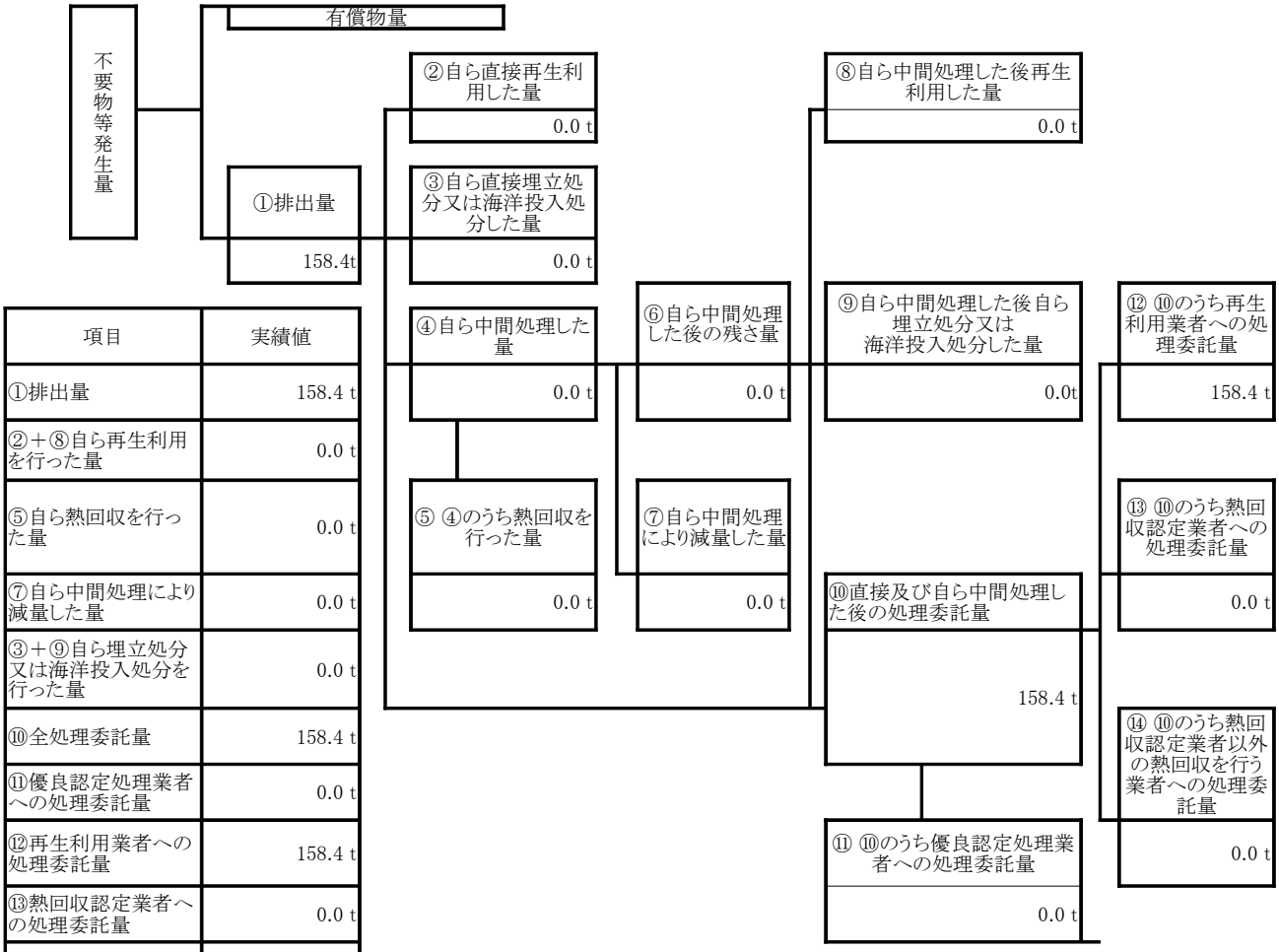
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7851.16 t	全処理委託量	7851.16 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	716.41 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	7826.49 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

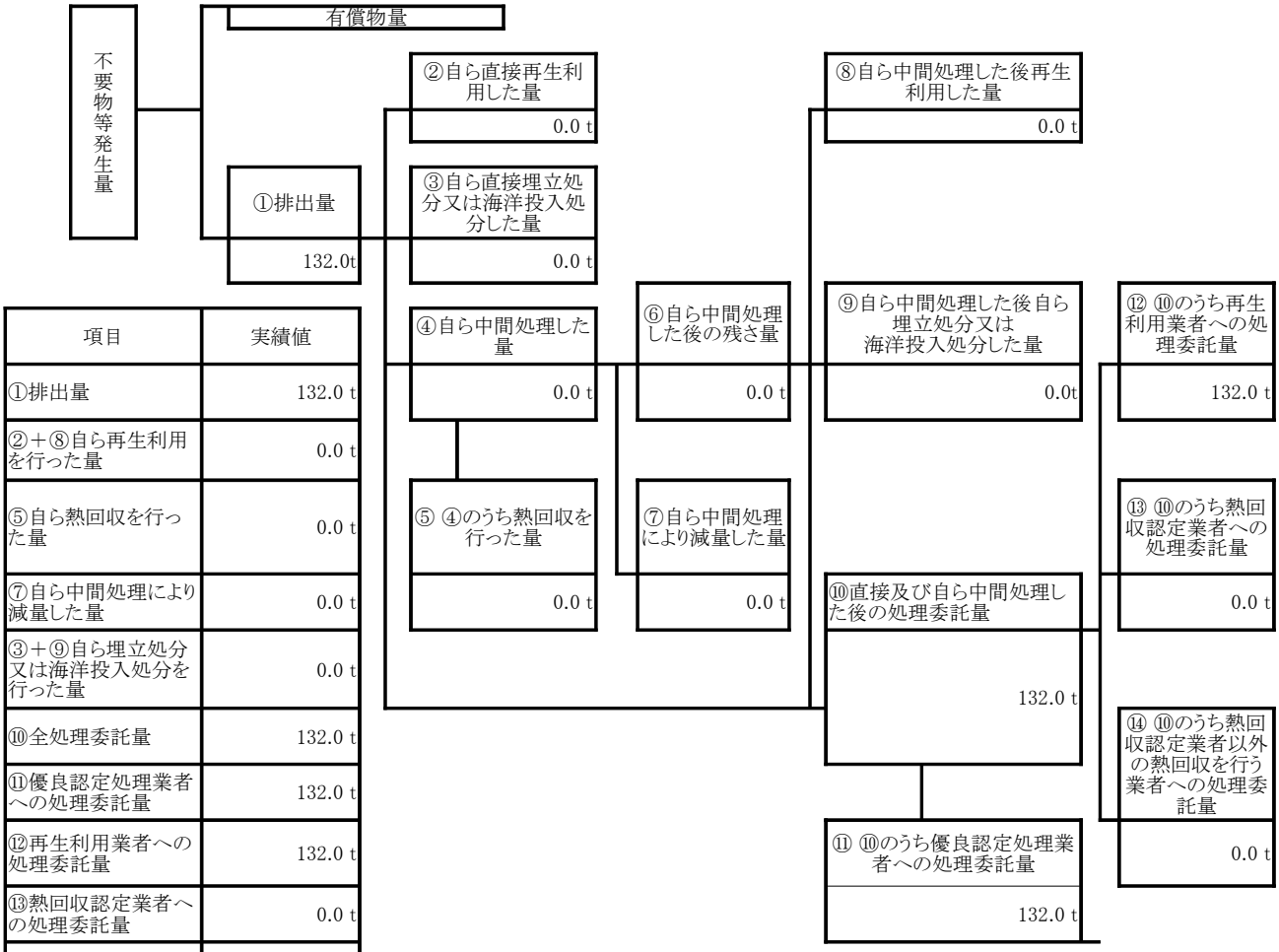


項目	実績値
①排出量	158.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	158.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	158.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



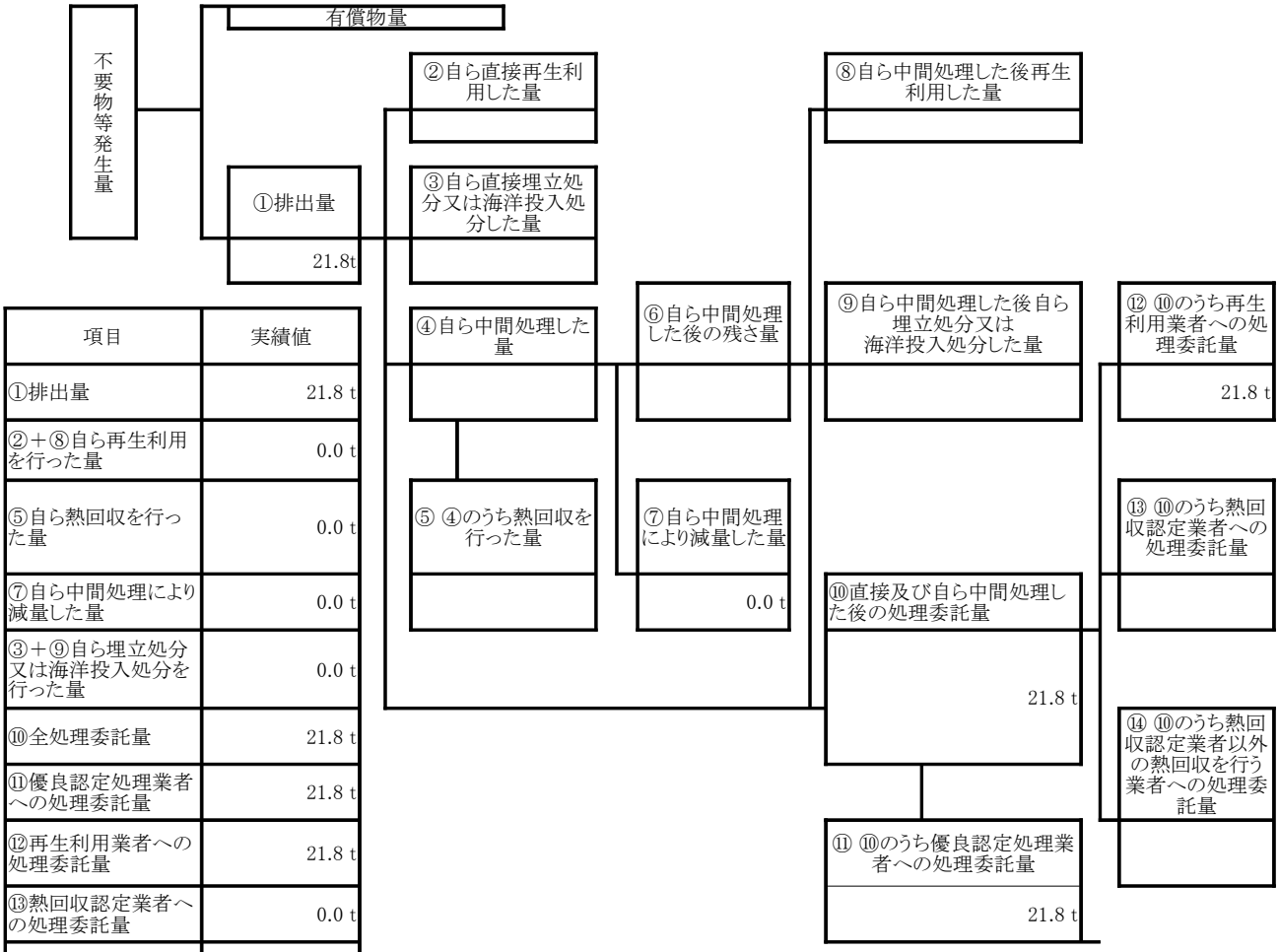
項目	実績値
①排出量	132.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	132.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	132.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

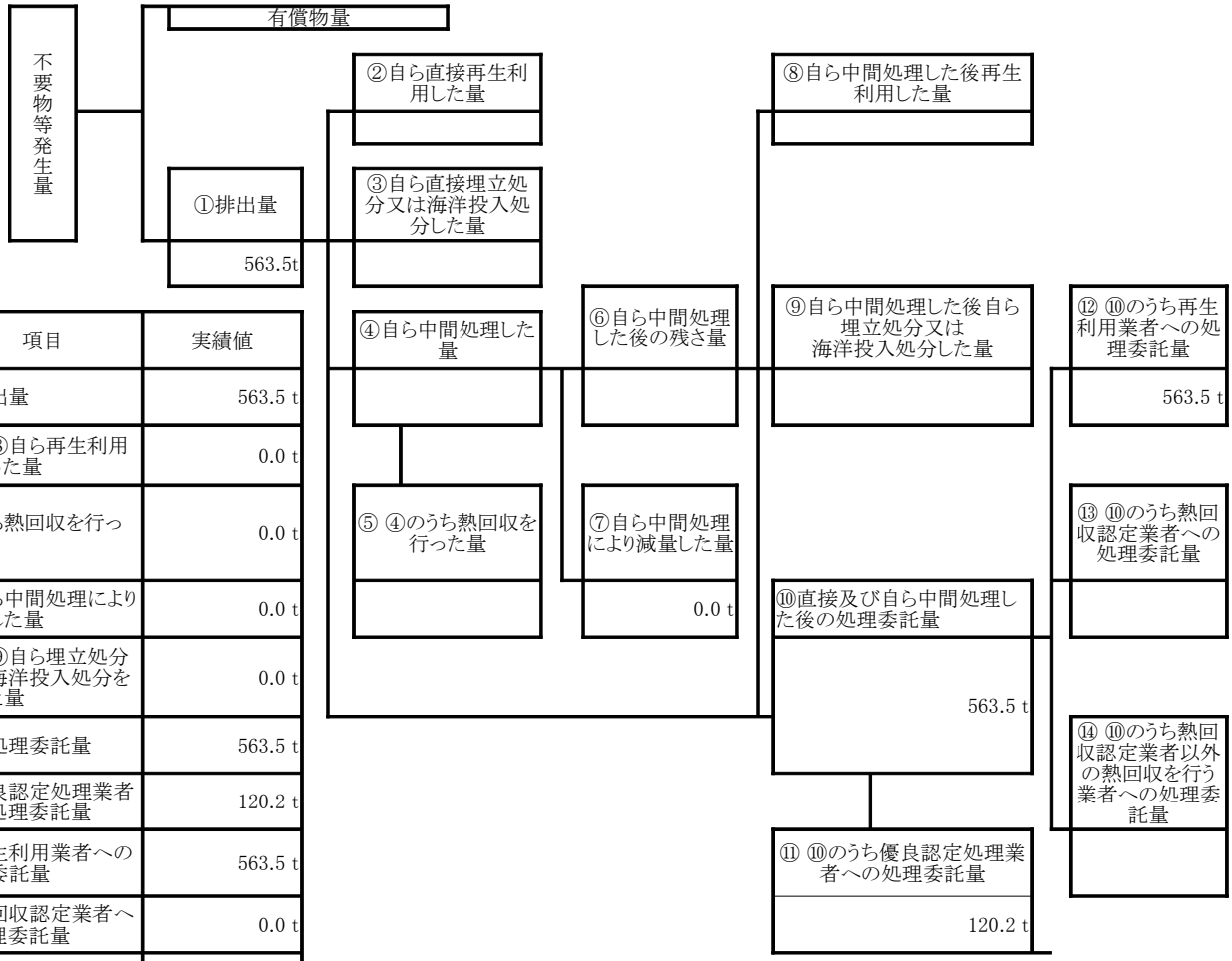


項目	実績値
①排出量	21.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	21.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



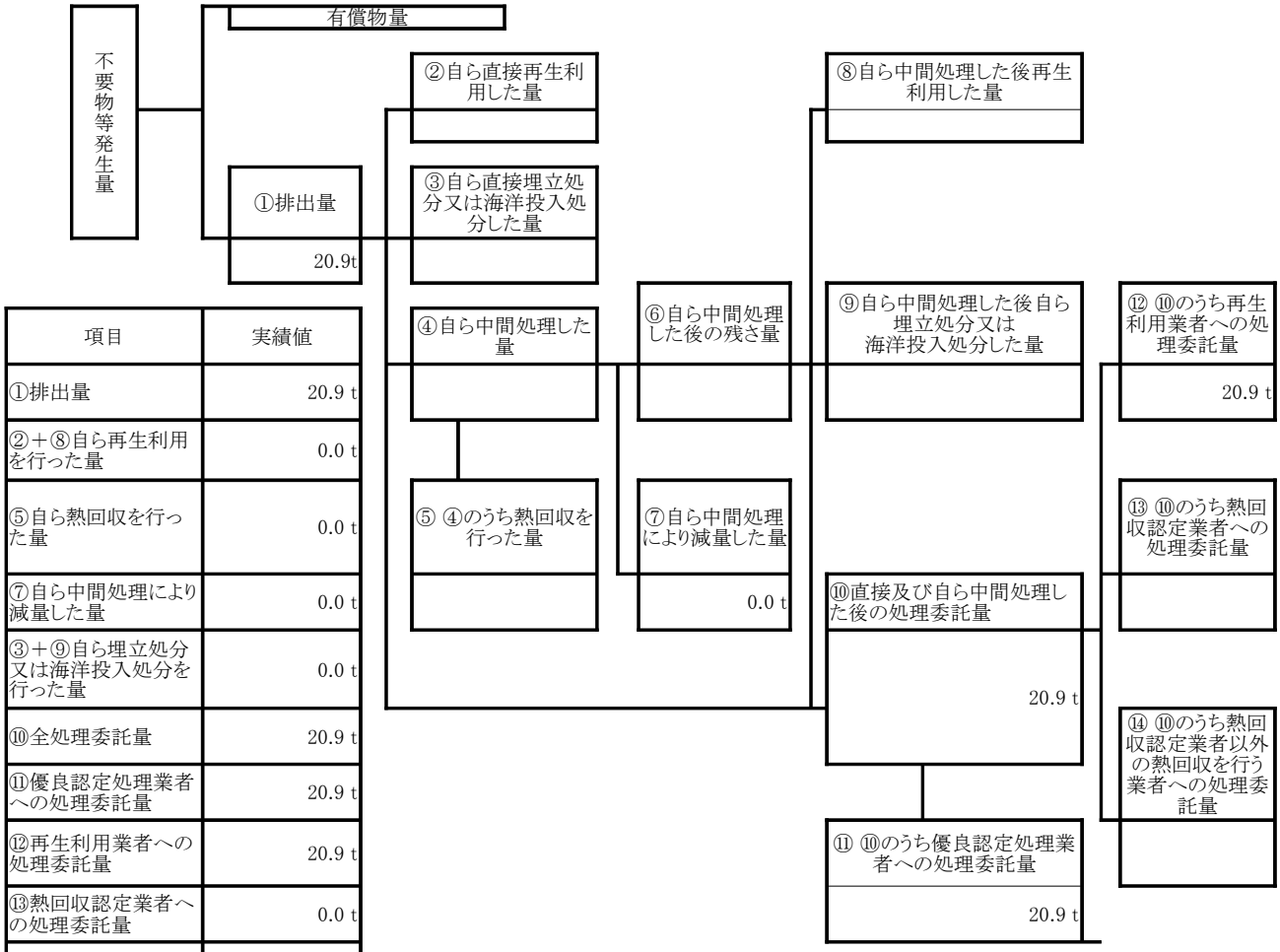
項目	実績値
①排出量	563.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	563.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	120.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	563.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

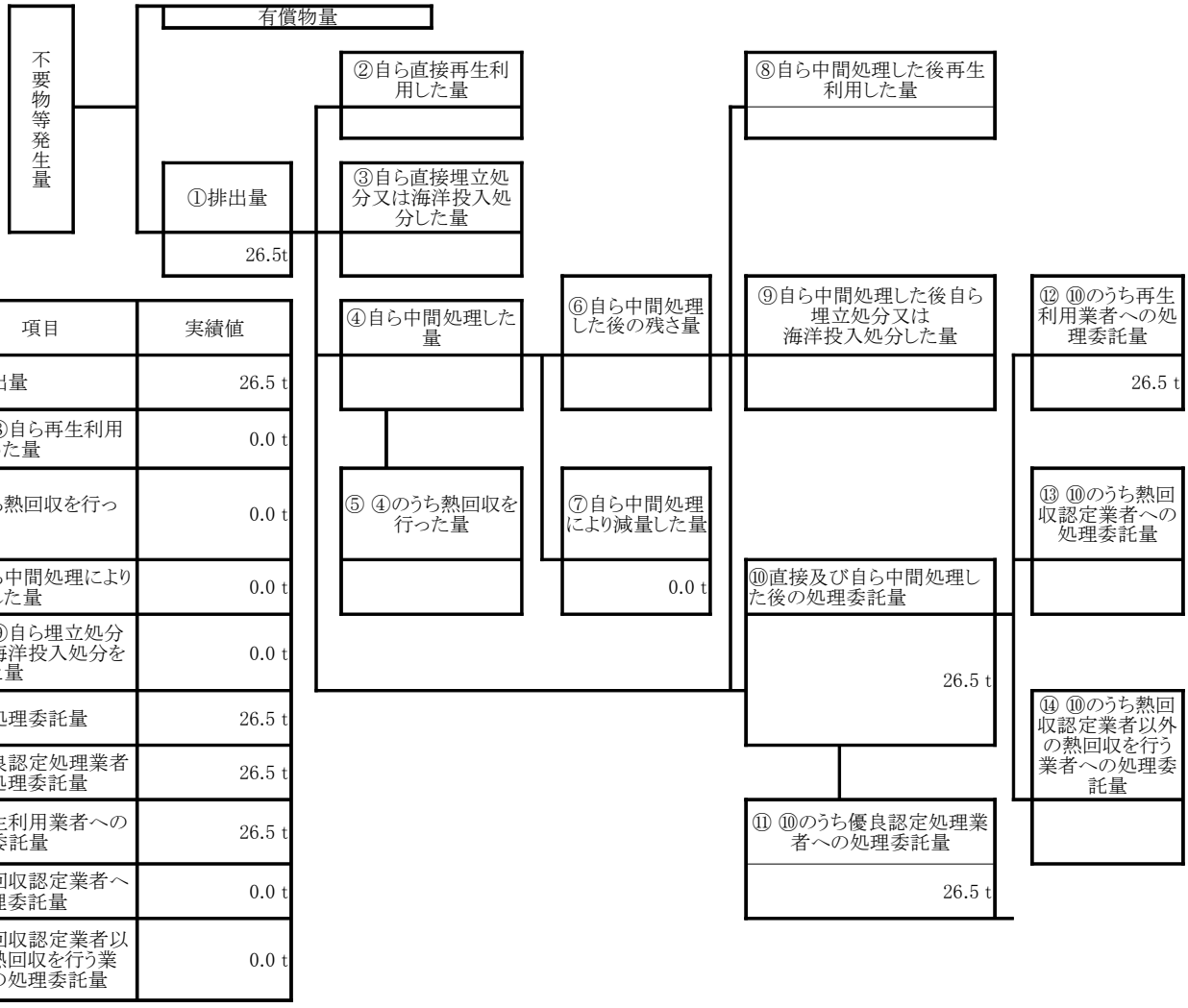


項目	実績値
①排出量	20.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス陶磁器等くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

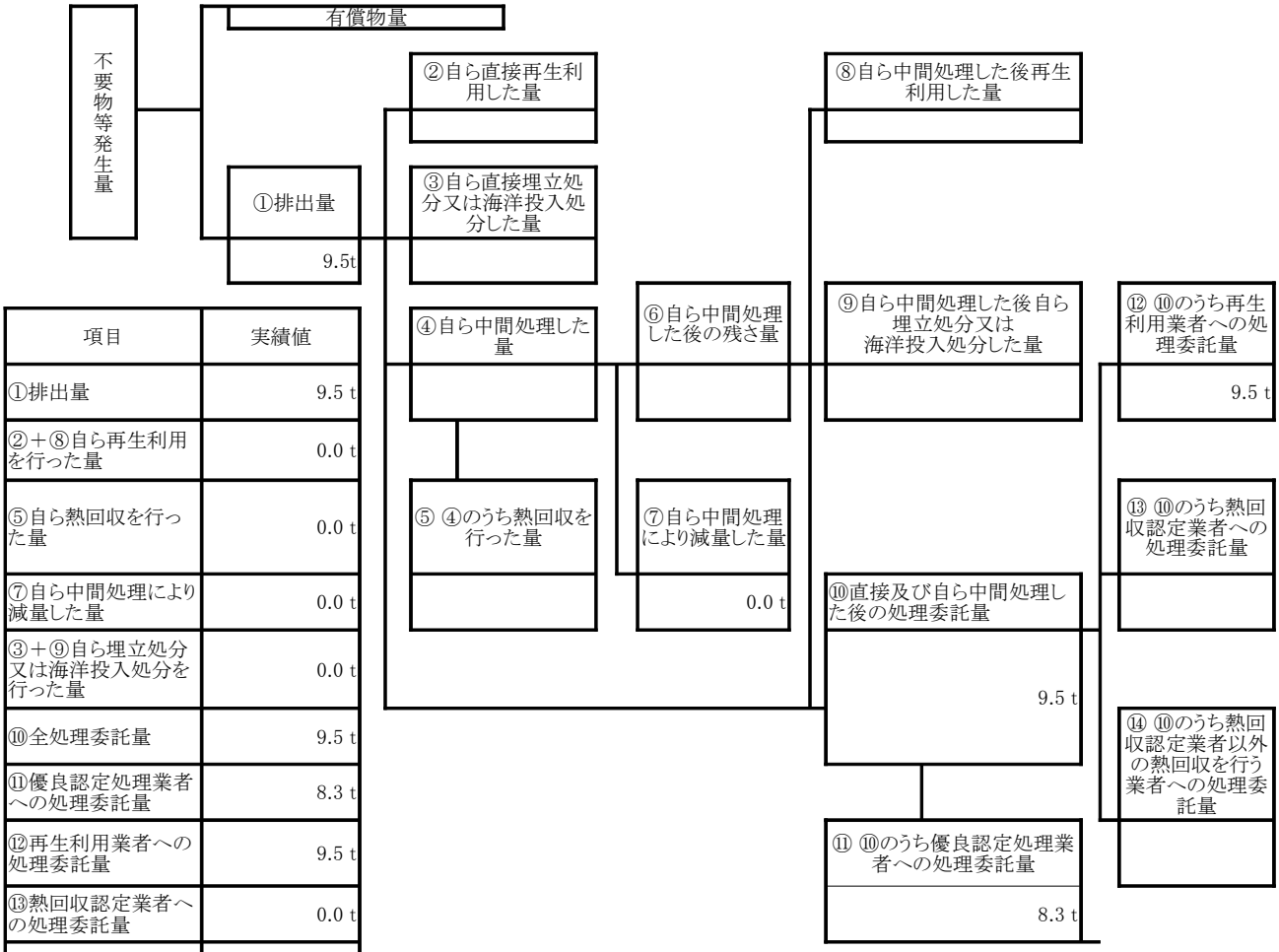


項目	実績値
①排出量	26.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

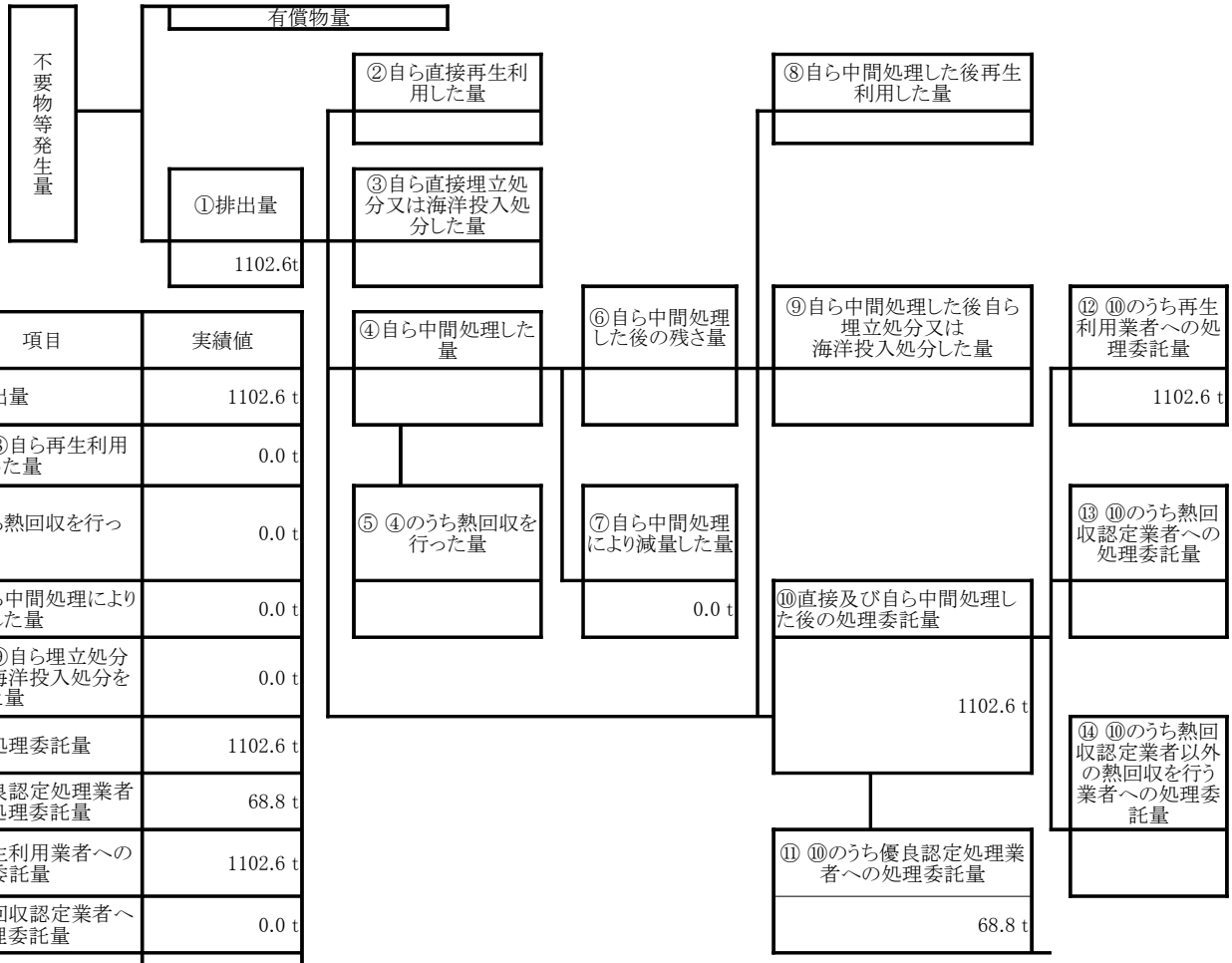


項目	実績値
①排出量	9.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

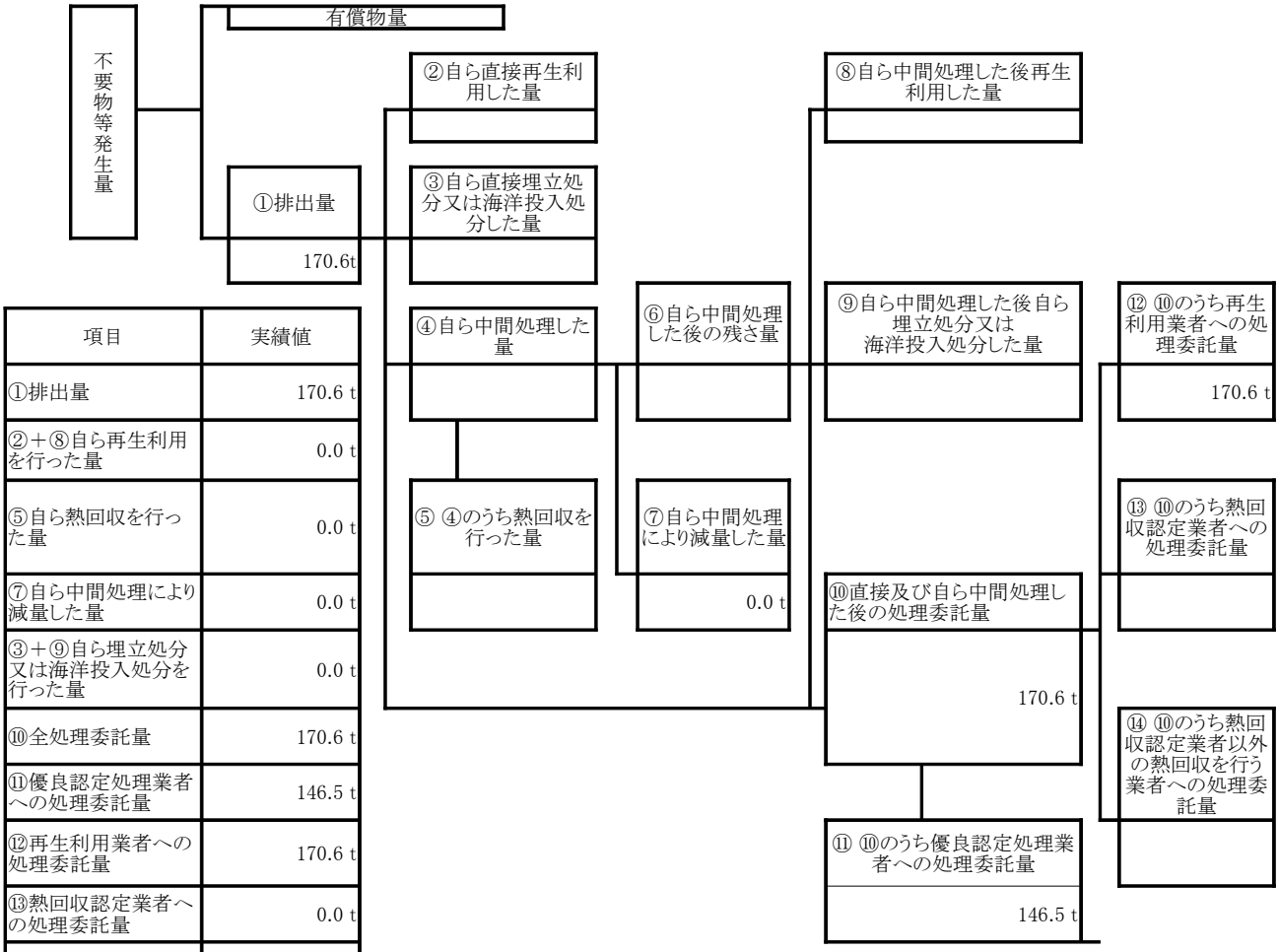


項目	実績値
①排出量	1102.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1102.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1102.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アス・コン片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

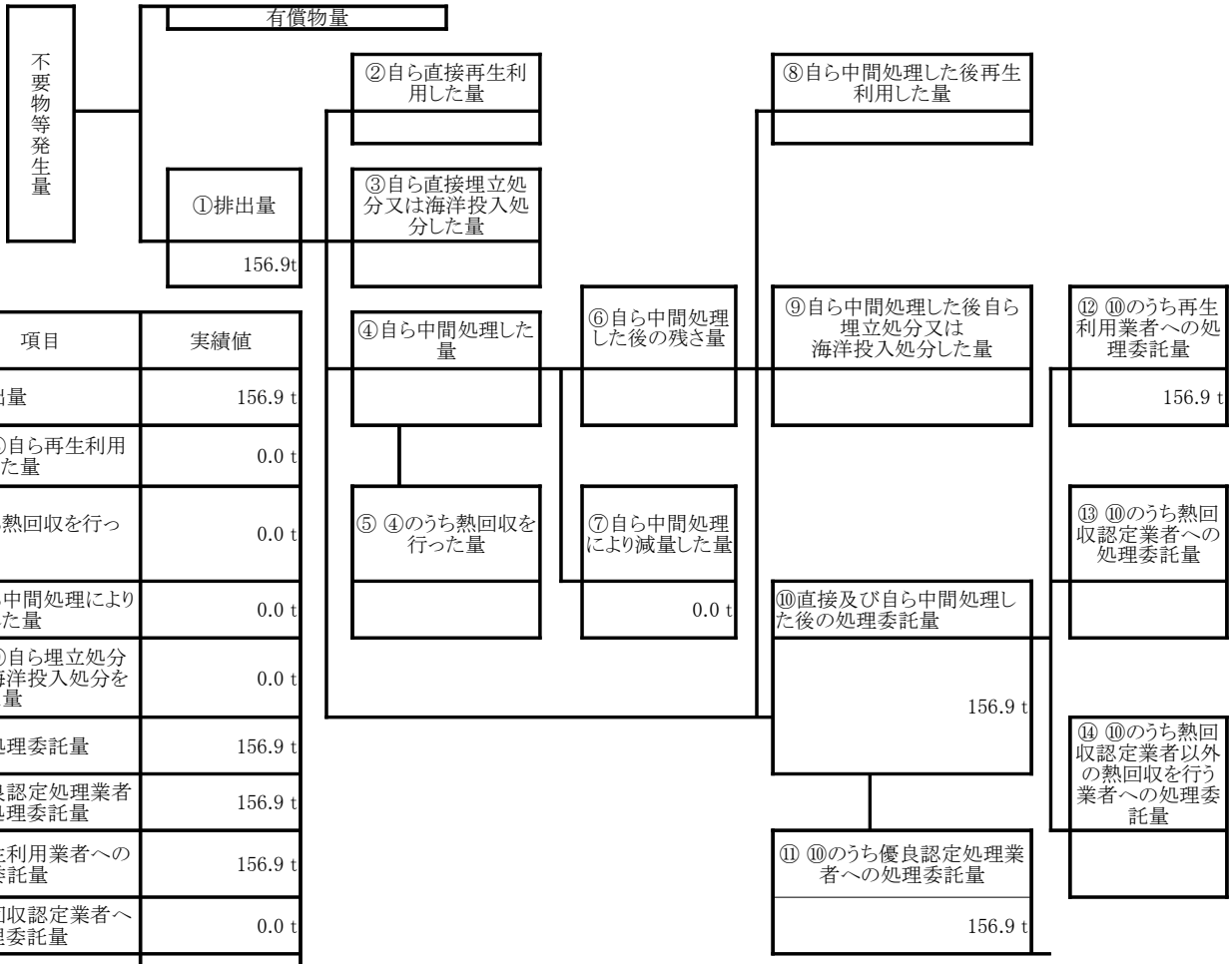


項目	実績値
①排出量	170.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	170.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	146.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	170.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

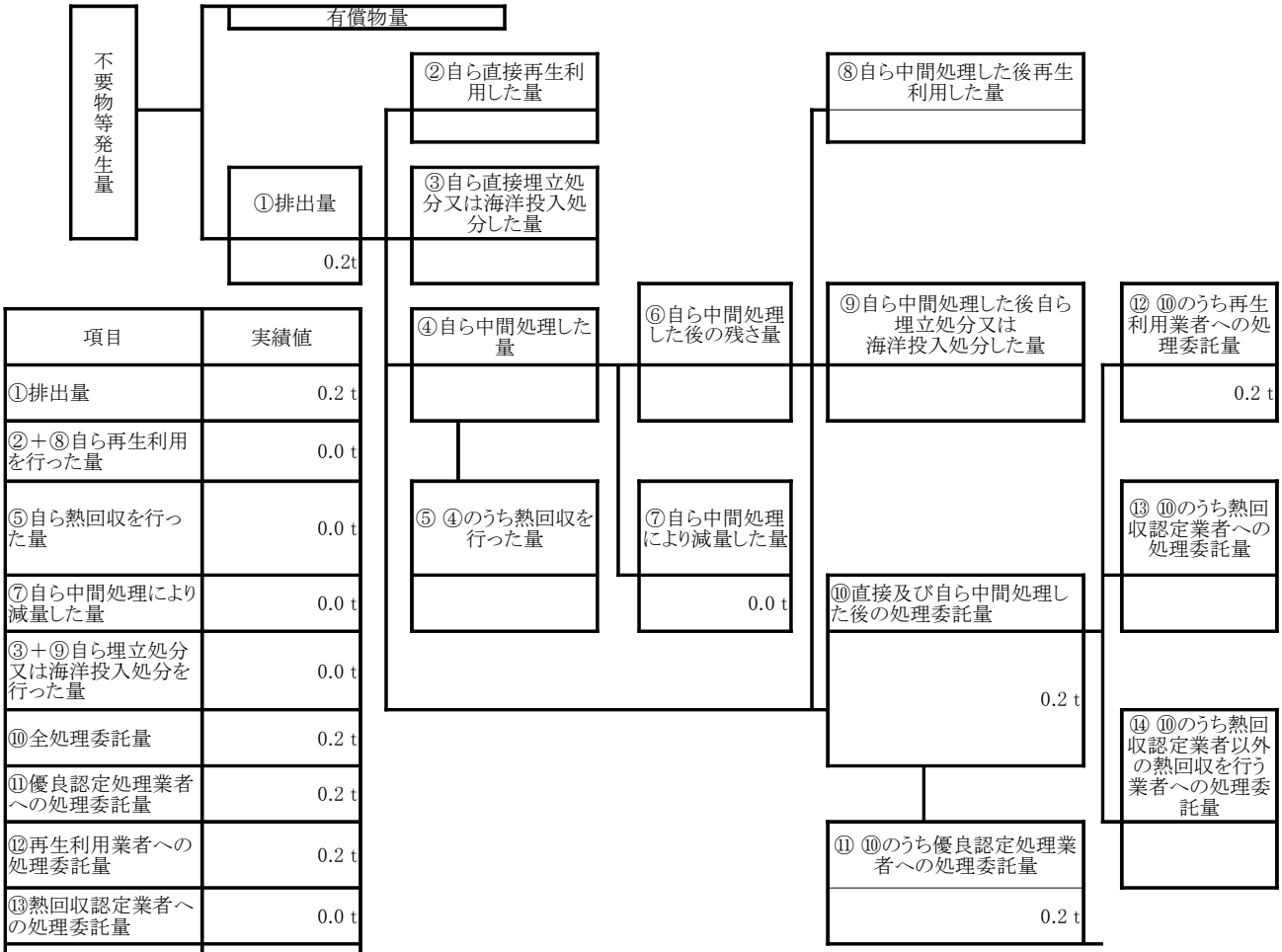


項目	実績値
①排出量	156.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	156.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	156.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	156.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（安定型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

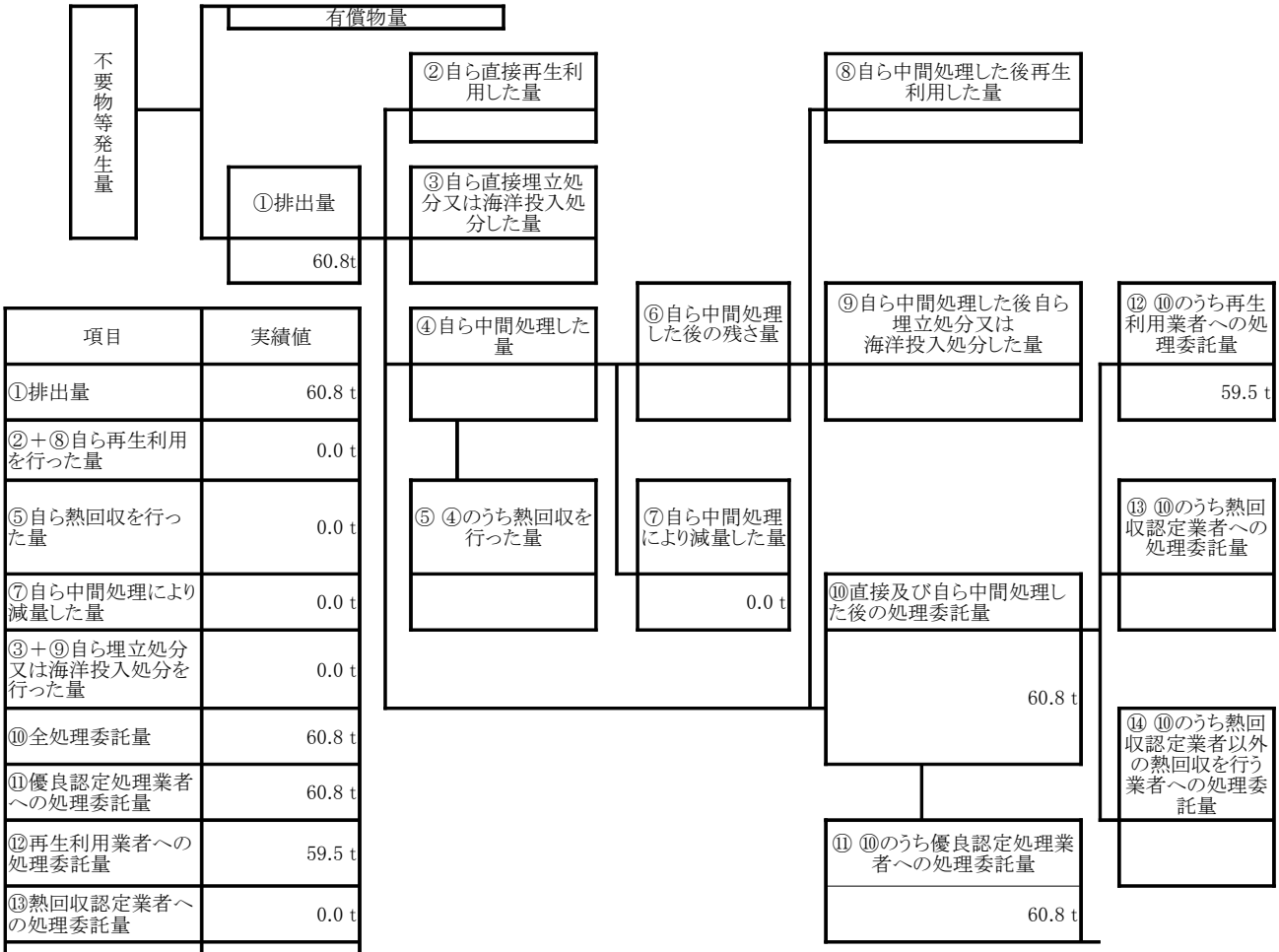


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	60.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	60.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	59.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月13日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒263-0002

住　所　千葉県千葉市稲毛区山王町418-1

氏　名　三英電業株式会社北関東支店千葉支社

支社長　　土井　隆史

電話番号　　043-423-7047

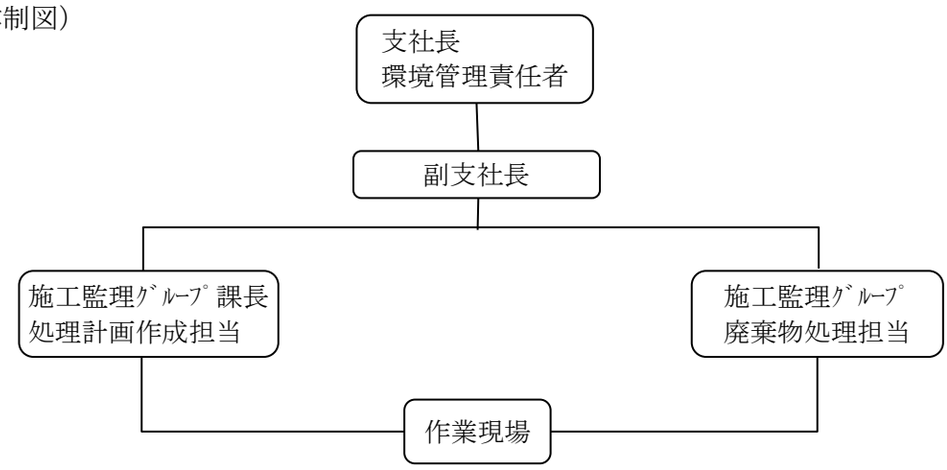
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三英電業株式会社北関東支店千葉支社
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区山王町４１８－１
計画期間	令7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類Ｄ：建設業　中分類０８：設備工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　１８億円
③　従業員数	７１人（正社員１６人・協力会社社員５５人）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	道路舗装壊し（ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら・コンクリートがら）→中間処理工場（破砕）→再生（ｱｽﾌｧﾙﾄ砕石・ｺﾝｸﾘｰﾄ砕石）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
	排出量	3099.79 t	t
	（これまでに実施した取組） ・設計書に従った適正施工 ・正確なカッター切りによる施工 ・道路舗装工事において切削オーバーレイ工法の提案による排出量の抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
	排出量	3000 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・各現場の事前調査の実施 ・道路舗装工事において切削オーバーレイ工法の提案による排出量の抑制		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
		全処理委託量	3099.79 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	3099.79 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 全数処理業者に委託し確実に処理している。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
		全処理委託量_	3000 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	3000 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 今後についても引き続き全数委託処理し、適切に再生利用いたします。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月19日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　263-0002

住所 千葉県千葉市稲毛区山王町418－1

法人名 三英電業株式会社北関東支店千葉支社

代表者 木内 敬

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-423-7047

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三英電業株式会社北関東支店千葉支社
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区山王町418-1
事業の種類	大分類　建設業　中分類 設備工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3000 t	全処理委託量	3000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

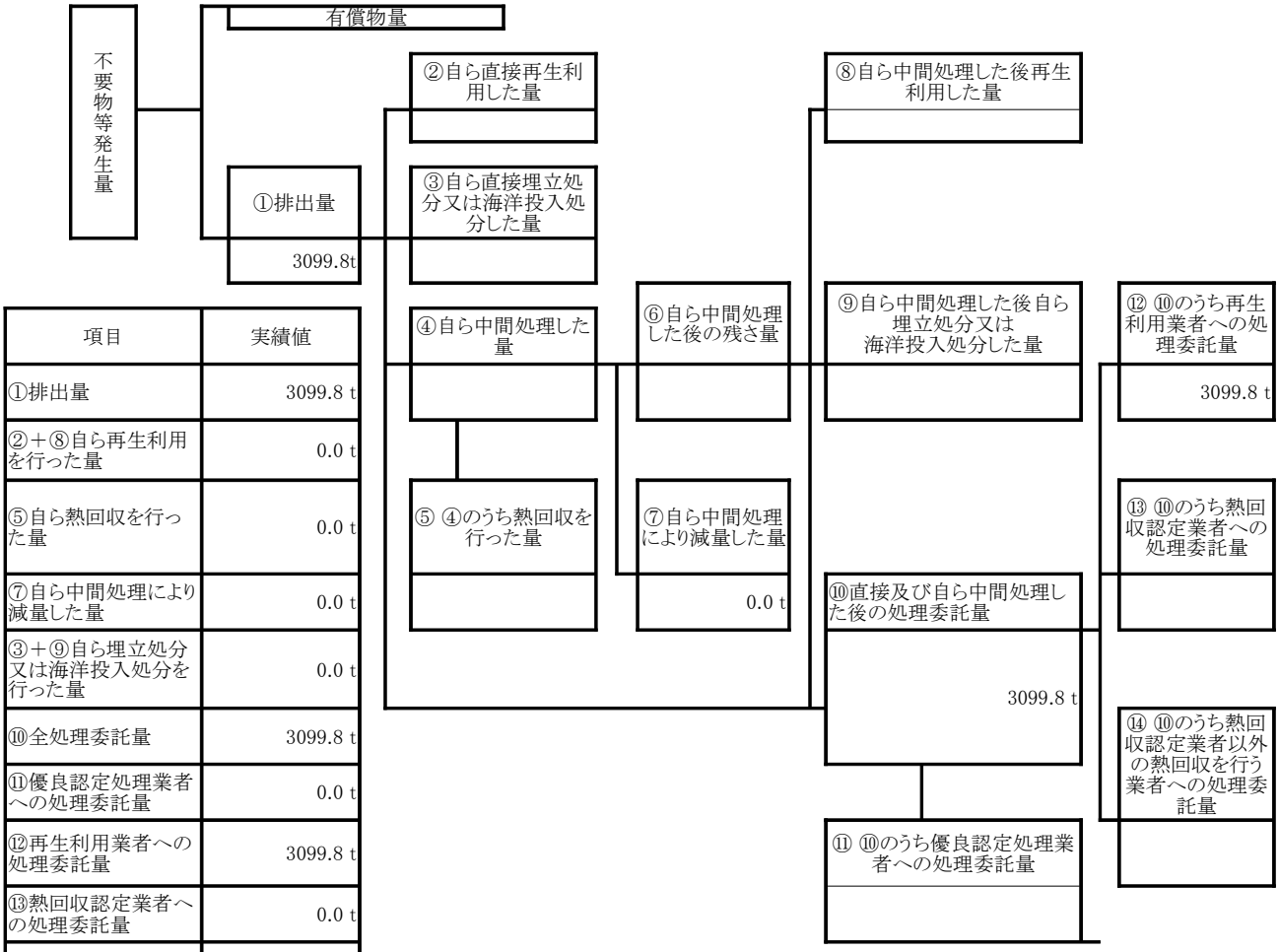
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	3099.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3099.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3099.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　６月２５日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒104-8506

住　所　東京都中央区明石町8-1

氏　名　代表取締役社長　　石田　博一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-6367-7065

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉県内各所の工事現場（千葉市、船橋市、柏市を除く）
事業場の所在地	〒104-8506 東京都中央区明石町8-1（主な現場：印西市）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D08－設備工事業
②　事業の規模	元請完成工事高 10,537百万円（税込）（前年度実績：千葉県分）
③　従業員数	2,100名（令和6年3月31日時点）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設混合廃棄物→選別→売却、再生、破砕、埋立 金属くず→選別→再生利用 ガラス陶磁器等くず→破砕→再利用 がれき類→破砕→再利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添「EMS実施体制図」のとおり
（このほかに施工現場ごとに現場責任者を設置している）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	（別紙のとおり）	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・廃棄物の分別回収と有償売却による再資源化の推進 ・簡易梱包や無梱包の推進 ・端材のリサイクル推進（鉄・銅など） ・社員教育 ・産業廃棄物発生抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	（別紙のとおり）	
	排出量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 上記の取り組みの継続と社員教育の充実		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 排出現場にて種類ごとに分別している。 種類ごとに収集運搬業者にて収集をしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 継続して排出現場にて種類ごとに分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	（別紙のとおり）	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	（別紙のとおり）	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	（別紙のとおり）	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	（別紙のとおり）	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	（別紙のとおり）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	（別紙のとおり）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	（別紙のとおり）	
全処理委託量＿	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

積極的に優良認定処理業者に処理を委託している。
金属くずについては、一部再生利用業者に処理を委託している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>（別紙のとおり）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量＿</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も積極的に優良認定処理業者に処理を委託し、端材のリサイクル推進（鉄・銅など）も行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
排　出　量	15.14 t	0.036 t	65.9 t	2385.936 t	17.1 t	1.48 t	4.8 t	3.31 t	48.75 t	11.77 t	77.33 t	0.061 t	0.002 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
排　出　量	13.626 t	0.0324 t	59.31 t	2147.3424 t	15.39 t	1.332 t	4.32 t	2.979 t	43.875 t	10.593 t	69.597 t	0.0549 t	0.0018 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

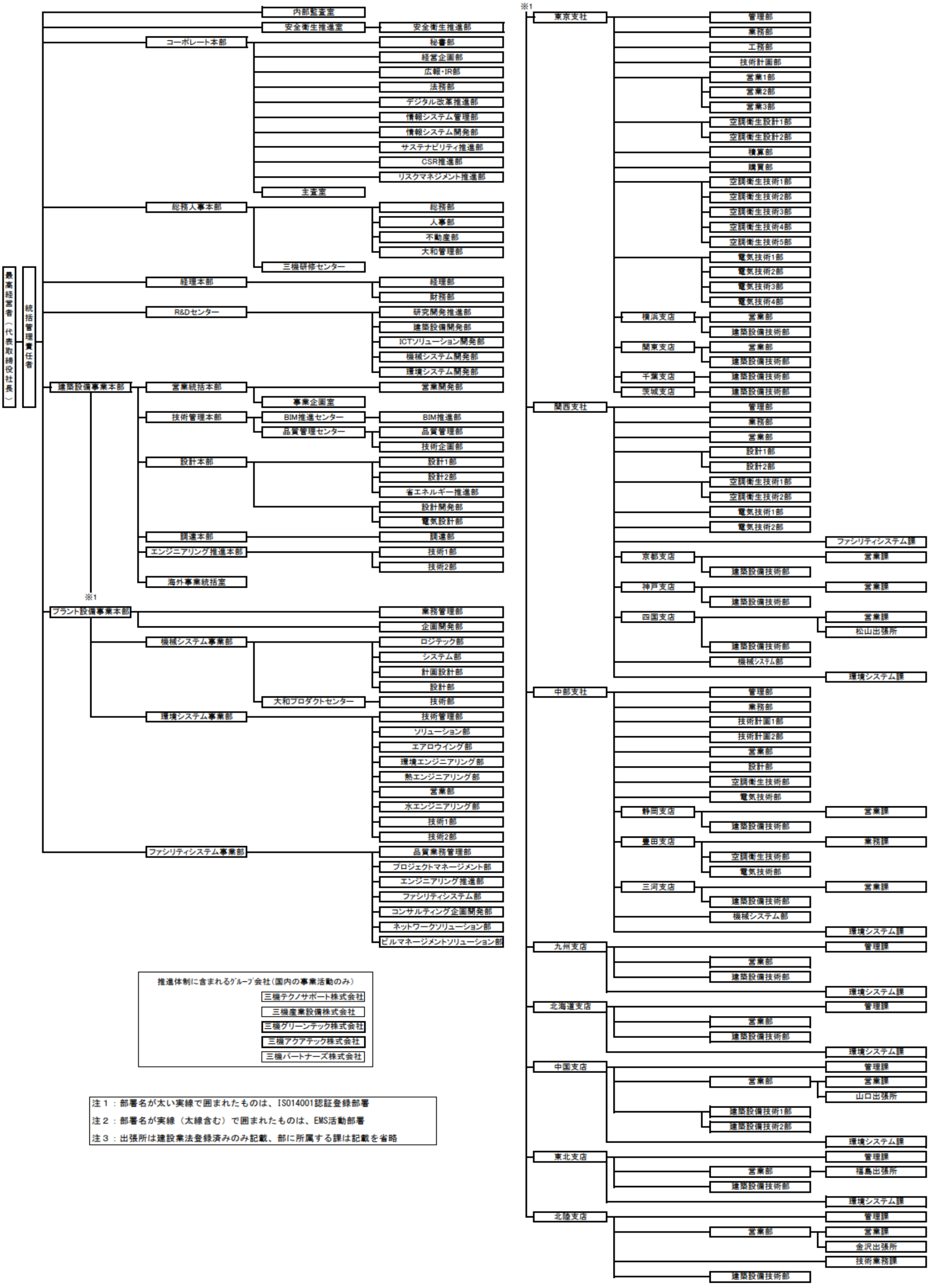
産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
全処理委託量	15.14 t	0.036 t	65.9 t	2385.936 t	17.1 t	1.48 t	4.8 t	3.31 t	48.75 t	11.77 t	77.33 t	0.061 t	0.002 t
優良認定処理業者への処理委託量	15.14 t	0 t	65.9 t	2338.25 t	0.6 t	1.48 t	0 t	3.31 t	48.75 t	11.77 t	52.89 t	0.061 t	0.002 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	42.375 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	廃電池類
全処理委託量	13.626 t	0.0324 t	59.31 t	2147.3424 t	15.39 t	1.332 t	4.32 t	2.979 t	43.875 t	10.593 t	69.597 t	0.0549 t	0.0018 t
優良認定処理業者への処理委託量	13.626 t	0 t	59.31 t	2104.425 t	0.54 t	1.332 t	0 t	2.979 t	43.875 t	10.593 t	47.601 t	0.0549 t	0.0018 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	38.1375 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

図―2　ＥＭＳ実施体制図（2025年4月1日 現在）



注１：部署名が太い実線で囲まれたものは、ISO14001認証登録部署
注２：部署名が実線（太線含む）で囲まれたものは、EMS活動部署
注３：出張所は建設業法登録済みのみ記載、部に所属する課は記載を省略

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-1141

住　所　千葉県君津市君津1番地　日本製鉄㈱構内

氏　名　山九株式会社　E&M第1事業部　設備土建部　東日本事業所
事業所長　佐々木　敬蔵

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0439-52-0411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山九株式会社　E&M第1事業部　設備土建部　東日本事業所
事業場の所在地	千葉県君津市君津1番地　日本製鉄㈱構内
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	44億5400万円
③　従業員数	47名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1の通り

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙-2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙3-3項の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙3-3項の継続実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙3-4項の通り
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙3-4項の通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載の通り	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 別紙3-5項の通り		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載の通り	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙3-5項の通り		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載の通り	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 同処理は行っていない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載の通り	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 同処理は行っていない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙記載の通り	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 同処理は行っていない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙記載の通り	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 同処理は行っていない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙記載の通り	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 別紙3-6項の通り		

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>別紙記載の通り</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙3-6項の通り</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

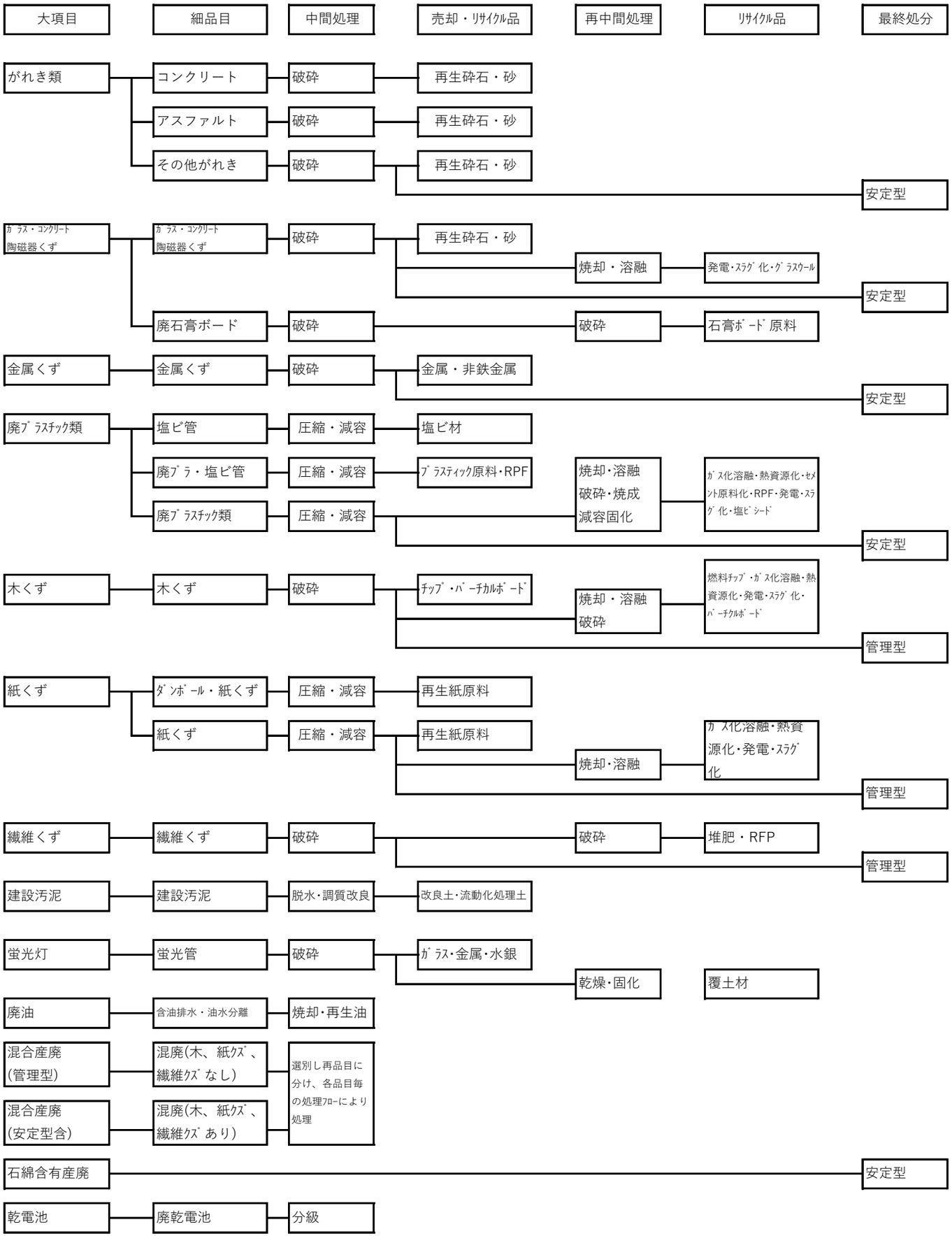
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

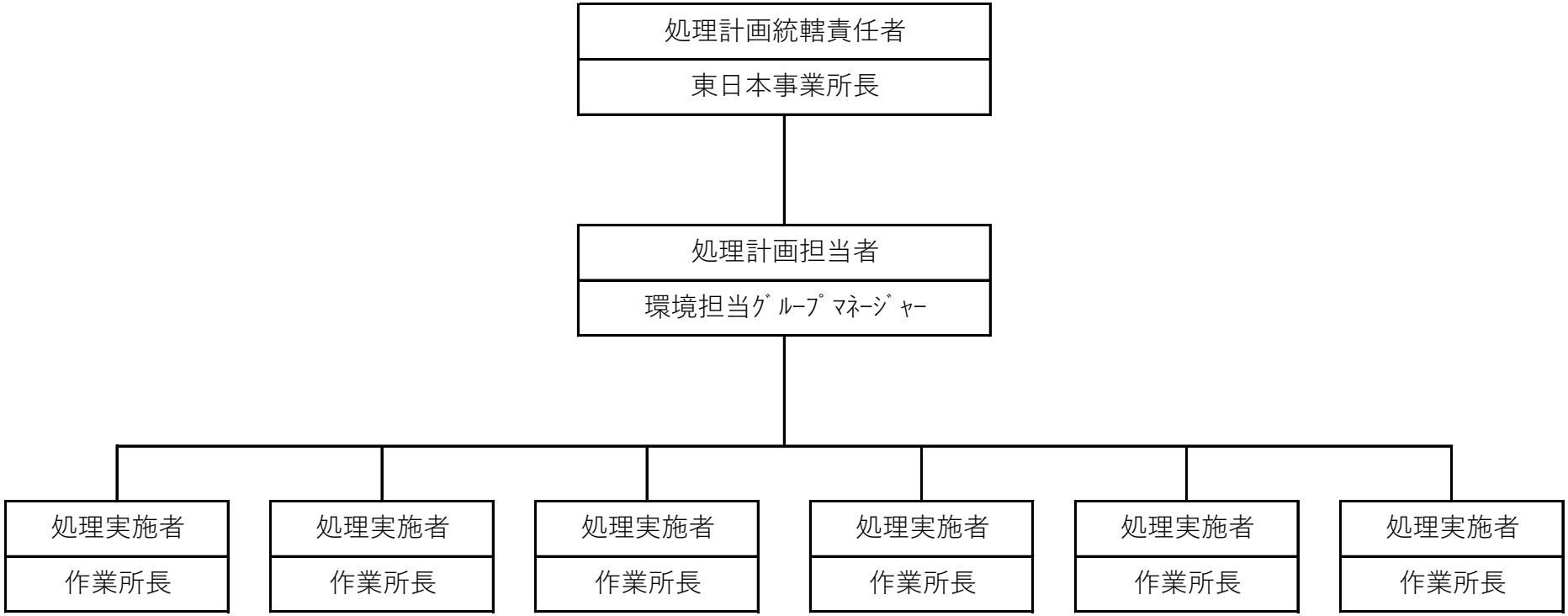
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙－1


大項目
細品目
中間処理
売却・ﾘｻｲｸﾙ品
再中間処理
ﾘｻｲｸﾙ品
最終処分
がれき類
コンクリート
破砕
再生砕石・砂
アスファルト
破砕
再生砕石・砂
その他がれき
破砕
再生砕石・砂
安定型
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ
陶磁器くず
ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ
陶磁器くず
破砕
再生砕石・砂
焼却・溶融
発電・ｽﾗｸﾞ化・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ
安定型
廃石膏ボード
破砕
破砕
石膏ﾎﾞｰﾄﾞ原料
金属くず
金属くず
破砕
金属・非鉄金属
安定型
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
塩ビ管
圧縮・減容
塩ビ材
廃ﾌﾟﾗ・塩ビ管
圧縮・減容
ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ原料・RPF
焼却・溶融
破砕・焼成
減容固化
ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・ｾﾒﾝﾄ原料化・RPF・発電・ｽﾗｸﾞ化・塩ﾋﾞｼｰﾄﾞ
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類
圧縮・減容
安定型
木くず
木くず
破砕
ﾁｯﾌﾟ・ﾊﾞｰﾁｶﾙﾎﾞｰﾄﾞ
焼却・溶融
破砕
燃料ﾁｯﾌﾟ・ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化・ﾊﾞｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
管理型
紙くず
ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ・紙くず
圧縮・減容
再生紙原料
紙くず
圧縮・減容
再生紙原料
焼却・溶融
ｶﾞｽ化溶融・熱資源化・発電・ｽﾗｸﾞ化
管理型
繊維くず
繊維くず
破砕
破砕
堆肥・RFP
管理型
建設汚泥
建設汚泥
脱水・調質改良
改良土・流動化処理土
蛍光灯
蛍光管
破砕
ｶﾞﾗｽ・金属・水銀
乾燥・固化
覆土材
廃油
含油排水・油水分離
焼却・再生油
混合産廃
(管理型)
混廃(木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞなし)
選別し再品目に分け、各品目毎の処理ﾌﾛｰにより処理
混合産廃
(安定型含)
混廃(木、紙ｸｽﾞ、繊維ｸｽﾞあり)
石綿含有産廃
安定型
乾電池
廃乾電池
分級

別紙－2


処理計画統轄責任者
東日本事業所長
処理計画担当者
環境担当ｸﾞﾙｰﾌﾟﾏﾈｰｼﾞｬｰ
処理実施者
作業所長
処理実施者
作業所長
処理実施者
作業所長
処理実施者
作業所長
処理実施者
作業所長
処理実施者
作業所長

別紙

<table>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="3">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td><td>ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>4.1t</td><td>1090.6t</td><td>727.6t</td><td>588.0t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td><td>ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>3.0t</td><td>1000.0t</td><td>650.0t</td><td>500.0t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="7">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（2024年度）実績】

産業廃棄物の種類		木くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	がれき類
全処理委託量		4.1t	1090.6t	727.6t	588.0t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.1t	130.4t	0.0t	4.4t
	再生利用業者への処理委託量	4.1t	1090.6t	727.6t	583.6t
	認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－	－
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="6">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td><td>ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td><td>がれき類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>3.0t</td><td>1000.0t</td><td>650.0t</td><td>500.0t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>3.0t</td><td>300.0t</td><td>200.0t</td><td>200.0t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>3.0t</td><td>1000.0t</td><td>650.0t</td><td>500.0t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0t</td><td>0.0t</td><td>0.0t</td><td>0.0t</td></tr>
<tr><td colspan="6">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

別紙

<table>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="3">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類（石綿含有）</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td><td>管理型混合廃棄物</td><td>石膏ボード</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>7.4</td><td>0.5t</td><td>125.5t</td><td>2.6t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類（石綿含有）</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td><td>管理型混合廃棄物</td><td>石膏ボード</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>6.0t</td><td>0.5t</td><td>110.0t</td><td>2.0t</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="7">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（2024年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	管理型混合廃棄物	石膏ボード
全処理委託量	7.4t	0.5t	125.5t	2.6t
優良認定処理業者への処理委託量	7.4t	0.5t	125.5t	2.6t
再生利用業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－	－
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

（これまでに実施した取組）

	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類		がれき類（石綿含有）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	管理型混合廃棄物	石膏ボード
		全処理委託量		6.0t	0.5t	110.0t	2.0t
			優良認定処理業者への処理委託量	6.0t	0.5t	110.0t	2.0t
			再生利用業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
			認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－	－
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
		（今後実施する予定の取組）					

別紙

<table>
<tr><td colspan="7">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="3">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>乾電池</td><td>以下余白</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0.1t</td><td>0.1t</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>乾電池</td><td>以下余白</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0.1t</td><td>0.1t</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="7">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="5">【前年度（2024 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（2024年度）実績】

産業廃棄物の種類		廃油	乾電池	以下余白	
全処理委託量		0.1t	0.1t		
	優良認定処理業者への処理委託量	0.1t	0.1t		
	再生利用業者への処理委託量	0.0t	0.0t		
	認定熱回収業者への処理委託量	－	－		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t		

（これまでに実施した取組）

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="6">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>乾電池</td><td>以下余白</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>0.1t</td><td>0.1t</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.1t</td><td>0.1t</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.0t</td><td>0.0t</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－</td><td>－</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0t</td><td>0.0t</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

別紙－３

取組の現状（継続しての実施事項）

１．管理体制等の強化

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行っている。

１）　建設廃棄物の分別・ﾘｻｲｸﾙ等に関する環境目標の設定
２）　産業廃棄物の処理に関する手順の策定
３）　作業所毎の法規制等ﾁｪｯｸﾘｽﾄによる関係法令の遵守
４）　計画的な内部環境監査及び環境ﾊﾟﾄﾛｰﾙの実施
５）　外部環境監査による指摘と是正（再発防止含む）
６）　年度ごとの見直しを行い、継続的な改善を図る。
７）　協力会で行なう環境ﾊﾟﾄﾛｰﾙによる指摘業者への指導
８）　職長会による分別指導

２．教育

環境マネジメントシステムに基づき、下記事項を行っている。

１）　社員教育

①環境問題の概要
②環境方針を遵守することの重要性
③各業務が実際に又は、潜在的に持つ著しい環境への影響、環境管理改善への便益
④指定された環境に関する標準、要領・手順を逸脱した場合に予想される結果
⑤廃掃法はじめ、関連法改正を含めた最新環境情報の伝達
※全従業員を対象に定期的に集合教育（OFF.J.T）を行う。受講できなかった者に対しては別途教育を実施し、作業所は作業所長がO.J.Tを実施する。

２）　専門工事業者教育

①作業所毎、新規入場者教育時に作業所環境目標、実施手順に係る教育を実施
②作業所へ作業員を送出す際に当社作成の環境教育資料を基に環境教育を実施
③協力会組織の環境委員会活動により専門工事業者会員の環境意識の向上を図る。

３．産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

施工計画時において下記事項を検討し、実施可能な目標を採用している。

・建設資材のﾌﾟﾚｷｬｽﾄ化等による廃材発生の削減
・搬入資機材の梱包材の削減
・工法変更による廃材の抑制
・資材の転用　その他

４．産業廃棄物の分別に関する事項

当社の副産物処理要領書に則り、作業所において分別計画を立て実施する。

計画の策定に当たっては、地域の産業廃棄物中間処理施設、ﾘｻｲｸﾙ施設等の分別品目の受入れ条件を十分考慮する。

５．産業廃棄物の再生利用に関する事項

建設ﾘｻｲｸﾙ法等関係法令を遵守し、作業所毎に再生資源利用(促進)計画を策定し、実施の記録を保管する。

ｸﾞﾘｰﾝ購入標準、ｸﾞﾘｰﾝ調達ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づく環境配慮品の採用

６．産業廃棄物の処理に関する事項

廃掃法及び当社の副産物処理要領書に則り、保管基準、処理基準、委託基準を遵守する。特に注力する事項を下記に示す。

１）　当社書式による委託契約書の作成・保管

２）　電子マニュフェスト化を積極的に展開し普及率を把握(毎月)し向上を図る。

３）　事業所における作業所の廃棄物処理状況の把握

作業所は、搬出実績を安全環境ｸﾞﾙｰﾌﾟに報告し、入力依頼を行う。

安全環境ｸﾞﾙｰﾌﾟはﾃﾞｰﾀ入力の上、厳格管理・指導を行う。

作業所は、入力ﾃﾞｰﾀの確認及び現場保管を行う。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　25日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-1141
住　所　千葉県君津市君津1番地　日本製鉄㈱構内
氏　名　山九㈱　E&M第1事業部　設備土建部　東日本事業所
事業所長　佐々木　敬蔵
電話番号 0439-52-0411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	山九株式会社　E&M第1事業部　設備土建部　東日本事業所
事業場の所在地	千葉県君津市君津1番地　日本製鉄㈱構内
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

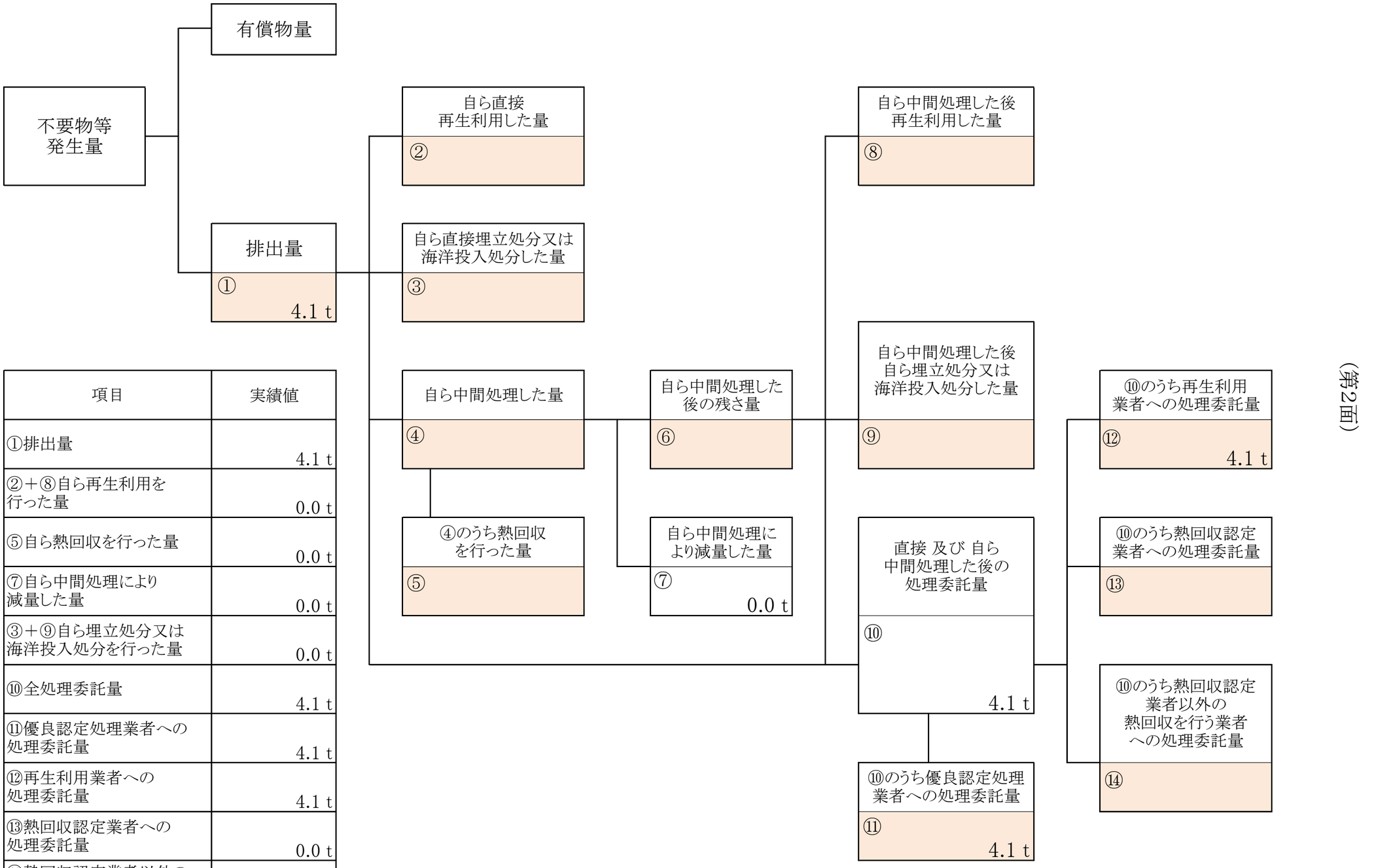
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2661.8ｔ	全処理委託量	2661.8ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	555.6ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	2339.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

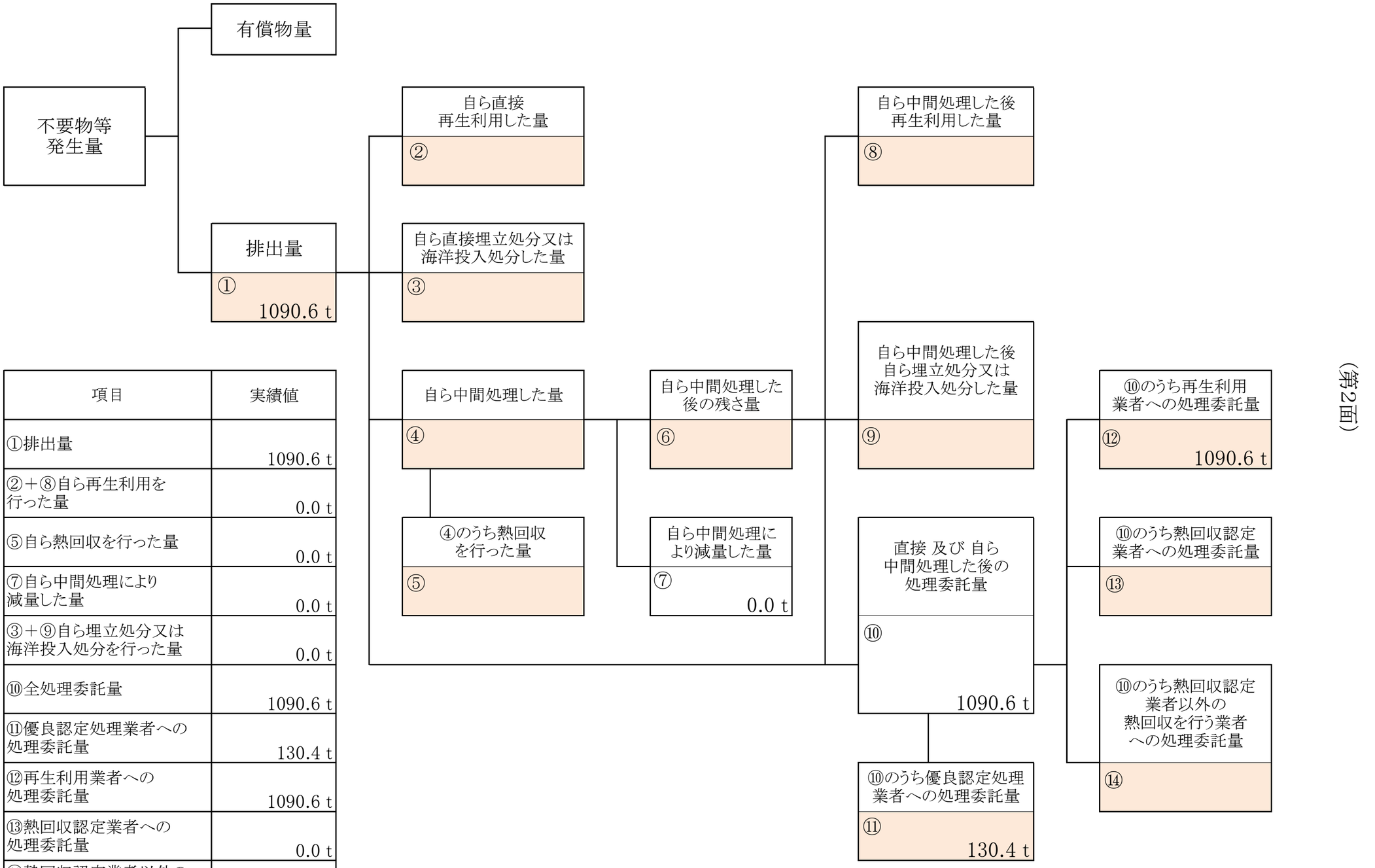


項目	実績値
①排出量	4.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

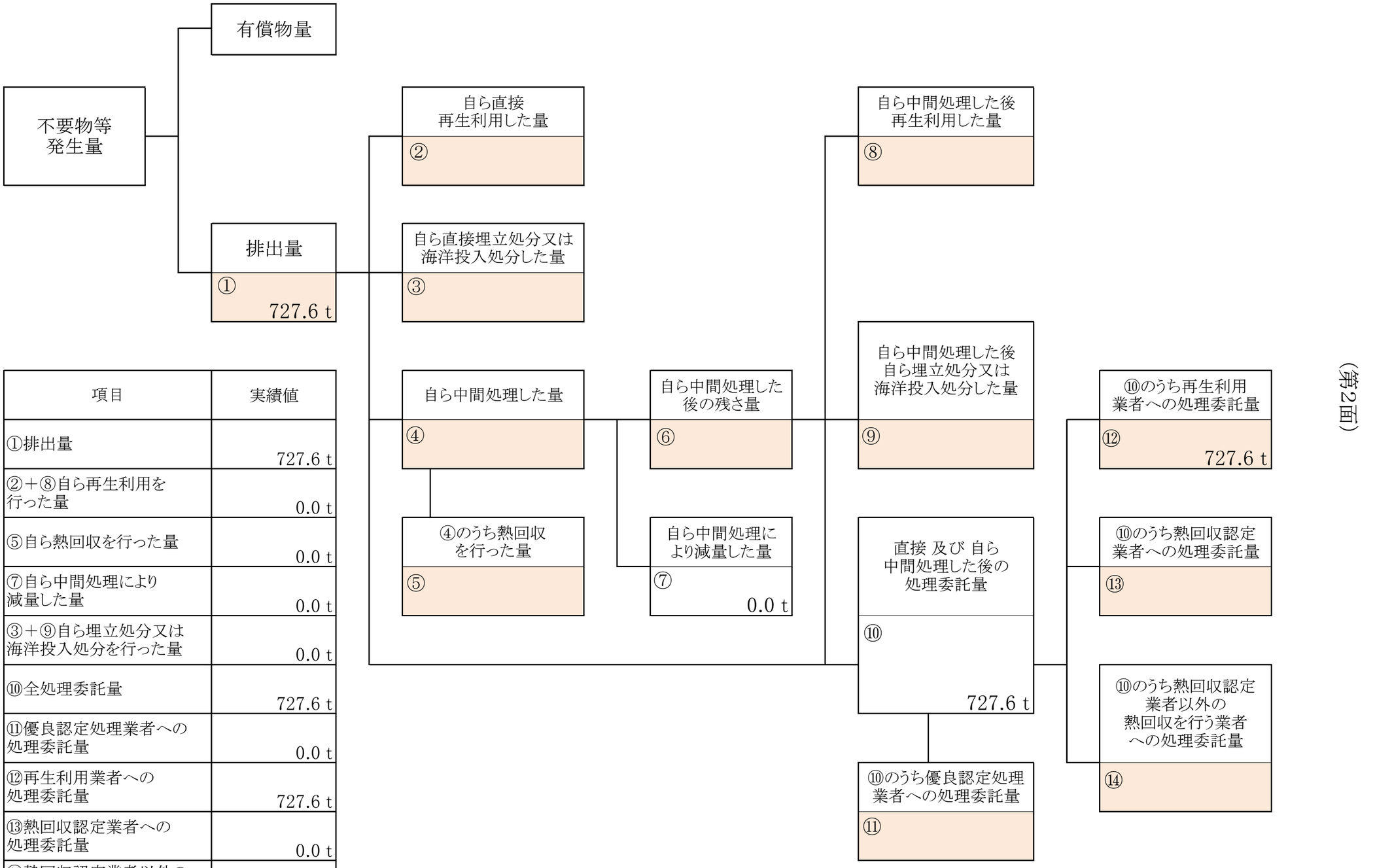


項目	実績値
①排出量	1090.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1090.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	130.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1090.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

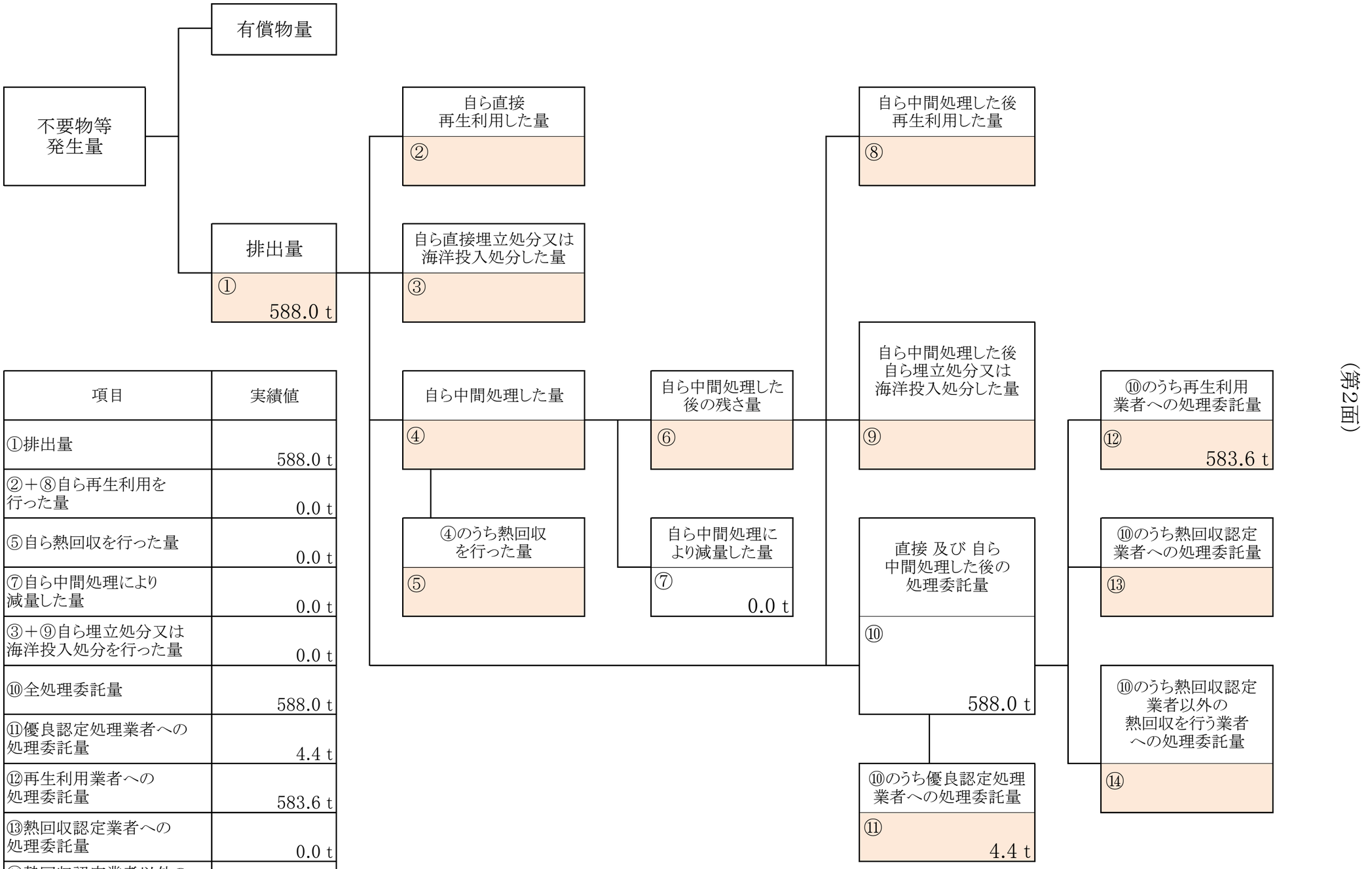


項目	実績値
①排出量	727.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	727.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	727.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

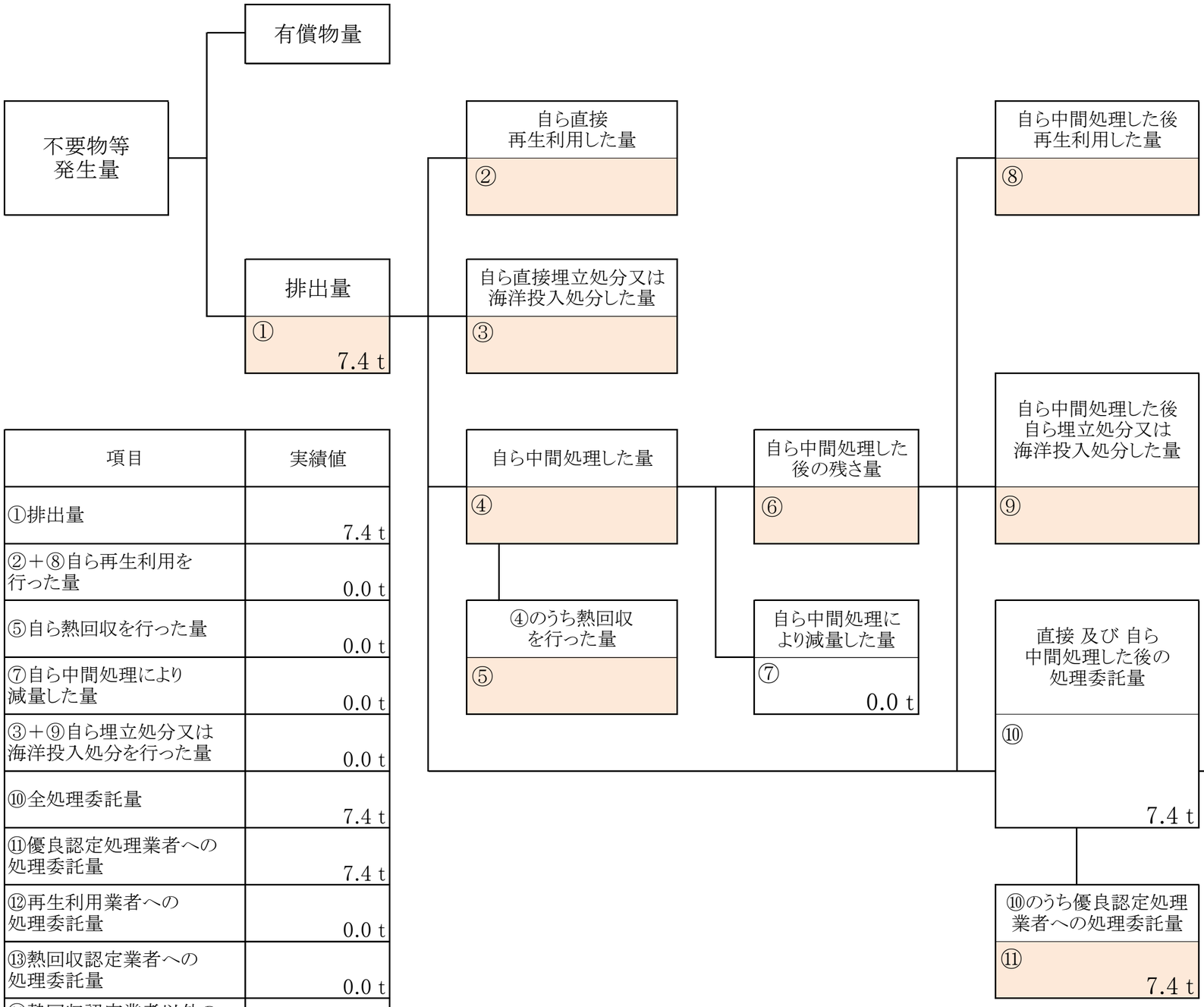


項目	実績値
①排出量	588.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	588.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	583.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（石綿含有）**）

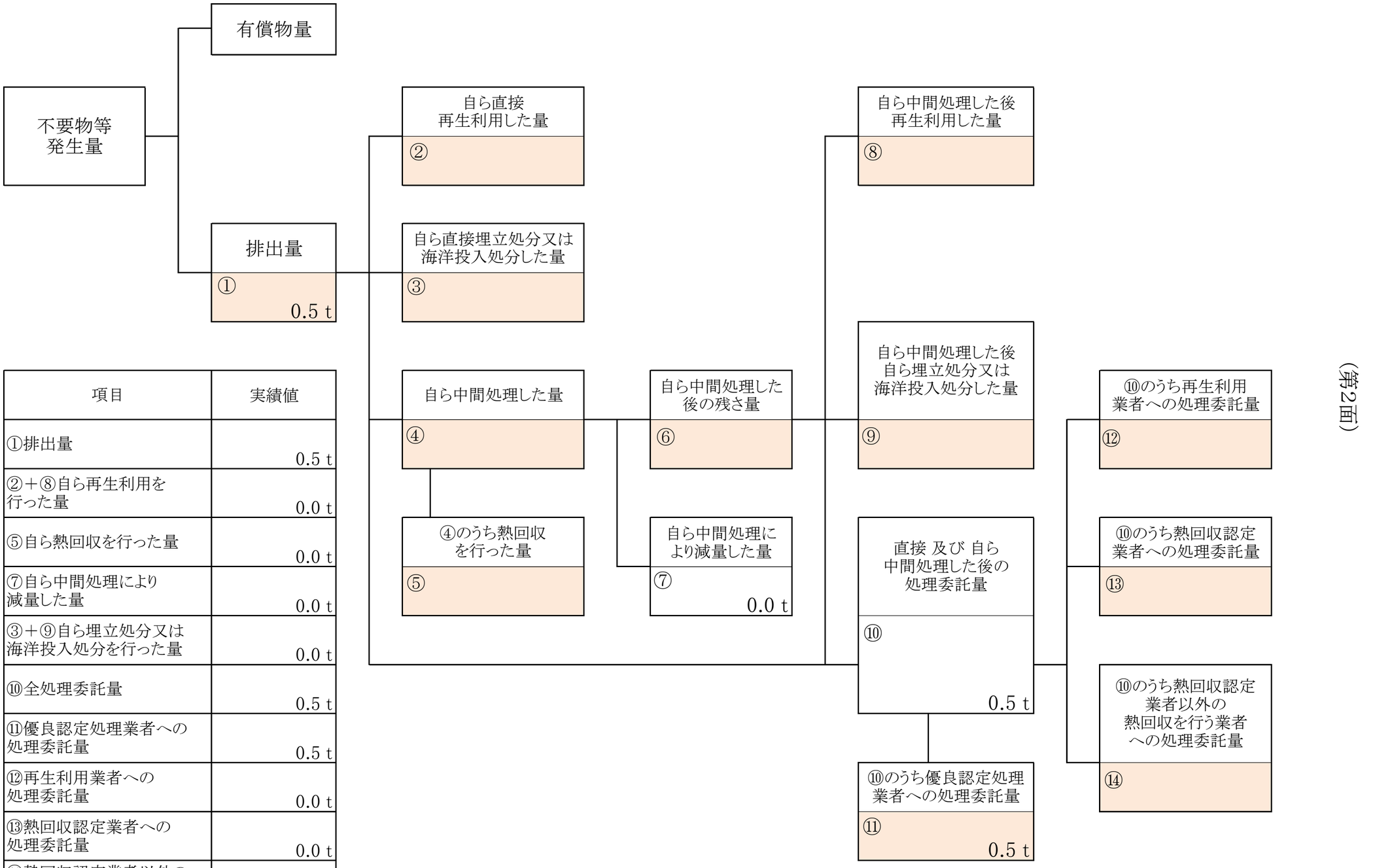


項目	実績値
①排出量	7.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

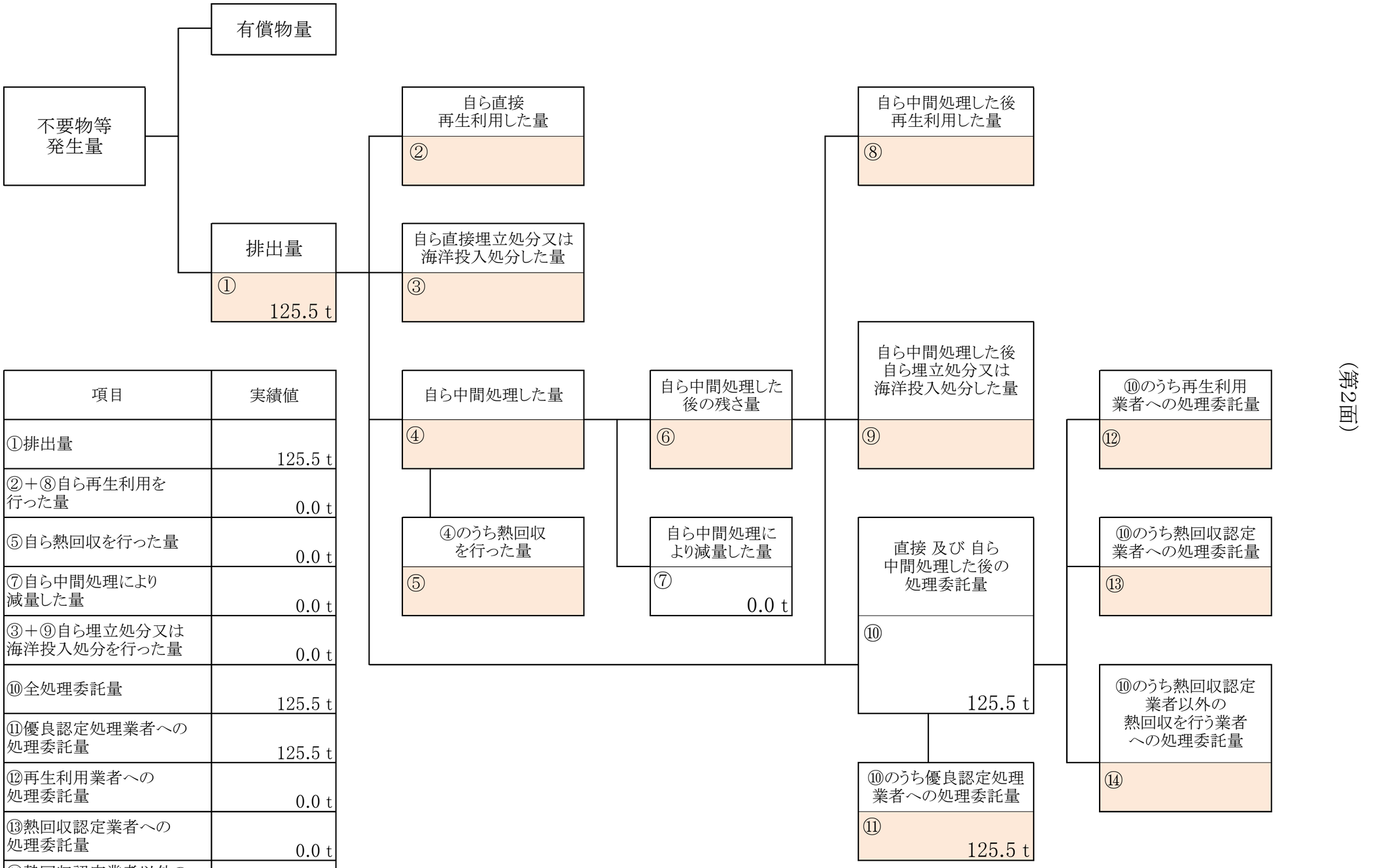


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混合廃棄物**）

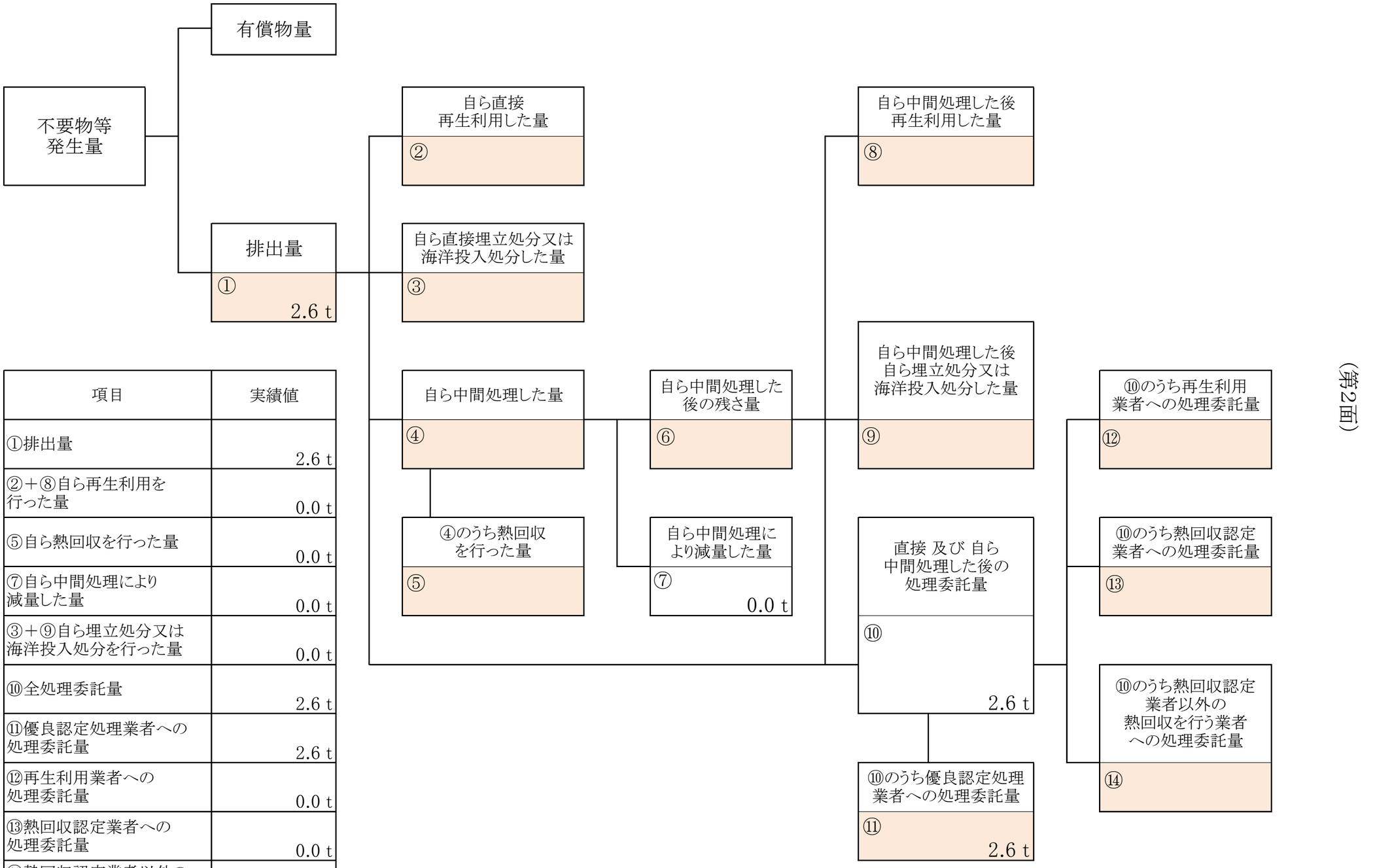


項目	実績値
①排出量	125.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	125.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	125.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石膏ボード**）

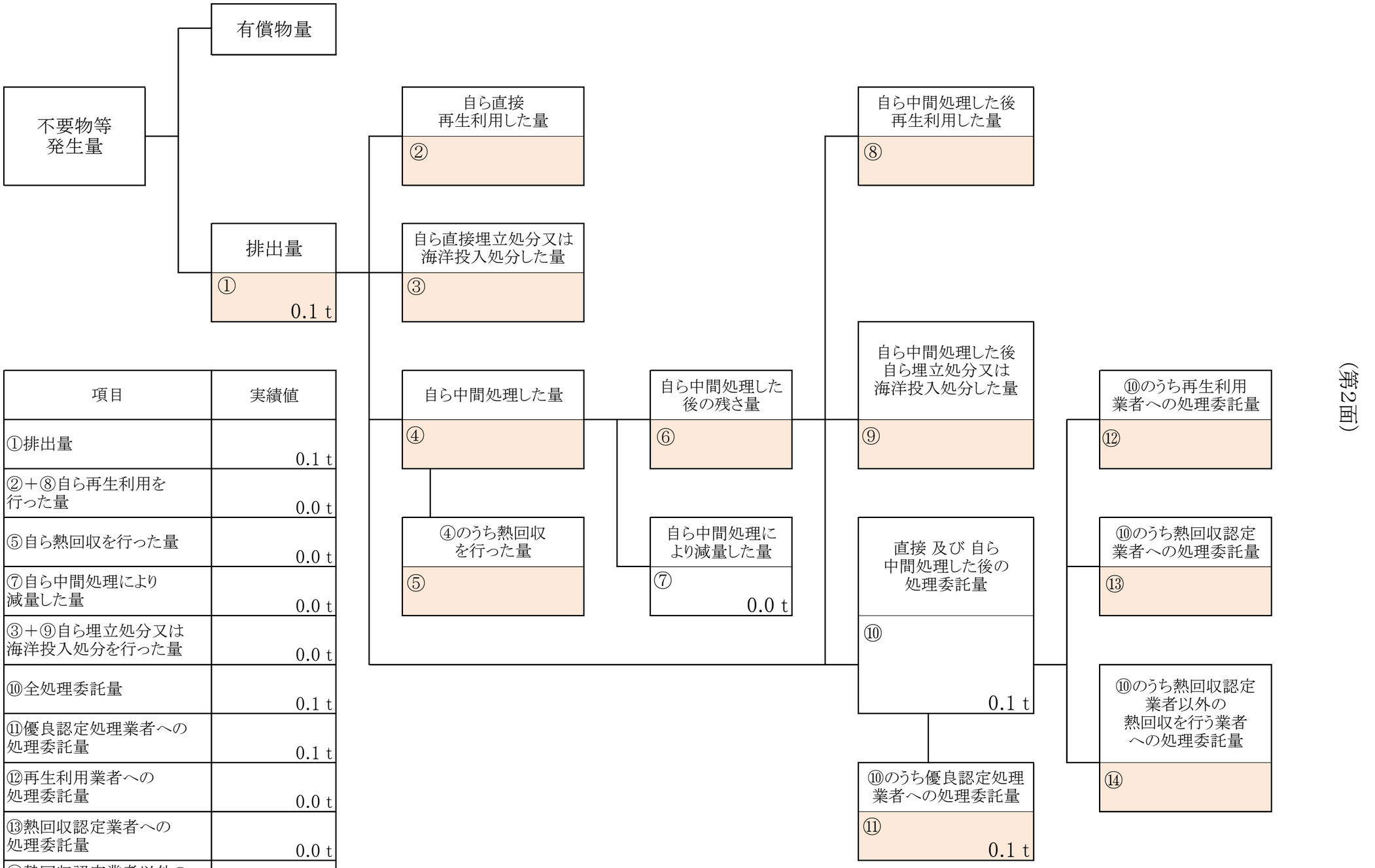


項目	実績値
①排出量	2.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

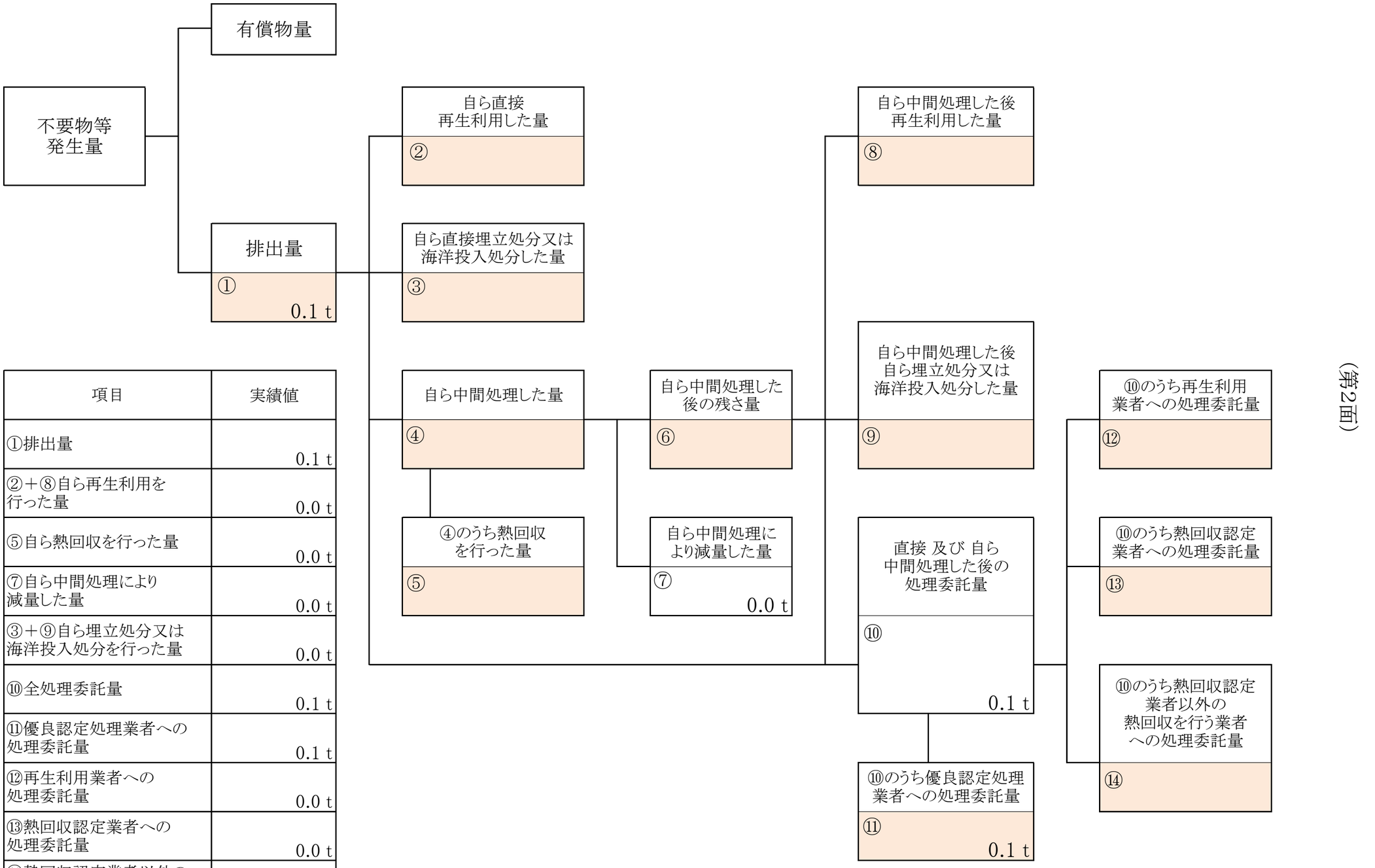


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**乾電池**）



項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

正

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年7月2日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

君津
地域振興事務所
-7.7.-2
収受

提出者　〒299-8539
住所　木更津市畑沢1-12-14
氏名　山九株式会社　君津支店
支店長　森井　規安
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0438-37-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	山九株式会社 君津支店 コークス炉プロジェクト
事業場の所在地	千葉県君津市君津1番地
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

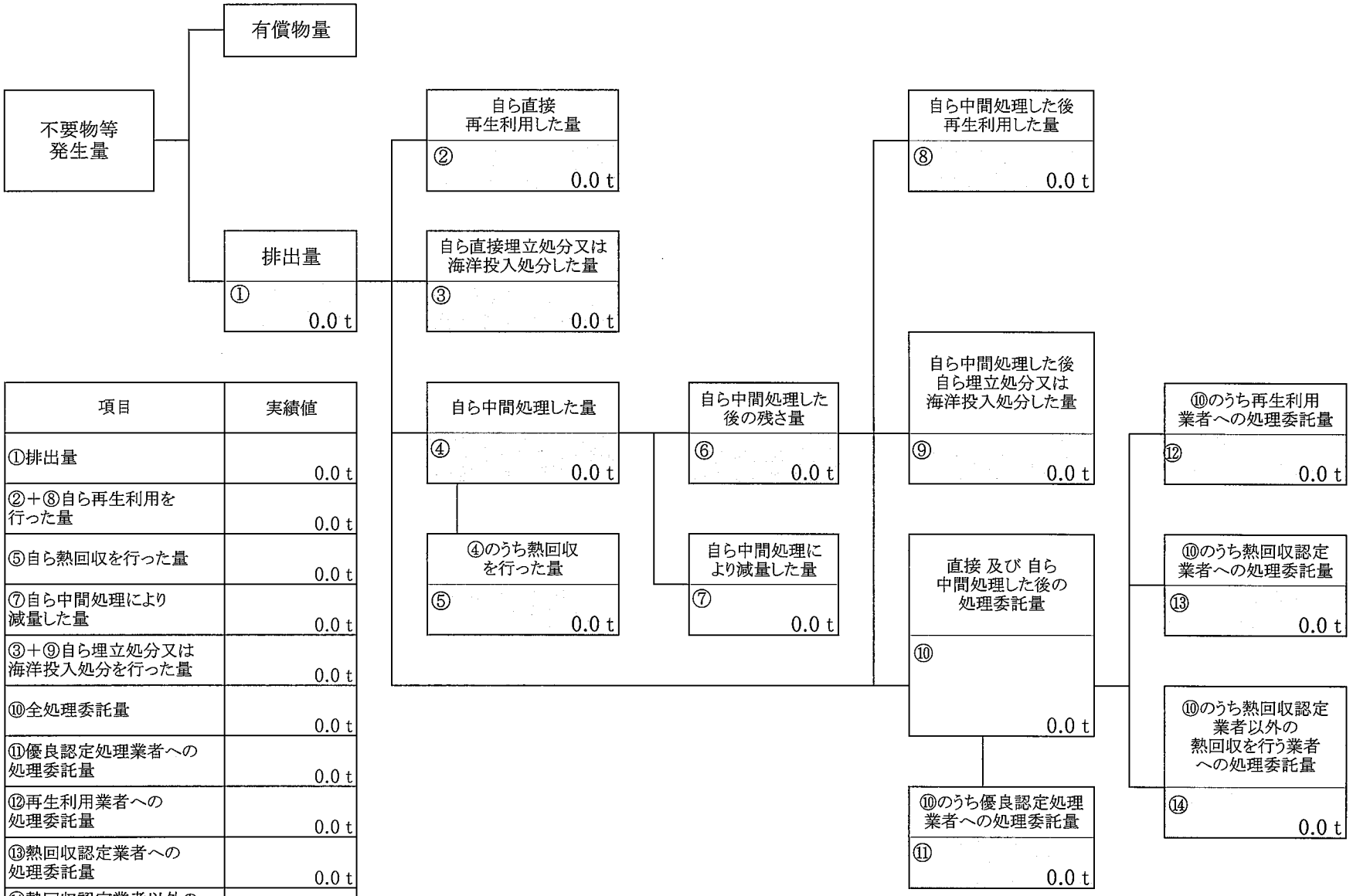
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0.0ｔ	全処理委託量	0.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

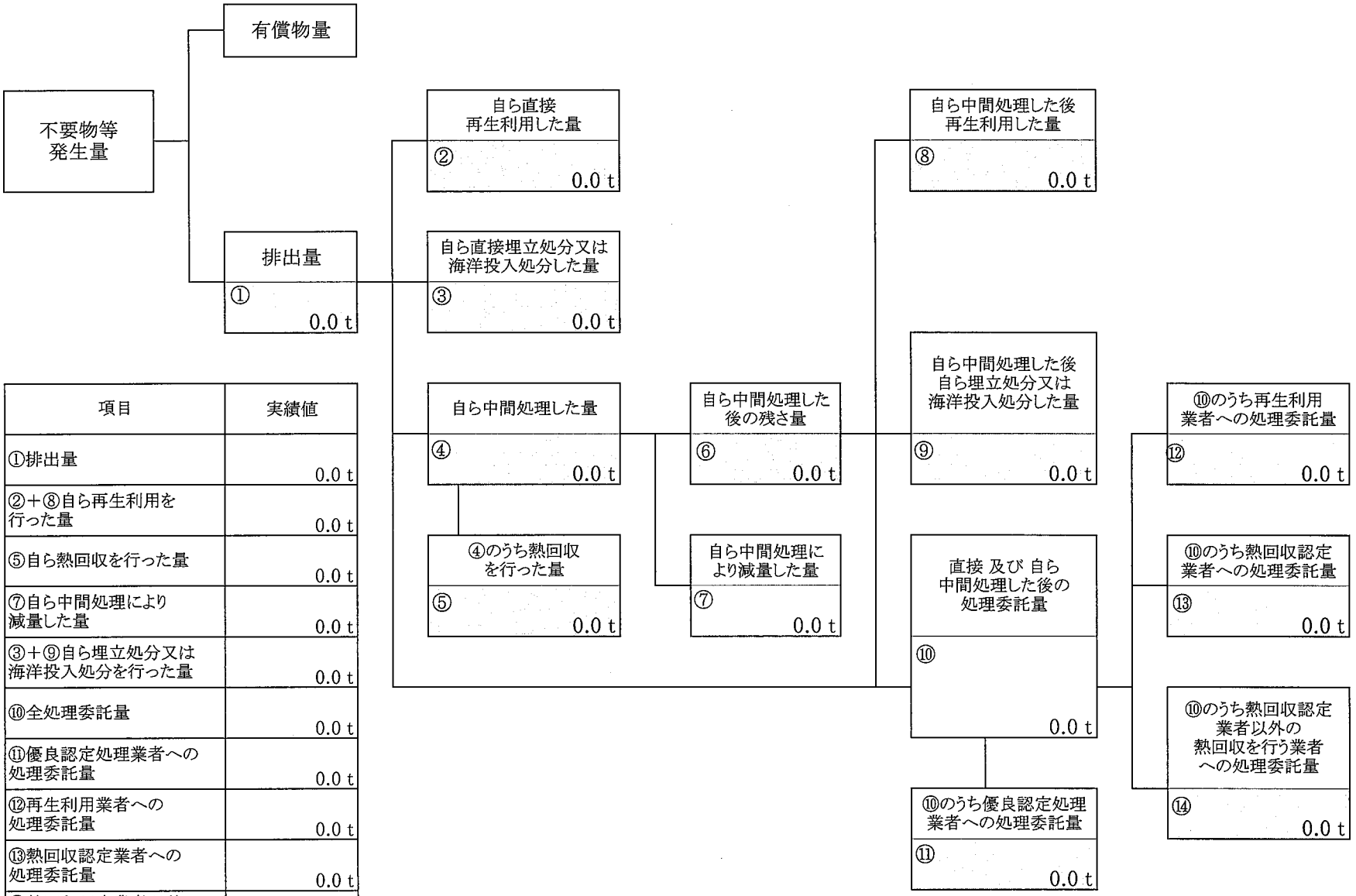


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 24日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒290-0059

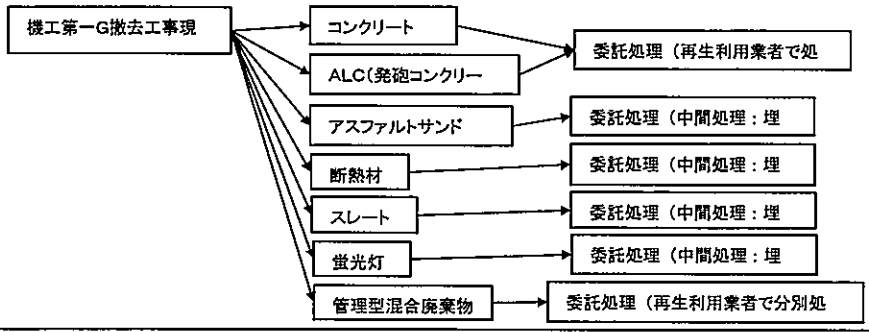
住 所 千葉県市原市白金町4丁目63番地

氏 名 山九株式会社 千葉支店

支店長 坂西 明良

電話番号 0436-21-1151

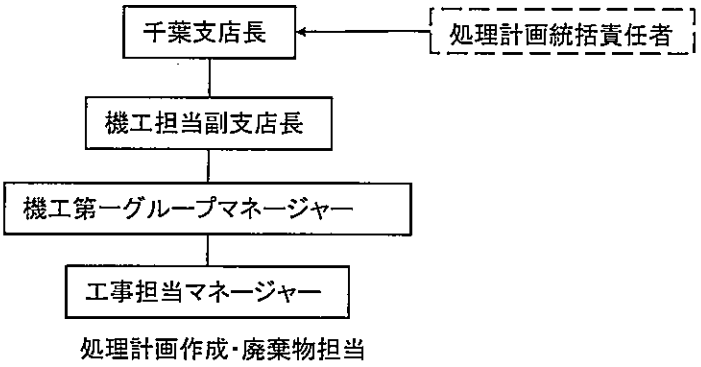
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	建設業：山九株式会社千葉支店機工第一グループ
事業場の所在地	〒299-0107 建設業：千葉県市原市姉崎海岸2-1出光興産（株）千葉事業所
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 9億5,120万円
③ 従業員数	75人（正社員 6人、派遣社員 4人、臨時協力会社社員 65人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
	排出量	7865.6 t	168.7 t
	（これまでに実施した取組） 委託業者により再利用を実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
	排出量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） プラント撤去工事完了後予定なし。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 委託業者により再利用を実施。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） プラント撤去工事完了後予定なし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら行う再利用はなし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
プラント撤去工事完了後予定なし。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら行う中間処理はなし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
プラント撤去工事完了後予定なし。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら行う埋立はなし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
プラント撤去工事完了後予定なし。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
全処理委託量	7865.6 t	168.7 t
優良認定処理業者への処理委託量	7865.6 t	168.7 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
委託業者による再利用が可能な廃棄物は、全量再利用を実施する。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類_		コンクリート	ＡＬＣ（発砲コンクリート）
		全処理委託量_		0 t	0 t
			優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
			再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
			認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組） プラント撤去工事後予定なし。			
※事務処理欄					

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
		排　出　量	94.3 t	6.7 t	13.3 t	0.03 t	158.2 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	スファルトサン	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
		排　出　量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
	全処理委託量	94.3 t	6.7 t	13.3 t	0.03 t	158.2 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	94.3 t	6.7 t	13.3 t	0.03 t	158.2 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルトサンド	断熱材	スレート	蛍光灯	混合廃棄物			
	全処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第１面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和７年 6月 24日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者〒290-0059

住　所　千葉県市原市白金町4丁目63番地

氏　名　山九株式会社 千葉支店

支店長　坂西 明良

電話番号　　0436-21-1151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山九株式会社千葉支店機工第一グループ 出光興産株式会社千葉事業所１ＰＰ装置上物撤去工事
事業場の所在地	〒299-0107 建設業：千葉県市原市姉崎海岸2-1出光興産（株）千葉事業所
計画期間	令和７年4月1日から令和８年3月31日まで

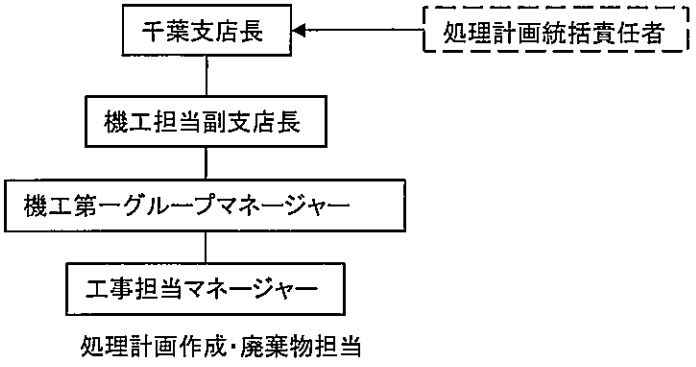
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　9億5,120万円
③従業員数	75人（正社員 6人、派遣社員 4人、臨時協力会社社員 65人）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事　アスベス　→　委託処理 最終処分　：　埋立

(日本産業規格　A列４番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
	排　出　量	341.1　t	t
	（これまでに実施した取組） 発生する廃棄物は再利用できる品目ではないため、実績はない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
	排　出　量	0　t	t
	（今後実施する予定の取組） プラント撤去工事の予定なし。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別はなし。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） プラント撤去工事の予定なし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）
発生する廃棄物は再利用できる品目ではないため、実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）
プラント撤去工事の予定なし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）
発生する廃棄物は最終処分として埋立を行いことから、実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組 ）
プラント撤去工事の予定なし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）
委託業者により埋立を実施することから、自ら埋立は行わない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）
プラント撤去工事の予定なし。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
全処理委託量	341.1 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	341.1 t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）
発生する廃棄物は再利用できる品目ではないため、実績はない。

	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	アスベスト	
		全処理委託量	0 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） プラント撤去工事の予定なし。		
電子情報処理組織の使用に関する事項		【前年度（令和６年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	341.1 t	
		（今後実施する予定の取組等） 電子マニフェスト導入済。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和７年 6月 17日

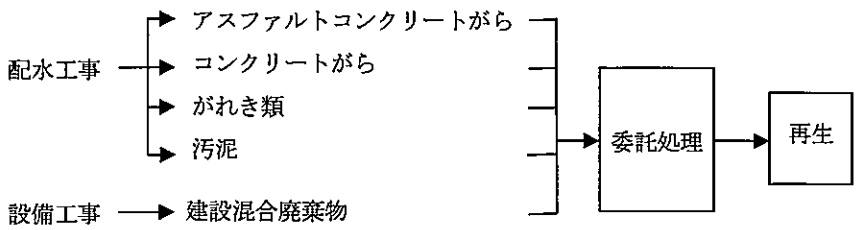
千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　　市川市伊勢宿１７－３
住　所　　株式会社　三　東
氏　名　　代表取締役　杉浦康司
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　０４７（３５８）３３８８

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　三　東
事業場の所在地	市川市伊勢宿１７－３
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

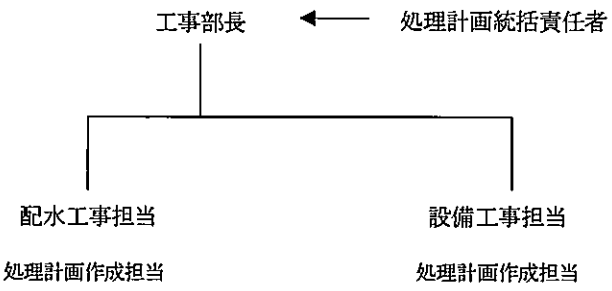
①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　５億円
③従業員数	１５人（正社員　１５人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

千葉県 葛南地域振興事務所 -7.6.20 収受

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　６　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	混合
排出量	507.9ｔ	84.0ｔ	589.3ｔ	9.8ｔ	2.8t

（これまでに実施した取組）

特になし

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	混合
排　出　量	507.0ｔ	84.0ｔ	589.0ｔ	9.0ｔ	2t

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：

工事工程で生じるがら、がれき類は、種類毎に分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：

原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状

【前年度（　６　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	混合
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

③ 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	混合
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（　６　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	混合
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	混合
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状

【前年度（　６　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類 t	汚泥	混合
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類 t	汚泥	混合
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　６　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類 t	汚泥	混合
全処理委託量	507.9 t	84.0 t	589.3 t	9.8 t	2.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	507.9 t	84.0 t	589.3 t	9.8 t	2.8 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥	混合
全処理委託量	507.0ｔ	84.0ｔ	589.0ｔ	9.0ｔ	2ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0t
再生利用業者への処理委託量	507.0ｔ	84.0ｔ	589.0ｔ	9.0ｔ	2t
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0t

（今後実施する予定の取組）

分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令 和 7 年 6月 17日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所 272-0106 千葉県市川市伊勢宿17-3
氏 名 株式会社三東 代表取締役 杉浦康司
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-358-3388

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 三東
事業場の所在地	市川市伊勢宿17－3
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月～令和7年3月

千葉県 葛南地域振興事務所 -7.6.20 収受

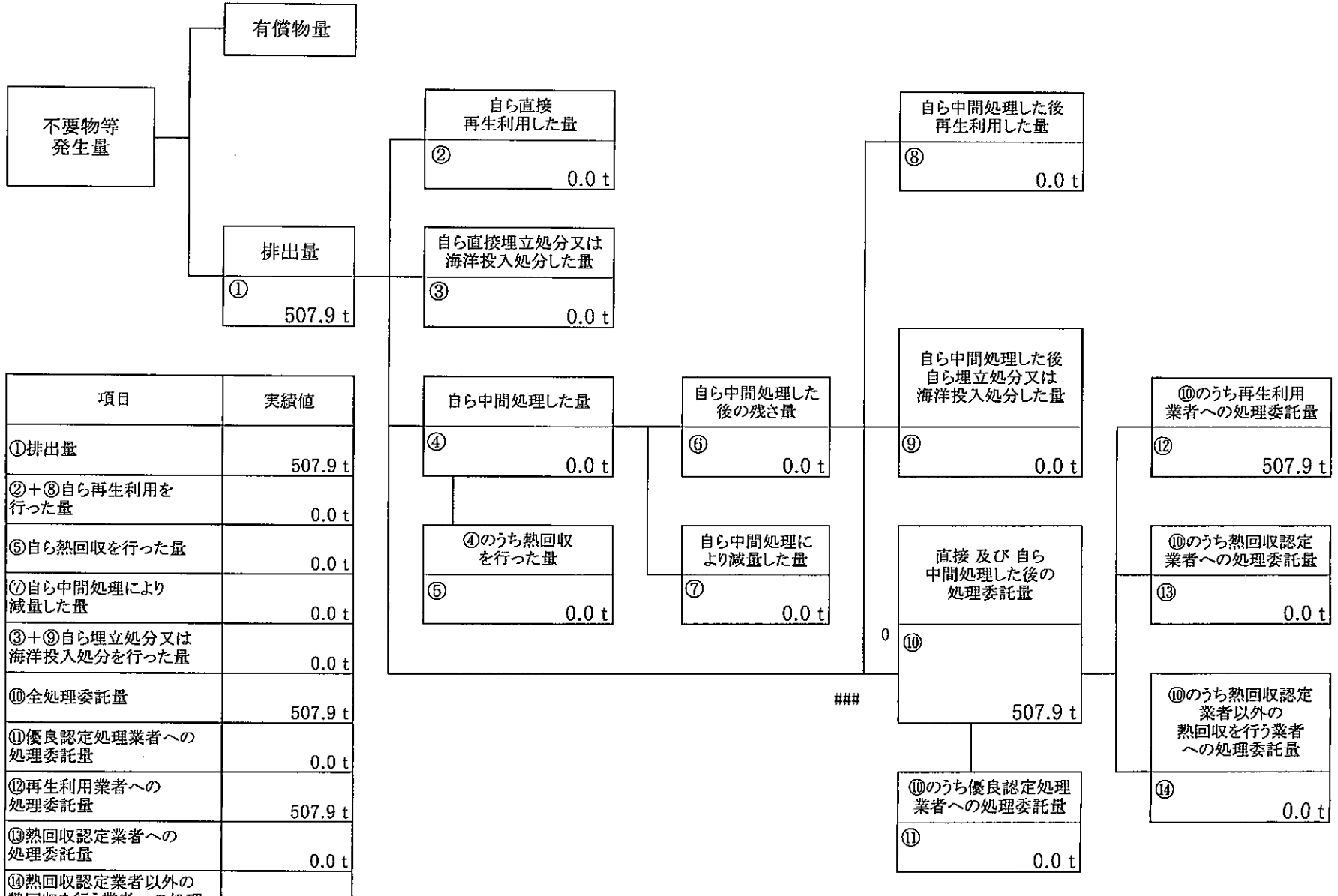
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,786.0 t	全処理委託量	1,786.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1,786.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　アスファルト・コンクリートがら　　）

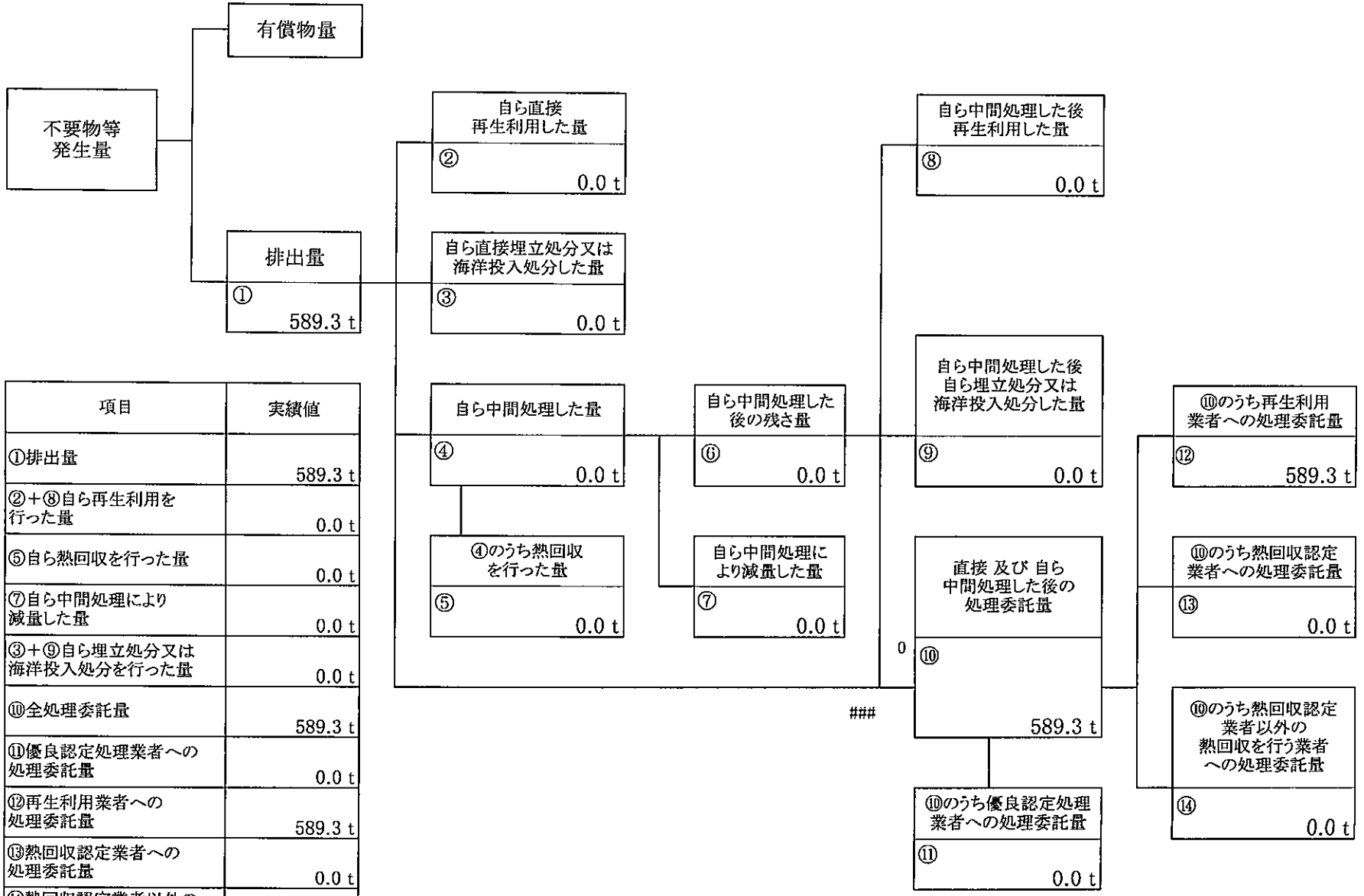


項目	実績値
①排出量	507.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	507.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	507.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

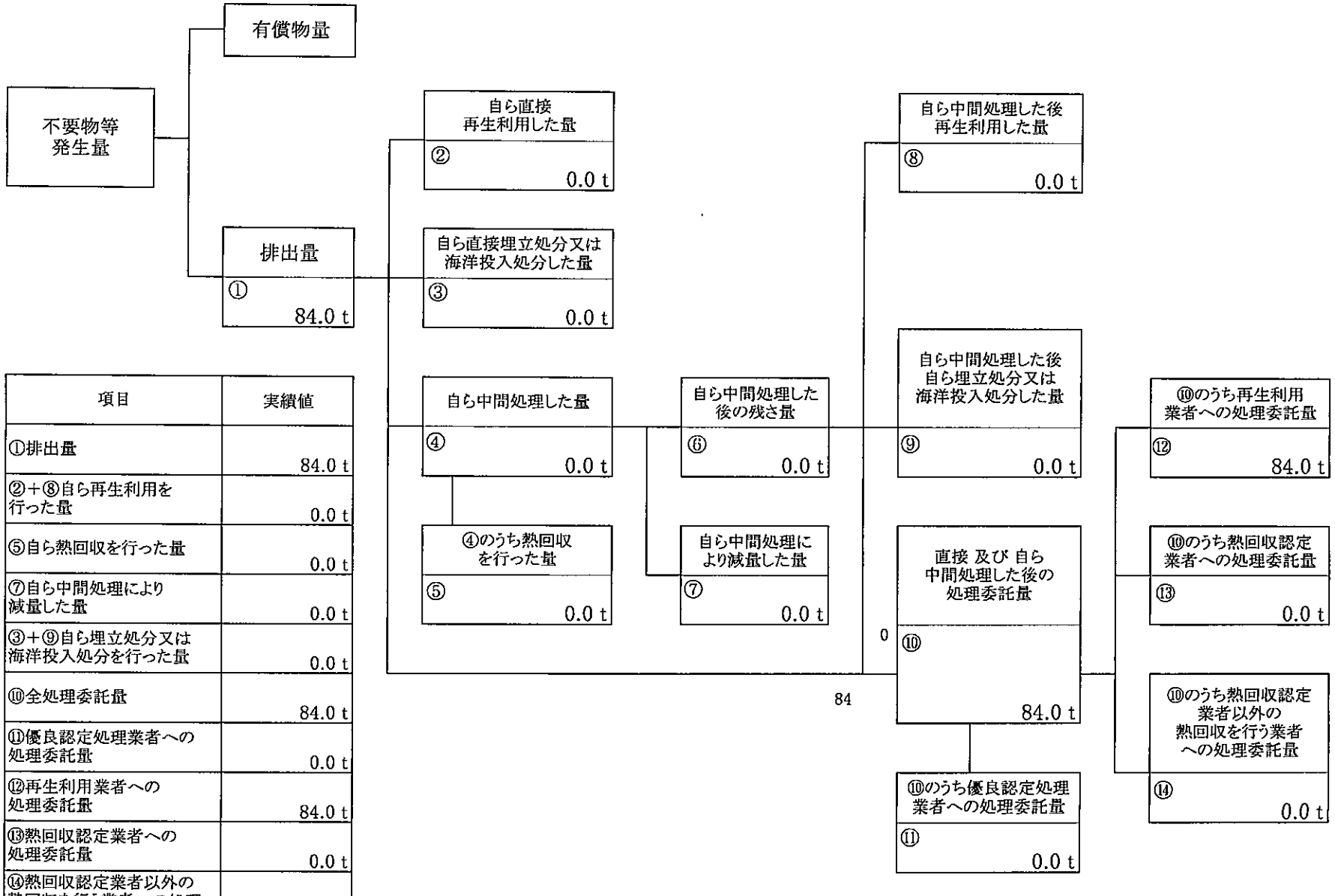


項目	実績値
①排出量	589.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	589.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	589.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　コンクリートがら　　）

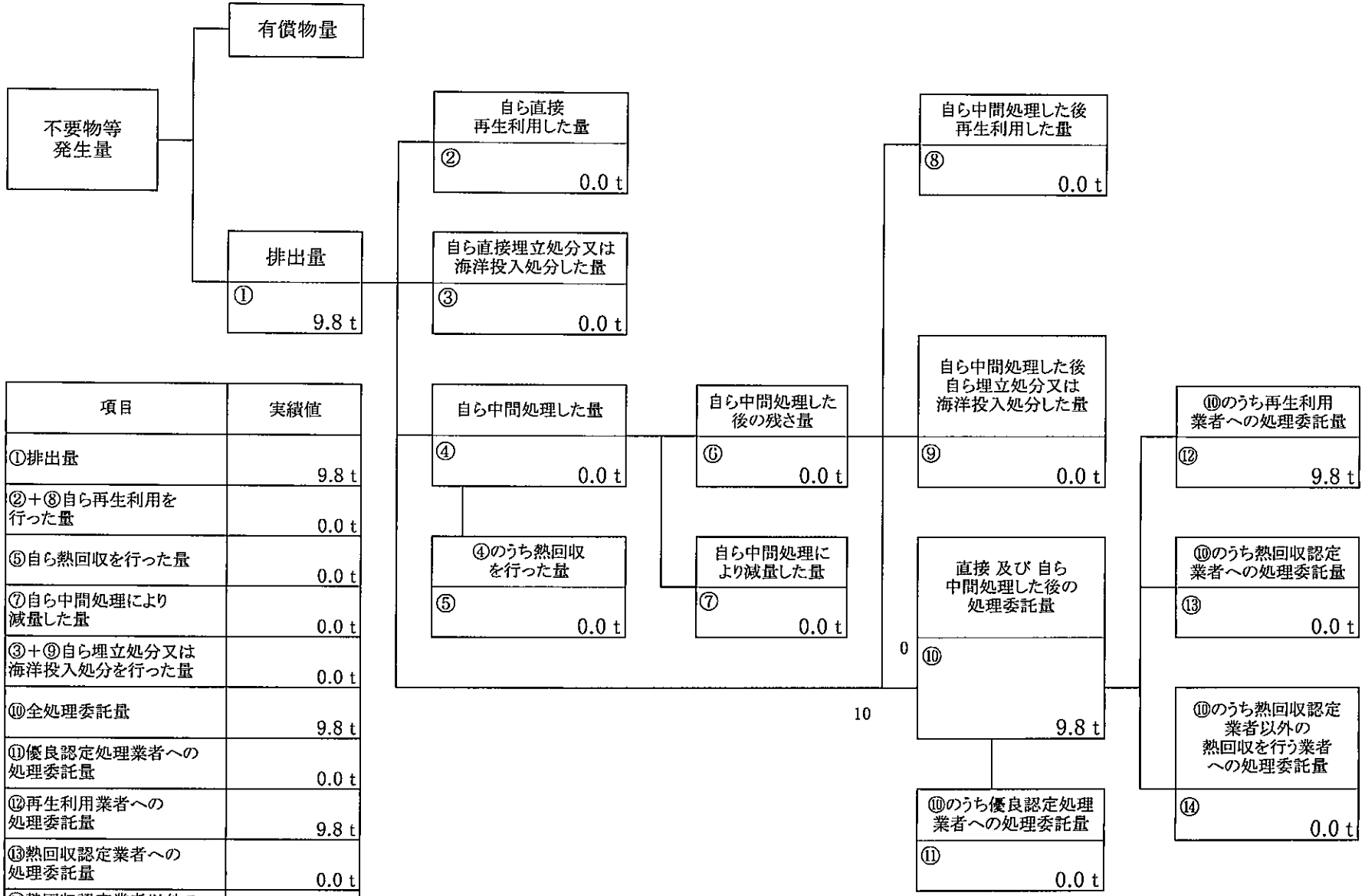


項目	実績値
①排出量	84.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	84.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	84.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

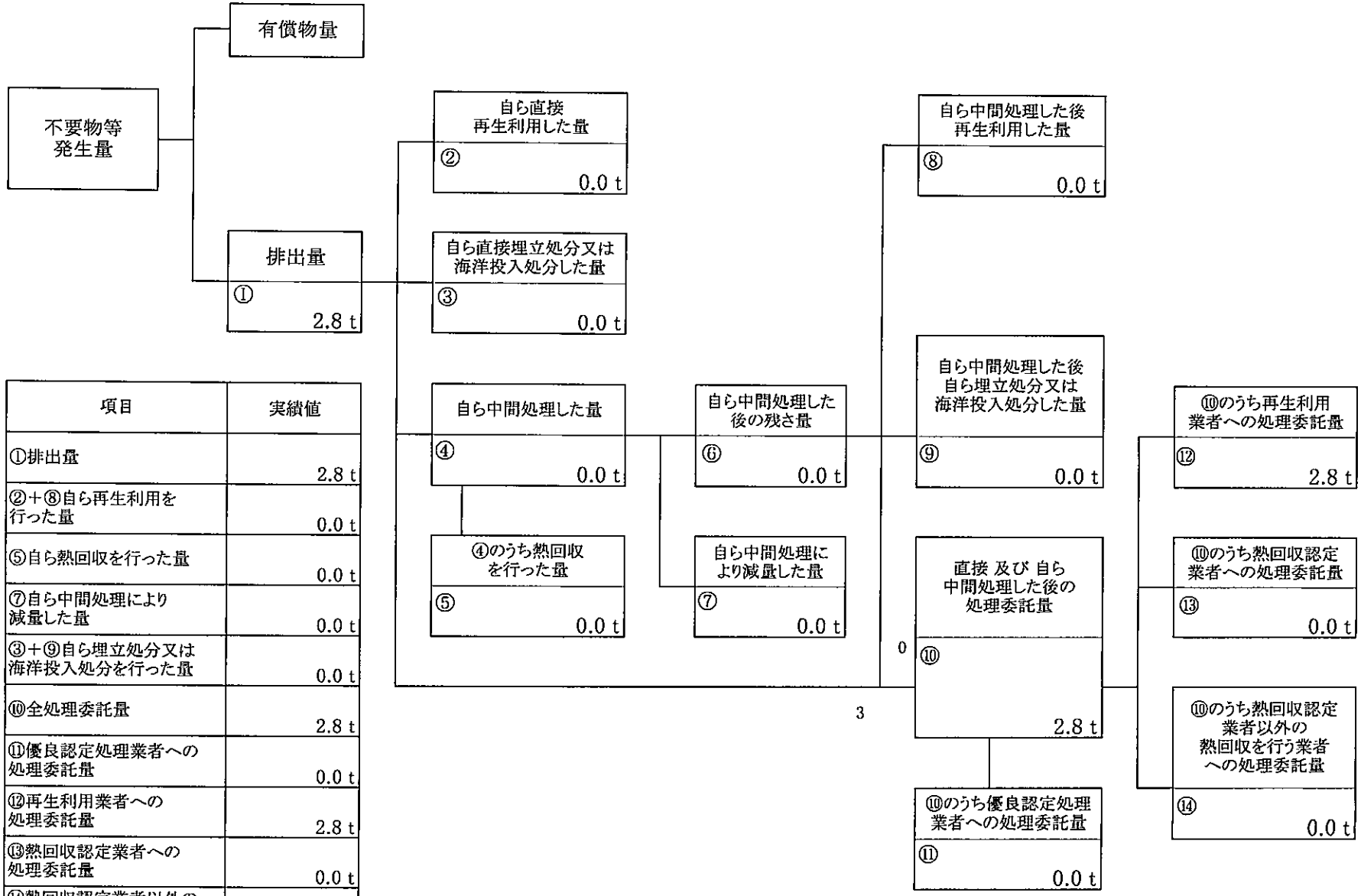


項目	実績値
①排出量	9.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　）



項目	実績値
①排出量	2.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月19日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒459-8014
住 所　名古屋市緑区忠治山101番地
氏 名　株式会社シーテック
代表取締役社長
社長執行役員　下廣　大輔
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　052－710－0412

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社シーテック　大高ビル
事業場の所在地	名古屋市緑区忠治山101番地（現場：千葉県銚子市）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

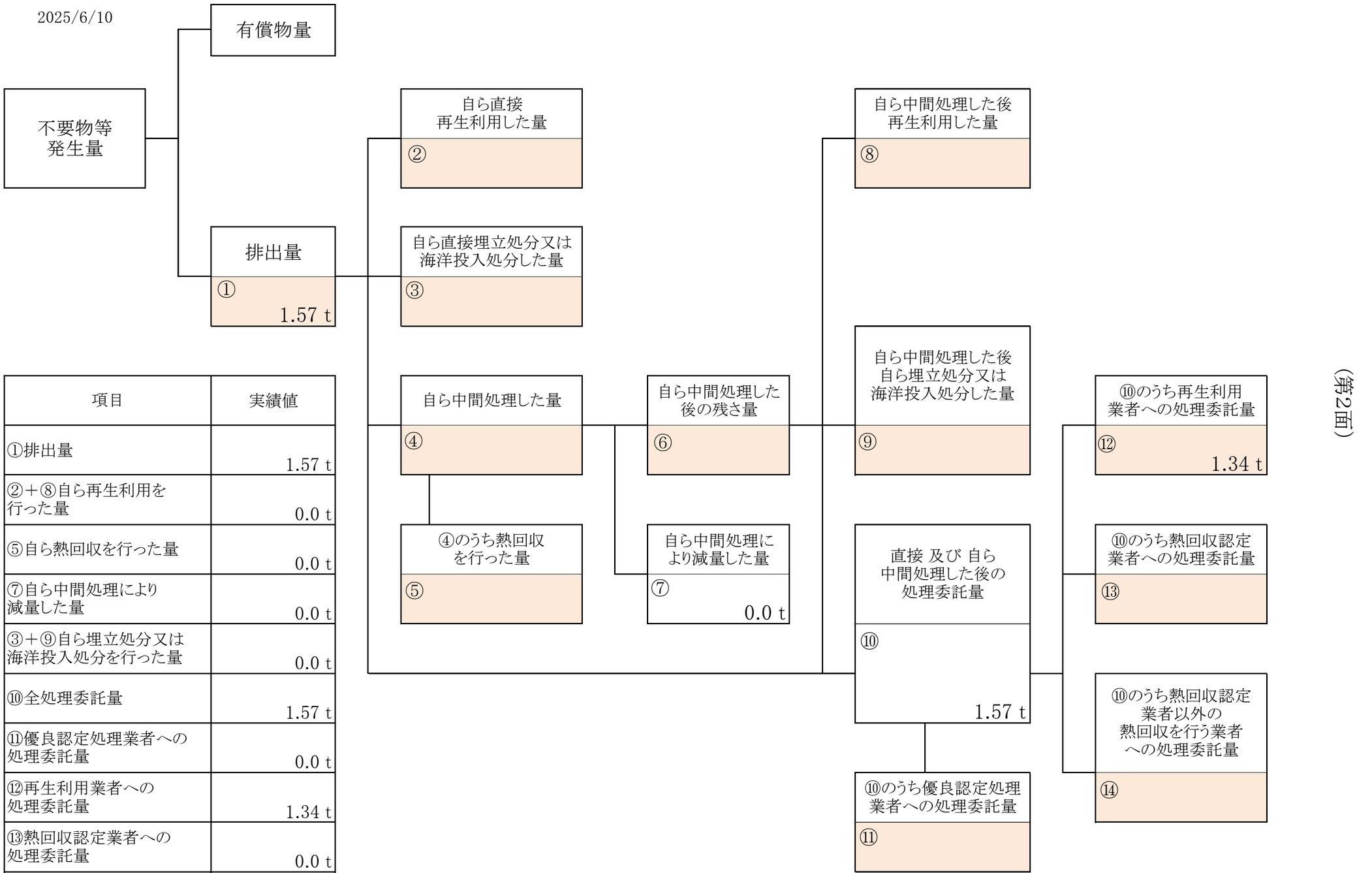
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,162.124	全処理委託量	2,162.124
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	2,162.124
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **汚泥** ）

2025/6/10

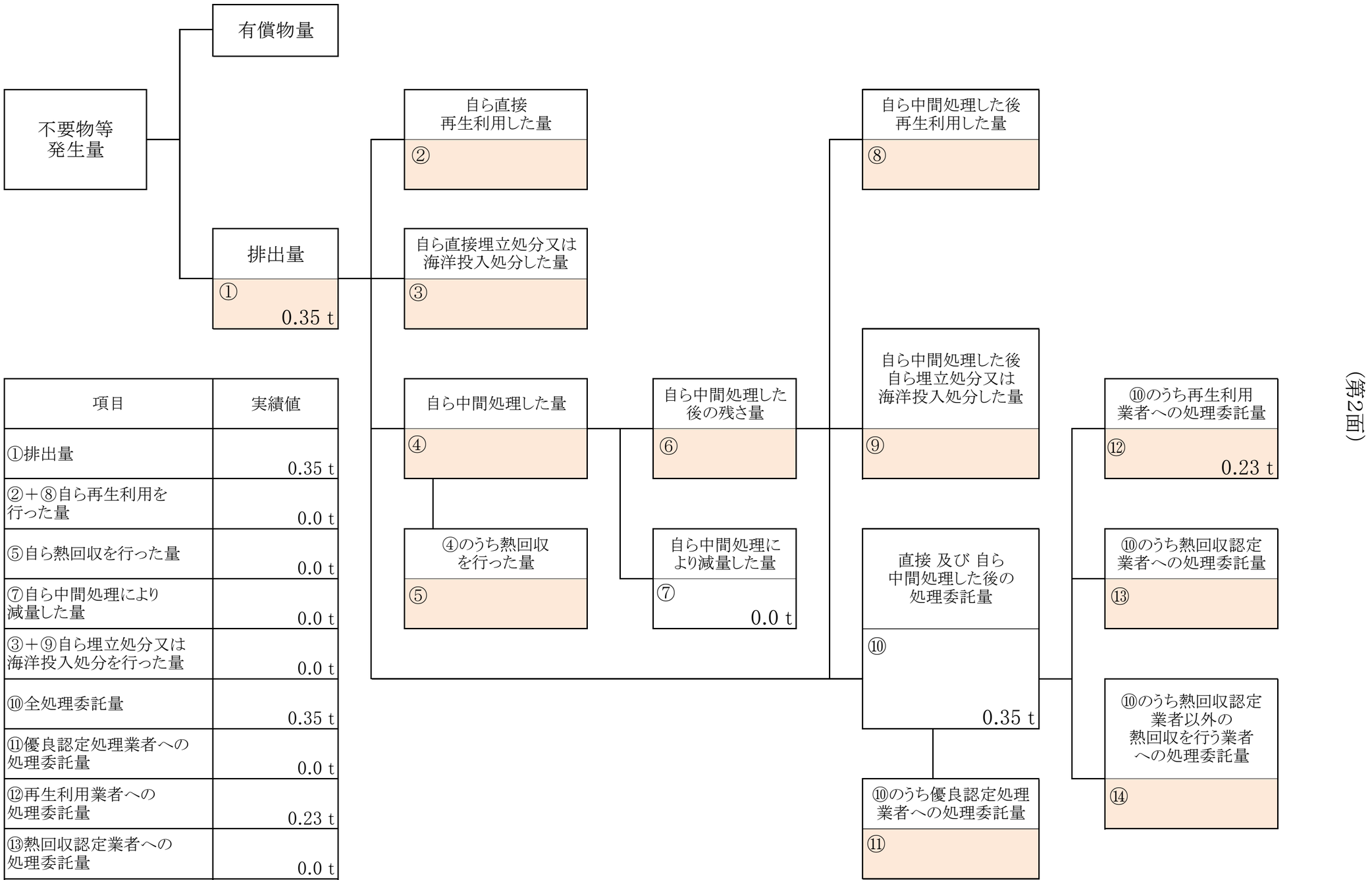


項目	実績値
①排出量	1.57 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.57 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.34 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

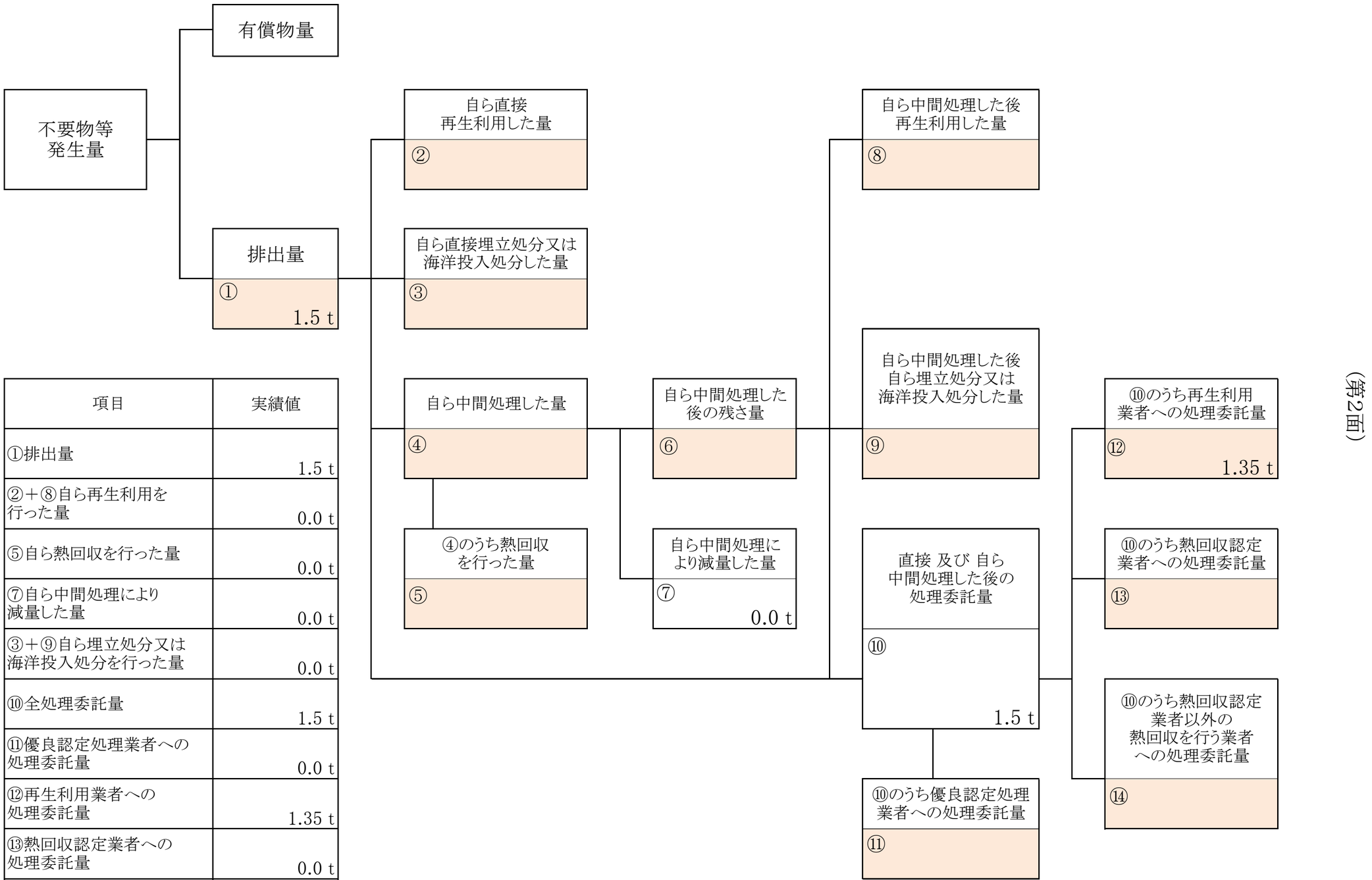


項目	実績値
①排出量	0.35 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.35 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.23 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

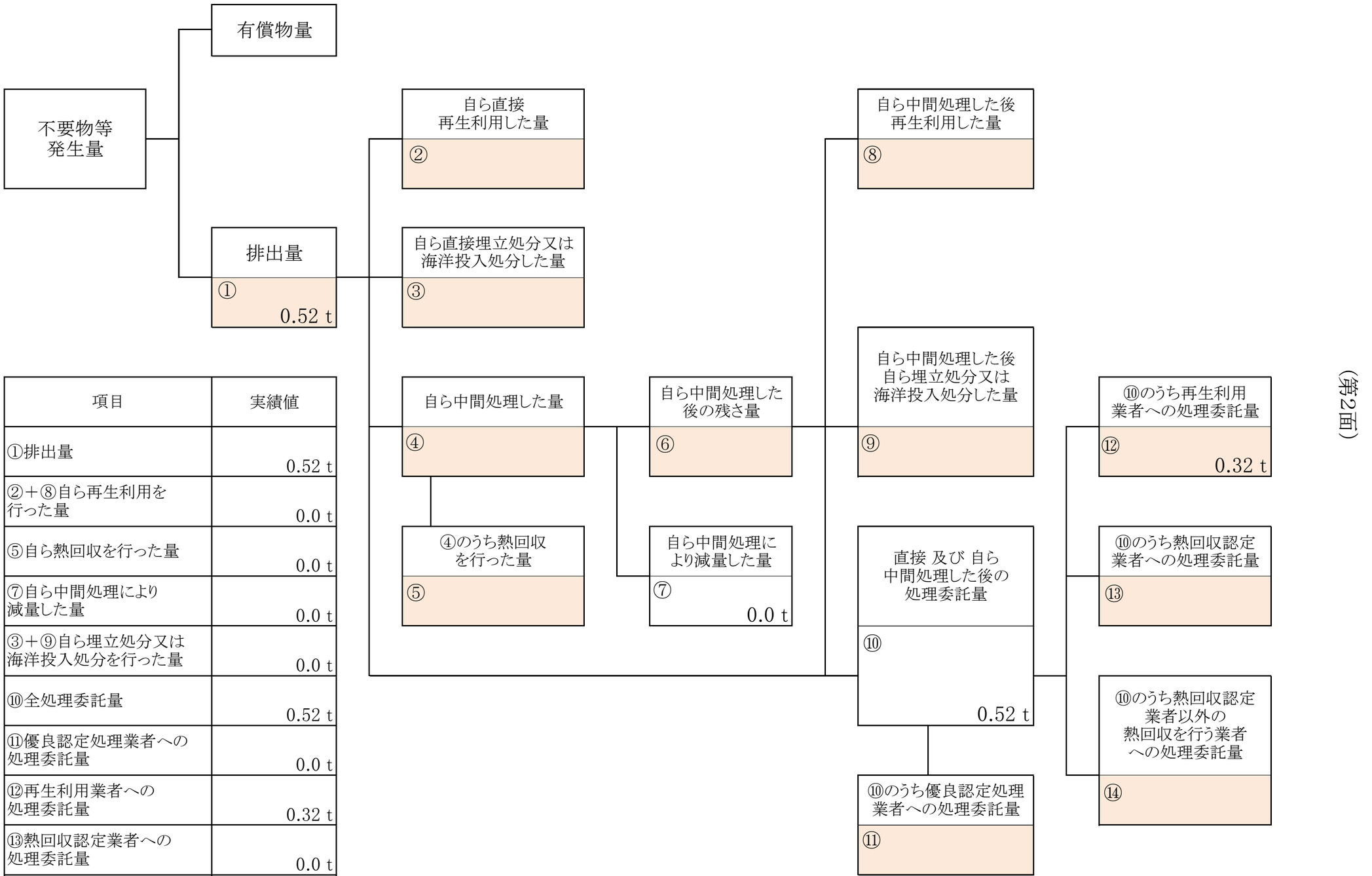


項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.35 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	0.52 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.52 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.32 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月16日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0835

住　所　千葉県千葉市中央区川崎町1番地

法人名　ＪＦＥプラントエンジ株式会社

代表者　今村 元己

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-262-4250

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＪＦＥプラントエンジ株式会社　東日本事業所
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区川崎町１番地
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　設備工事業
②事業の規模	売上高347億円（昨年度実績）
③従業員数	663人（2025年4月1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	0 t	11 t

（これまでに実施した取組）

・減量（素材の歩留まり向上、プレハブ化、仮設材の再利用など）
・省梱包化（納入業者対する無梱包化、簡易梱包化など）
・資源物の分別回収

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	0 t	13.3 t

（今後実施する予定の取組）

・現在の取組みを継続すると共に、教育を行い産業廃棄物発生の抑制に関する取組を維持す
る。（建設工事の受注見込みに応じ廃棄物の発生量を計画している）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・建設工事における産業廃棄物の分別
・オフィス活動における産業廃棄物の分別

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・現在の取組みを継続すると共に、教育を行い、埋立て処分の抑制の観点から排出場所にお
ける分別の取組を向上させる。
・電子マニフェストの排出実績を分析・周知し、実態を理解すること
により、いっそうの分別回収化を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自ら再生利用は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

今後も自ら再生利用する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自ら中間処理は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

今後も自ら中間処理する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自ら埋立て処分又は海洋投入処分は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

今後も自ら埋立て処分又は海洋投入処分する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量		０ｔ	11 ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	11 ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

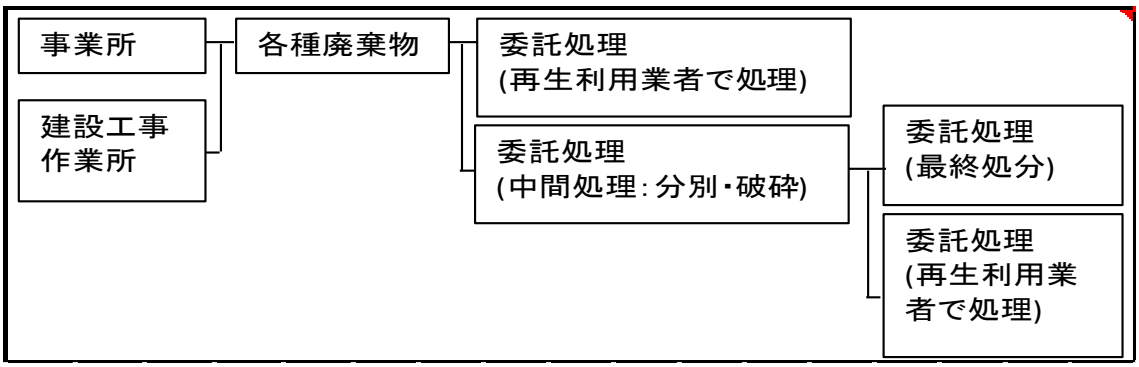
（これまでに実施した取組）

・再生利用を行う処理業者への優先委託
・処理場の実地確認
・委託契約における法令遵守状況の内部監査　など

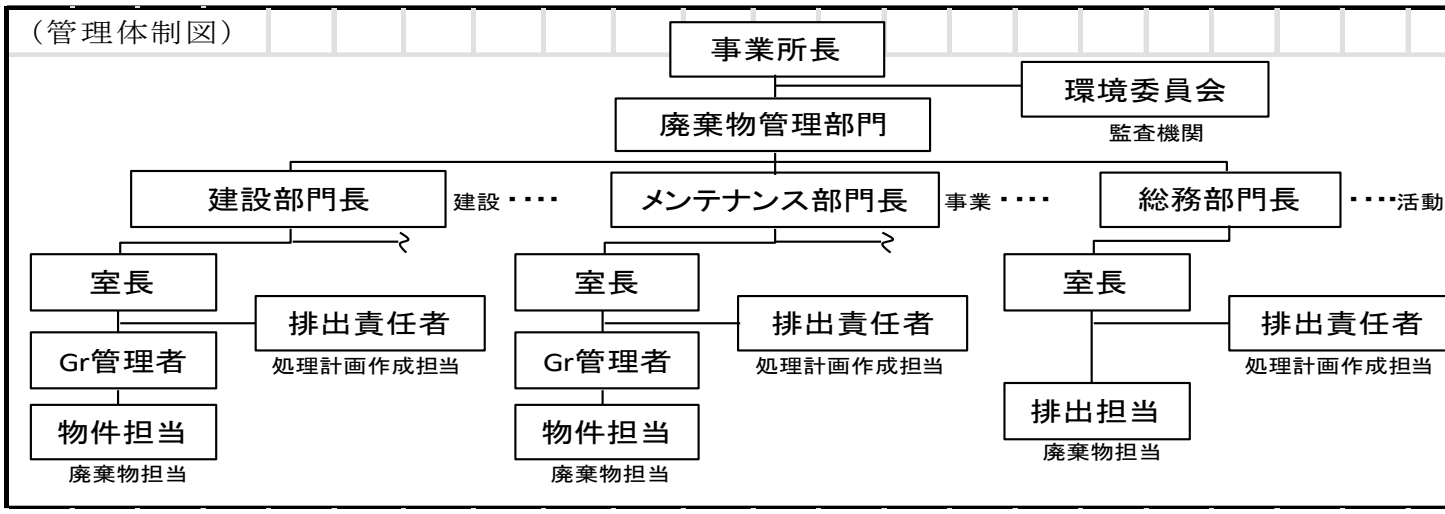
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>０ｔ</td><td>13.3 ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>13.3 ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・優良認定処理業者への委託量を向上させる。
・社内/社外教育により、委託に関する取組の維持を図る。
・委託先とは原則、電子マニフェストを介した排出とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

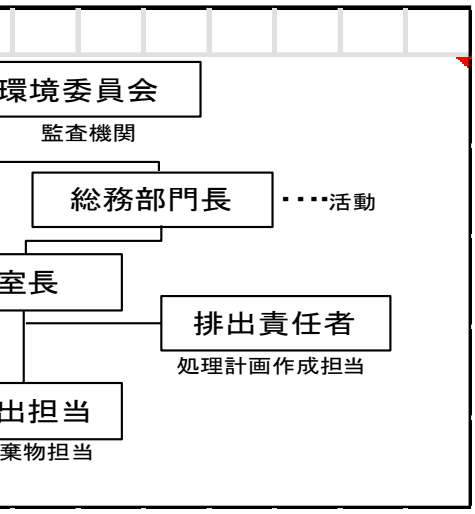
備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

処理の工程図



管理体制図




環境委員会
監査機関
総務部門長
・・・・活動
室長
排出責任者
処理計画作成担当
出担当
棄物担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
		排　　出　　量	1,541.2　t	12.8　t	0.2　t	23.8　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
		排　　出　　量	1,864.8　t	15.5　t	0.3　t	28.7　t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
	全処理委託量	1,541.2 t	12.8 t	0.2 t	23.8 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,541.2 t	12.4 t	0.2 t	23.8 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,541.2 t	2.0 t	0.2 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0.2 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物				
	全処理委託量	1,864.8 t	15.5 t	0.3 t	28.7 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,864.8 t	14.9 t	0.3 t	28.7 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,864.8 t	2.4 t	0.3 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0.3 t	0 t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒100-0011

住　所 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号

氏　名 ＪＦＥエンジニアリング株式会社
代表取締役社長　福田　一美

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０４５－５０５－７７０３（担当部署）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＪＦＥエンジニアリング株式会社 （神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目１番地）
事業場の所在地	千葉県 管轄内建設工事 （工事現場：市川市 JFEエンジニアリング・鈴木土建JV 市川作業所建設工事 他17件）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	売上高　5,698億円（令和6年度）
③ 従業員数	3,646人（令和6年度）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙のとおり
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	--- t	--- t
		（これまでに実施した取組） 自ら再生利用は行っていない		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	--- t	--- t
		（今後実施する予定の取組） 今後も自ら再生利用する予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	--- t	--- t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	--- t	--- t
		（これまでに実施した取組） 自ら中間処理は行っていない		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	--- t	--- t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	--- t	--- t
		（今後実施する予定の取組） 今後も自ら中間処理する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	--- t	--- t

（これまでに実施した取組）
自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	--- t	--- t

（今後実施する予定の取組）
今後も自ら埋立処分又は海洋投入処分する予定はない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
全処理委託量_		t
優良認定処理業者への処理委託量		t
再生利用業者への処理委託量		t
認定熱回収業者への処理委託量		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
別紙のとおり

	②計画	【目標】 産業廃棄物の種類＿
		全処理委託量＿ t
		優良認定処理業者への処理委託量 t
		再生利用業者への処理委託量 t
		認定熱回収業者への処理委託量 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 t
		（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり
※事務処理欄		

別紙のとおり

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（令和7年度）別紙

産業廃棄物の一連の処理の工程

①燃え殻

発生・収集運搬 ⇒ 溶融固化 ⇒ 路盤材・セメント材料
⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型)
⇒ 埋立(管理型)

②汚　泥

発生・収集運搬 ⇒ 脱水 ⇒ 乾燥・破砕 ⇒ 再生土・路盤材
⇒ 埋立(管理型)

③廃　油

発生・収集運搬 ⇒ 油水分離・混入物除 ⇒ 再生油
⇒ 焼却

④廃酸・廃アルカリ

発生・収集運搬 ⇒ 成分分析調査 ⇒ 再生化処理 ⇒ 製品
⇒ 脱水 ⇒ 汚泥 ⇒ セメント原料
⇒ 乾燥 ⇒ セメント原料
⇒ 脱水 ⇒ 汚泥 ⇒ 埋立(管理型)
⇒ 中和・イオン交換 ⇒ 放流・蒸発
⇒ 中和処理残渣 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型)

⑤廃プラスチック類

発生・収集運搬 ⇒ 破砕 ⇒ 圧縮・成型 ⇒ RPF
⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型)
⇒ 埋立(安定型)

⑥紙くず

発生・収集運搬 ⇒ 破砕・圧縮固化・溶融 ⇒ 燃料・製紙原料
⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型)

⑦木くず

発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ チップ化 ⇒ 合板・燃料
⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型)
⇒ 埋立(管理型)

⑧繊維くず

発生・収集運搬 ⇒ 破砕・切断 ⇒ 再利用
⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型)

⑨ゴムくず

発生・収集運搬 ⇒ 破砕 ⇒ 原料
⇒ 焼却 ⇒ 埋立

JFEエンジニアリング株式会社　産業廃棄物処理計画書（　令和7年度　）別紙

産業廃棄物の一連の処理の工程（つづき）

⑩金属くず

発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ スクラップ化 ⇒ 再生金属
破砕・選別 ⇒ 埋立(安定型)

⑪ガラス・陶磁器くず

発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ 骨材化
発生・収集運搬 ⇒ 埋立(安定型)

⑫鉱さい

発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ 路盤材
発生・収集運搬 ⇒ コンクリート固化 ⇒ 埋立(管理型)
発生・収集運搬 ⇒ 埋立(管理型)

⑬コンクリートがら、アスコンがら、その他がれき類

発生・収集運搬 ⇒ 破砕・選別 ⇒ 骨材・砕石
発生・収集運搬 ⇒ 埋立(安定型)

⑭ばいじん

発生・収集運搬 ⇒ 溶融固化／固化剤処理 ⇒ 路盤材・セメント材料
発生・収集運搬 ⇒ コンクリート固化 ⇒ 埋立(管理型)
発生・収集運搬 ⇒ 埋立(管理型)

⑮建設混合廃棄物

発生・収集運搬 ⇒ 手選別 ⇒ 集積 ⇒ リサイクル
発生・収集運搬 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立(管理型)
発生・収集運搬 ⇒ 埋立(管理型)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

社　長
- 全社EMS 管理責任者
  - ・廃掃法の教育実施
  - ・巡視手順の教育実施
  - ・ﾘｻｲｸﾙ率などの集計
- 環境担当役員 ― 安全環境部長 ― 環境グループ マネージャー
  - ・多量排出者などの報告
  - ・法令順守状況の監査
- 各本部長 ― 各部署長 ― 各プロジェクト マネージャー ― 各現地所長
  - 各部署長：・ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ策定
  - 各プロジェクト マネージャー：・産廃処理状況の巡視
  - 各現地所長：・産廃処理委託の管理／・作業員を指導／・委託状況の報告
  - 各本部長 ― 各本部EMS 管理責任者
    - ・ﾌﾟﾛﾏﾈや現地所長の指導

・リサイクル率などの集計

JFEエンジニアリング株式会社　産業廃棄物処理計画書（　令和7年度　）別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　令和6年度　）実績】

産業廃棄物の種類	①燃え殻	②汚泥	③廃油	④a廃酸
排出量	0.00 t	49.93 t	5.45 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	④b廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥紙くず	⑦木くず
排出量	0.00 t	9.70 t	1.65 t	430.97 t
産業廃棄物の種類	⑧繊維くず	⑨ゴムくず	⑩金属くず	⑪ｶﾞﾗｽ陶磁器くず
排出量	0.00 t	0.00 t	0.95 t	0.50 t
産業廃棄物の種類	⑫鉱さい	⑬がれき類	⑭ばいじん	⑮建設混合廃棄物
排出量	0.00 t	1,118.35 t	0.00 t	23.62 t

（これまでに実施した取組）

1）設計段階におけるプレハブ化、レイアウトのコンパクト化、構造の簡素化、造成面積の最小化実寸発注などにより、工事現場での産業廃棄物の発生を抑制する。
2）鋼製足場の利用などにより、仮設材を再利用する。
3）搬入資機材などの無梱包、実寸梱包、梱包材持帰りなどにより、梱包材の排出を抑制する。
4）有価物の選別を適切に行い、産業廃棄物としての委託量を削減する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	①燃え殻	②汚泥	③廃油	④a廃酸
排出量	0.00 t	49.93 t	5.45 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	④b廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥紙くず	⑦木くず
排出量	0.00 t	9.70 t	1.65 t	430.97 t
産業廃棄物の種類	⑧繊維くず	⑨ゴムくず	⑩金属くず	⑪ｶﾞﾗｽ陶磁器くず
排出量	0.00 t	0.00 t	0.95 t	0.50 t
産業廃棄物の種類	⑫鉱さい	⑬がれき類	⑭ばいじん	⑮建設混合廃棄物
排出量	0.00 t	1,118.35 t	0.00 t	23.62 t

（今後実施する予定の取組）

1）これまでの取組を継続・改善する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・分別している産業廃棄物の種類

1）廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、がれき類、建設混合廃棄物など

・産業廃棄物の分別に関する取組

1）産業廃棄物の分別を確実にするために、工事規模や設置スペースに応じて複数の分別容器を設置している。
2）分別容器には産業廃棄物の種類を明示し、分別の徹底を図っている。
3）入業時教育において、分別手順について指導している。
4）環境パトロールにおいて、産業廃棄物の分別状況を確認している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

1）これまでの取組を継続・改善する。

JFEエンジニアリング株式会社　産業廃棄物処理計画書（　令和7年度　）別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和6年度　）実績】

産業廃棄物の種類	①燃え殻	②汚泥	③廃油	④a廃酸
全処理委託量	0.00 t	49.93 t	5.45 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.09 t	4.73 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	48.88 t	5.33 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.09 t	4.73 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	④b廃アルカリ	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	⑥紙くず	⑦木くず
全処理委託量	0.00 t	9.70 t	1.65 t	430.97 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	8.12 t	1.65 t	14.58 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	6.25 t	1.43 t	430.83 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.53 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	⑧繊維くず	⑨ゴムくず	⑩金属くず	⑪ｶﾞﾗｽ陶磁器くず
全処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.95 t	0.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.95 t	0.32 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	⑫鉱さい	⑬がれき類	⑭ばいじん	⑮混合廃棄物
全処理委託量	0.00 t	1,118.35 t	0.00 t	23.62 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	30.34 t	0.00 t	22.49 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	1,117.95 t	0.00 t	20.70 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）

1）リサイクル実績がある廃棄物処理業者を起用する。

2）現地所長に対するアンケート調査により、廃棄物処理業者の評価を実施し、その情報を社内で公開している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	①燃え殻	②汚泥	③廃油	④a廃酸
全処理委託量	0.00 t	49.93 t	5.45 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.09 t	4.73 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	48.88 t	5.33 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.09 t	4.73 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	④b廃アルカリ	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	⑥紙くず	⑦木くず
全処理委託量	0.00 t	9.70 t	1.65 t	430.97 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	8.12 t	1.65 t	14.58 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	6.25 t	1.43 t	430.83 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.53 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	⑧繊維くず	⑨ゴムくず	⑩金属くず	⑪ｶﾞﾗｽ陶磁器くず
全処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.95 t	0.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.95 t	0.32 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	⑫鉱さい	⑬がれき類	⑭ばいじん	⑮混合廃棄物
全処理委託量	0.00 t	1,118.35 t	0.00 t	23.62 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	30.34 t	0.00 t	22.49 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	1,117.95 t	0.00 t	20.70 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) 1) これまでの取組を継続・改善する。				

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　7年　6月30日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒100-0011
住　所　東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
氏　名　JFEエンジニアリング株式会社
代表取締役社長　福田　一美
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　045－505－7703（担当部署）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	JFEエンジニアリング株式会社 （神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地）
事業場の所在地	千葉県 管轄内建設工事 （工事現場：市川市 JFEエンジニアリング・鈴木土建JV　市川作業所建設工事 他17件）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

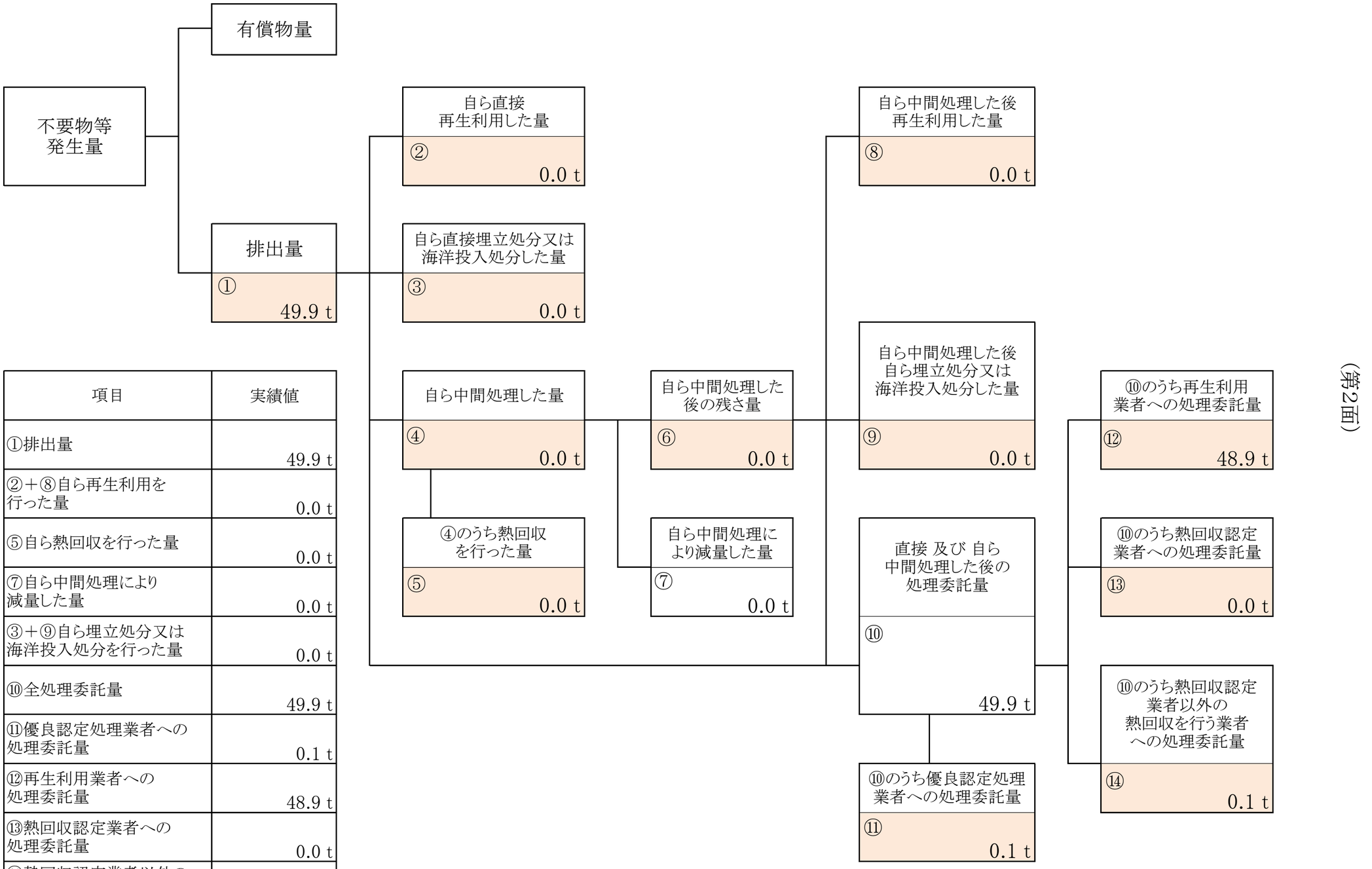
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2990.6ｔ	全処理委託量	2990.6ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	296.8ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	2927.4ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.7ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

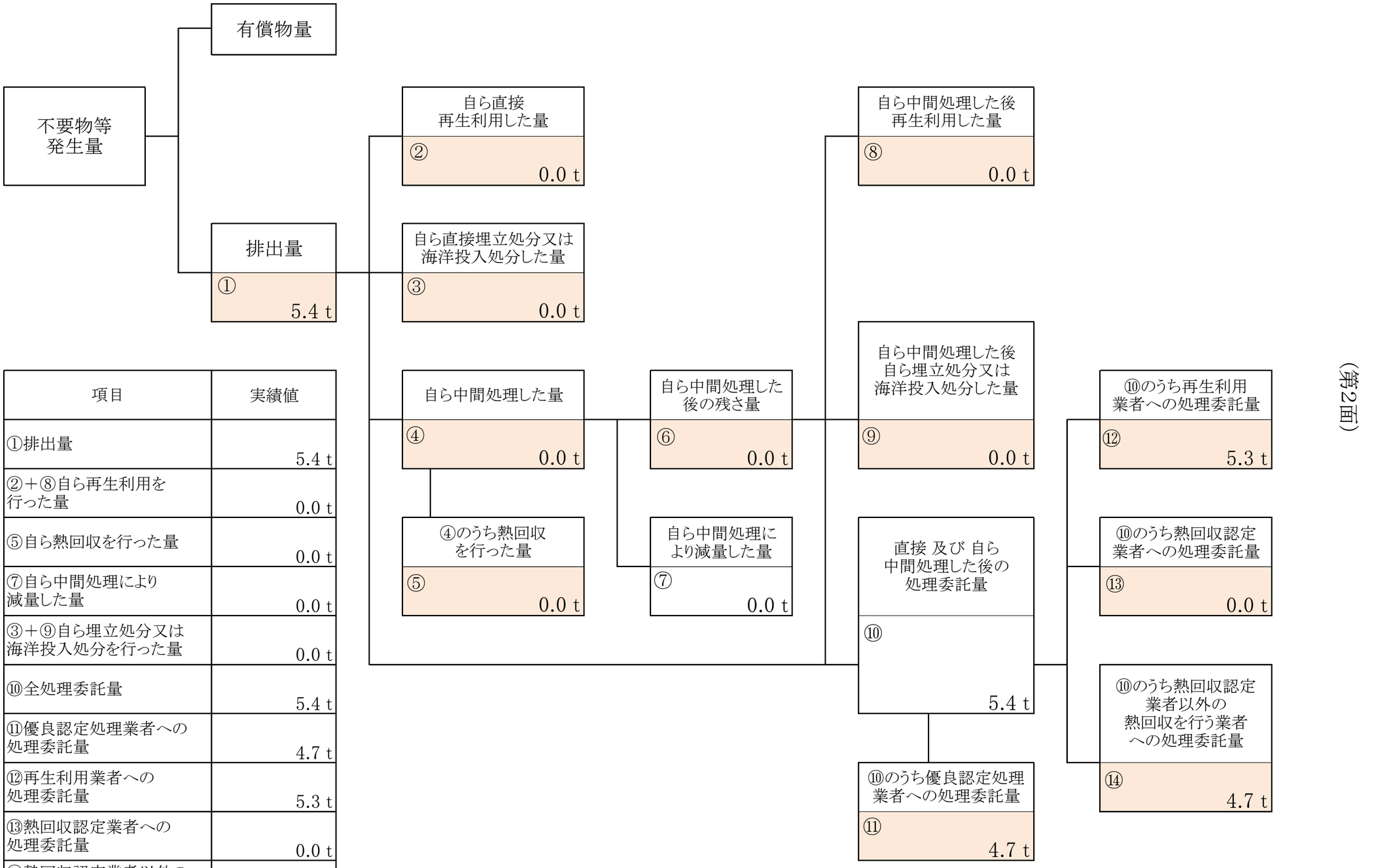


項目	実績値
①排出量	49.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	49.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	48.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

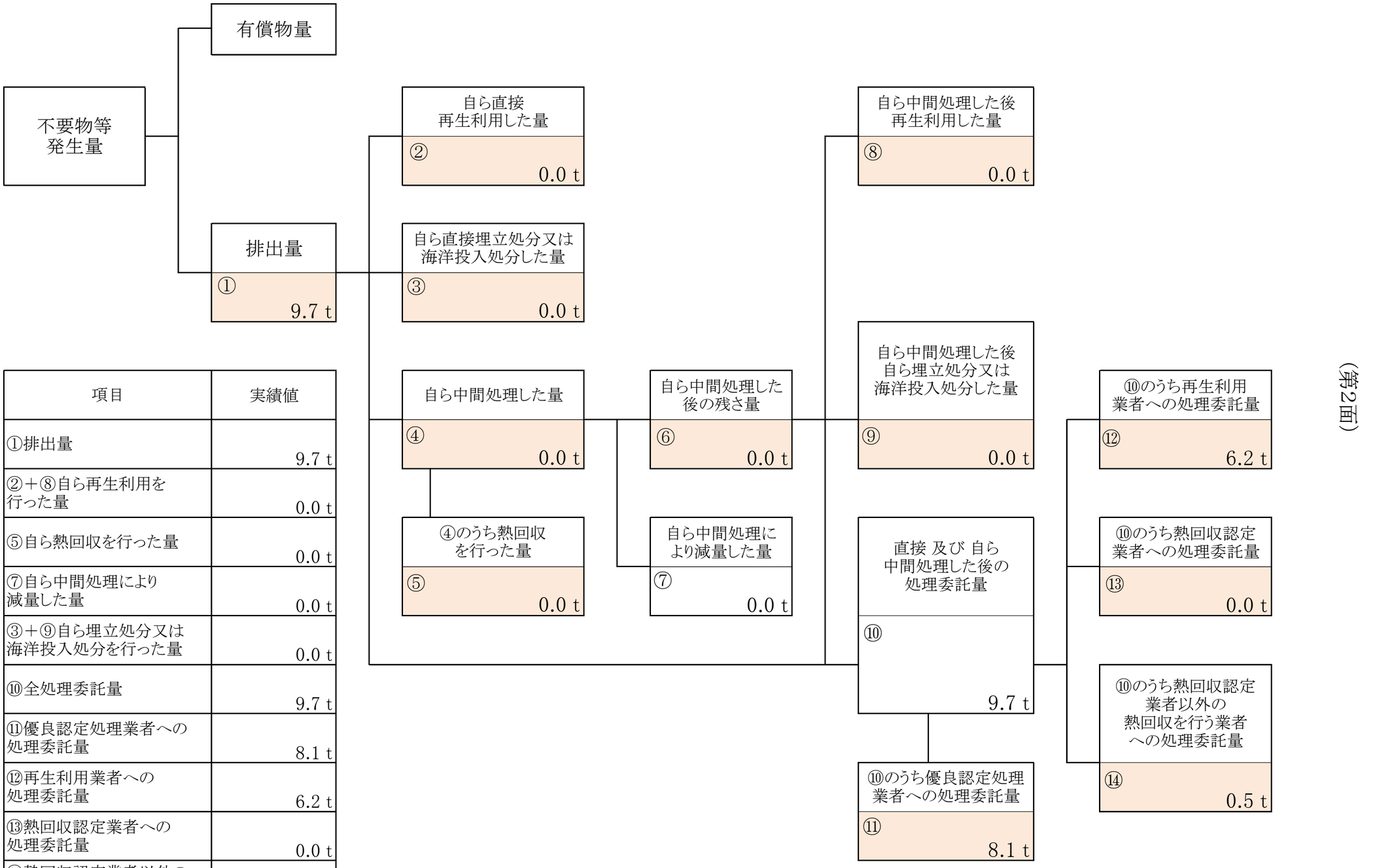


項目	実績値
①排出量	5.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

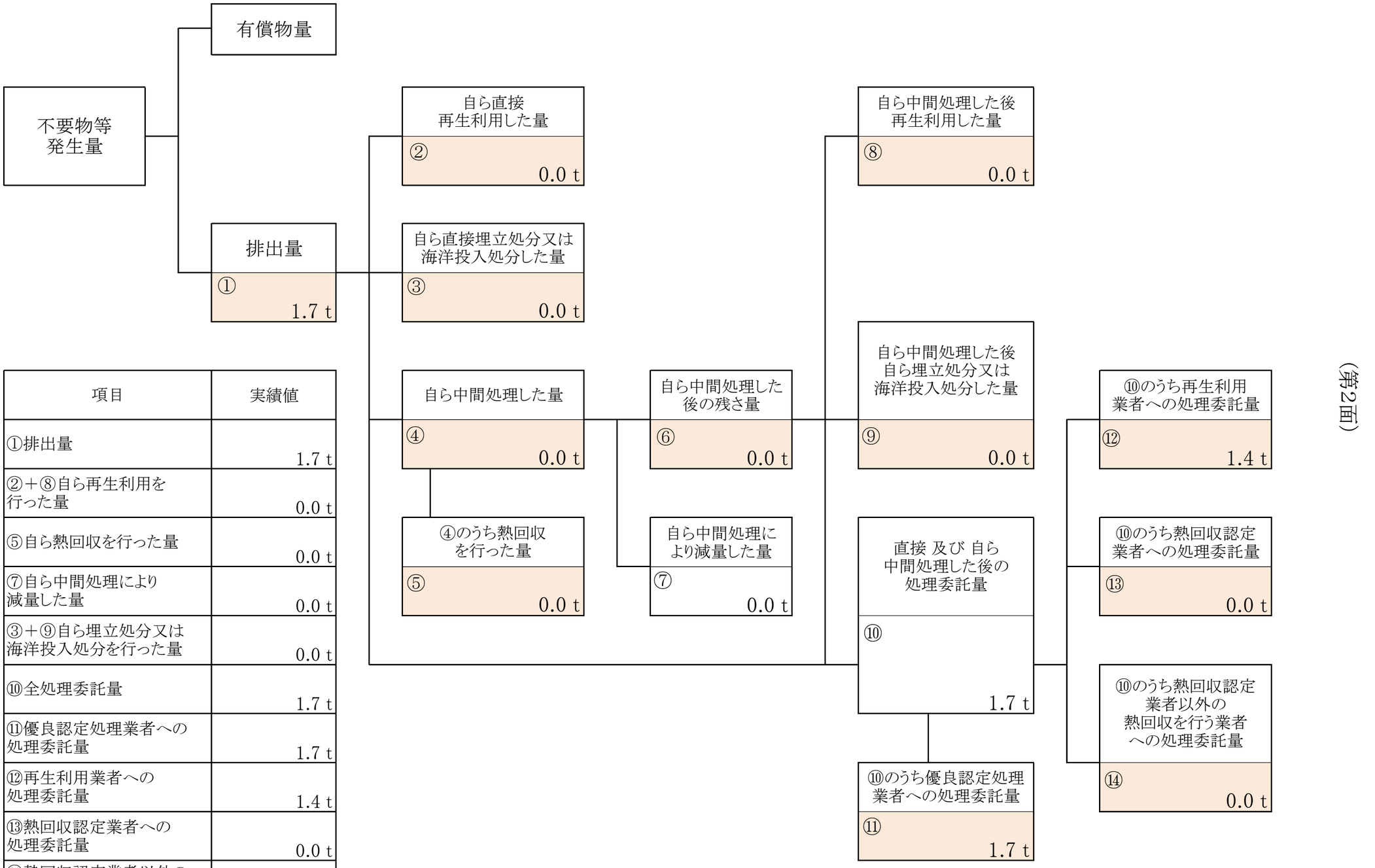


項目	実績値
①排出量	9.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

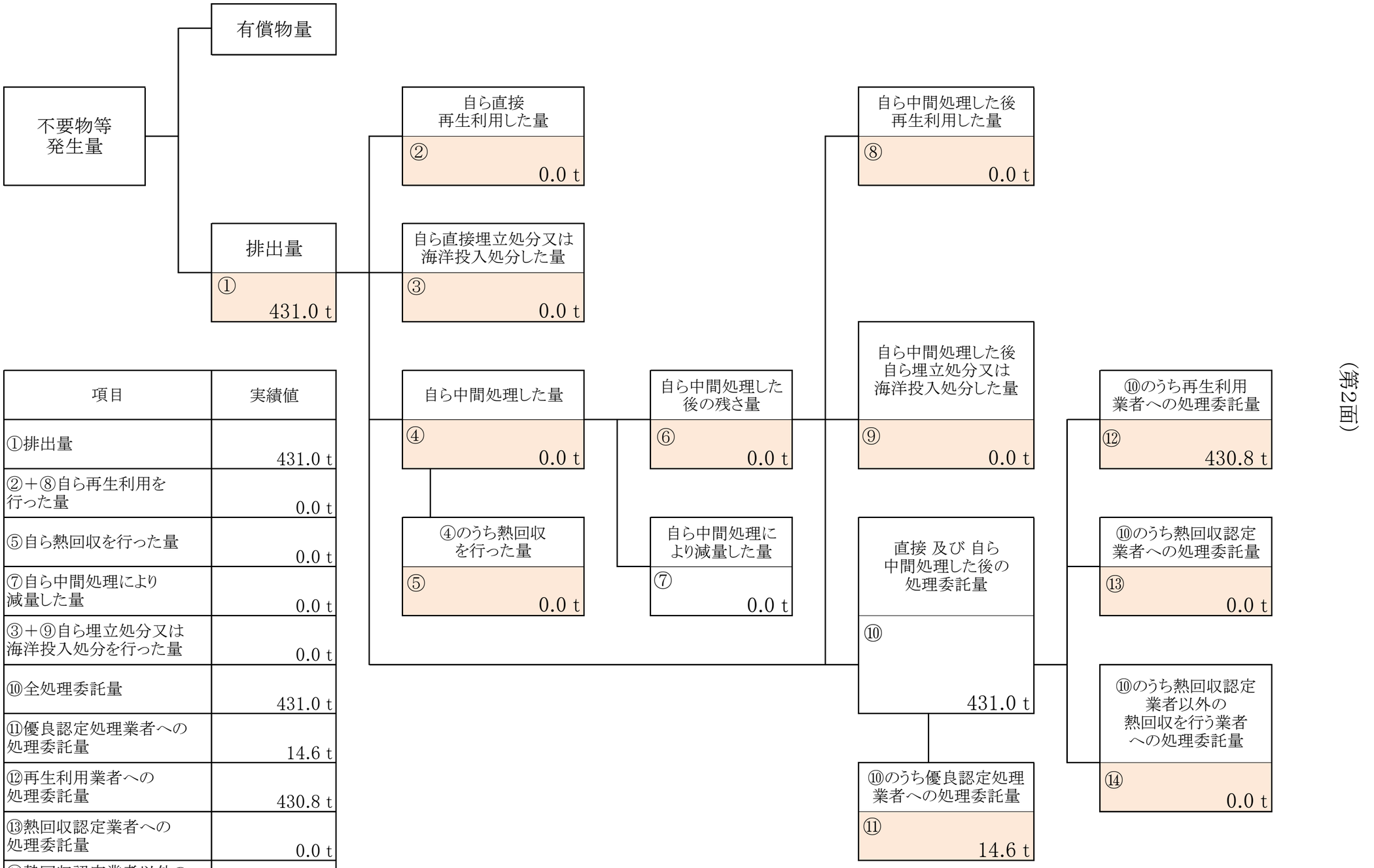


項目	実績値
①排出量	1.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

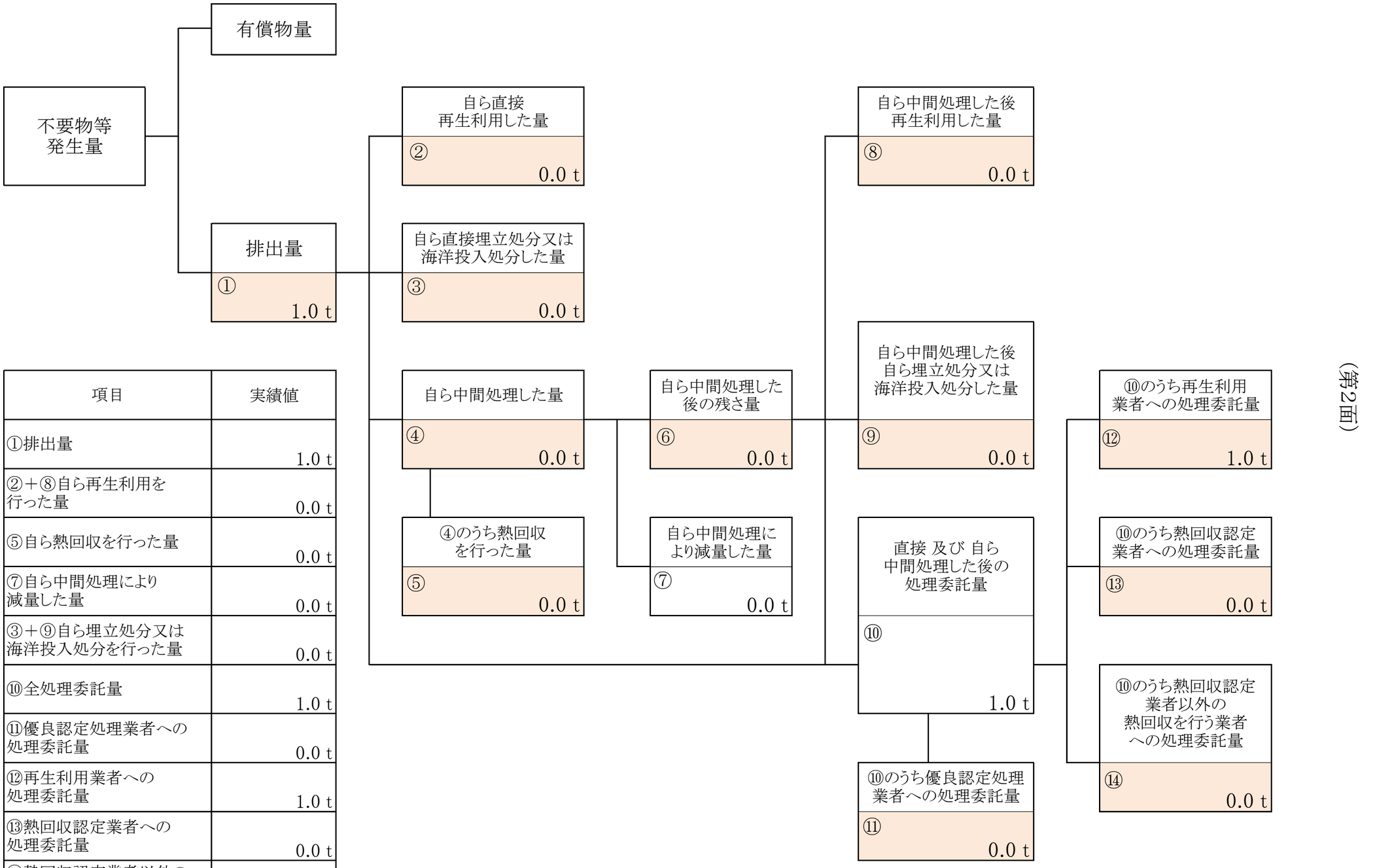


項目	実績値
①排出量	431.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	431.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	430.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

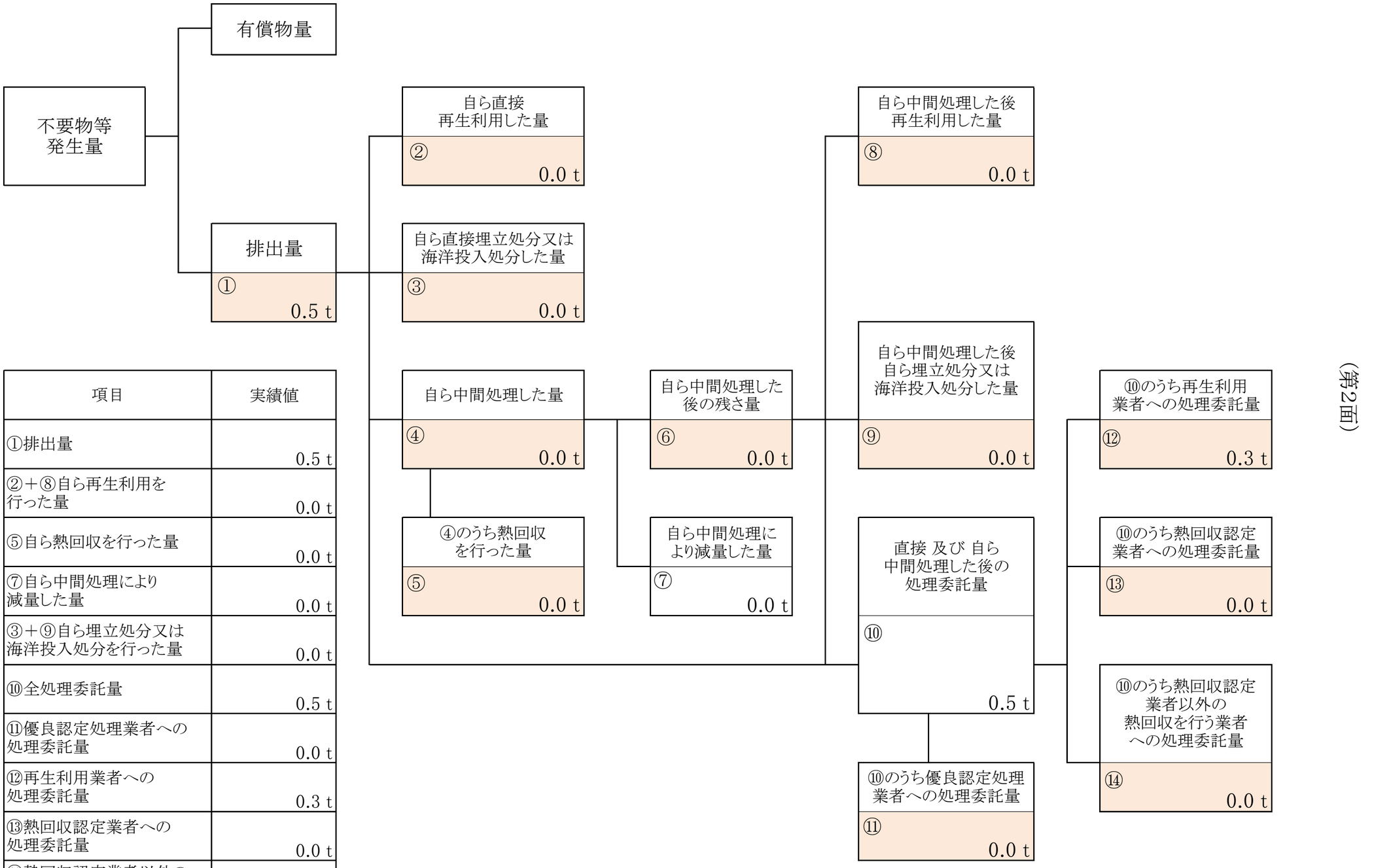


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶器くず**）

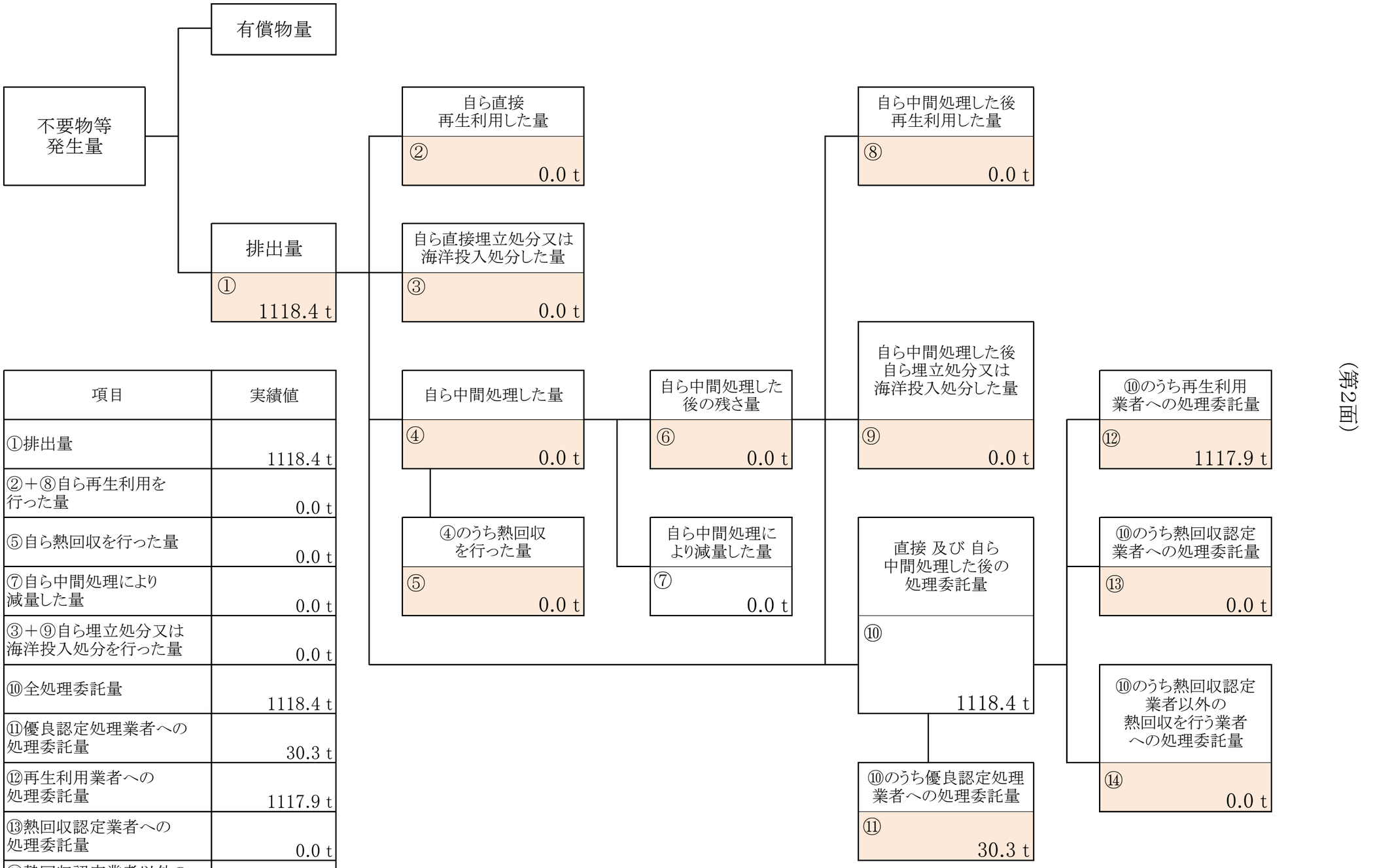


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

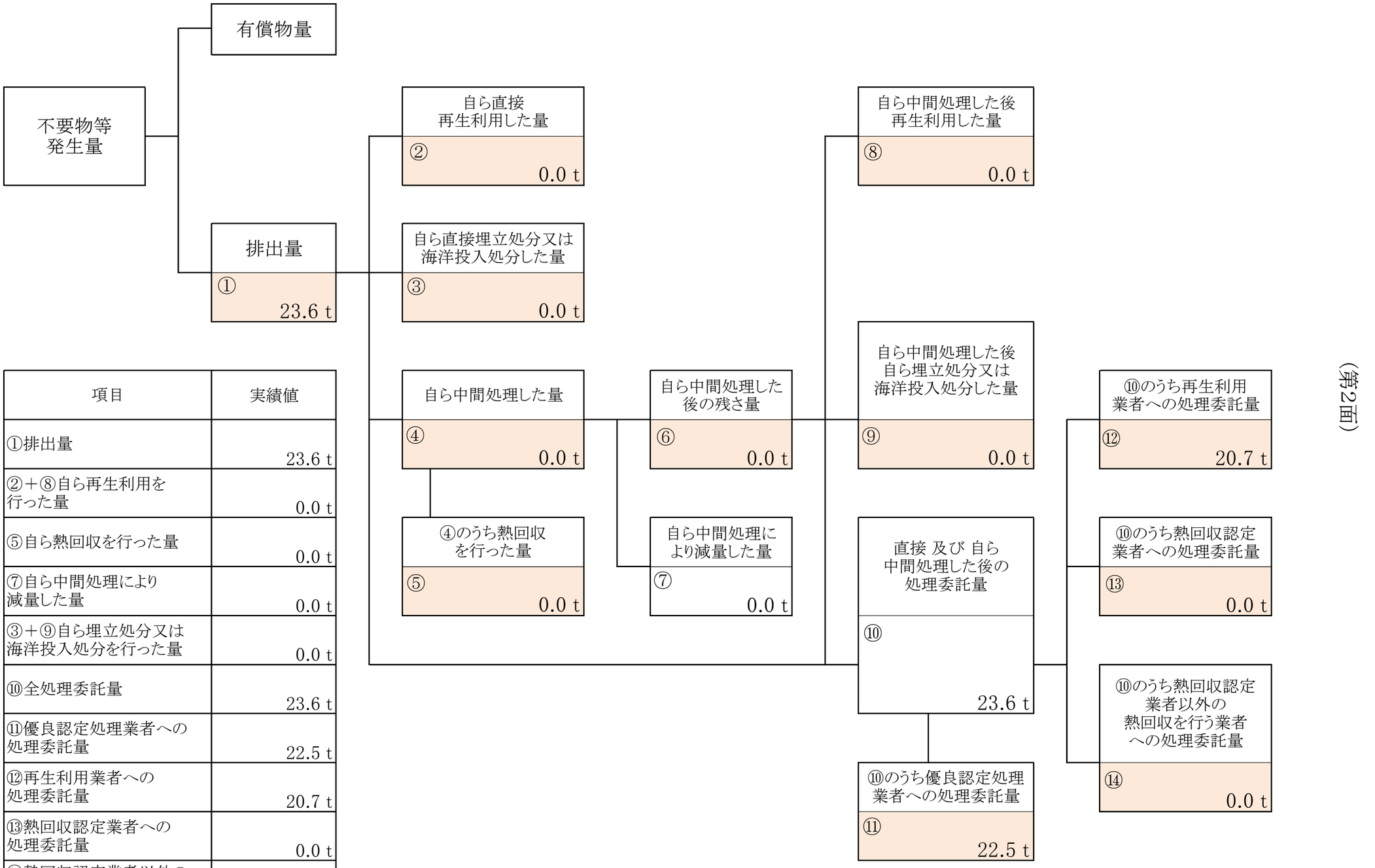


項目	実績値
①排出量	1118.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1118.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1117.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	23.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒210-0855
住 所　神奈川県川崎市川崎区南渡田町1-1
氏 名　JFEコンフォーム株式会社
代表取締役 城戸 章
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　044－355－7221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	建設業:JFEコンフォーム株式会社
事業場の所在地	〒210-0855 神奈川県川崎市川崎区南渡田町1-1 （現場:松戸市、佐倉市、市川市、茂原市、富津市）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

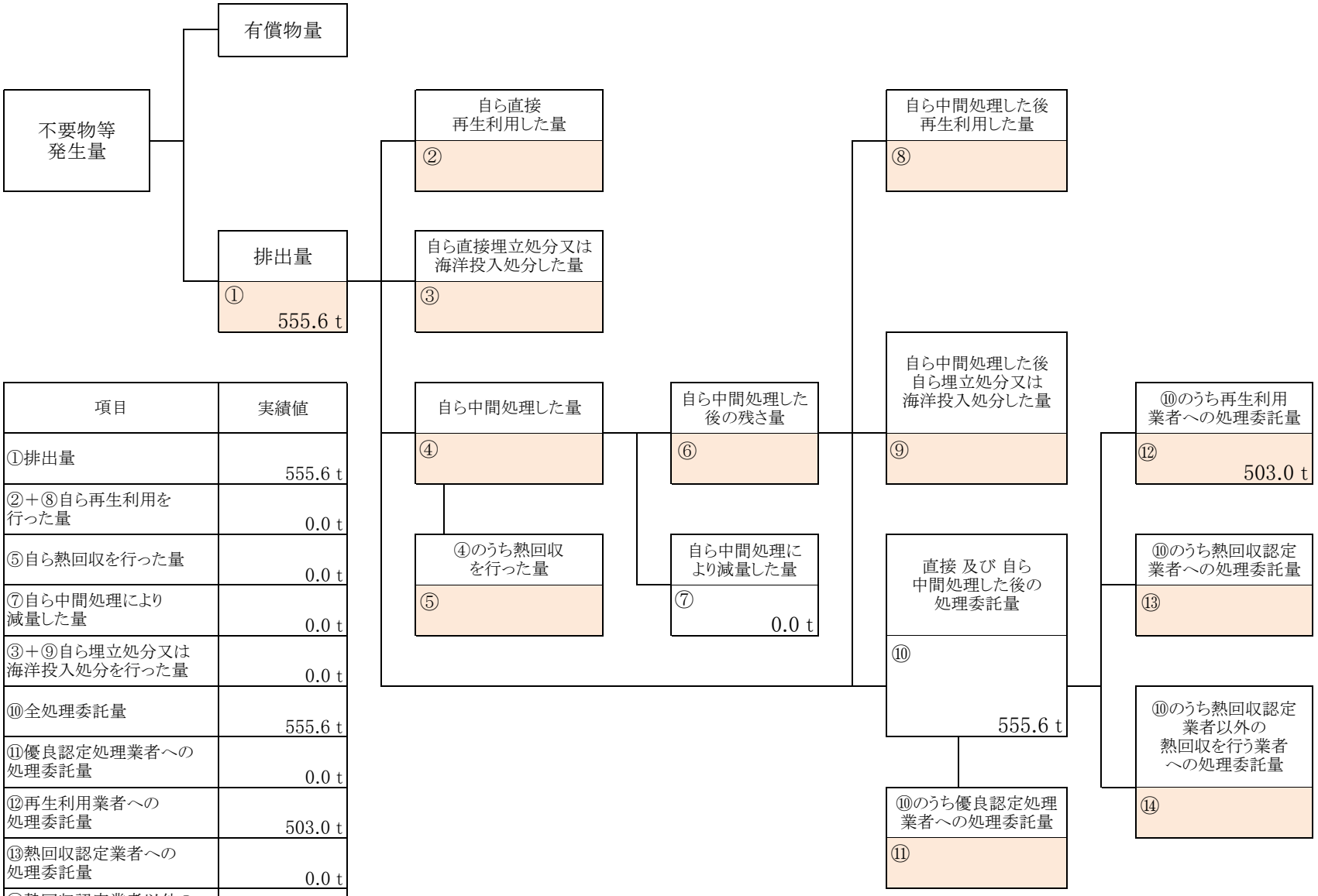
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3033.4ｔ	全処理委託量	3033.4ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3033.3ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（石綿含有廃棄物含む）**）

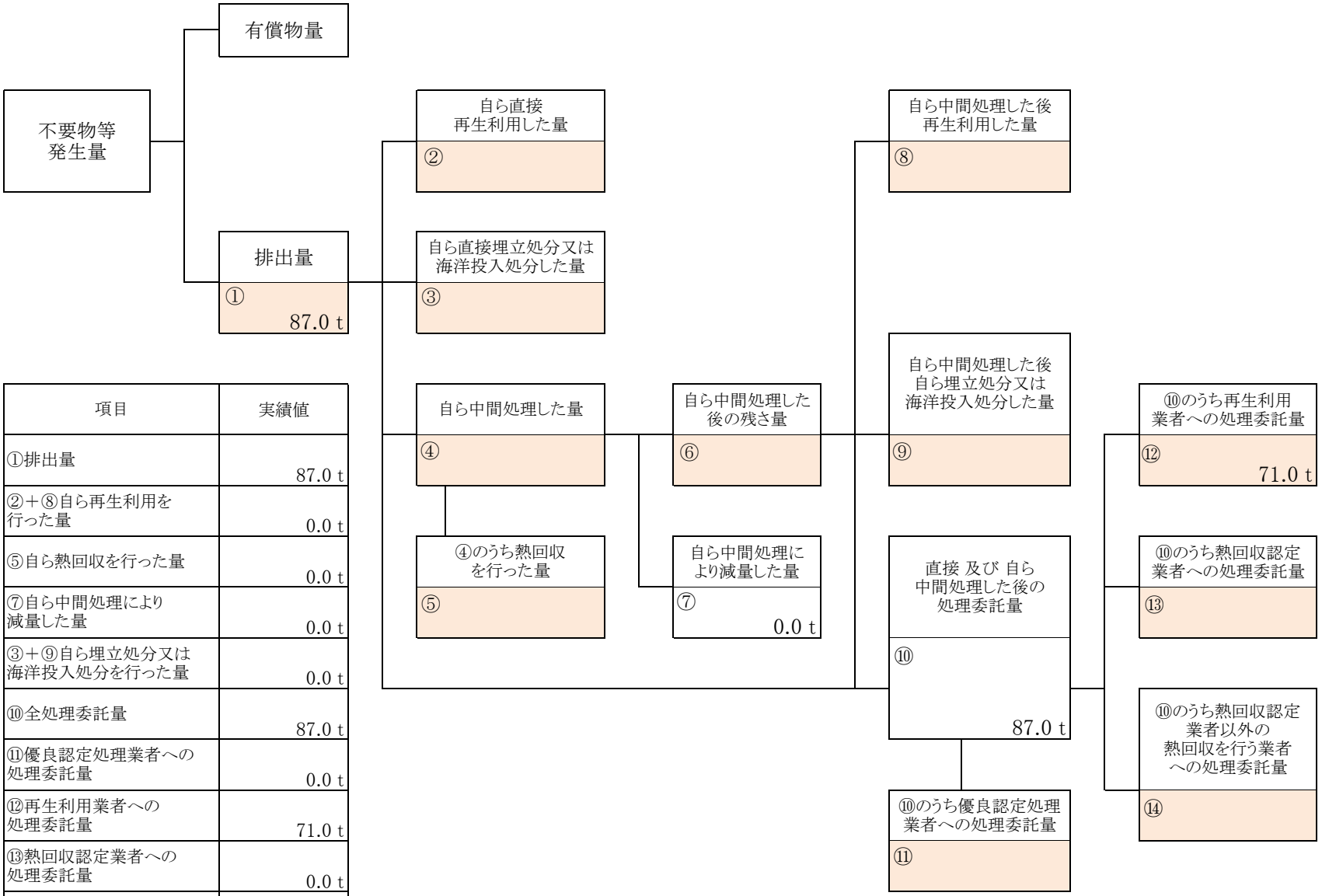


項目	実績値
①排出量	555.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	555.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	503.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・陶磁器くず（石綿含有廃棄物含む）**）

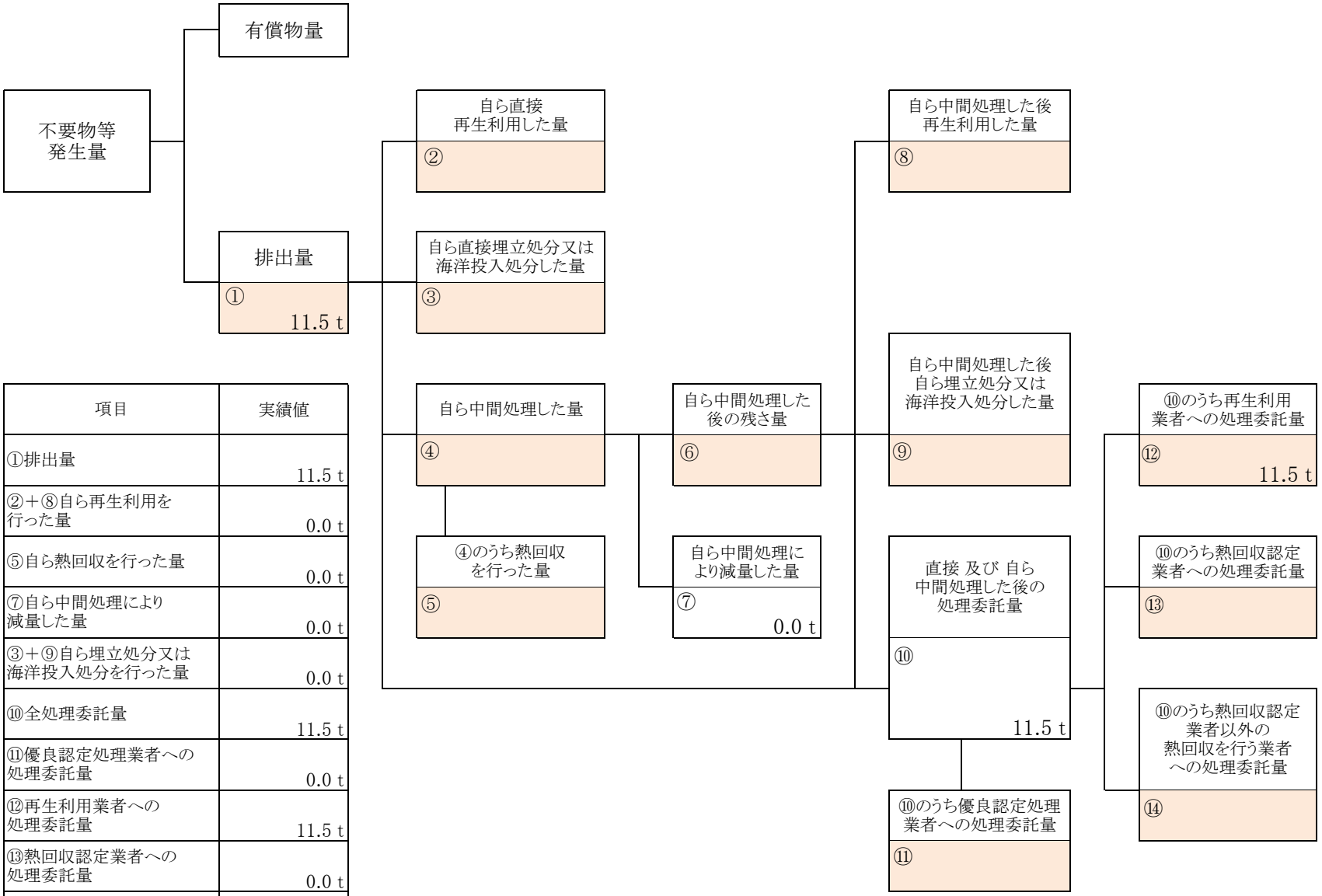


項目	実績値
①排出量	87.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	87.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	71.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃プラスチック類** ）

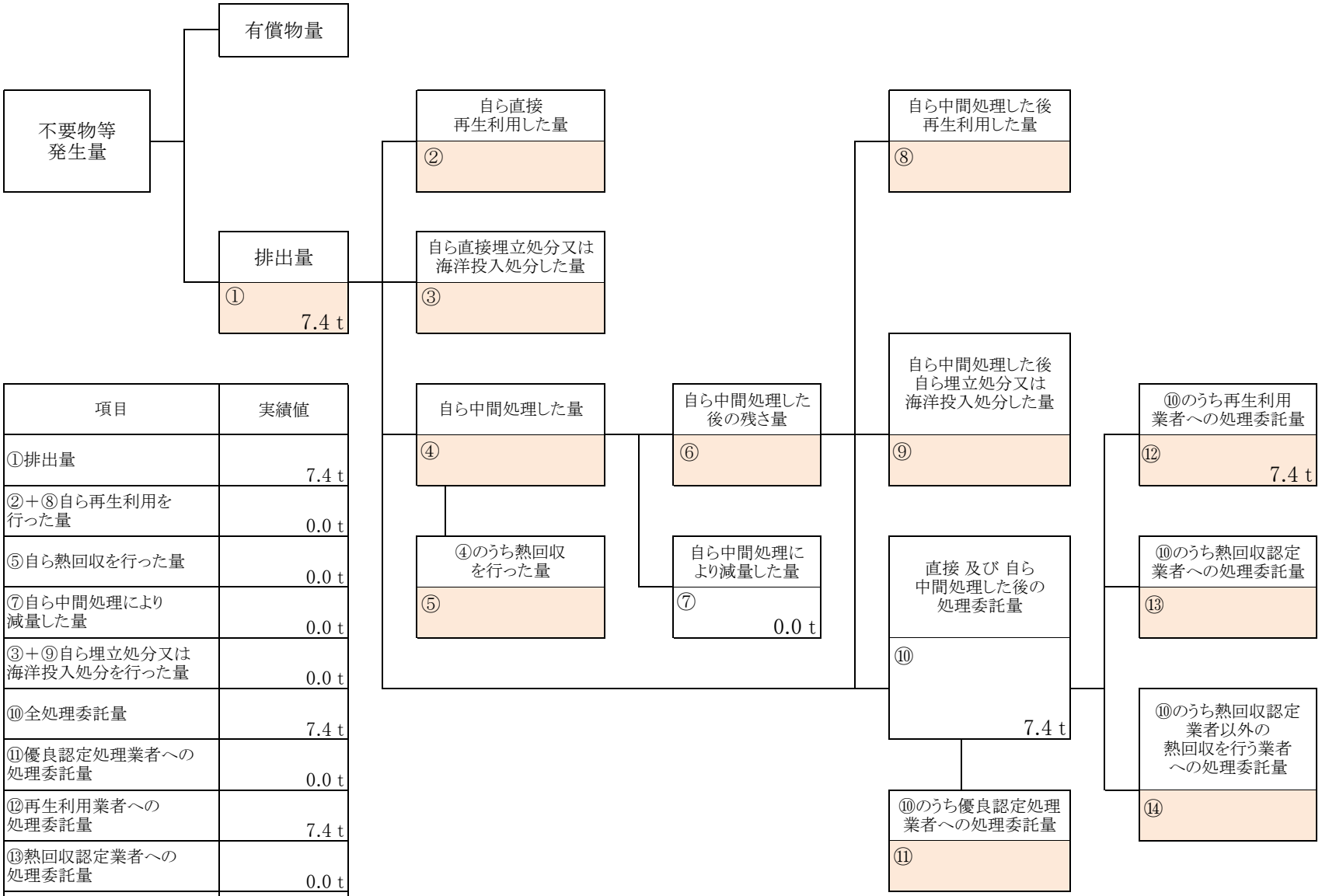


項目	実績値
①排出量	11.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

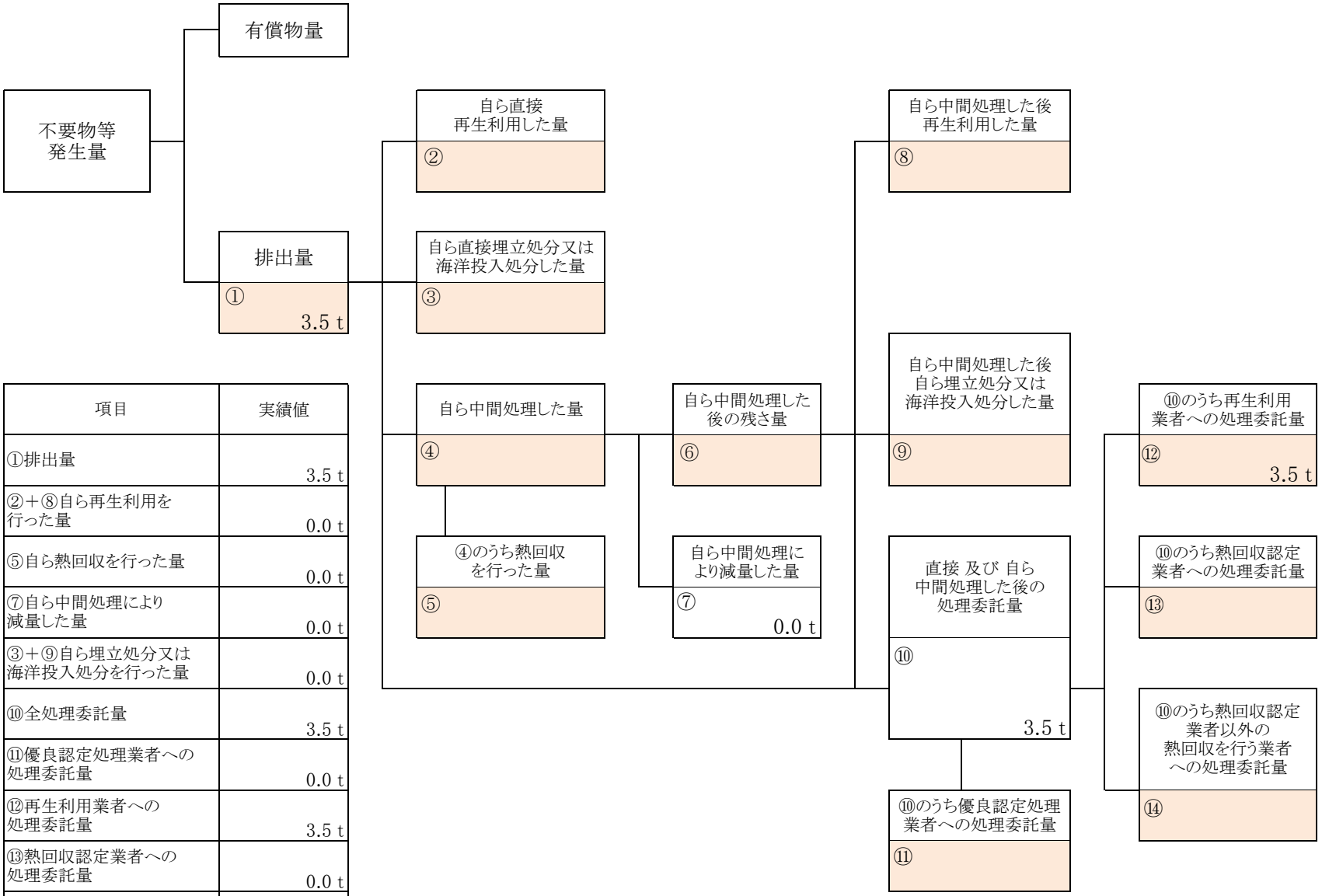


項目	実績値
①排出量	7.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **紙くず** ）

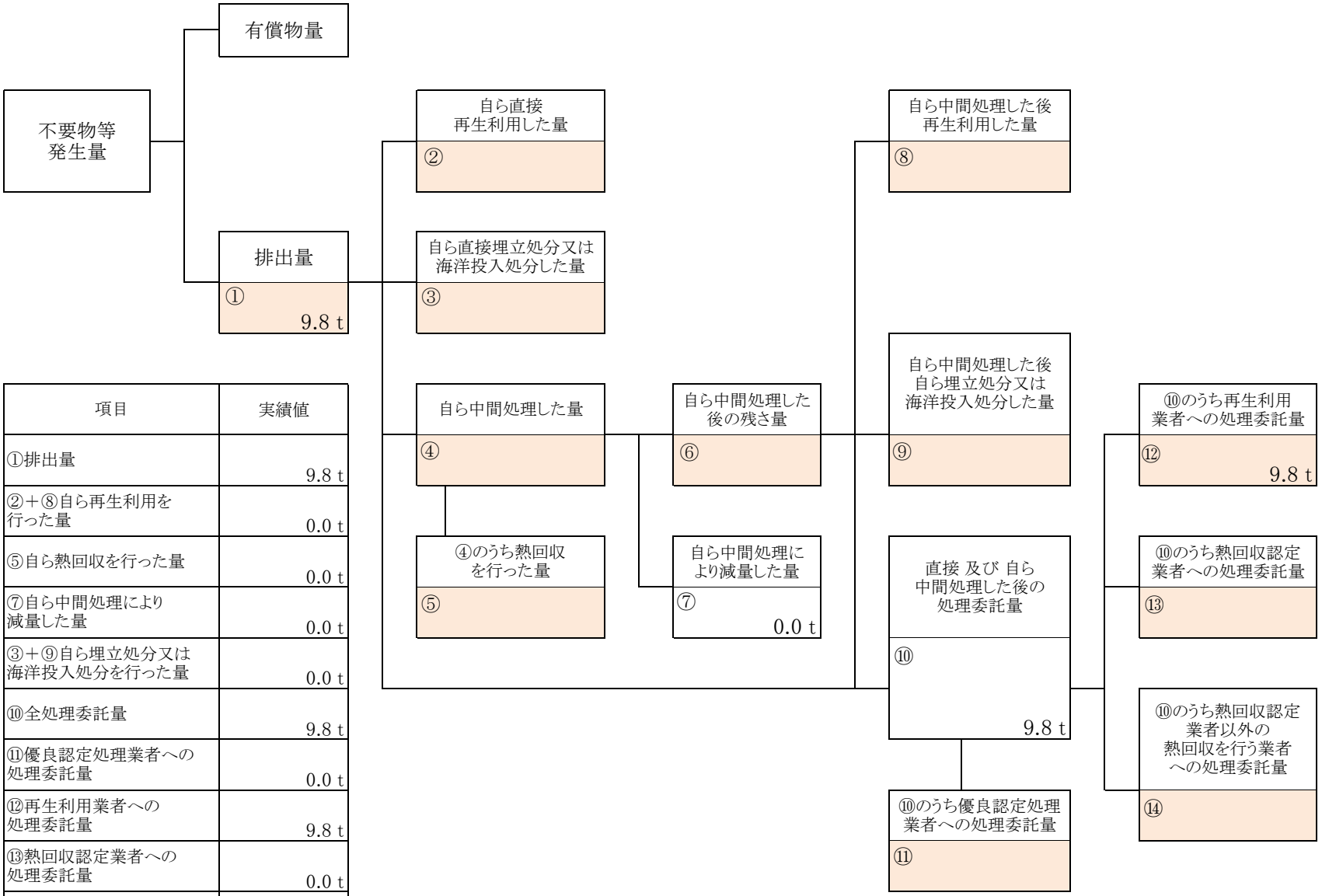


項目	実績値
①排出量	3.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

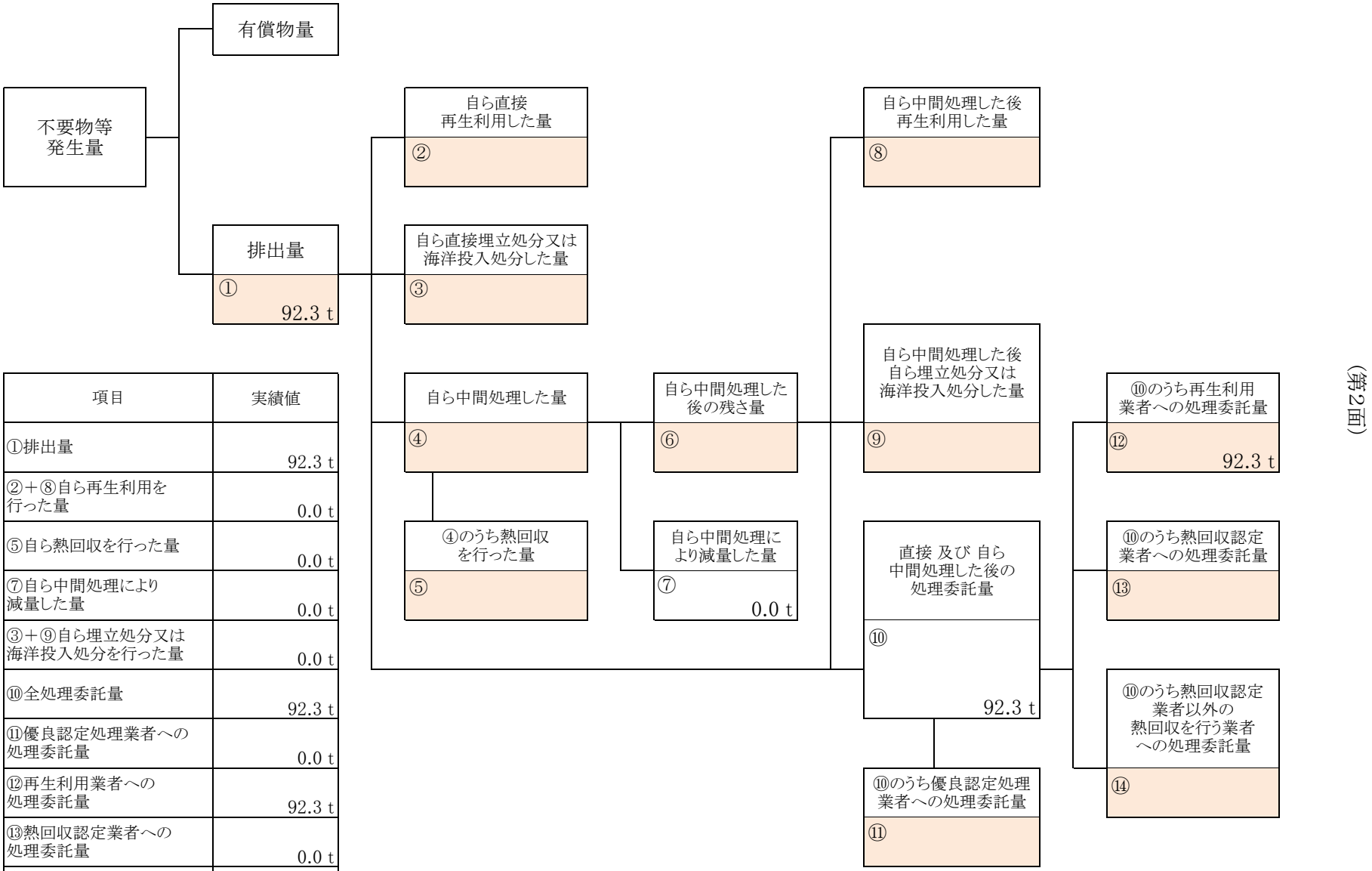


項目	実績値
①排出量	9.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **混合廃棄物** ）

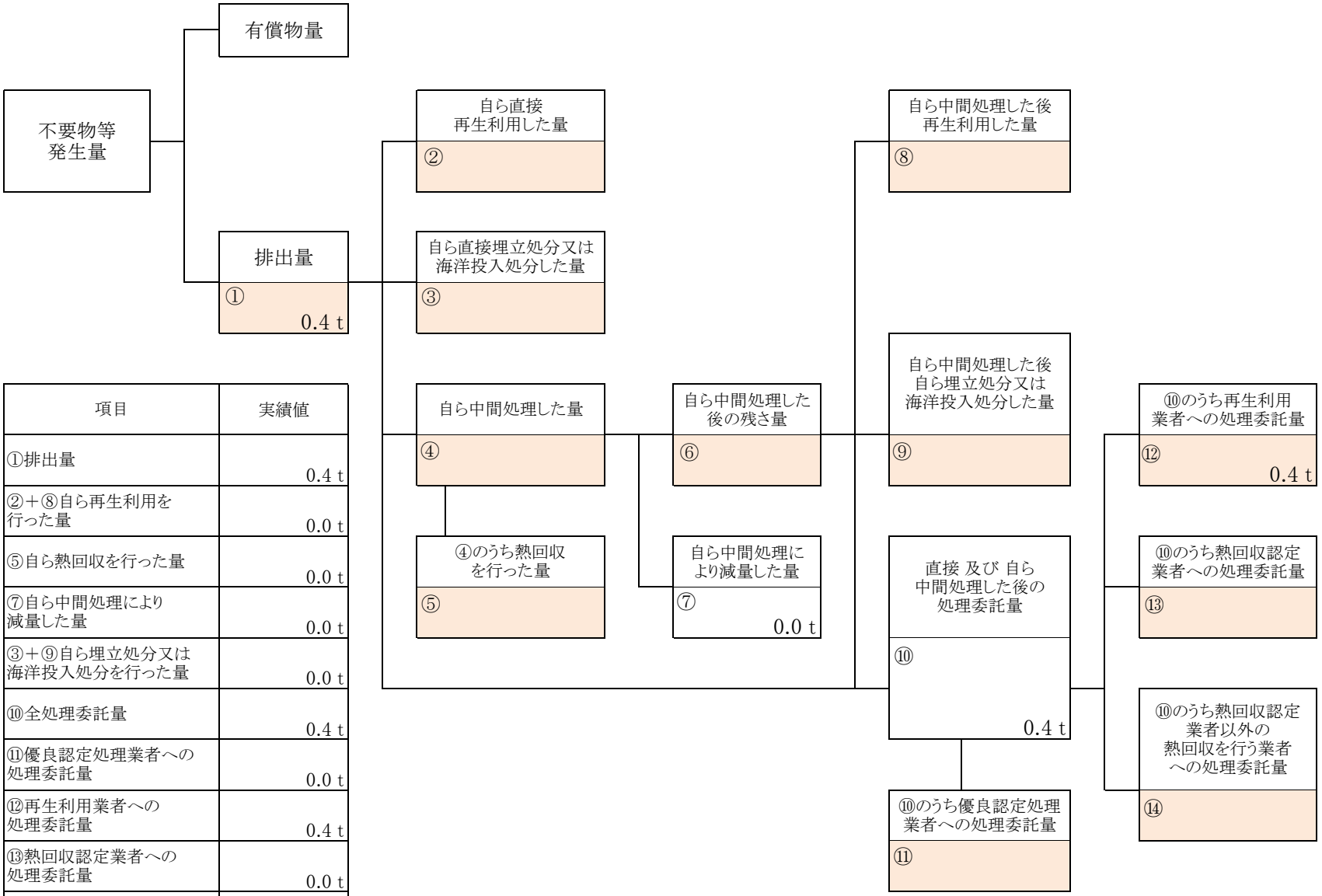


項目	実績値
①排出量	92.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	92.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	92.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**水銀使用製品（蛍光灯）**）



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　5月20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒111-0051

住　所　東京都台東区蔵前2-17-4

氏　名　JFEシビル株式会社（建築事業部）

取締役常務執行役員　建築事業部長　　石原　浩二郎

電話番号　　03-3864-3795

担当　　環境管理

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	JFEシビル株式会社　本社　（建築事業部千葉県管轄内工事現場）
事業場の所在地	東京都台東区蔵前2-17-4　（同上）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	建築事業部　（完工高 677億）　千葉県内　（完工高　94億）
③　従業員数	828 名(令和 7 年４月１日現在)内: 建築事業部(192 名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 １による

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙２による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	アスコンがら
	排出量	80.916 t	6,252.256 t
	（これまでに実施した取組） ・設計段階での減容追及反映 ・社員教育(環境全般)・現場での職人へ分別指導		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	アスコンがら
	排出量	100 t	2,000 t
	（今後実施する予定の取組） ・設計段階での減容追及反映 ・社員教育(環境全般)・現場での職人へ分別指導		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・有価対象としてのﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ・金属くずの分別管理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・有価物の管理の徹底 ・混合廃棄物の最小化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	その他がれき類	アスコンがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	その他がれき類	アスコンがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	その他がれき類	アスコンがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	その他がれき類	アスコンがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	その他がれき類	アスコンがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	アスコンがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿		その他がれき類	アスコンがら
全処理委託量＿		80.916 t	6,252.256 t
	優良認定処理業者への処理委託量	28.416 t	1,208.256 t
	再生利用業者への処理委託量	80.916 t	6,252.256 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

・分別の徹底　関係者の意識改革と教育強化
・可能な限りの電子対応
・優良委託先への依頼推奨

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	その他がれき類	アスコンがら
		全処理委託量＿	100 t	2,000 t
		優良認定処理業者への処理委託量	100 t	1,000 t
		再生利用業者への処理委託量	100 t	2,000 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組） ・分別の徹底　関係者の意識改革と教育強化 ・可能な限りの電子対応 ・優良委託先への依頼推奨		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
		排　出　量	29184.26 t	96.7 t	22.35 t	187.475 t	1150.6 t	0.565 t	13.18 t	95.55 t	0.265 t	376.6 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
		排　出　量	1000 t	50 t	50 t	100 t	100 t	10 t	500 t	100 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

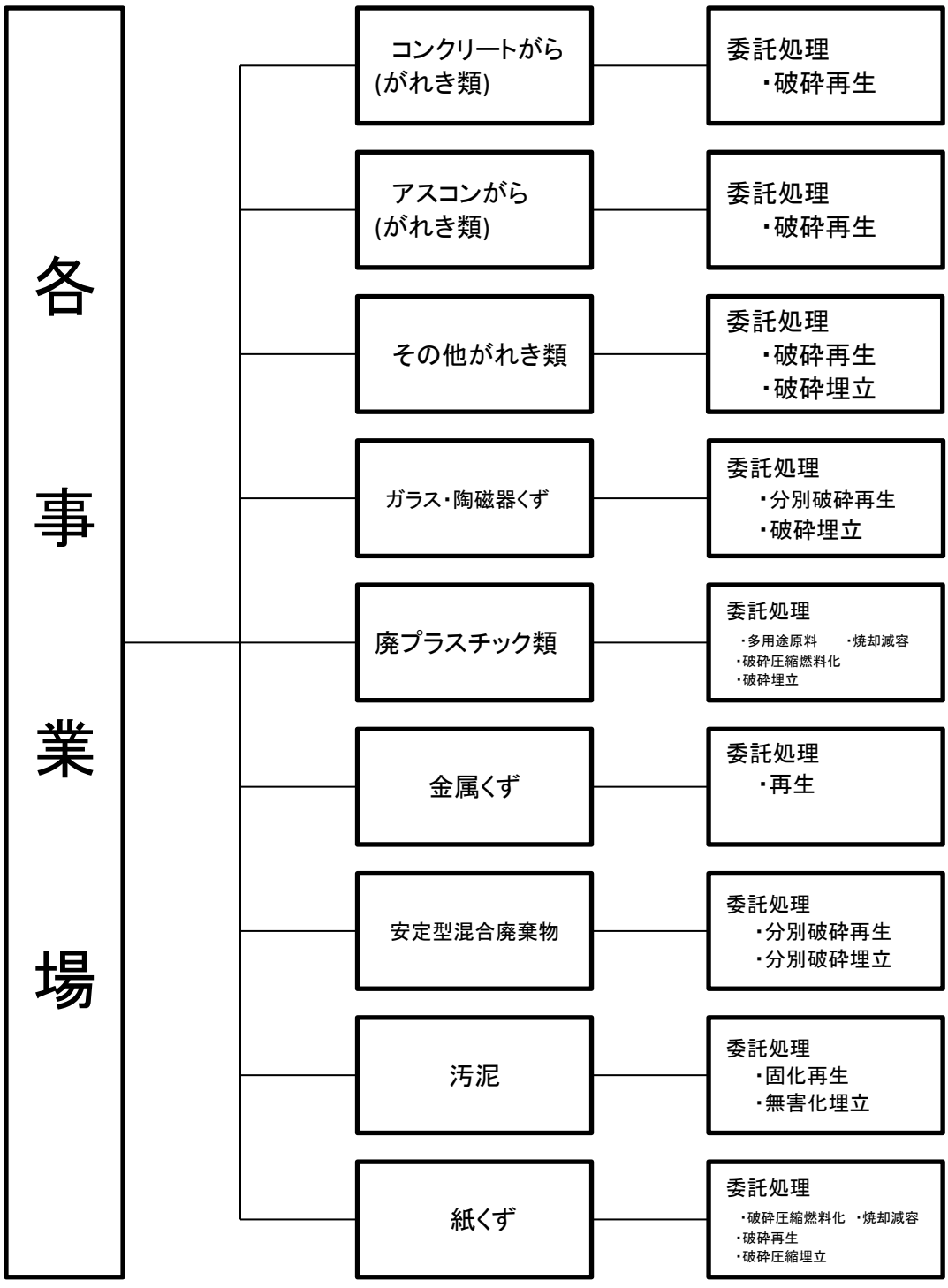
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	**【目標】**										
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
	全処理委託量	29,184.26 t	96.7 t	22.35 t	187.475 t	1,150.6 t	0.565 t	13.18 t	95.55 t	0.265 t	376.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,155.8 t	96.7 t	22.35 t	187.475 t	1,150.6 t	0.565 t	13.18 t	95.55 t	0.265 t	12 t
	再生利用業者への処理委託量	29,184.26 t	96.7 t	22.35 t	187.475 t	1150.6 t	0.565 t	13.18 t	95.55 t	0.265 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・陶磁器くず	石膏ボード	廃プラスチック類	木くず	金属くず	汚泥	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物
	全処理委託量	1,000 t	50 t	50 t	100 t	100 t	10 t	500 t	100 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,000 t	50 t	50 t	100 t	100 t	10 t	500 t	100 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1,000 t	50 t	50 t	100 t	100 t	10 t	500 t	100 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

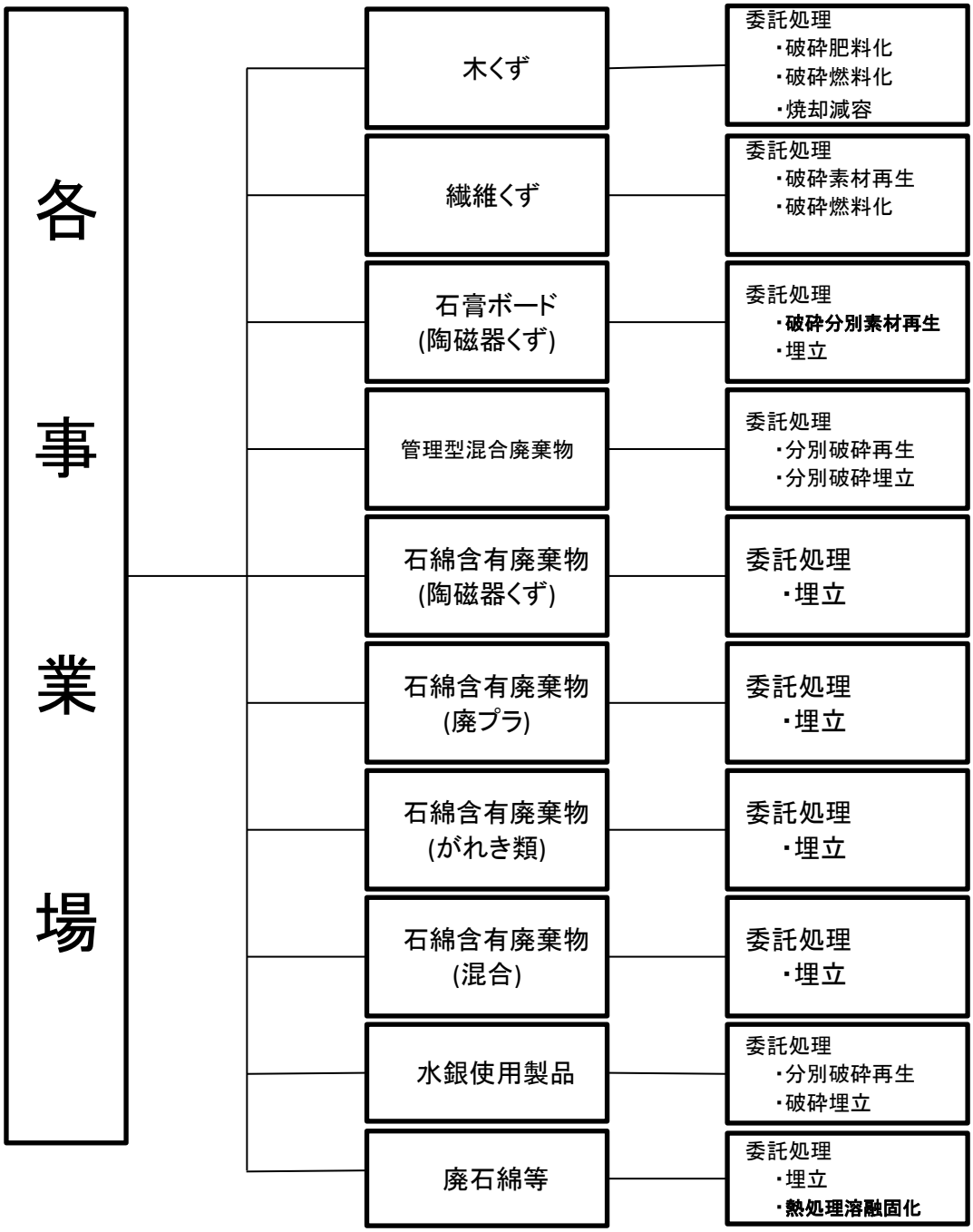
別紙1-1


産業廃棄物処理計画書
産業廃棄物の一連の処理工程
各事業場
コンクリートがら(がれき類)
委託処理
・破砕再生
アスコンがら(がれき類)
委託処理
・破砕再生
その他がれき類
委託処理
・破砕再生
・破砕埋立
ガラス・陶磁器くず
委託処理
・分別破砕再生
・破砕埋立
廃プラスチック類
委託処理
・多用途原料
・焼却減容
・破砕圧縮燃料化
・破砕埋立
金属くず
委託処理
・再生
安定型混合廃棄物
委託処理
・分別破砕再生
・分別破砕埋立
汚泥
委託処理
・固化再生
・無害化埋立
紙くず
委託処理
・破砕圧縮燃料化
・焼却減容
・破砕再生
・破砕圧縮埋立

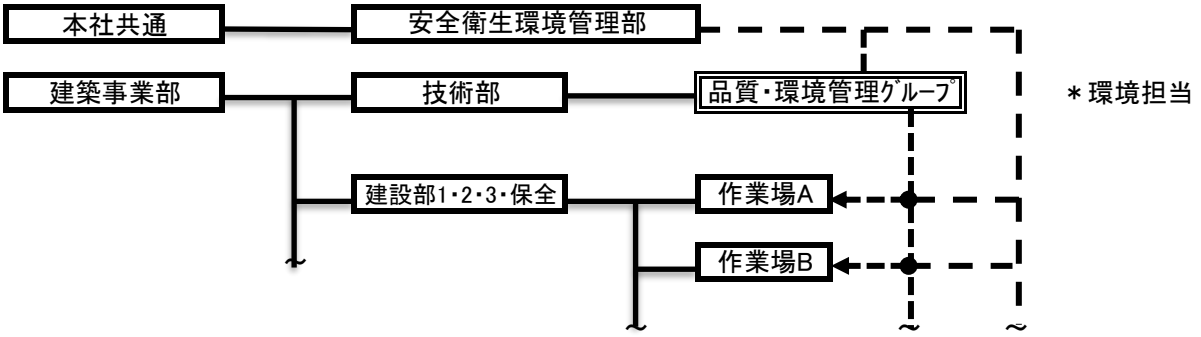
別紙1-2

産業廃棄物処理計画書

産業廃棄物の一連の処理工程



別紙 2: 2025年度 管理体制図



様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　5月20日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒111-0051
住　所　東京都台東区蔵前2-17-4
氏　名　JFEシビル　株式会社（建築事業部）
取締役常務執行役員　物流建築事業部長　石原　浩二郎
電話番号　03-3864-3795
担当者　環境管理　担当者

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	JFEシビル　株式会社　建築事業部(千葉県管轄内工事現場)
事業場の所在地	東京都台東区蔵前2-17-4
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

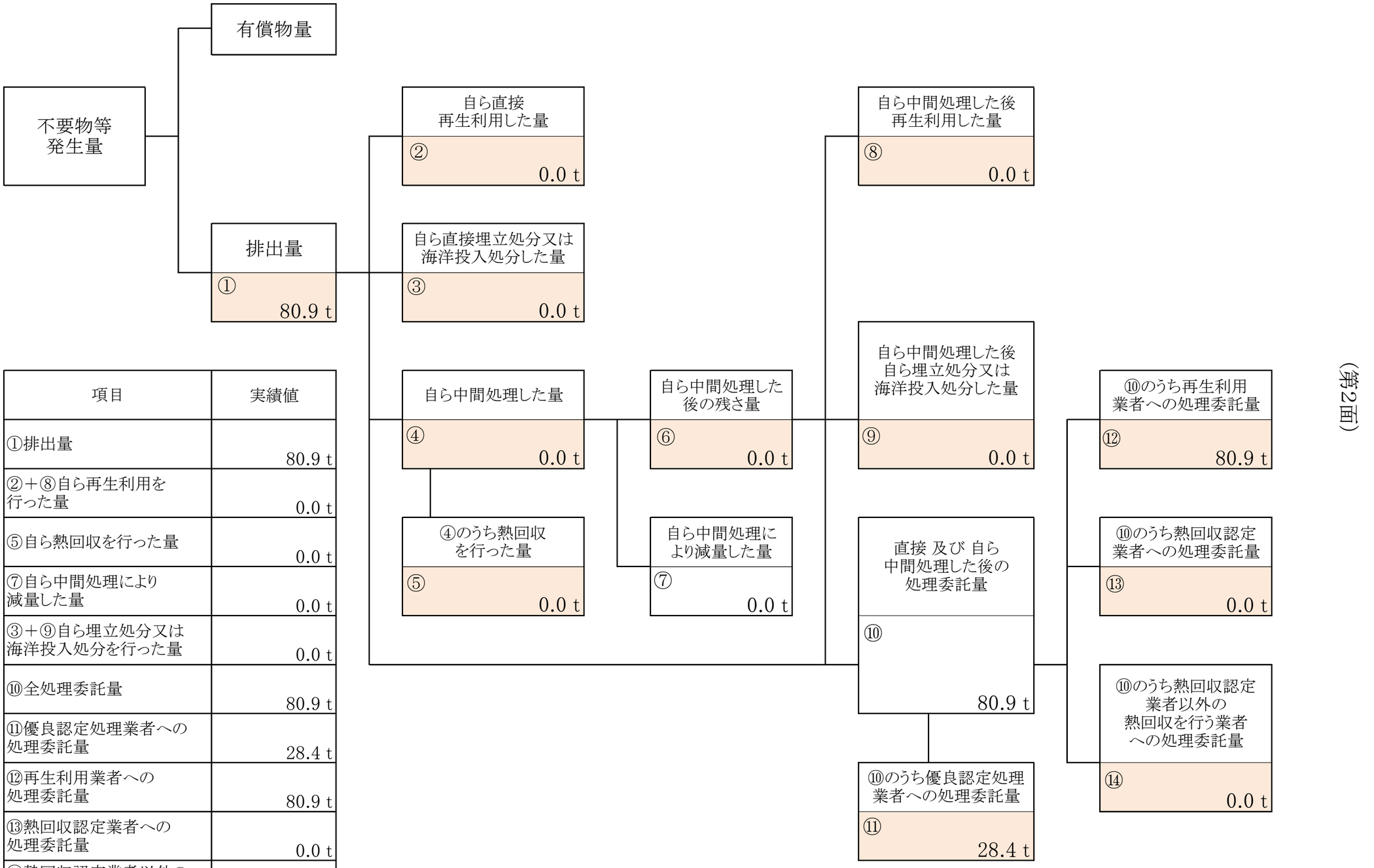
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1375.0ｔ	全処理委託量	1375.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	1375.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	1375.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**その他がれき類**）

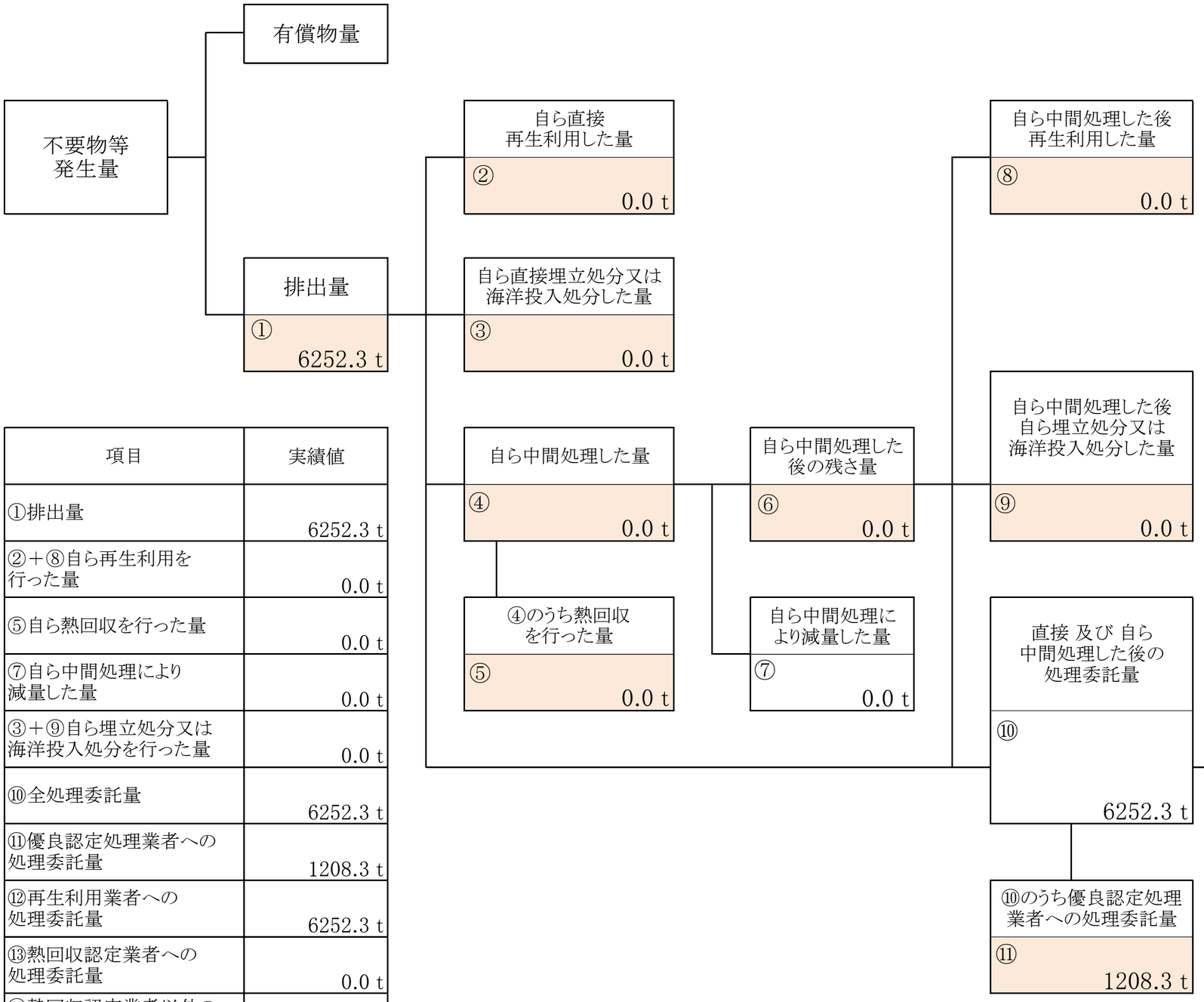


項目	実績値
①排出量	80.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	80.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	80.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスコンがら）

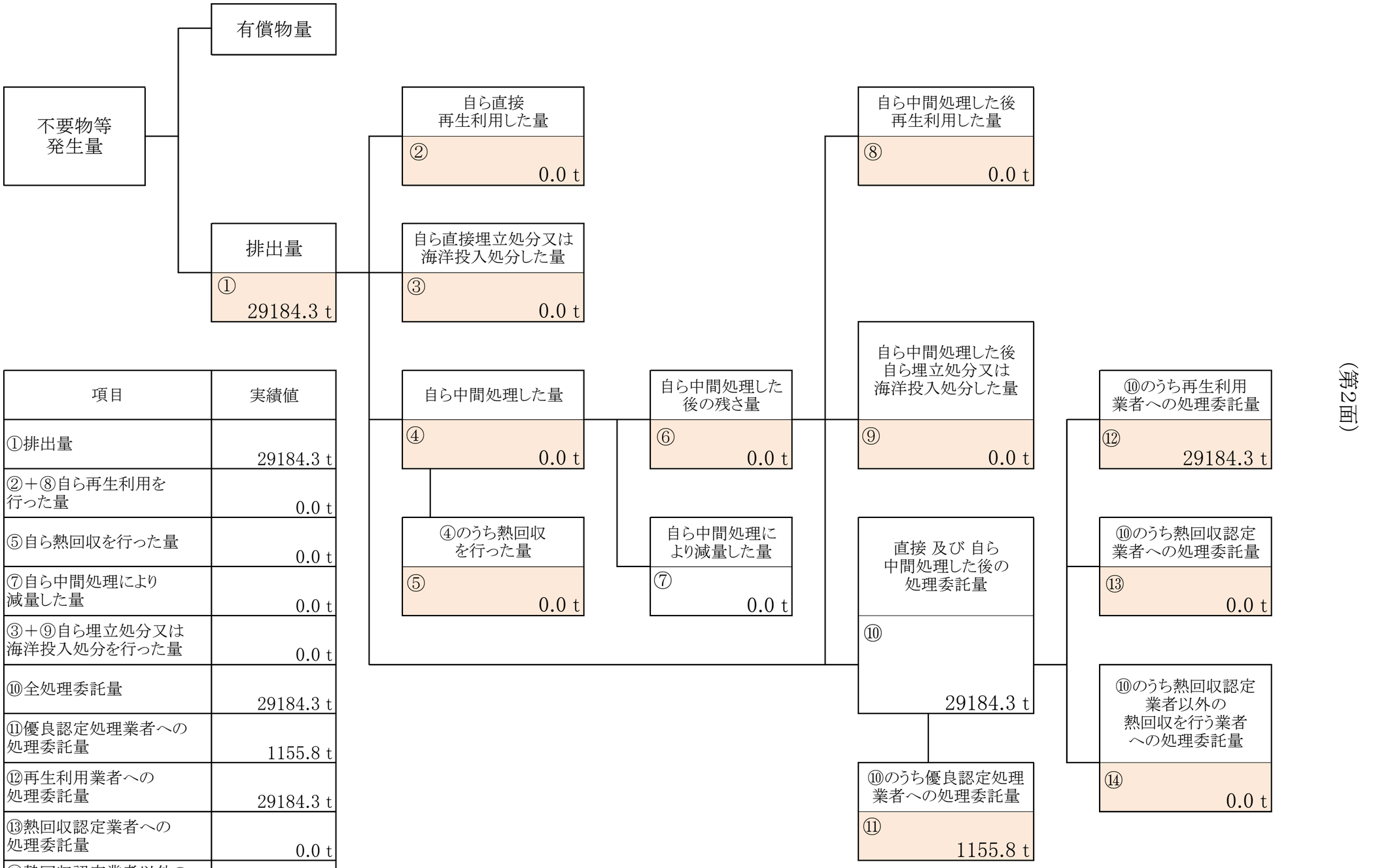


項目	実績値
①排出量	6252.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6252.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1208.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6252.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

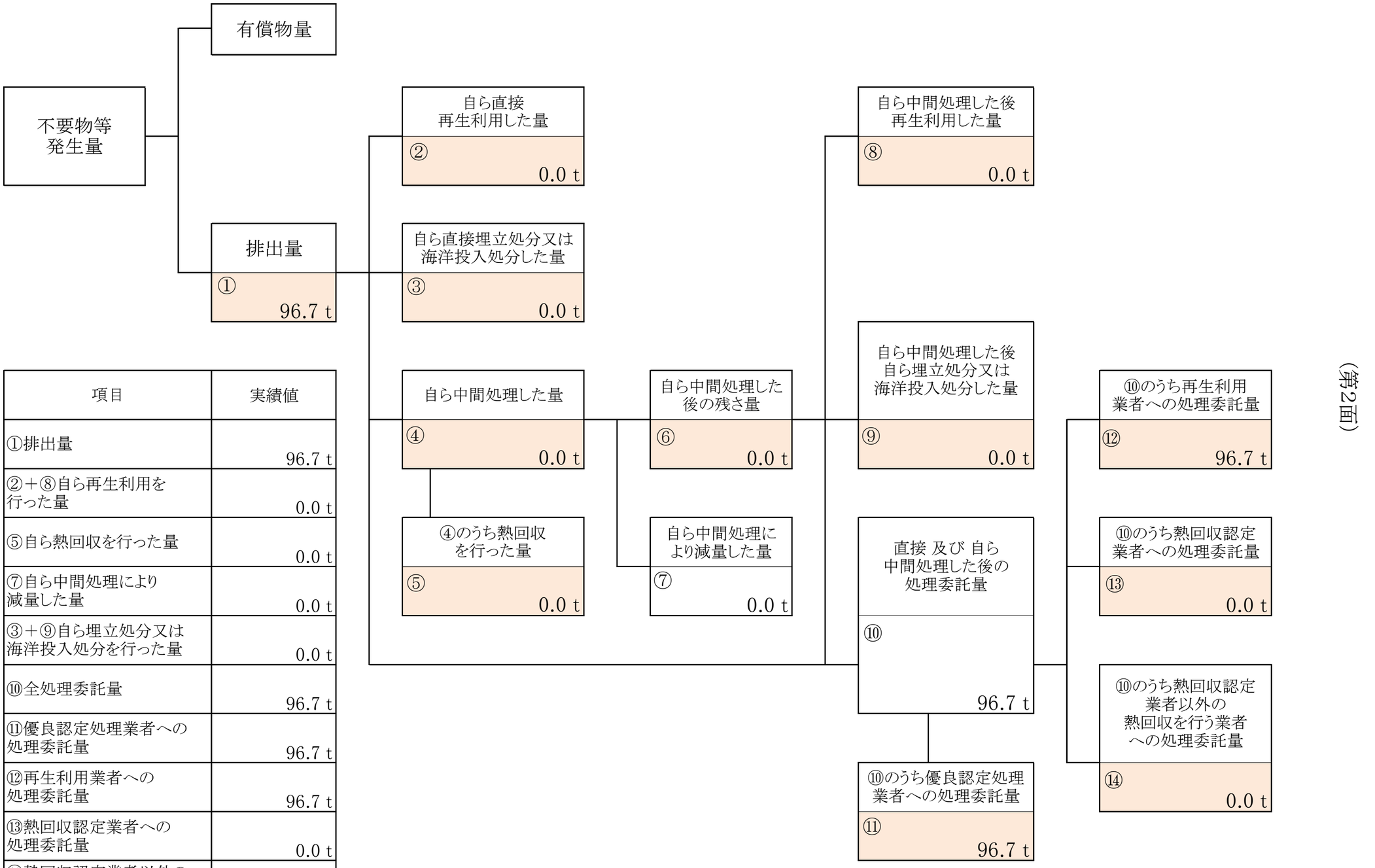


項目	実績値
①排出量	29184.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29184.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1155.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	29184.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・陶磁器くず(ALC・グラスウール含む)**）

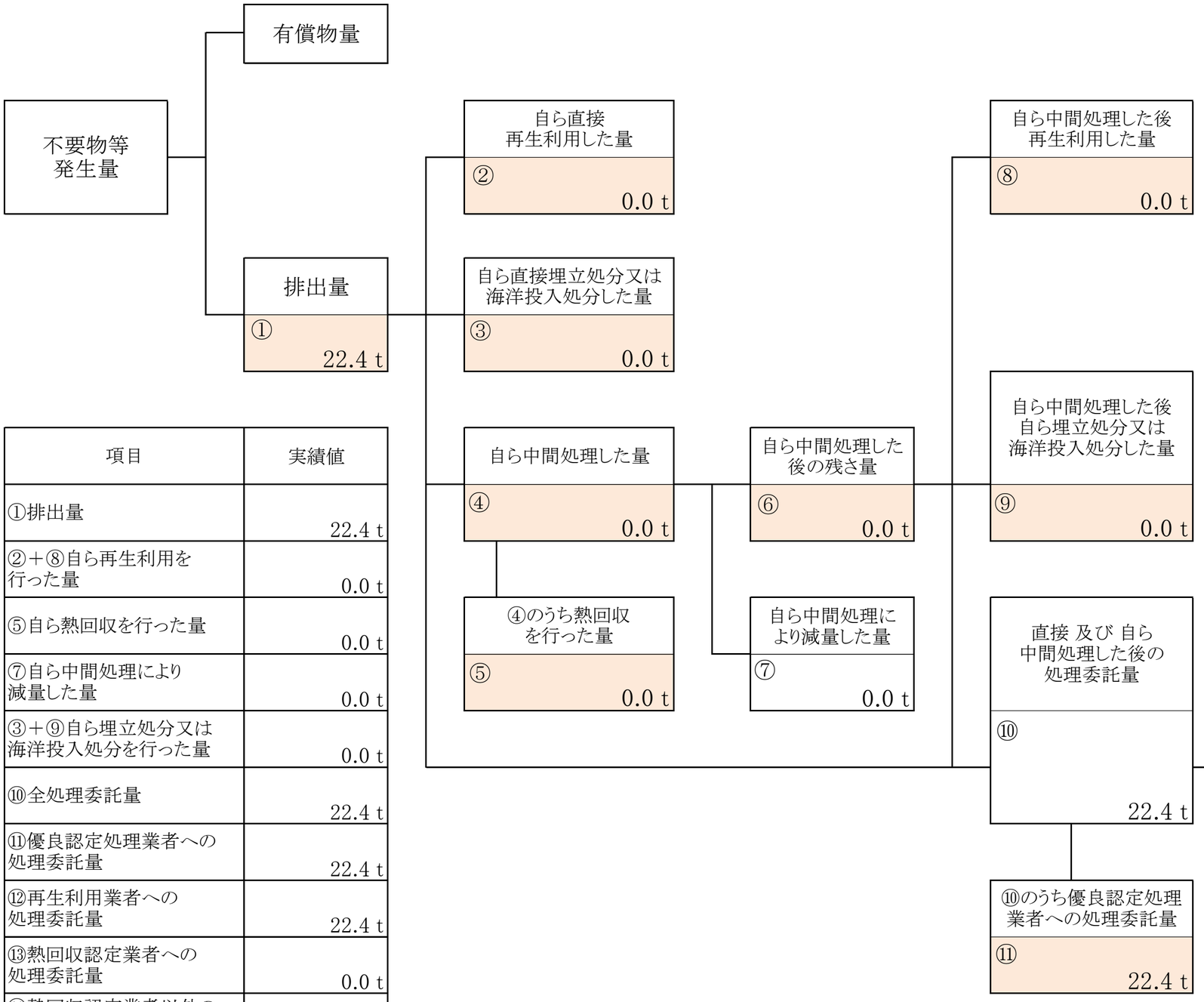


項目	実績値
①排出量	96.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	96.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	96.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	96.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石膏ボード**）

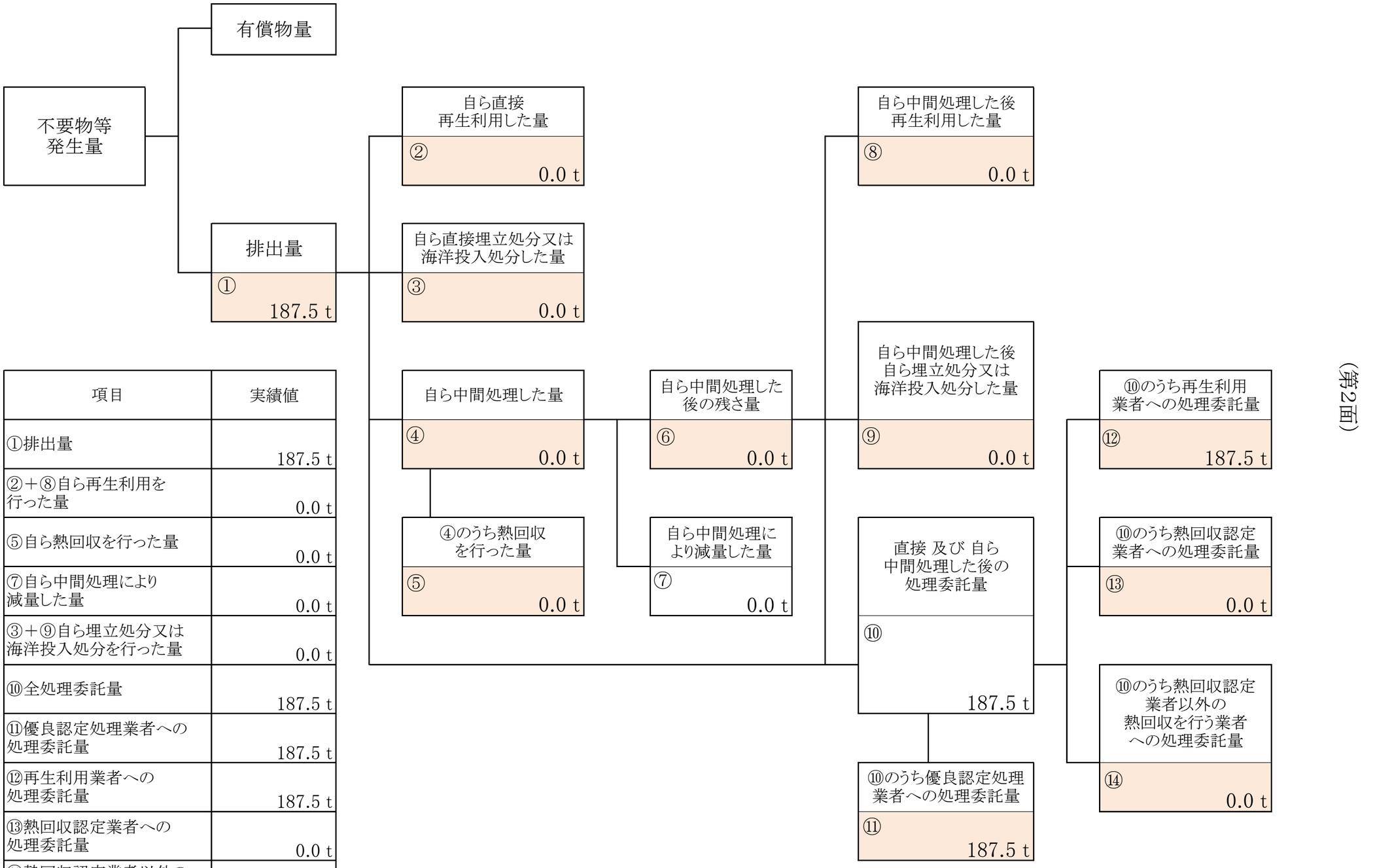


項目	実績値
①排出量	22.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

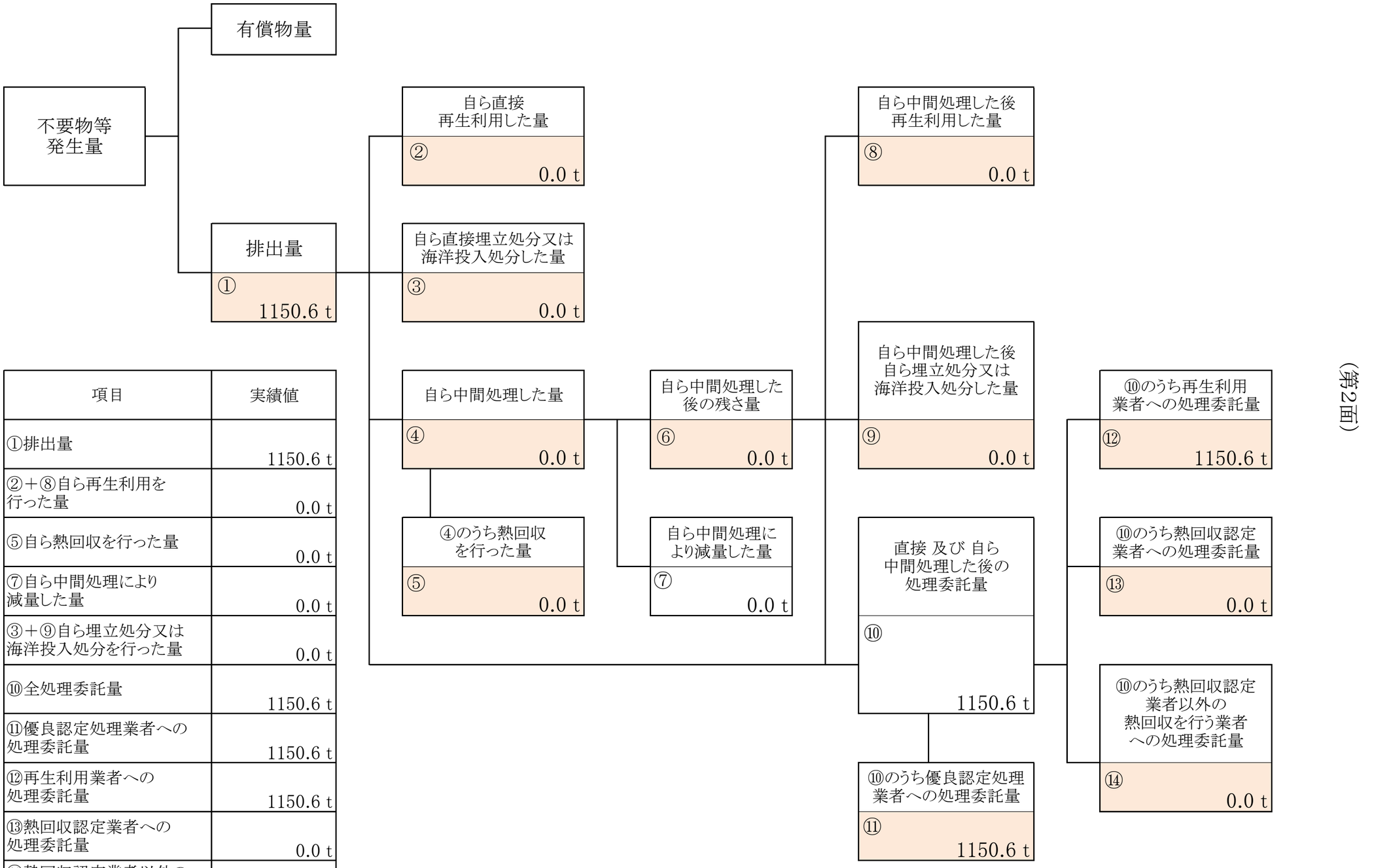


項目	実績値
①排出量	187.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	187.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	187.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	187.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

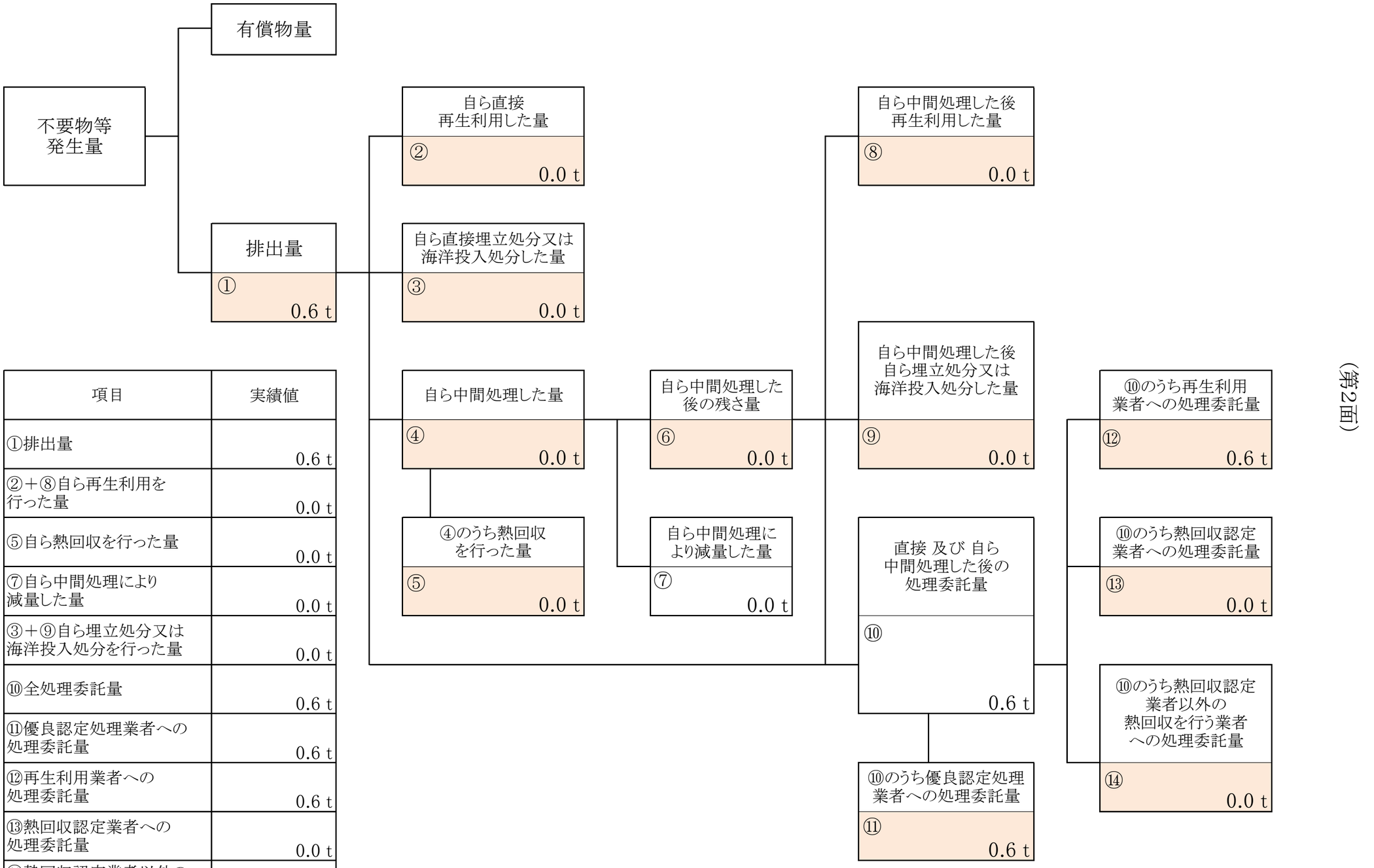


項目	実績値
①排出量	1150.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1150.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1150.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1150.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

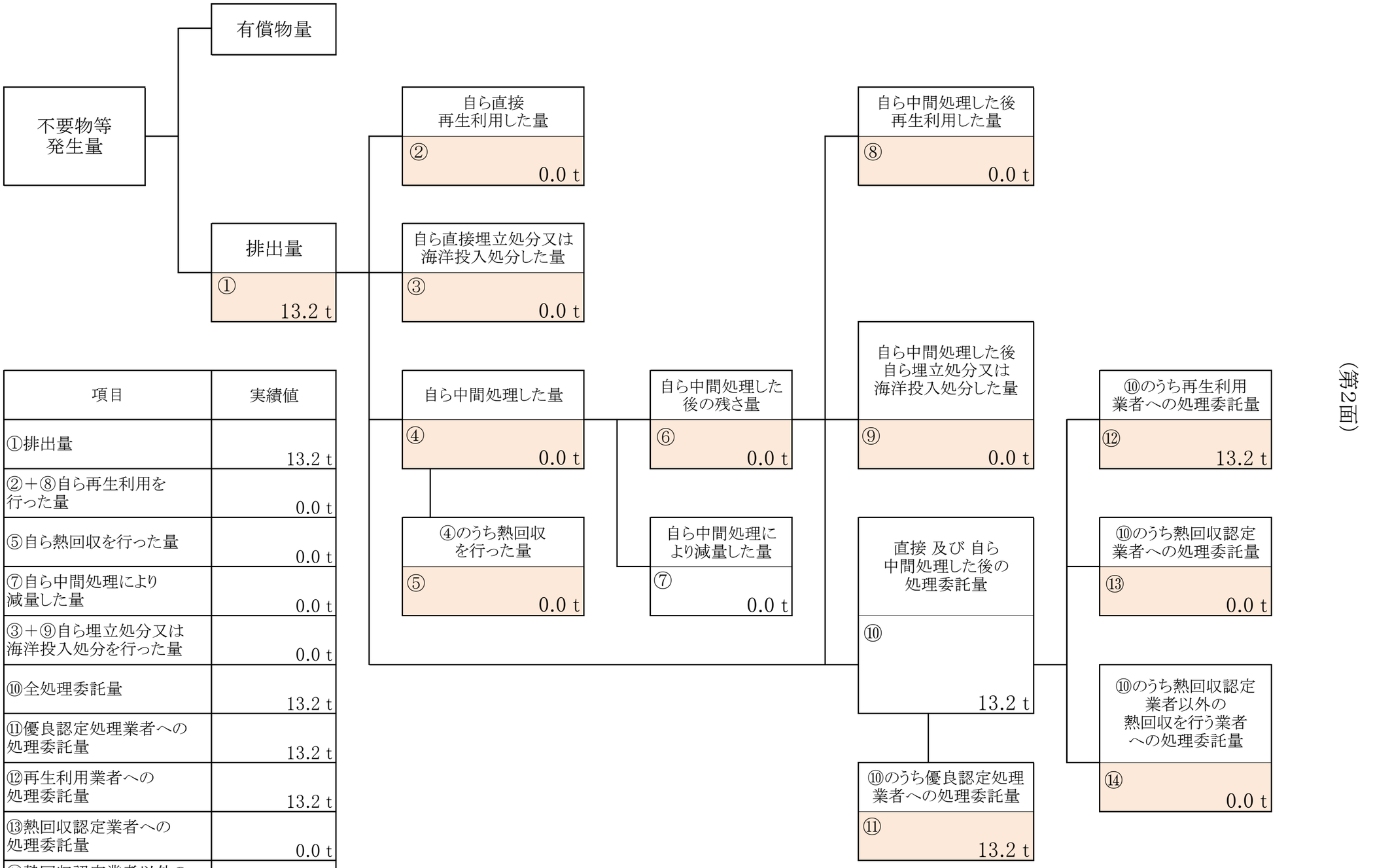


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

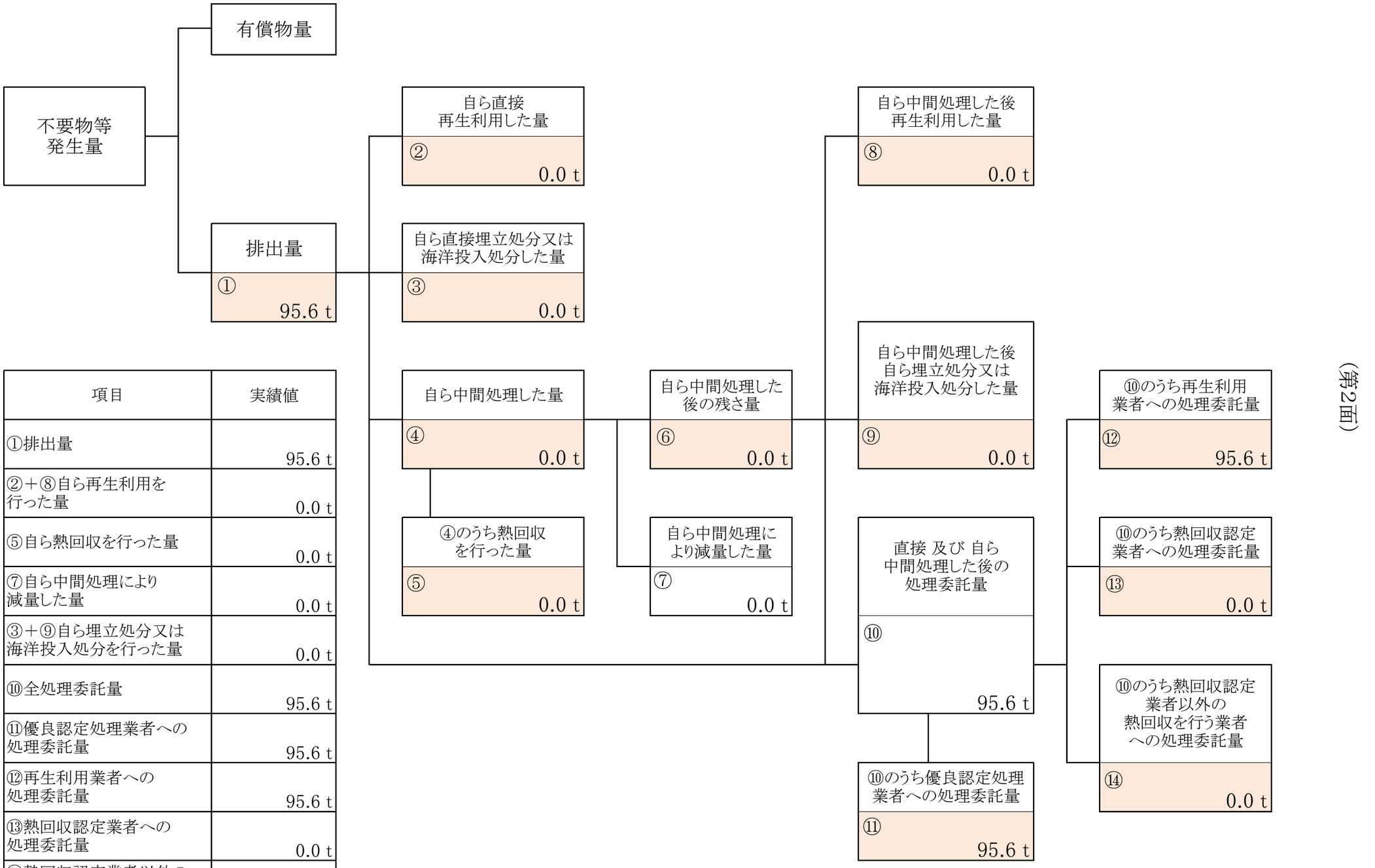


項目	実績値
①排出量	13.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

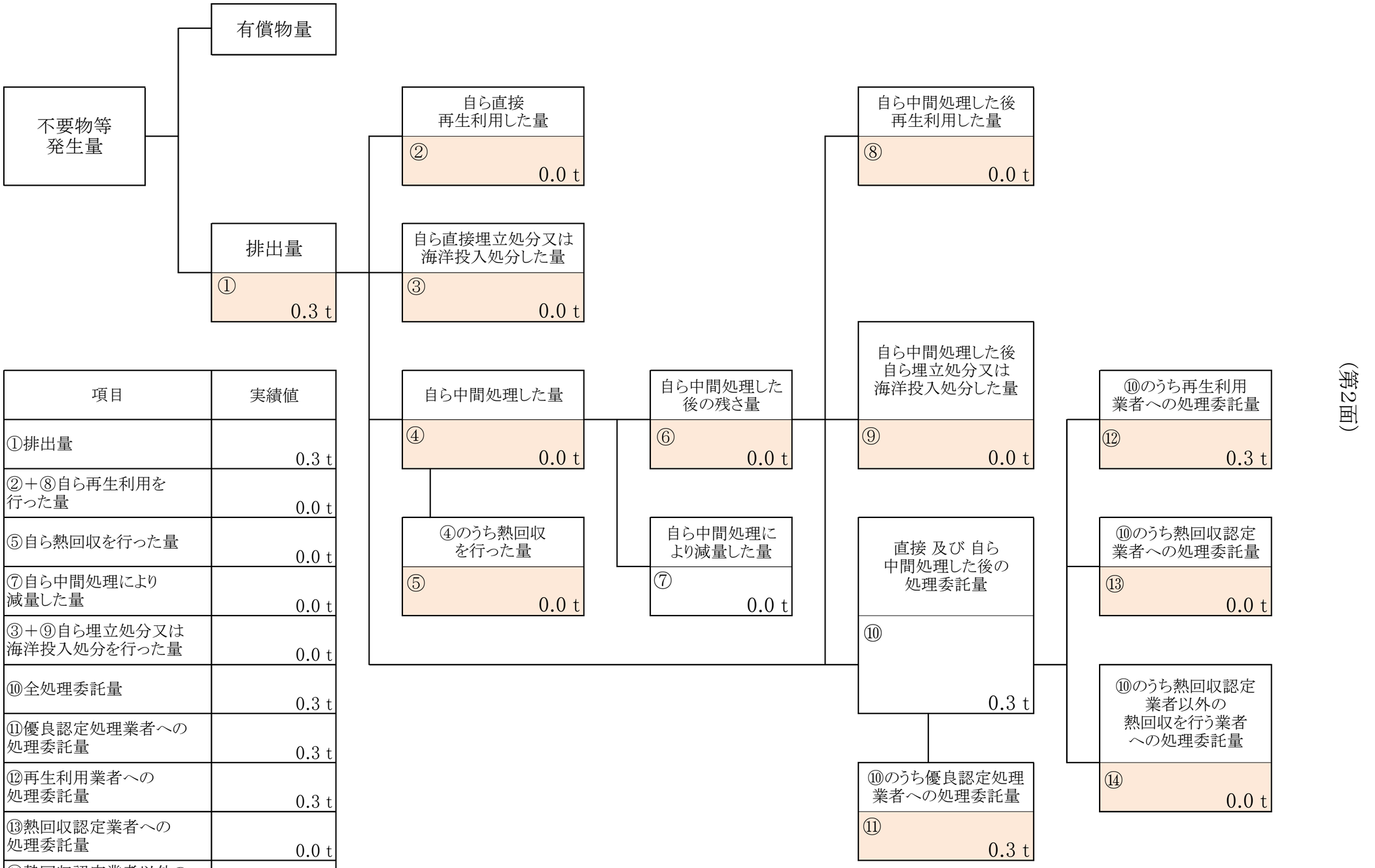


項目	実績値
①排出量	95.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	95.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	95.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	95.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**水銀使用製品(蛍光灯・HID)**）

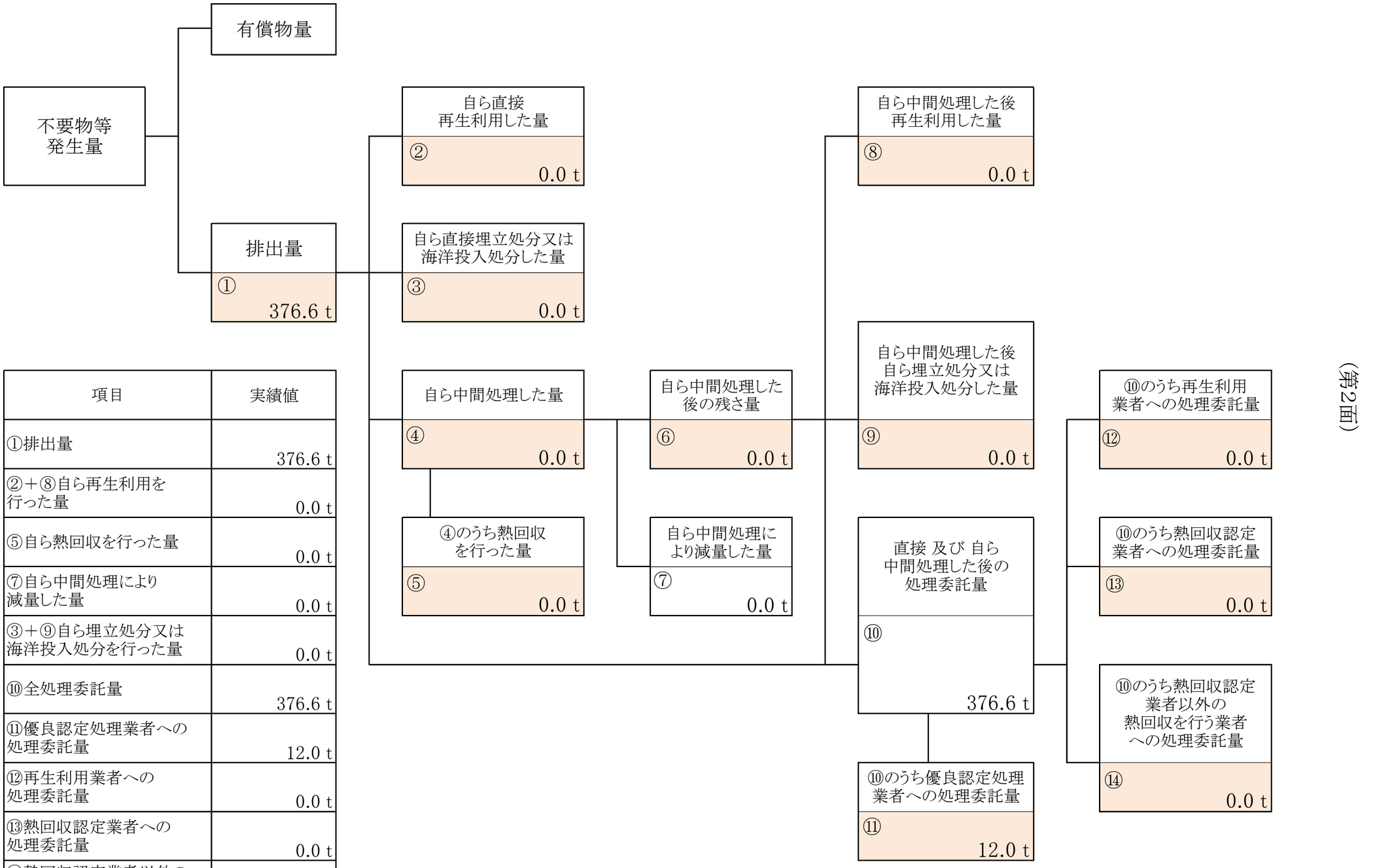


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石綿含有廃棄物(がれき・陶磁器・廃プラ)**）



項目	実績値
①排出量	376.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	376.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　263-0002

住　所　千葉県千葉市稲毛区山王町66-3

法人名　株式会社　柴田組

代表者　柴田 哲男

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-423-2067

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　柴田組
事業場の所在地	〒263-0002　千葉県千葉市稲毛区山王町66-3
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　４億９千万円
③従業員数	11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
排出量	1238.82 t	313.65 t

（これまでに実施した取組）

分別解体を心がけ、品目別ごとに仕分け、適正に処理している。
リサイクル（再資源化）を徹底する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
排出量	800 t	200 t

（今後実施する予定の取組）

前年度の取組を引き続き実施する
品目別ごとに数量を計画し、発生する廃棄物について可能な限り
分別・再資源化に努める

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

再資源化に努める他、種別毎に保管場所を決めて混入しないように管理している。
社員、協力会社へ分別処分の教育

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

前年同様、適正な分別に努める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら
全処理委託量		1238.82 t	313.65 t
	優良認定処理業者への処理委託量	23 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1238.82 t	313.65 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

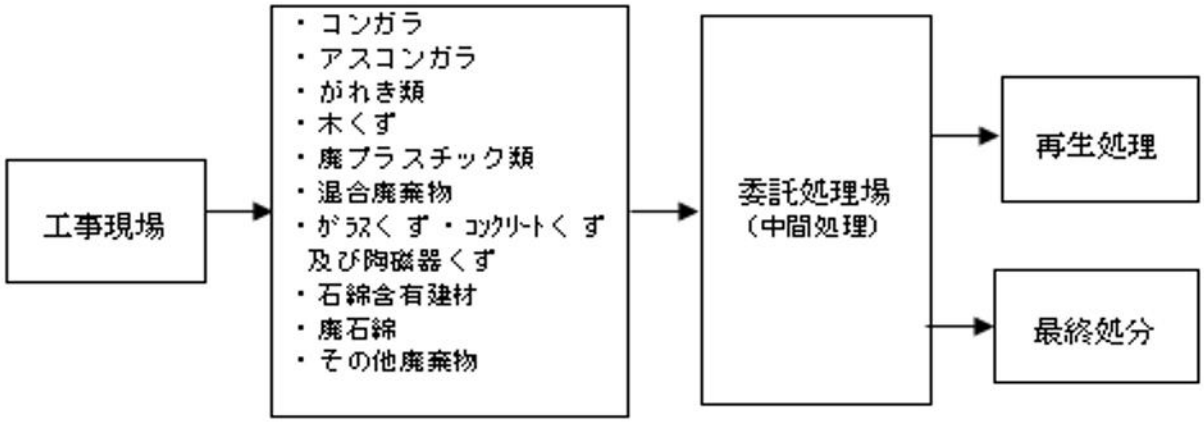
（これまでに実施した取組）

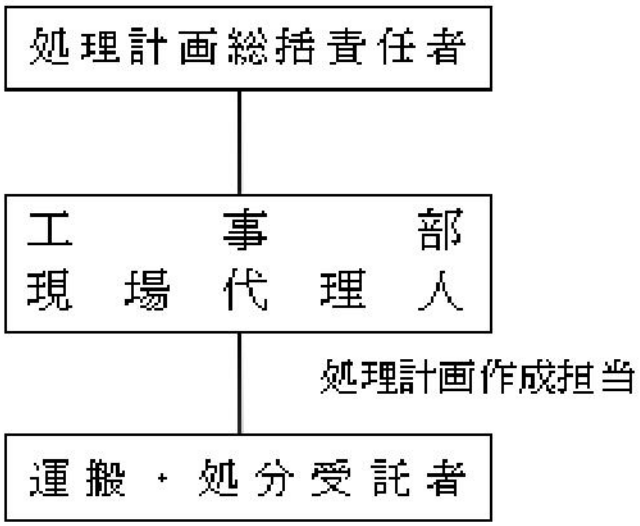
再資源化に努める他、種別毎に保管場所を決めて混入しないように管理している。
マニフェスト伝票の管理を適正に行う。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートがら</td><td>ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>800 t</td><td>200 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>100 t</td><td>50 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>800 t</td><td>200 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
前年度同様、適正な分別に努める</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程（別紙-1）




処理計画総括責任者
工事部
現場代理人
処理計画作成担当
運搬・処分受託者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
排出量	624.03 t	22.4 t	172.13 t	3.375 t	134.81 t	125.6 t	1.0 t	0.1413 t	0.165 t	0.43 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
排出量	200 t	10 t	120 t	1 t	80 t	80 t	0.5 t	0.1 t	0.1 t	0.1 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
①現状	全処理委託量	624.03 t	22.4 t	172.13 t	3.375 t	134.81 t	125.6 t	1.0 t	0.1413 t	0.165 t	0.43 t
	優良認定処理業者への処理委託量	17.02 t	22.4 t	152.5 t	0.875 t	132.08 t	65.4 t	t	0.1413 t	t	0.39 t
	再生利用業者への処理委託量	624.03 t	22.4 t	172.13 t	3.375 t	134.81 t	125.6 t	1.0 t	0.1413 t	0.165 t	0.43 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	建設混合廃棄物	木くず	繊維くず	廃水銀等	汚泥	廃アルカリ
②計画	全処理委託量	400 t	10 t	120 t	1 t	80 t	80 t	0.5 t	0.1 t	0.1 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	8 t	100 t	0.5 t	50 t	50 t	t	t	t	0.05 t
	再生利用業者への処理委託量	400 t	10 t	120 t	1 t	80 t	80 t	0.5 t	0.1 t	0.1 t	0.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月28日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　263-0002

住所 千葉県千葉市稲毛区山王町66-3

法人名 株式会社 柴田組

代表者 柴田 哲男

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-423-2067

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 柴田組
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区山王町66-3
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

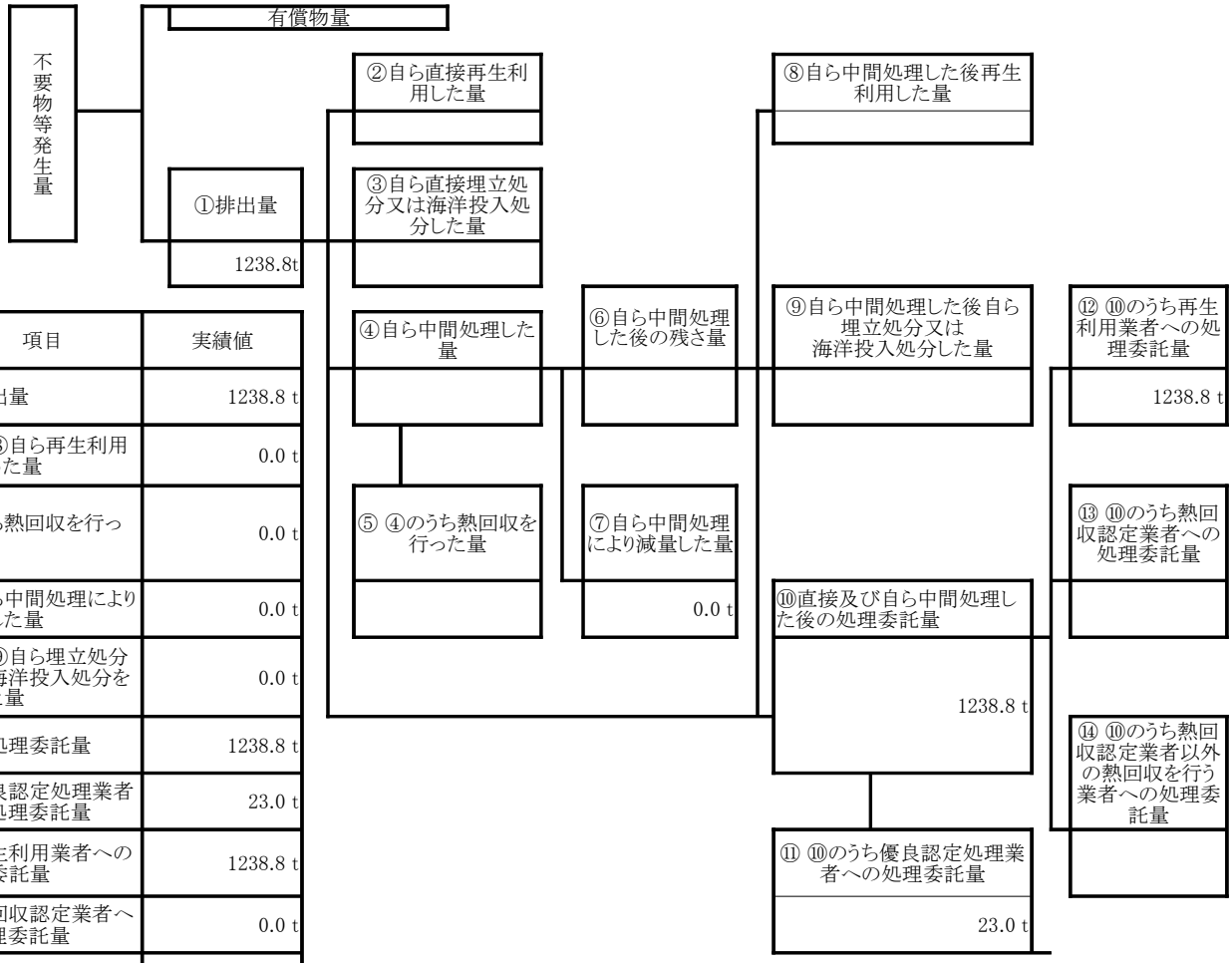
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1090.21 t	全処理委託量	1090.21 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	57.09 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1033.13 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

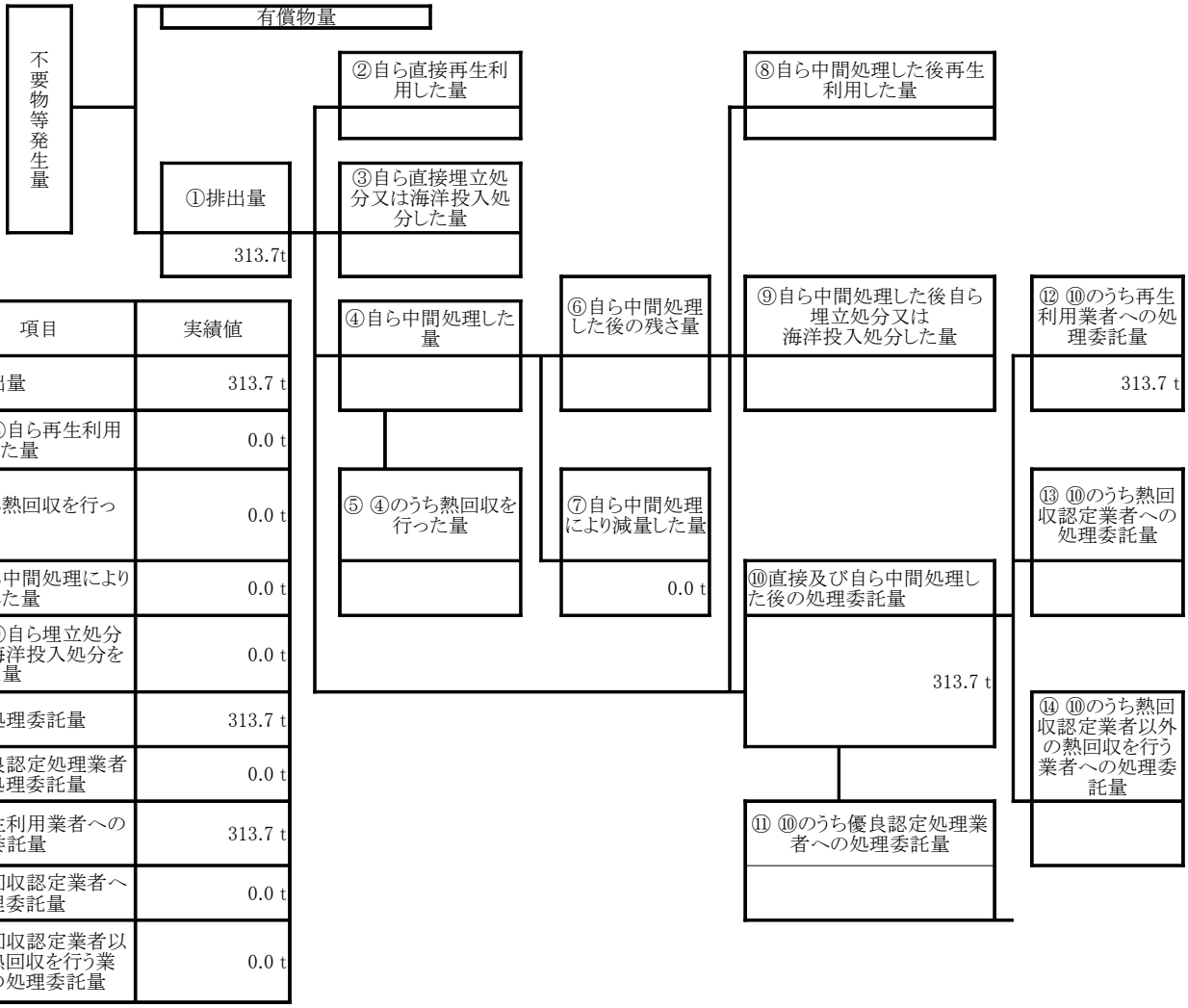


項目	実績値
①排出量	1238.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1238.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1238.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

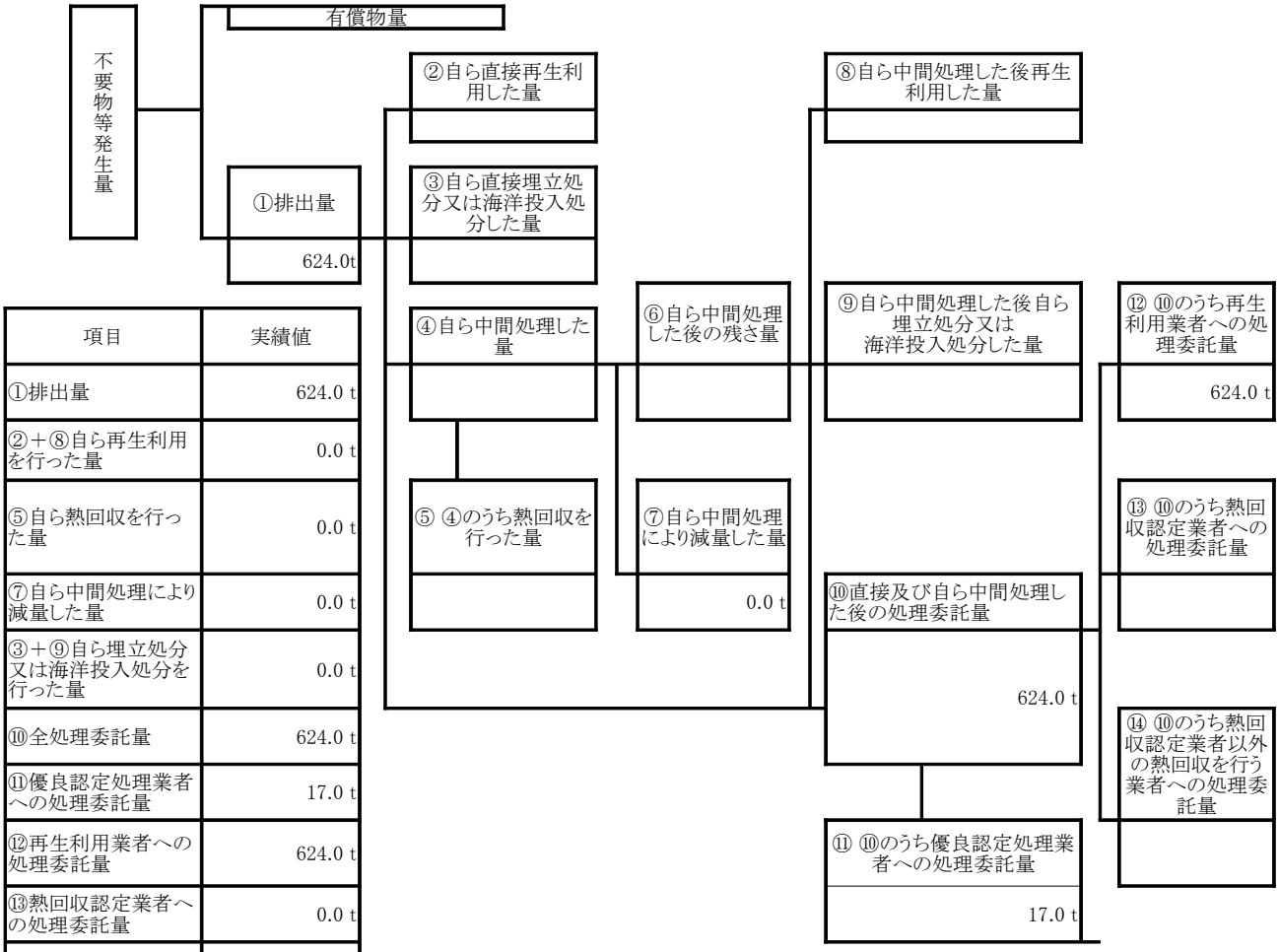


項目	実績値
①排出量	313.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	313.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	313.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

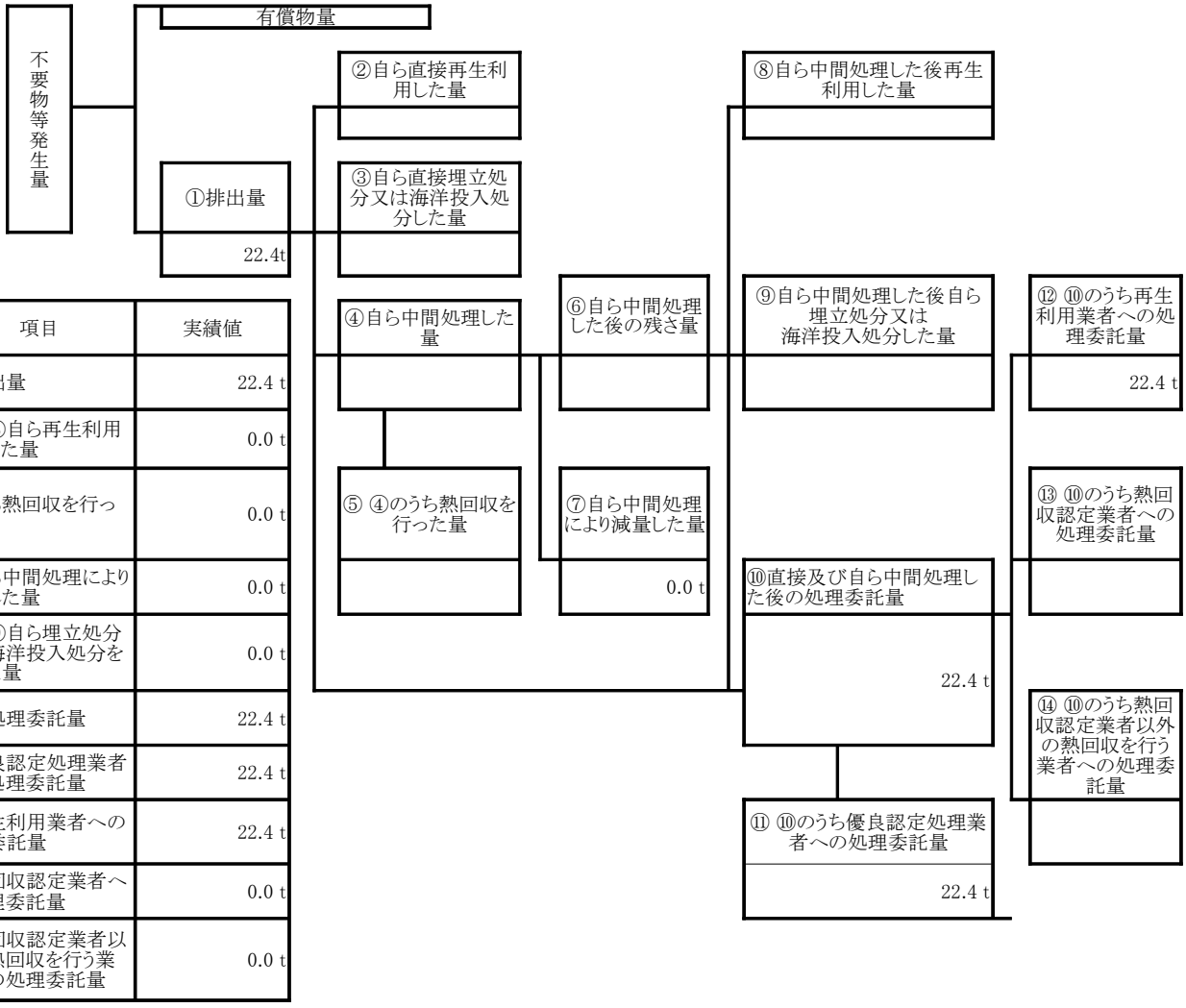


項目	実績値
①排出量	624.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	624.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	624.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　がれき類（石綿含有）　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



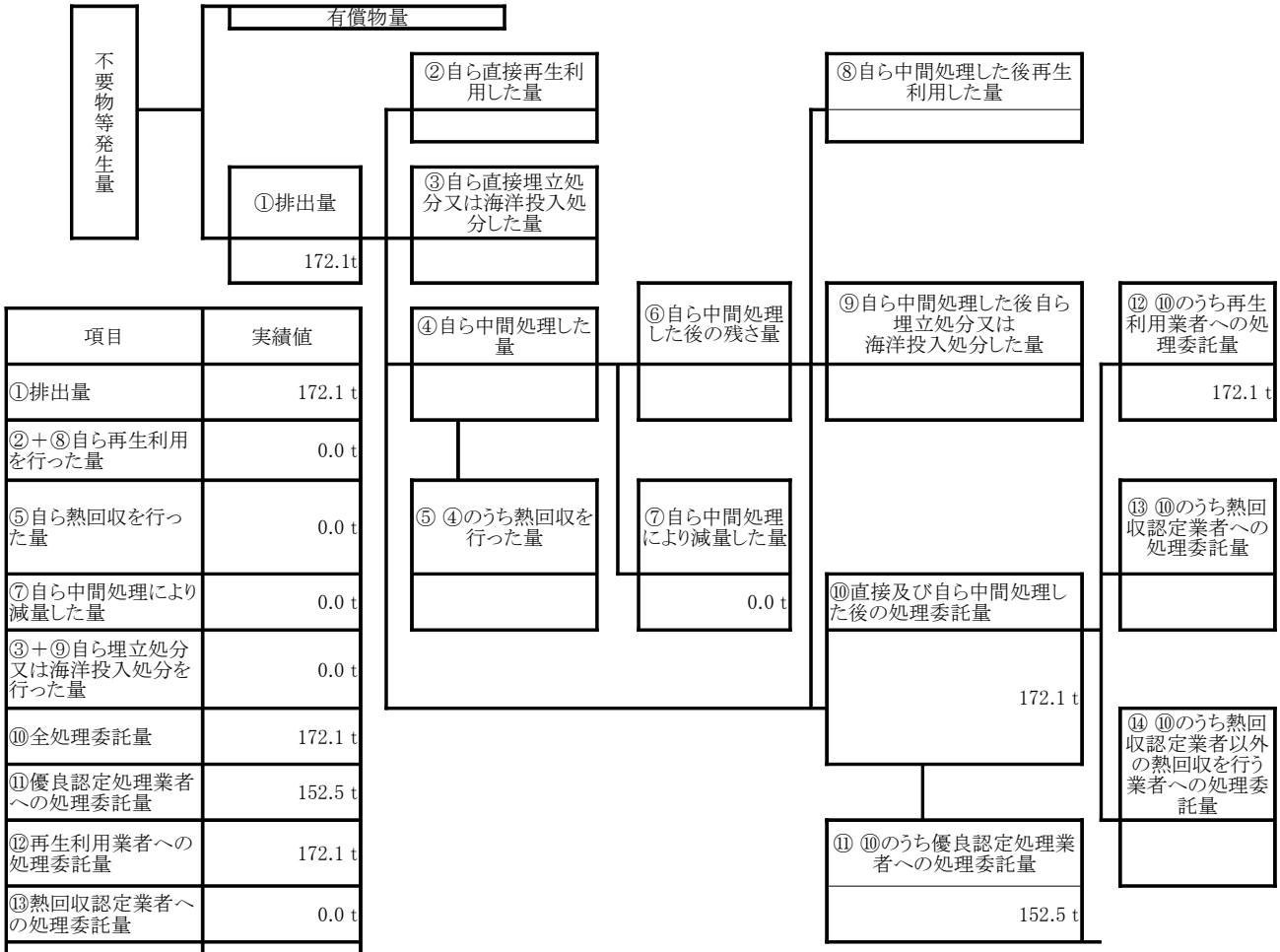
項目	実績値
①排出量	22.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラス・コンクリート　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

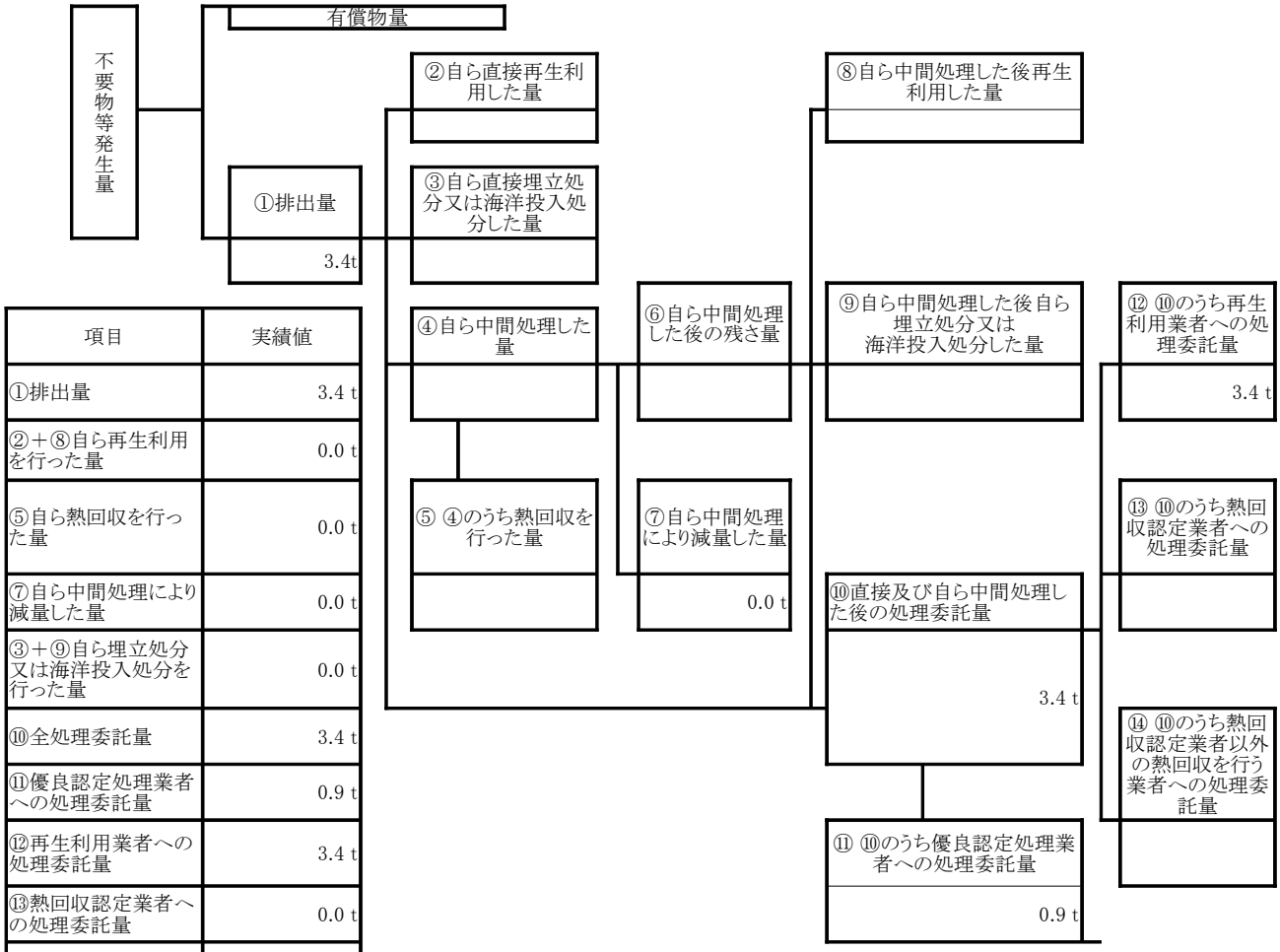


項目	実績値
①排出量	172.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	172.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	152.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	172.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

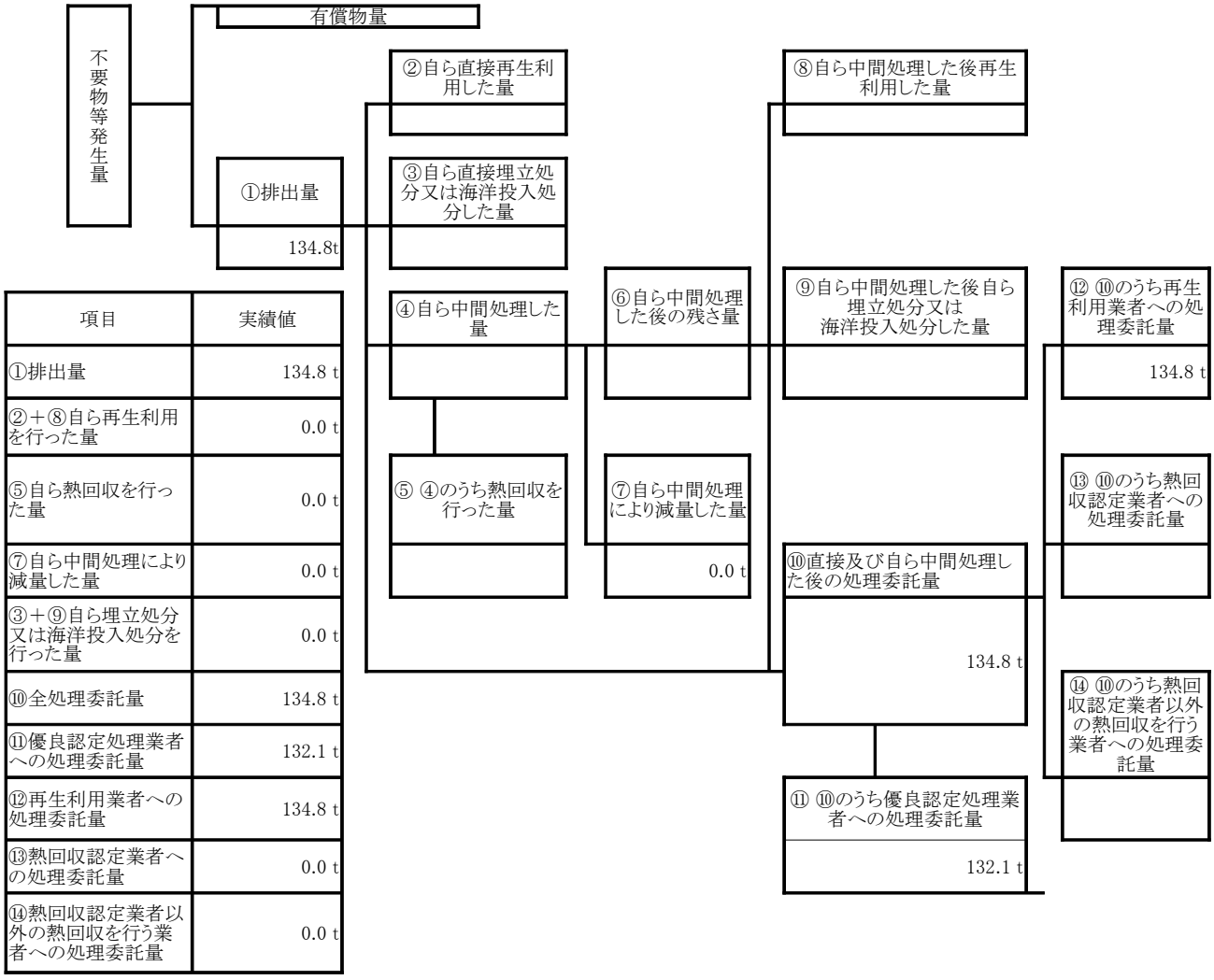


項目	実績値
①排出量	3.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



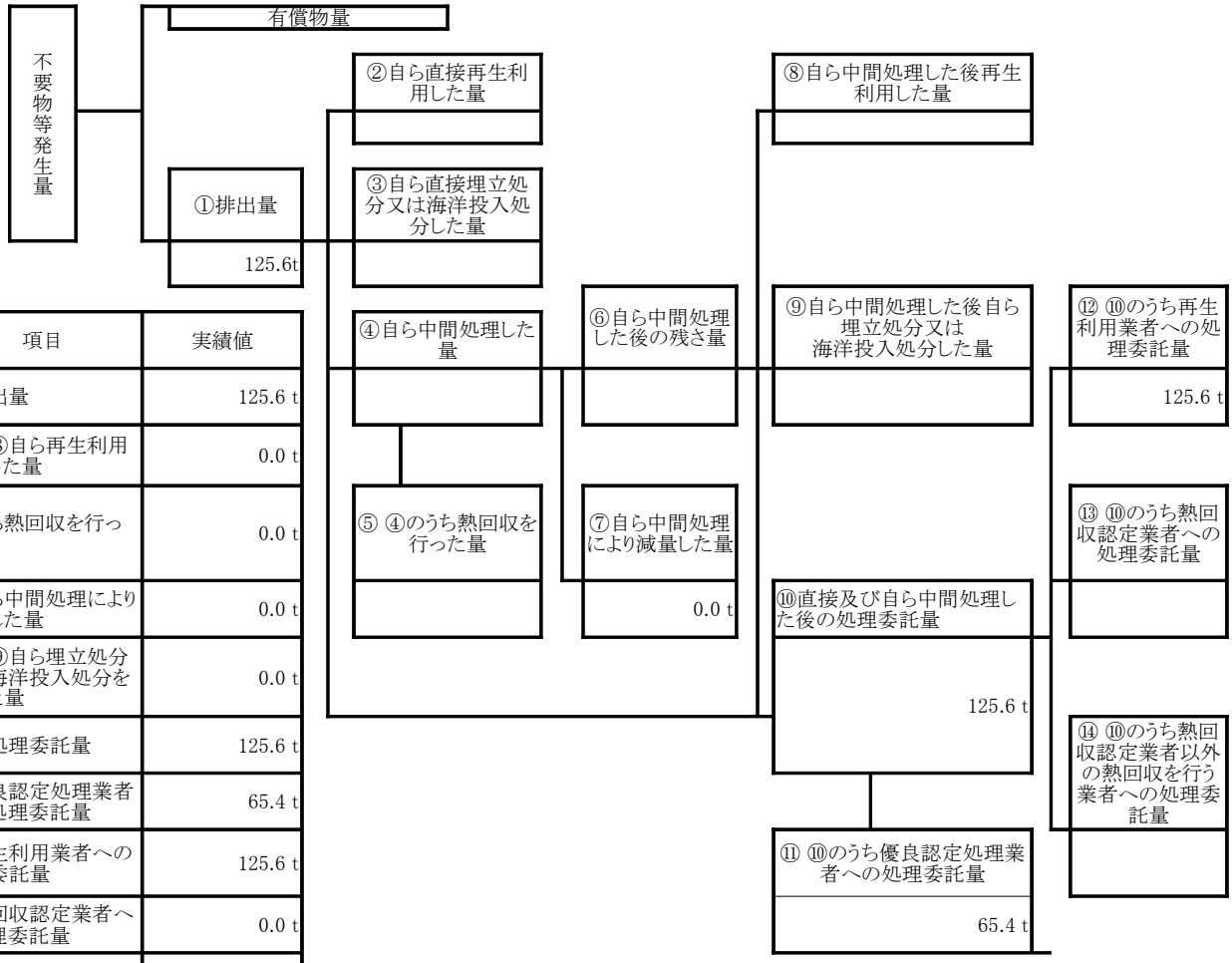
項目	実績値
①排出量	134.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	134.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	134.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

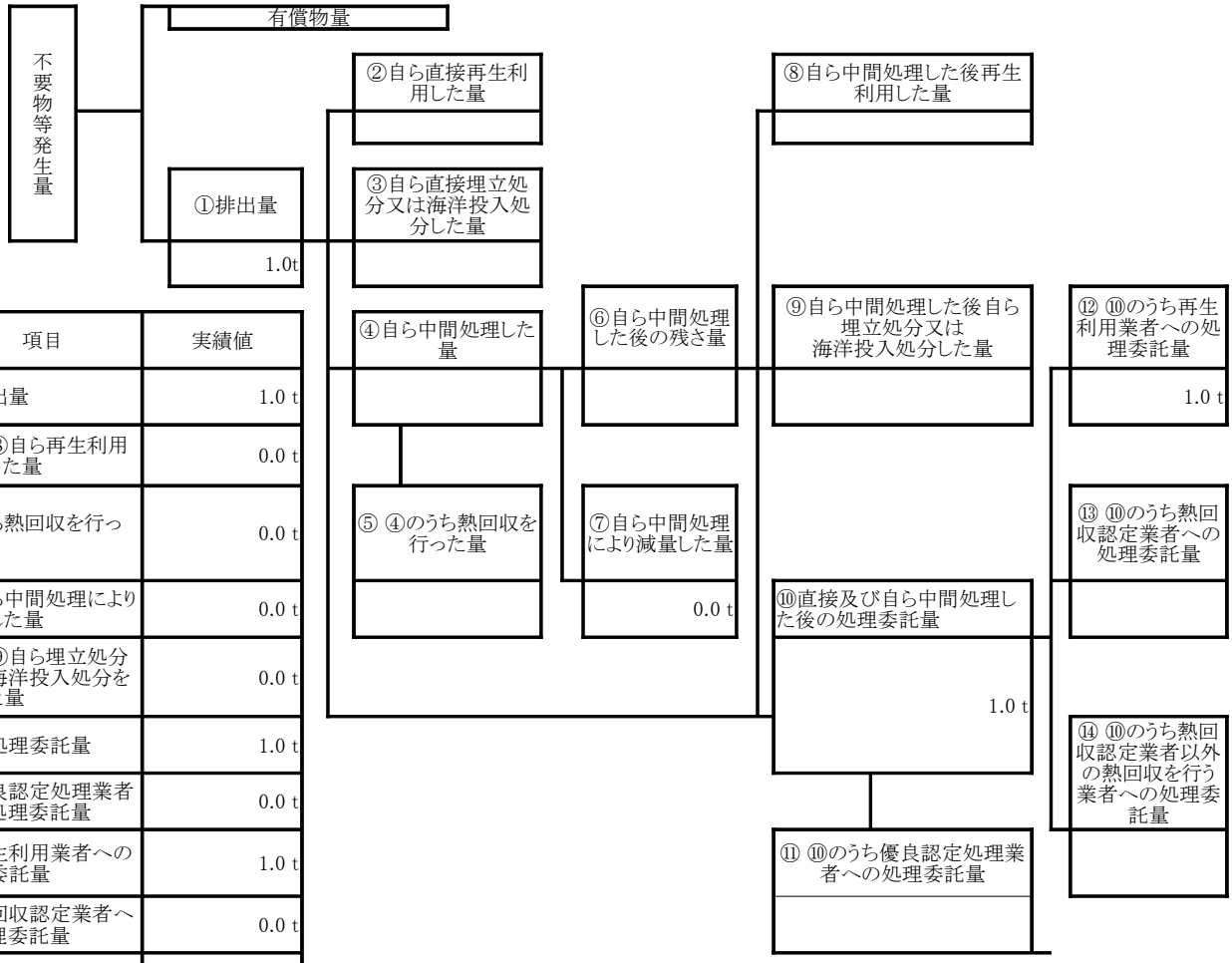


項目	実績値
①排出量	125.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	125.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	65.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	125.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

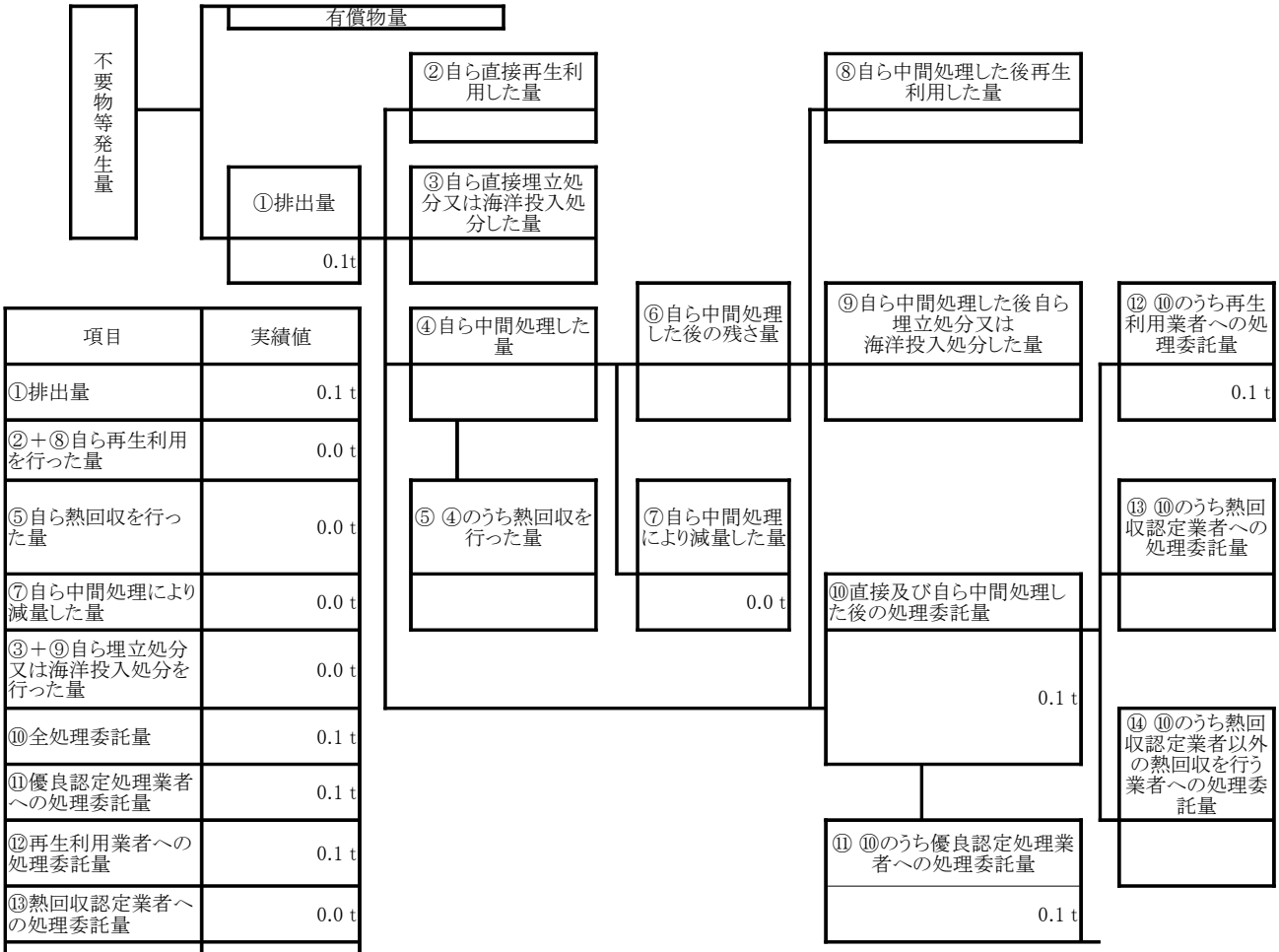


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃水銀等　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

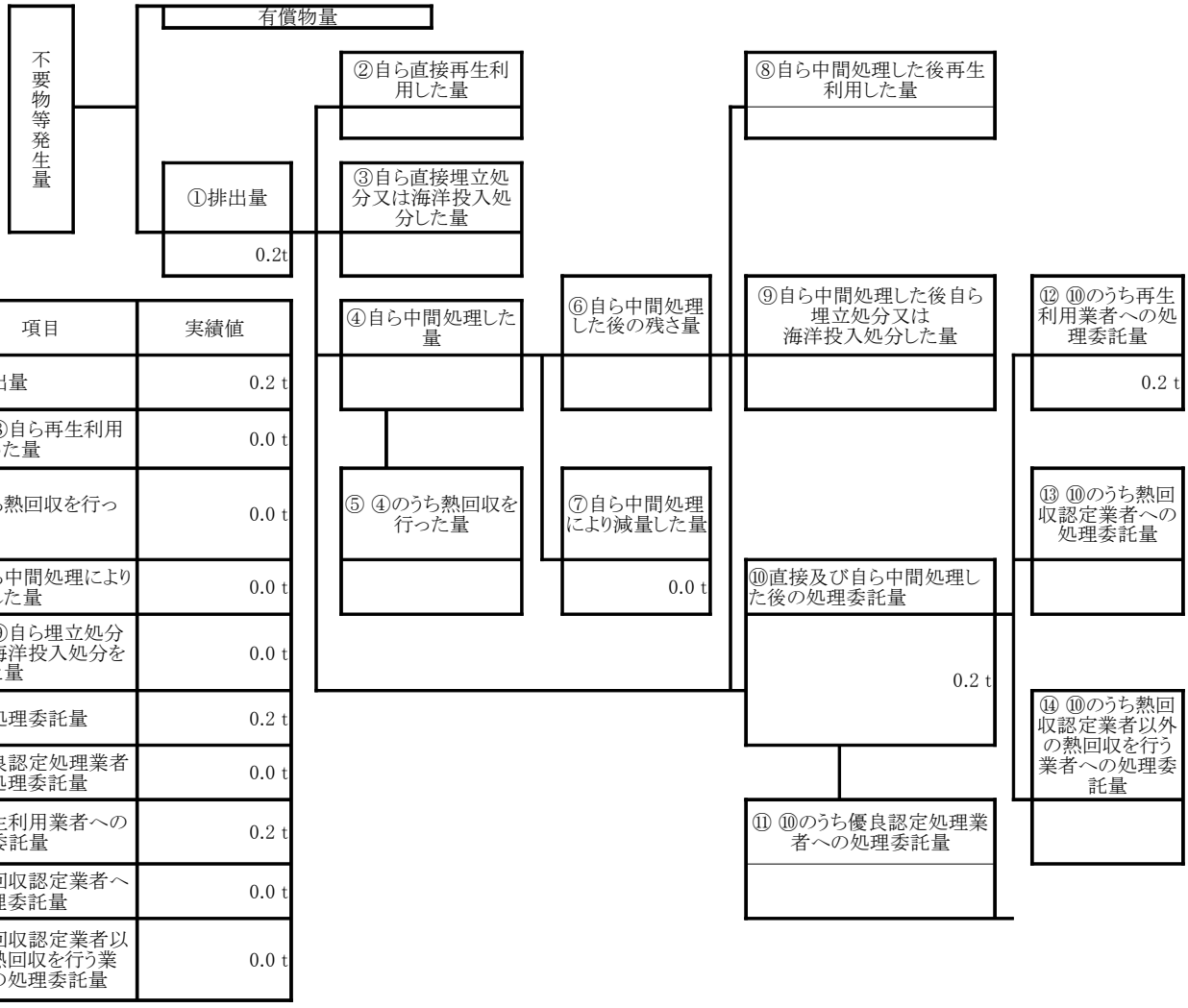


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

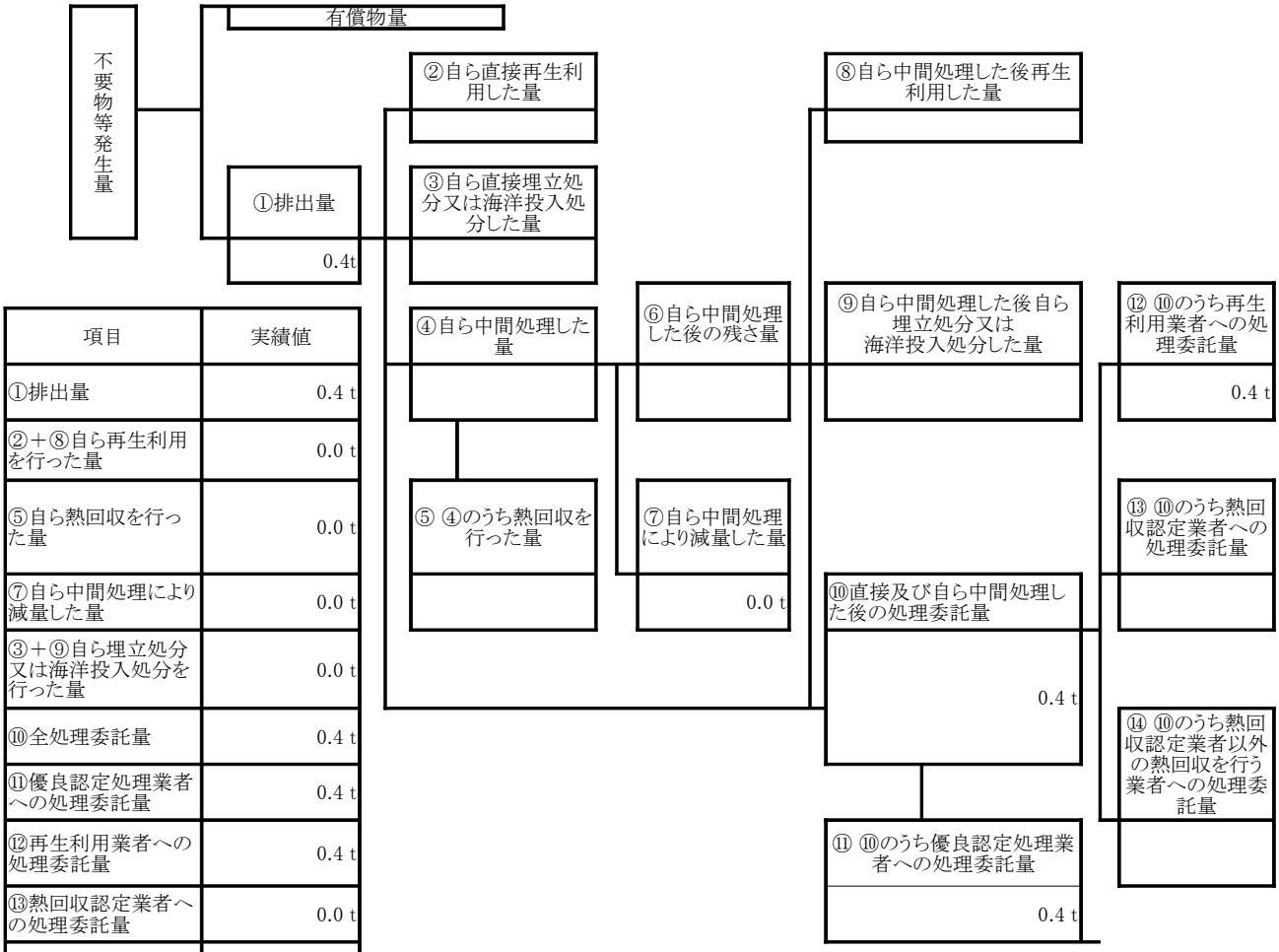


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃アルカリ**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年9月5日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0823

住所 千葉県千葉市中央区塩田町399番

法人名 株式会社島村商会

代表者 島村 裕一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-265-5888

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 島村商会本店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区塩田町399番
事業の種類	大分類　建設業　中分類 職別工事業(設備工事業を除く)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

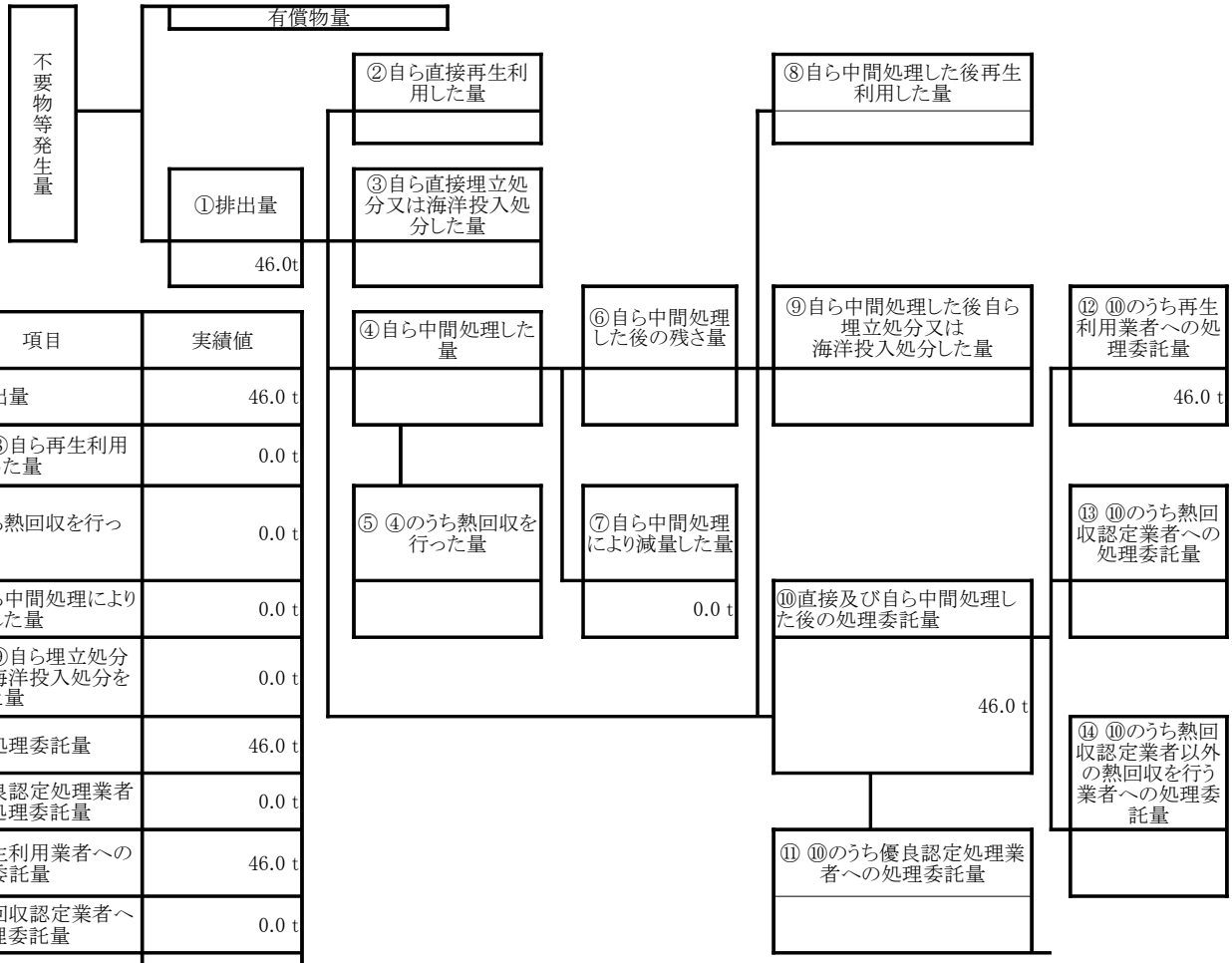
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5218 t	全処理委託量	5218 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	113 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5125 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリートがら ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

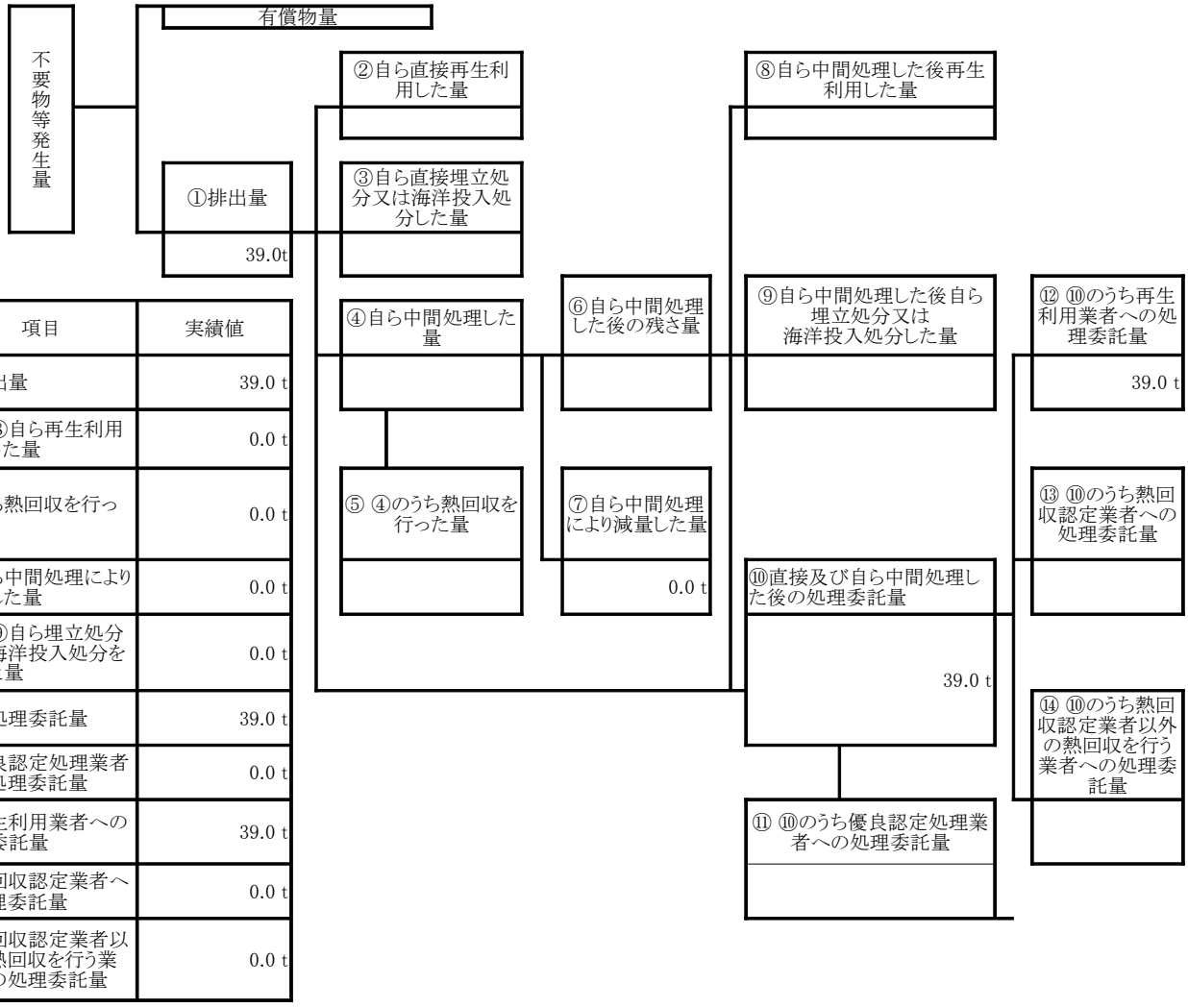


項目	実績値
①排出量	46.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



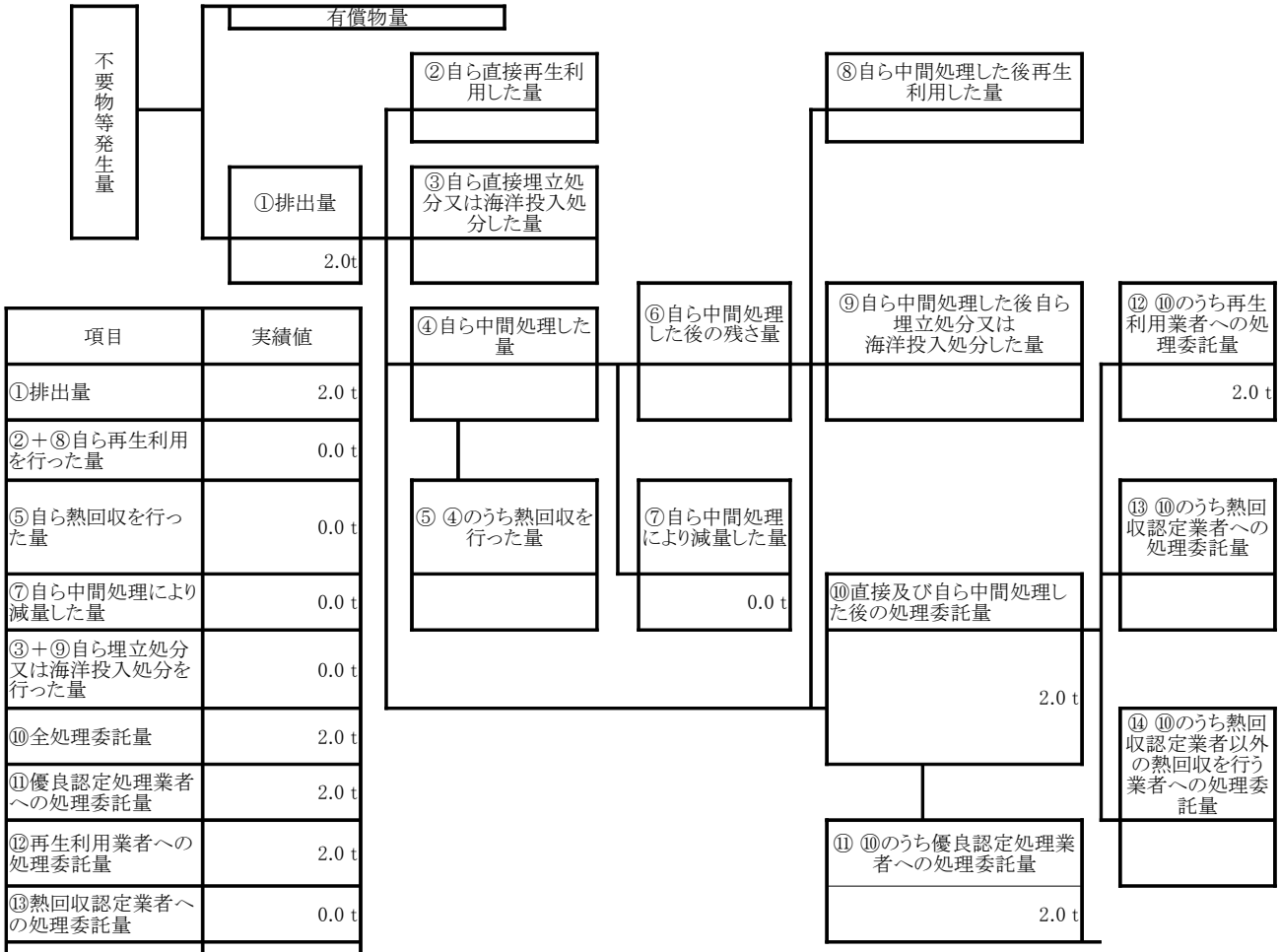
項目	実績値
①排出量	39.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	39.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒260-0015

住　所　千葉市中央区富士見2-11-1

氏　名　清水建設株式会社　千葉支店

執行役員支店長　檜物 隆之

電話番号　043-227-0231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

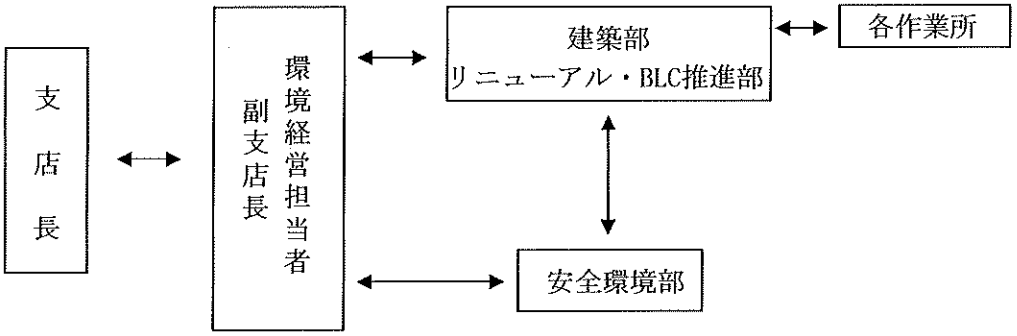
事業場の名称	清水建設株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区富士見二丁目１１番１号
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	前年度の完成工事高　　72,939百万円(全件)
③　従業員数	251人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	委託による。 主な委託内容は別紙のとおり。

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙による	
	排出量	同上　t	t
	（これまでに実施した取組） ・工業化工法、プレカット、省梱包等の実施 ・各作業所毎、適正処理・利用促進計画を作成し、新Kanたすシステム（建設副産物管理システム）で運用・管理している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙による	
	排出量	同上　t	t
	（今後実施する予定の取組） ・現在実施している取組を継続実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現在実施している取組を継続実施する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現在の実施事項の継続。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙による	
全処理委託量	同上　t	t
優良認定処理業者への処理委託量	同上　t	t
再生利用業者への処理委託量	同上　t	t
認定熱回収業者への処理委託量	同上　t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	同上　t	t

（これまでに実施した取組）

・信頼のおける業者数社を選定し、包括管理を実施。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙による	
		全処理委託量＿	同上　t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	同上　t	t
		再生利用業者への処理委託量	同上　t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	同上　t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	同上　t	t
		（今後実施する予定の取組） ・信頼のおける業者数社を選定し、包括管理を実施。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	全体	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず
排出量	5,500.4t	992.7t	4.2t	0.0t	0.1t	276.2t	37.2t	677.6t	2,268.7t	52.6t
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設系混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物						
排出量	308.3t	0.0t	880.1t	2.8t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全体	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず
排出量	6,600.4t	1,191.2t	5.1t	0.0t	0.1t	331.4t	44.6t	813.1t	2,722.4t	63.1t
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設系混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物						
排出量	369.9t	0.0t	1,056.2t	3.4t						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類										
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t		t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類										
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t		t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類										
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t		t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t		t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類										
自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t		t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t		t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類										
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t		t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類										
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t		t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	全体	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず
全処理委託量	5,500.4t	992.7t	4.2t	0.0t	0.1t	276.2t	37.2t	677.6t	2,268.7t	52.6t
優良認定処理業者への処理委託量	3,322.3t	5.5t	4.2t	0.0t	0.1t	275.8t	37.2t	414.7t	1,443.0t	52.6t
再生利用業者への処理委託量	1.5t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.1t	0.3t	0.6t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.3t	0.0t	4.2t	0.0t	0.1t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設系混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物						
全処理委託量	308.3t	0.0t	880.1t	2.8t						
優良認定処理業者への処理委託量	206.1t	0.0t	880.1t	2.8t						
再生利用業者への処理委託量	0.5t	0.0t	0.0t	0.0t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t						

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全体	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	紙くず
全処理委託量	6,600.4t	1,191.2t	5.1t	0.0t	0.1t	331.4t	44.6t	813.1t	2,722.4t	63.1t
優良認定処理業者への処理委託量	3,986.7t	6.6t	5.1t	0.0t	0.1t	331.0t	44.6t	497.7t	1,731.6t	63.1t
再生利用業者への処理委託量	1.8t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.2t	0.3t	0.7t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.2t	0.0t	5.1t	0.0t	0.1t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設系混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物						
全処理委託量	369.9t	0.0t	1,056.2t	3.4t						
優良認定処理業者への処理委託量	247.4t	0.0t	1,056.2t	3.4t						
再生利用業者への処理委託量	0.5t	0.0t	0.0t	0.0t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t						

委託内容一覧

副産物の種類	処理施設	処分方法	
建設汚泥(残土を除く)	中間処理施設	脱水/固化	→再生利用
		中間処理その他	
		脱水/中間処理その他	
		脱水	
廃油	中間処理施設	焼却	
		中間処理その他	
廃アルカリ	中間処理施設	焼却	
廃プラスチック類(未分類)	中間処理施設	破砕/圧縮/中間処理その他	
		破砕/中間処理その他	
		破砕	
		圧縮	
廃プラスチック類	中間処理施設	破砕/圧縮/中間処理その他	
		破砕/中間処理その他	
		破砕	
		圧縮	
廃ウレタン材	中間処理施設	破砕/圧縮/中間処理その他	
		破砕	
廃塩ビ管(廃プラスチック類)	中間処理施設	破砕/圧縮/中間処理その他	
		圧縮	
ダンボールくず(紙くず)	中間処理施設	破砕/圧縮	
		破砕/中間処理その他	
		破砕	
		圧縮	
紙くず	中間処理施設	破砕/圧縮	
		破砕/中間処理その他	
		破砕	
		圧縮	
木くず1	中間処理施設	破砕/圧縮	
		破砕/中間処理その他	
		破砕	
木くず2	中間処理施設	破砕	
		破砕/圧縮	
		破砕/中間処理その他	

副産物の種類	処理施設	処分方法	
金属くず	中間処理施設	破砕	→再生利用
		圧縮	
軽鉄残材	中間処理施設	破砕	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	中間処理施設	破砕	
グラスウール	中間処理施設	破砕	
		破砕/中間処理その他	
		圧縮/中間処理その他	
廃岩綿吸音板(ガラス・陶磁器くず)	中間処理施設	破砕	
リサイクル廃石膏ボード	中間処理施設	破砕	
		圧縮/中間処理その他	
	再資源化施設	破砕	
		中間処理その他	
廃ALC板(ガラス・陶磁器くず)	中間処理施設	破砕	
その他のがれき類	中間処理施設	破砕	
コンクリートがら	再資源化施設	破砕	
	中間処理施設	破砕	
アスファルト・コンクリートがら	再資源化施設	破砕	
	中間処理施設	破砕	
安定型混合廃棄物	中間処理施設	破砕/圧縮	
		破砕/中間処理その他	
		破砕/圧縮/中間処理その他	
管理型混合廃棄物	中間処理施設	破砕/圧縮	
		破砕/中間処理その他	
		破砕	
		破砕/圧縮/中間処理その他	
廃電池類	中間処理施設	選別	
		中間処理その他	
廃蛍光灯(水銀使用製品産業廃棄物)	中間処理施設	破砕	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石綿含有廃棄物)	最終処分場(直送)	管理型埋立	
廃プラスチック(石綿含有廃棄物)	最終処分場(直送)	安定型埋立	
		管理型埋立	
がれき類(石綿含有産業廃棄物)	最終処分場(直送)	安定型埋立	

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6 月30 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒 260-0015
住 所　千葉市中央区富士見2-11-1
氏 名　清水建設株式会社 千葉支店
執行役員支店長 檜物 隆之
電話番号　043-227-0231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

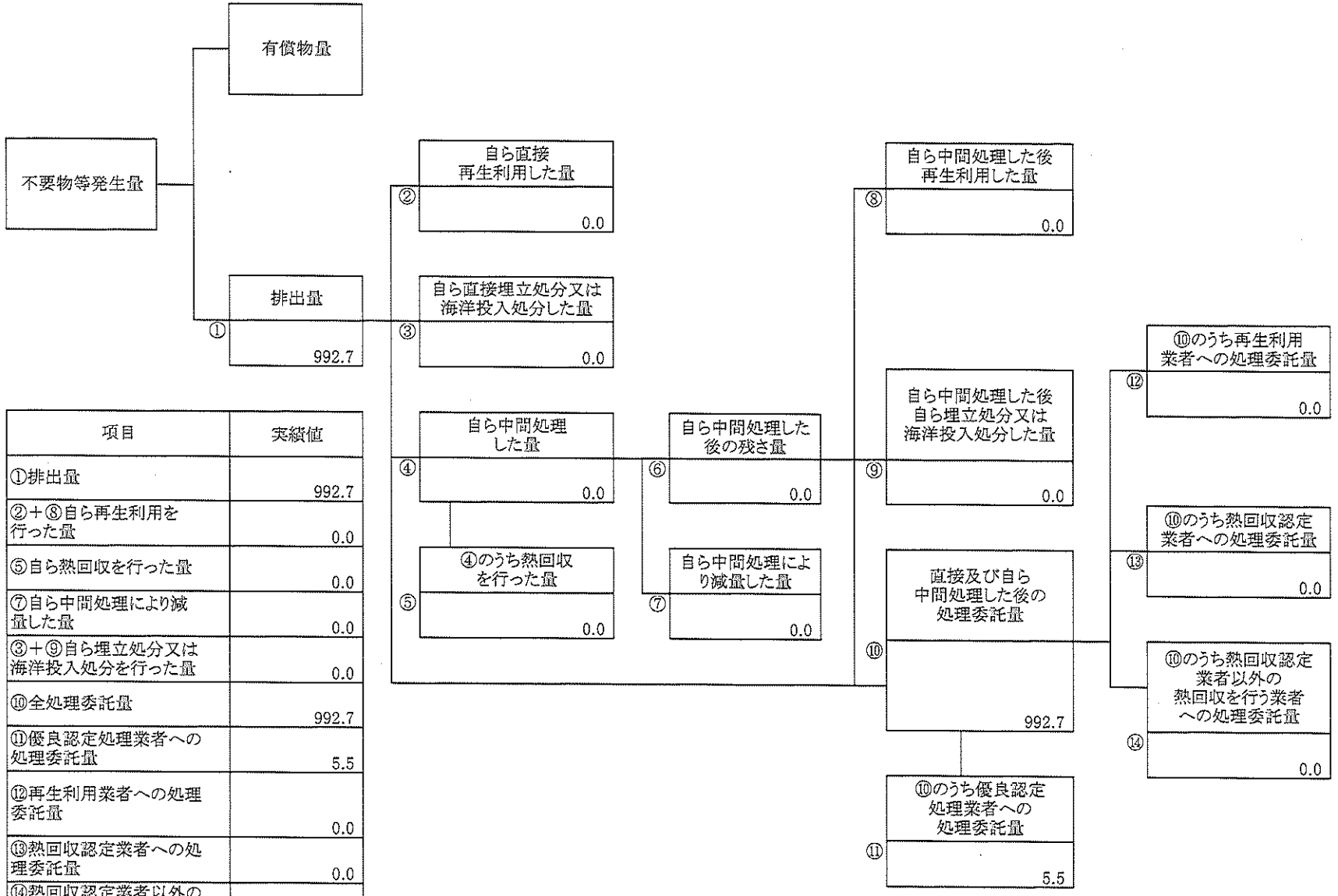
事業場の名称	清水建設株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区富士見二丁目11番1号
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	41876.9 t	全処理委託量	41876.9 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	7641.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	3883.8 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	13.5 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

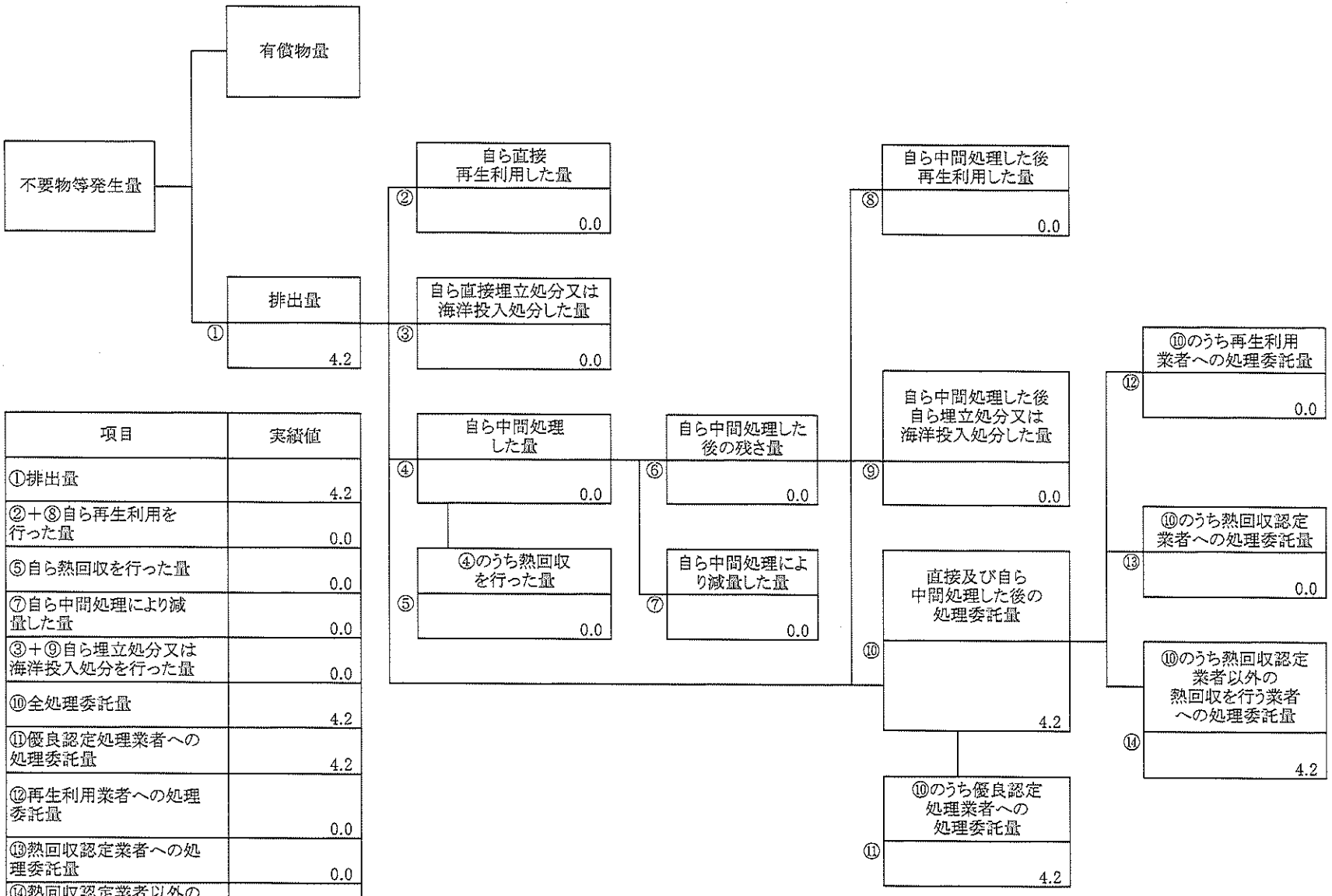
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	992.7
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	992.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

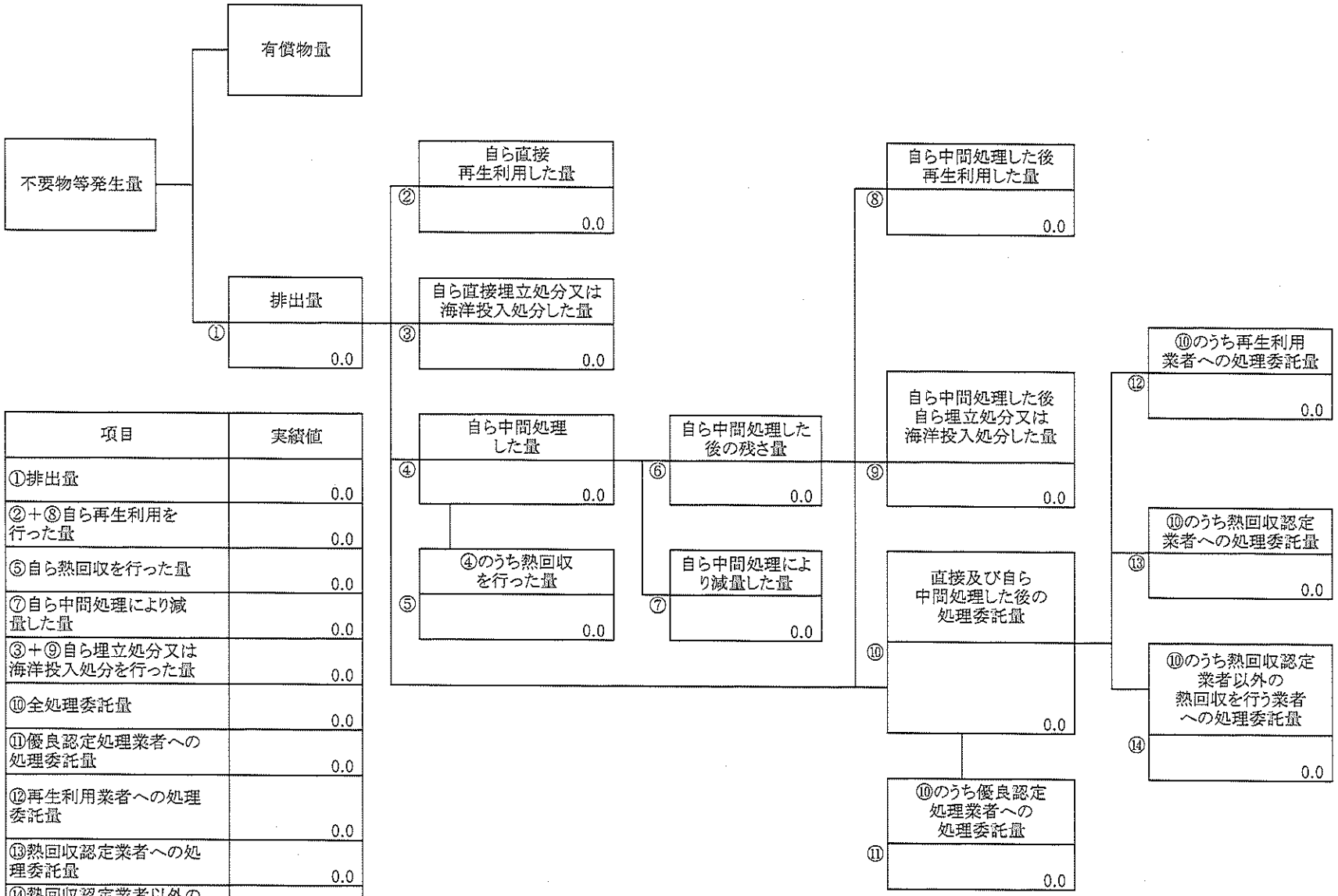
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃油　　）



項目	実績値
①排出量	4.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	4.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.2
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.2

（第2面）

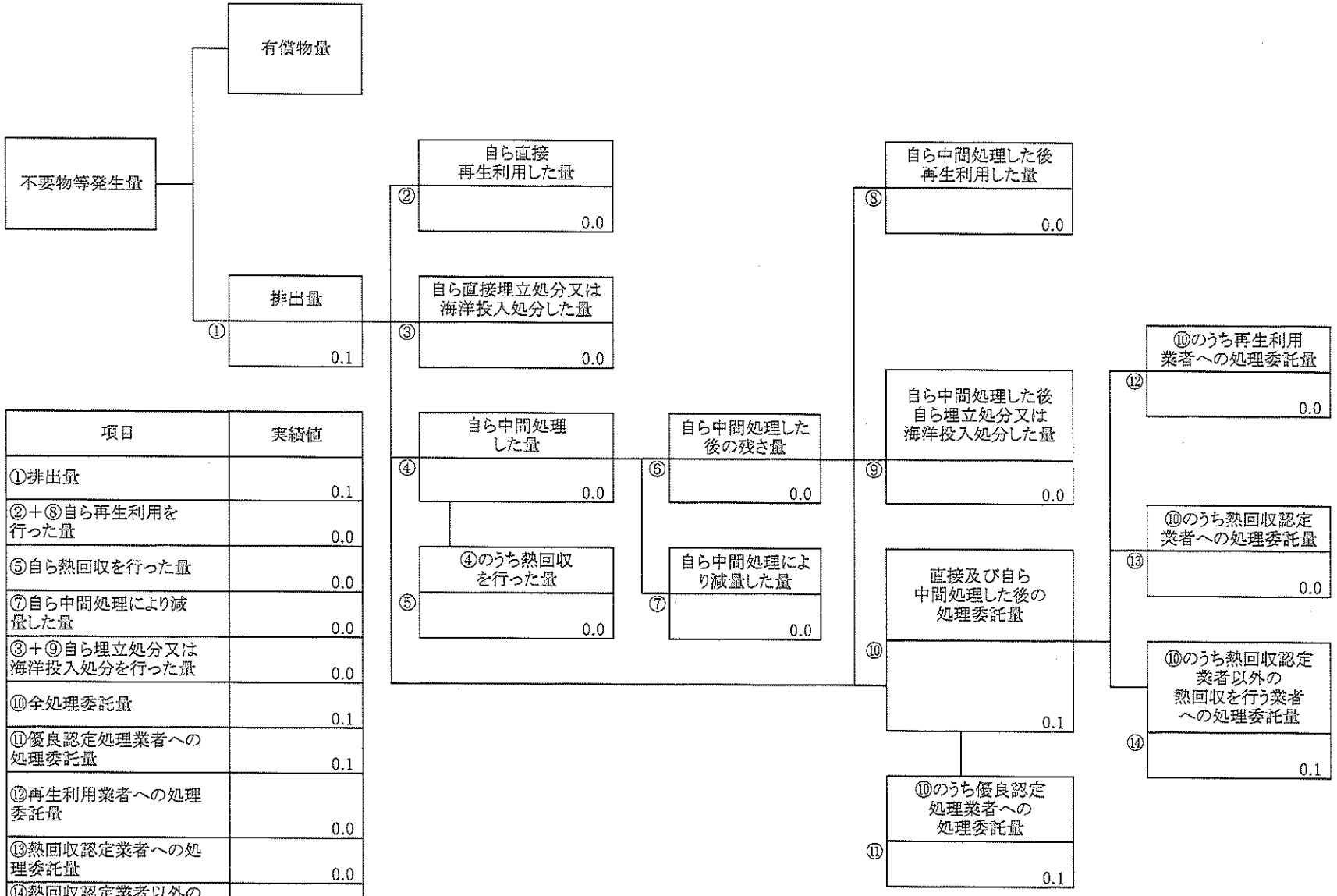
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃酸　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

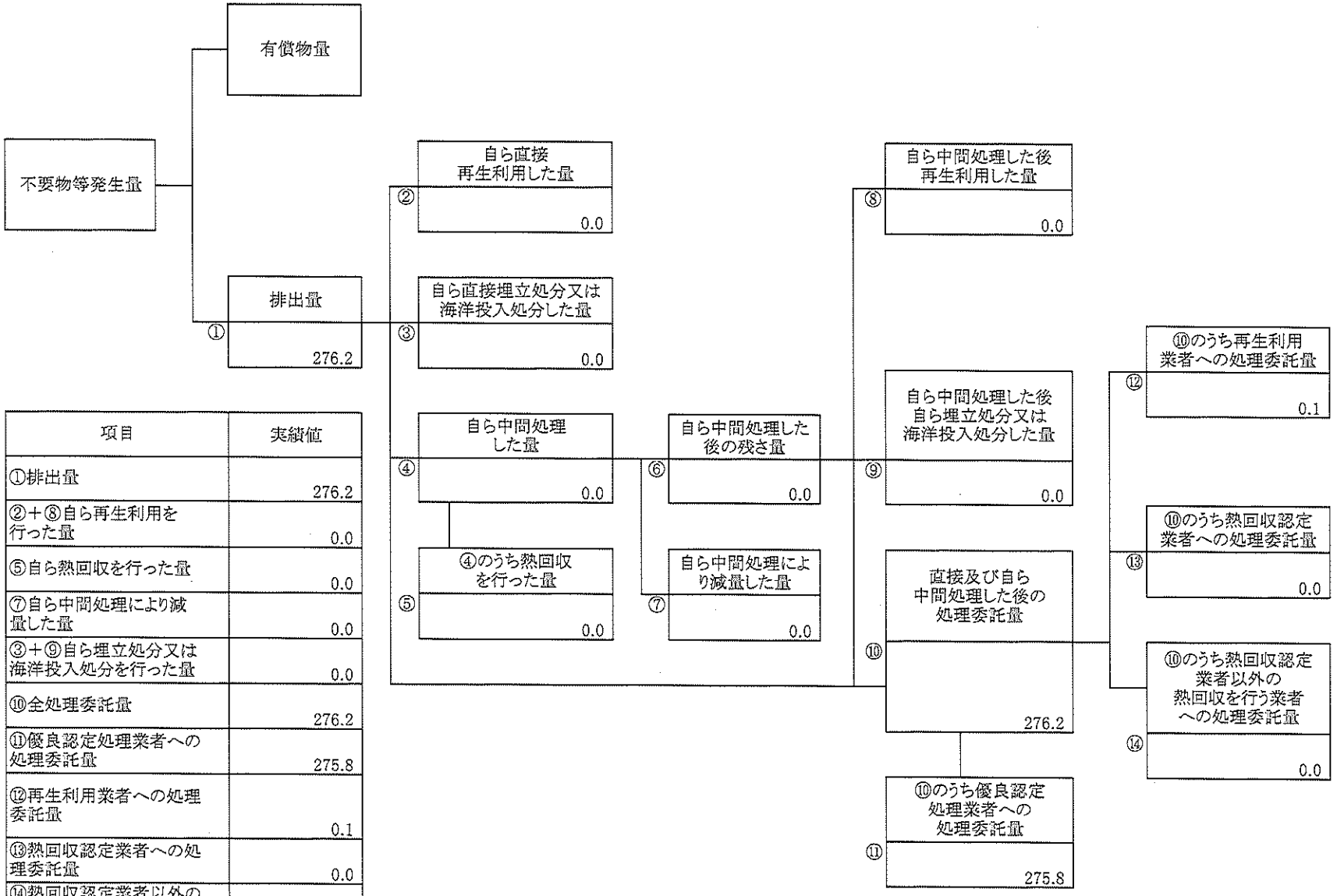
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃アルカリ　　）



項目	実績値
①排出量	0.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1

（第2面）

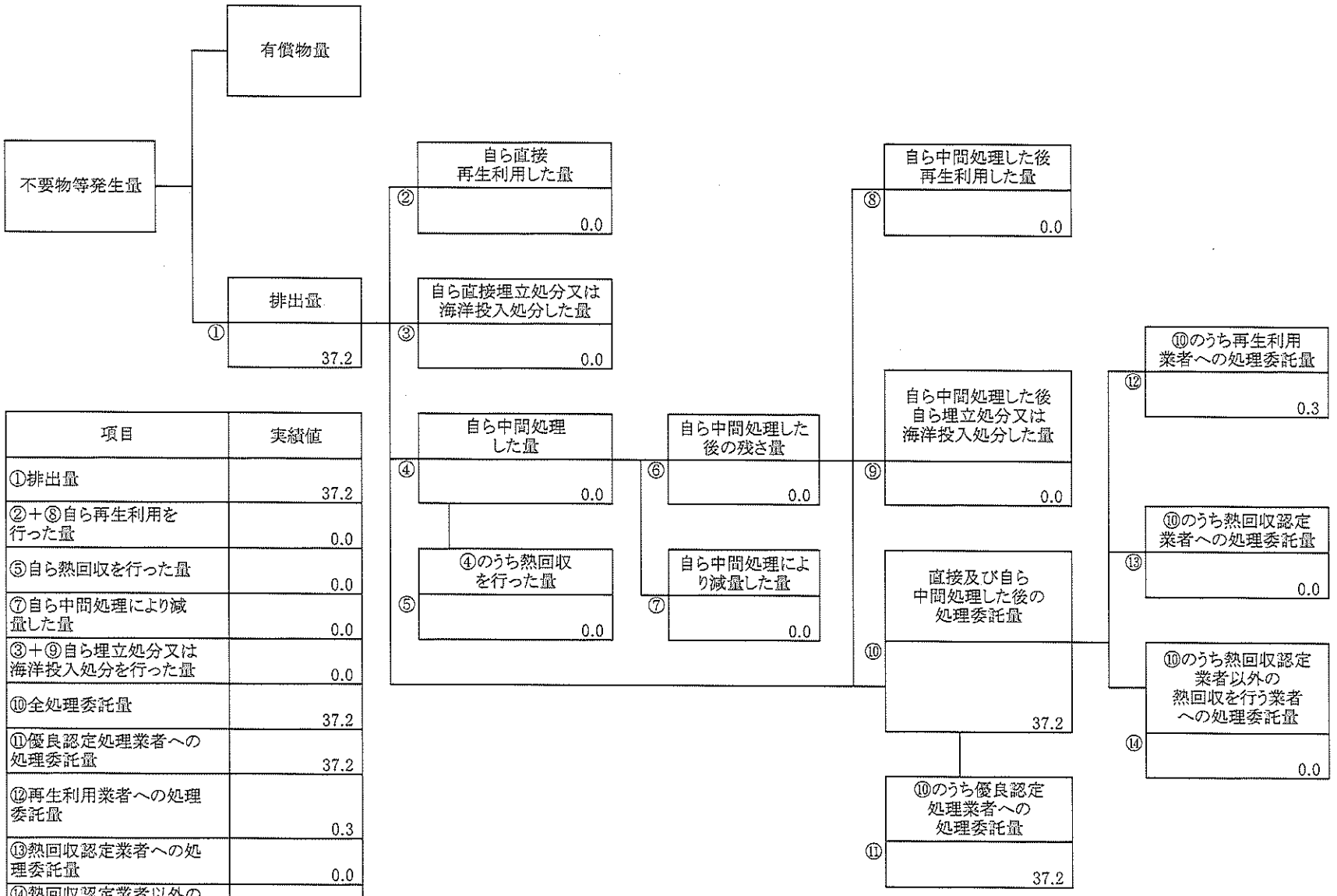
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	276.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	276.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	275.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

(第2面)

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

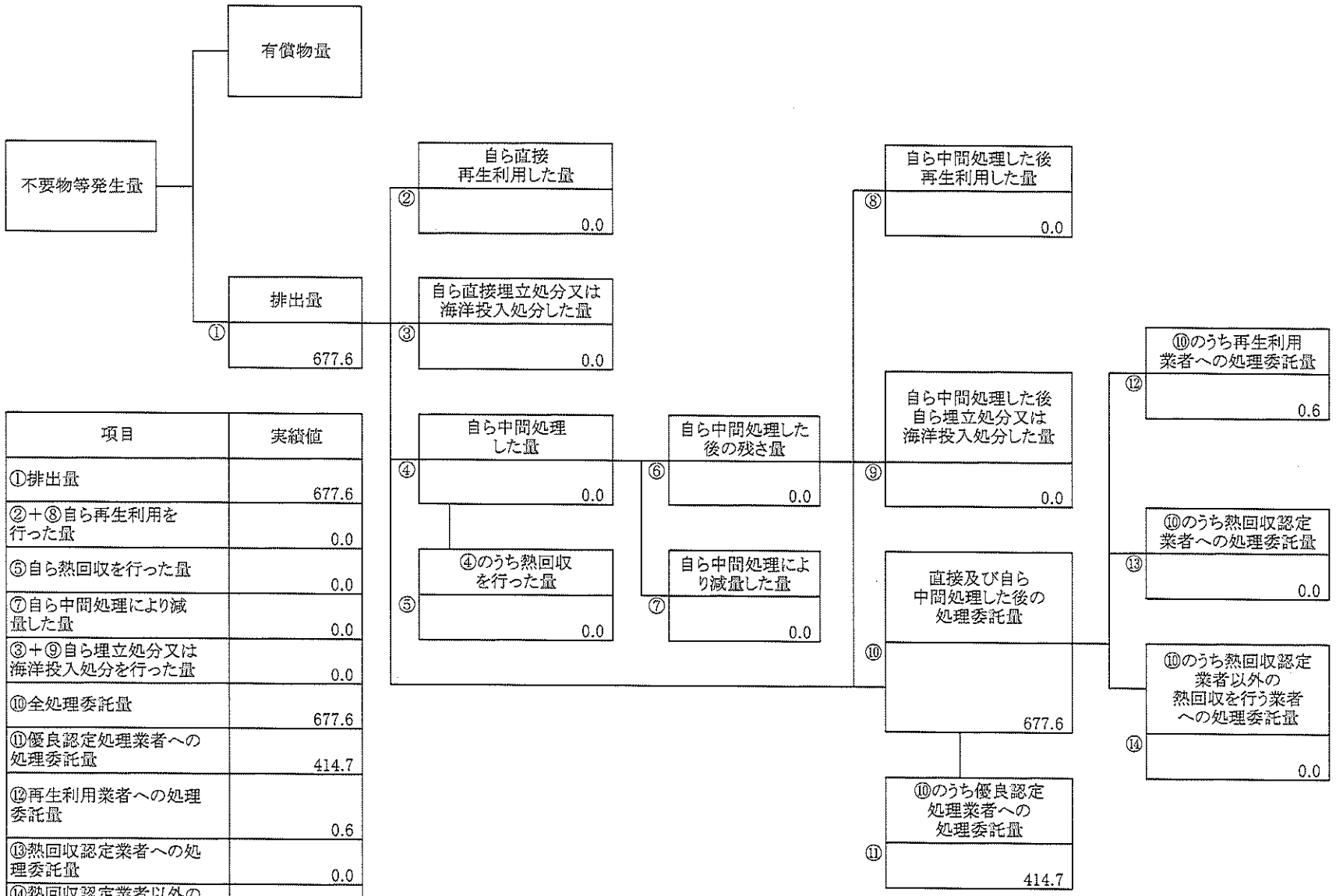


項目	実績値
①排出量	37.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	37.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	37.2
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

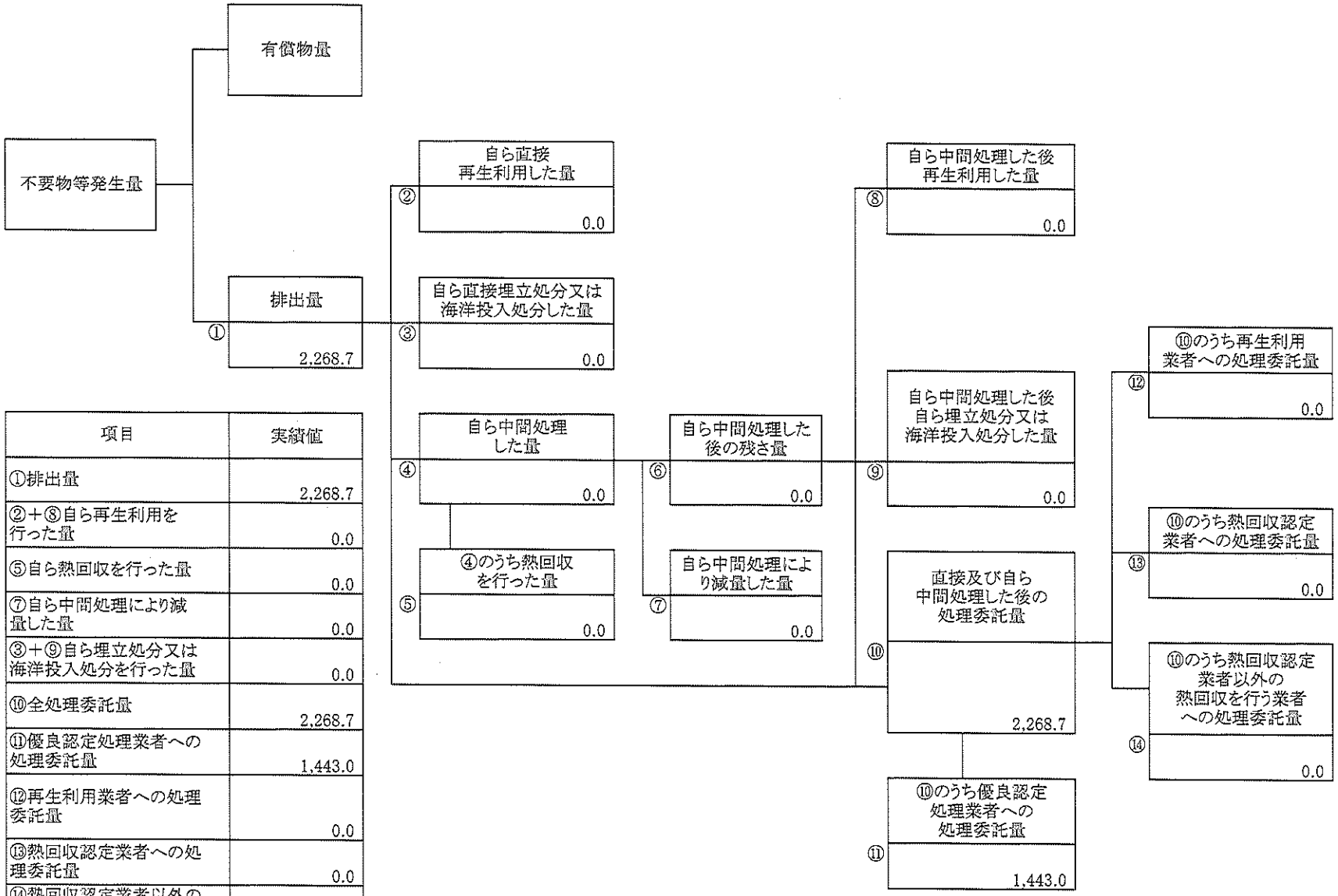
（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず　　）



項目	実績値
①排出量	677.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	677.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	414.7
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

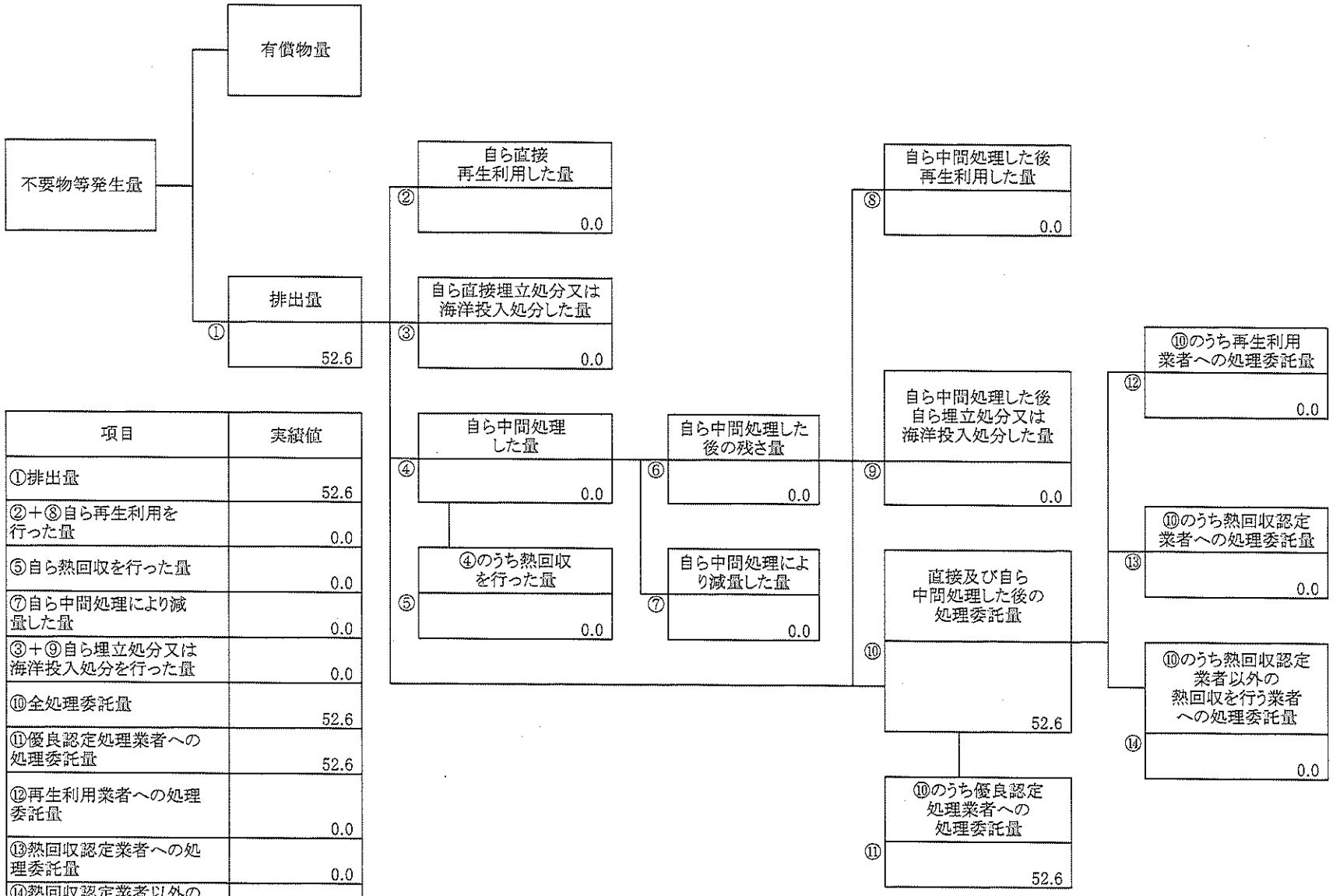
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	2,268.7
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	2,268.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,443.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

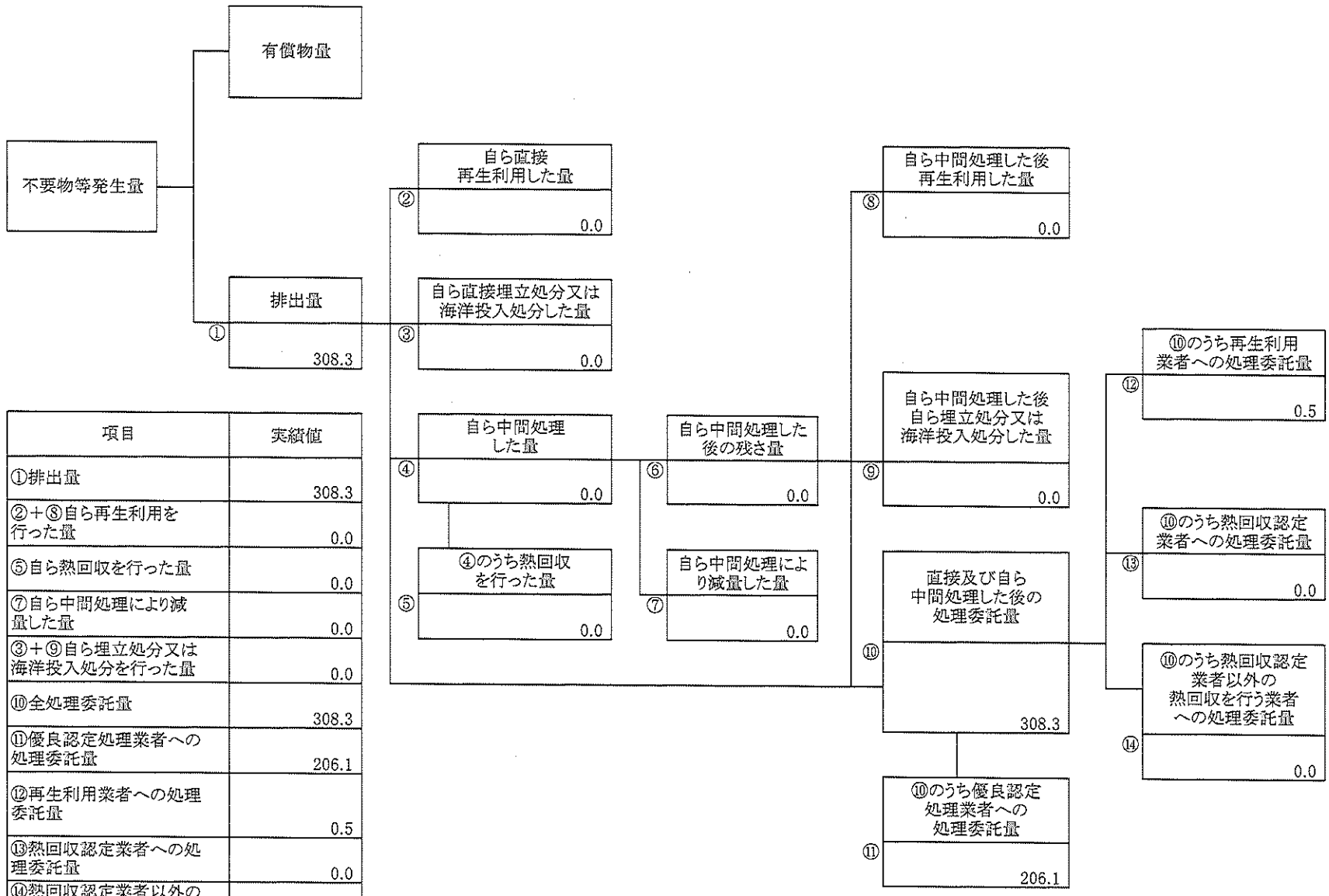
計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	52.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	52.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	52.6
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）

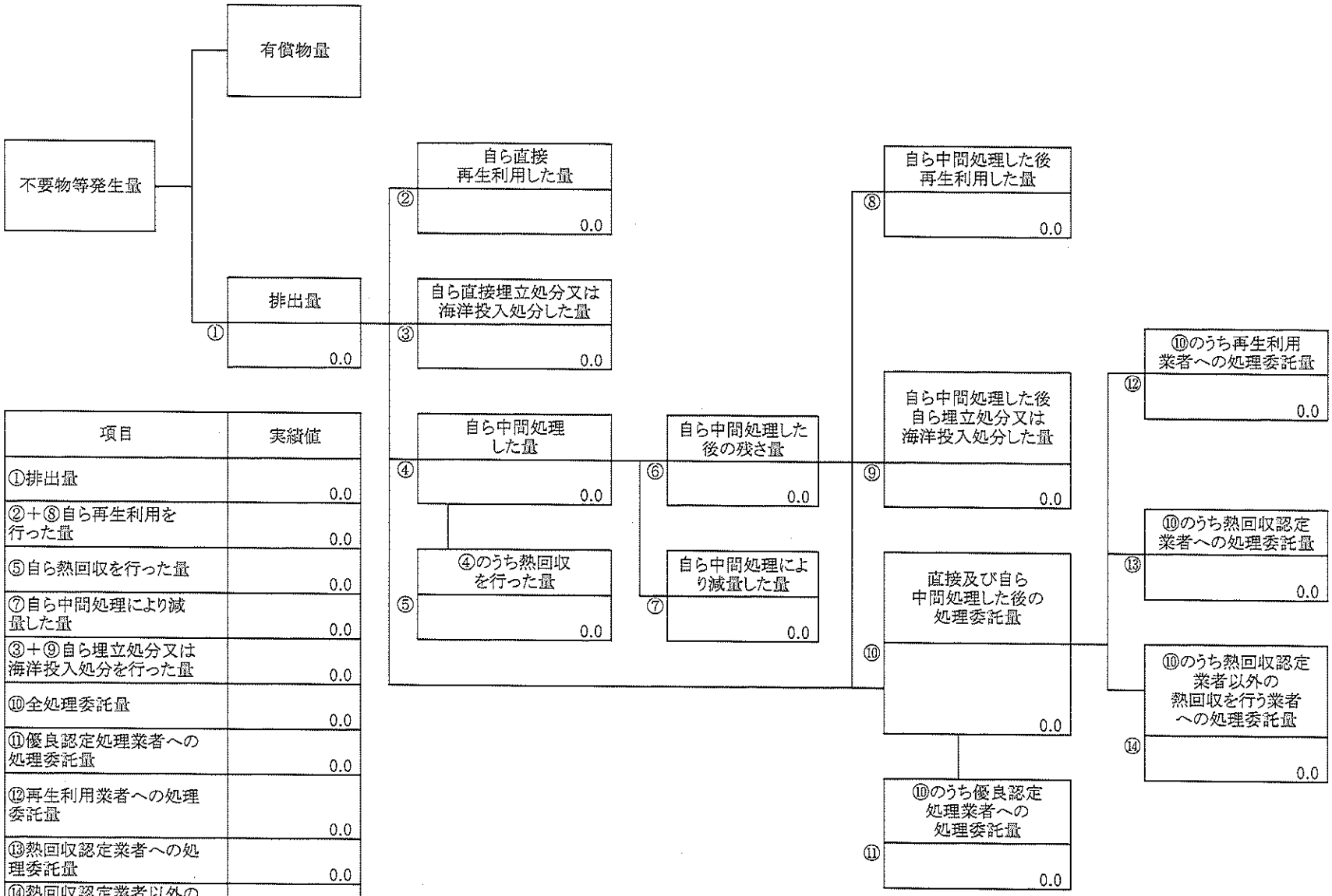


項目	実績値
①排出量	308.3
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	308.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	206.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：繊維くず　　）

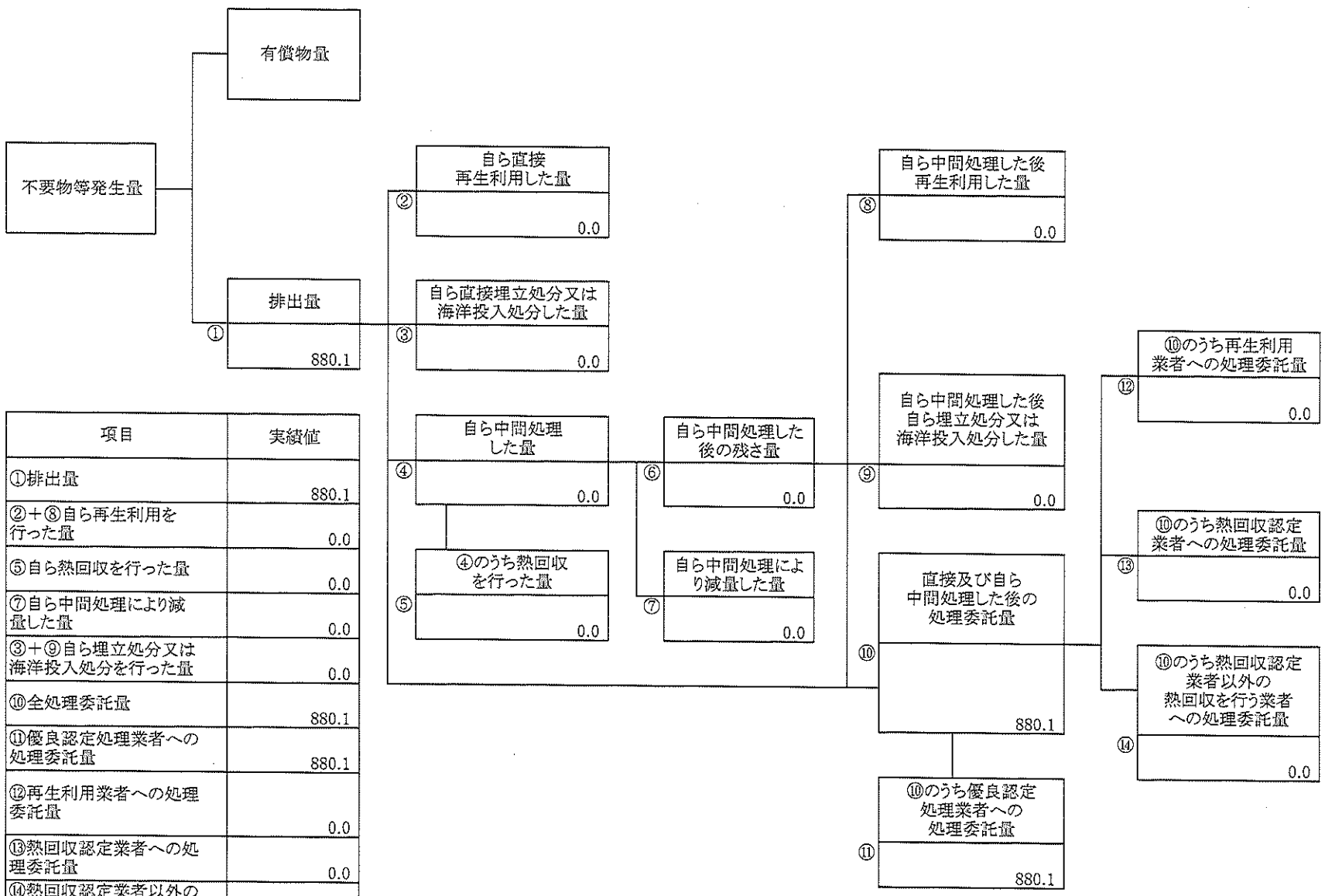


項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物　　）

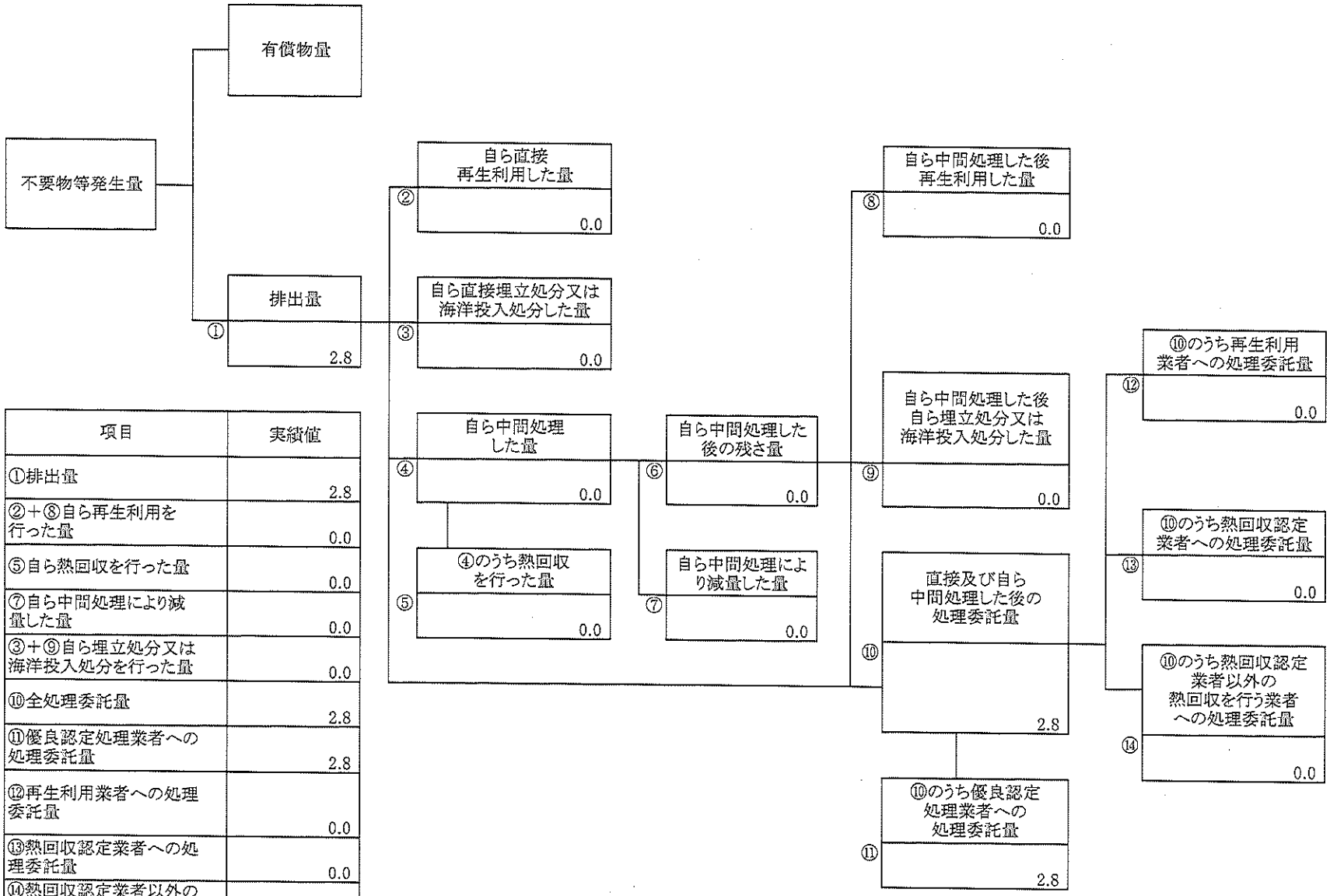


項目	実績値
①排出量	880.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	880.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	880.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	2.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	2.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月23日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　104-0031

住　所　東京都中央区京橋2丁目16番1号

法人名　清水建設株式会社　土木東京支店

代表者　齊藤 武文

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3561-3845

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	清水建設株式会社　土木東京支店
事業場の所在地	土木東京支店が管轄する千葉県内の各区域　（千葉市、船橋市、柏市を除
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	令和6年度完成工事高　1,073億円（土木東京支店管内）
③従業員数	645名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙一１」参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

「別紙一２」参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	22106.2 t	90.8 t

（これまでに実施した取組）

・４Ｒ運動を中核とした建設副産物のリサイクルを推進する‥最終処分率1.2%以下（汚泥、特別管理廃棄物、一般廃棄物を除く）
・地球温暖化防止の為、土木CO2削減活動の実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	25000 t	100 t

（今後実施する予定の取組）

・４Ｒ運動を中核とした建設副産物のリサイクルを推進する‥最終処分率1.2%以下（汚泥、特別管理廃棄物、一般廃棄物を除く）
・地球温暖化防止の為、土木CO2削減活動の実施

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・作業所からの標準的な産業廃棄物排出フローによる15品目に分けて分別する

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・作業所からの標準的な産業廃棄物排出フローによる15品目に分けて分別する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

・自社で再生利用を行ったことはない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、自社で再生利用を行う予定はない

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

・自社で中間処理を行ったことはない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、自社で中間処理を行う予定はない

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

・自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

・引き続き自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量		22106.2ｔ	90.8ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	66ｔ	90.8ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

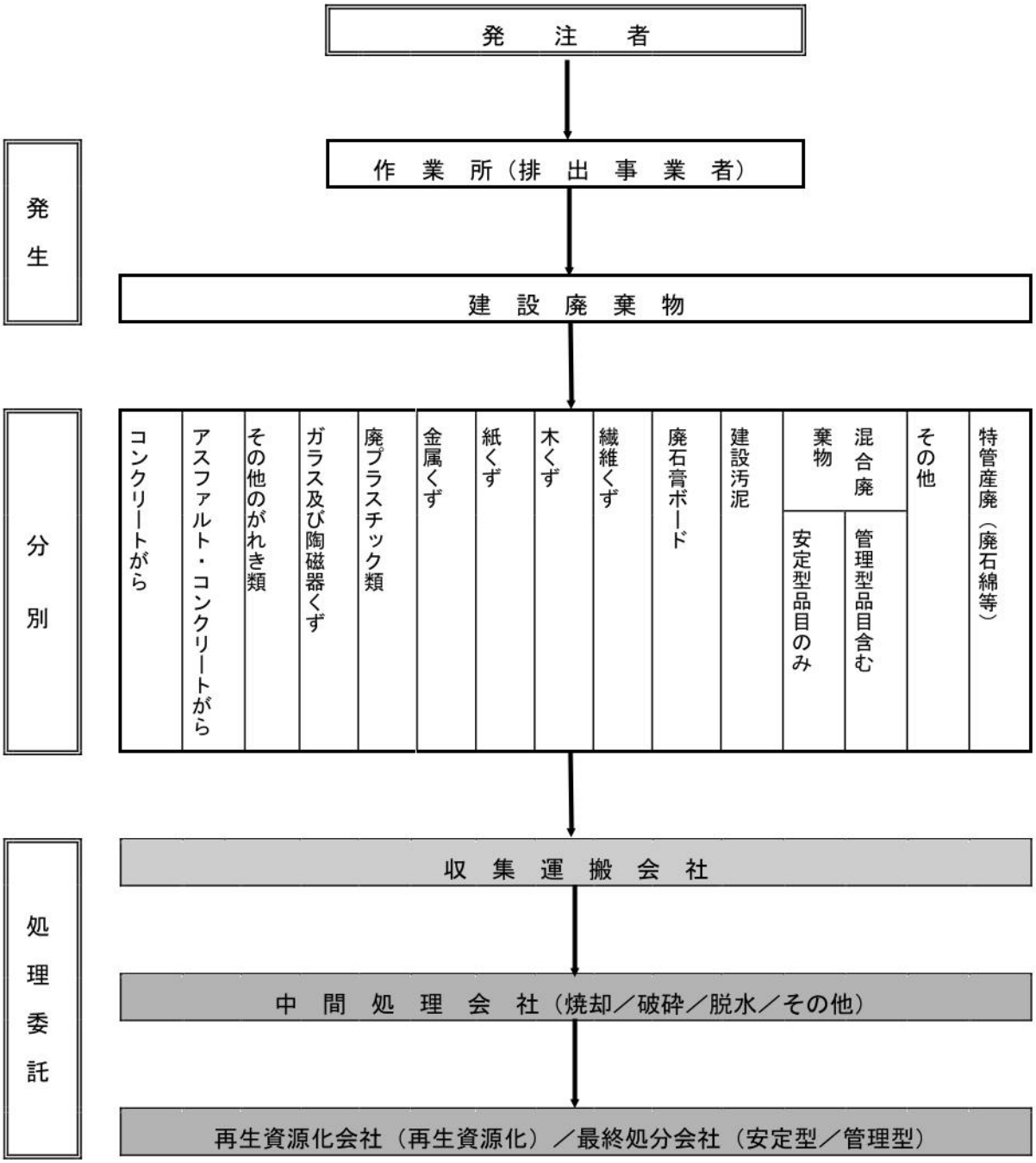
＊建設副産物不適正処理を防止する‥目標０件
・建設副産物管理組織の確立

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>25000 t</td><td>100 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>100 t</td><td>100 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
＊建設副産物不適正処理を防止する‥目標０件
・建設副産物管理組織の確立
・「建設副産物適正処理計画書及び実績表」の作成・提出
・業者選定
・「建設廃棄物委託契約書」の作成・提出</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

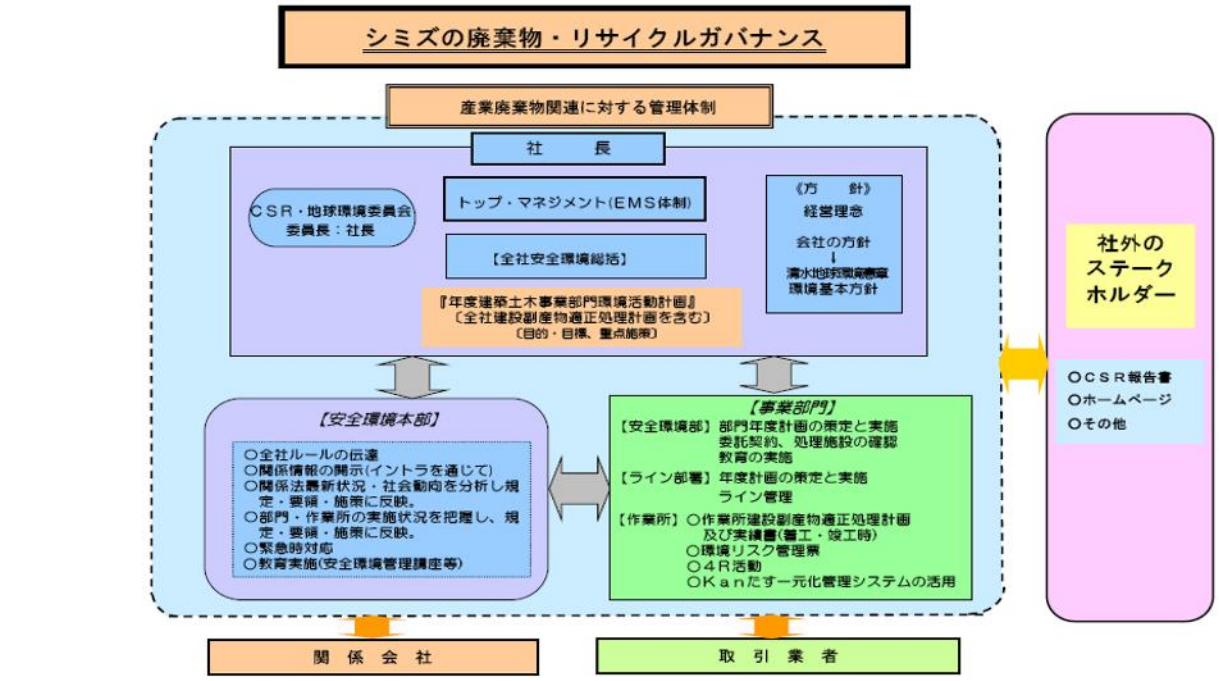
別紙-1　④産業廃棄物の一連の処理の工程

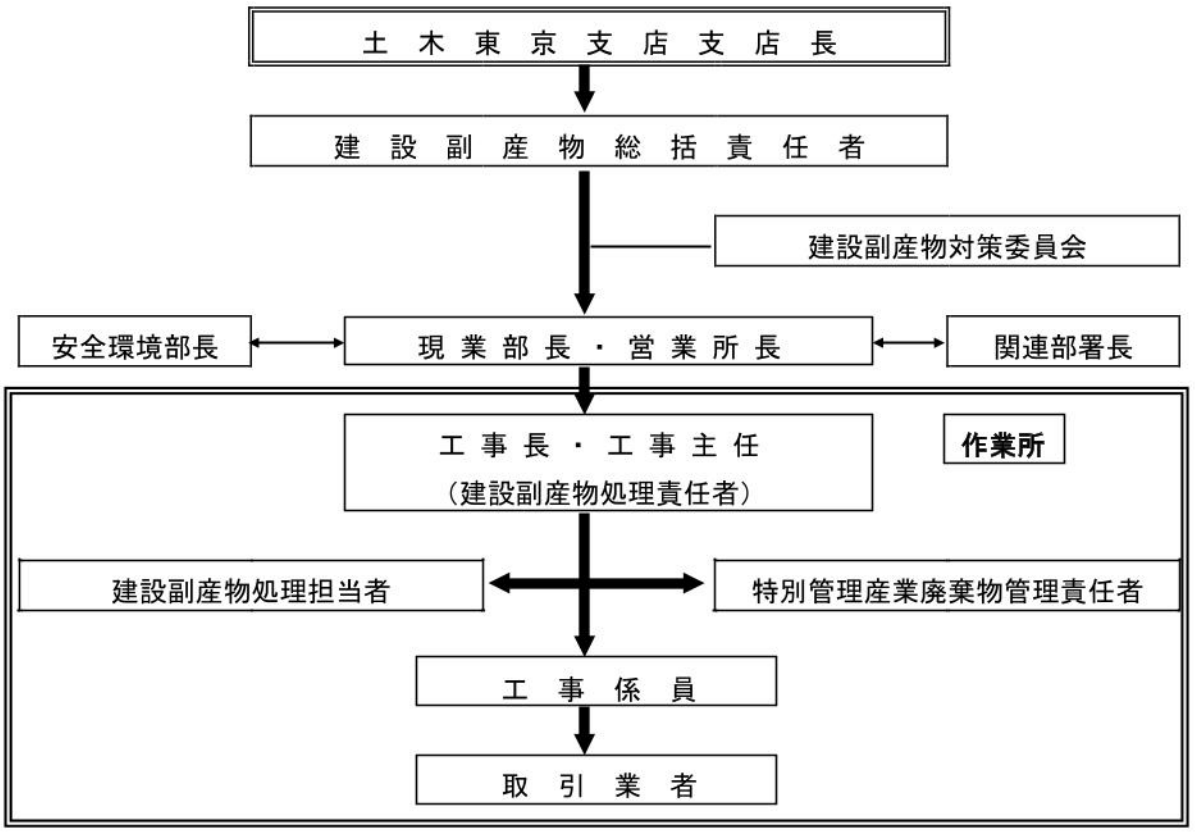
支店作業所（現場）からの標準的な産業廃棄物排出フロー



別紙-2　管理体制

2011.4





（注）必要時に配置

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	排　出　量	0.6 t	6.1 t	8685.7 t	7.1 t	354.9 t	0.1 t	458.6 t	1.0 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	排　出　量	0.5 t	5.0 t	5000.0 t	5.0 t	300.0 t	0.0 t	400.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
全処理委託量	0.6 t	6.1 t	8685.7 t	7.1 t	354.9 t	0.1 t	458.6 t	1.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t	6.1 t	1545.3 t	7.1 t	222.3 t	0.1 t	407.8 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	1416.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物
全処理委託量	0.5 t	5.0 t	5000.0 t	5.0 t	300.0 t	0.0 t	400.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t	5.0 t	1000.0 t	5.0 t	200.0 t	0.0 t	350.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	1000.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　104-0031

住所 東京都中央区京橋2丁目16番1号

法人名 清水建設株式会社 土木東京支店

代表者 齊藤 武文

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3561-3845

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	清水建設株式会社 土木東京支店
事業場の所在地	土木東京支店が管轄する千葉県内の各区域（千葉市、船橋市、柏市を除く）
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	16975 t	全処理委託量	16975 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1095 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

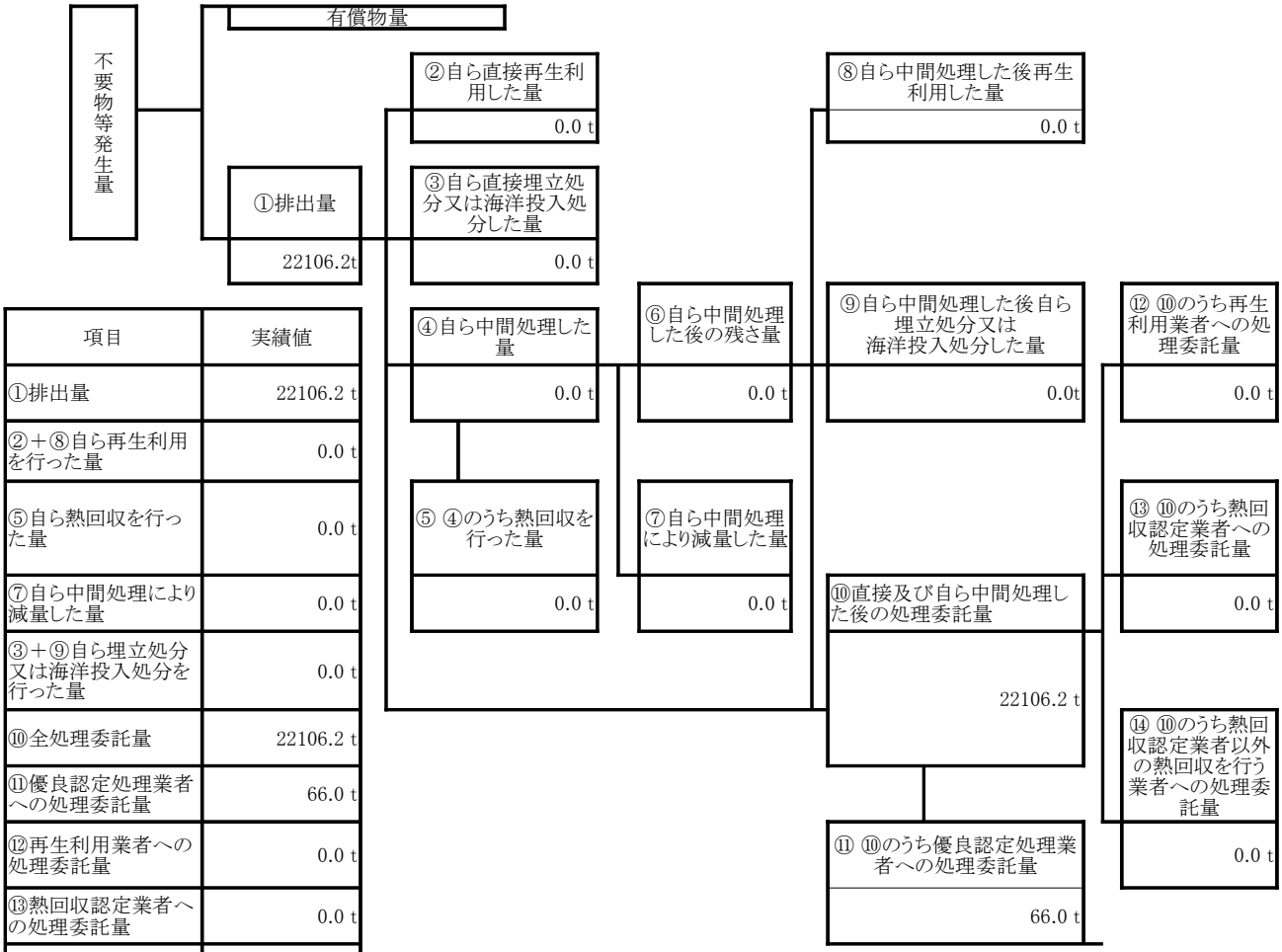
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

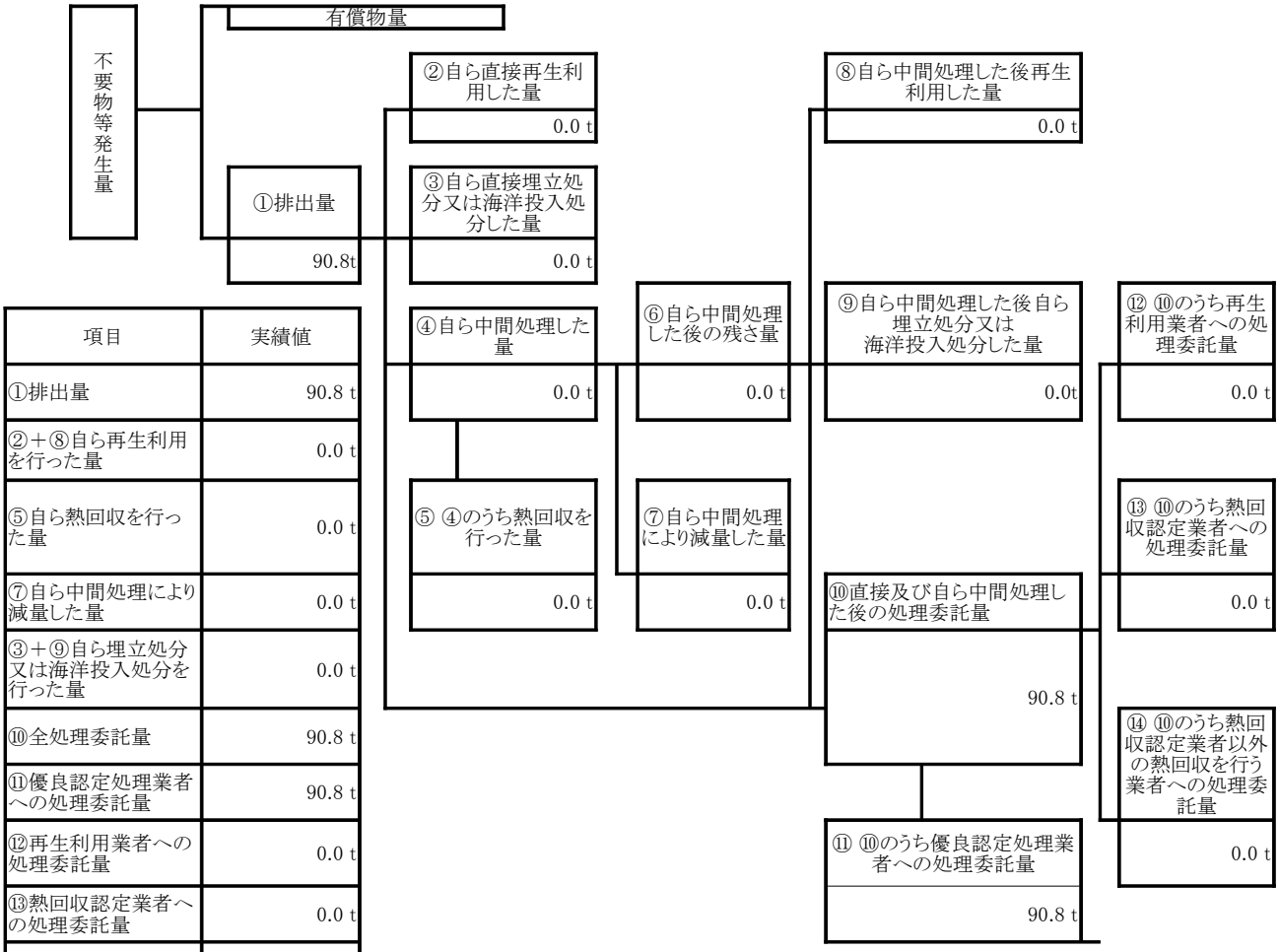


項目	実績値
①排出量	22106.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22106.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	66.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

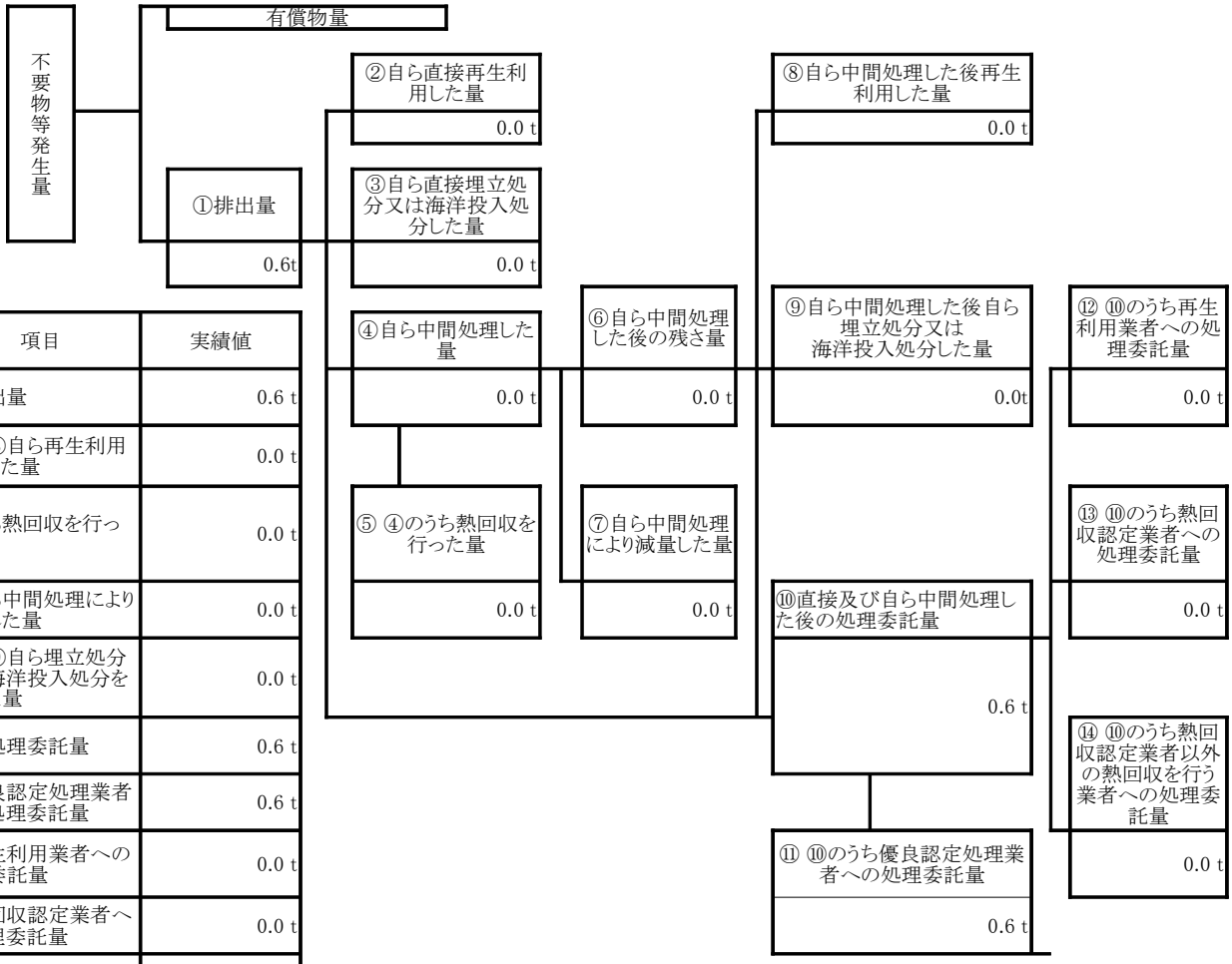


項目	実績値
①排出量	90.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	90.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	90.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

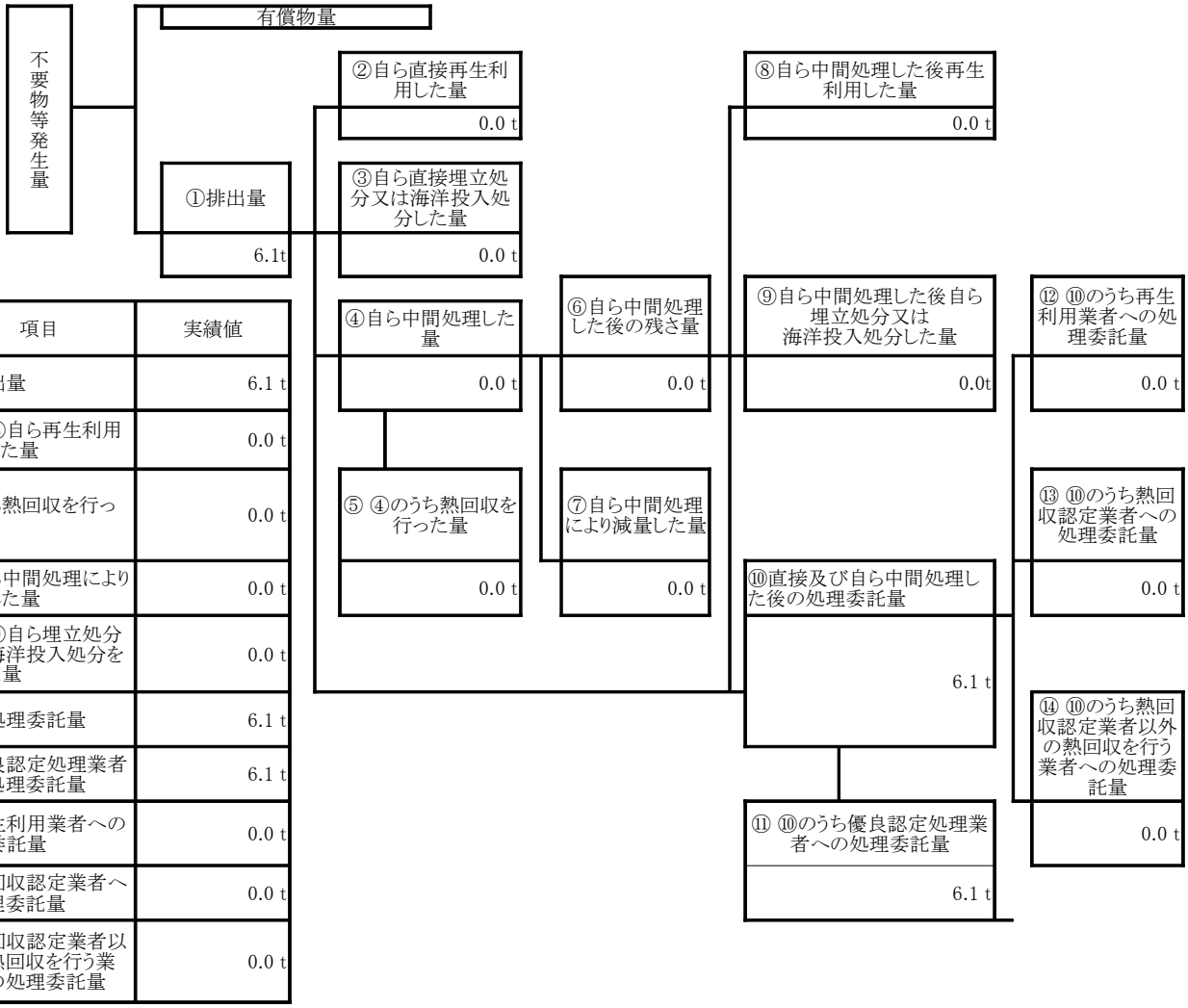


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラス陶磁器等くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

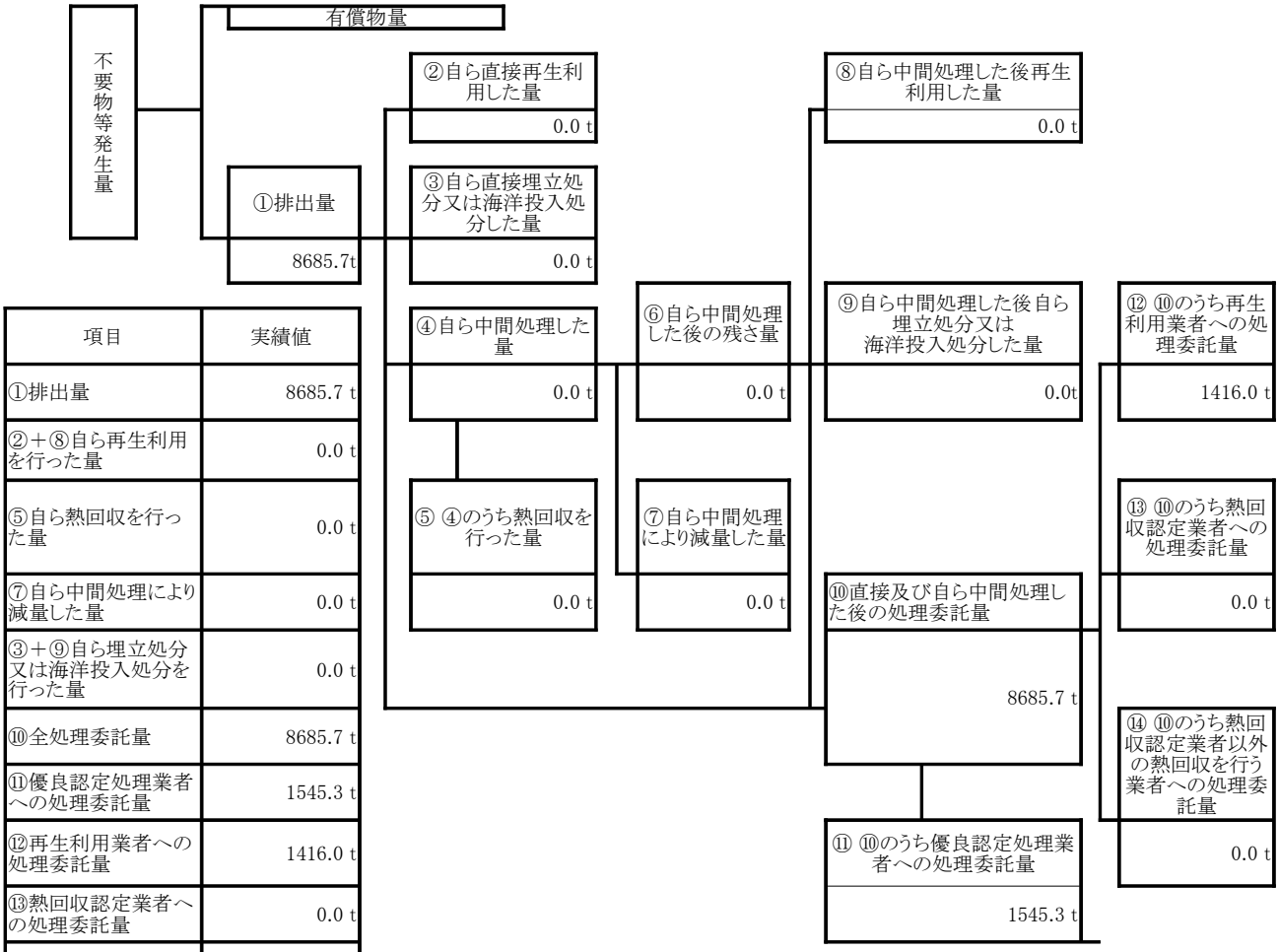


項目	実績値
①排出量	6.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

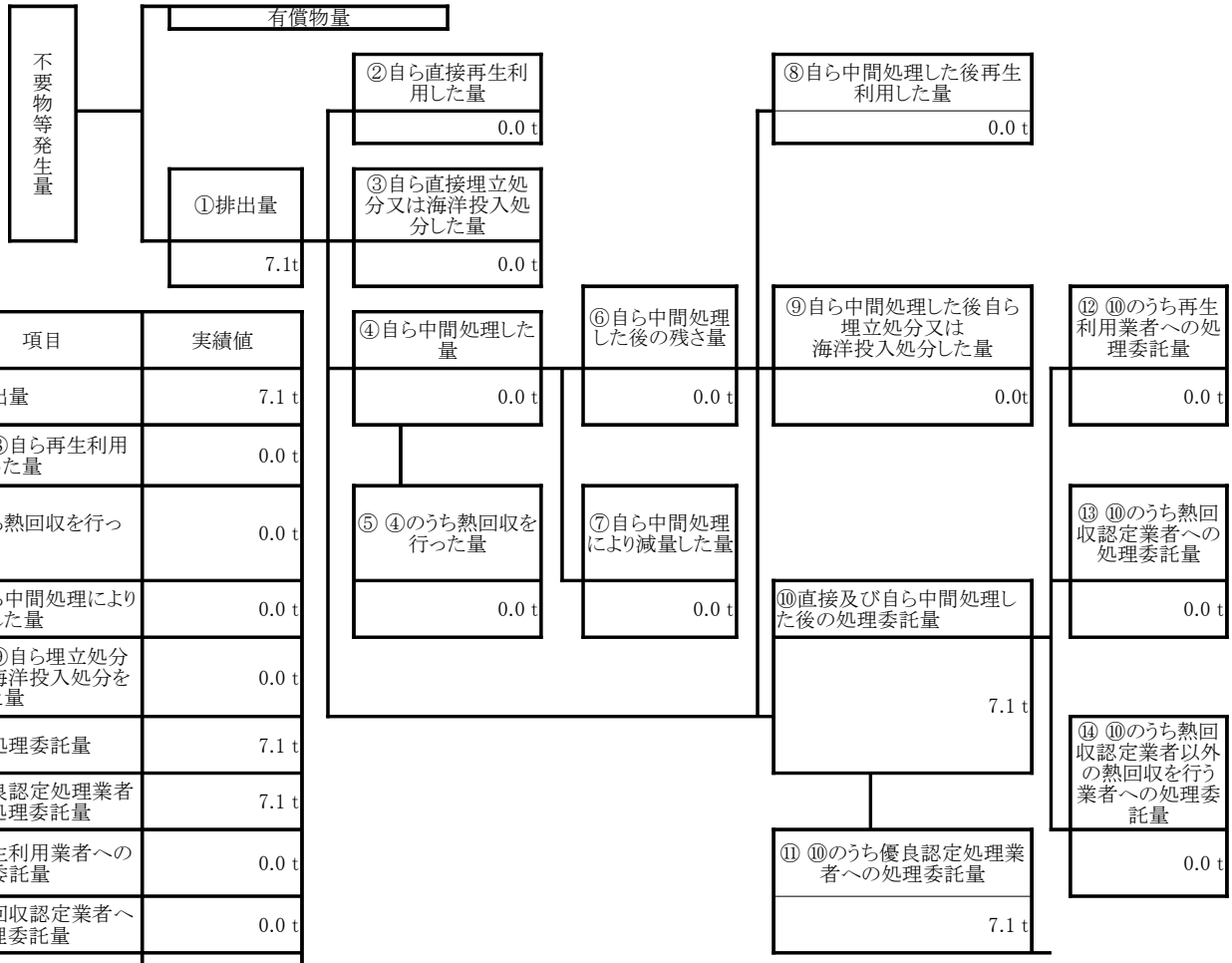


項目	実績値
①排出量	8685.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8685.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1545.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1416.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

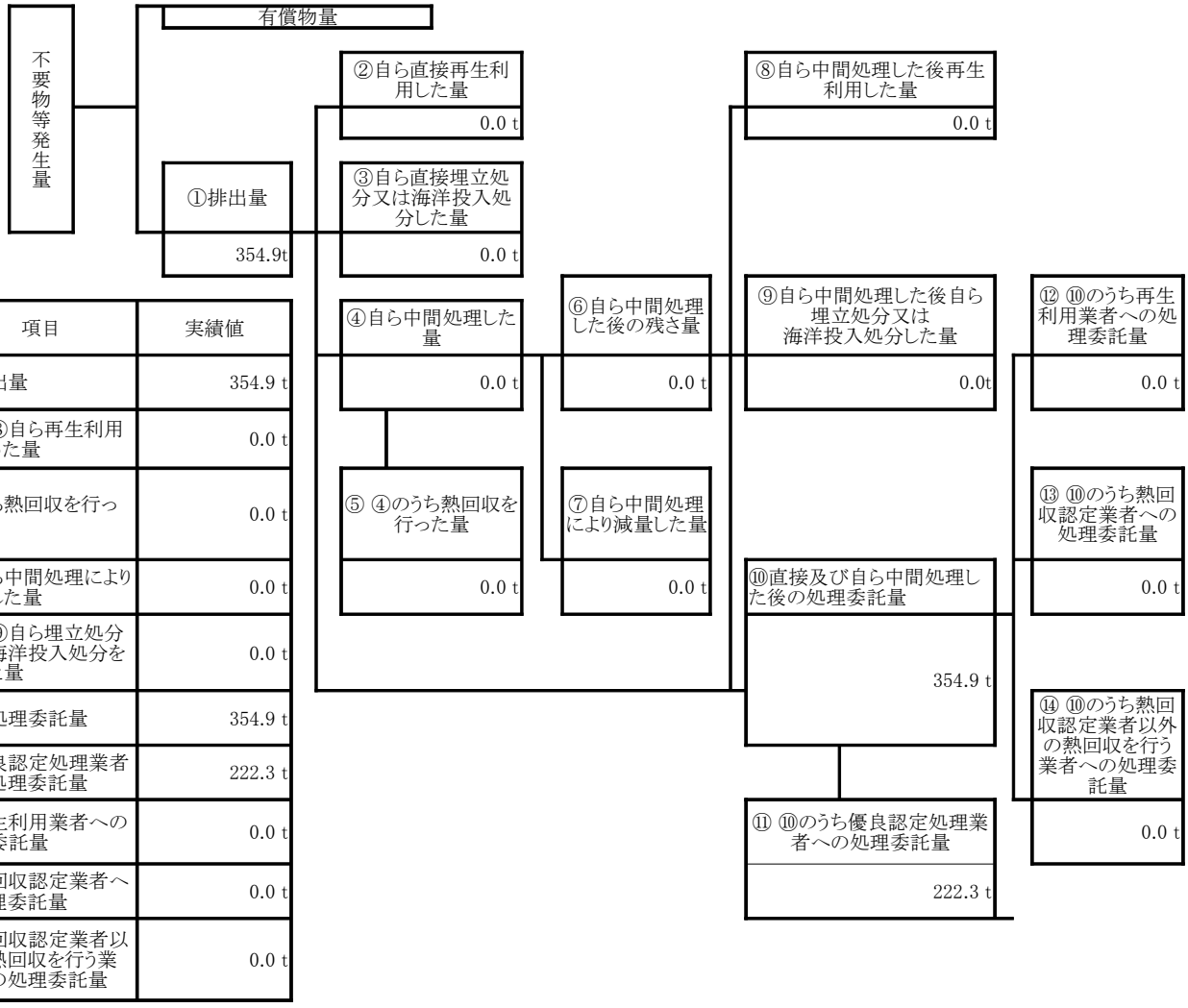


項目	実績値
①排出量	7.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

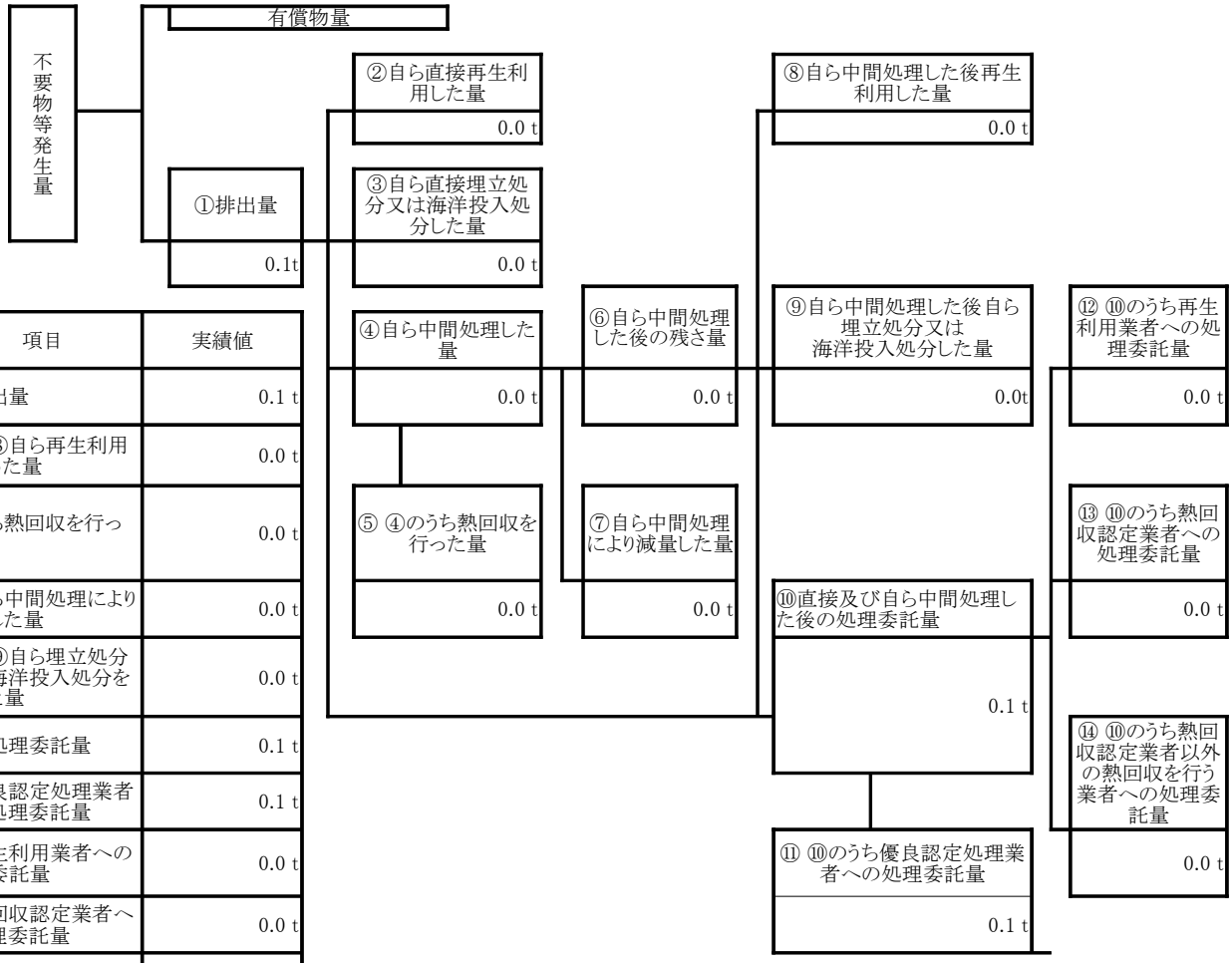


項目	実績値
①排出量	354.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	354.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	222.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

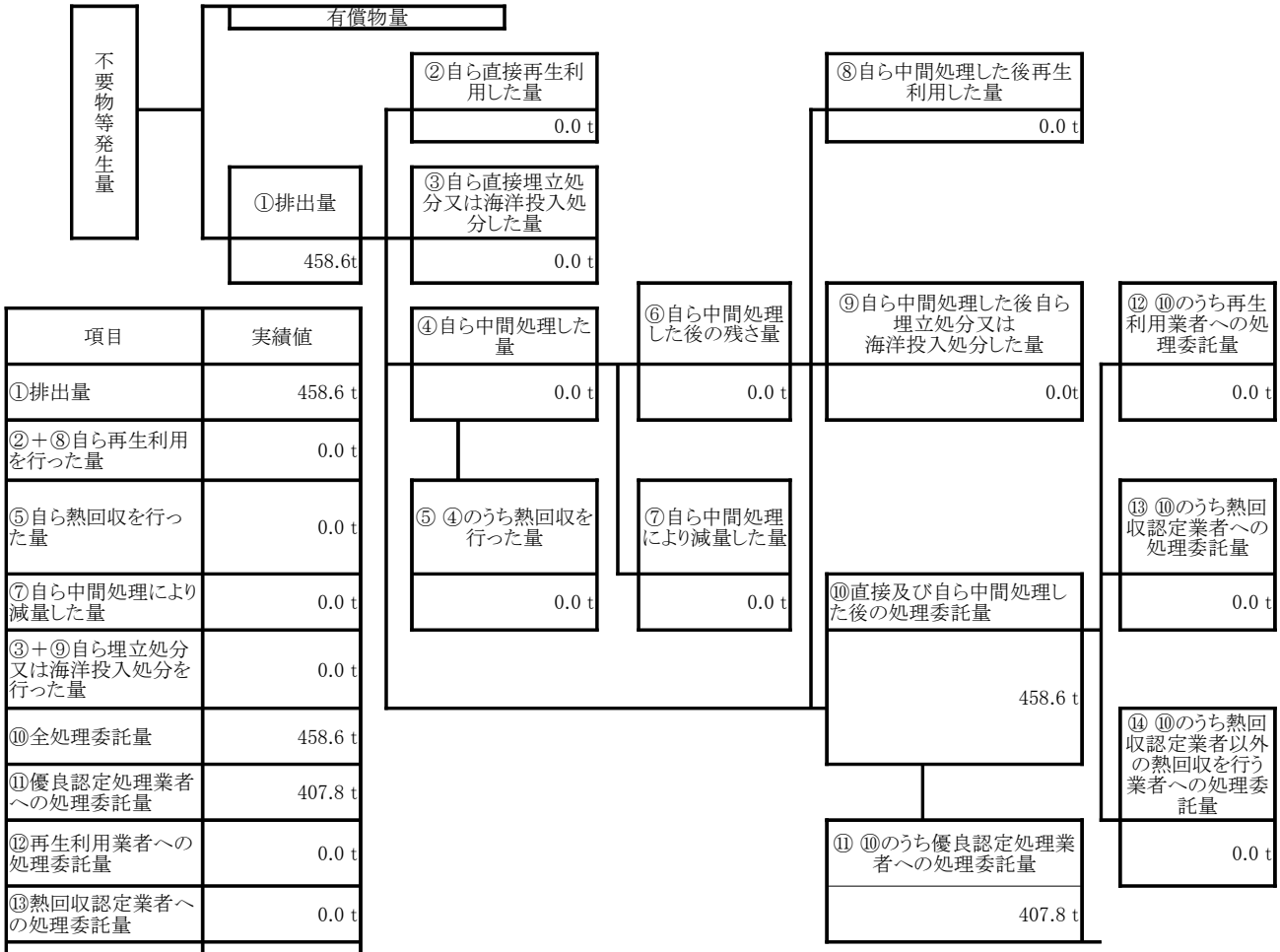


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



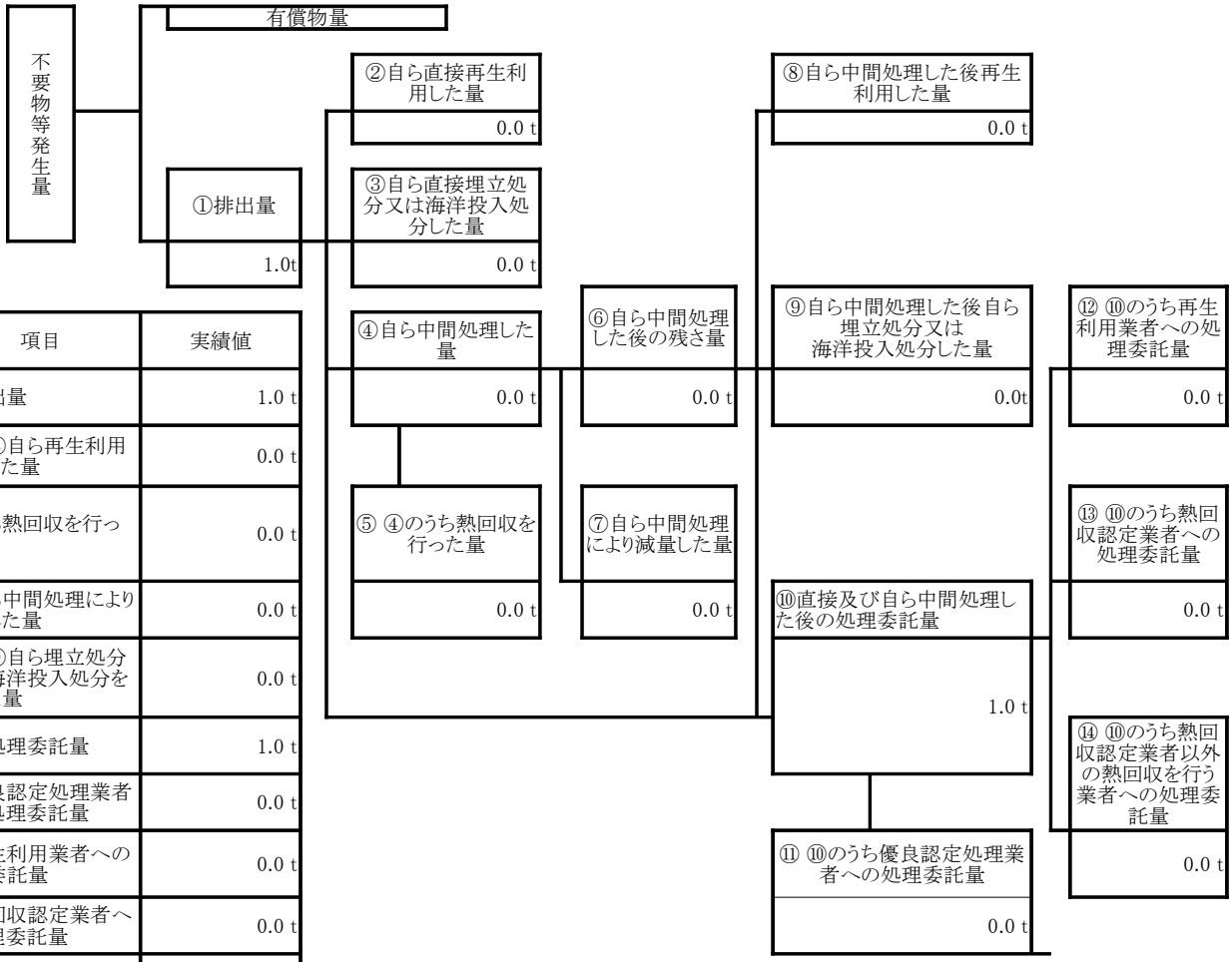
項目	実績値
①排出量	458.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	458.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	407.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品産業廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 4 月 18 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒151-0053
住 所　東京都渋谷区代々木2－11－17
氏 名　住協建設株式会社 東京本店
専務取締役東京本店長 内山 昇
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03-3370-3838

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	(仮称)千葉市中央区新宿2丁目計画新築工事 (仮称)千葉市中央区新田町計画新築工事
事業場の所在地	千葉市中央区新宿2－10－以下未定 千葉市中央区新田町12－20
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

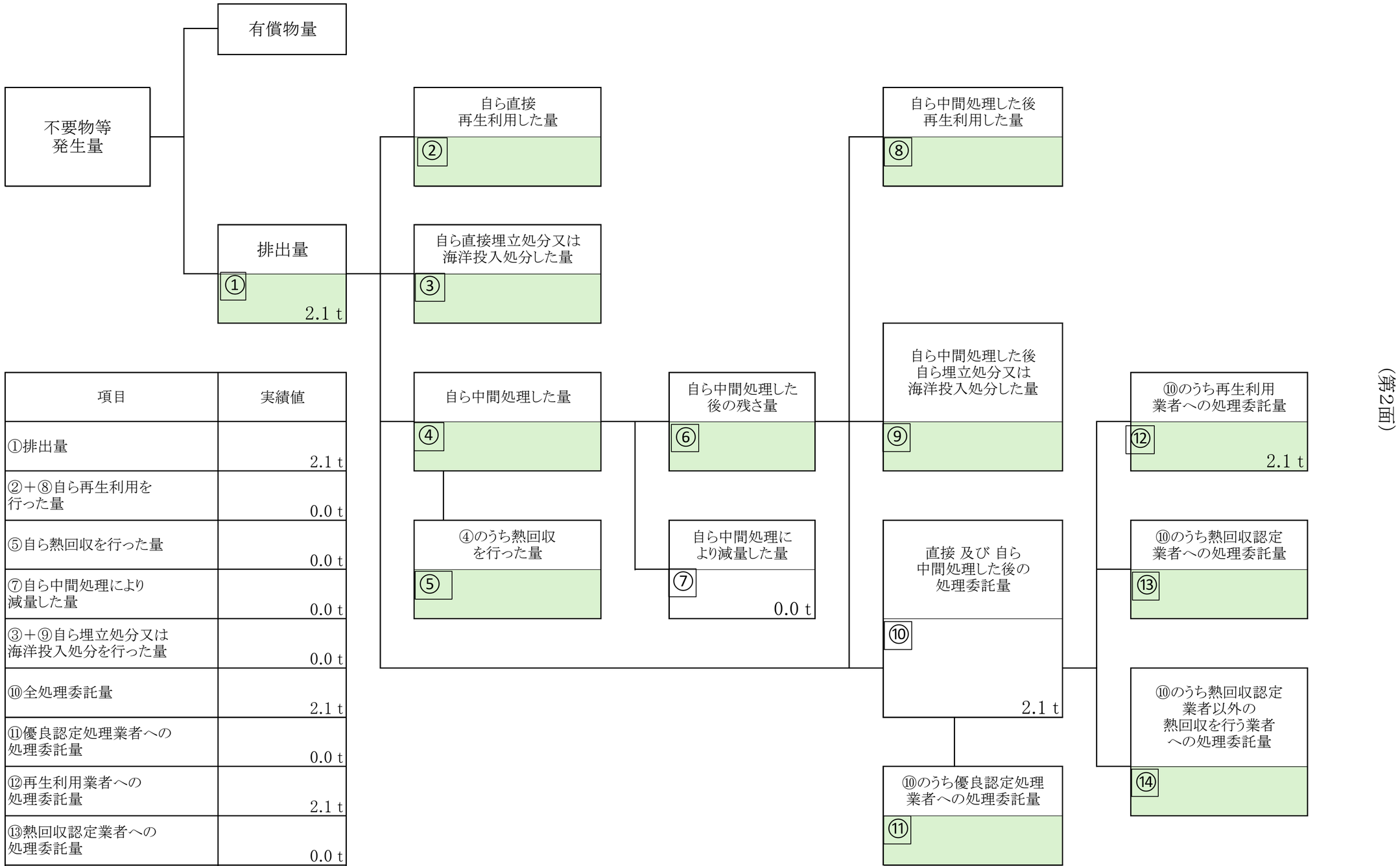
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1378.5ｔ	全処理委託量	1378.5ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1378.5ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

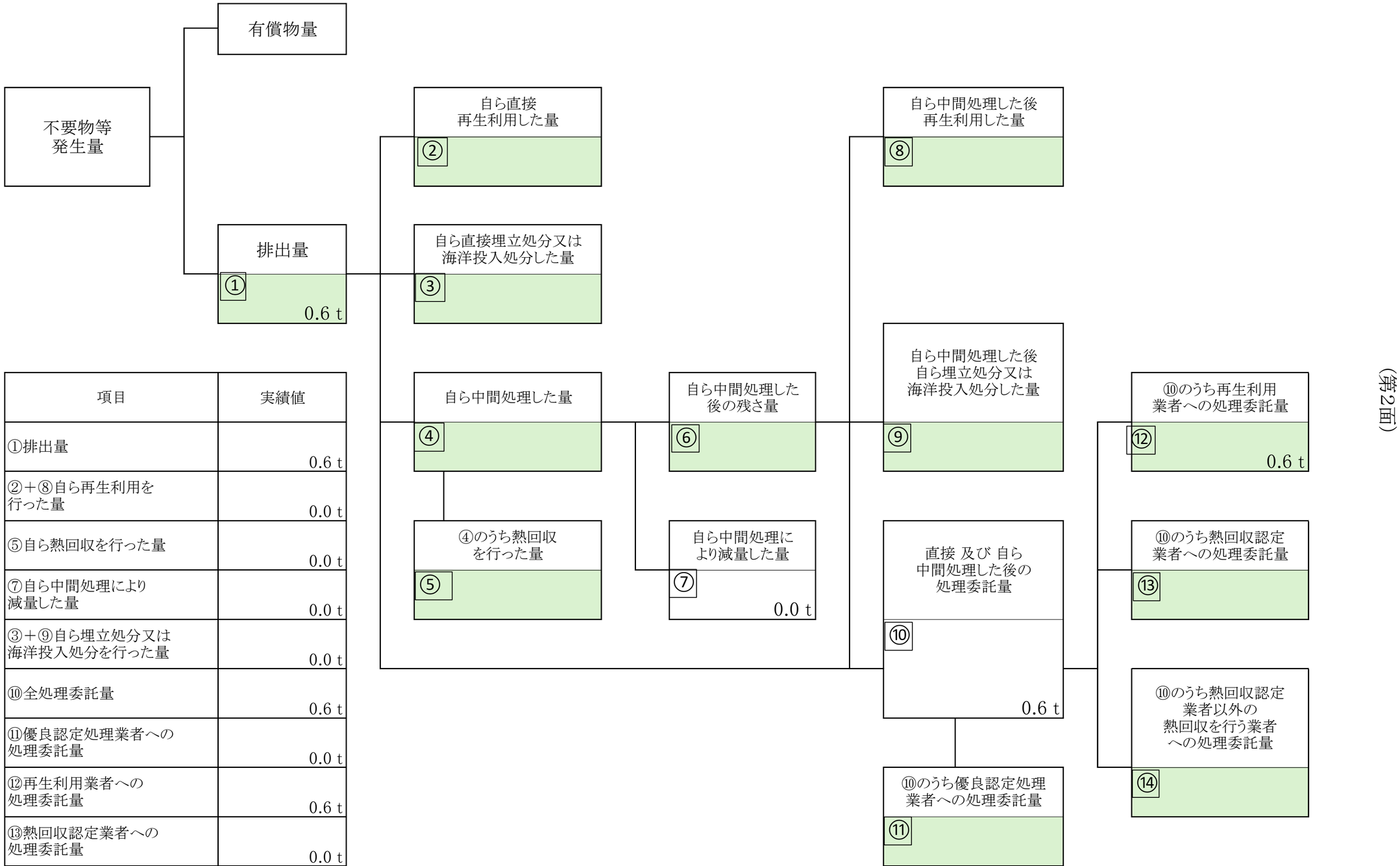


項目	実績値
①排出量	2.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

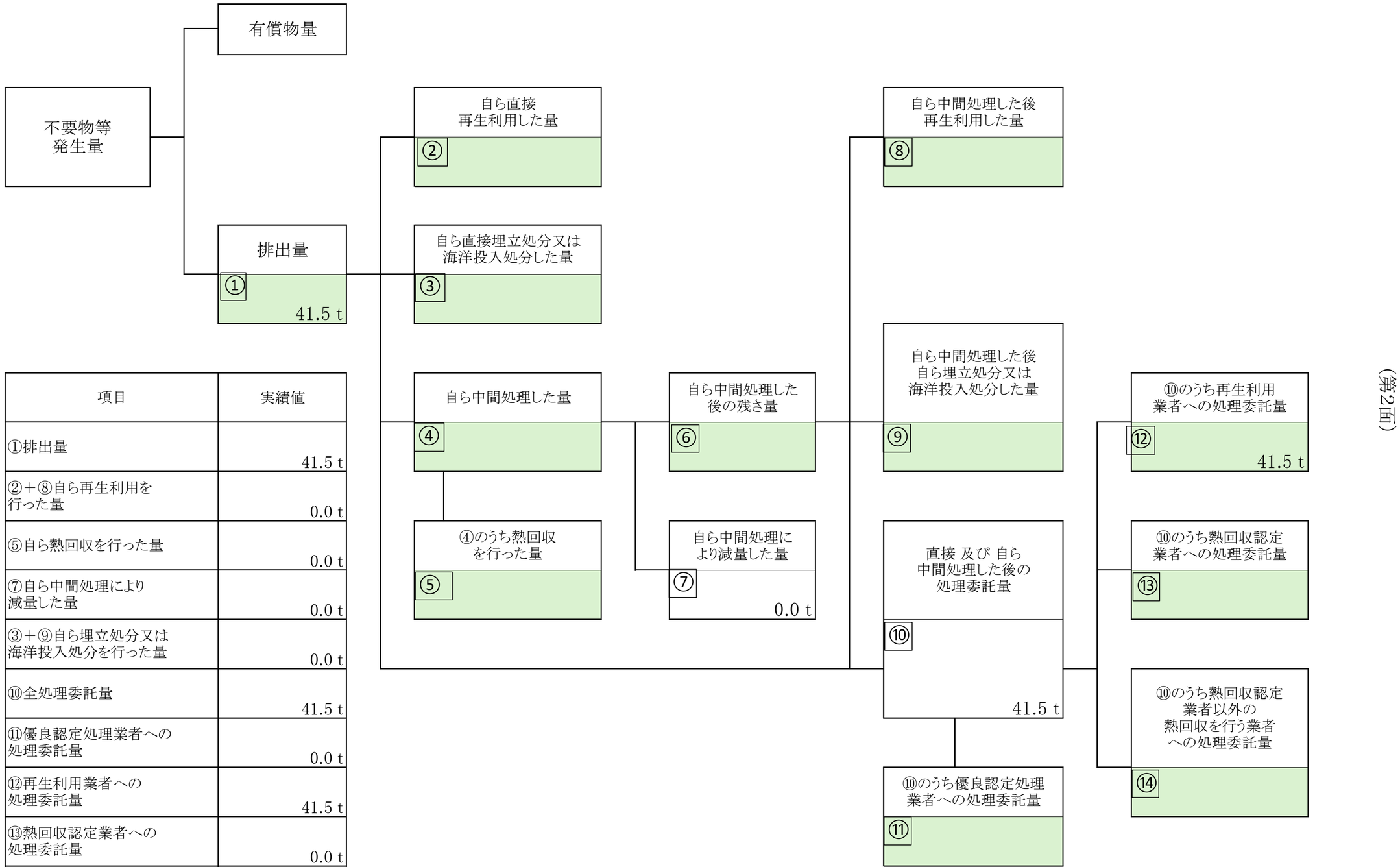


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器くず**）

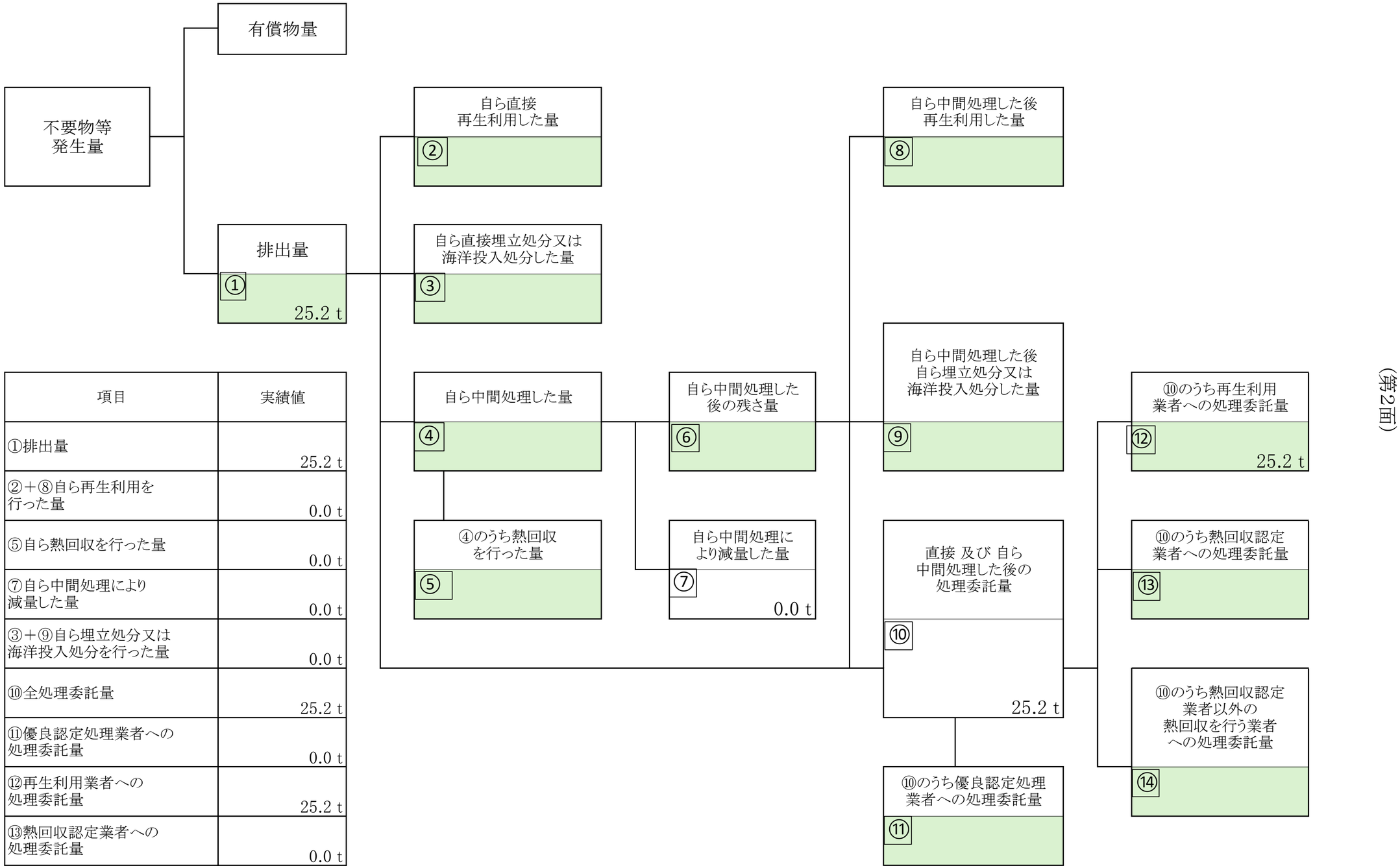


項目	実績値
①排出量	41.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	41.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	41.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

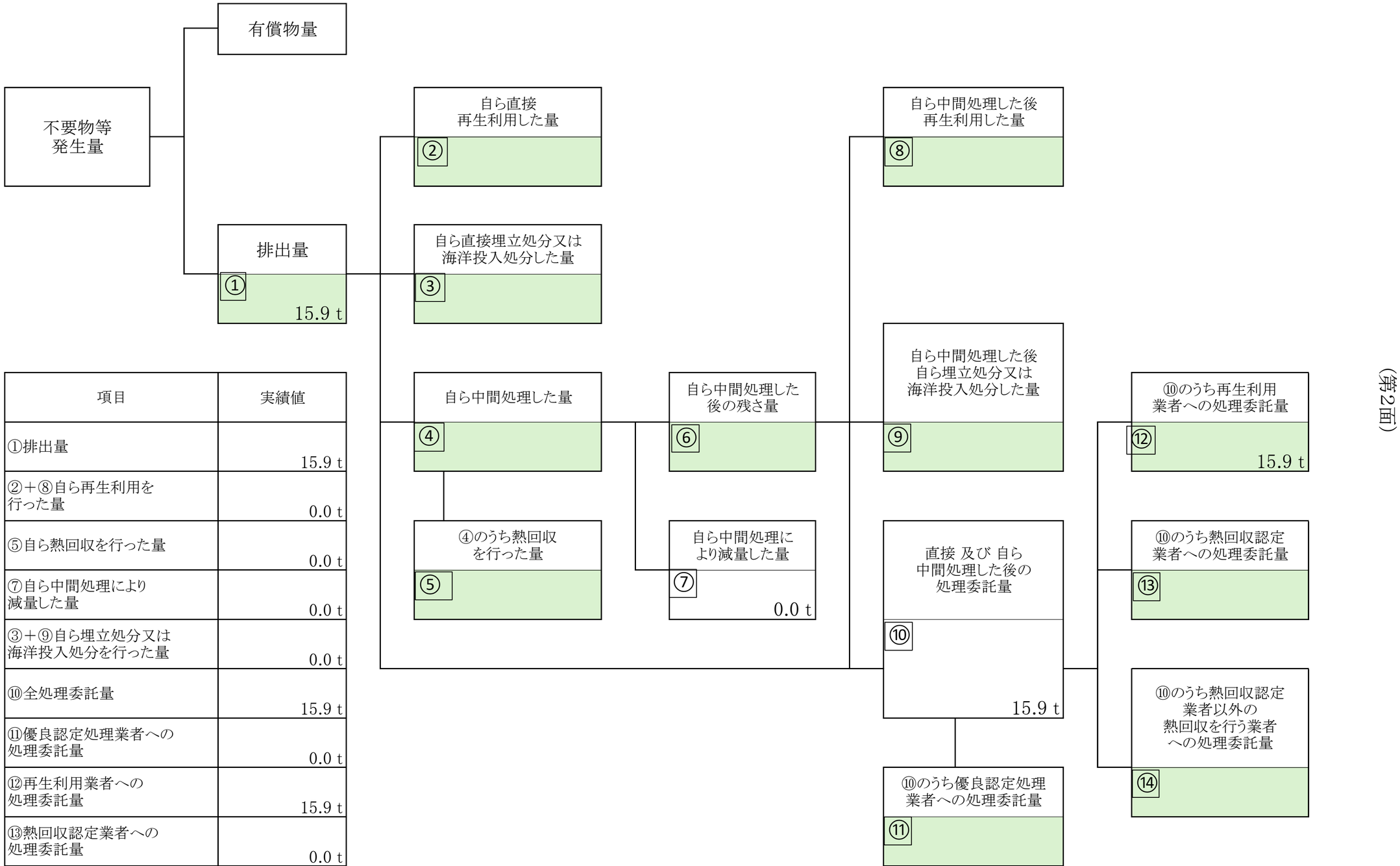


項目	実績値
①排出量	25.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	25.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	25.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **紙くず** ）

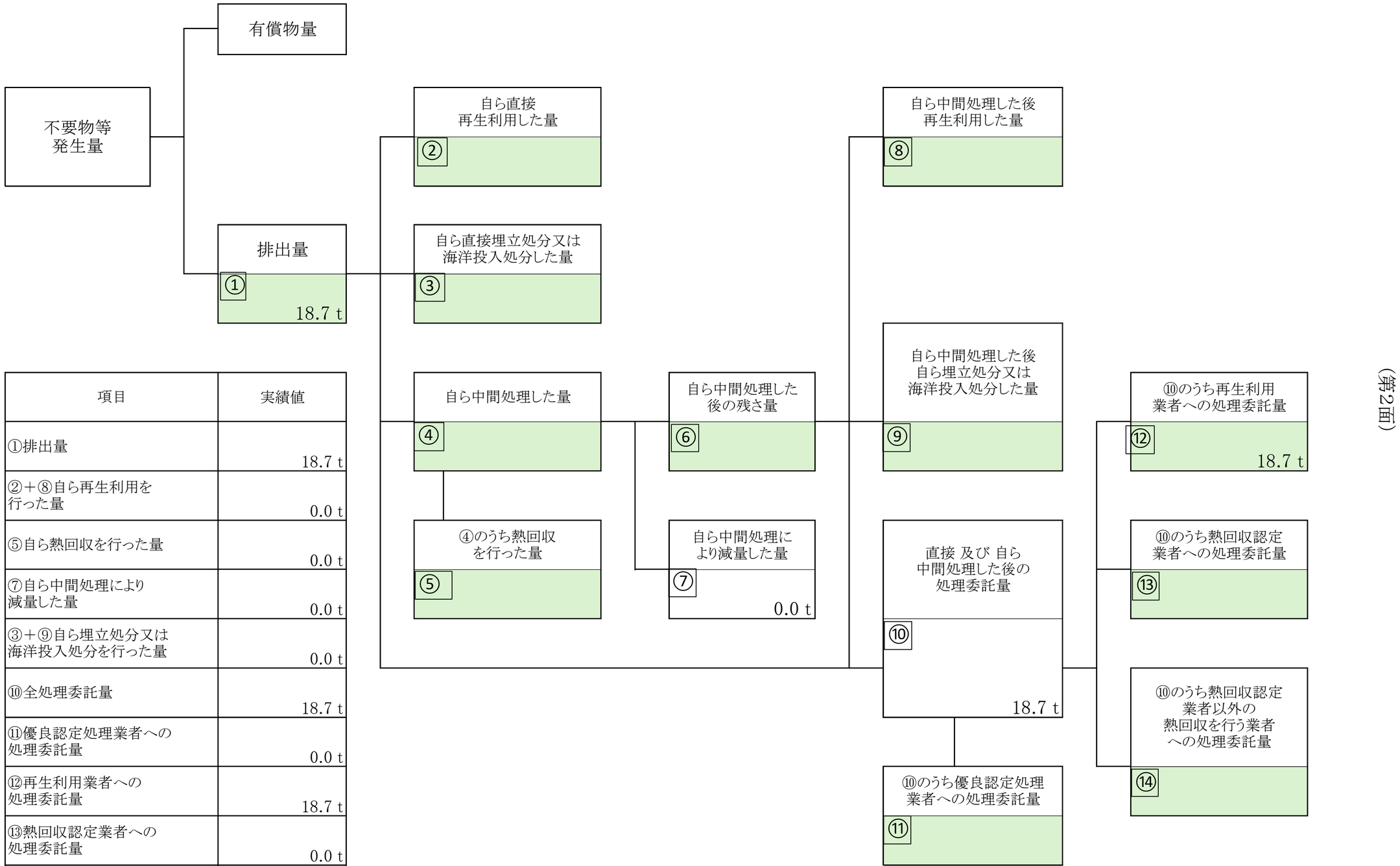


項目	実績値
①排出量	15.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

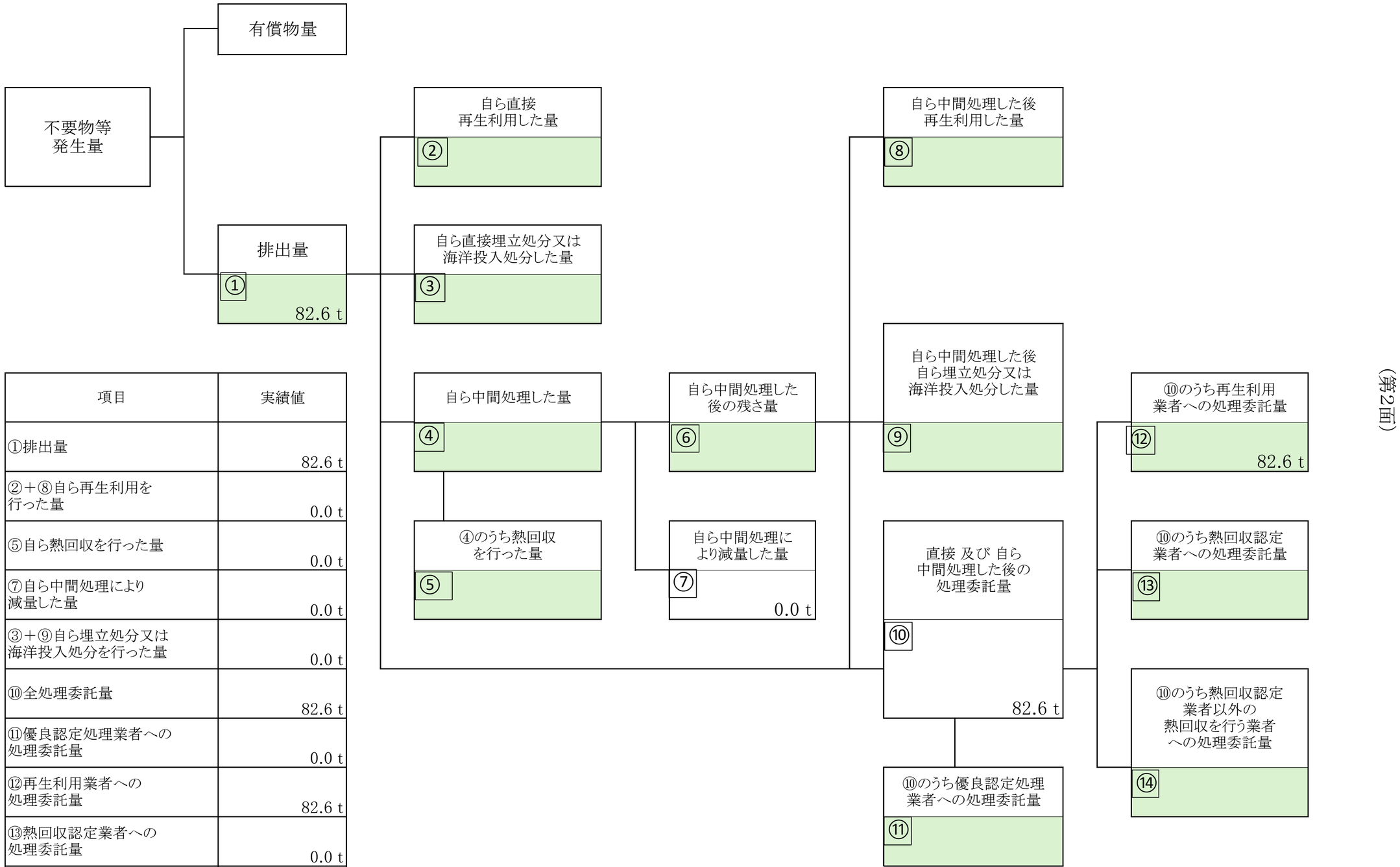


項目	実績値
①排出量	18.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	82.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	82.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	82.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 7 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒252-0236
住 所　神奈川県相模原市中央区富士見2-8-8
氏 名　住宅情報館株式会社
代表取締役社長　黒瀬　雄治
電話番号 042-704-7071

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住宅情報館株式会社
事業場の所在地	神奈川県相模原市中央区富士見２－８－８
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

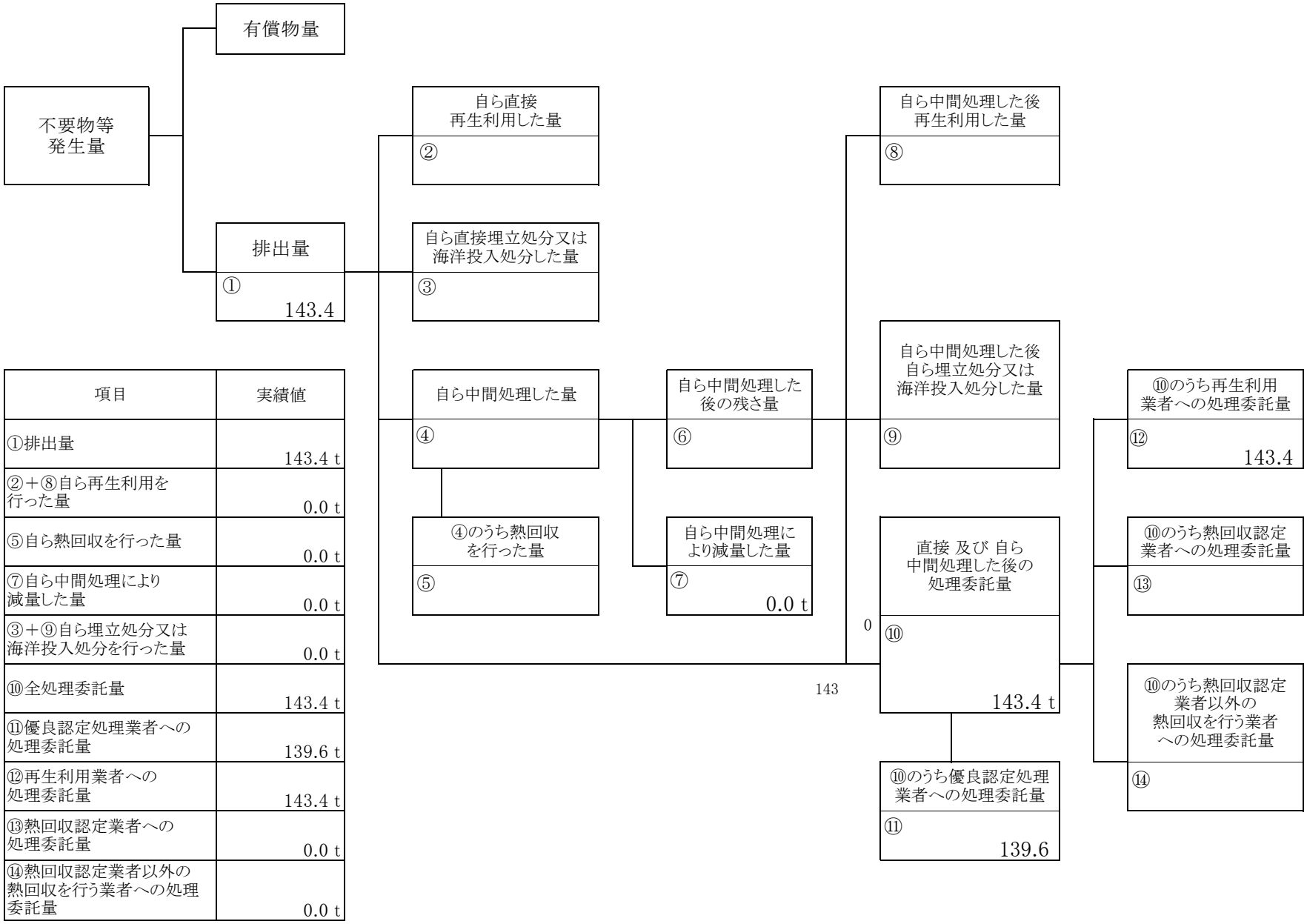
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1803.0 t	全処理委託量	1803.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	優良認定処理業者への処理委託量	1794.7 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	再生利用業者への処理委託量	1801.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	認定熱回収業者への処理委託量	－ t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**廃プラスチック類**　）

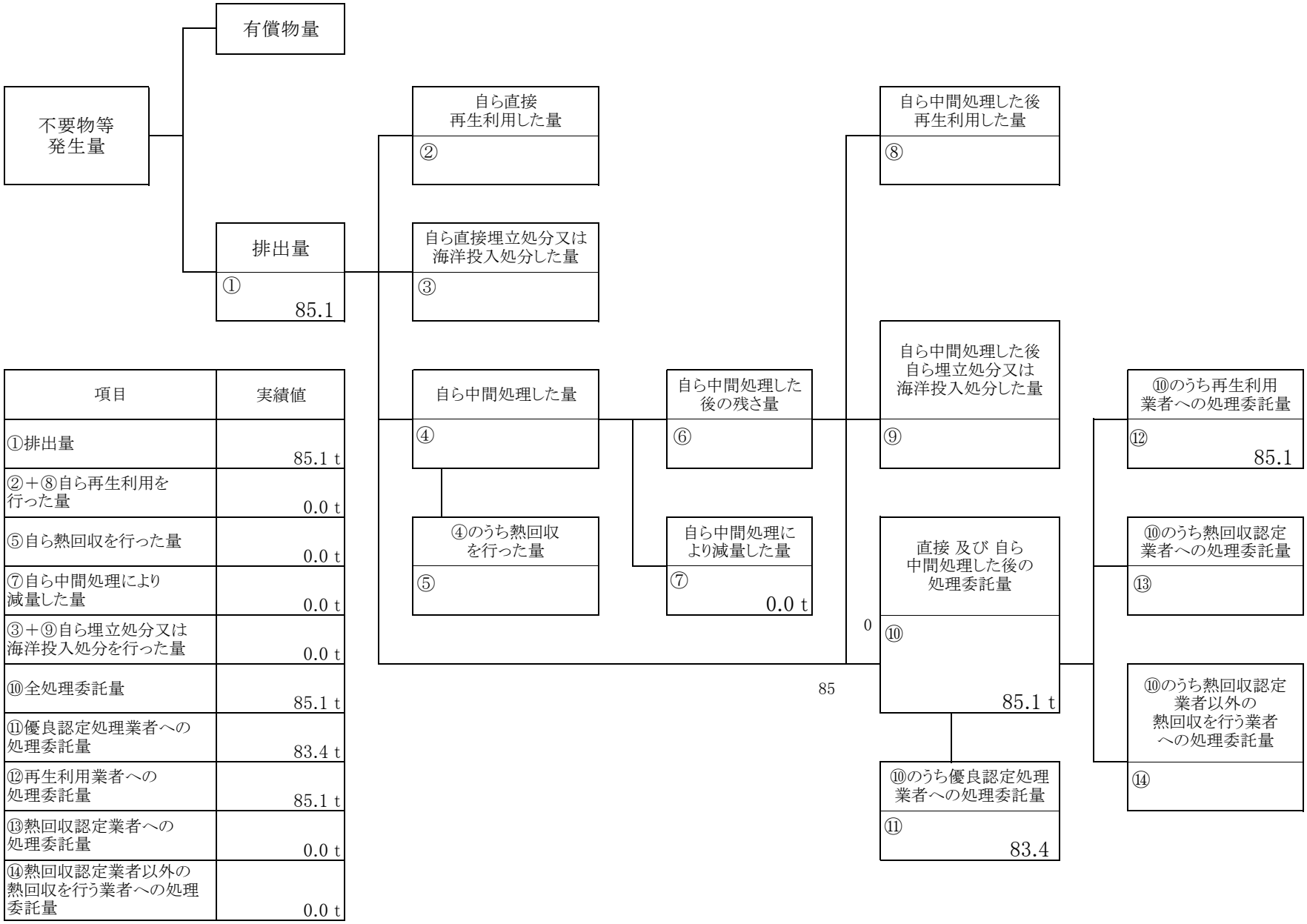


項目	実績値
①排出量	143.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	143.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	139.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	143.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

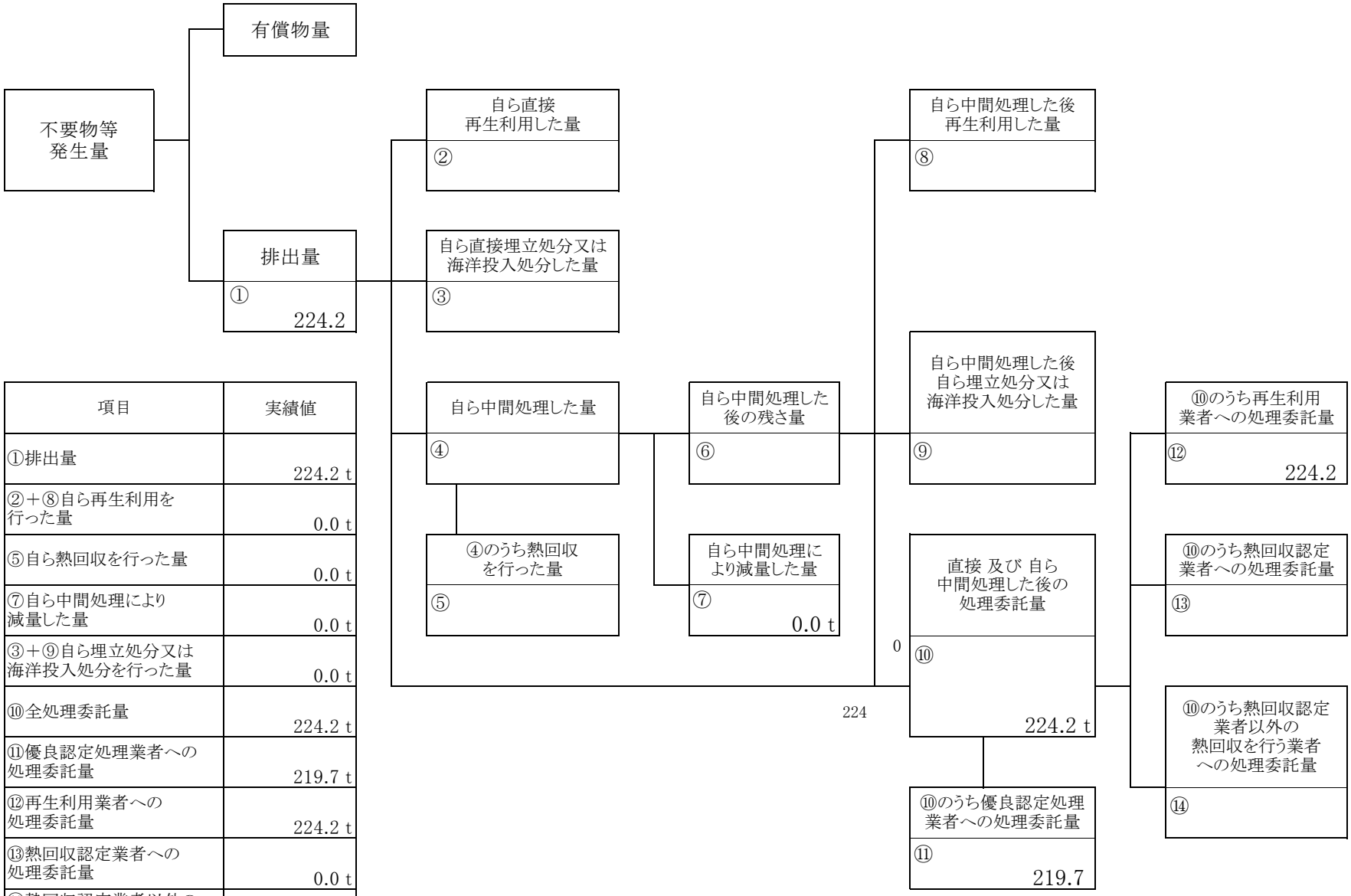


項目	実績値
①排出量	85.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	85.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	83.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	85.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

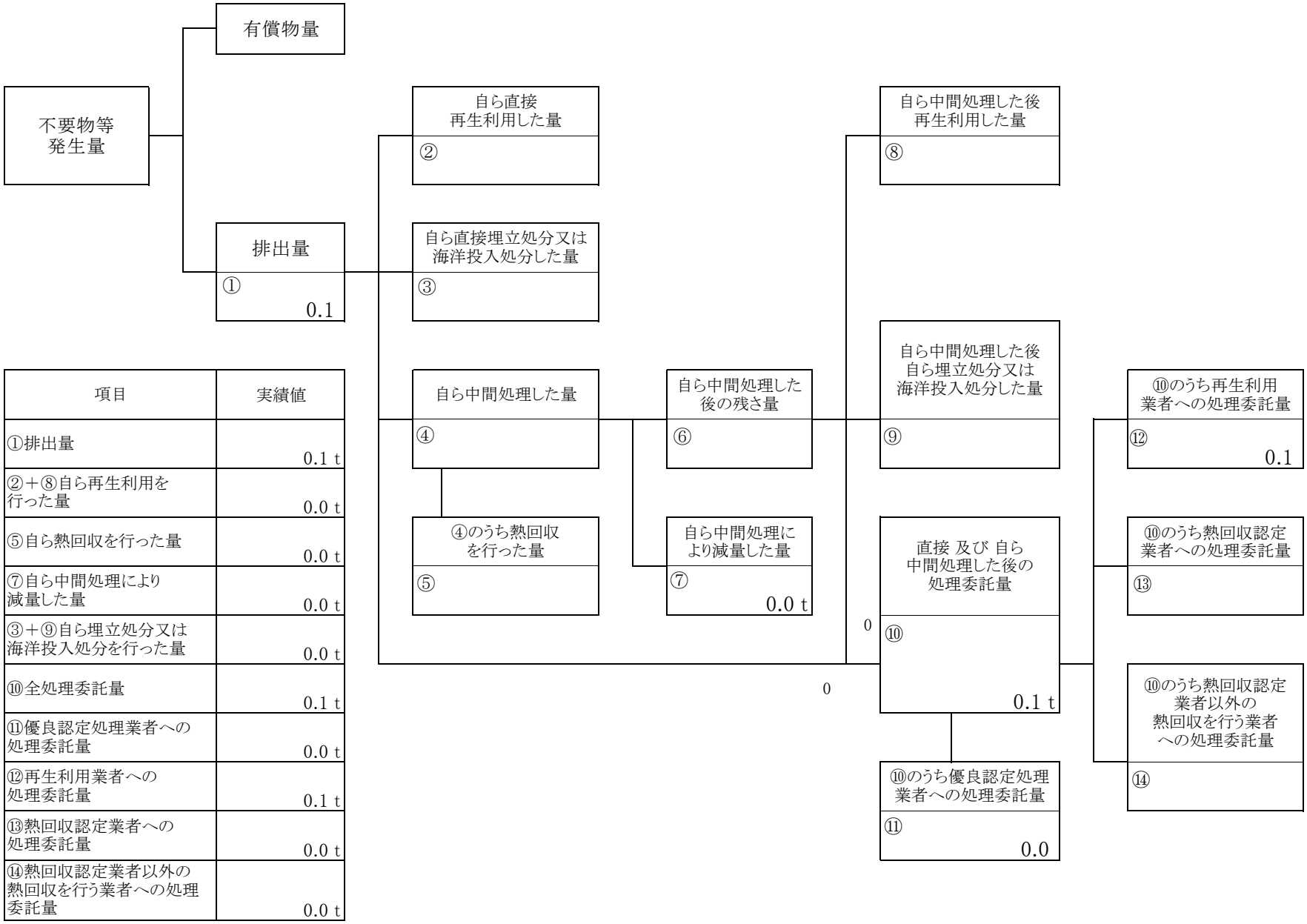


項目	実績値
①排出量	224.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	224.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	219.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	224.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

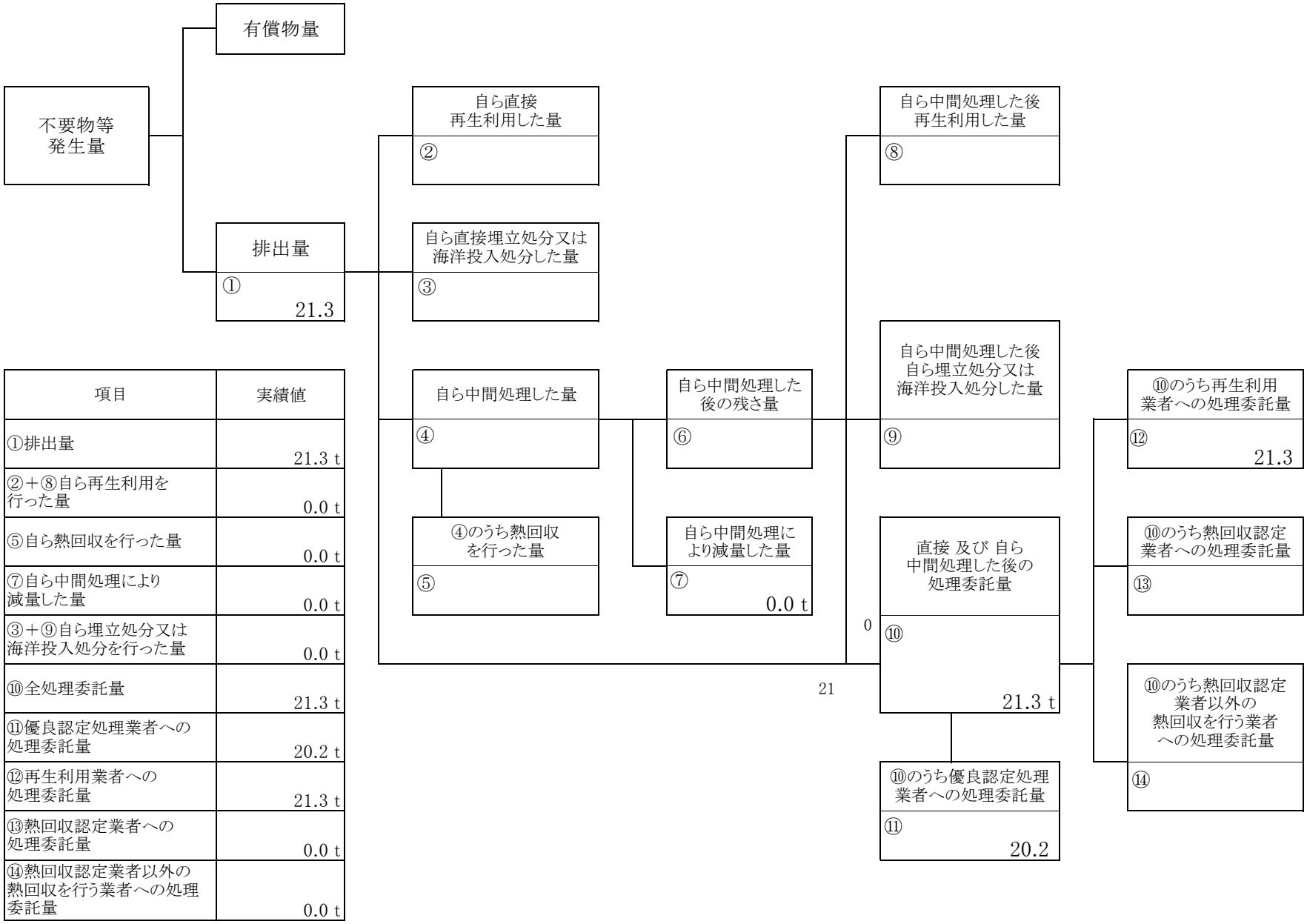


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

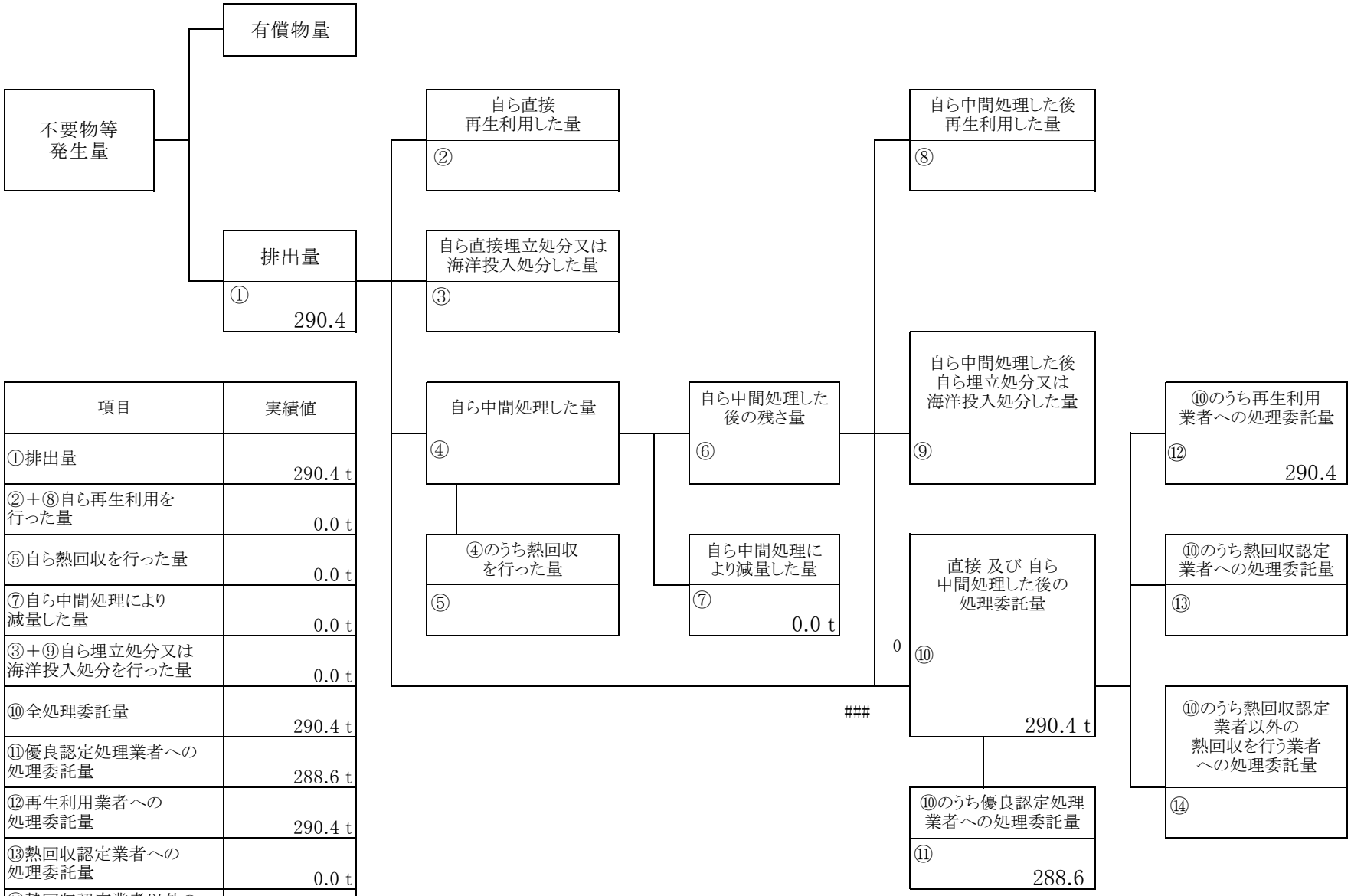


項目	実績値
①排出量	21.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	21.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

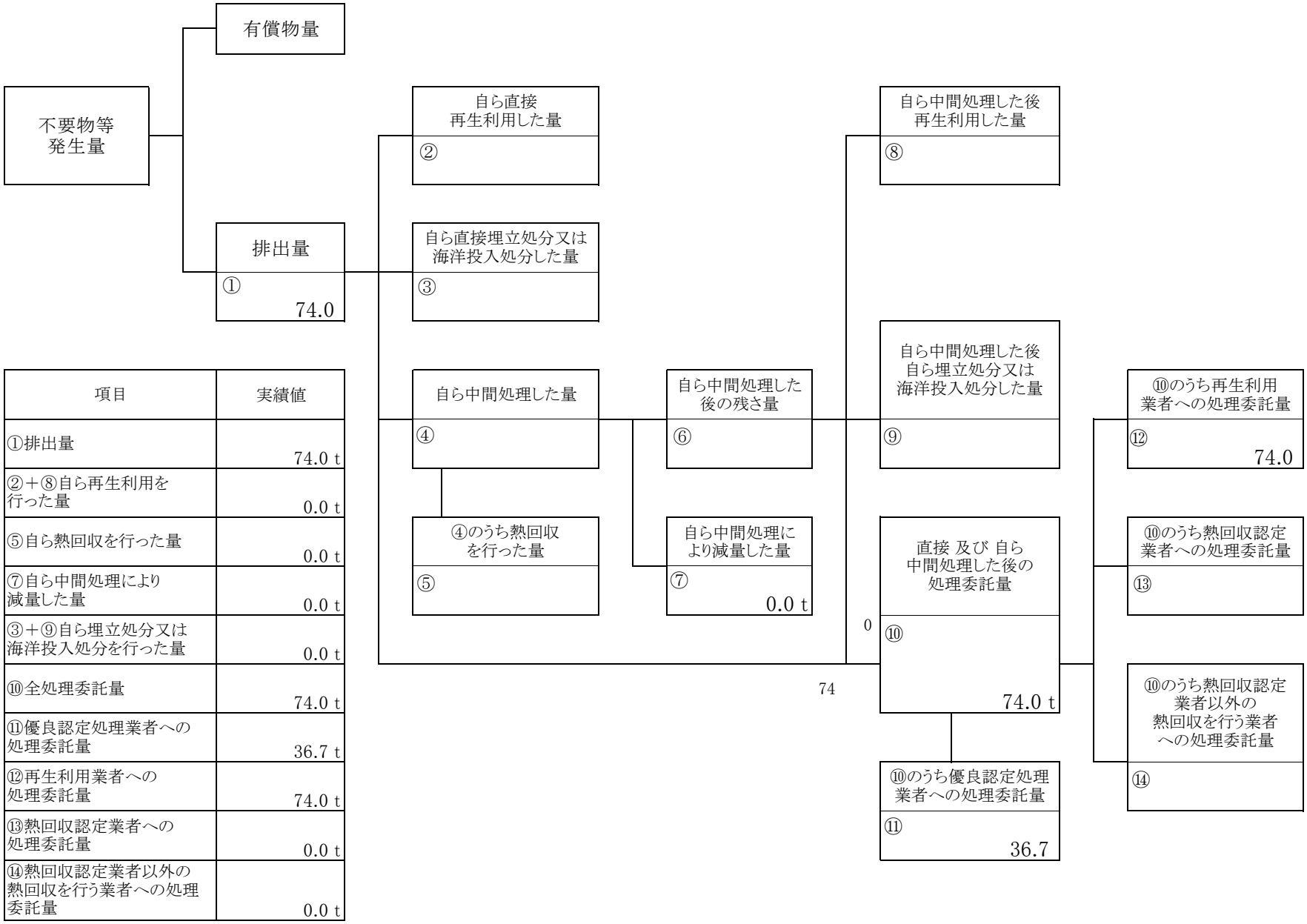


項目	実績値
①排出量	290.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	290.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	288.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	290.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

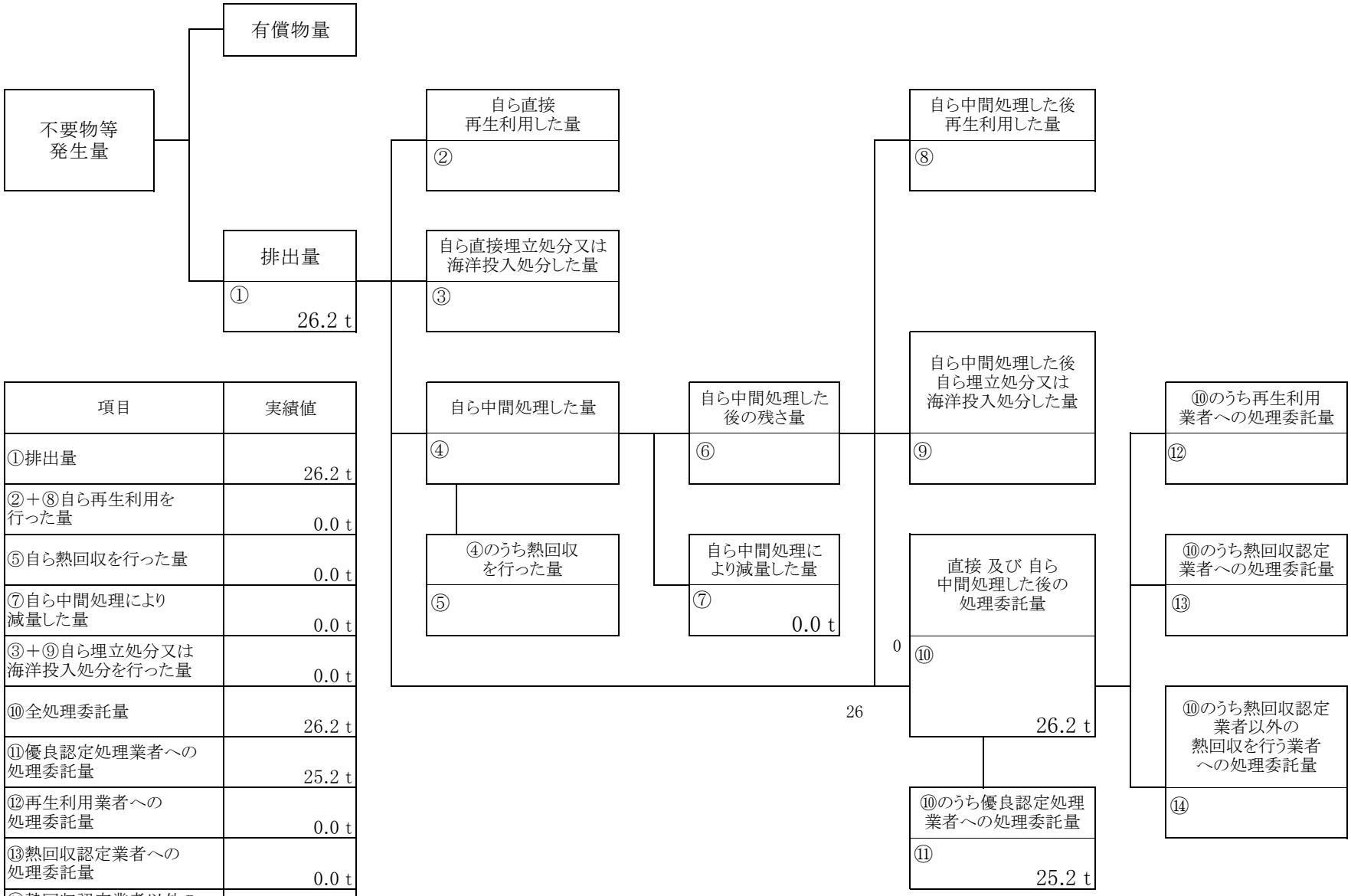


項目	実績値
①排出量	74.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	74.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	36.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	74.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **混合廃棄物** ）



項目	実績値
①排出量	26.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　290-0178

住　所　千葉県市原市神崎１７３番地２

法人名　株式会社昇和建設

代表者　窪 昇一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-75-1579

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社昇和建設
事業場の所在地	〒290-0178千葉県市原市神崎173番地2　　工事現場：千葉県内管轄工事
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　707、466、822円
③従業員数	16人（正社員10人、常勤関係職員6人）
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別紙添付

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
排出量	9917 t	51.5 t

（これまでに実施した取組）
発生した廃棄物はすべて許可業者に委託

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
排出量	10000 t	100 t

（今後実施する予定の取組）
発生する廃棄物はすべて許可業者に委託

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
As廃材、Co廃材、がれき類、混合廃棄物、汚泥等、廃棄物の種類に適切な許可業者に委託。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
As廃材、Co廃材、がれき類、混合廃棄物、汚泥等、廃棄物の種類に適切な許可業者に委託する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
全処理委託量		9917 t	51.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	9917 t	51.5 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

発生した廃棄物はすべて適切な許可業者に委託

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td><td>ｺﾝｸﾘｰﾄがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>10000 t</td><td>100 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>10000 t</td><td>100 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
発生する廃棄物はすべて適切な許可業者に委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥						
	排　出　量	39 t	1.32 t	338.25 t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥						
	排　出　量	30 t	1 t	300 t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥					
	全処理委託量	39 t	1.32 t	338.25 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	39 t	1.32 t	338.25 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物	汚泥					
	全処理委託量	30 t	1 t	300 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	30 t	1 t	300 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年7月28日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　290-0178

住所 千葉県市原市神崎173番地2

法人名 株式会社昇和建設

代表者 窪 朱実

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-75-1579

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社昇和建設
事業場の所在地	〒290-0178千葉県市原市神崎173番地2　工事現場:千葉県内管轄工事
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

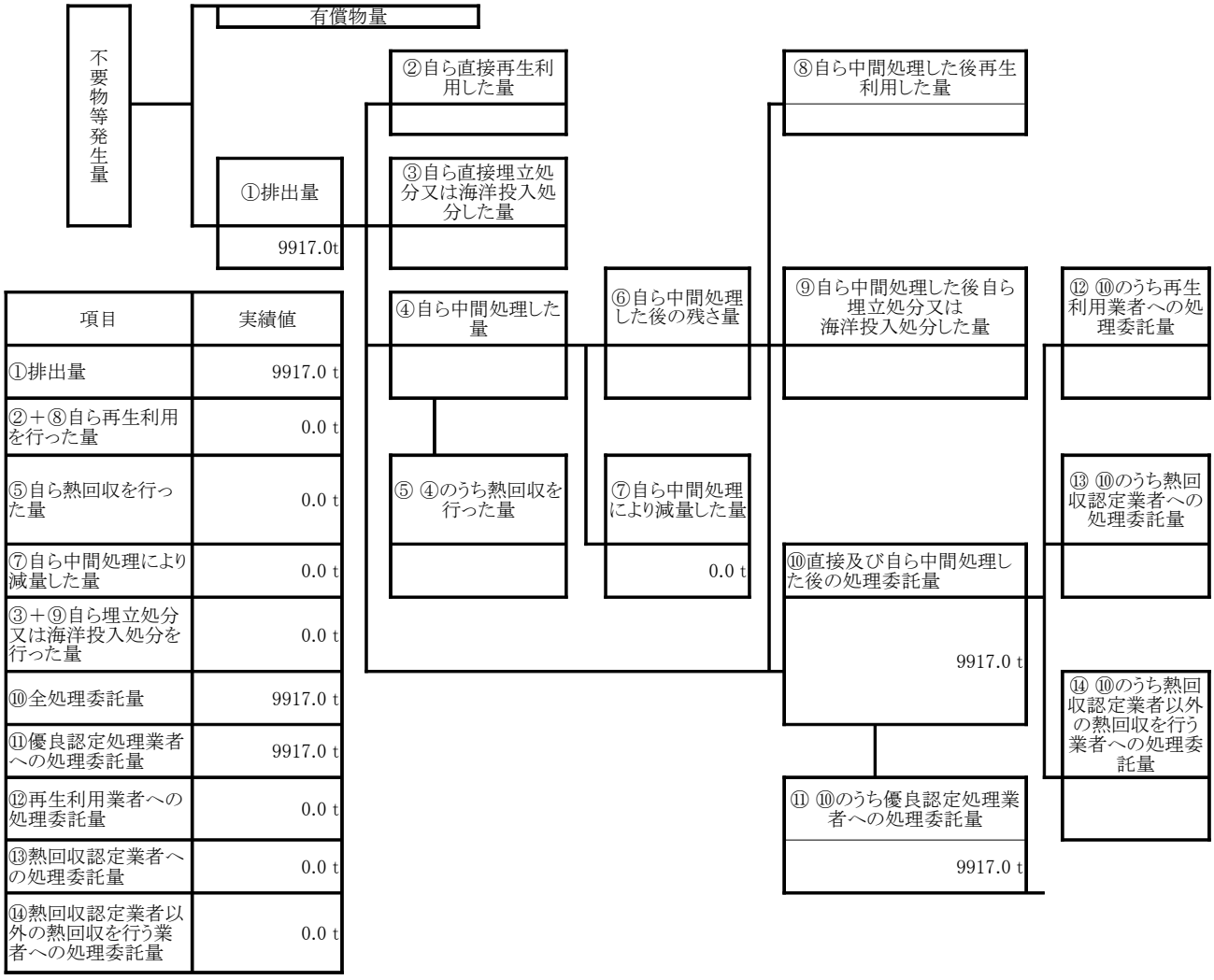
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7278 t	全処理委託量	7278 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

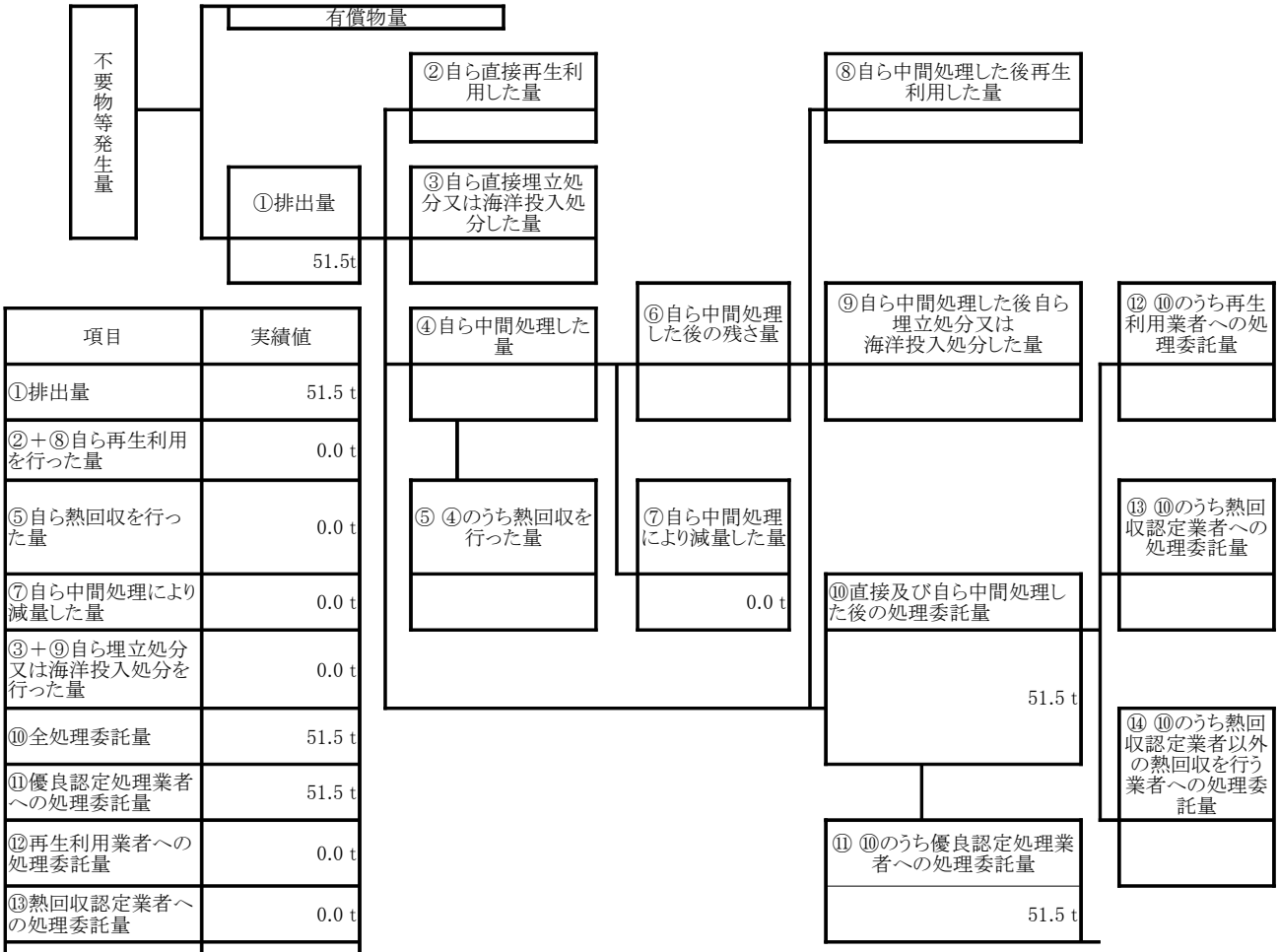


項目	実績値
①排出量	9917.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9917.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9917.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリートがら ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

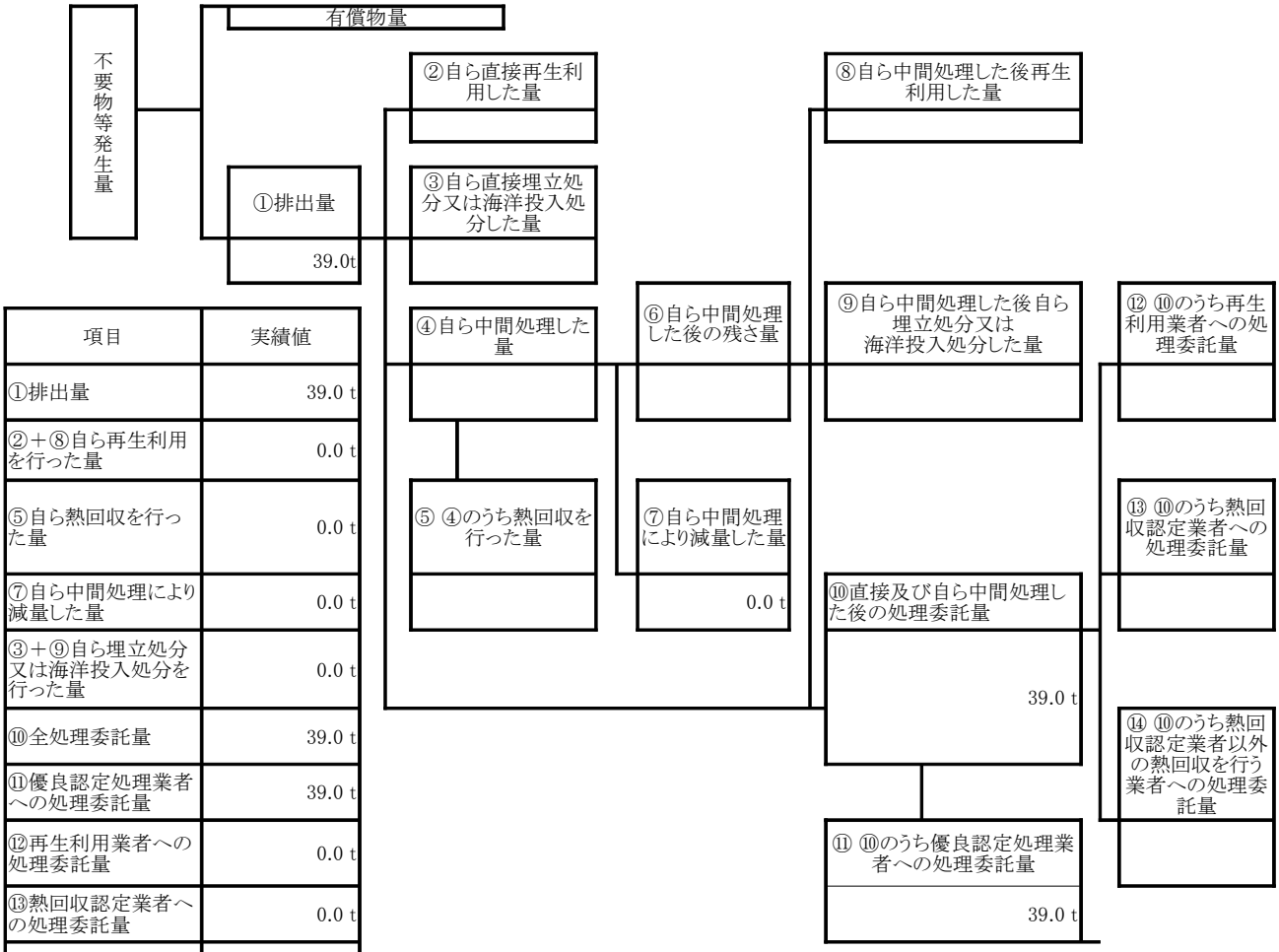


項目	実績値
①排出量	51.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	51.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

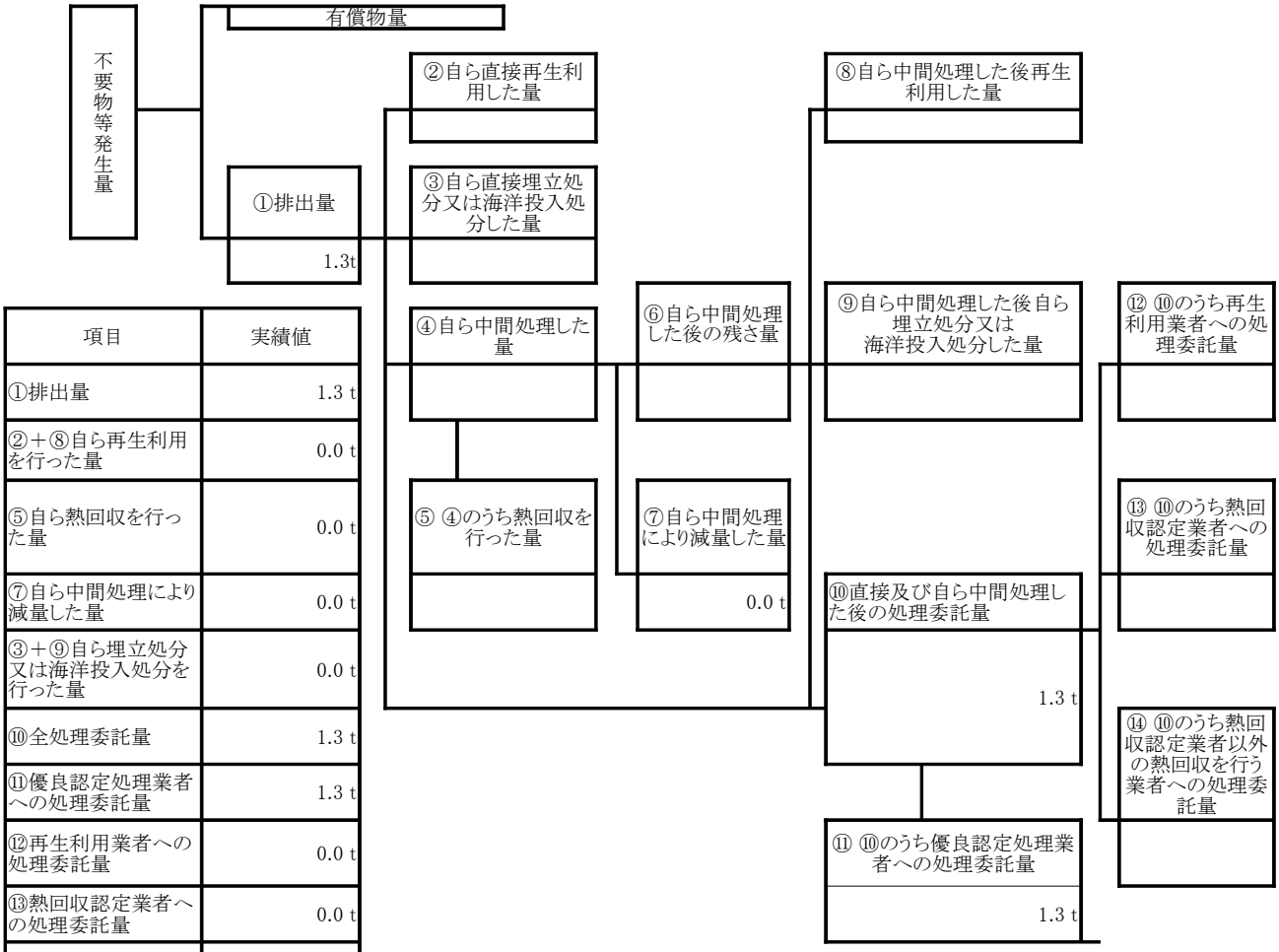


項目	実績値
①排出量	39.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

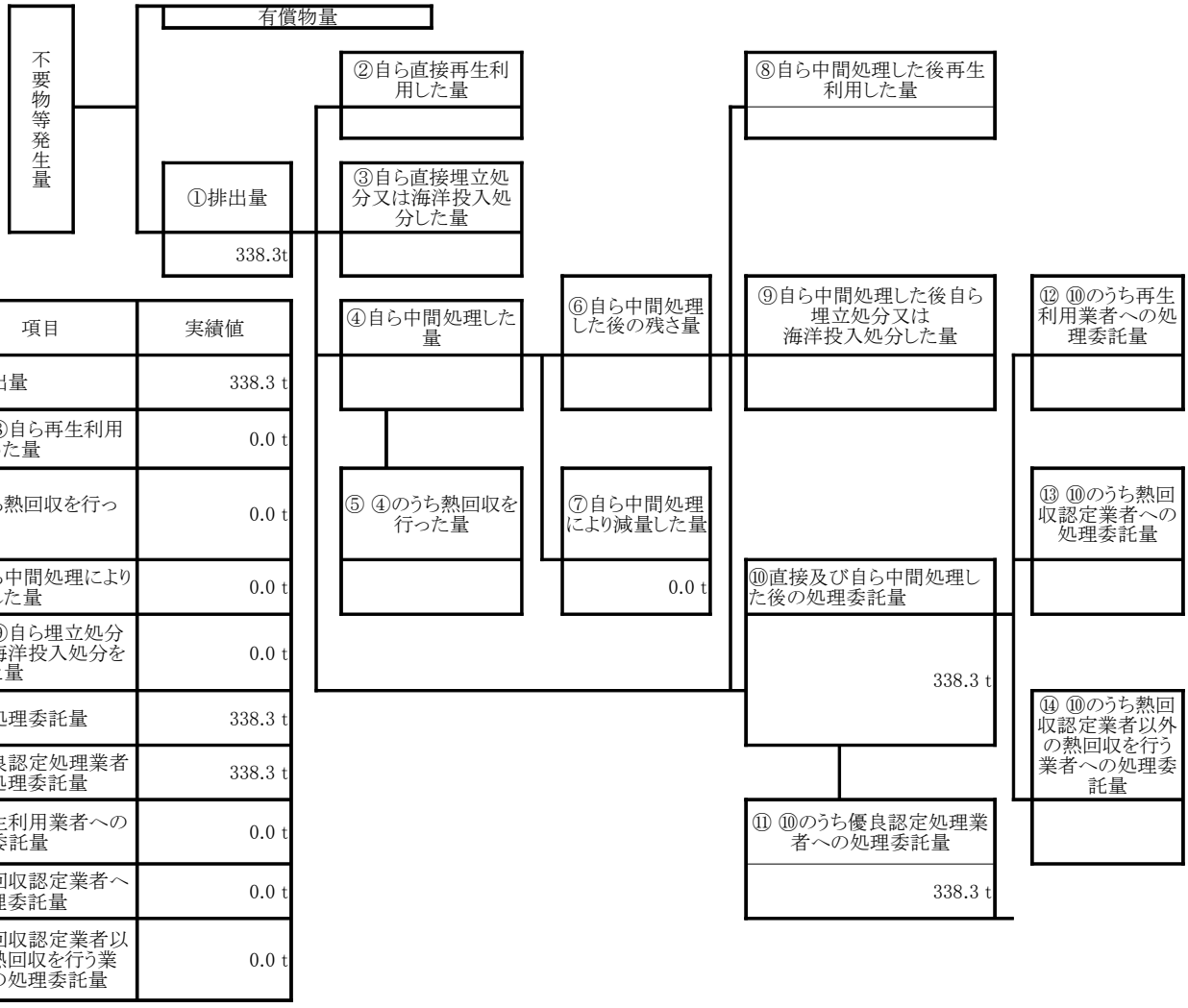


項目	実績値
①排出量	1.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	338.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	338.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	338.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月2日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　270-1614

住　所　千葉県印西市瀬戸1733-8

法人名　昌和建設株式会社

代表者　久保 路靖

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0476-80-3588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	昌和建設株式会社　佐倉支店
事業場の所在地	千葉県佐倉市王子台２－２４－６
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　　中分類：　D06－総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　459,229　千円
③従業員数	25名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
排出量	1304 t	1463 t

（これまでに実施した取組）
再生業者委託会社へ100%搬出する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
排出量	1304 t	1463 t

（今後実施する予定の取組）
再生業者委託会社へ100%搬出する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
主要産廃：ASがら、COがら、路盤廃材、汚泥、廃プラ類、金属くず、紙くず、木くず等
施工方法を工夫して混合廃棄物の発生量を極力減らしている
再生利用業者が判別及び分別しやすいように、できる限り仕分けに努める。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
主要産廃：ASがら、COがら、路盤廃材、汚泥、廃プラ類、金属くず、紙くず、木くず等
施工方法を工夫して混合廃棄物の発生量を極力減らす。
再生利用業者が判別及び分別しやすいように、できる限り仕分けに努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		アスファルト・コンクリートがら	その他がれき類
全処理委託量		1304 t	1463 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1304 t	1463 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

再生利用業者が作業しやすいようにアスファルト・コンクリートがら、路盤廃材が混合しないようにきちんと分けて運搬する。

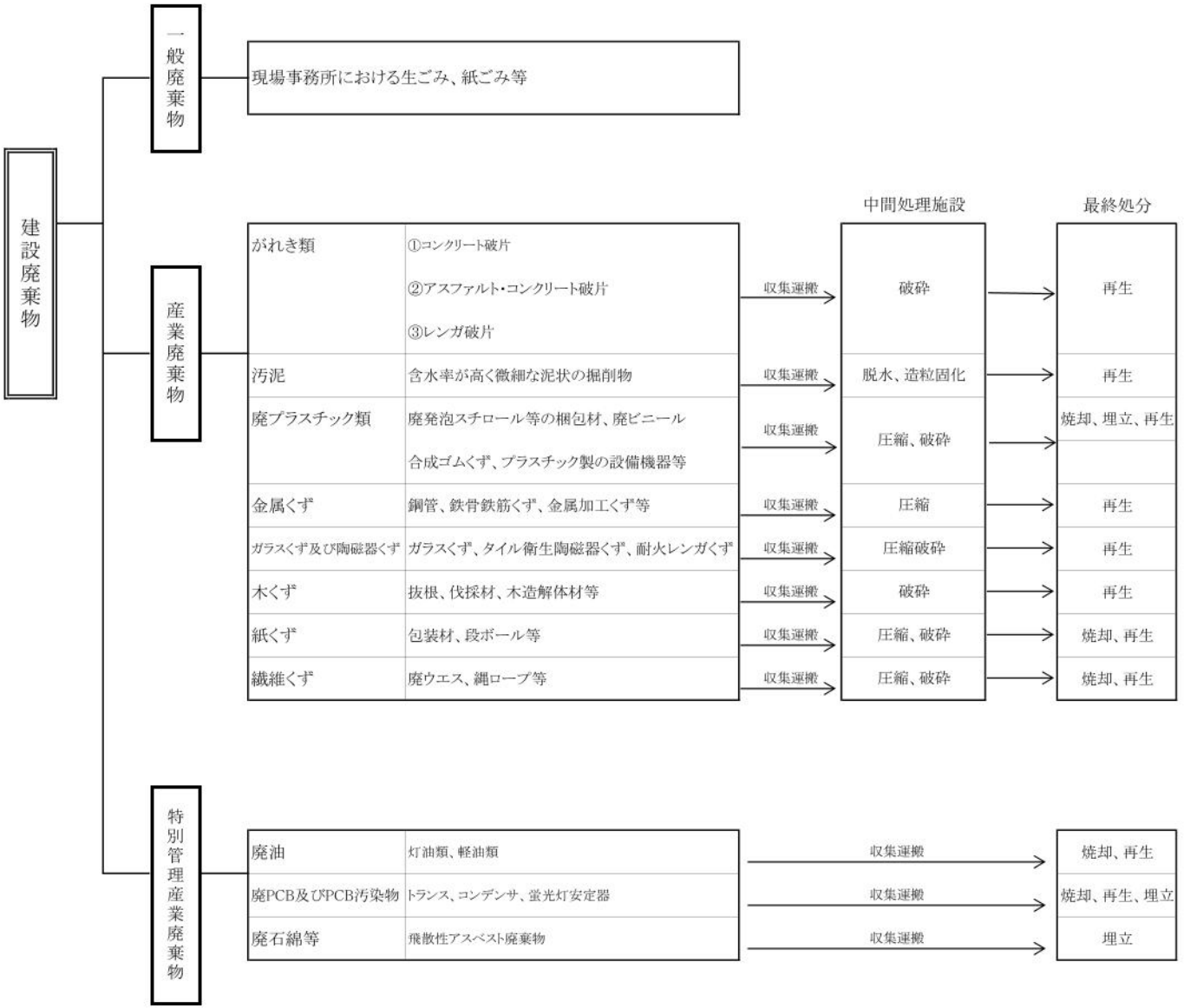
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td>その他がれき類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1304 t</td><td>1463 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1304 t</td><td>1463 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）

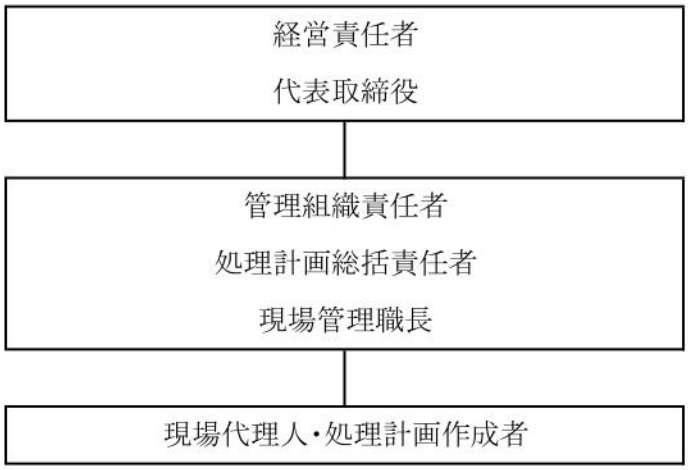
再生利用業者が作業しやすいようにアスファルト・コンクリートがら、路盤廃材が混合しないようにきちんと分けて運搬する。

施工方法を工夫して混合廃棄物の発生量を極力減らす。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程




経営責任者
代表取締役
管理組織責任者
処理計画総括責任者
現場管理職長
現場代理人・処理計画作成者

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月21日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0045

住　所　千葉県千葉市中央区弁天1-29-11

法人名　ショーボンド建設株式会社　千葉支店

代表者　南場 結城

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-306-2118

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ショーボンド建設株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区弁天1-29-11
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	完成工事高　5,074（百万円）
③従業員数	12人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	建設現場→委託処理（中間処理・再生利用者・最終処分） 汚泥→脱水→改良材添加→再生利用または埋立 廃プラスチック類→破砕→再生利用 木くず→破砕→再生利用 紙くず→圧縮→再生利用 ダンボール→破砕→再生利用 金属くず→破砕→再生利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
排出量	1556.7 t	67.38 t

（これまでに実施した取組）

・計画・施工段階での発生抑制の検討
・廃棄物の発生量の少ない工法の検討および採用
・仮設材（型枠材など）の転用率の向上を図る。
・梱包材の簡素化を図る。
・工事関係者および協力会社の意識向上教育の実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
排出量	1500 t	60 t

（今後実施する予定の取組）

・計画・施工段階での発生抑制の検討
・廃棄物の発生量の少ない工法の検討および採用
・仮設材（型枠材など）の転用率の向上を図る。
・梱包材の簡素化を図る。
・工事関係者および協力会社の意識向上教育の実施

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・作業所条件に適合した分別方法・分別品目を定める。
・分別ヤードの確保と分別表示の実施
・分別品目の細分化により混合廃棄物の縮減
・工事関係者に対する啓蒙教育の実施

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・作業所条件に適合した分別方法・分別品目を定める。
・分別ヤードの確保と分別表示の実施
・分別品目の細分化により混合廃棄物の縮減
・工事関係者に対する啓蒙教育の実施

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

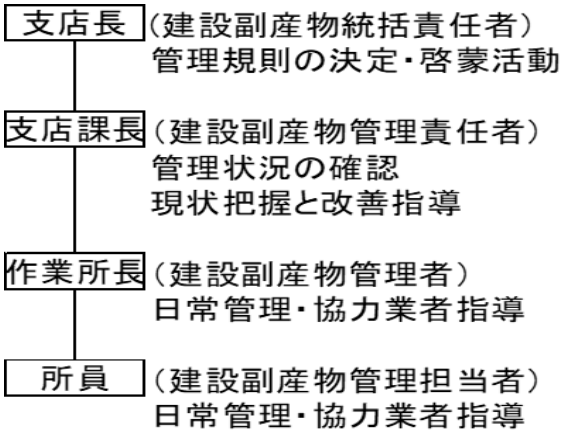
産業廃棄物の種類		汚泥	木くず
全処理委託量		1556.7 t	63.38 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1428.95 t	45.38 t
	再生利用業者への処理委託量	t	63.38 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・これまでの取引実績を考慮し、委託先の選定を行う。
・優良認定処理業者への委託率の増加を図る。
・職員への啓蒙教育を実施する。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1500 t</td><td>60 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>1500 t</td><td>60 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>60 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・これまでの取引実績を考慮し、委託先の選定を行う。
・優良認定処理業者への委託率の増加を図る。
・職員への啓蒙教育を実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


支店長
（建設副産物統括責任者）
管理規則の決定・啓蒙活動
支店課長
（建設副産物管理責任者）
管理状況の確認
現状把握と改善指導
作業所長
（建設副産物管理者）
日常管理・協力業者指導
所員
（建設副産物管理担当者）
日常管理・協力業者指導

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
		排　出　量	12.48　t	153.14　t	135.675　t	9.04　t	37　t	0.9　t	5.085　t	2.22　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
		排　出　量	10　t	150　t	130　t	5　t	30　t	0　t	2　t	1　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
全処理委託量	12.48 t	153.14 t	135.675 t	9.04 t	37 t	0.9 t	5.085 t	2.22 t
優良認定処理業者への処理委託量	12.48 t	153.14 t	135.675 t	9.04 t	37 t	0.9 t	5.085 t	2.22 t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	9.04 t	37 t	0.9 t	5.085 t	2.22 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	がれき類	ダンボール	金属くず	コンクリート破片
全処理委託量	10 t	150 t	130 t	5 t	30 t	0 t	2 t	1 t
優良認定処理業者への処理委託量	10 t	150 t	130 t	5 t	30 t	t	2 t	1 t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	5 t	30 t	t	2 t	1 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		排　　出　　量	5.92　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		排　　出　　量	2　t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		全処理委託量	5.92 t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	5.92 t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	5.92 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片							
		全処理委託量	2 t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	2 t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	2 t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月21日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0045

住所 千葉県千葉市中央区弁天1-29-11

法人名 ショーボンド建設株式会社 千葉支店

代表者 南場 結城

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-306-2118

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ショーボンド建設株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区弁天1-29-11
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

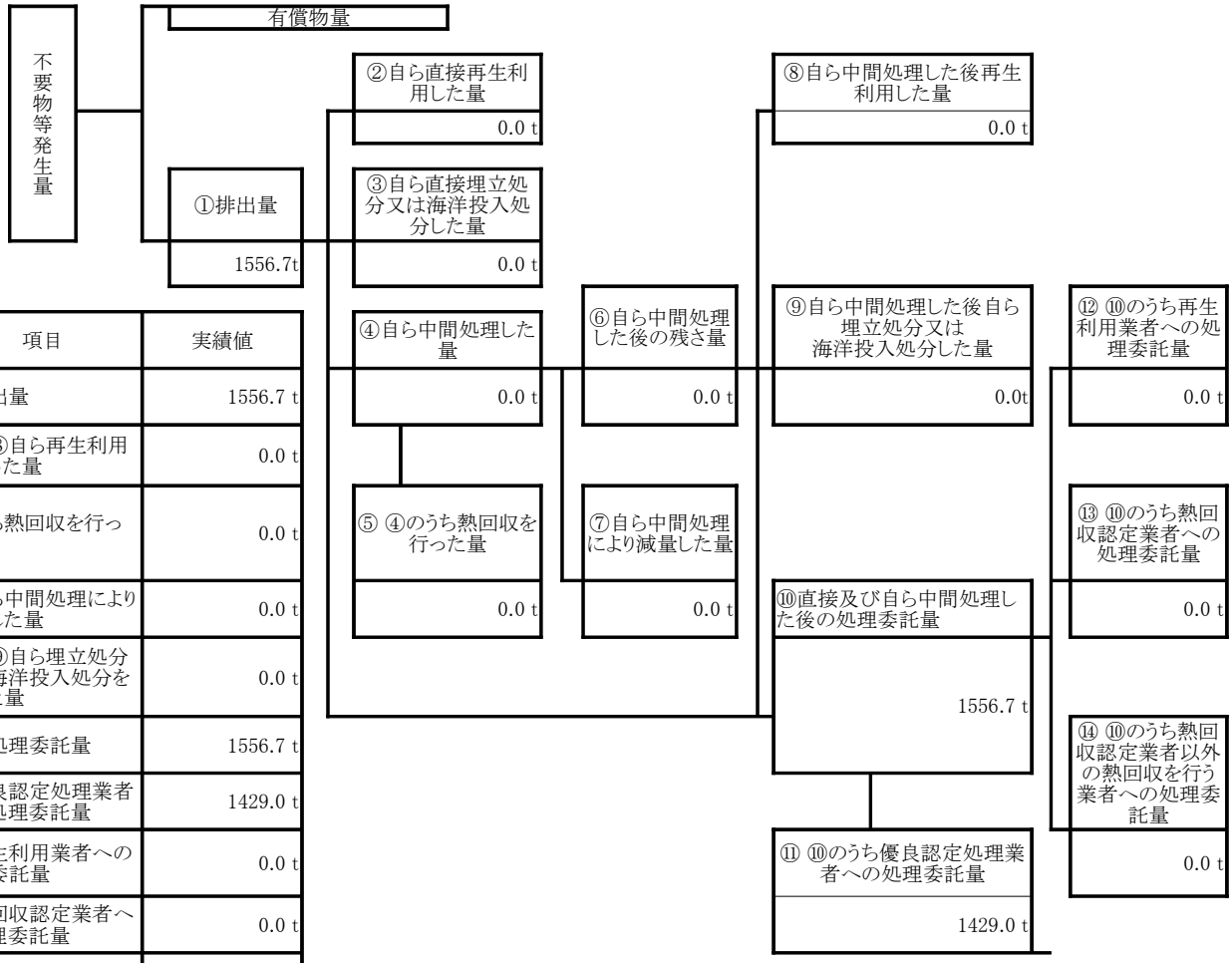
項目	目標値	項目	目標値
排出量	931 t	全処理委託量	931 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	931 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

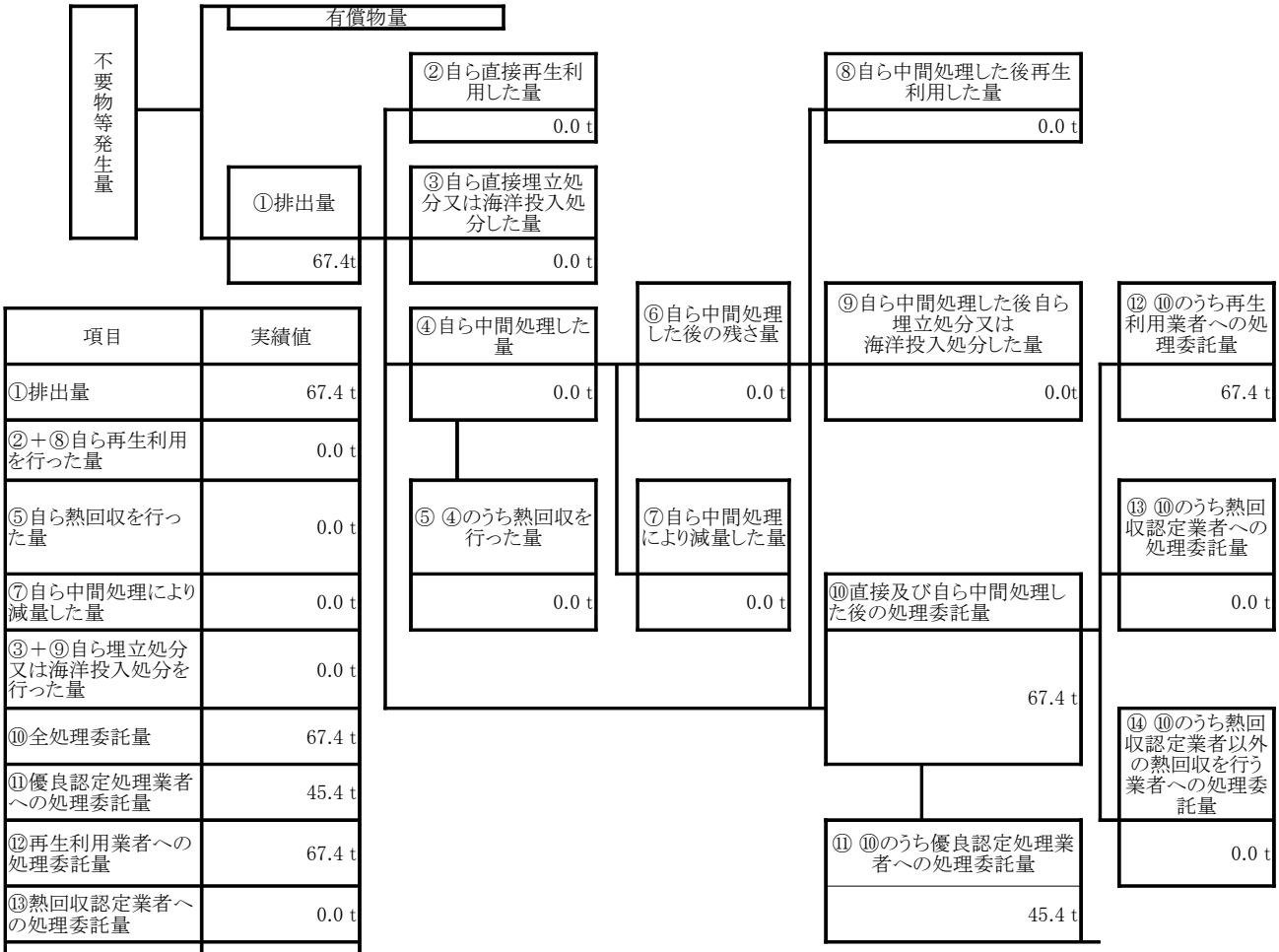


項目	実績値
①排出量	1556.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1556.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1429.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

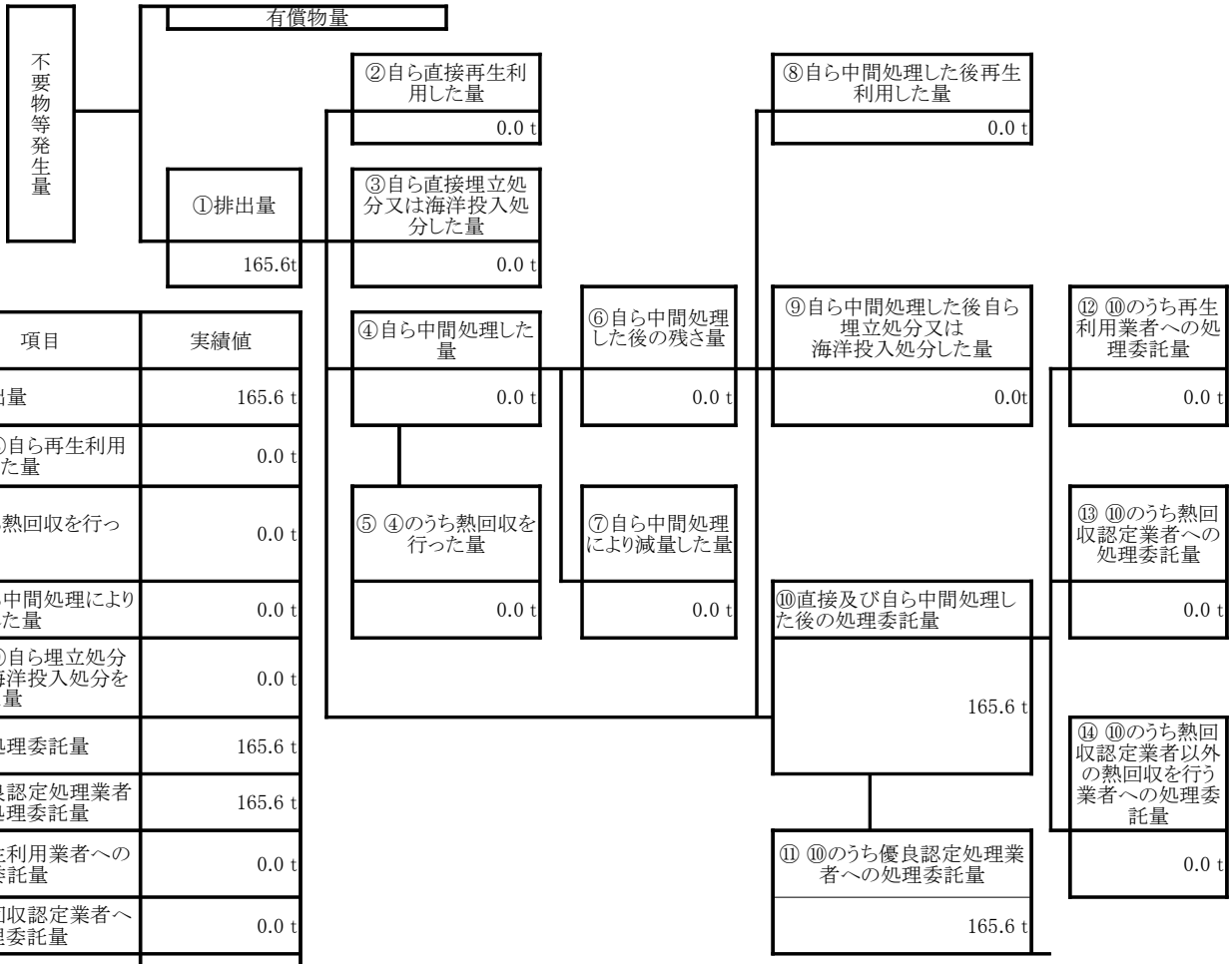


項目	実績値
①排出量	67.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	67.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	67.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

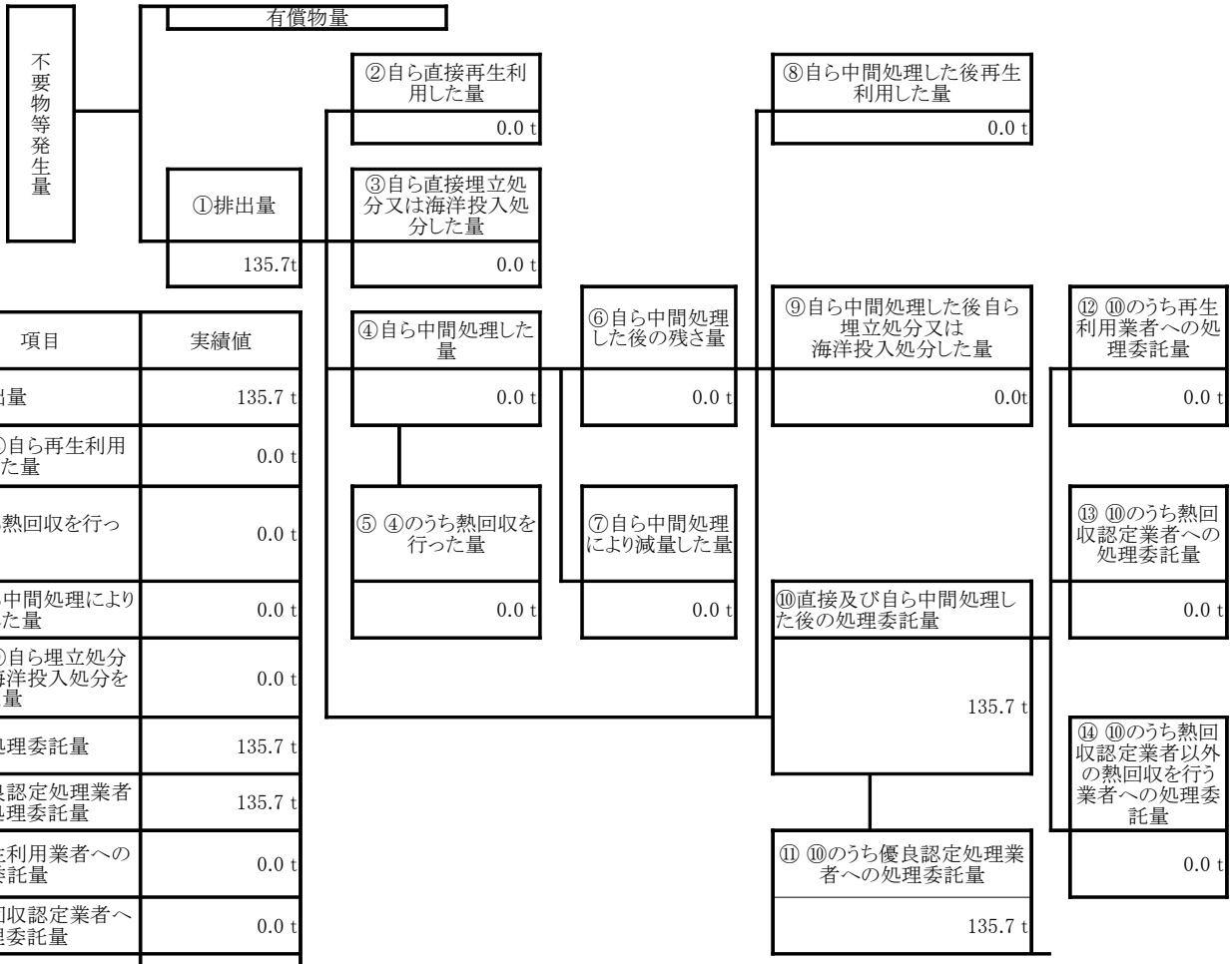


項目	実績値
①排出量	165.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	165.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	165.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



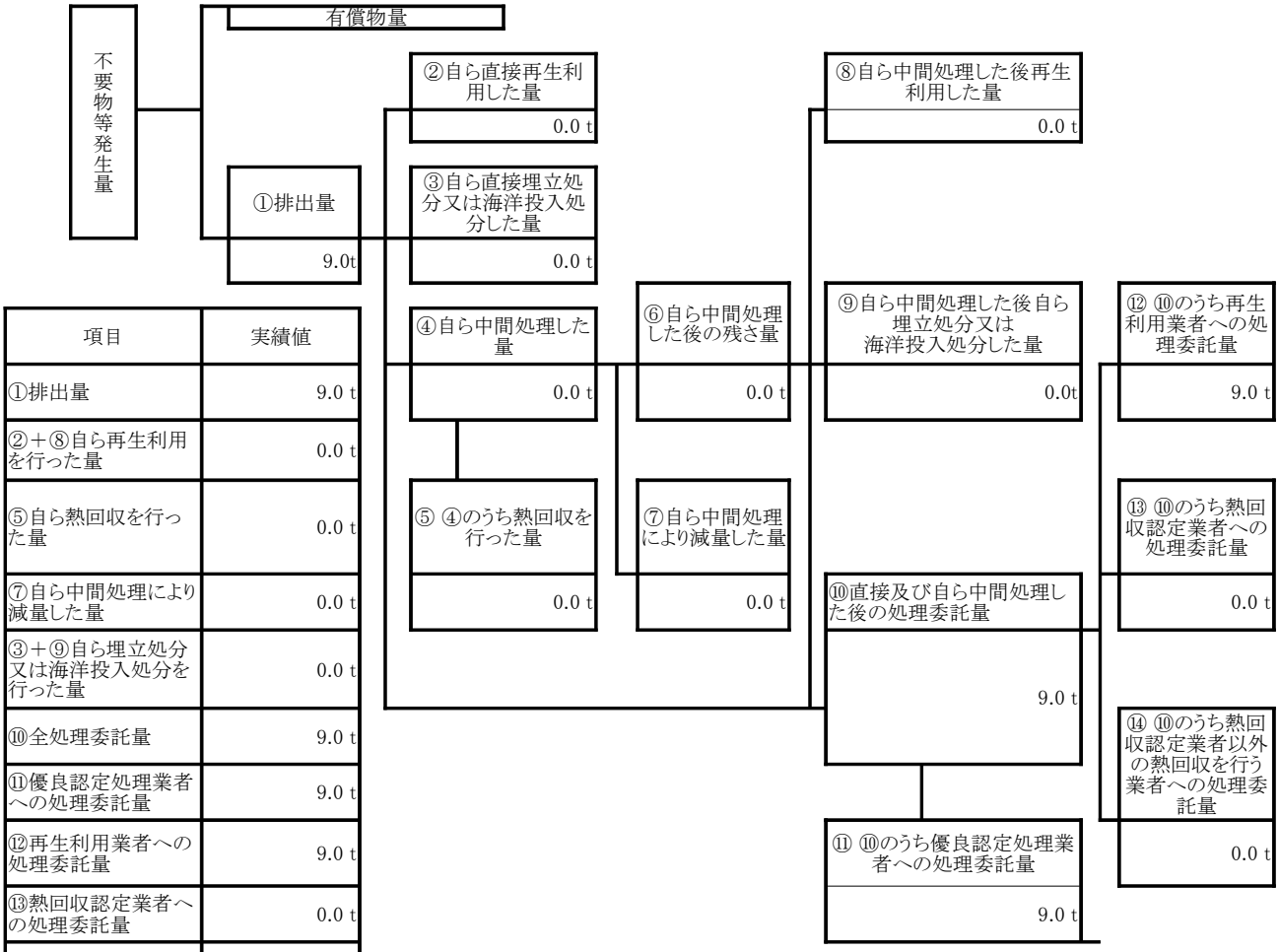
項目	実績値
①排出量	135.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	135.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	135.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

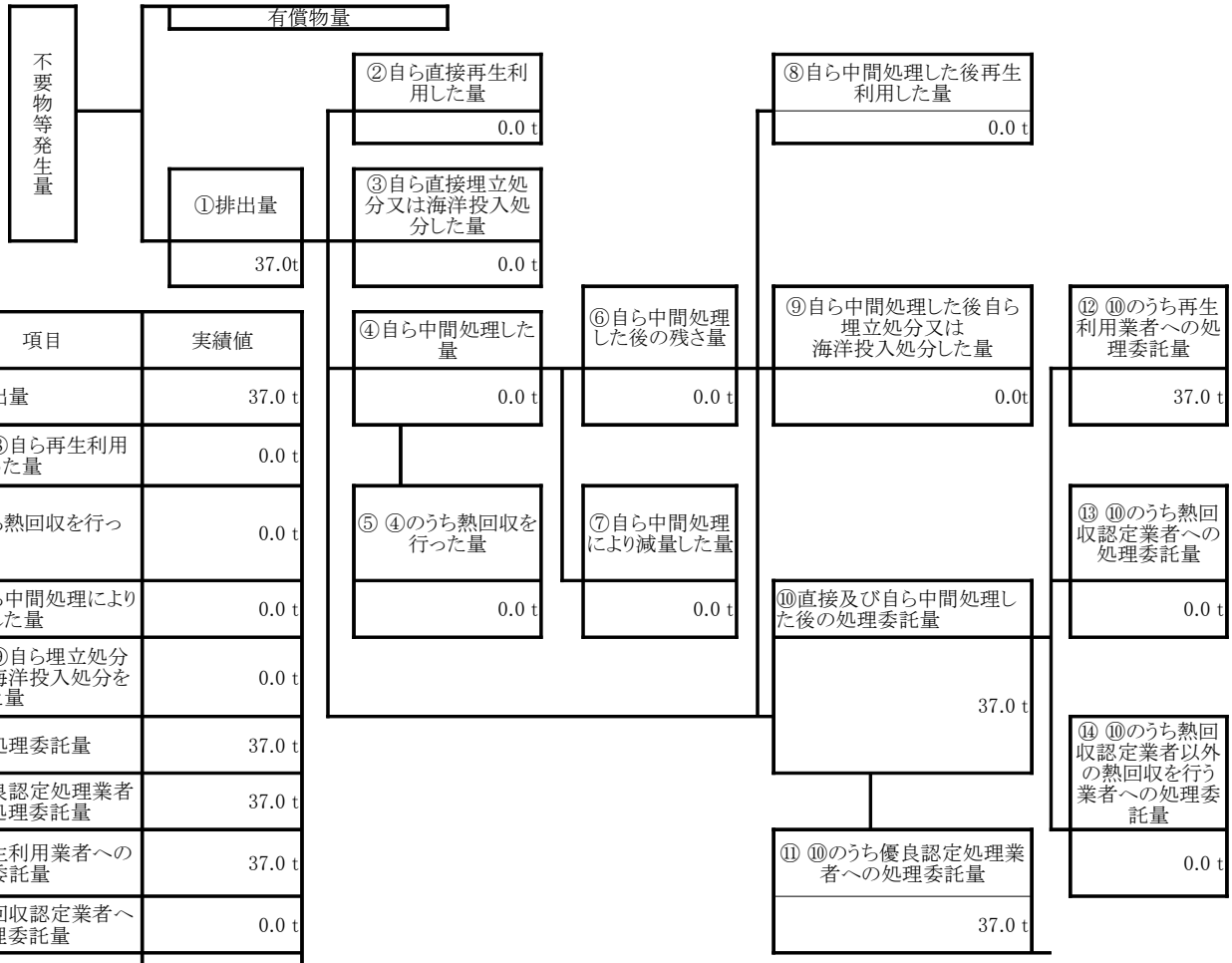


項目	実績値
①排出量	9.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

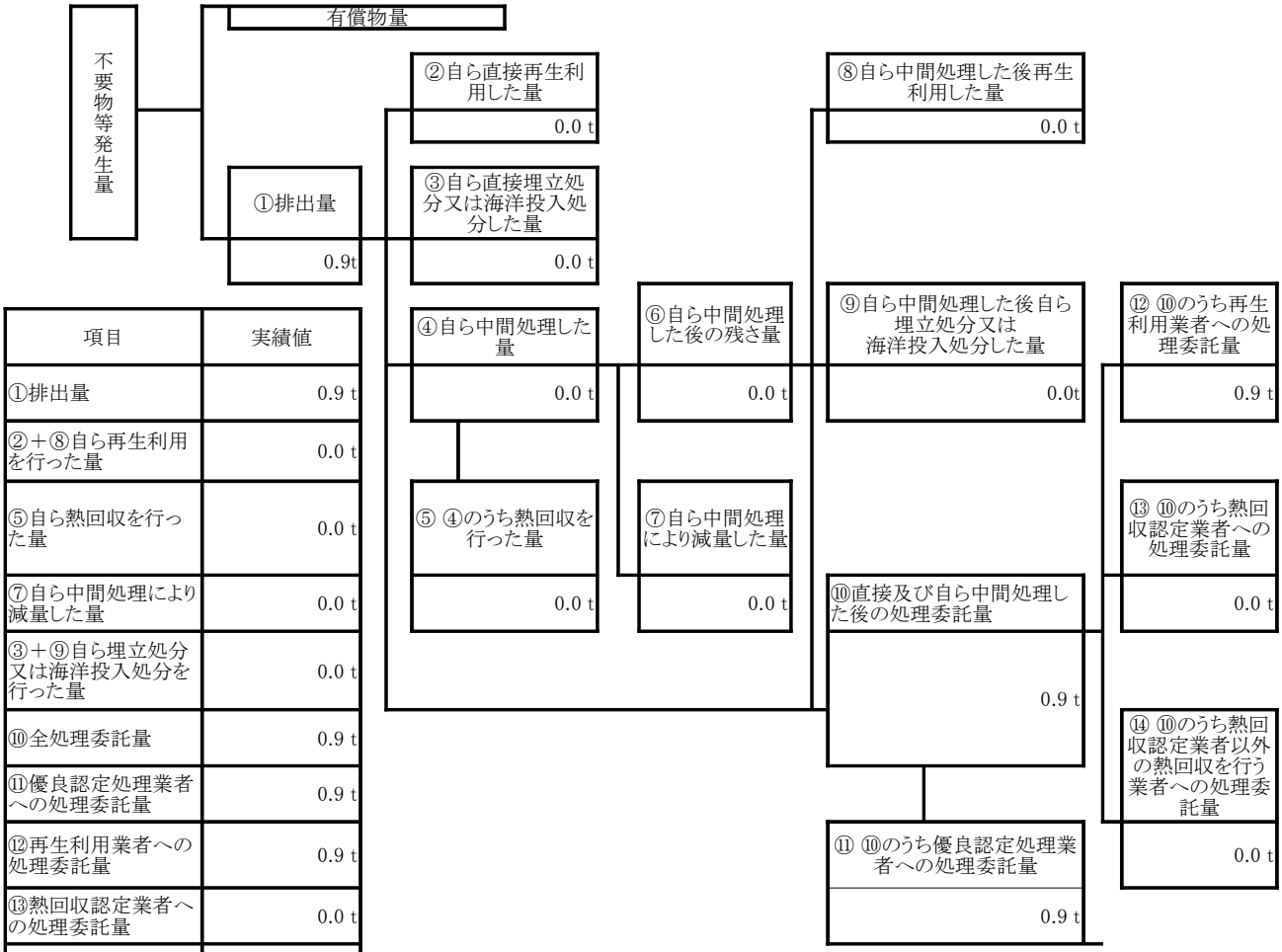


項目	実績値
①排出量	37.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	37.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	37.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	37.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ダンボール　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

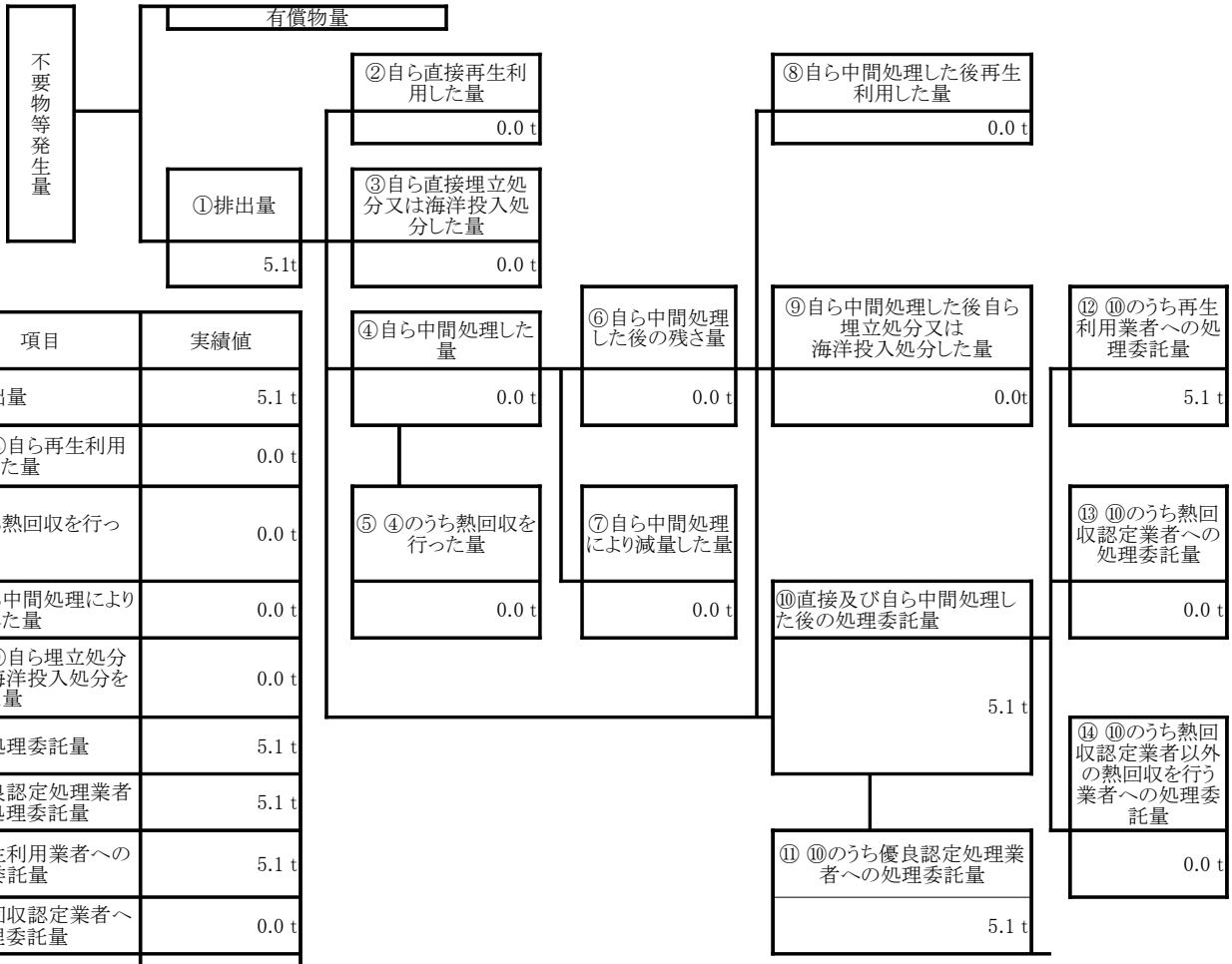


項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

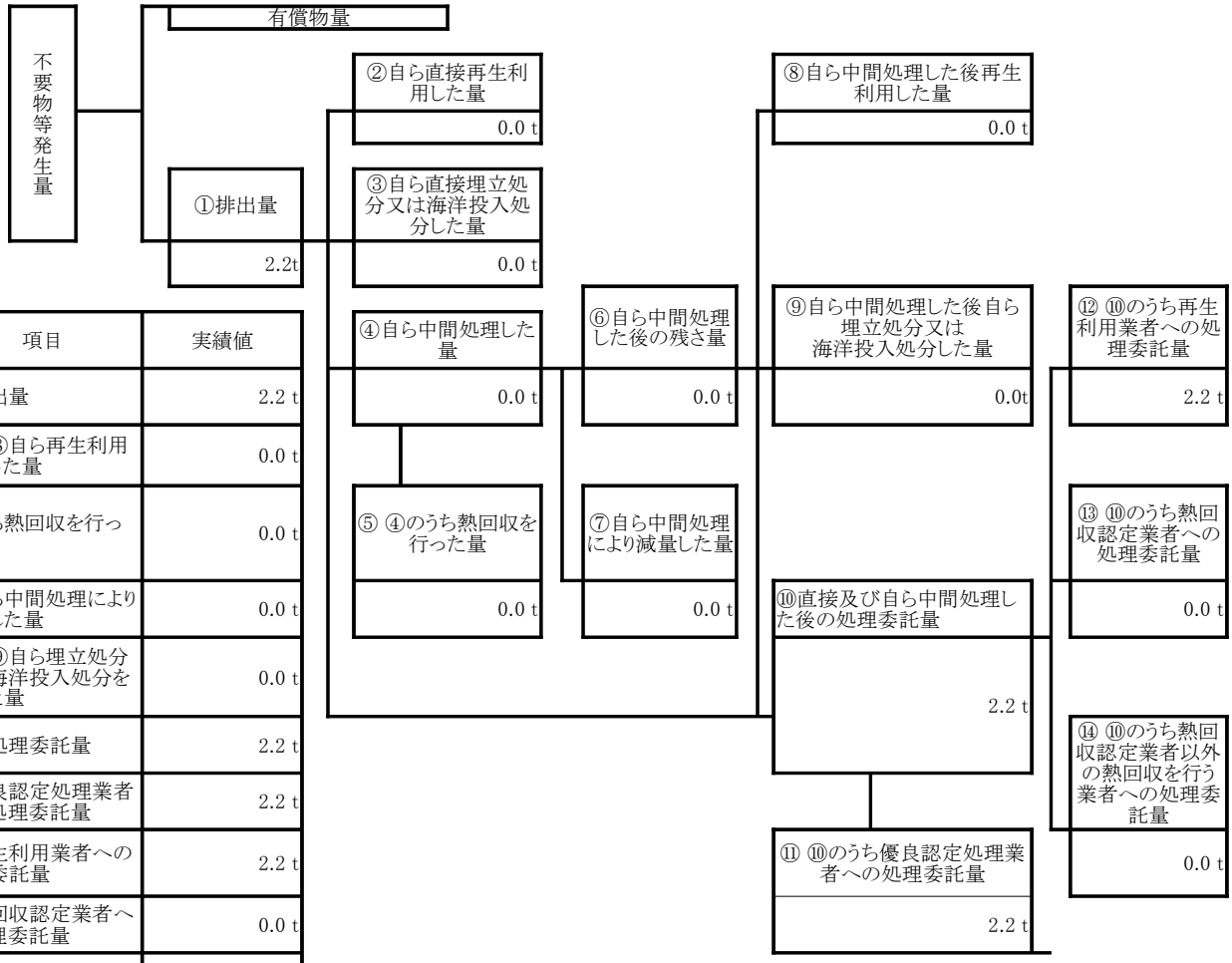


項目	実績値
①排出量	5.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート破片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

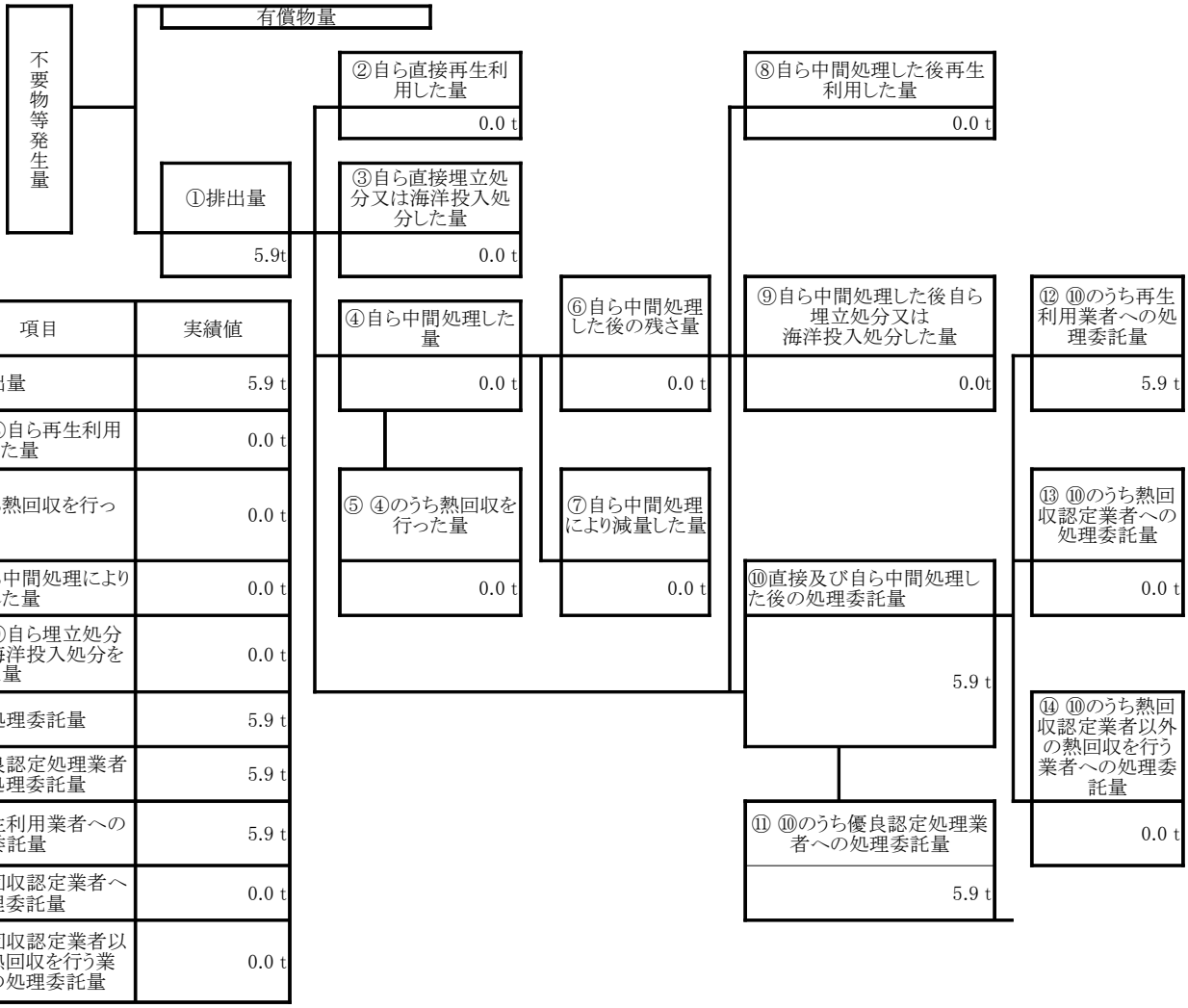


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリート破片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	5.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年5月21日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0045

住　所　千葉県千葉市中央区弁天1-29-11

法人名　ショーボンド建設株式会社　千葉支店

代表者　南場 結城

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-306-2118

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ショーボンド建設株式会社　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区弁天1-29-11
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　　中分類：　総合工事業
②事業の規模	完成工事高　5,074（百万円）
③従業員数	12人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの） 施工・発生→保管→収集→中間処理→最終処分

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
排出量	76 t	t

（これまでに実施した取組）

・計画・施工段階での発生抑制の検討
・廃棄物の発生量の少ない工法の検討および採用

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
排出量	75 t	t

（今後実施する予定の取組）

・計画・施工段階での発生抑制の検討
・廃棄物の発生量の少ない工法の検討および採用

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・分別ヤードの確保と分別表示の実施
・工事関係者に対する啓蒙教育の実施
・法律及び関係法令を遵守し、適切に梱包し、専用の容器にて管理する。
・着手前に事前調査を実施し、特別管理産業廃棄物の含有状況を確実に把握す

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・分別ヤードの確保と分別表示の実施
・工事関係者に対する啓蒙教育の実施
・法律及び関係法令を遵守し、適切に梱包し、専用の容器にて管理する。
・着手前に事前調査を実施し、特別管理産業廃棄物の含有状況を確実に把握す

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	
全処理委託量		76 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	76 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・これまでの取引実績を考慮し、委託先の検討を行う。
・優良認定処理業者への委託率の増加を図る。
・職員への啓蒙教育を実施する。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>75 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>75 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・これまでの取引実績を考慮し、委託先の検討を行う。
・優良認定処理業者への委託率の増加を図る。
・職員への啓蒙教育を実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）　76 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
電子情報処理組織には加入しており、使用の継続を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

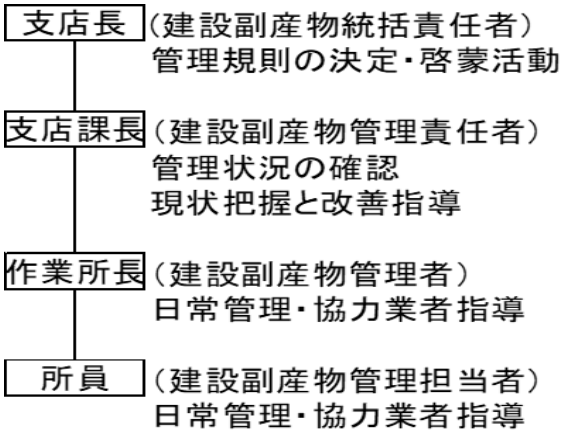
４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。


支店長
（建設副産物統括責任者）
管理規則の決定・啓蒙活動
支店課長
（建設副産物管理責任者）
管理状況の確認
現状把握と改善指導
作業所長
（建設副産物管理者）
日常管理・協力業者指導
所員
（建設副産物管理担当者）
日常管理・協力業者指導

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月21日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0045

住所 千葉県千葉市中央区弁天1-29-11

法人名 ショーボンド建設株式会社 千葉支店

代表者 南場 結城

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 043-306-2118

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 6 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ショーボンド建設株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区弁天1-29-11
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	300 t	全処理委託量	300 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	300 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和5年度）	391.8 t
	前年度（令和6年度）	76 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
電子情報処理組織には加入しており、使用を継続する。

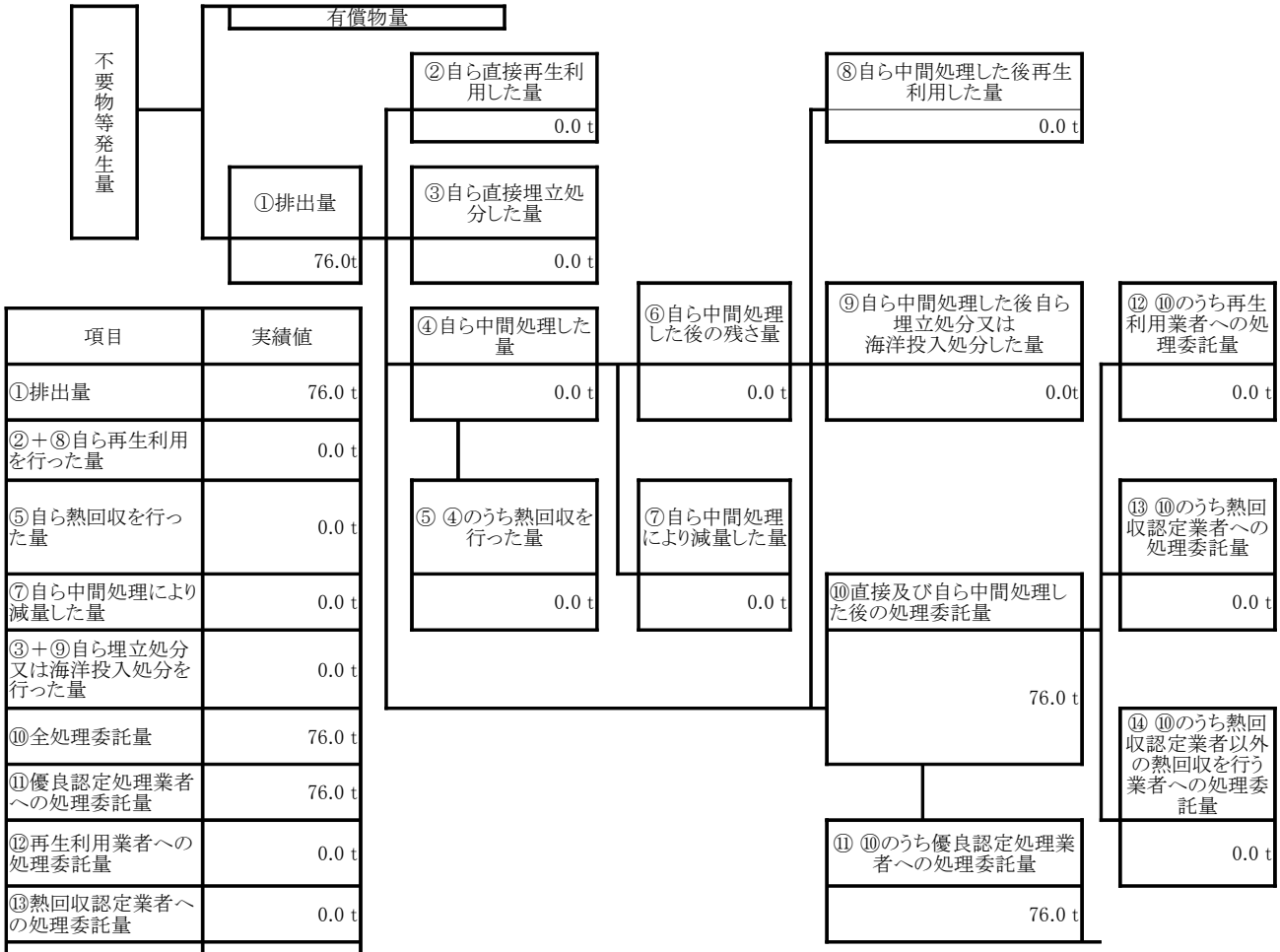
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**泥（基準値の有害物質を含むもの）**



項目	実績値
①排出量	76.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	76.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	76.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年9月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒260-0807

住　所　千葉市中央区松ケ丘町24番地4

氏　名　シンコー株式会社

代表取締役　阿部　博文

電話番号　　０４３－３１２－１６８７

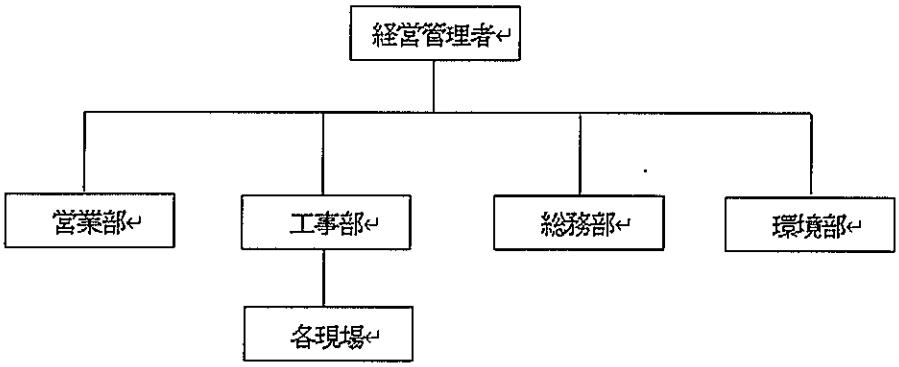
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉県内　各所工事
事業場の所在地	千葉県内　各所工事
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
②　事業の規模	前年度の元請完成工事高　125，454千円
③　従業員数	47名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　＊別紙参照

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
排出量	0.5 t	0.008 t

（これまでに実施した取組）
工事現場内にて抑制可能な廃棄物は、再利用等を推進する

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
排出量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
廃棄物を可能な限り分別し、再利用を推進する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
可能な限り分別処分を実施している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
他の廃棄物と混入しないように、より一層分別を心がける。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　＊別紙参照

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　＊別紙参照

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　＊別紙参照

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　＊別紙参照

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
全処理委託量	0.5 t	0.008 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t	t
再生利用業者への処理委託量	t	0.008 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

工事現場内にて抑制可能な廃棄物は、再利用等を推進する

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
廃棄物を可能な限り分別し、再利用を推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
		排　出　量	61.7 t	245.2 t	50.1 t	202.8 t	10 t	2323.4 t	45.1 t	9.1 t
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
		排　出　量	11.1 t	245.2 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
		排　出　量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
		排　出　量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	①現状	排　出　量								
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
全処理委託量	61.7 t	245.2 t	50.1 t	202.8 t	10 t	2323.4 t	45.1 t	9.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	145.8 t	34.6 t	143.5 t	t	392.3 t	t	5.4 t
再生利用業者への処理委託量	61.7 t	99.4 t	15.6 t	59.3 t	10 t	1931.1 t	t	3.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト	がれき類	混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	石綿含有産業廃棄物	繊維くず
全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
全処理委託量	11.1 t	37.8 t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	6.3 t	31.3 t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	4.8 t	6.5 t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

	②計画	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	廃プラスチック						
		全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

別紙　　産業廃棄物の一連の処理の工程

◎解体工事

建築物・構造物の解体工事

↓

廃棄物の発生　＊1

↓

廃棄物の分別、搬出

＊1

がれき類 (コンクリートがら・アスファルトがら)	→	破砕(委託)	→	再利用
ガラス・陶磁器くず	→	分別・破砕(委託)	→	再利用
廃プラスチック類	→	圧縮(自己中間処理)	→	再利用
木くず	→	破砕(自己中間処理)	→	再利用
繊維くず	→	圧縮(自己中間処理)	→	再利用
混合廃棄物	→	分別・破砕(委託)	→	再利用
石綿含有産業廃棄物	→	二重梱包(委託)	→	埋立処分
金属くず	→	圧縮(自己中間処理)	→	再利用

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年9月30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒260-0807
住 所　千葉市中央区松ケ丘町24番地4
氏 名　シンコー株式会社
代表取締役 阿部 博文
電話番号　043-312-1687

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千葉県内 各所工事
事業場の所在地	千葉県内 各所工事
事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

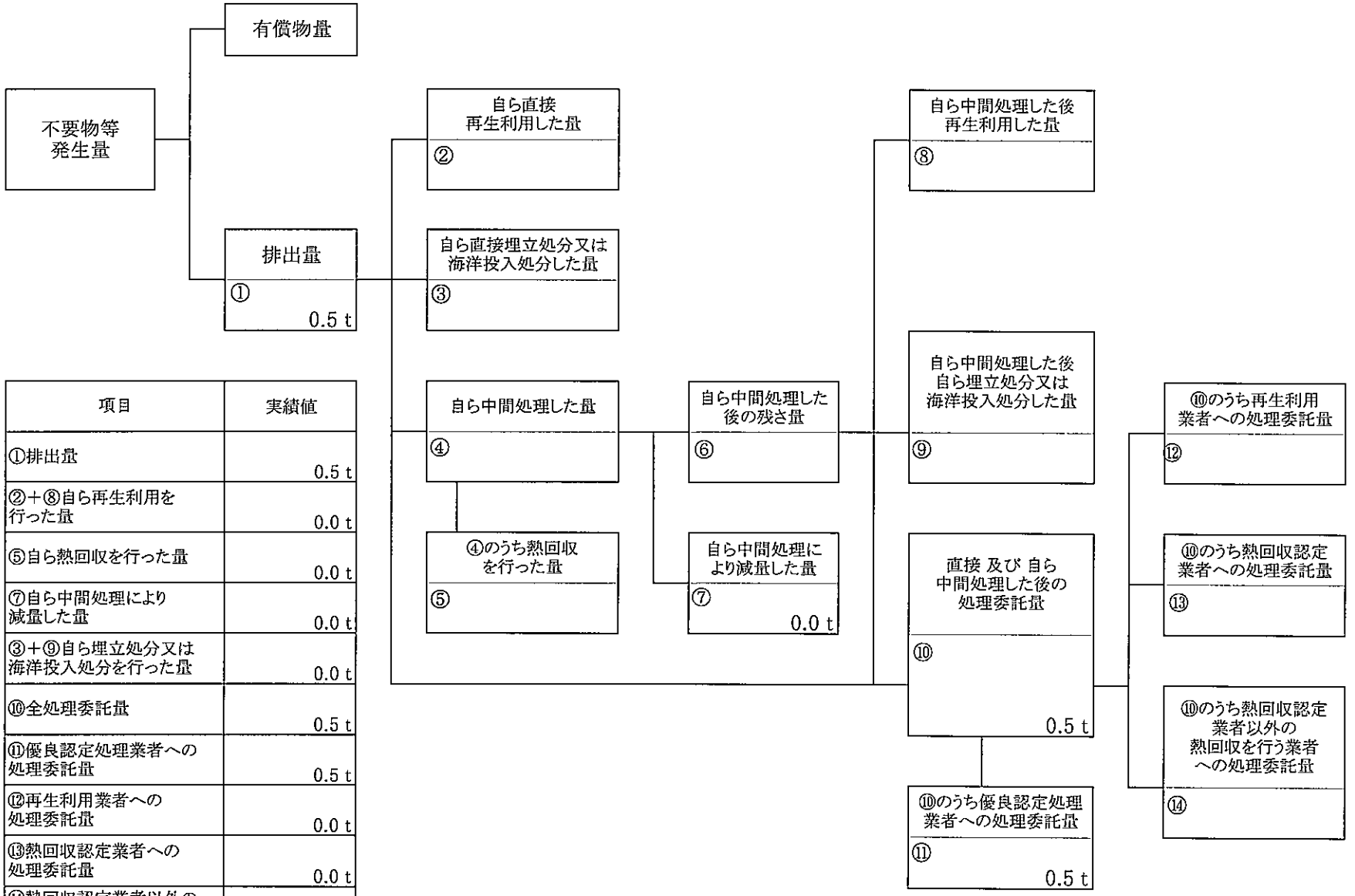
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0.0 t	全処理委託量	0.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.1 t	認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃油　　）

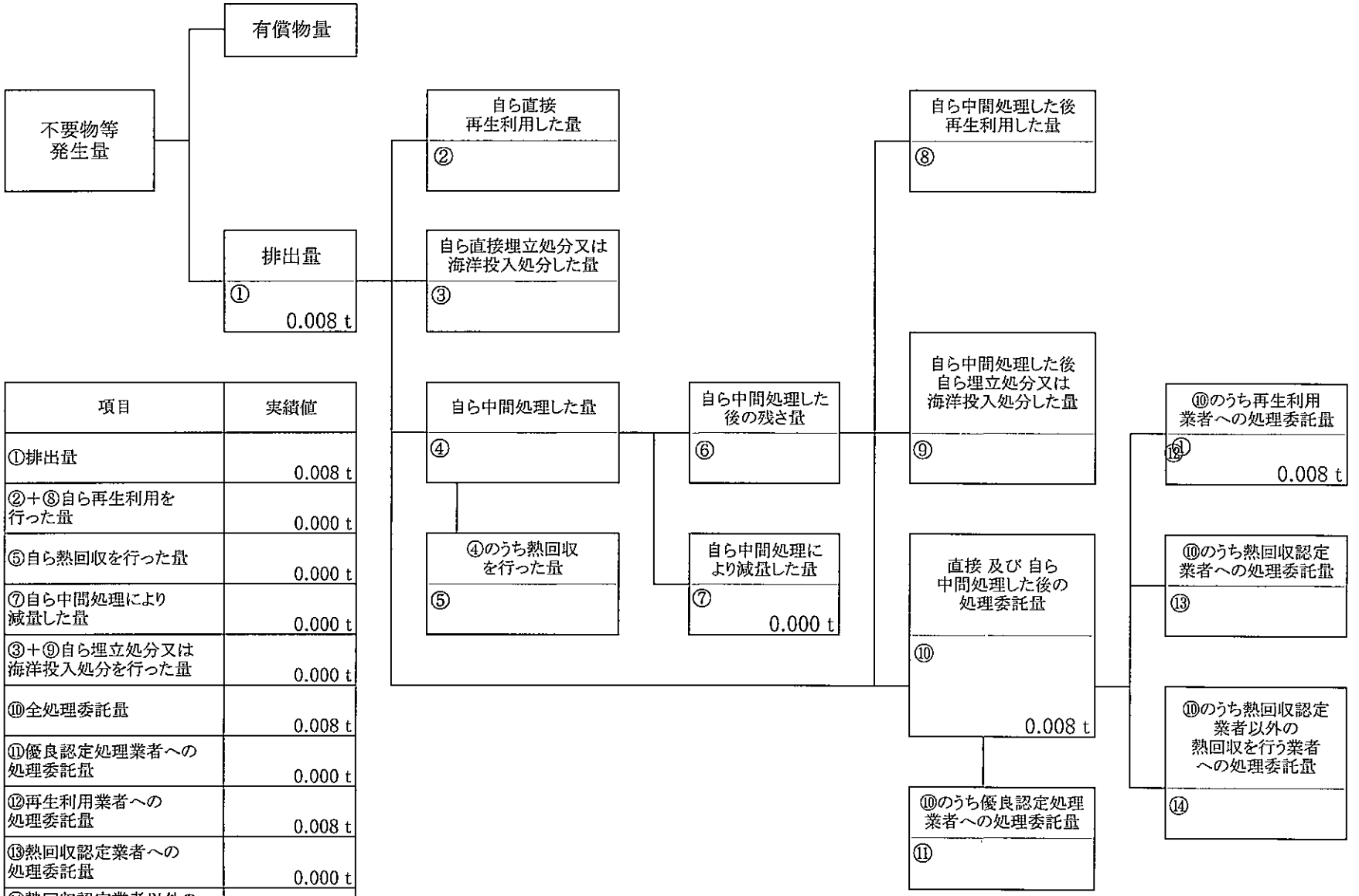


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）

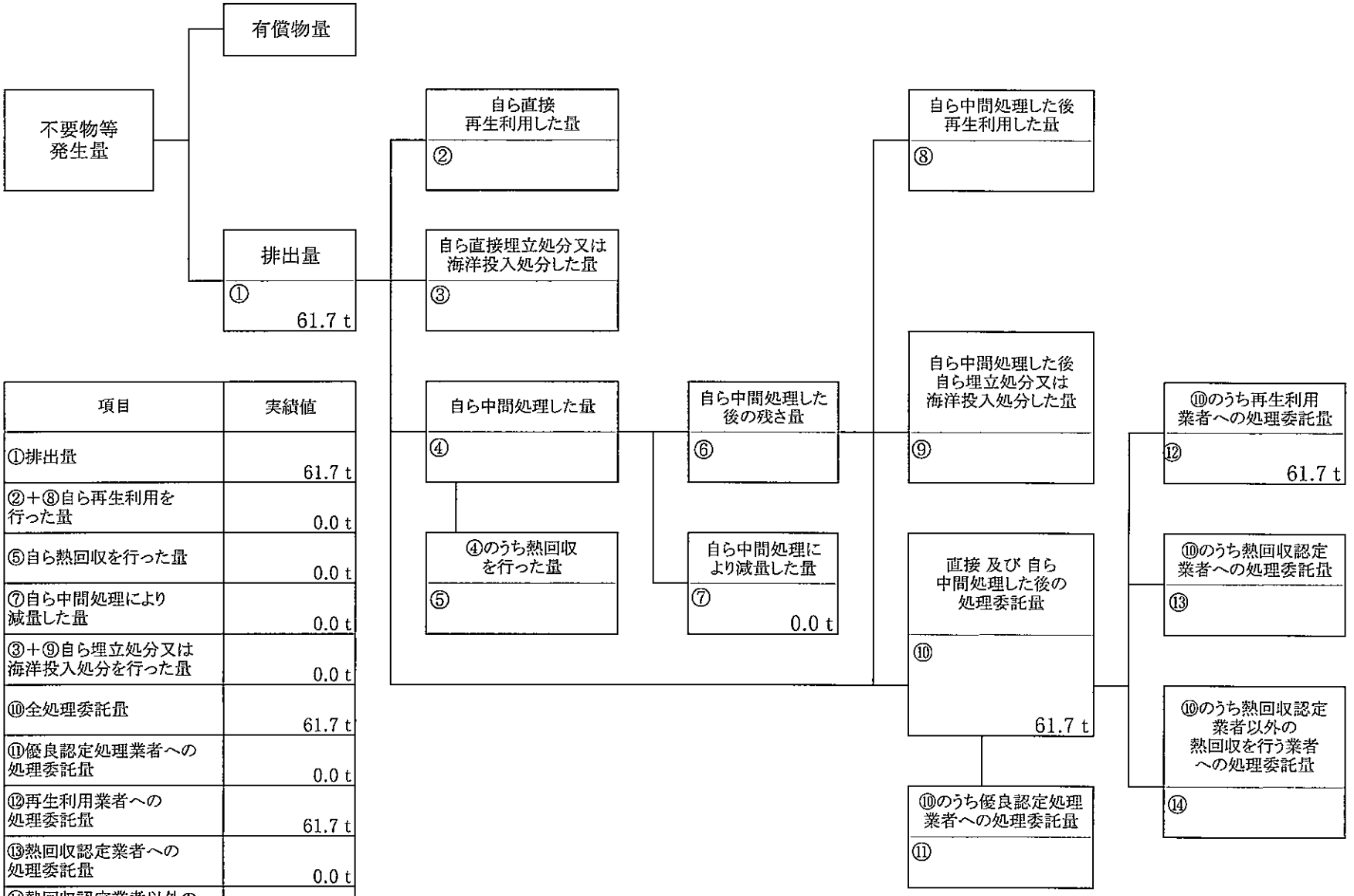


項目	実績値
①排出量	0.008 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.008 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.008 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　アスファルトがら　　）

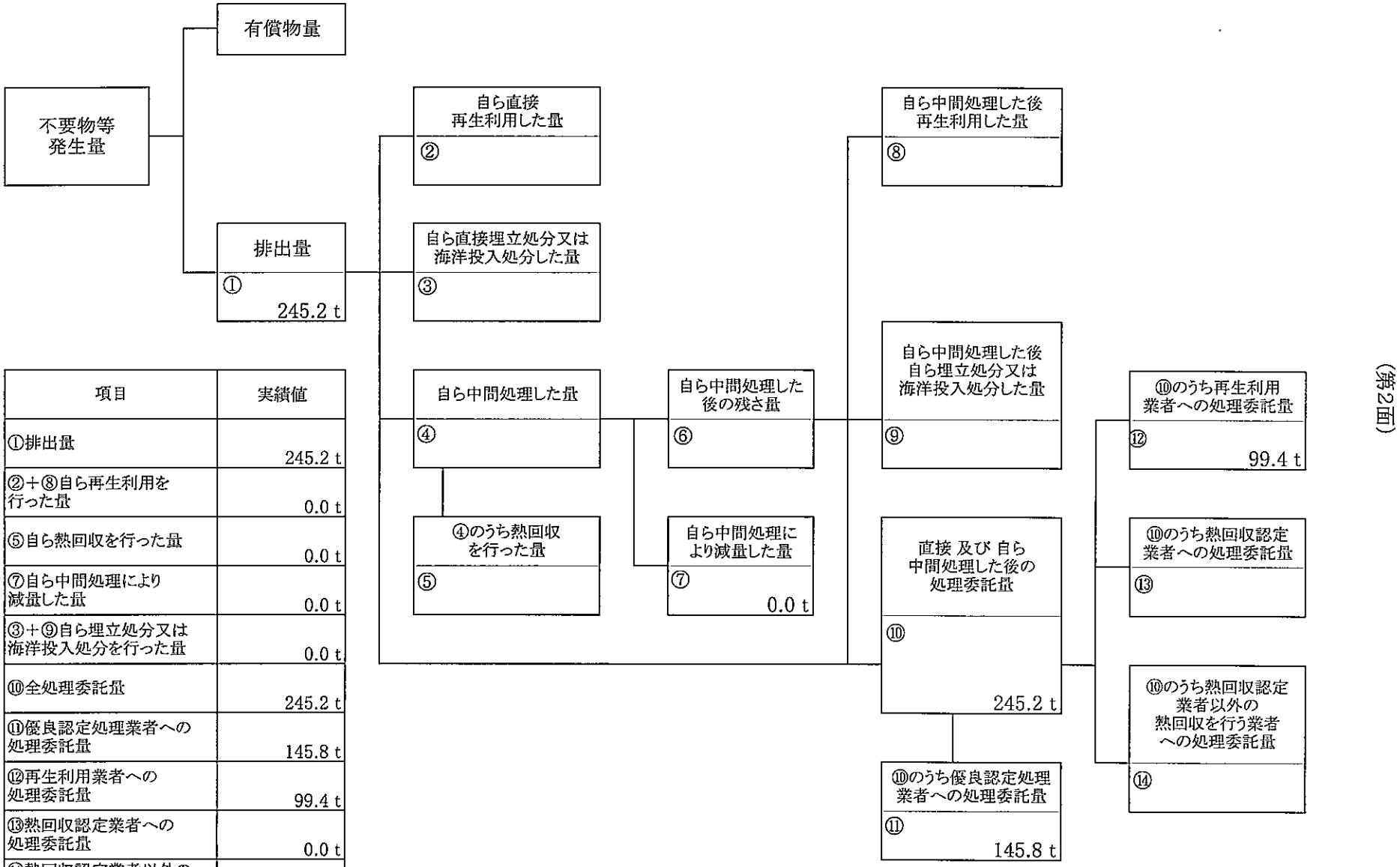


項目	実績値
①排出量	61.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	61.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	61.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　がれき類　　）

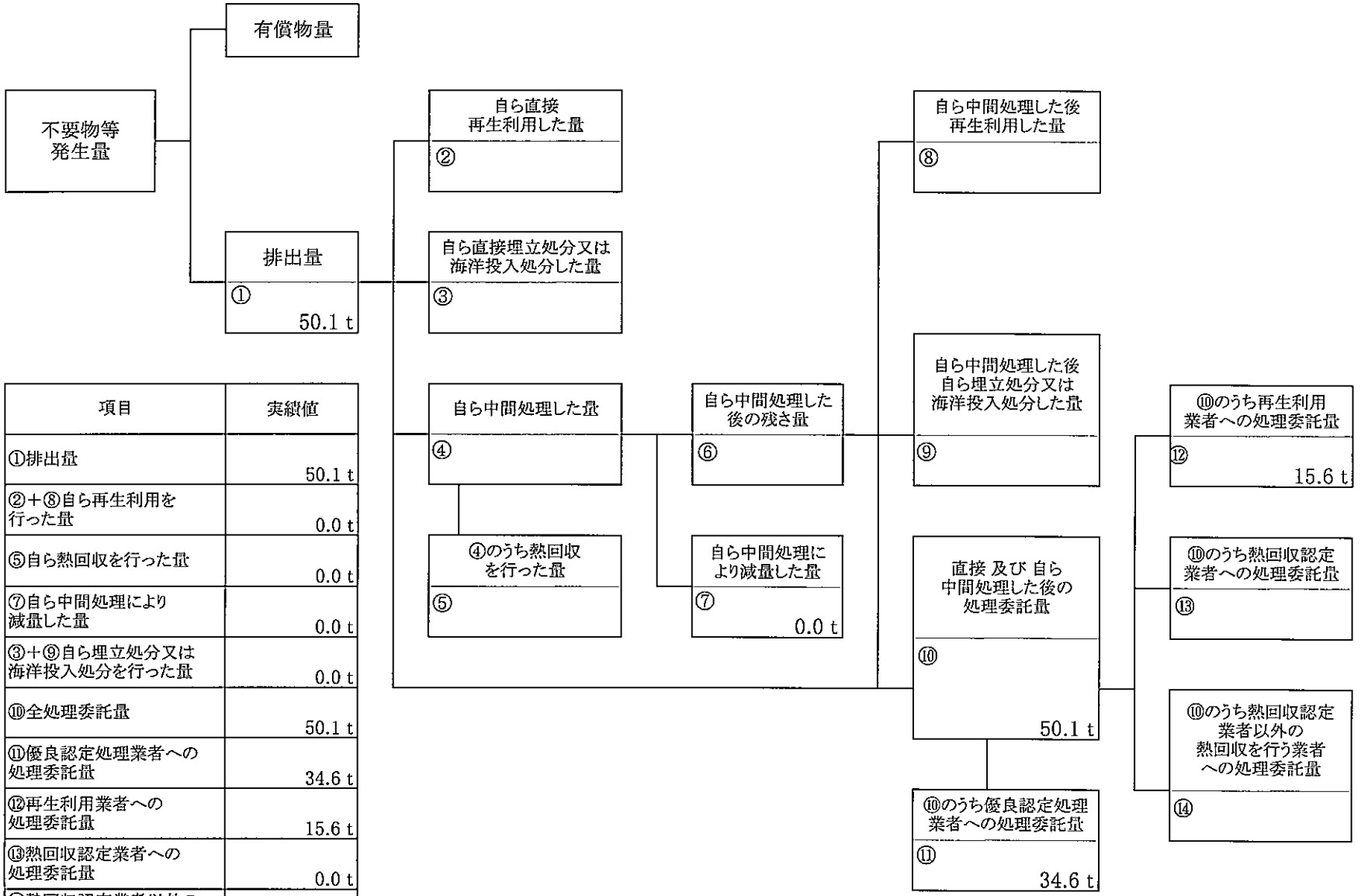


項目	実績値
①排出量	245.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	245.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	145.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	99.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　混合廃棄物　　）

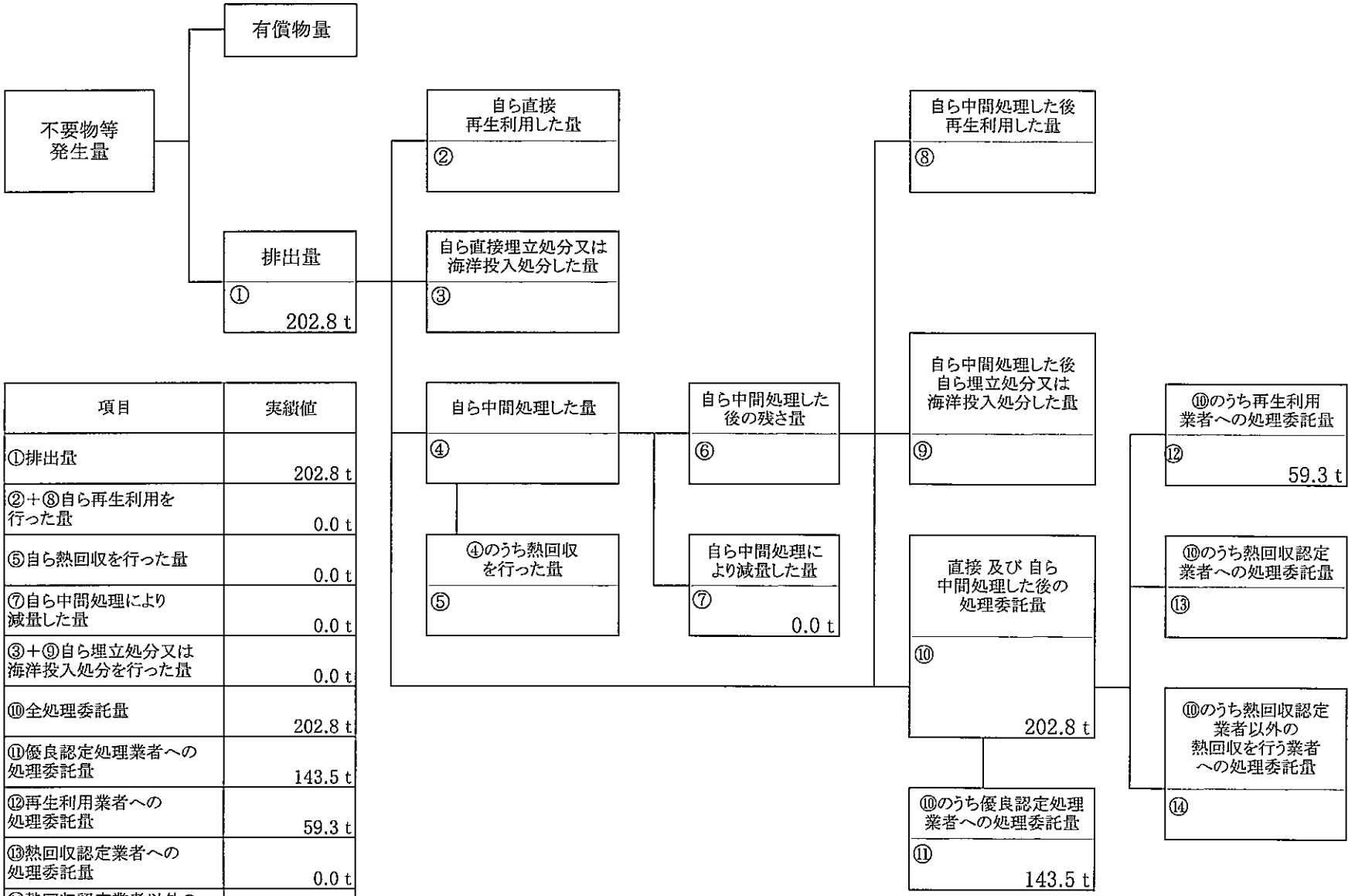


項目	実績値
①排出量	50.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	50.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

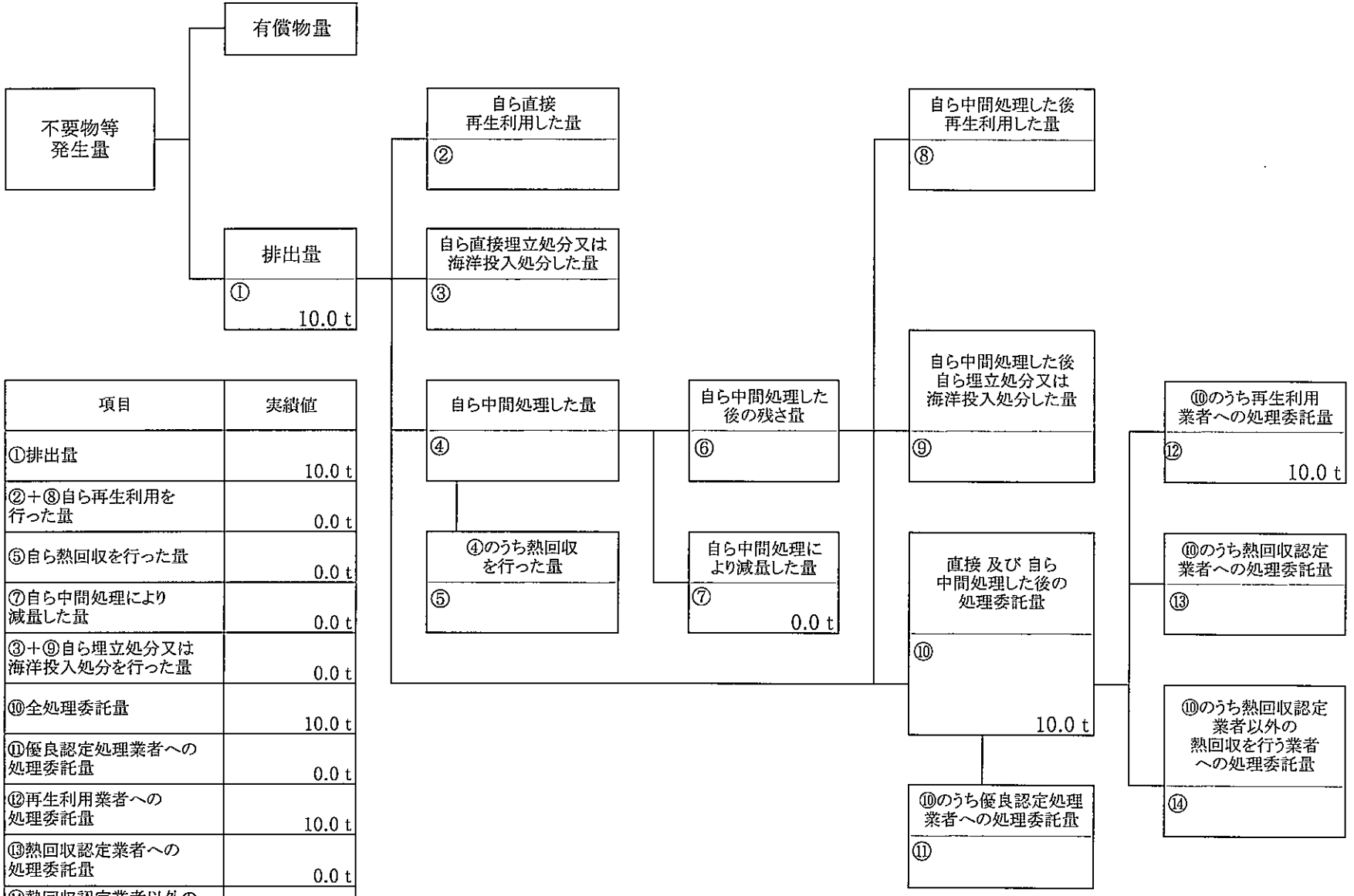


項目	実績値
①排出量	202.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	202.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	143.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	59.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

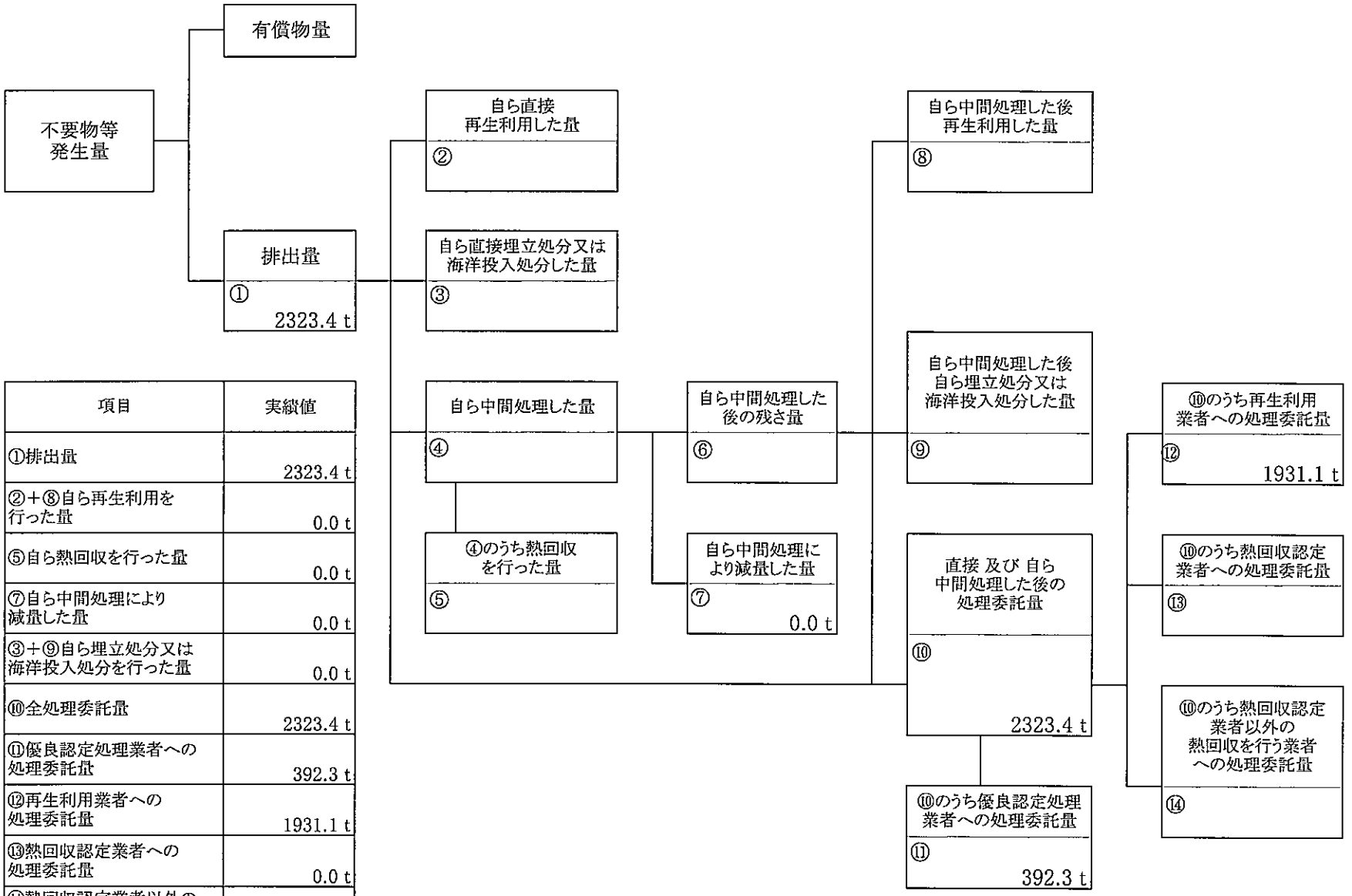


項目	実績値
①排出量	10.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）

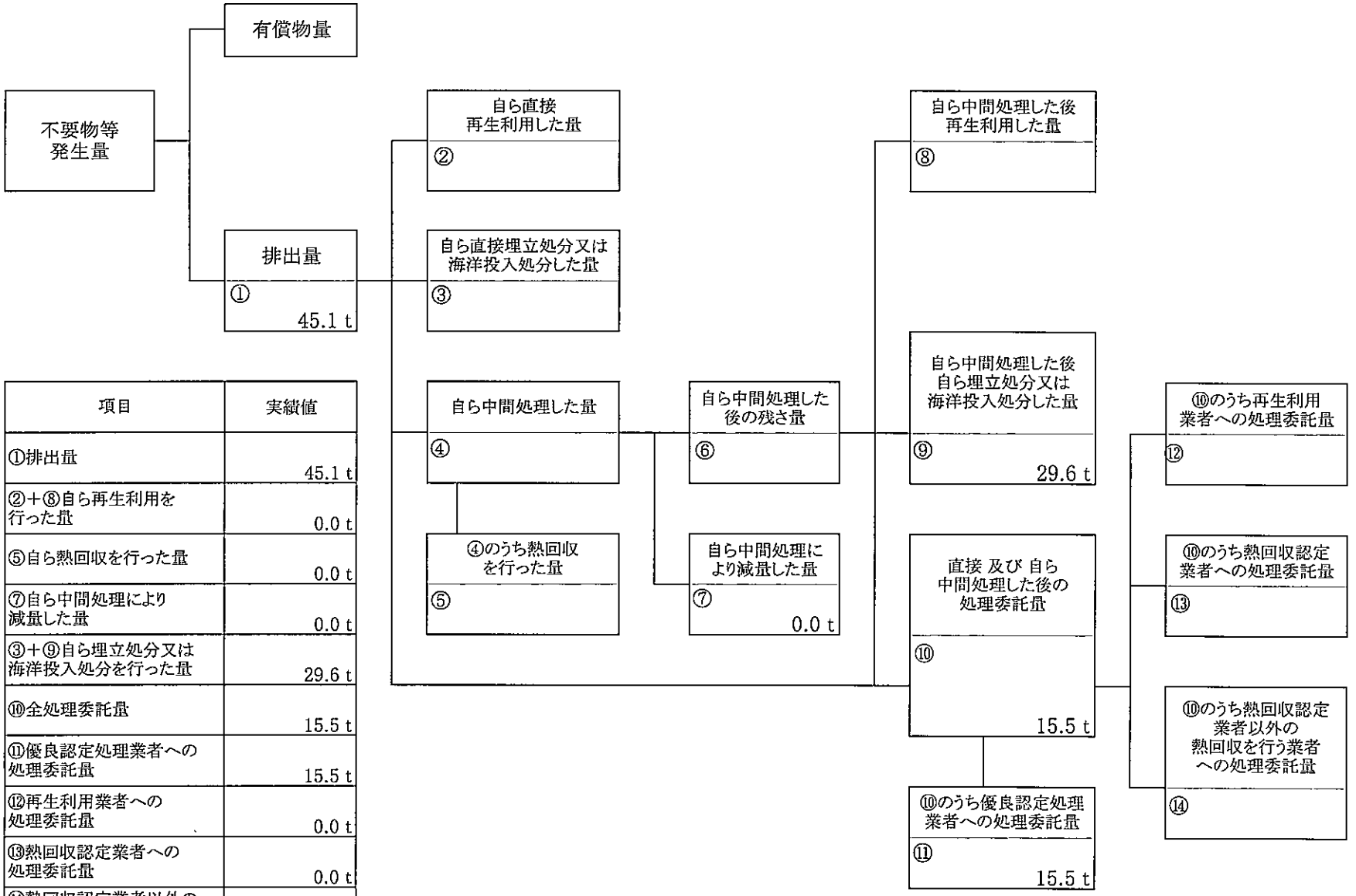


項目	実績値
①排出量	2323.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2323.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	392.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1931.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　石綿含有産業廃棄物　　）

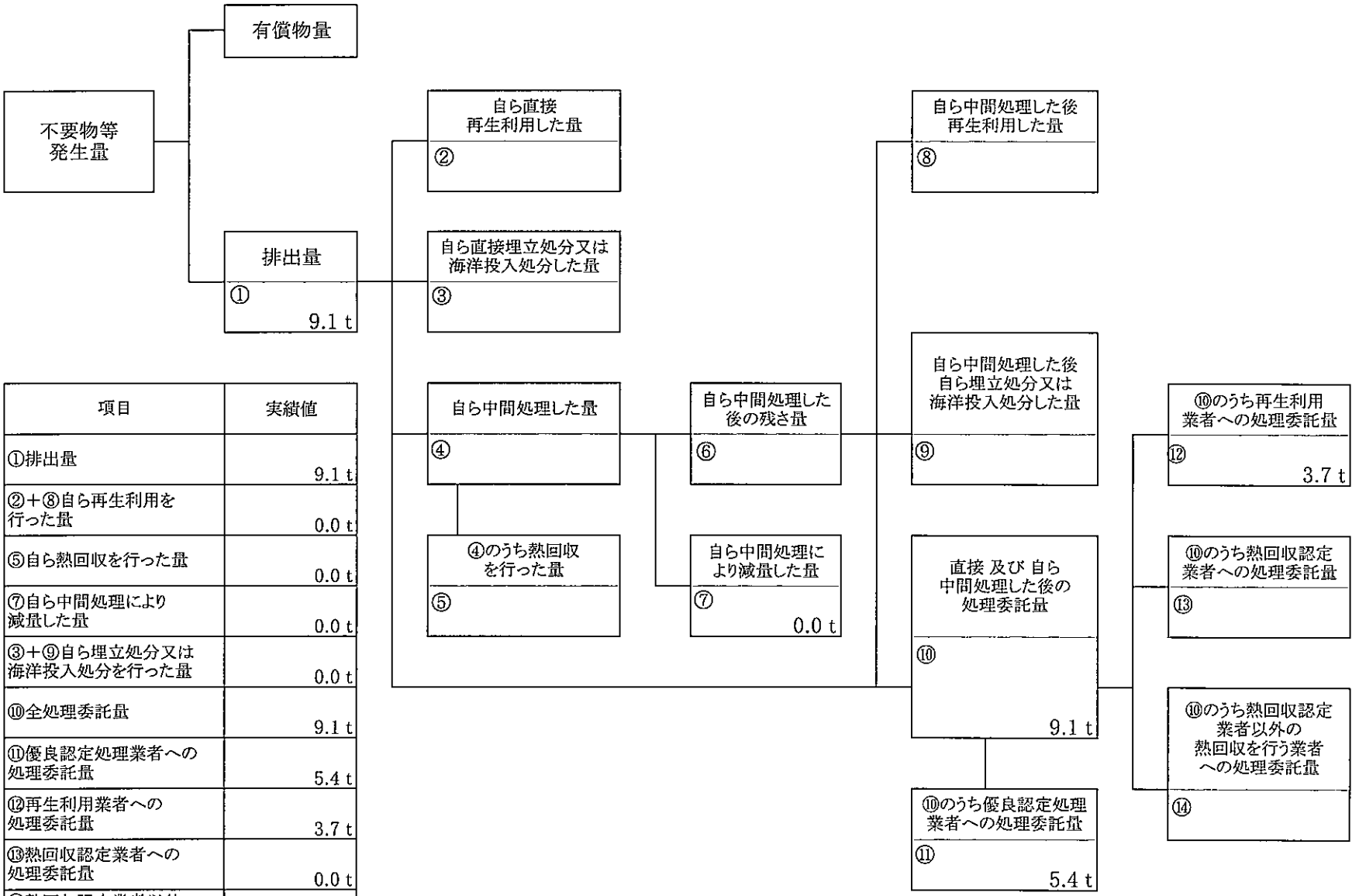


項目	実績値
①排出量	45.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	29.6 t
⑩全処理委託量	15.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　繊維くず　　）

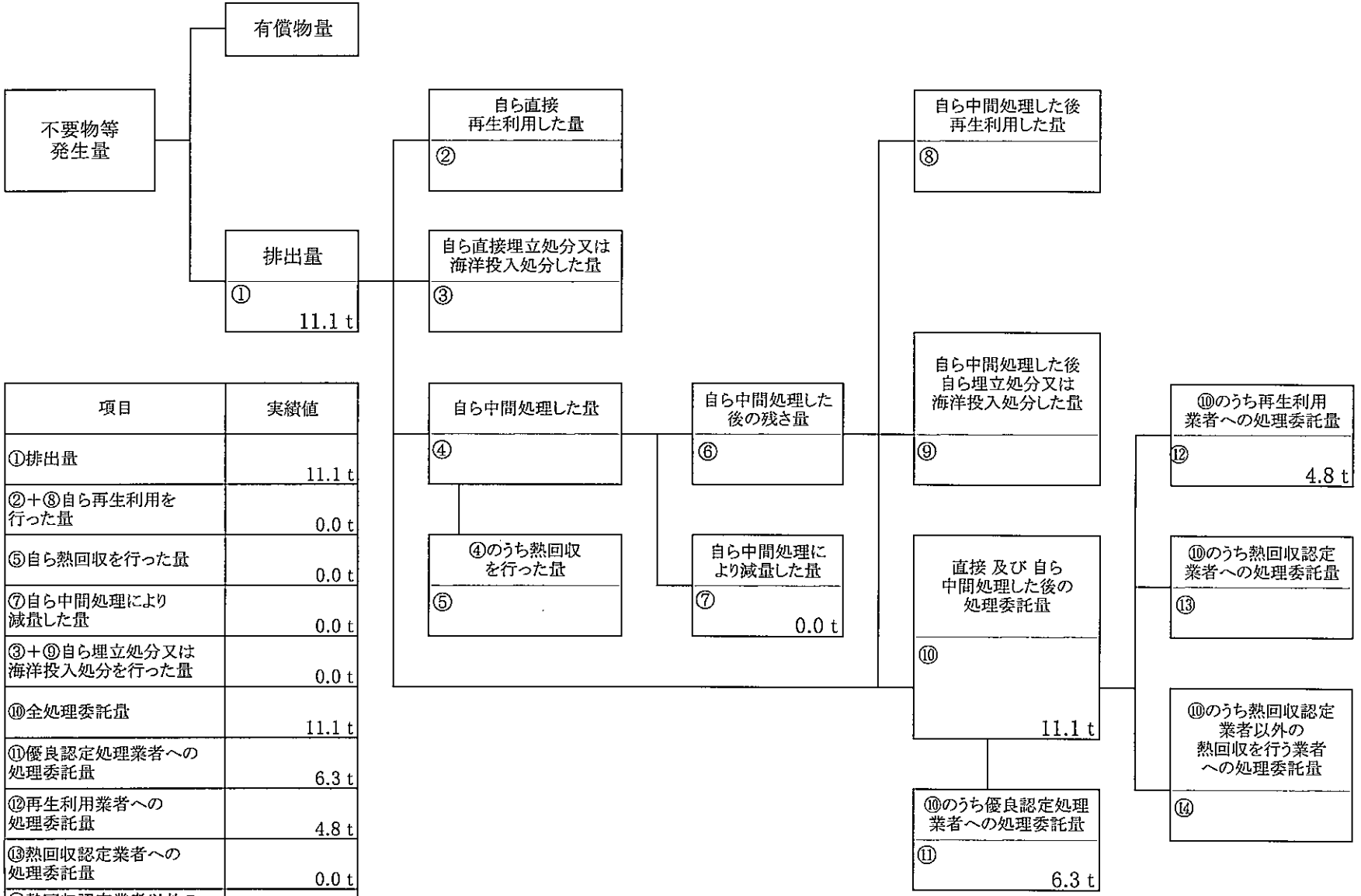


項目	実績値
①排出量	9.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　ガラス・陶磁器　　）

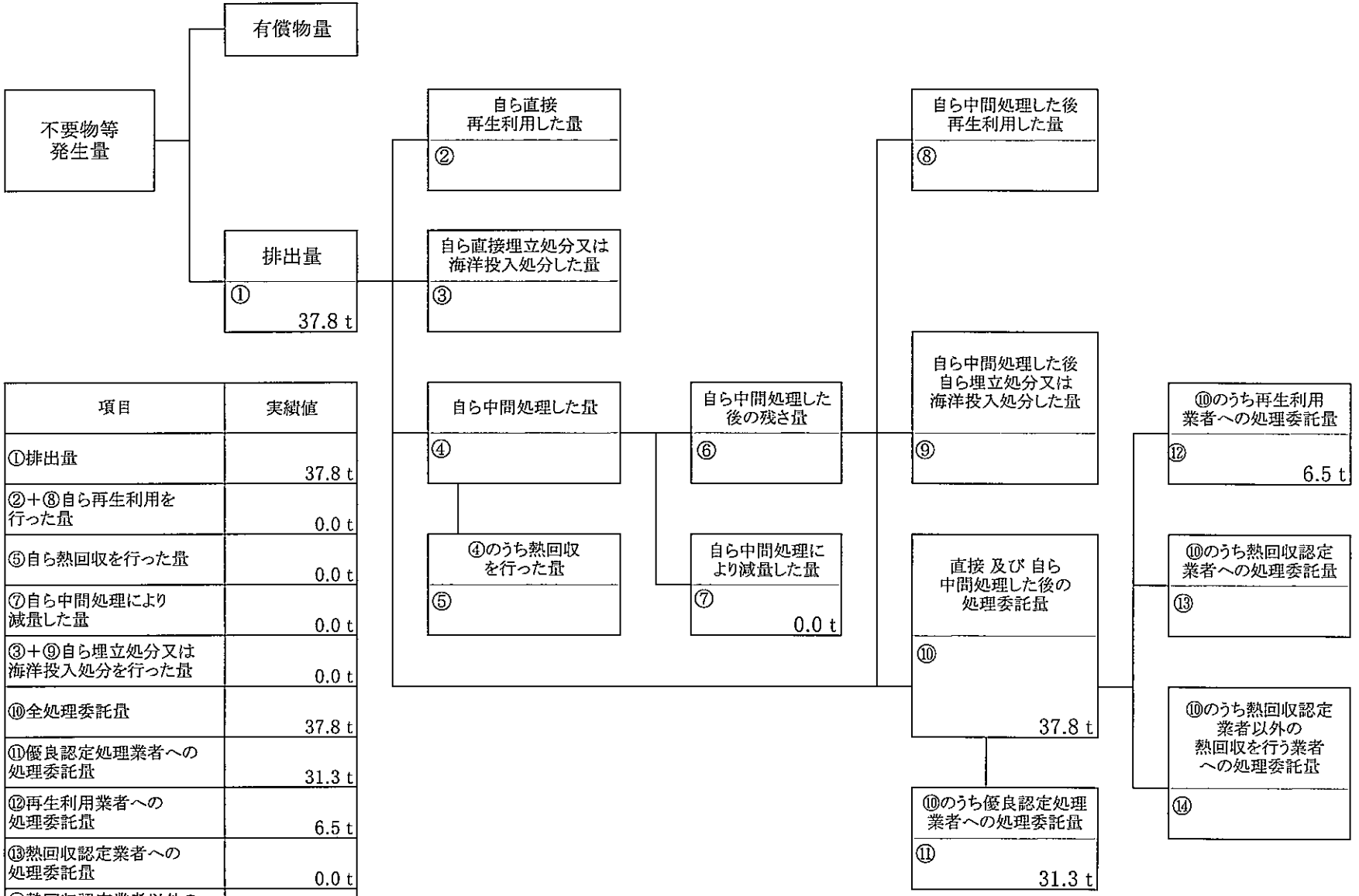


項目	実績値
①排出量	11.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	37.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	37.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年9月30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒260-0807
住 所　千葉市中央区松ケ丘町24番地4
氏 名　シンコー株式会社
代表取締役　阿部 博文
電話番号　043-312-1687
担 当　木更津支店 鈴木 佳代子
0438－37－4075

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千葉県内 各所
事業場の所在地	千葉県内 各所
事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0.0 t	全処理委託量	0.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	0.0 t
	前年度	135.5 t

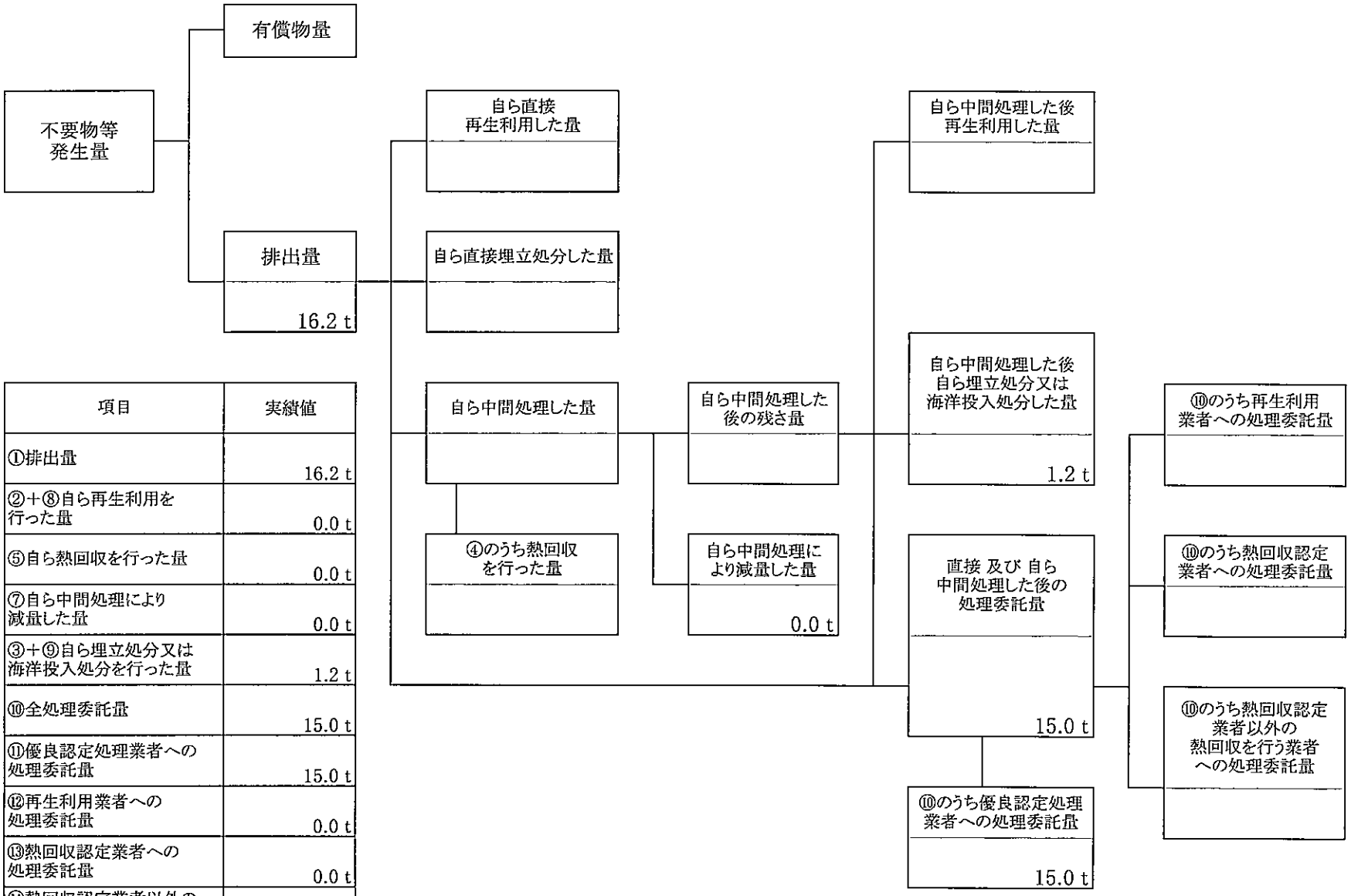
電子マニフェスト導入済み

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　廃石綿等　　）



項目	実績値
①排出量	16.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	1.2 t
⑩全処理委託量	15.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

別紙　　産業廃棄物の一連の処理の工程

◎解体工事

建築物・構造物の解体工事

↓

廃棄物の発生　＊1

↓

廃棄物の分別、搬出

＊1

廃石綿等　→　ビニール製の梱包材にて二重梱包(委託)　→　埋立処分

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月23日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　261-0021

住　所　千葉県千葉市美浜区ひび野１－４－３

法人名　新日本建設株式会社

代表者　髙見 克司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-213-1452

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新日本建設株式会社
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区ひび野１－４－３
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	令和6年度　個別売上高　60,967（百万円）
③従業員数	574名
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別紙（工程処理）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	14	
排出量	8815.25 t	t

（これまでに実施した取組）

・排出物の発生までのプロセスの見直し。
・収集運搬に関する許可番号等の確認。マニフェストの適正管理。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	14	
排出量	8374.5 t	t

（今後実施する予定の取組）

・前年度の評価に基づき、廃棄物種類別に目標を設定する。
・再生資源の利用促進。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

燃え殻、紙くず
・分別管理の確立
・リサイクル率の向上

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

燃え殻、紙くず
・分別管理の確立
・更なるリサイクル率の向上

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>14</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>14</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>14</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>14</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	14	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	14	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

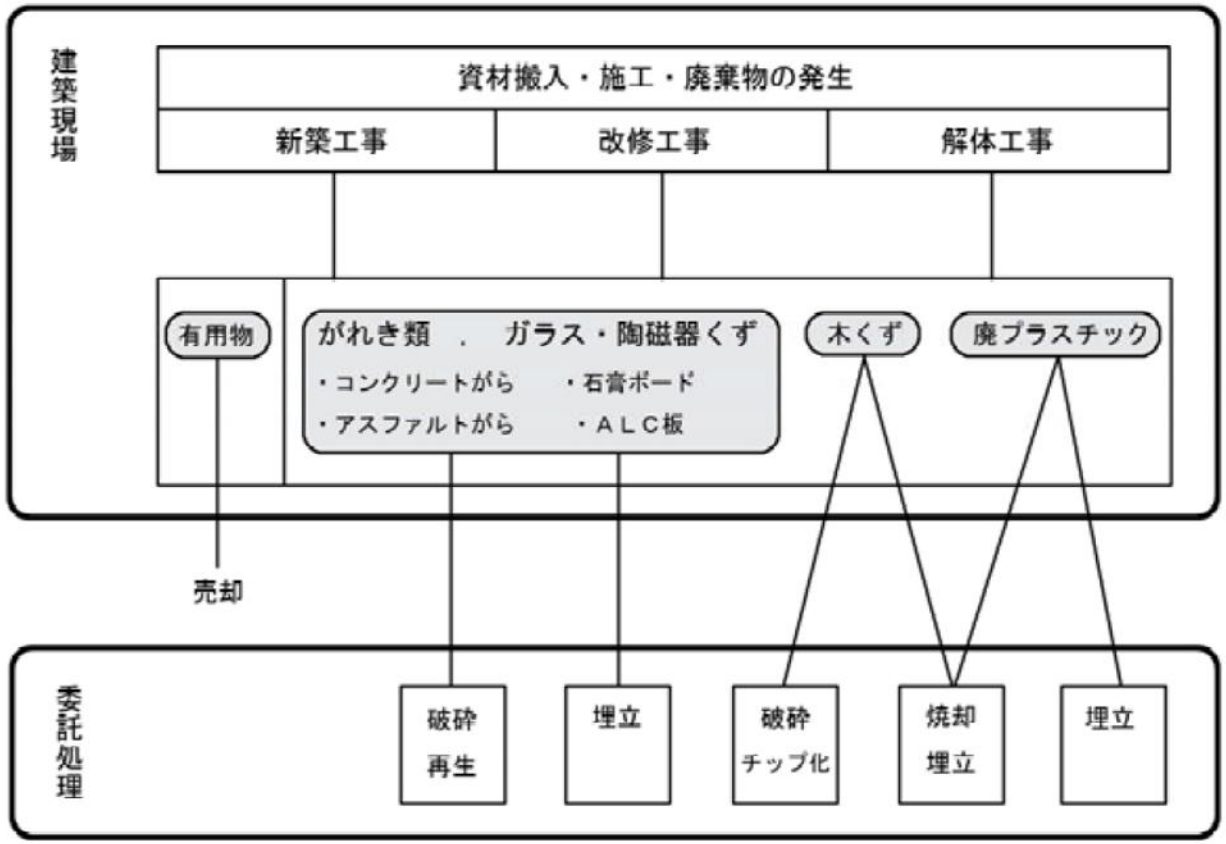
産業廃棄物の種類	14	
全処理委託量	8815.25 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	8815.25 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

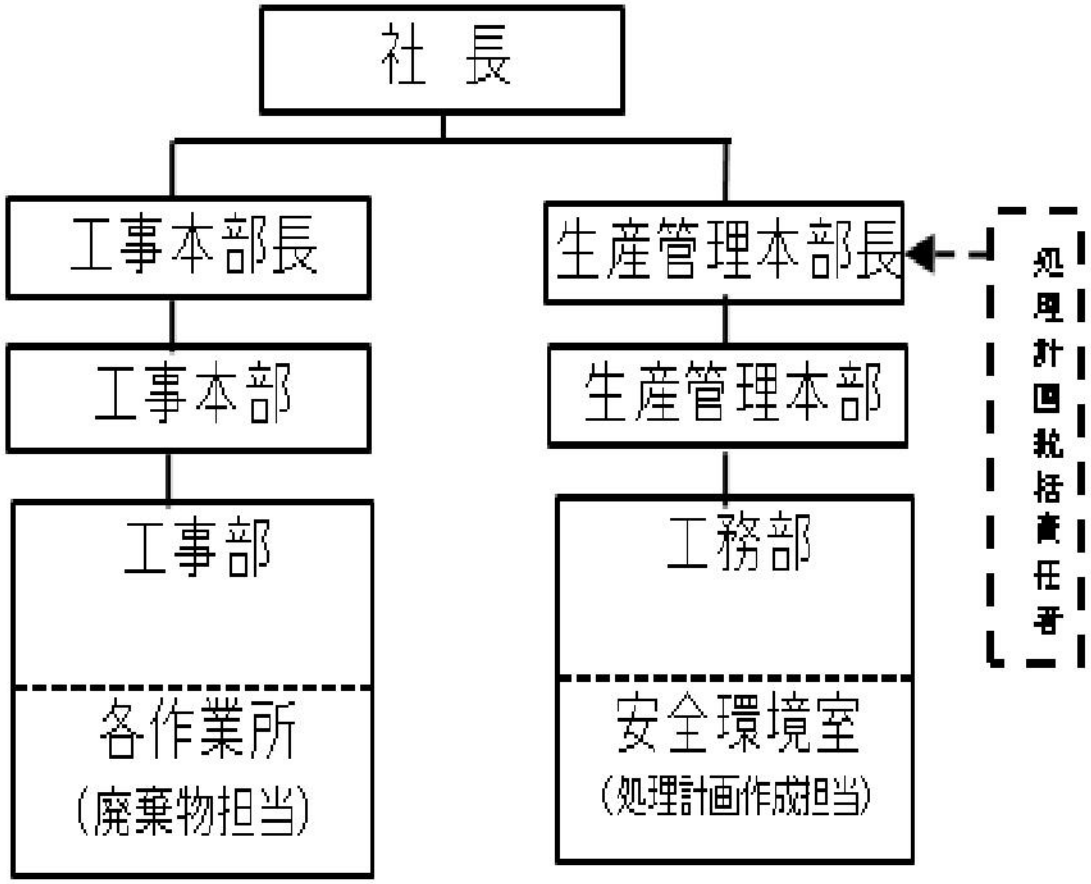
（これまでに実施した取組）

リサイクル可能な処分業者への依頼を基本的に行った。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	14	
		全 処 理 委 託 量	8374.5 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	8374.5 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 今後もリサイクル可能な処分業者への依頼を行っていく。		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


建築現場
資材搬入・施工・廃棄物の発生
新築工事
改修工事
解体工事
有用物
がれき類 ・ ガラス・陶磁器くず
・コンクリートがら
・石膏ボード
・アスファルトがら
・ＡＬＣ板
木くず
廃プラスチック
売却
委託処理
破砕
再生
埋立
破砕
チップ化
焼却
埋立
埋立


社　長
工事本部長
工事本部
工事部
各作業所
（廃棄物担当）
生産管理本部長
生産管理本部
工務部
安全環境室
（処理計画作成担当）
処理計画取括責任者

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	廃油	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	廃石膏ボード
排出量	6,530.700 t	149.660 t	162.150 t	406.794 t	0.000 t	127.690 t	57.700 t	134.070 t

（これまでに実施した取組）

・排出物の発生までのプロセスの見直し。

・収集運搬に関する許可番号等の確認。マニフェストの適正管理。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	廃油	金属くず	ガラス・陶磁器くず	廃石膏ボード
排出量	6,204.17 t	142.18 t	154.04 t	386.45 t	0.00 t	121.31 t	54.82 t	127.37 t

（今後実施する予定の取組）

・前年度の評価に基づき、廃棄物種類別に目標を設定する。

・再生資源の利用促進。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

がれき類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	石綿含有がれき類	蛍光灯（水銀使用）
311.392 t	311.732 t	66.716 t	503.542 t	17.000 t	2.800 t	33.300 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）

・排出物の発生までのプロセスの見直し。

・収集運搬に関する許可番号等の確認。マニフェストの適正管理。

②計画

【目標】

がれき類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	石綿含有がれき類	蛍光灯（水銀使用）
295.82 t	296.15 t	63.38 t	478.36 t	16.15 t	2.66 t	31.64 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）

・前年度の評価に基づき、廃棄物種類別に目標を設定する。

・再生資源の利用促進。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	廃石膏ボード
全処理委託量	6,530.700 t	149.660 t	162.150 t	406.794 t	0.000 t	127.690 t	57.700 t	134.070 t
優良認定処理業者への処理委託量								
再生利用業者への処理委託量	6,530.700 t	149.660 t	162.150 t	406.794 t	0.000 t	127.690 t	57.700 t	134.070 t
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

（これまでに実施した取組）

・リサイクル可能な処分業者への依頼を基本的に行った。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	石綿含有がれき類	蛍光灯（水銀使用）
全処理委託量	311.392 t	311.732 t	66.716 t	503.542 t	17.000 t	2.800 t	33.300 t	0.000 t
優良認定処理業者への処理委託量								
再生利用業者への処理委託量	311.392 t	311.732 t	66.716 t	503.542 t	17.000 t	2.800 t	33.300 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

（これまでに実施した取組）

・リサイクル可能な処分業者への依頼を基本的に行った。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	廃石膏ボード
全処理委託量	6,204.17 t	142.18 t	154.04 t	386.45 t	0.00 t	121.31 t	54.82 t	127.37 t
優良認定処理業者への処理委託量								
再生利用業者への処理委託量	6,204.17 t	142.18 t	154.04 t	386.45 t	0.00 t	121.31 t	54.82 t	127.37 t
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

（今後実施する予定の取組）

・今後もリサイクル可能な処分業者への依頼を行っていく。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら	アスコンがら	建設混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）	廃プラスチック類（石綿含有）	石綿含有がれき類	蛍光灯（水銀使用）
全処理委託量	295.82 t	296.15 t	63.38 t	478.36 t	16.15 t	2.66 t	31.64 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量								
再生利用業者への処理委託量	295.82 t	296.15 t	63.38 t	478.36 t	16.15 t	2.66 t	31.64 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

（今後実施する予定の取組）

・今後もリサイクル可能な処分業者への依頼を行っていく。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　261-0021

住所 千葉県千葉市美浜区ひび野1-4-3

法人名 新日本建設株式会社

代表者 髙見 克司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-213-1452

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	新日本建設株式会社
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区ひび野1－4－3
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

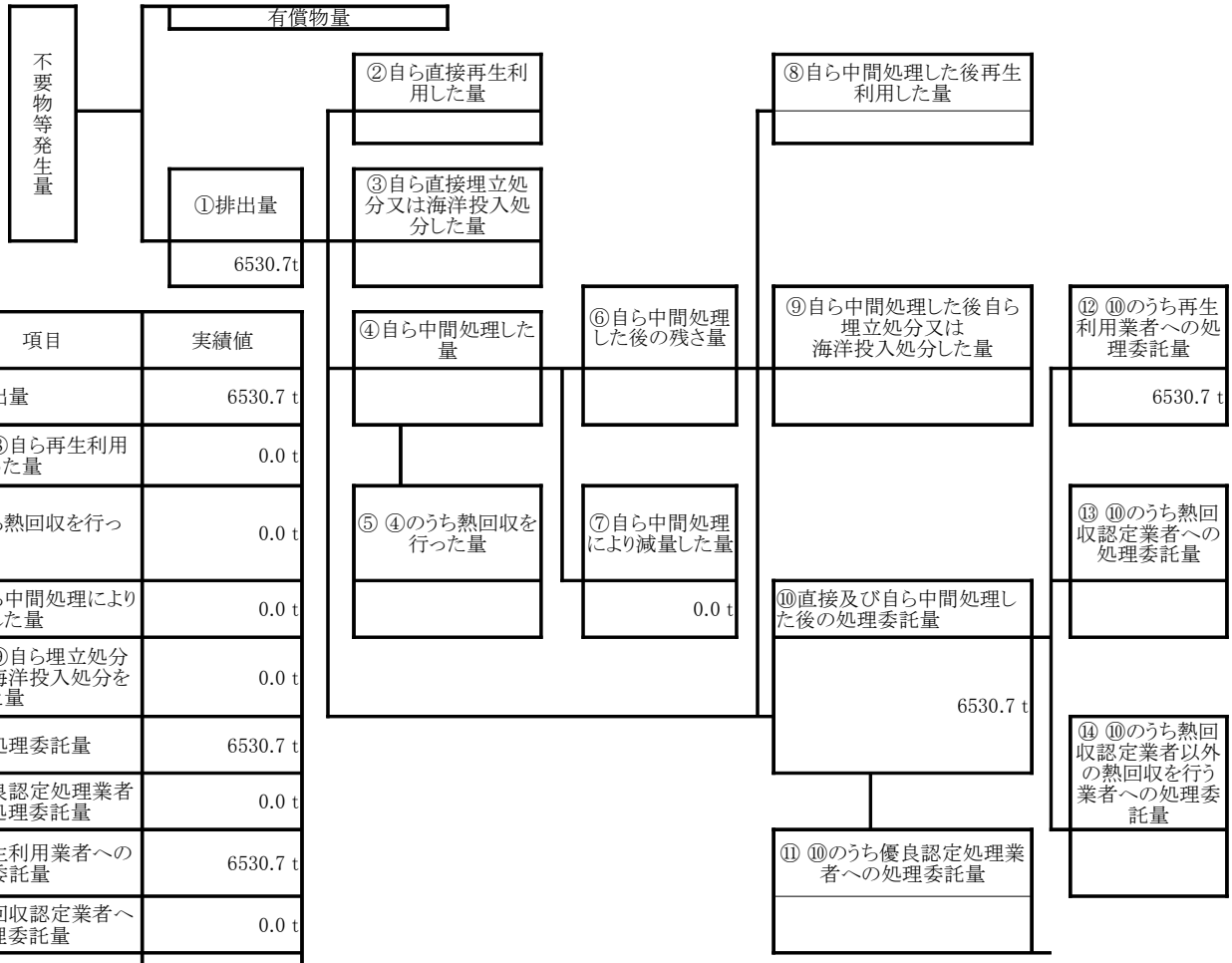
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7010.56 t	全処理委託量	7010.56 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	7010.56 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設汚泥**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

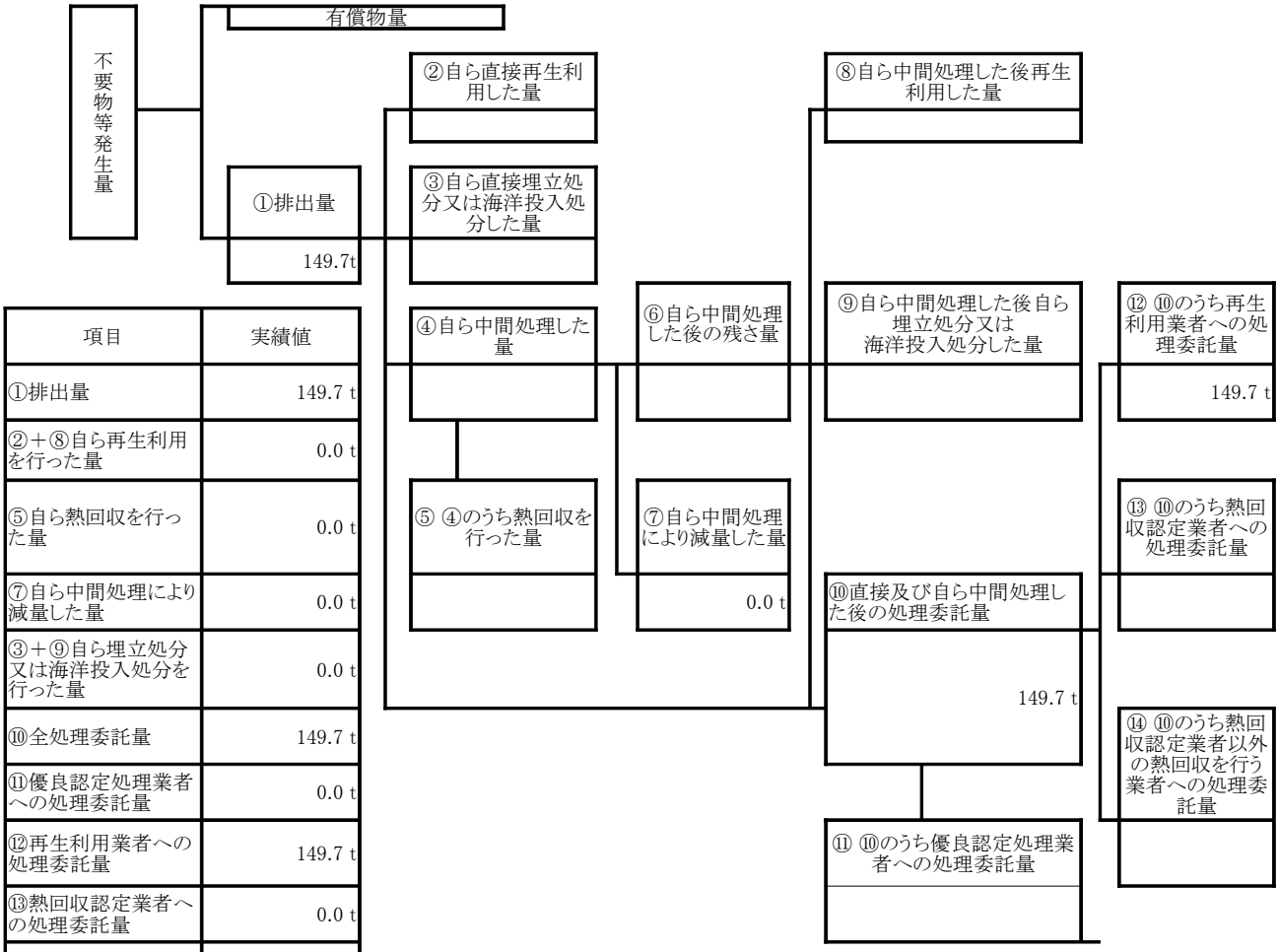


項目	実績値
①排出量	6530.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6530.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6530.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



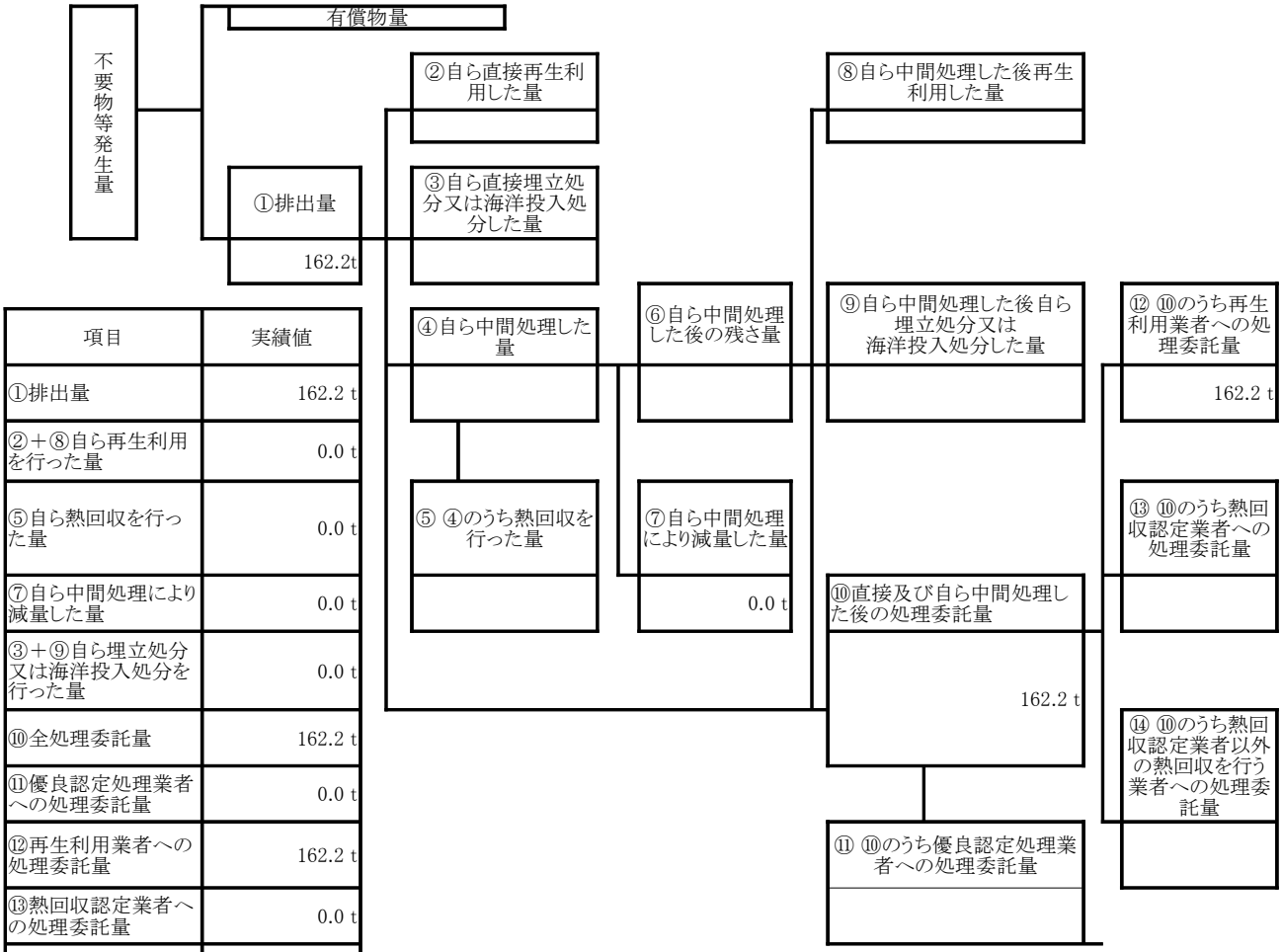
項目	実績値
①排出量	149.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	149.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	149.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



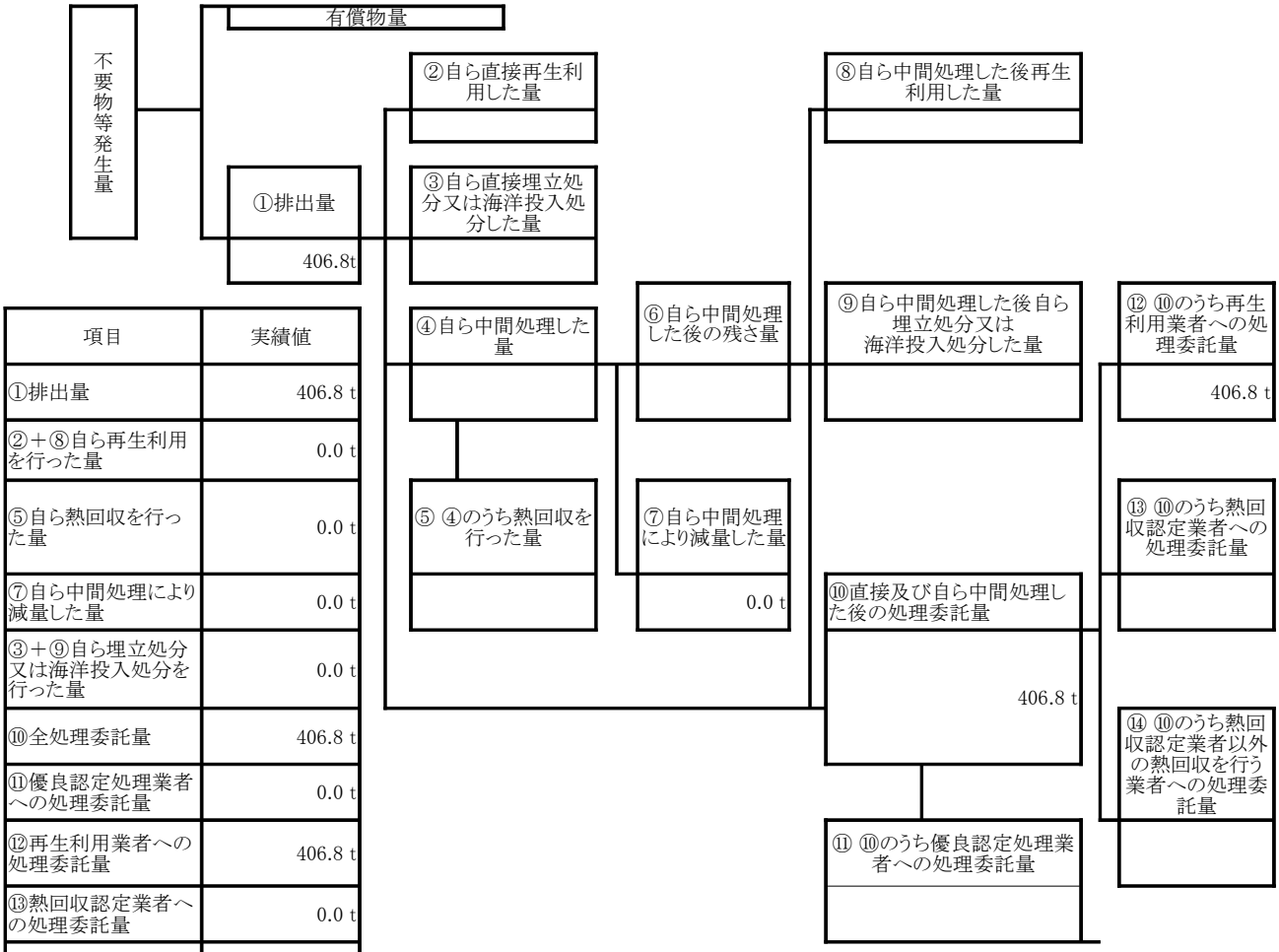
項目	実績値
①排出量	162.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	162.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	162.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

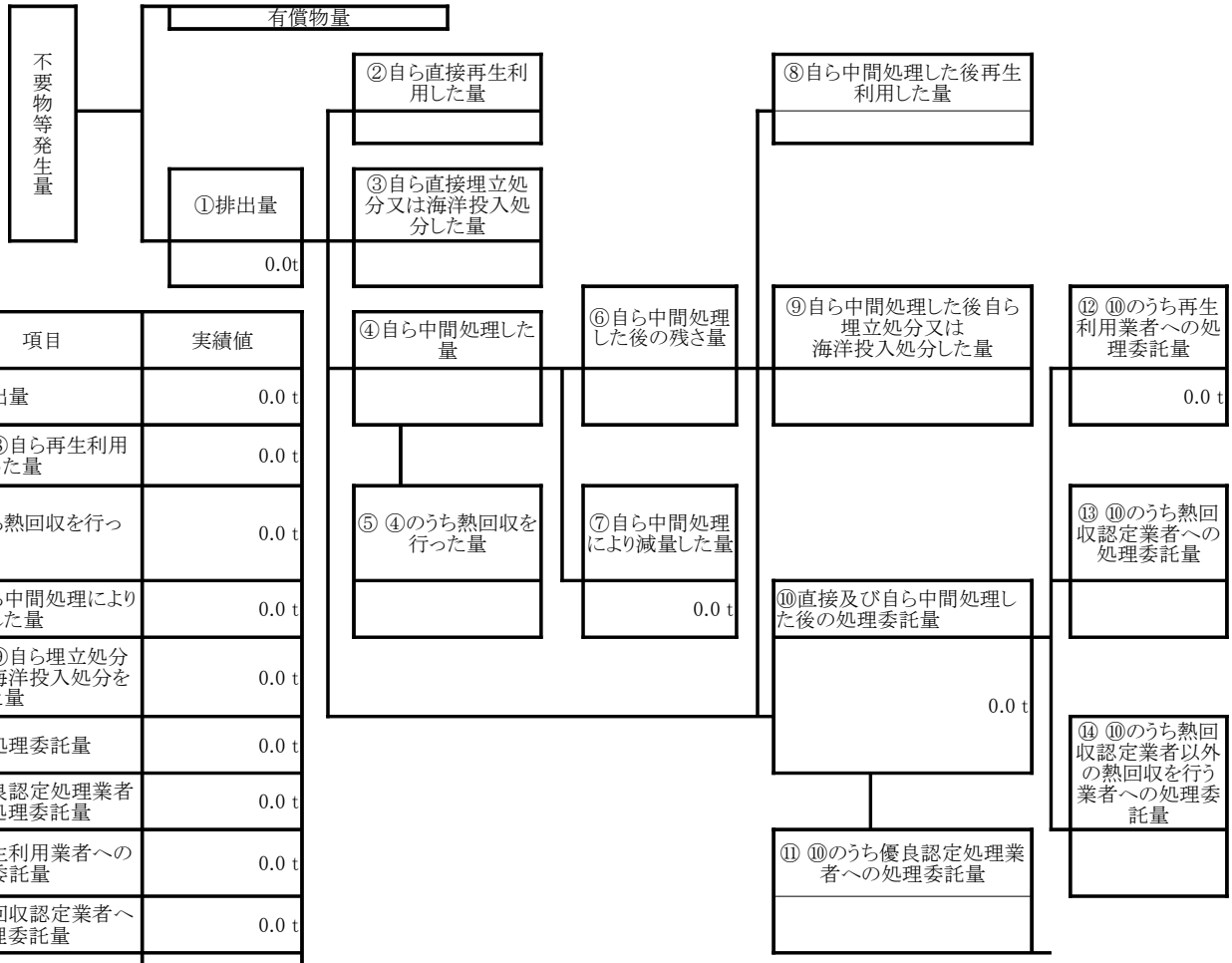


項目	実績値
①排出量	406.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	406.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	406.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

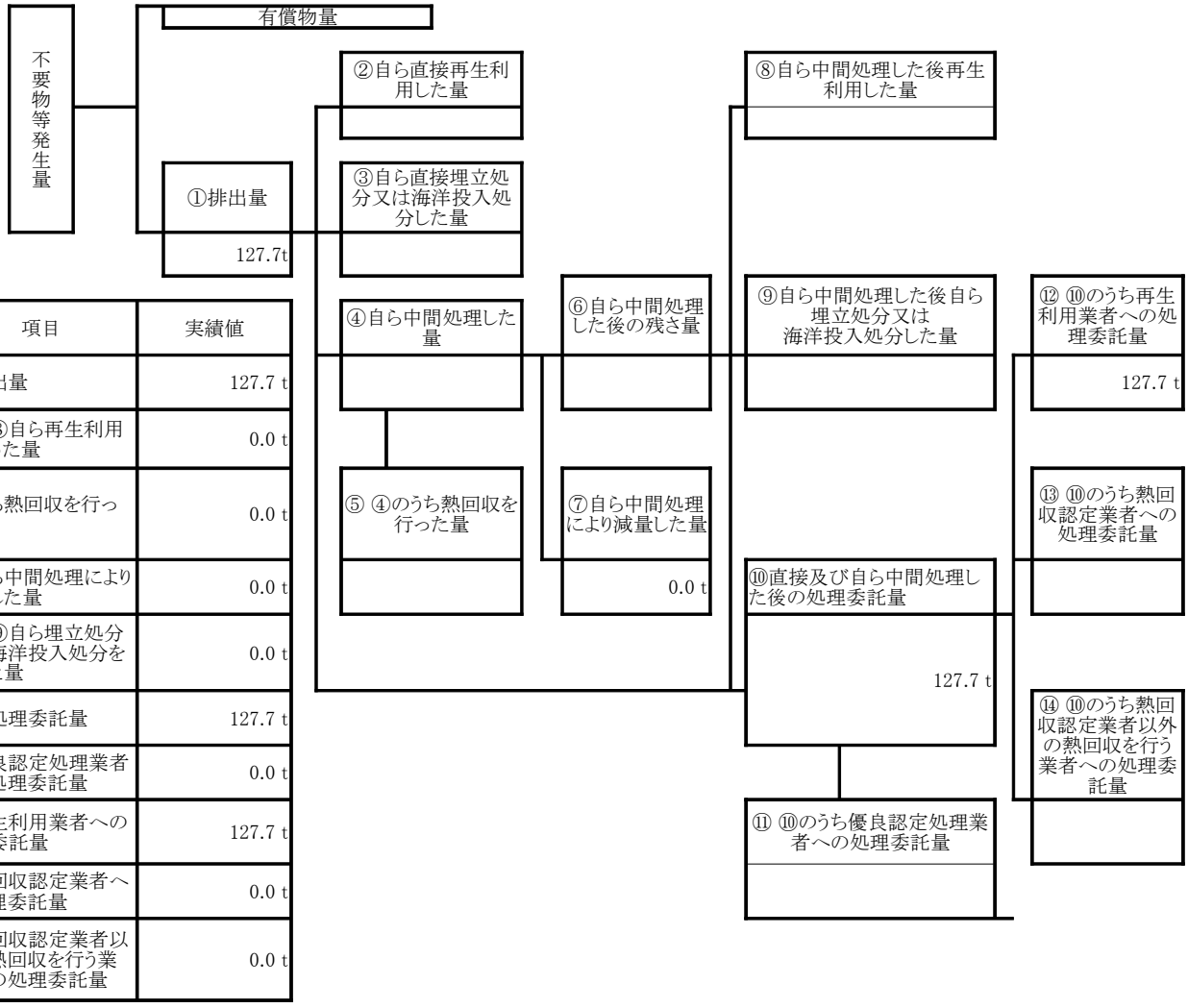


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



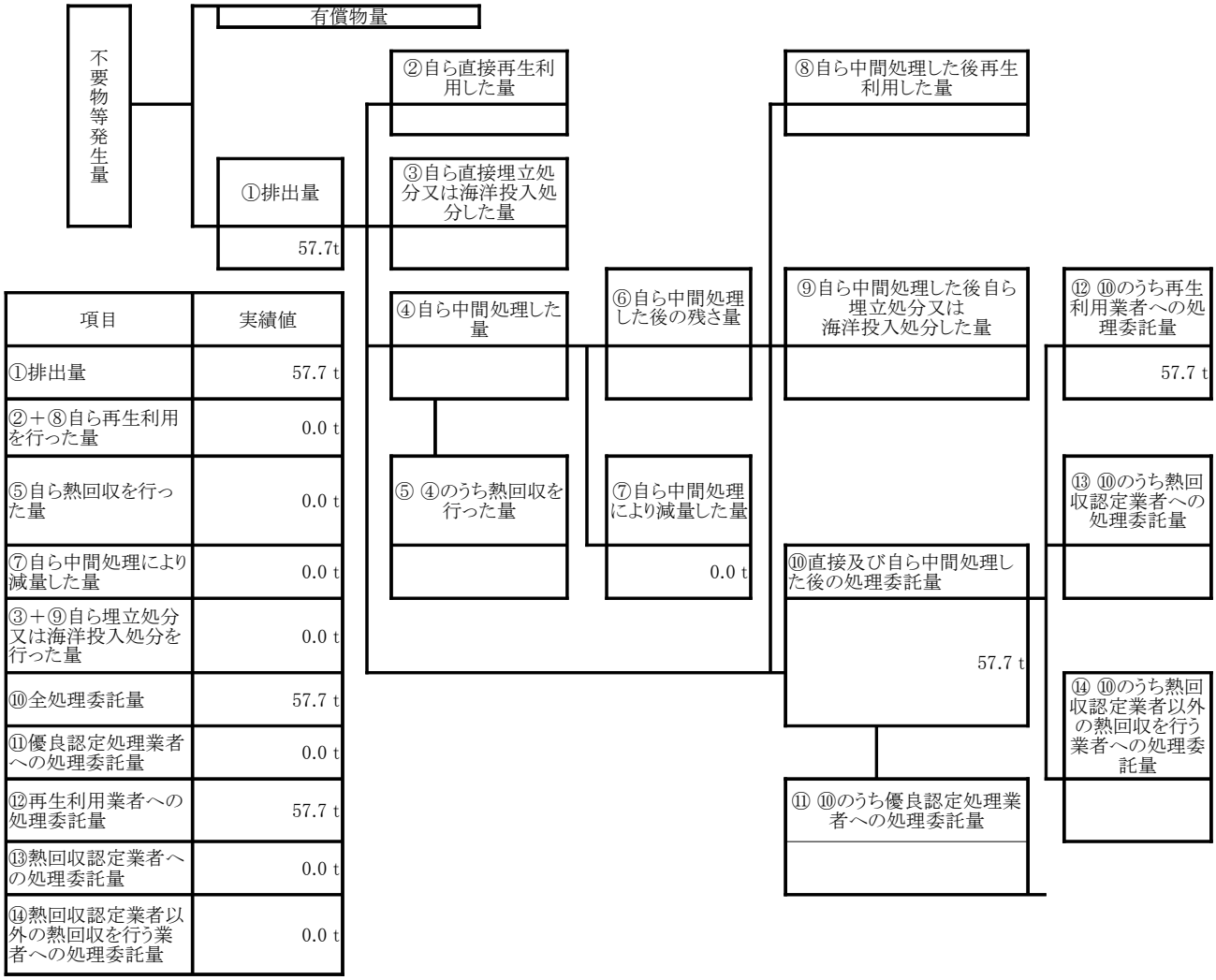
項目	実績値
①排出量	127.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	127.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	127.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

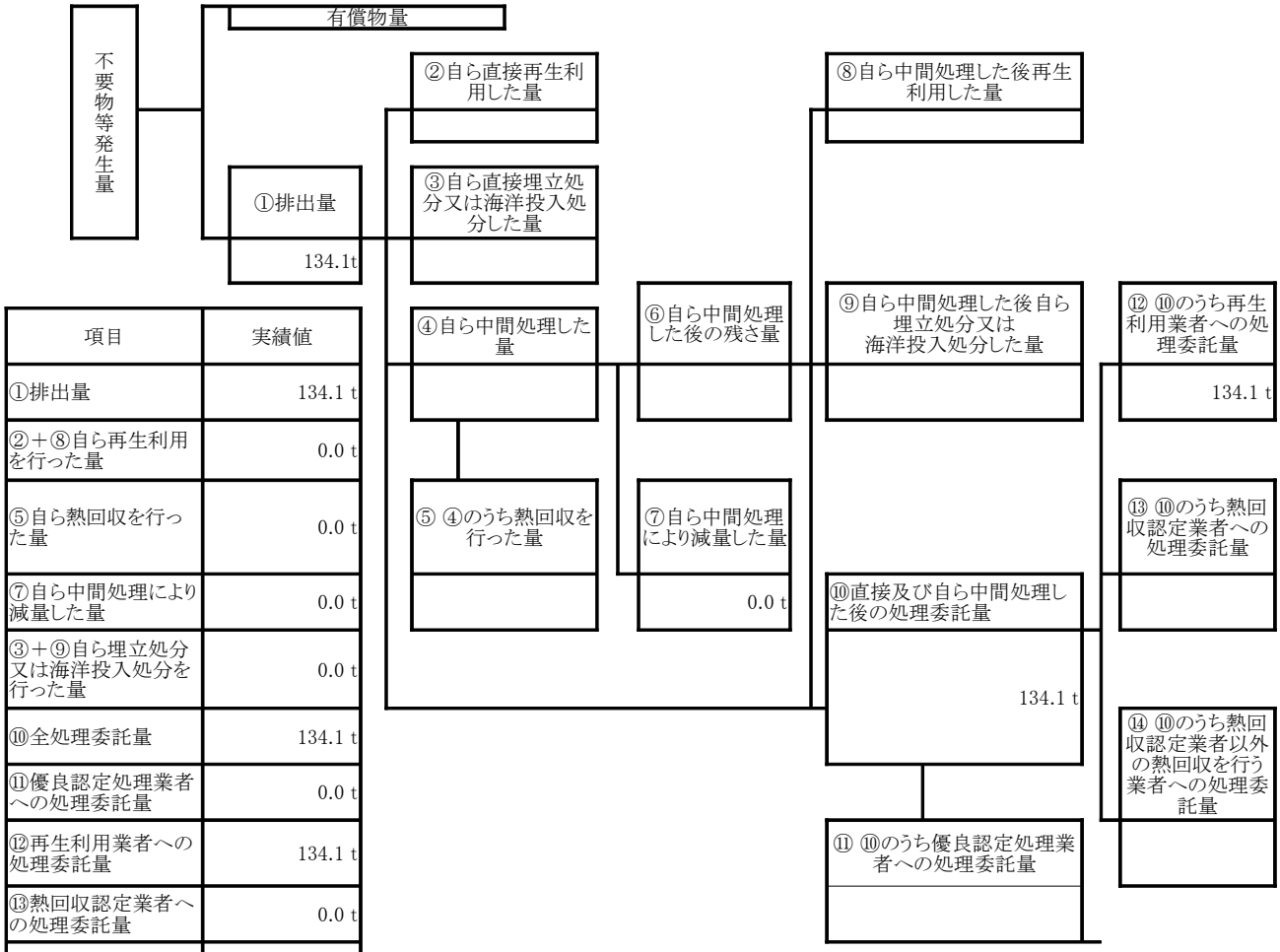


項目	実績値
①排出量	57.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	57.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	57.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

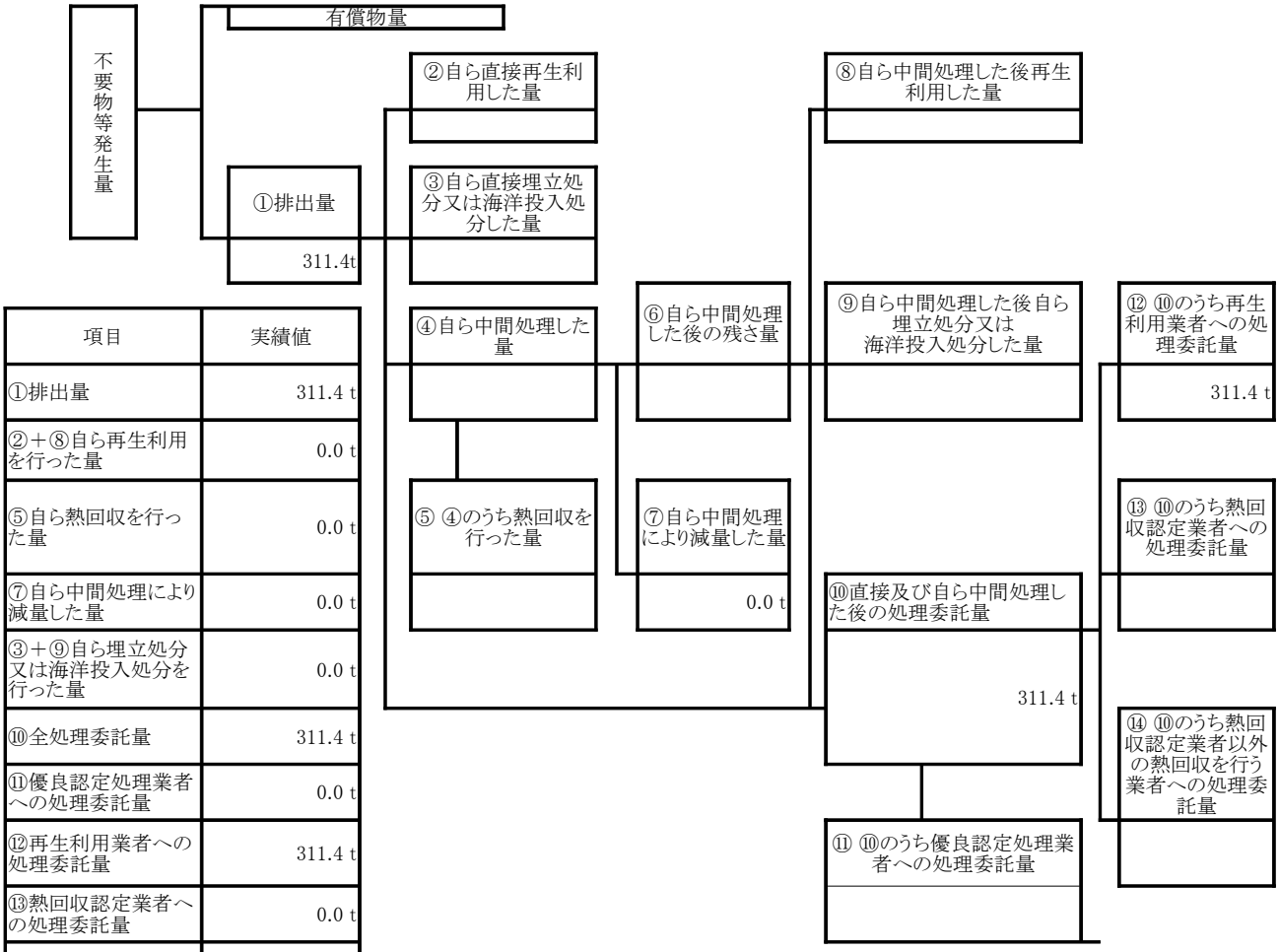


項目	実績値
①排出量	134.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	134.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	134.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

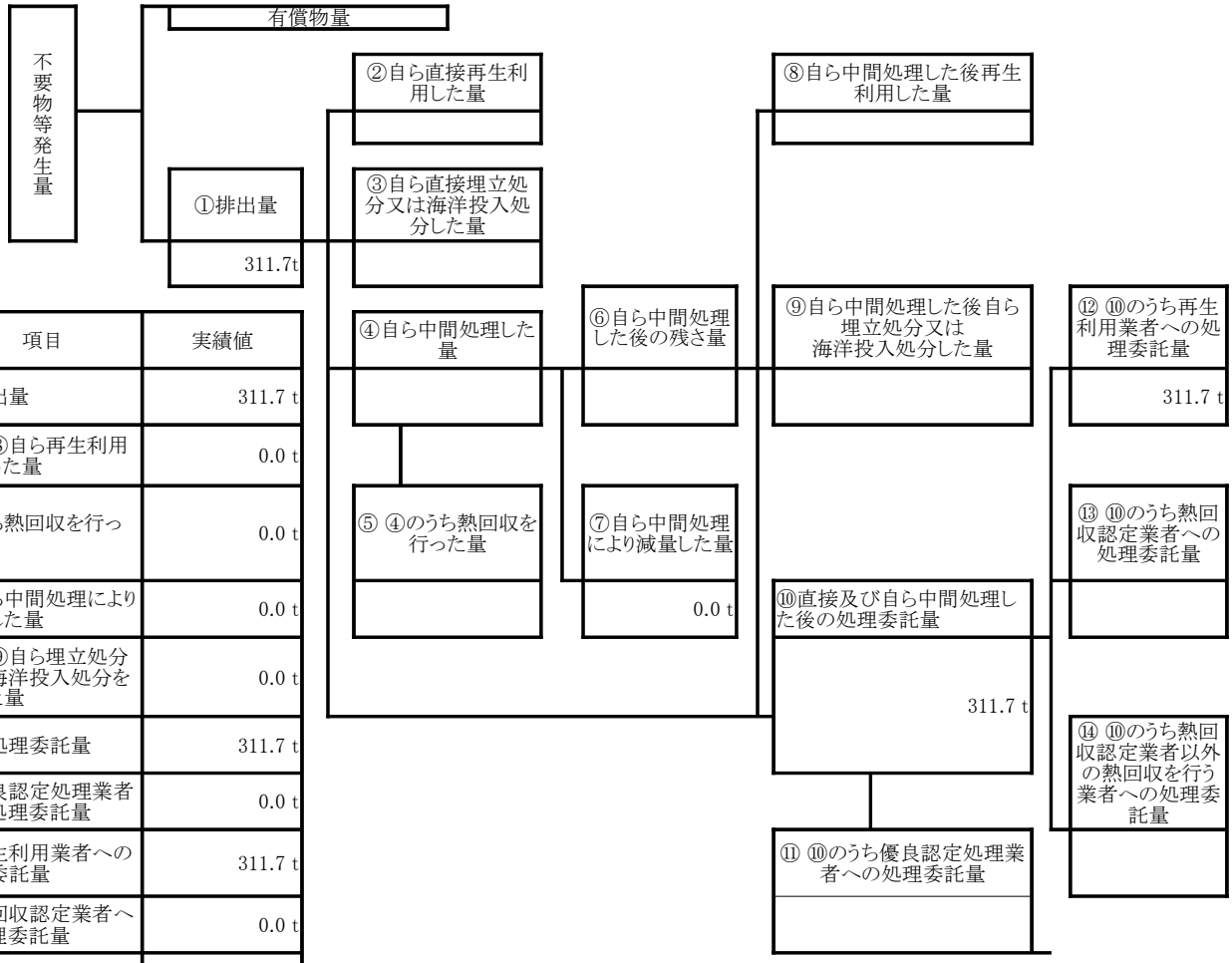


項目	実績値
①排出量	311.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	311.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	311.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

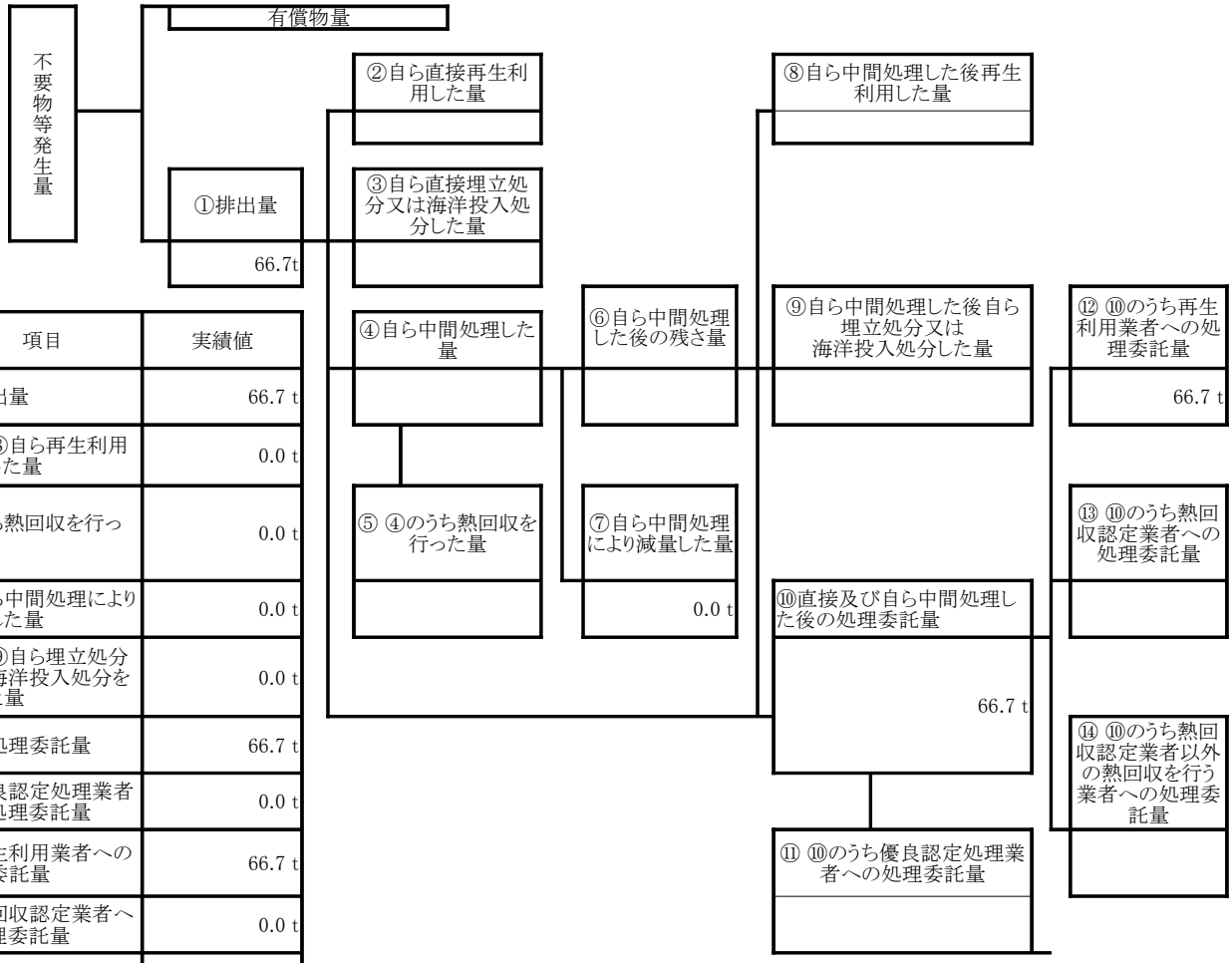


項目	実績値
①排出量	311.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	311.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	311.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: アスコンがら ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



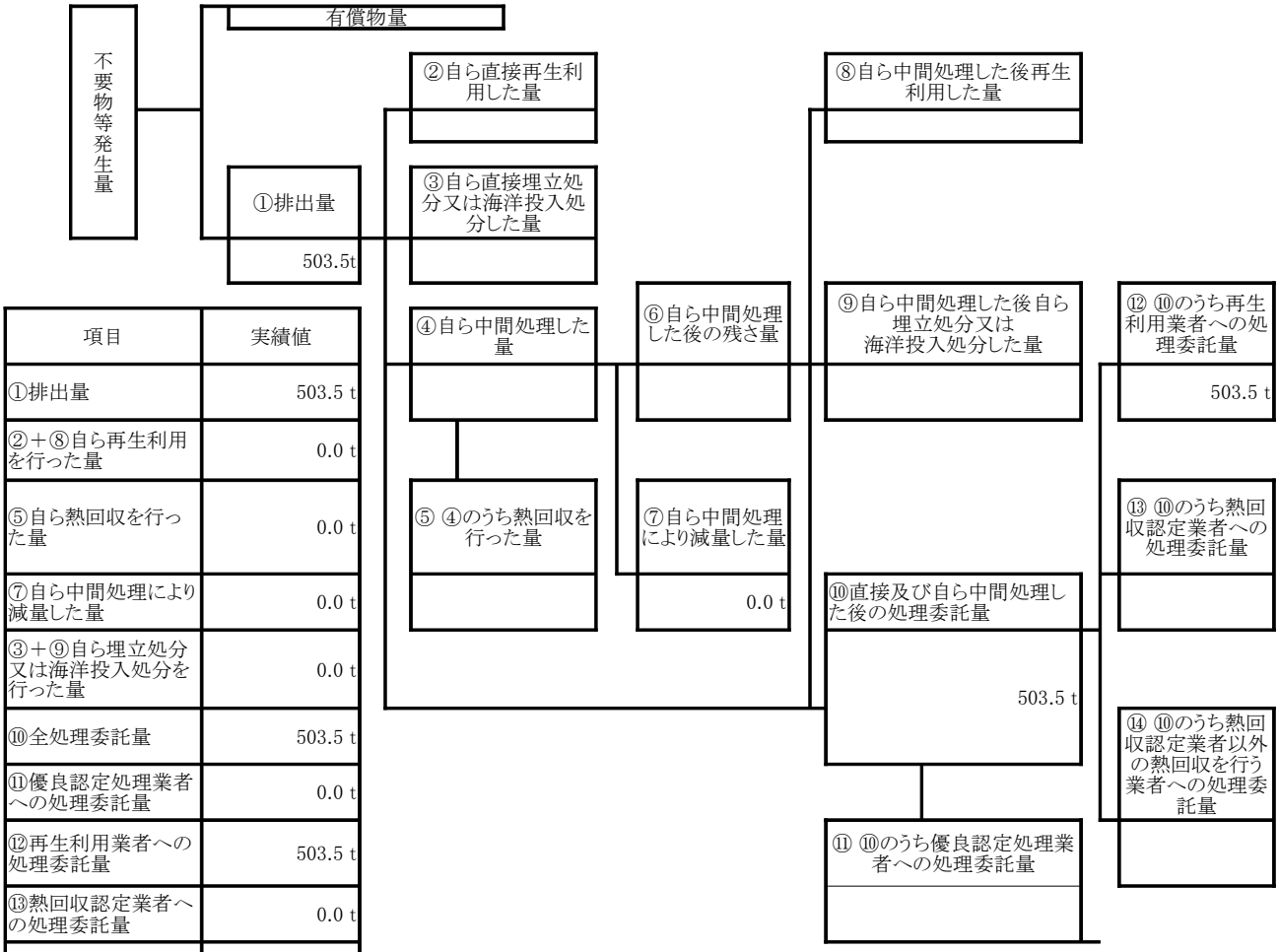
項目	実績値
①排出量	66.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	66.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	66.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

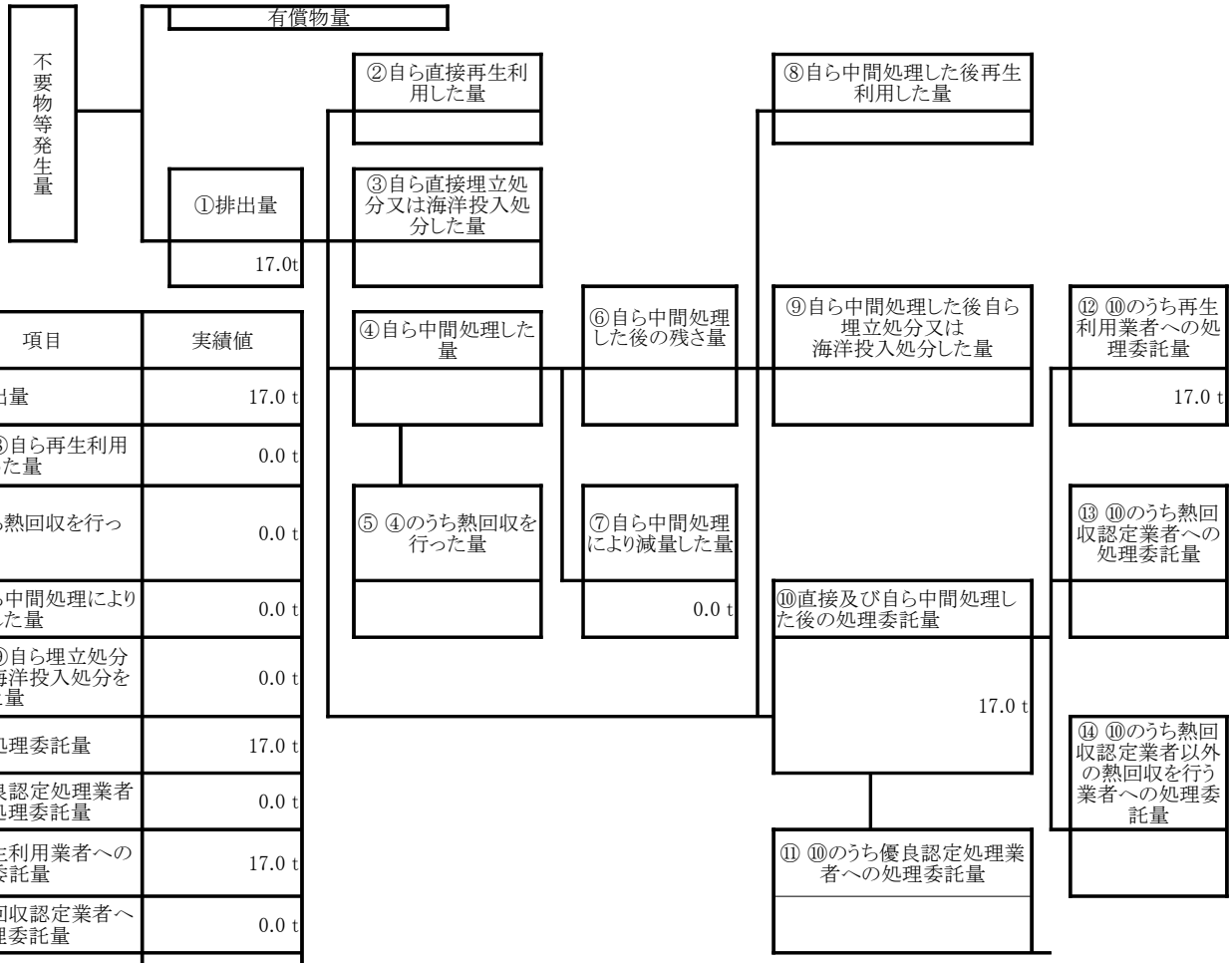


項目	実績値
①排出量	503.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	503.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	503.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　ﾚ・コンクリート・陶磁器くず（石綿ｼ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

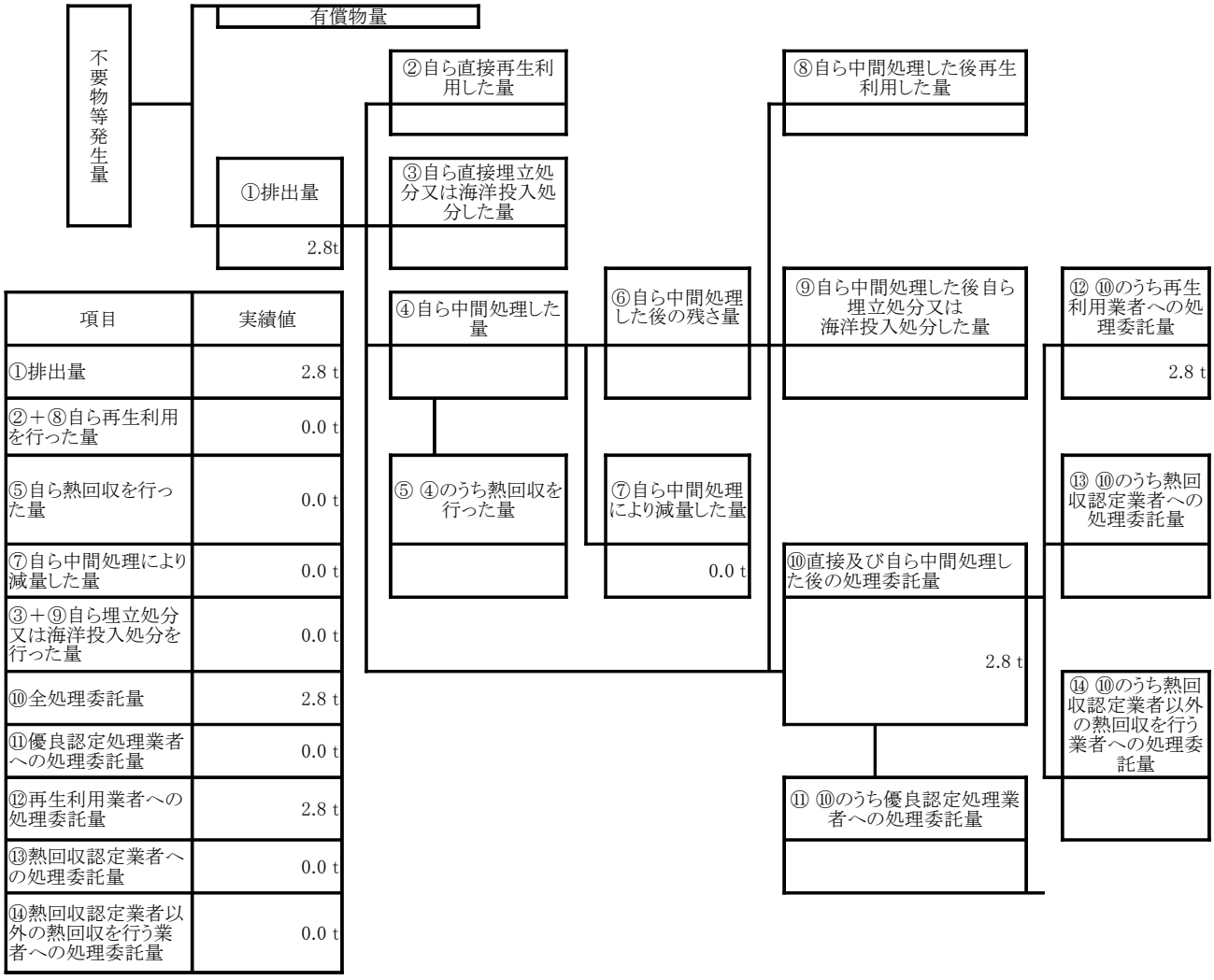


項目	実績値
①排出量	17.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類（石綿含有）**）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

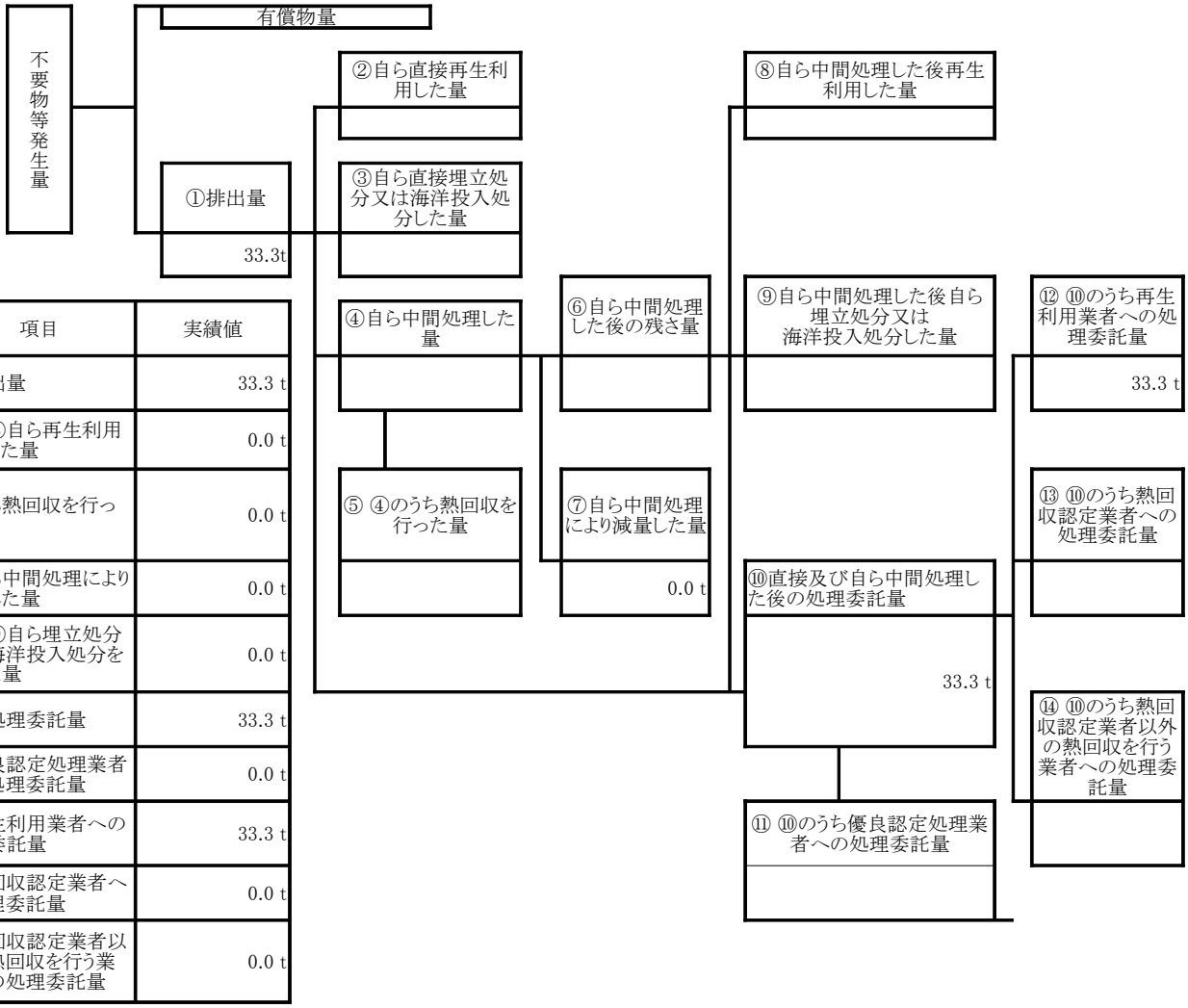


項目	実績値
①排出量	2.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　がれき類（石綿含有）　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

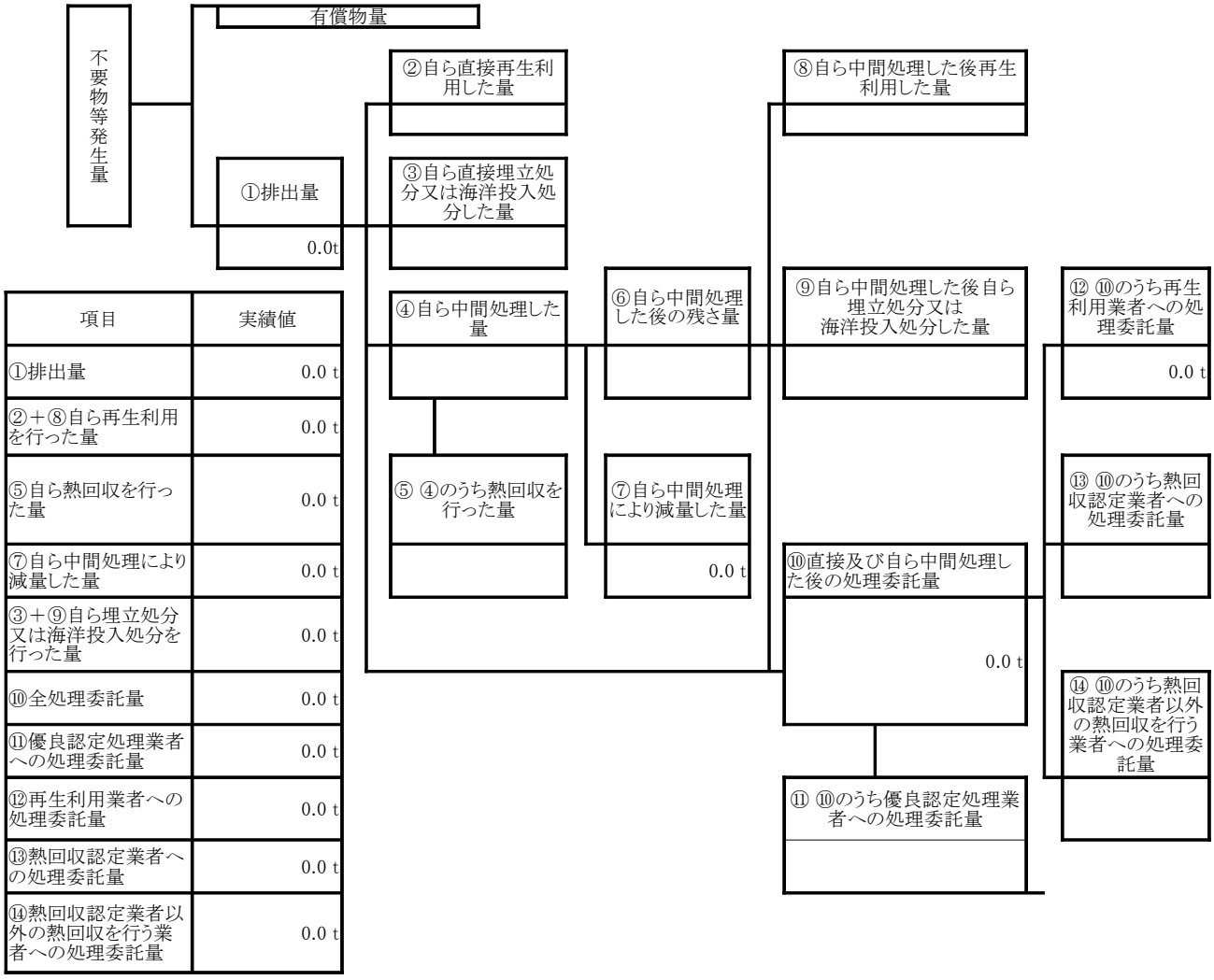


項目	実績値
①排出量	33.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	33.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**蛍光灯（水銀使用）**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年　５月　２日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒559-0031

住　所　大阪市住之江区南港東3丁目3-76

氏　名　㈱信和　代表取締役　澤　育彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　06-6612-0371

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　信和
事業場の所在地	千葉県君津市君津１番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	2億9700万円
③　従業員数	4名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-①の通り

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙-②の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙-実績の通り	
	排出量	6442.921 t	t
	（これまでに実施した取組） 発生する廃棄物を予測し適切に分別を行い処理した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙-目標の通り	
	排出量	220.83 t	t
	（今後実施する予定の取組） これまでに実施した取り組みを引き続き実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 石綿含有廃棄物は廃棄物に混入しないよう確実に分別、保管を実施。 他の廃棄物についても分別、管理を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今までの取り組みを確実に継続実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-実績の通り	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-目標の通り	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-実績の通り	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-目標の通り	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別紙-実績の通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙-目標の通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別紙-実績の通り	
全処理委託量_	6442.921 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	456.485 t	t
再生利用業者への処理委託量	5986.436 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

優良産業廃棄物処理業者や再利用業者などに関する情報、
公開される処理施設の維持管理情報などを活用する。
分別を丁寧に行い、再生利用が出来る業者に委託する。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙-目標の通り	
		全処理委託量_	220.83 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	19.4 t	t
		再生利用業者への処理委託量	201.43 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） これまでに実施した取り組みを引き続き実施する。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		排　出　量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		排　出　量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																	
	①現状	【前年度（ 令和 6 年度）実績】）															
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	管理型混廃	鉱さい	木くず	紙くず	廃プラ	耐火材	廃石膏ボード	廃油	石綿含有廃棄物 ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ陶器くず	石綿含有廃棄物 がれき類	特定有害産業廃棄物（廃石綿）
		排 出 量	96.18 t	5416.81 t	245 t	28.3 t	36.61 t	55 t	1.8 t	53.68 t	235.62 t	12 t	2.79 t	92 t	14.8 t	29.8 t
	②計画	【目標】															
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	管理型混廃	鉱さい	木くず	紙くず	廃プラ	耐火材	廃石膏ボード	廃油	石綿含有廃棄物 ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ陶器くず	石綿含有廃棄物 がれき類	特定有害産業廃棄物（廃石綿）
		排 出 量	0 t	146.38 t	53.65 t	4.4 t	0 t	14.9 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1.5 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																	
	①現状	【前年度（ 令和 6 年度）実績】）															
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	管理型混廃	鉱さい	木くず	紙くず	廃プラ	耐火材	廃石膏ボード	廃油	石綿含有廃棄物 ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ陶器くず	石綿含有廃棄物 がれき類	特定有害産業廃棄物（廃石綿）
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】															
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	管理型混廃	鉱さい	木くず	紙くず	廃プラ	耐火材	廃石膏ボード	廃油	石綿含有廃棄物 ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ陶器くず	石綿含有廃棄物 がれき類	特定有害産業廃棄物（廃石綿）
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																	
	①現状	【前年度（ 令和 6 年度）実績】）															
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	管理型混廃	鉱さい	木くず	紙くず	廃プラ	耐火材	廃石膏ボード	廃油	石綿含有廃棄物 ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ陶器くず	石綿含有廃棄物 がれき類	特定有害産業廃棄物（廃石綿）
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】															
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	管理型混廃	鉱さい	木くず	紙くず	廃プラ	耐火材	廃石膏ボード	廃油	石綿含有廃棄物 ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ陶器くず	石綿含有廃棄物 がれき類	特定有害産業廃棄物（廃石綿）
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

別紙 - ①

産業廃棄物の一連の処理の工程

・コンクリートがら
再生処理業者に委託して、細かく破砕、再生砕石として利用

・アスファルトがら
再生処理業者に委託して、細かく破砕、再資源化

・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
再生処理業者に委託して再生原料として再資源化

・がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化
再利用できないものは管理型処分場にて埋立処理

・建設混合廃棄物
再生処理業者に委託して分別を行い再資源化
再利用できないものは管理型処分場にて埋立処理

・廃プラスチック類
再生処理業者に委託して、固形燃料化、再生資材原料として再資源化

・木くず（生木）、紙くず
再生処理業者に委託して、チップ（合成材、燃料用）として再資源化
再利用できないものは管理型処分場にて埋立処理

・水銀使用製品産業廃棄物
再生処理業者に委託して分別を行い再資源化

・廃石綿等
処分業者へ委託し、管理型最終処分場にて埋立処分

・石綿含有産業廃棄物（がれき類）・特定有害産業廃棄物
発じん、飛散、流出等防止措置の上、受入可能な許可処分場にて埋立処分

・石綿含有産業廃棄物（ガラス陶磁器くず、廃プラスチック類）
処分業者へ委託し、管理型最終処分場にて埋立処分

・廃石膏ボード

処分業者へ委託し、管理型最終処分場にて埋立処分

・耐火材

処分業者へ委託し、管理型最終処分場にて埋立処分

・廃油

再生処理業者に委託して、固形燃料化、再生資材原料として再資源化

・鉱さい

処分業者へ委託し、管理型最終処分場にて埋立処分

・金属くず

再生処理業者に委託して、固形燃料化、再生資材原料として再資源化

・鉛バッテリー

再生処理業者に委託して、固形燃料化、再生資材原料として再資源化

・汚泥

処分業者へ委託し、管理型最終処分場にて埋立処分

・燃え殻

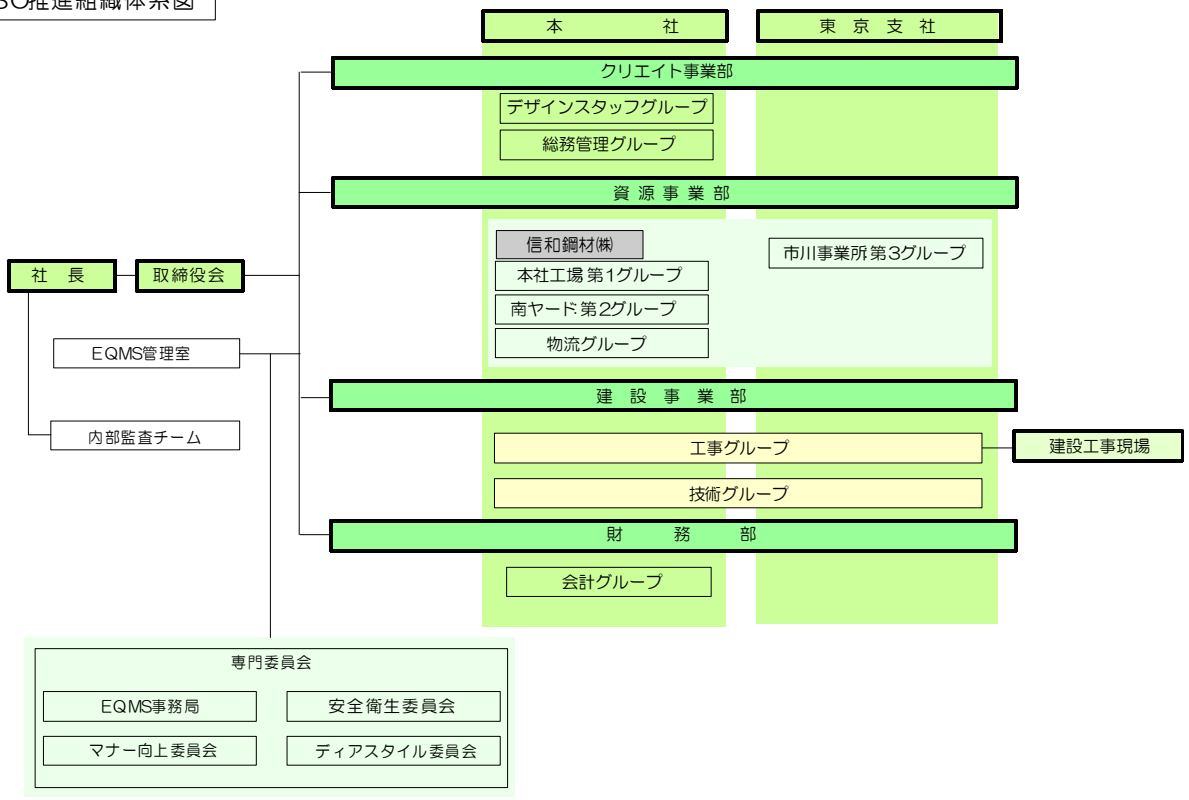
処分業者へ委託し、管理型最終処分場にて埋立処分

別紙 - ①

廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		所属：本社　　役職：EQMS管理室長
廃棄物担当者		組織名：EQMS管理室　　組織人数：7人
役割	EQMS管理室	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物ぼ発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長：事業部長　　・委員：各部署 ・事務局：EQMS管理室
	EQMS管理長	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	事業部長 （工事長）	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処分業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約書の締結 ○産業廃棄物管理票の交付、管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

株式会社 信 和
ISO推進組織体系図



様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　25 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒559-0031
住 所　大阪市住之江区南港東3丁目3-76
氏 名　㈱信和 代表取締役 澤 育彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 06-6612-0371

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 信和
事業場の所在地	千葉県君津市君津1番地
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

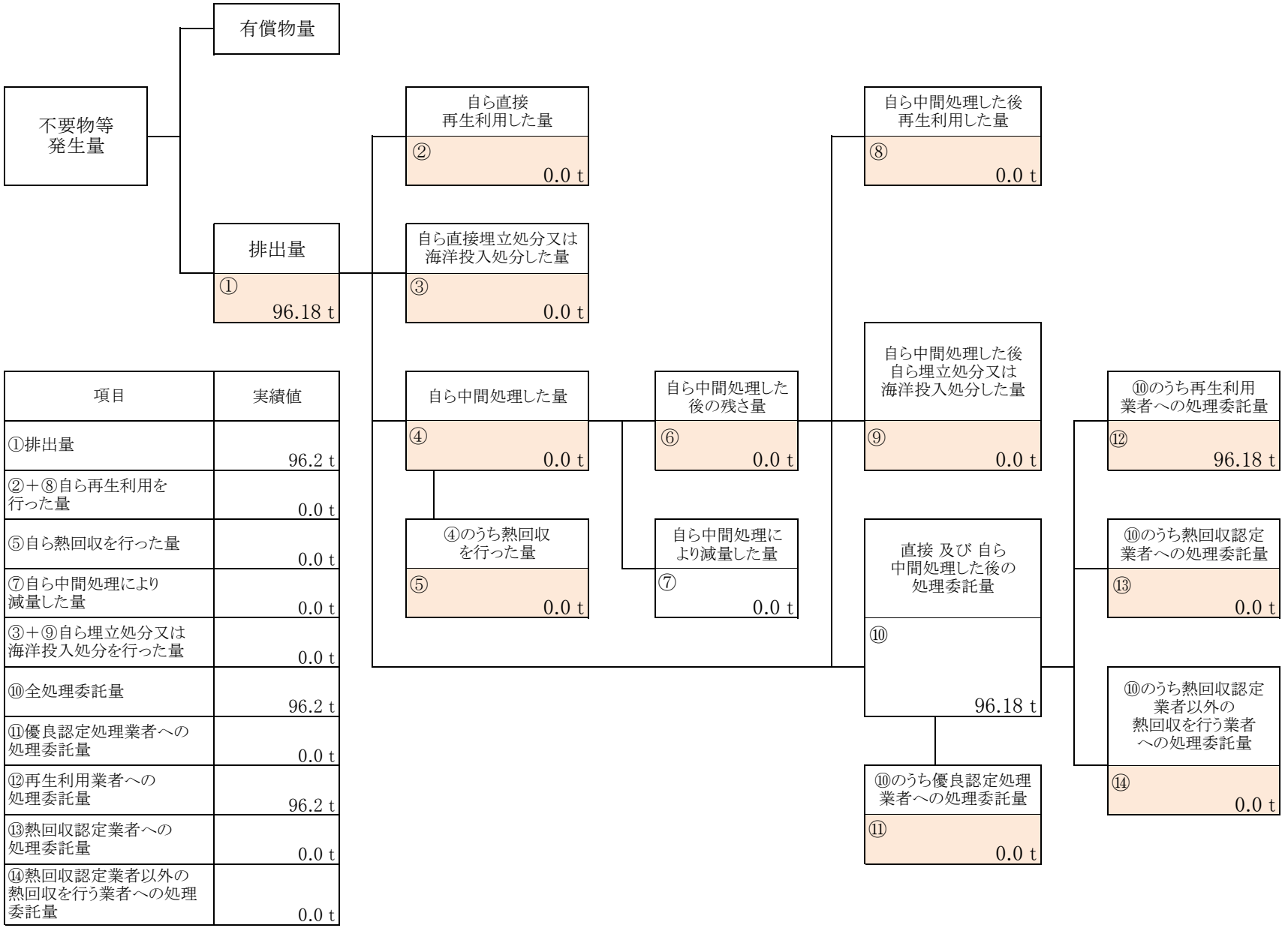
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7990.24 t	全処理委託量	560.23 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	464.03 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	6965.98 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルトがら）

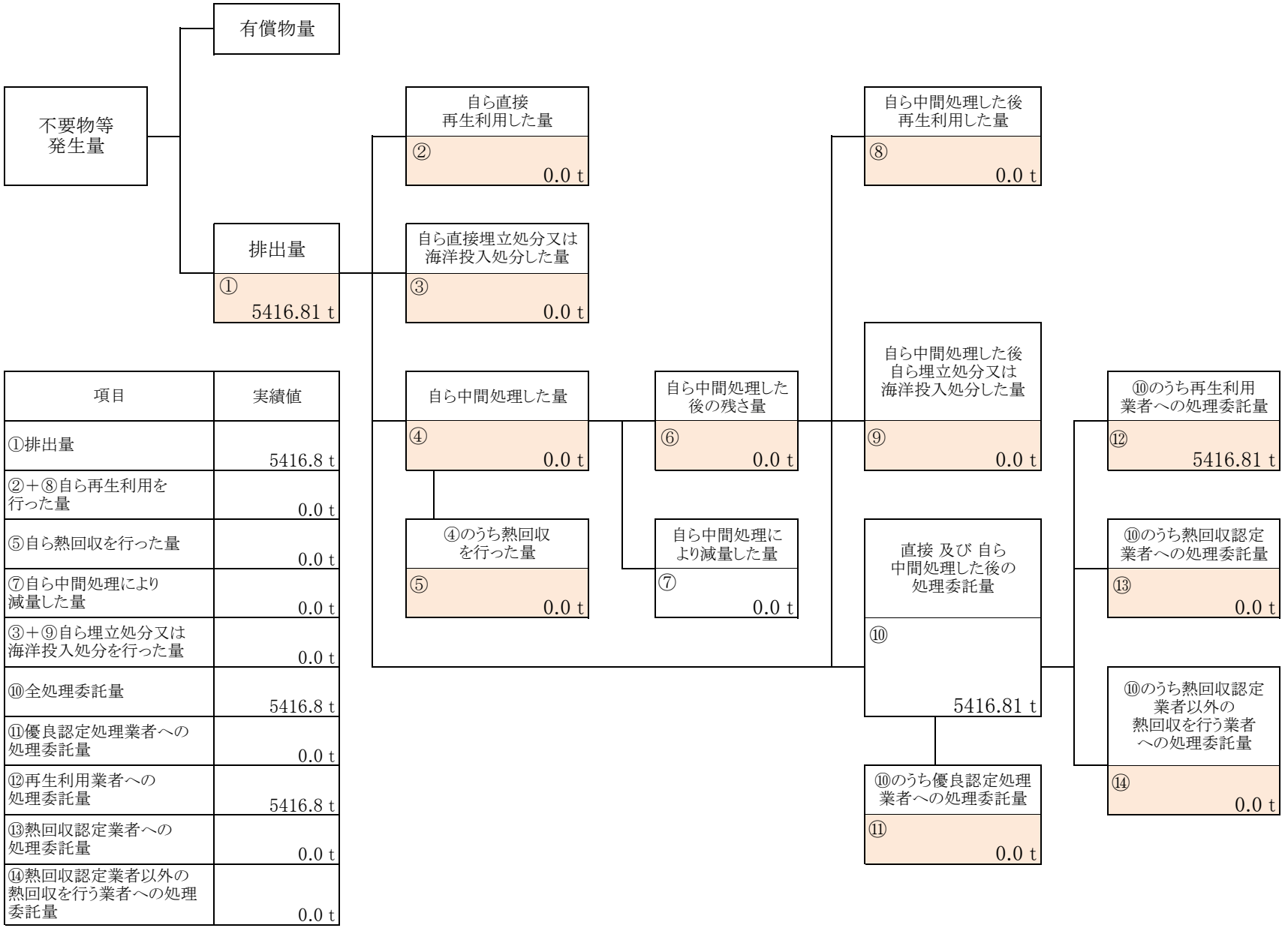


項目	実績値
①排出量	96.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	96.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	96.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

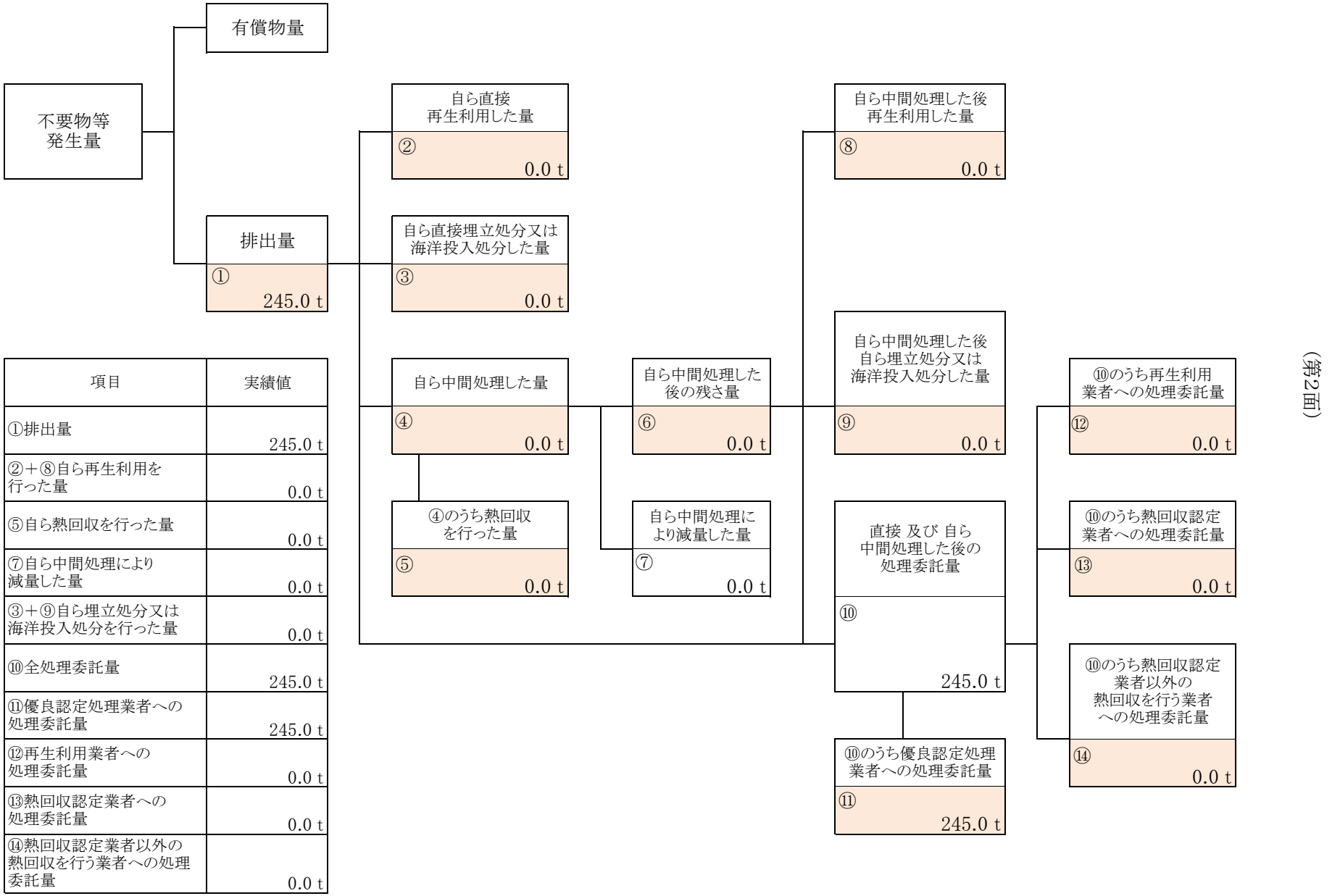


項目	実績値
①排出量	5416.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5416.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5416.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ｶﾞﾗｽ陶磁器くず）

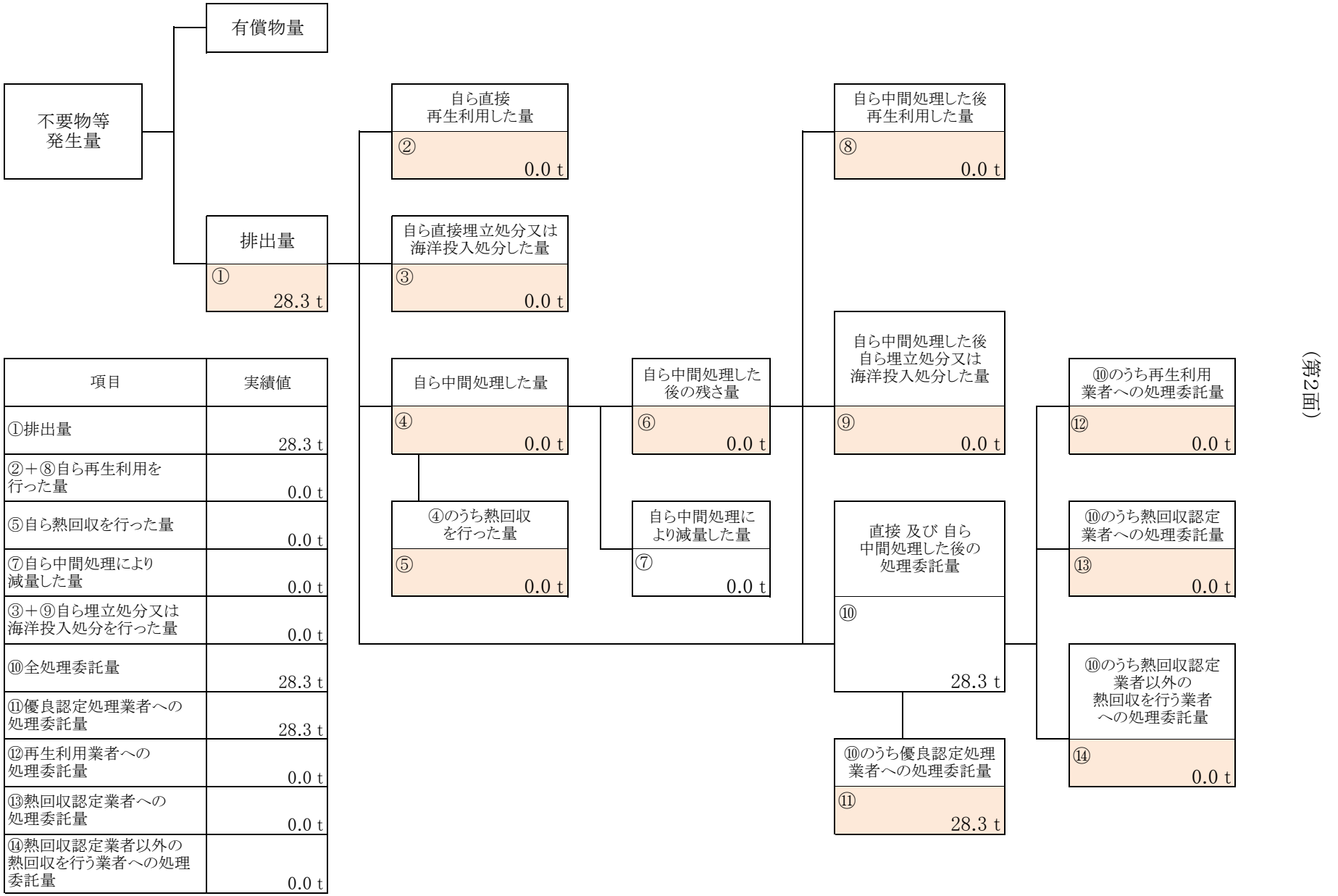


項目	実績値
①排出量	245.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	245.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	245.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混廃**）

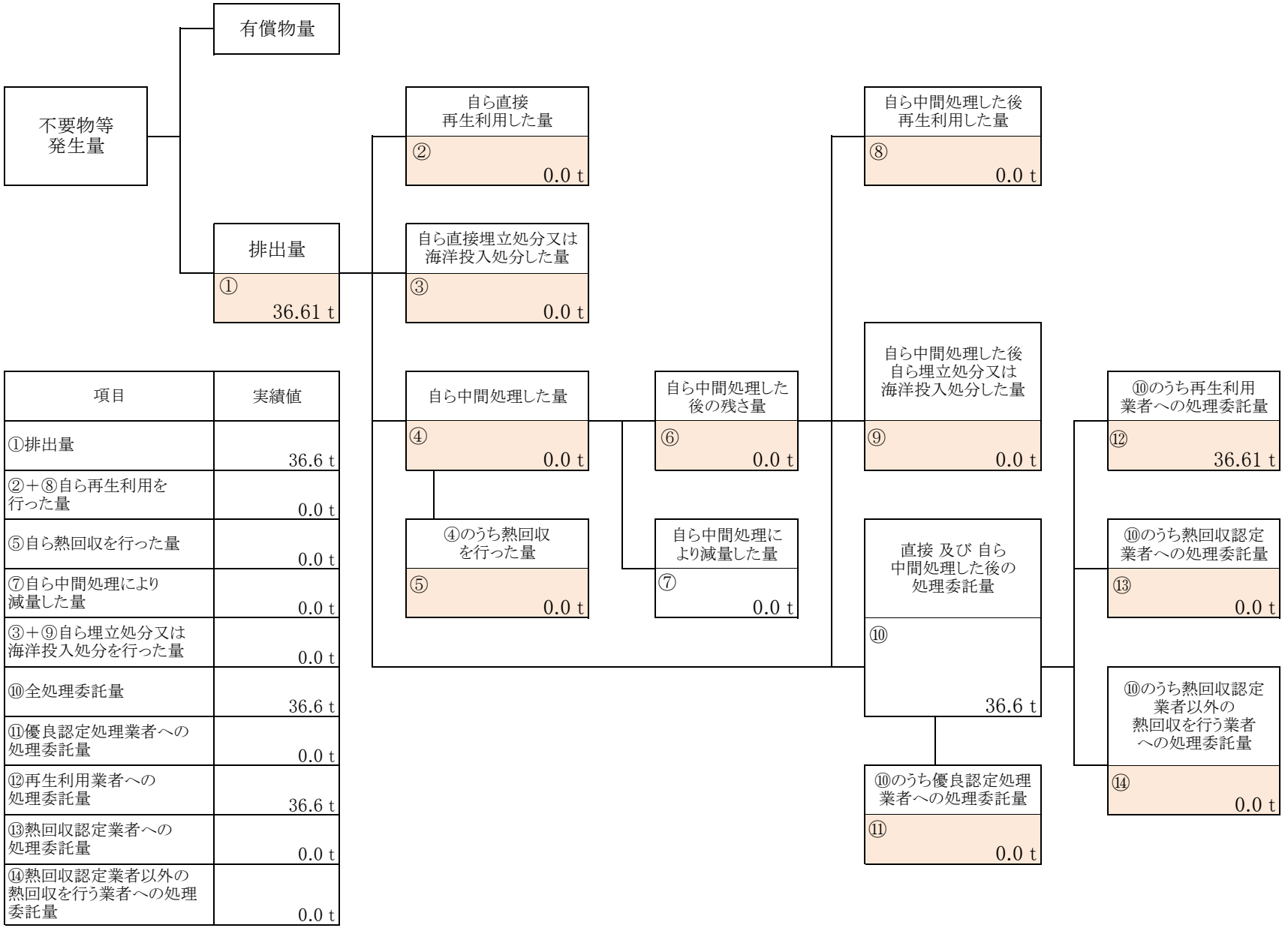


項目	実績値
①排出量	28.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	28.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 鉱さい ）

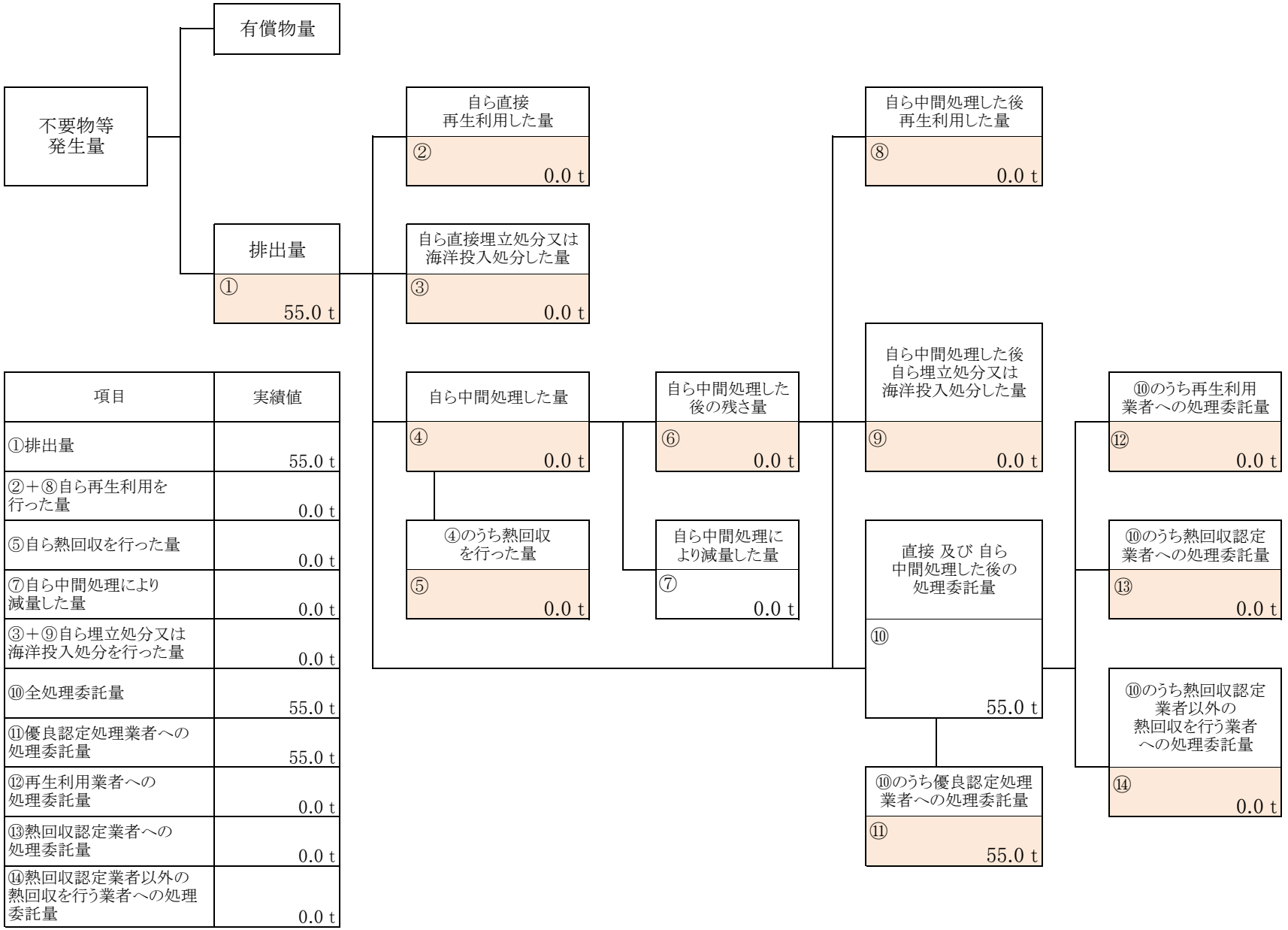


項目	実績値
①排出量	36.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	36.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	36.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

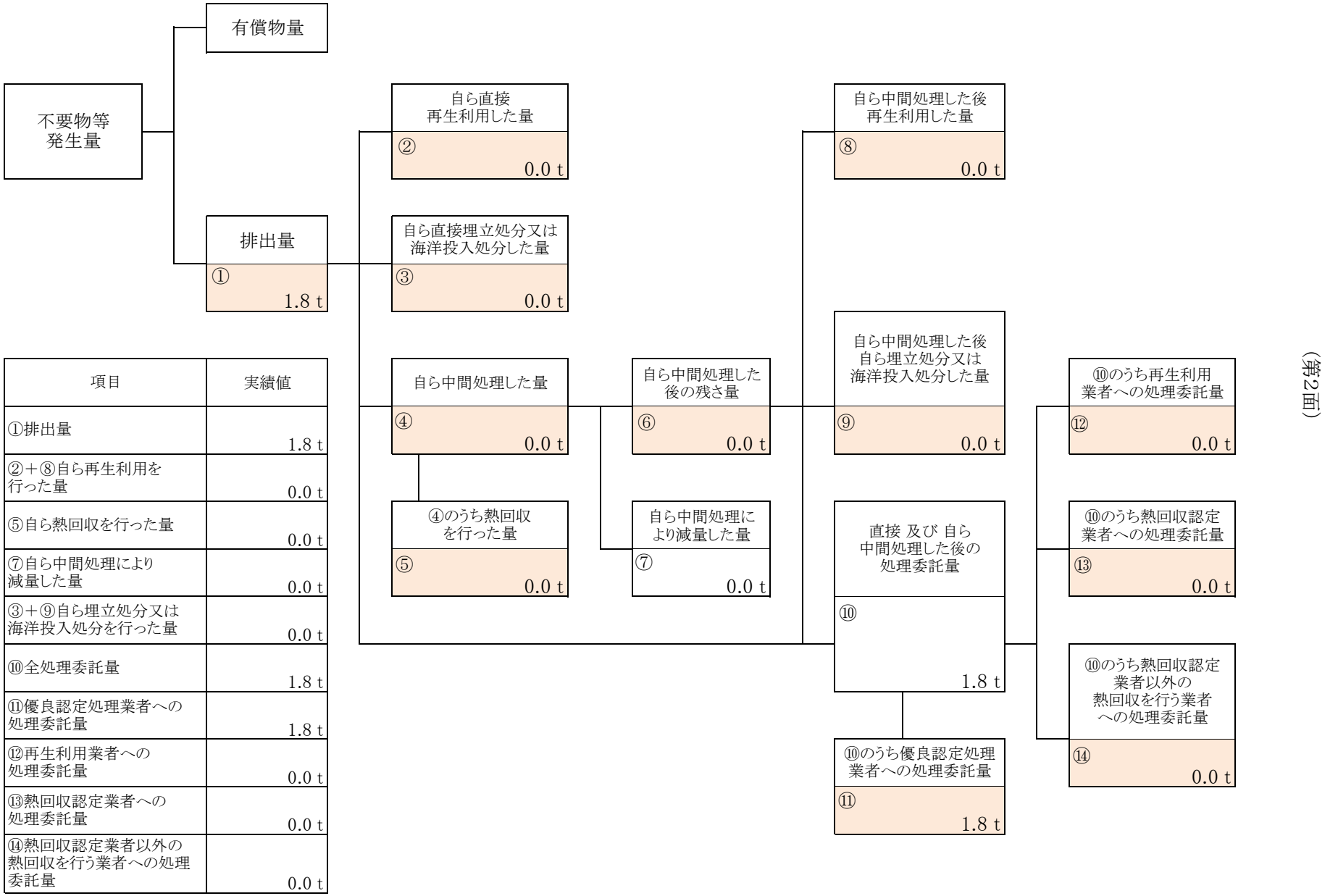


項目	実績値
①排出量	55.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	55.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

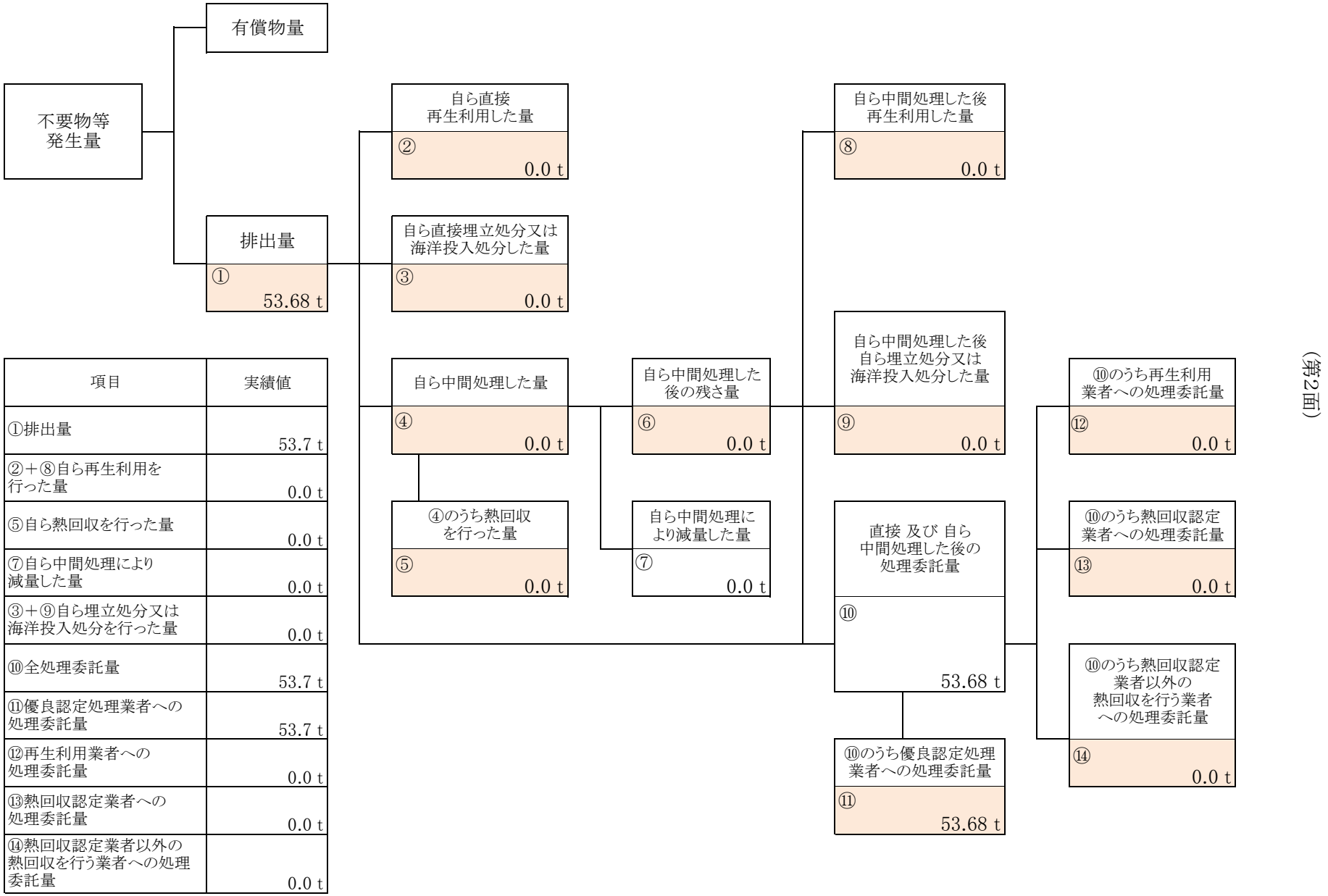


項目	実績値
①排出量	1.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

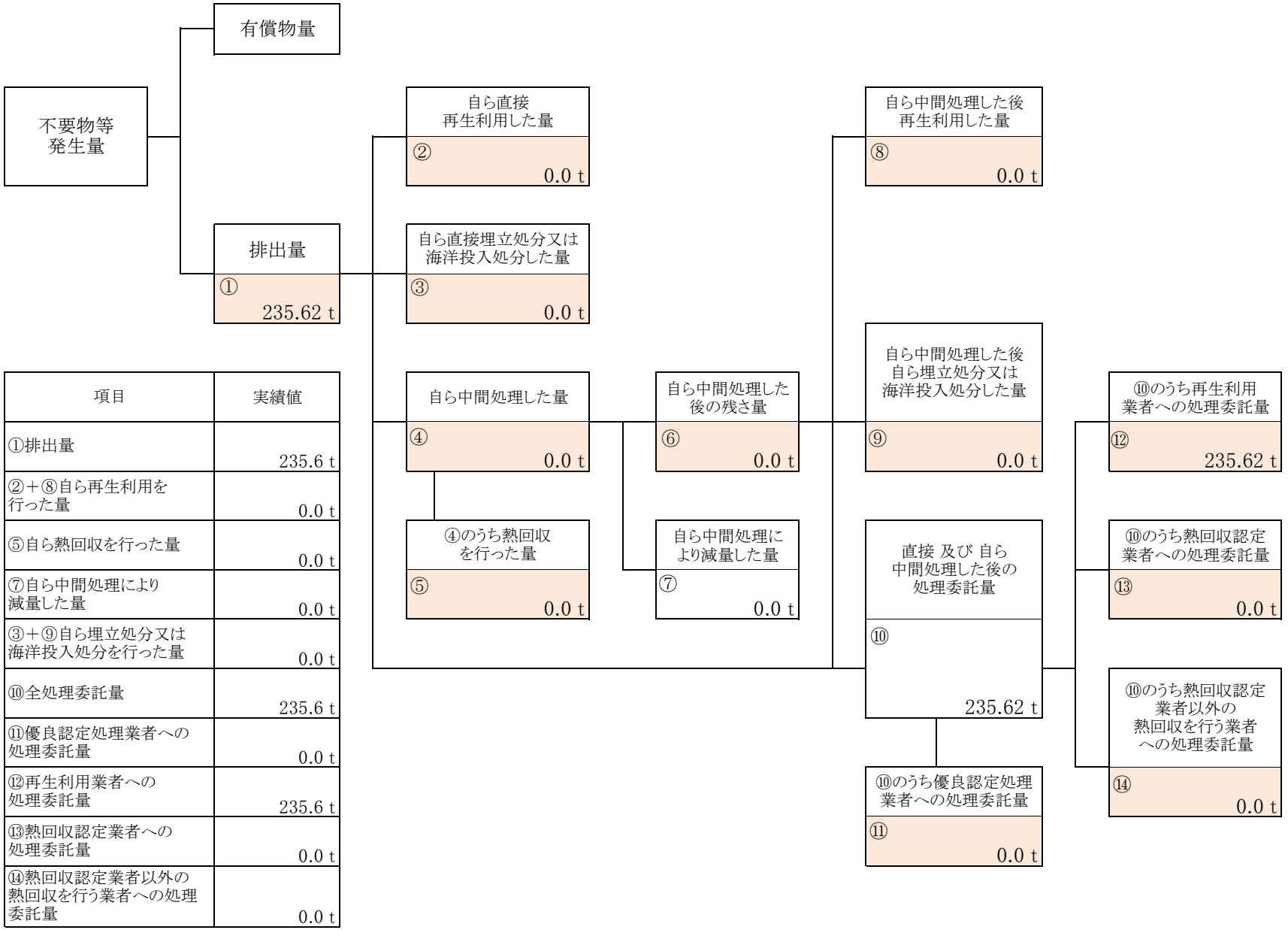


項目	実績値
①排出量	53.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	53.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	53.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **耐火材** ）

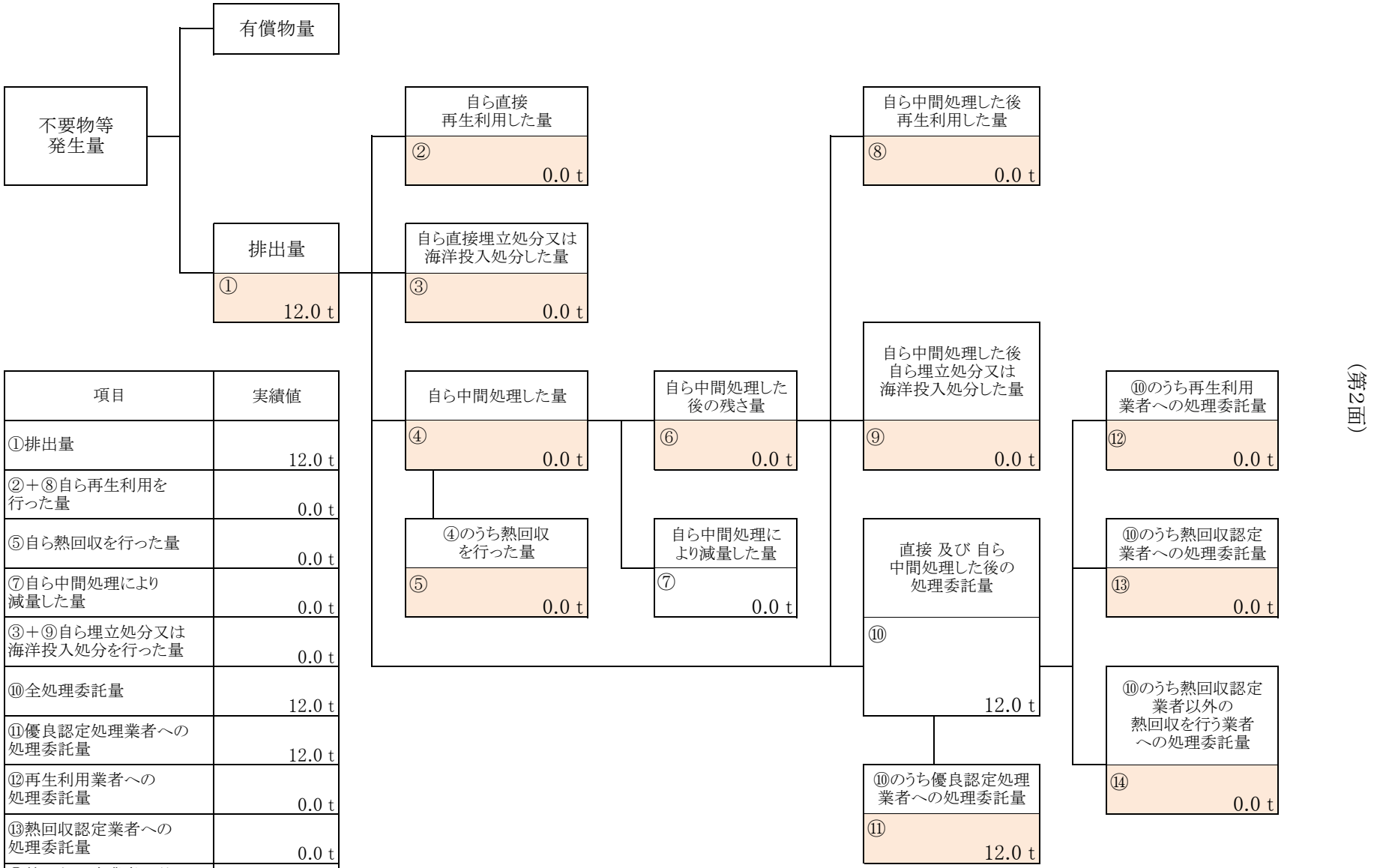


項目	実績値
①排出量	235.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	235.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	235.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃石膏ボード**）

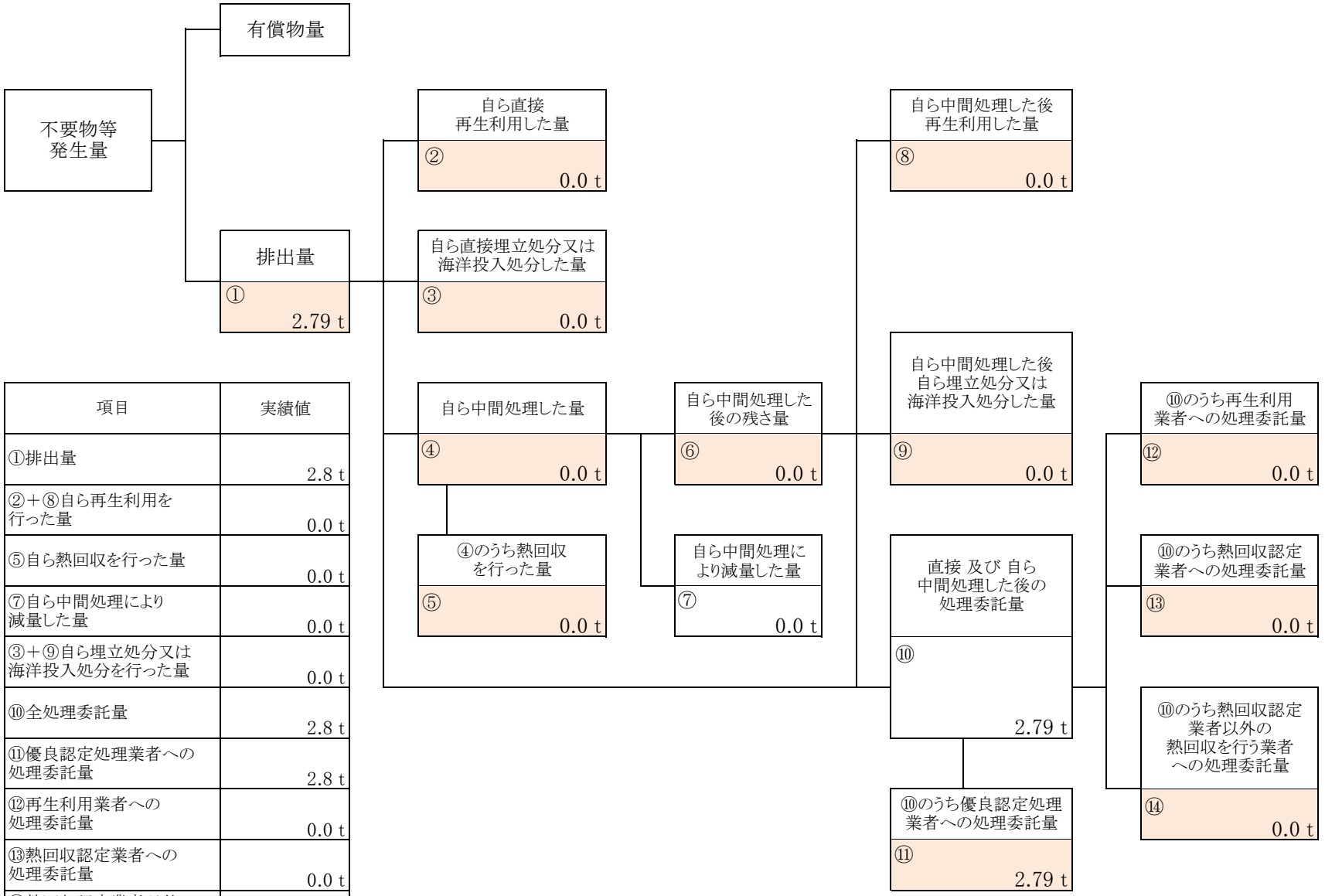


項目	実績値
①排出量	12.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

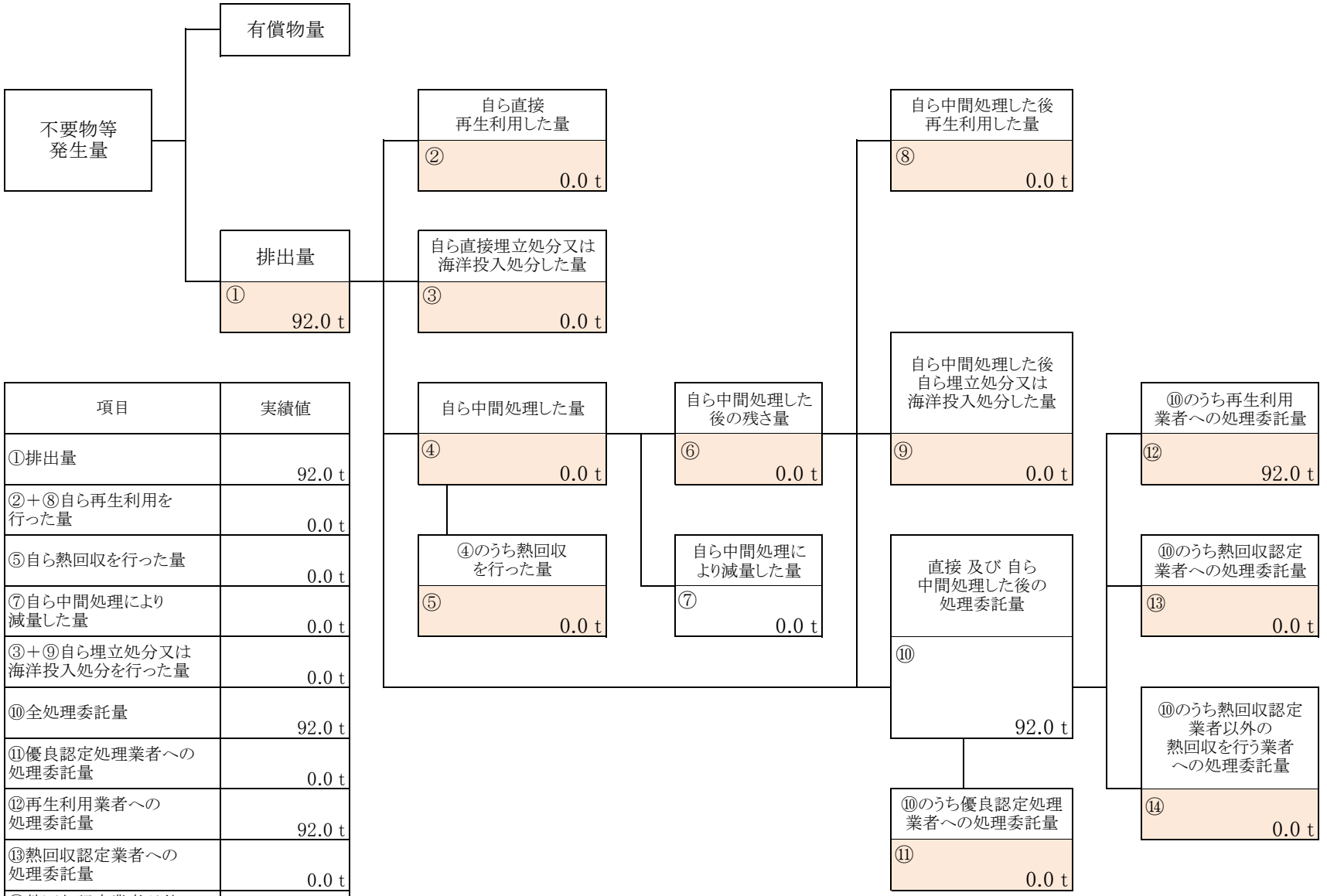


項目	実績値
①排出量	2.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石綿含有廃棄物 ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ陶器くず）

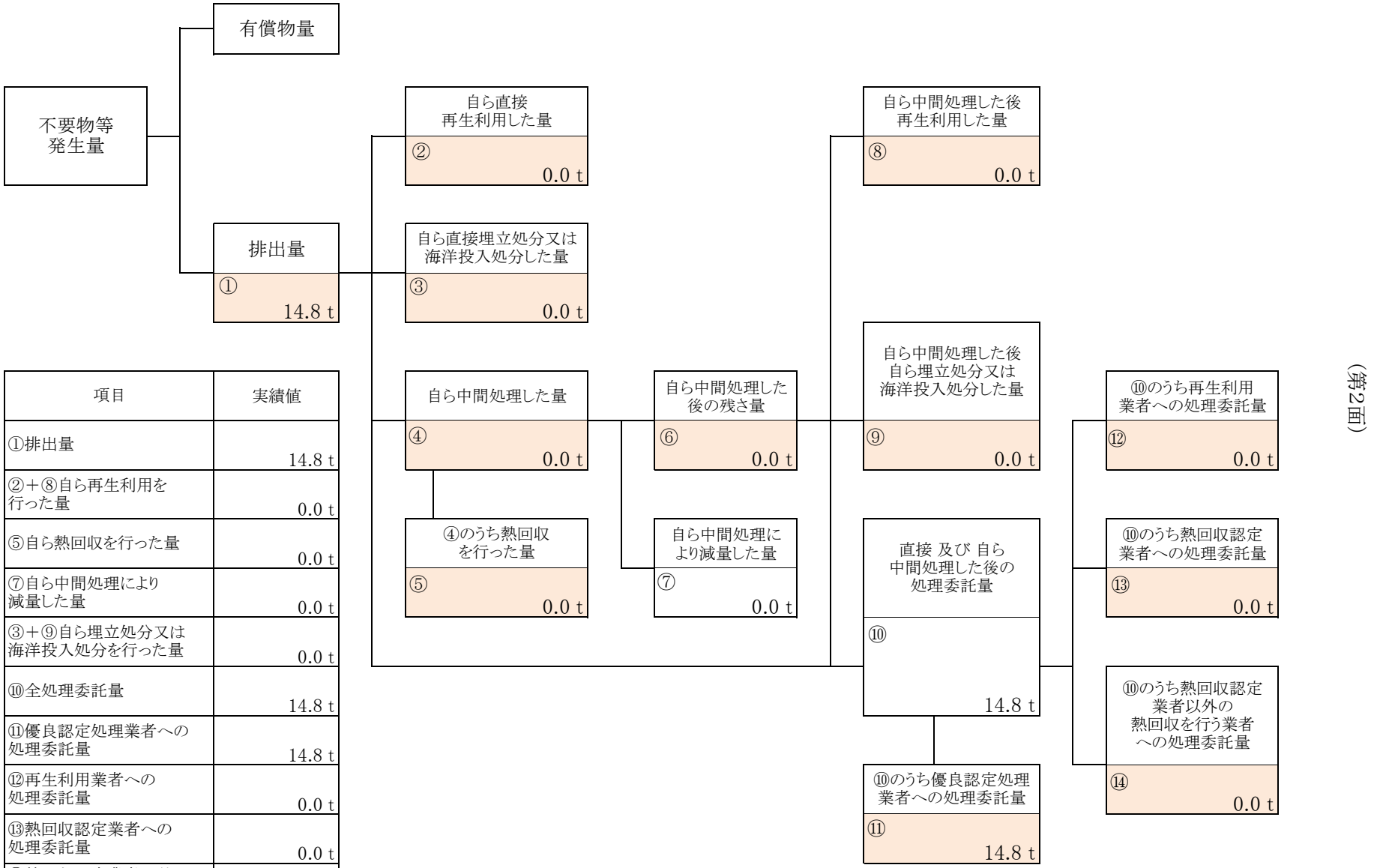


項目	実績値
①排出量	92.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	92.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	92.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石綿含有廃棄物 がれき類**）

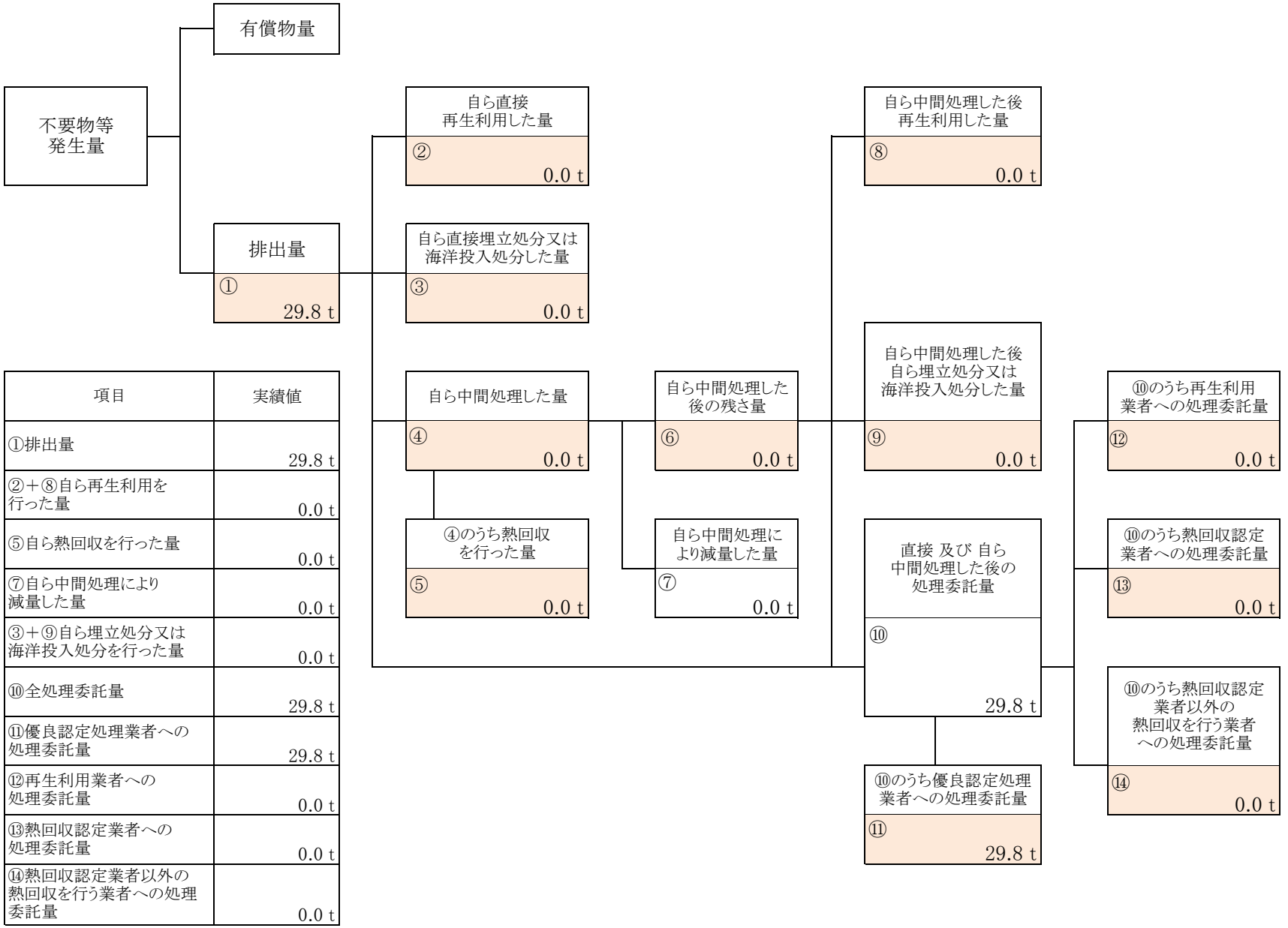


項目	実績値
①排出量	14.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **特定有害産業廃棄物（廃石綿）**）

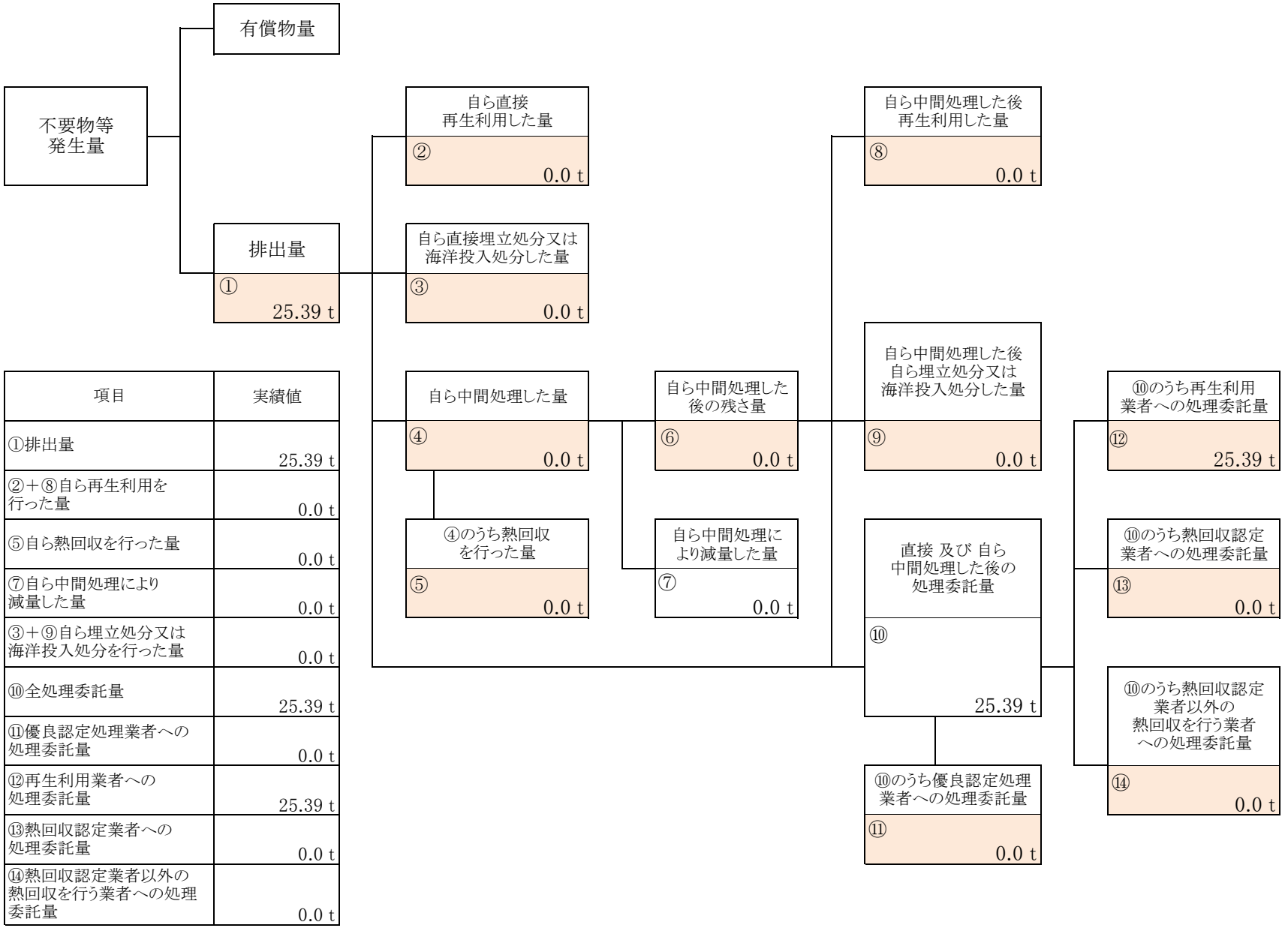


項目	実績値
①排出量	29.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**特定有害産業廃棄物（汚泥）**）

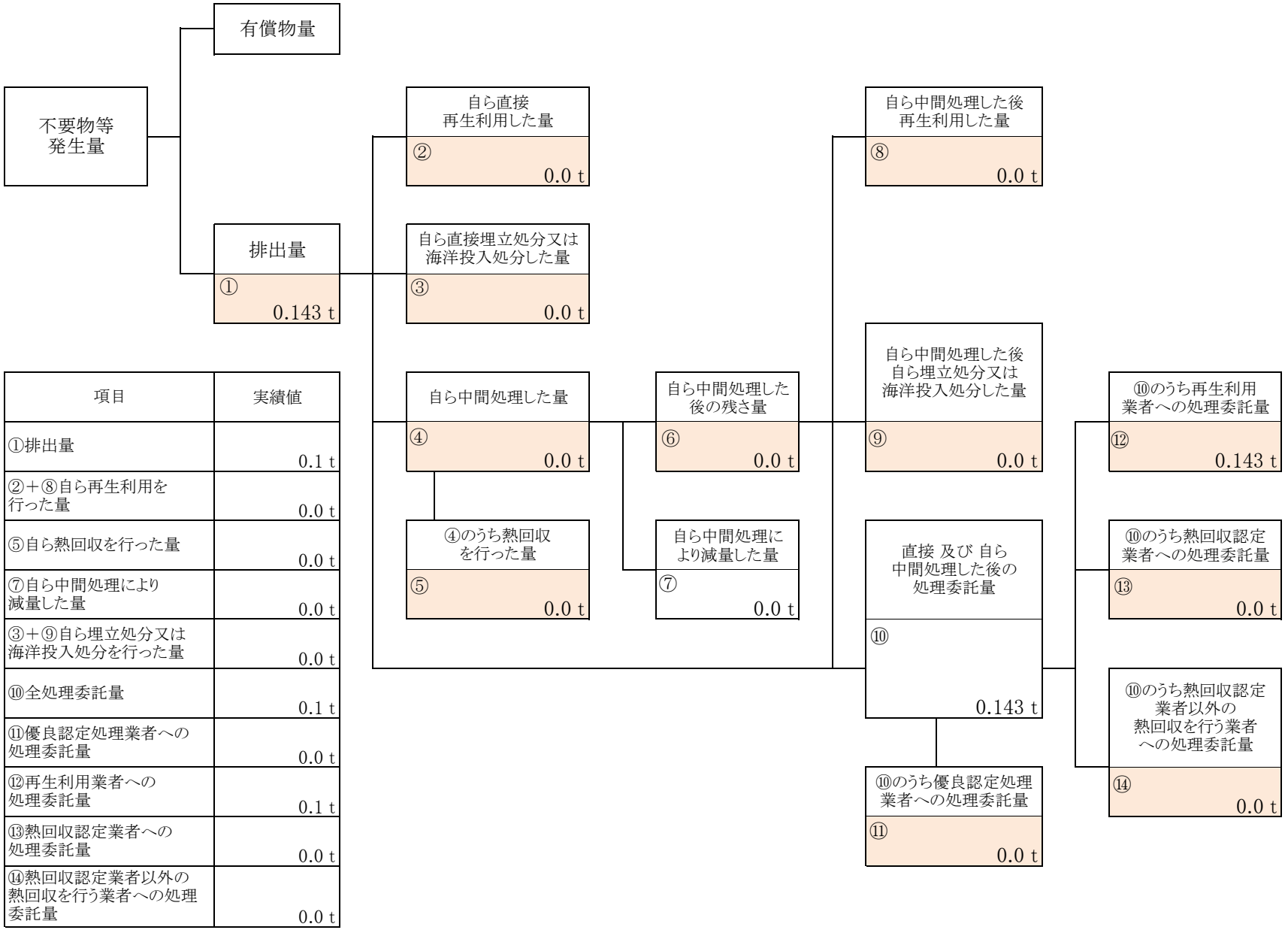


項目	実績値
①排出量	25.39 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	25.39 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	25.39 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：鉛バッテリー）

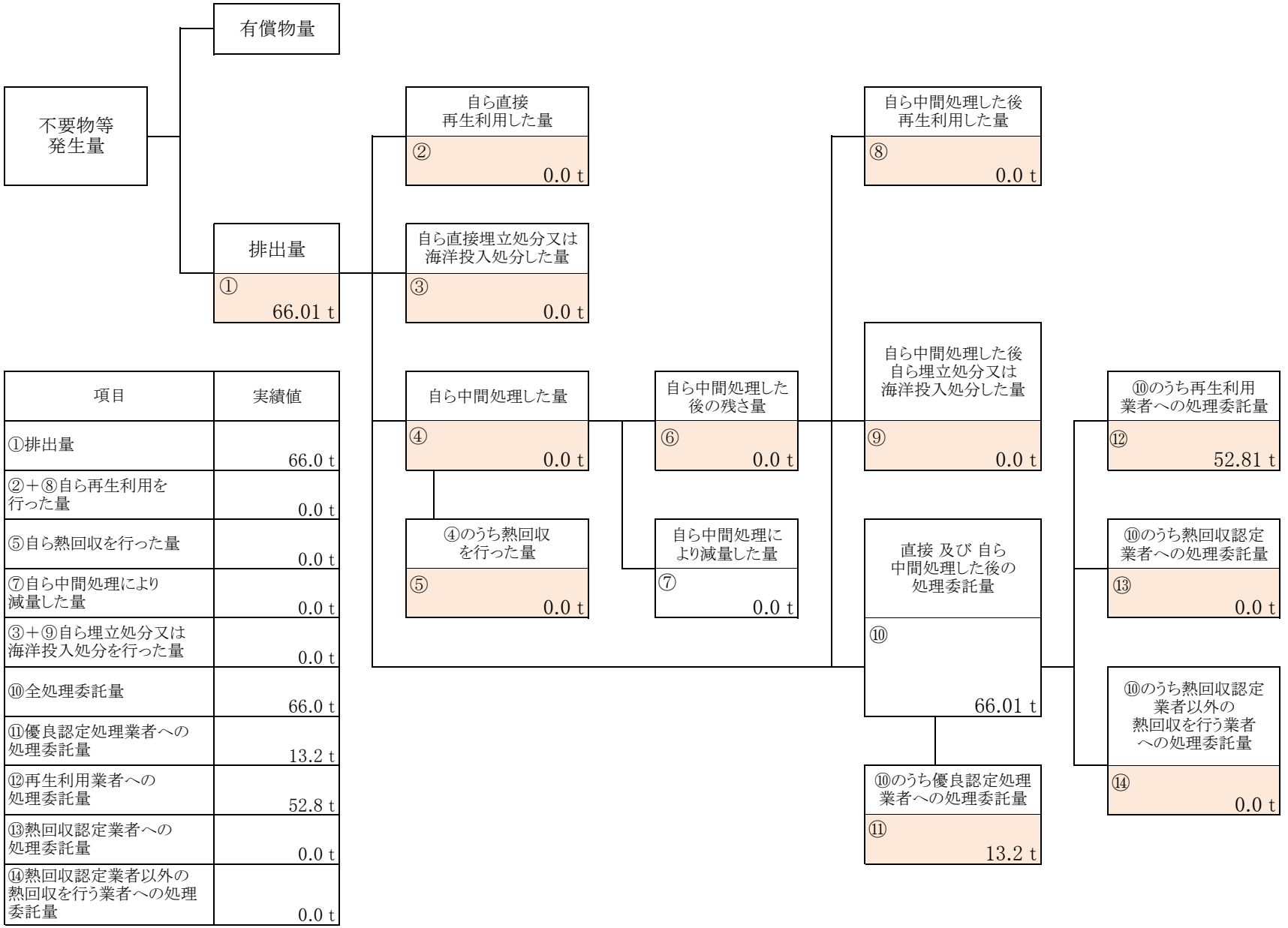


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **汚泥** ）

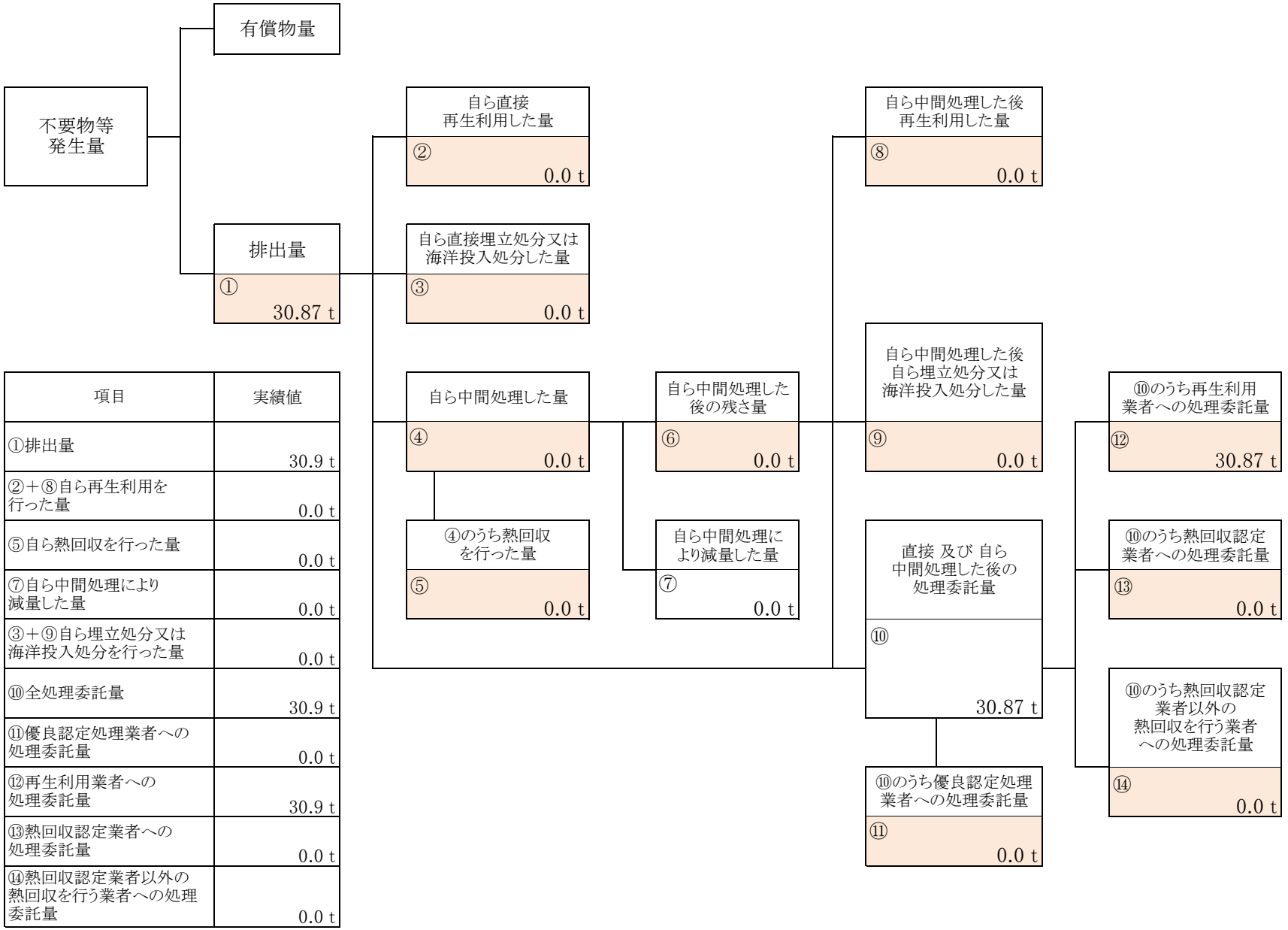


項目	実績値
①排出量	66.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	66.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	52.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **燃え殻** ）

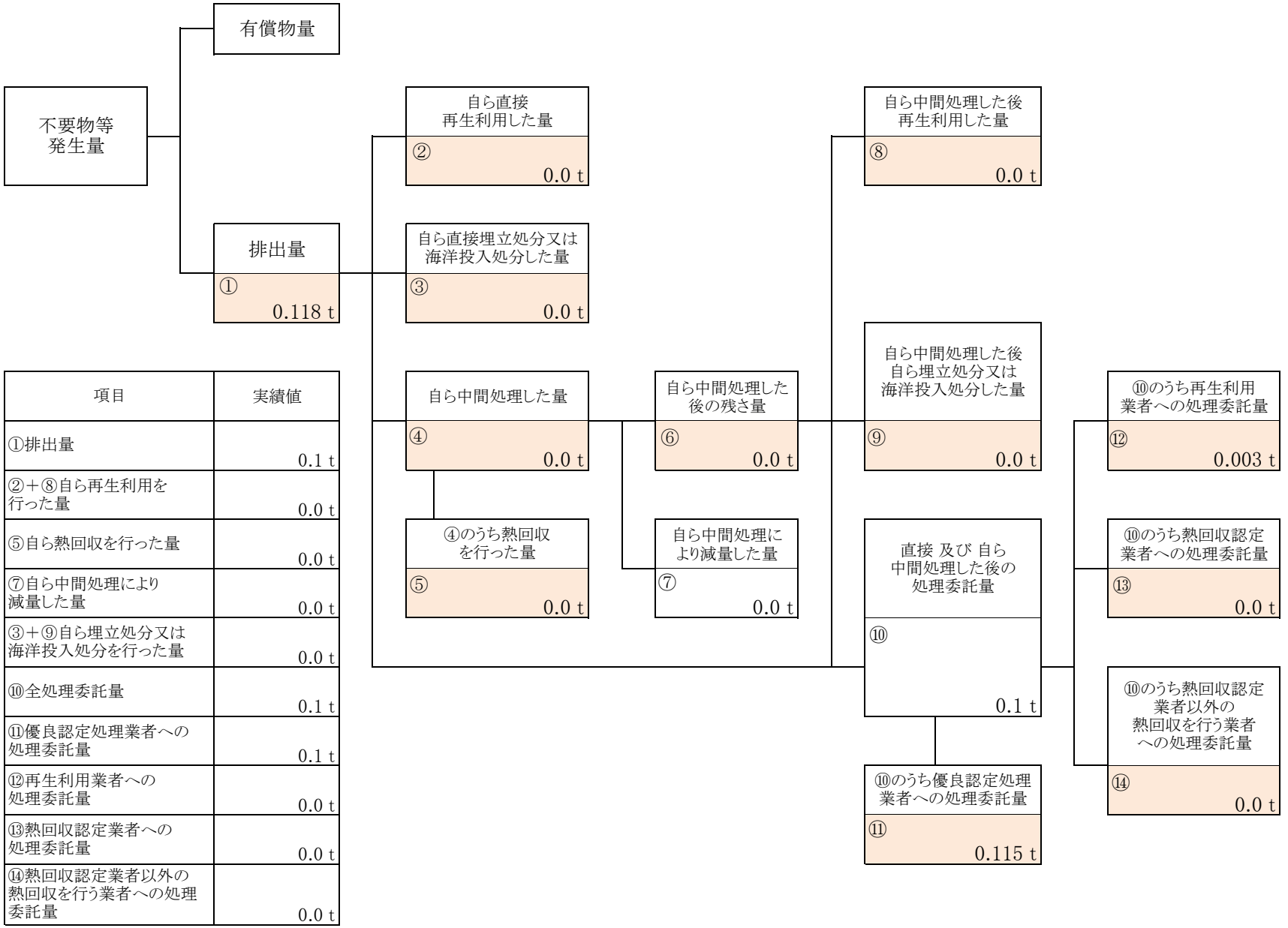


項目	実績値
①排出量	30.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	30.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**水銀使用製品産業廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月 30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒２９９－００５９

住　所　千葉県市原市白金町四丁目５７番地

氏　名　進和建設株式会社

代表取締役　伊藤　浩

電話番号　　０４３６－２２－８１８１

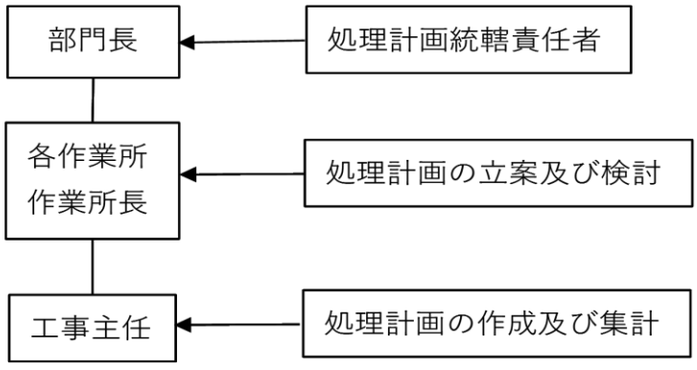
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	進和建設株式会社
事業場の所在地	千葉県市原市白金町四丁目５７番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高：３１６，８２０千円
③　従業員数	39
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別表１に記載

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
排出量	2.75 t	0.55 t

（これまでに実施した取組）

産業廃棄物処理計画書にもとづいて分別処理を推進し、建設系産業廃棄物の減量化・再資源化を促進している中間処理業者に委託している。
又、ＲＣ砕石等の再生資源を購入している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
排出量	2.75 t	0.55 t

（今後実施する予定の取組）

引続き発生時に分別を行うことにより、混合廃棄物を抑制し、減量化・再資源化を促進している中間処理業者に委託する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

再資源化が容易になるように、がれき類・廃プラスチック類・木くず類など産業廃棄物の種類毎に工程を分けて作業する事で分別処理を行い、混合廃棄物を抑制している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引続き作業工程内での分別を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

これまでに工事施工条件として工事現場内でがれき類の中間処理を行い、建設資材として再生利用したことはあるが、前年度の実績としてはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

引続き、工事施工条件として明示された場合は積極的に行う。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

これまでに自社で熱回収を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

引続き、自社で熱回収を行う予定はない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

これまでに自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

引続き、自社で埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ
全処理委託量	2.75 t	0.55 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	2.75 t	0.55 t
認定熱回収業者への処理委託量	― t	― t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

建設産業廃棄物の減量化・再資源化を促進している中間処理業者に委託している。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	
		全処理委託量	2.75 t	0.55	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00	t
		再生利用業者への処理委託量	2.75 t	0.55	t
		認定熱回収業者への処理委託量	― t	―	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	― t	―	t
		（今後実施する予定の取組） 引続き、減量化・再資源化を促進している中間処理業者に委託する。			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
		排　出　量	23.58　t	2.00　t	67.75　t	25.43　t	815.8　t	73.9　t	47.05　t	174.25　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
		排　出　量	23.58　t	2.00　t	67.75　t	25.43　t	815.8　t	73.9　t	47.05　t	174.25　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
	全処理委託量	23.58 t	2.00 t	67.75 t	25.43 t	815.8 t	73.9 t	47.05 t	174.25 t
	優良認定処理業者への処理委託量	23.58 t	2.00 t	8.96 t	25.43 t	0 t	0 t	0 t	70.95 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	58.79 t	0 t	815.8 t	73.9 t	47.05 t	103.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	コンクリートがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	鉱さい	がれき類
	全処理委託量	23.58 t	2.00 t	67.75 t	25.43 t	815.8 t	73.9 t	47.05 t	174.25 t
	優良認定処理業者への処理委託量	23.58 t	2.00 t	8.96 t	25.43 t	0 t	0 t	0 t	70.95 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	58.79 t	0 t	815.8 t	73.9 t	47.05 t	103.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
		排　出　量	0.35 t	145.04 t	1.22 t	28.99 t	— t	— t	— t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
		排　出　量	0.35 t	145.04 t	1.22 t	28.99 t	— t	— t	— t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物					
	全処理委託量	0.35 t	145.04 t	1.22 t	28.99 t	― t	― t	― t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.35 t	145.04 t	1.22 t	10.79 t	― t	― t	― t	t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	18.2 t	― t	― t	― t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）	かれき類（石綿含有産業廃棄物）	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物					
	全処理委託量	0.35 t	145.04 t	1.22 t	28.99 t	― t	― t	― t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.35 t	145.04 t	1.22 t	10.79 t	― t	― t	― t	t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	18.2 t	― t	― t	― t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	t	

別表1

産業廃棄物の種類
中間処理委託数量
最終処理方法
発生量（各作業所）
コンクリートがら
破砕
再生砕石
アスコンがら
破砕
再生砕石・ｱｽﾌｪﾙﾄ原料
がれき類
破砕
再生砕石、等
廃プラスチック類
破砕・切断・圧縮
固形燃料、等
破砕・切断・圧縮
埋立
紙くず
破砕・圧縮
再生紙原料、等
木くず
（植物廃材）破砕・発酵
堆肥
（建設廃材）破砕
燃料用ﾁｯﾌﾟ、等
金属くず
切断・破砕・圧縮
鉄原料
ガラス・ｺﾝｸﾘｰﾄ及び陶磁器くず
破砕・混練
再生砕石、等
破砕
埋立
汚　泥
固化・脱水
再生砂、等
建設混合廃棄物
破砕又は焼却
埋立
管理型混合廃棄物
破砕又は焼却
埋立
安定型混合廃棄物
破砕又は焼却
埋立
がれき類(石綿含有)
埋立

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-0059
住 所　千葉県市原市白金町四丁目57番地
氏 名　進和建設株式会社
代表取締役 伊藤 浩
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0436－22－8181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	進和建設株式会社
事業場の所在地	千葉県市原市白金町四丁目57番地
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

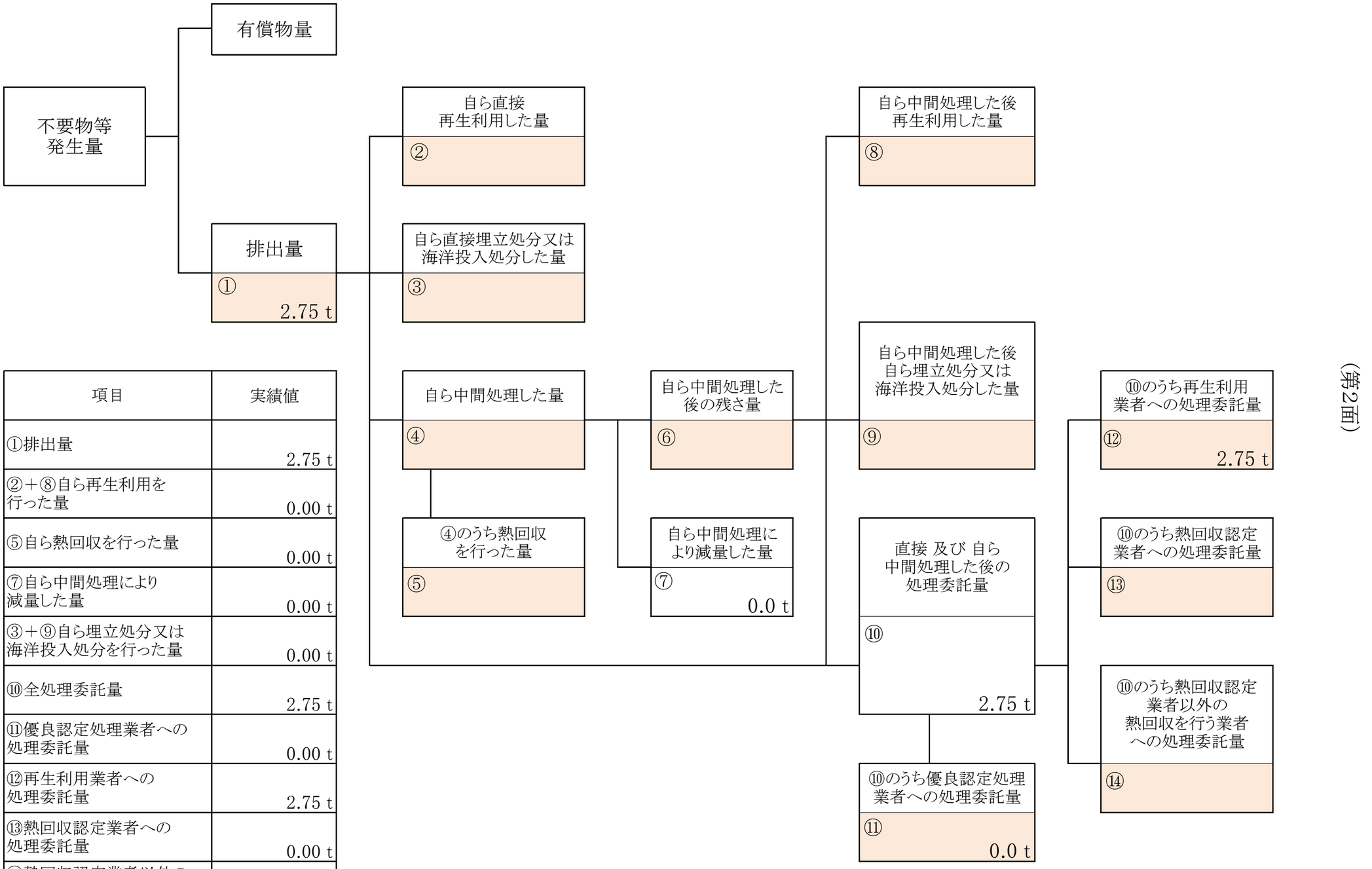
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1561.115 t	全処理委託量	1561.115 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	570.745 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1561.115 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**02汚泥**）

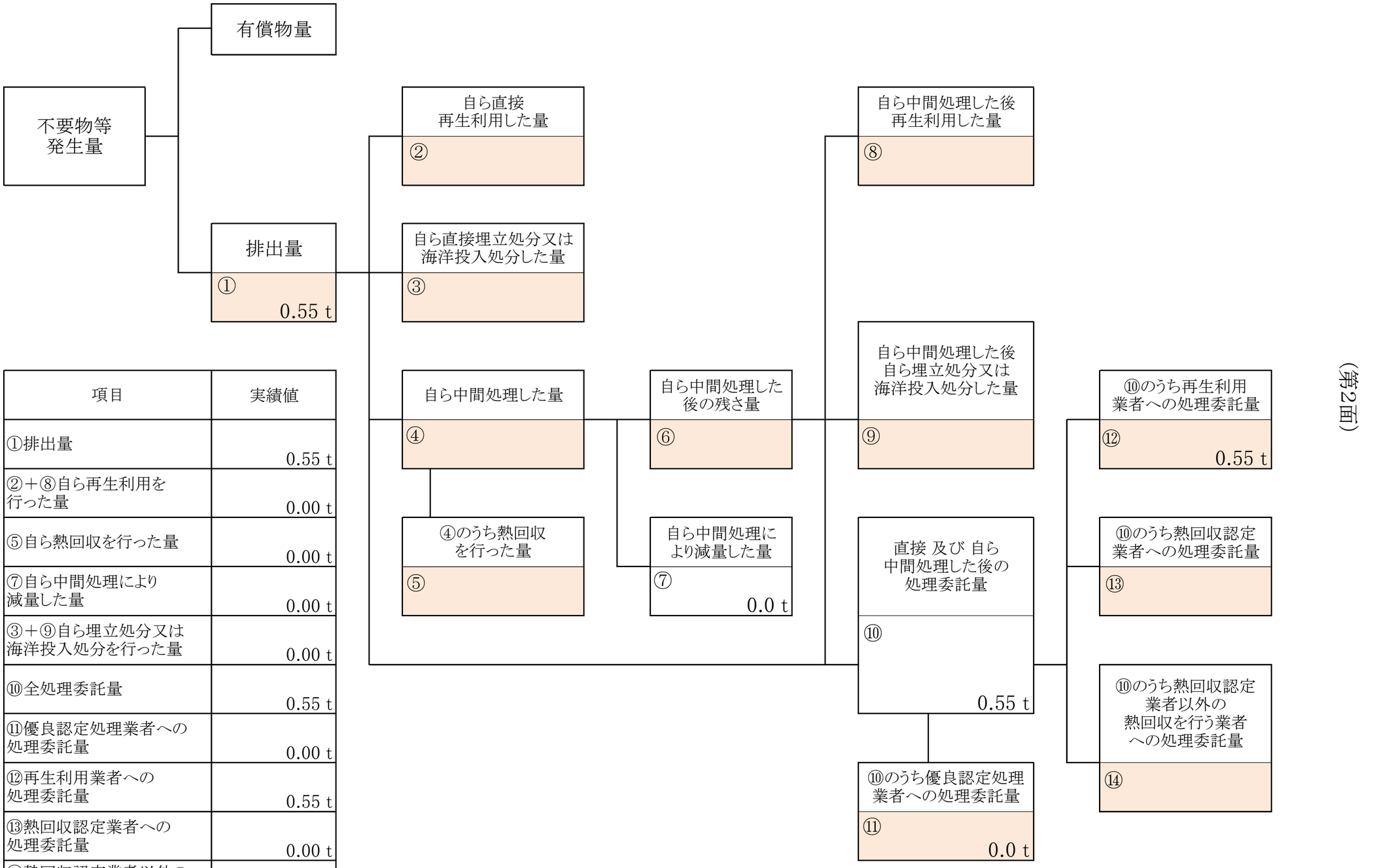


項目	実績値
①排出量	2.75 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	2.75 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.75 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**05廃アルカリ**）

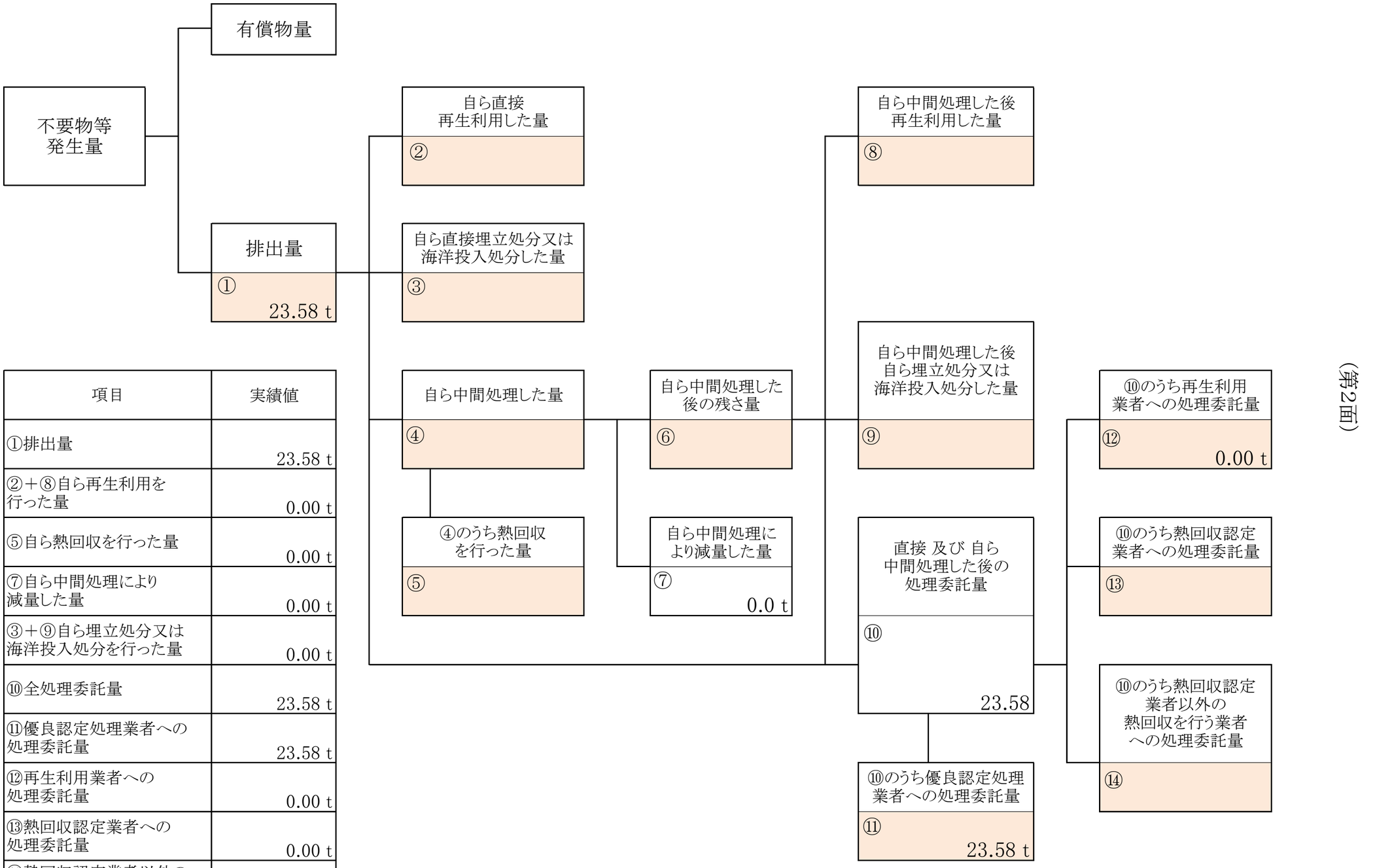


項目	実績値
①排出量	0.55 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.55 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.55 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**06廃プラスチック類**）

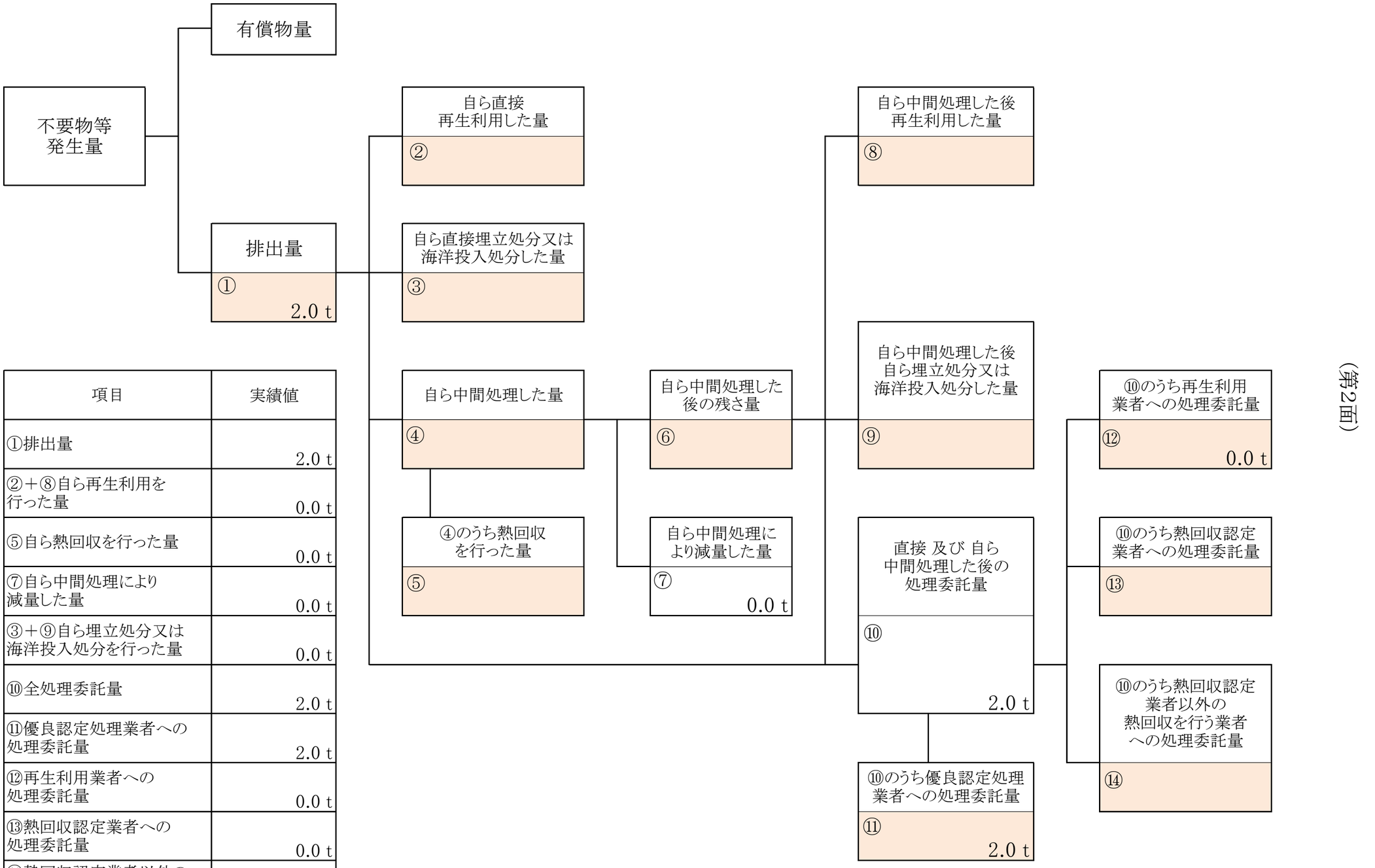


項目	実績値
①排出量	23.58 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	23.58 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.58 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：07紙くず）

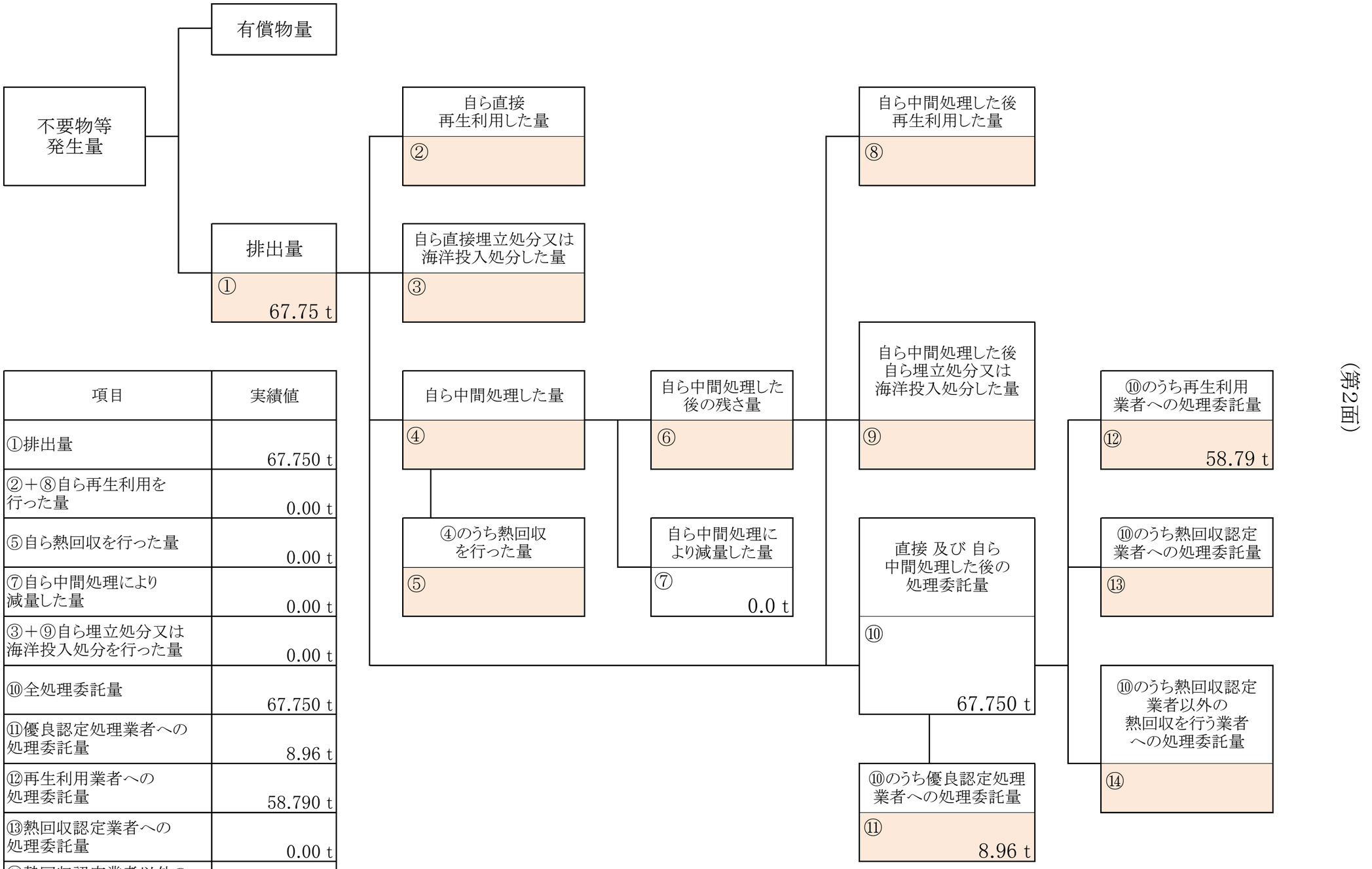


項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：08木くず）

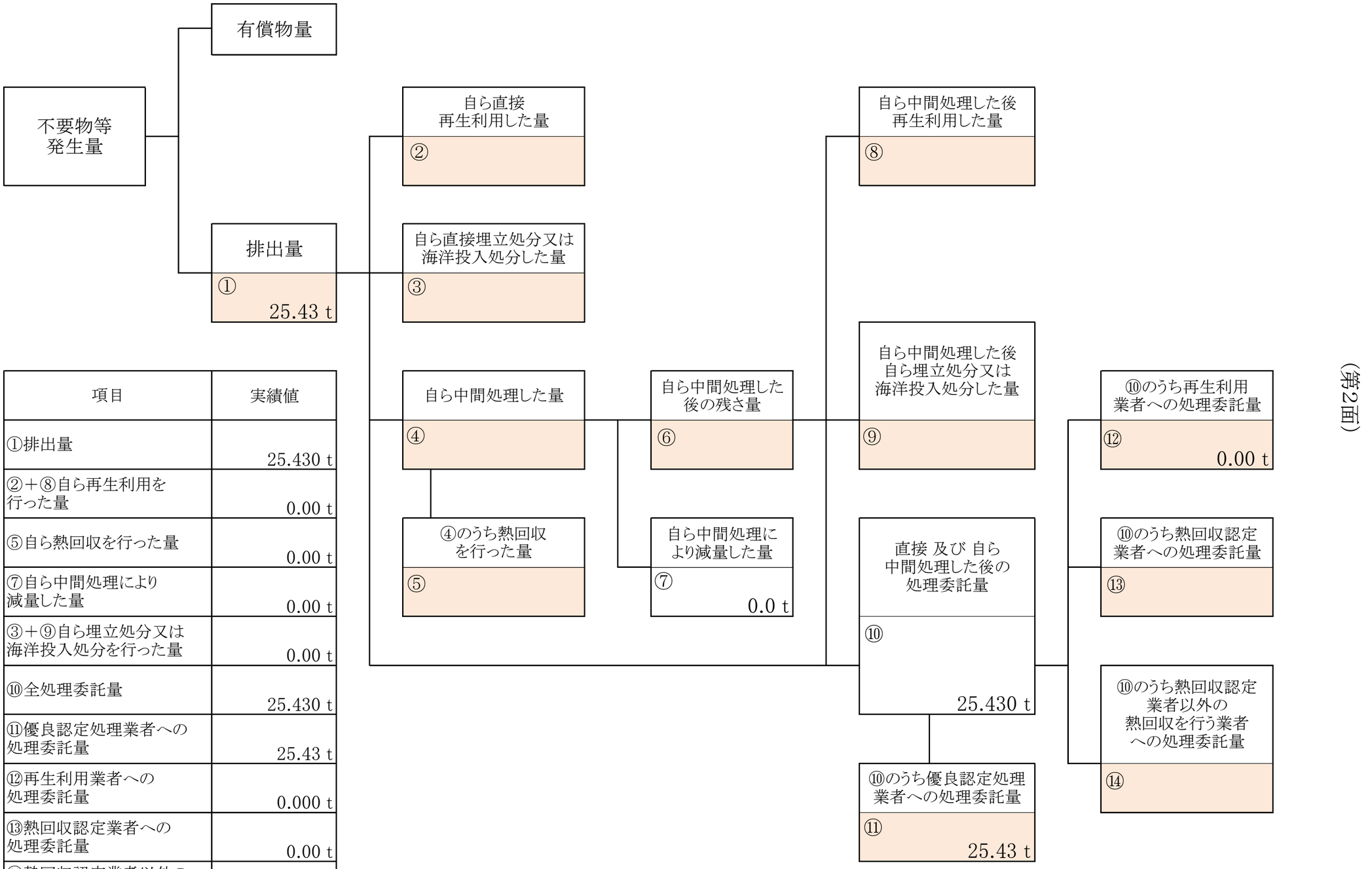


項目	実績値
①排出量	67.750 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	67.750 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.96 t
⑫再生利用業者への処理委託量	58.790 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**14ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず**）

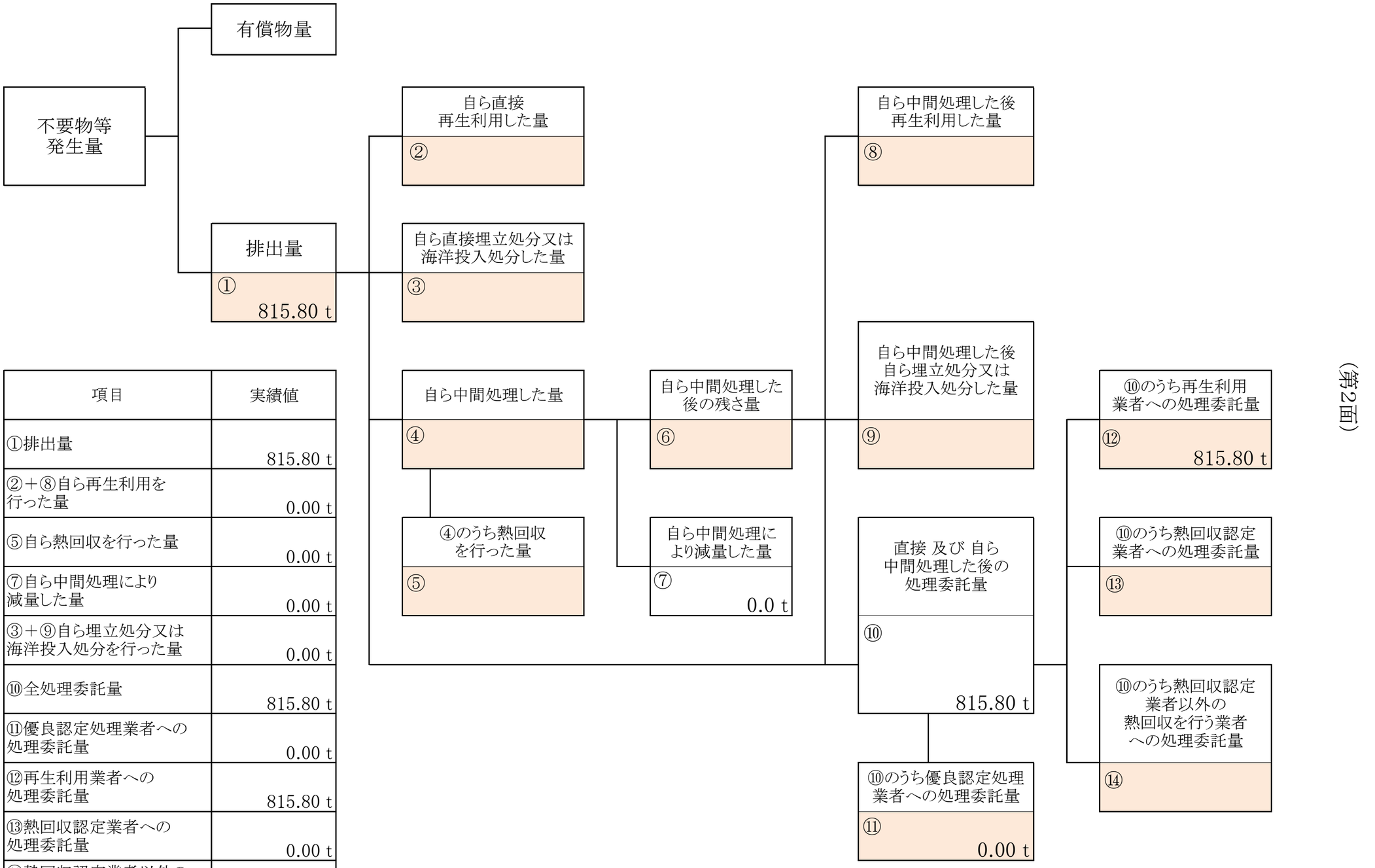


項目	実績値
①排出量	25.430 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	25.430 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.43 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：15コンクリートがら）

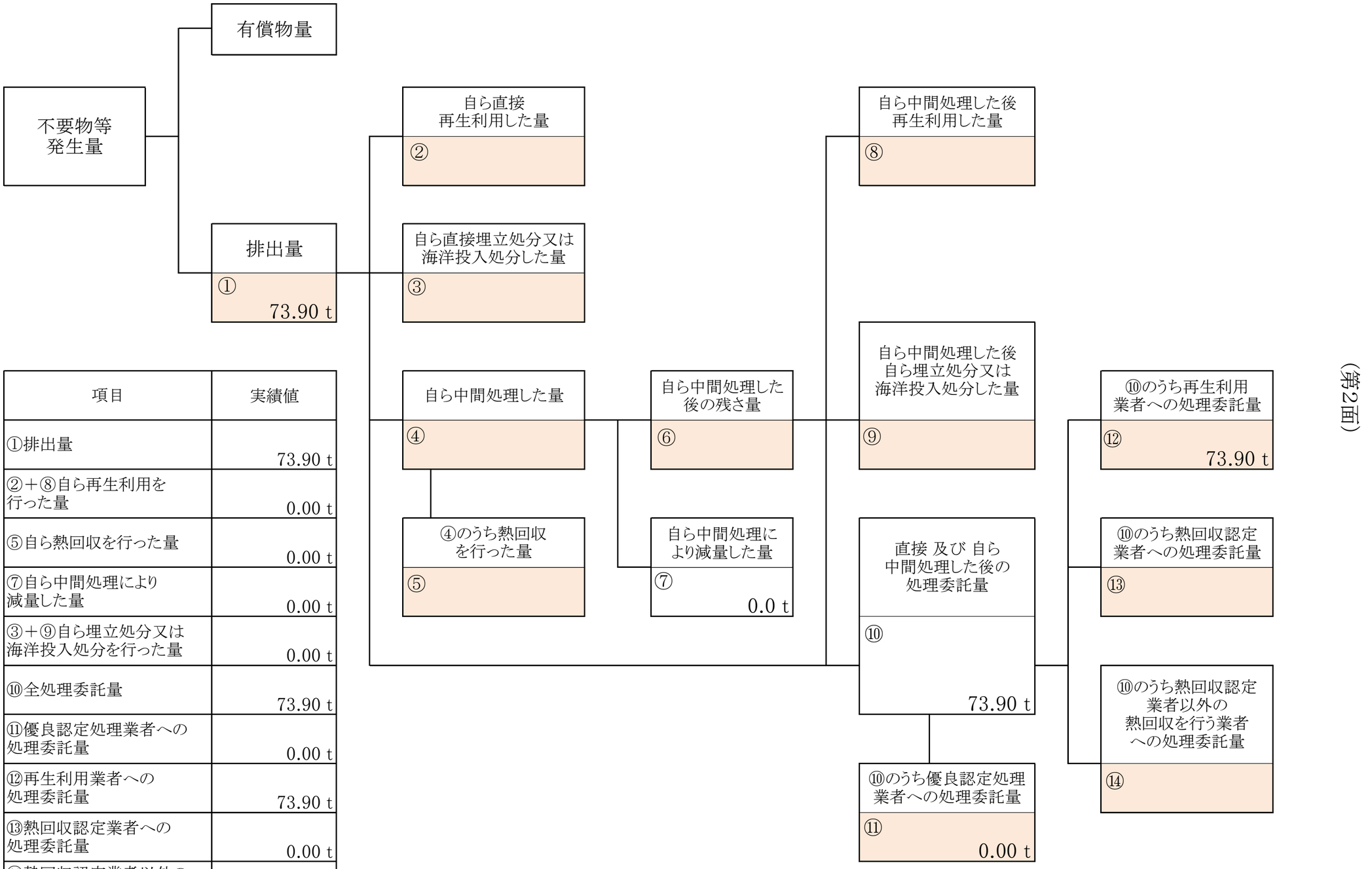


項目	実績値
①排出量	815.80 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	815.80 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	815.80 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：16アスファルト・コンクリートがら）

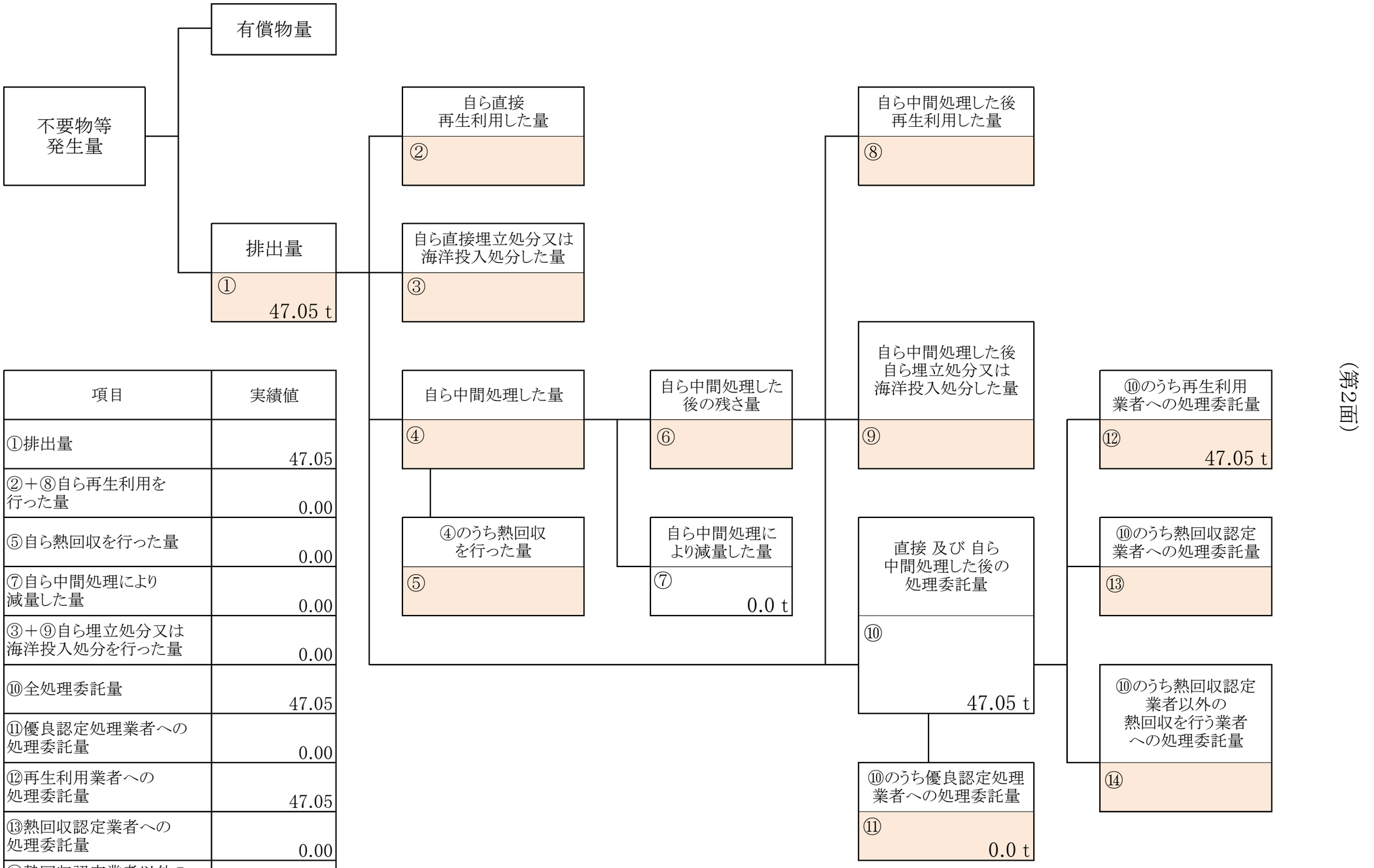


項目	実績値
①排出量	73.90 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	73.90 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	73.90 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：17鉱さい）

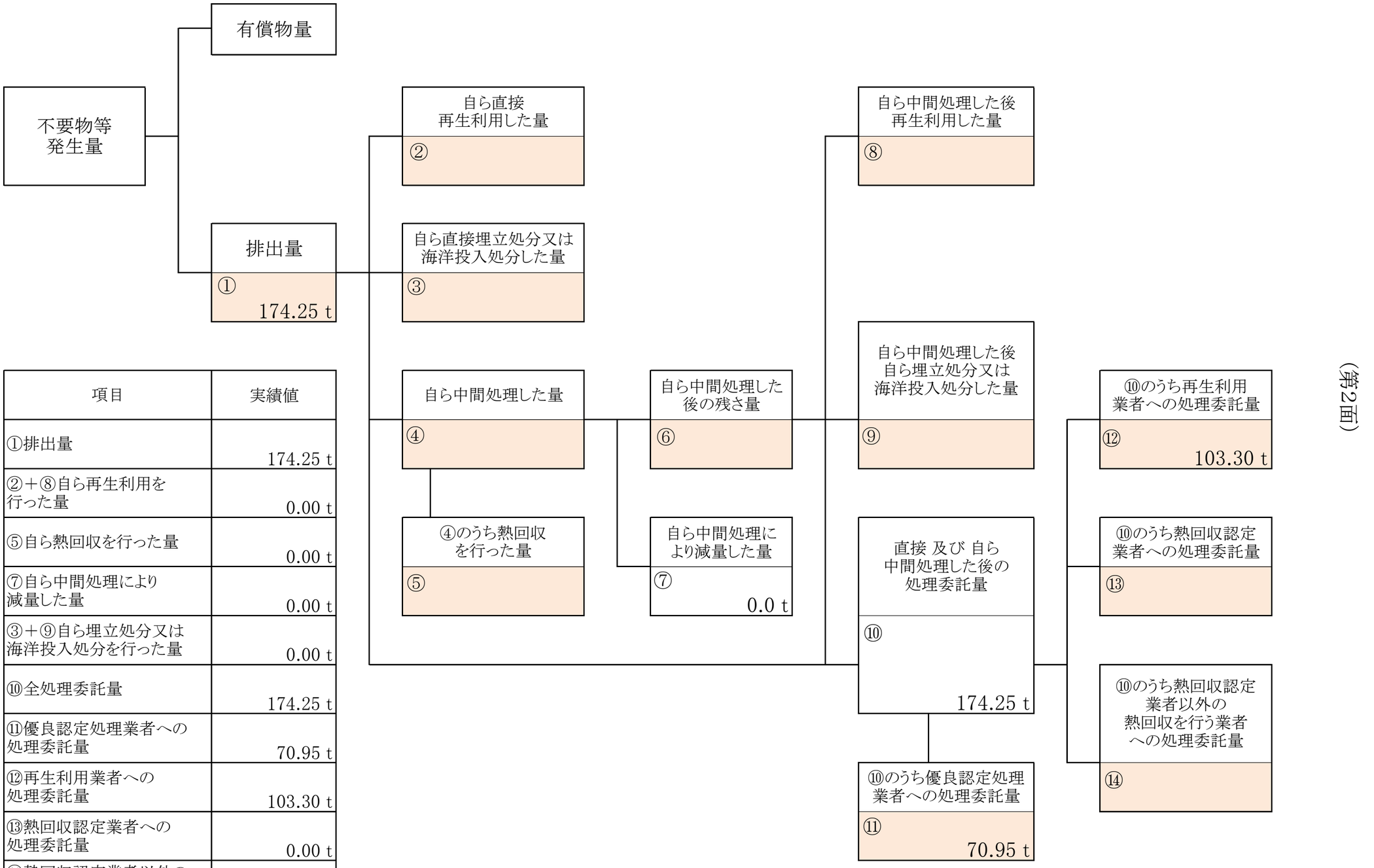


項目	実績値
①排出量	47.05
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	47.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	47.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：18がれき類）

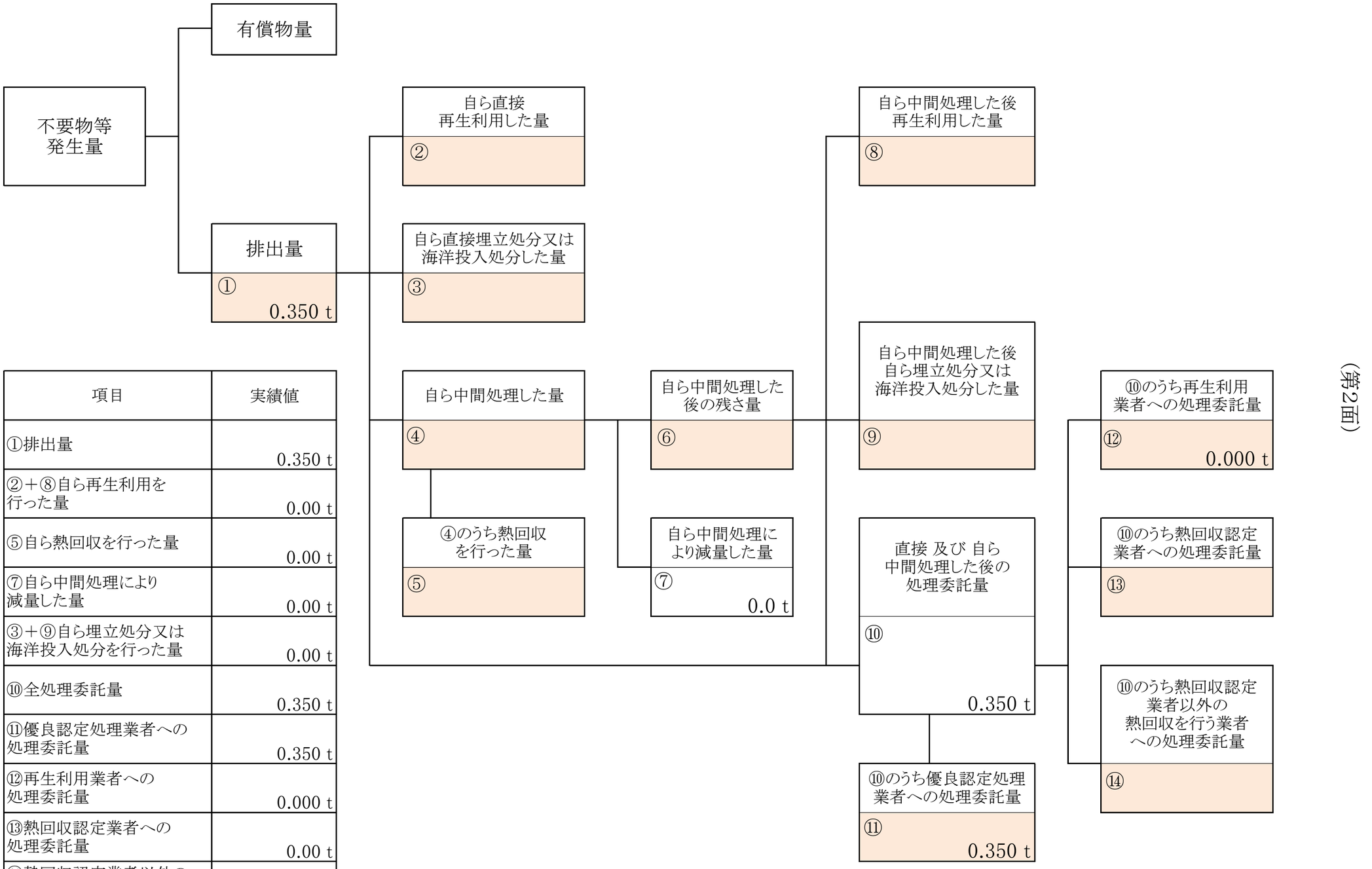


項目	実績値
①排出量	174.25 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	174.25 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	70.95 t
⑫再生利用業者への処理委託量	103.30 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　24廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物）　）

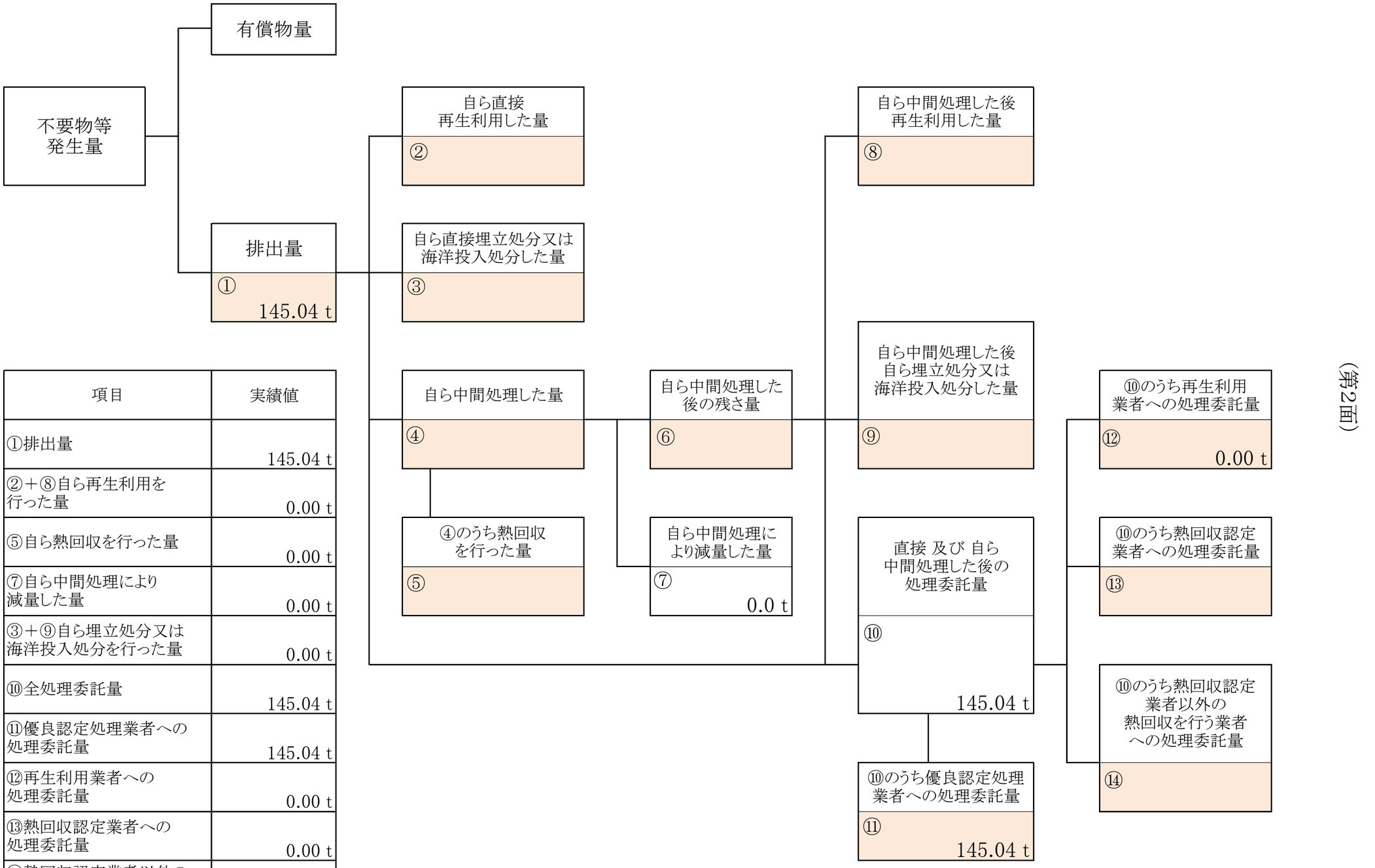


項目	実績値
①排出量	0.350 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.350 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.350 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**26がれき類（石綿含有産業廃棄物）**）

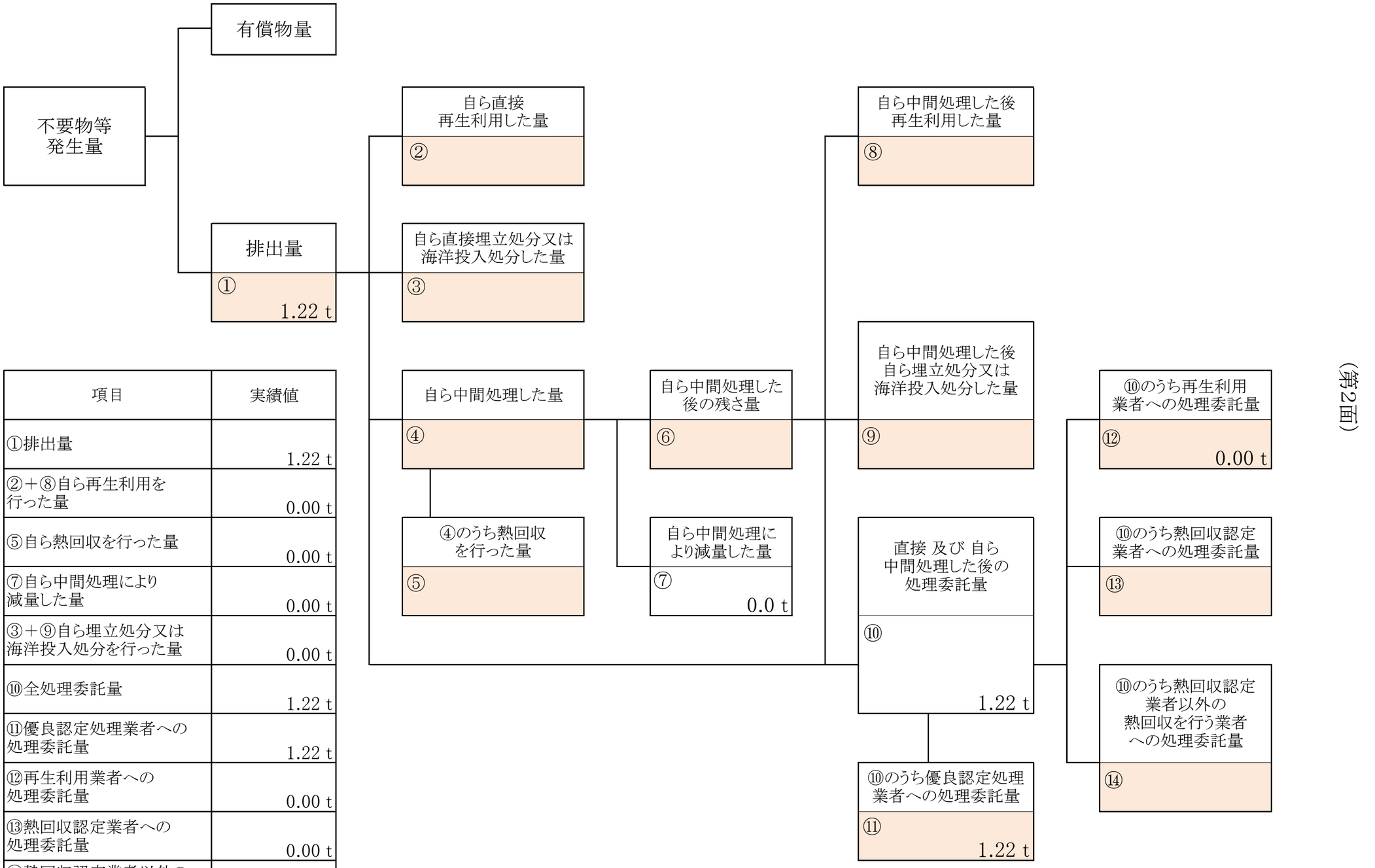


項目	実績値
①排出量	145.04 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	145.04 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	145.04 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**44建設混合廃棄物**）

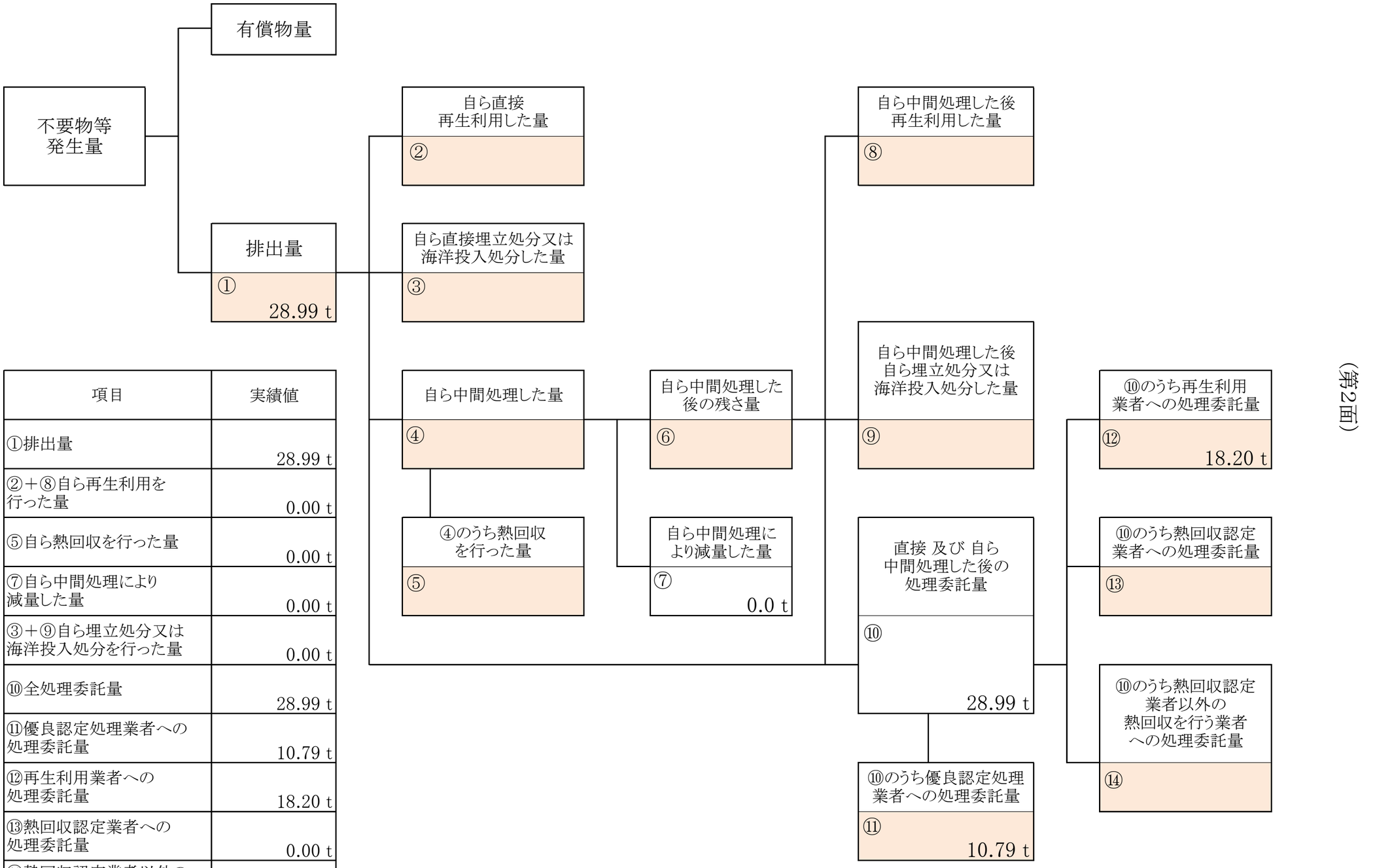


項目	実績値
①排出量	1.22 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.22 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.22 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**45管理型混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	28.99 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	28.99 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.79 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.20 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月23日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　289-0411

住　所　千葉県香取市府馬5120

法人名　菅谷建設株式会社

代表者　菅谷 崇範

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0478-78-4111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	菅谷建設株式会社
事業場の所在地	千葉県香取市府馬5120
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	570，000千円
③従業員数	15名
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	各工事現場　→　・がれき類　→　委託処理 ・木くず　（再生利用業者で処理） ・廃プラスチック類 ・金属くず ・がれき類（石綿含有） ・汚泥

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

菅谷建設株式会社　ー　・総務部
・工事部　（官公庁発注工事のため、各現場により管理する）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	2445.5 t	165.2 t

（これまでに実施した取組）
再生処理業者へ処理を委託した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	1800 t	100 t

（今後実施する予定の取組）
再生処理業者へ処理を委託する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
各現場において廃棄物の分別を徹底している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
引き続き、各現場において廃棄物の分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		がれき類	木くず
全処理委託量		2445.5ｔ	165.2ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	2445.5ｔ	165.2ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

可能な限り再生処理業者へ処理を委託した。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1800 t</td><td>100 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1800 t</td><td>100 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き、再生処理業者へ処理を委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
		排　出　量	15.9 t	0.2 t	2 t	3 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
		排　出　量	10 t	0.1 t	1 t	2 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項自ら行う										
	①現状①	【前年度（令和6年度）実績】								
		棄物の種類産業廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
		自ら熱回収を行った自ら熱回収を行った自ら熱回収を行った自ら熱回収を行った廃棄物の量産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した自ら中間処理により減量した自ら中間処理により減量した自ら中間処理により減量した廃棄物の量産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画②計	【目標】【目標】【目標】【目標】								
		棄物の種類産業廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
		回収を行う自ら熱回収棄物の種類産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する自ら中間処理により減量する自ら中間処理により減量する自ら中間処理により減量する廃棄物の量産業廃棄物	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は

①現状①	【前年度（令和6年度）実績】								
	額産業廃棄物の種類産	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
	自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量産業廃棄物の量産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画②	【目標】								
	額産業廃棄物の種類産	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
	は自ら埋立処分又は自 う海洋投入処分を行う海 量産業廃棄物の量産	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委

①現状①	【前年度（令和6年度）実績】								
	額産業廃棄物の種類産	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
	託量全処理委託量全処	15.9 t	0.2 t	2 t	3 t	t	t	t	t
	の優良認定処理業者への優 託量処理委託量処理	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	の再生利用業者への再 理委託量処理委託	15.9 t	0.2 t	2 t	3 t	t	t	t	t
	収業者への認定熱回収 理委託量処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	収業者以外の認定熱回収業 行う業者への熱回収を行う 理委託量処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画②	【目標】【目標】								
	棄物の種類産業廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	がれき類（石綿含有）	汚泥				
	処理委託量全処理委託	10 t	0.1 t	1 t	2 t	t	t	t	t
	処理業者への優良認定処理 理委託量処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	業者への再生利用業 理委託量処理委託	10 t	0.1 t	1 t	2 t	t	t	t	t
	収業者への認定熱回収 理委託量処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	収業者以外の認定熱回収業 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　289-0411

住所 千葉県香取市府馬5120

法人名 菅谷建設株式会社

代表者 菅谷 崇範

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0478-78-4111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	菅谷建設株式会社
事業場の所在地	千葉県香取市府馬5120
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

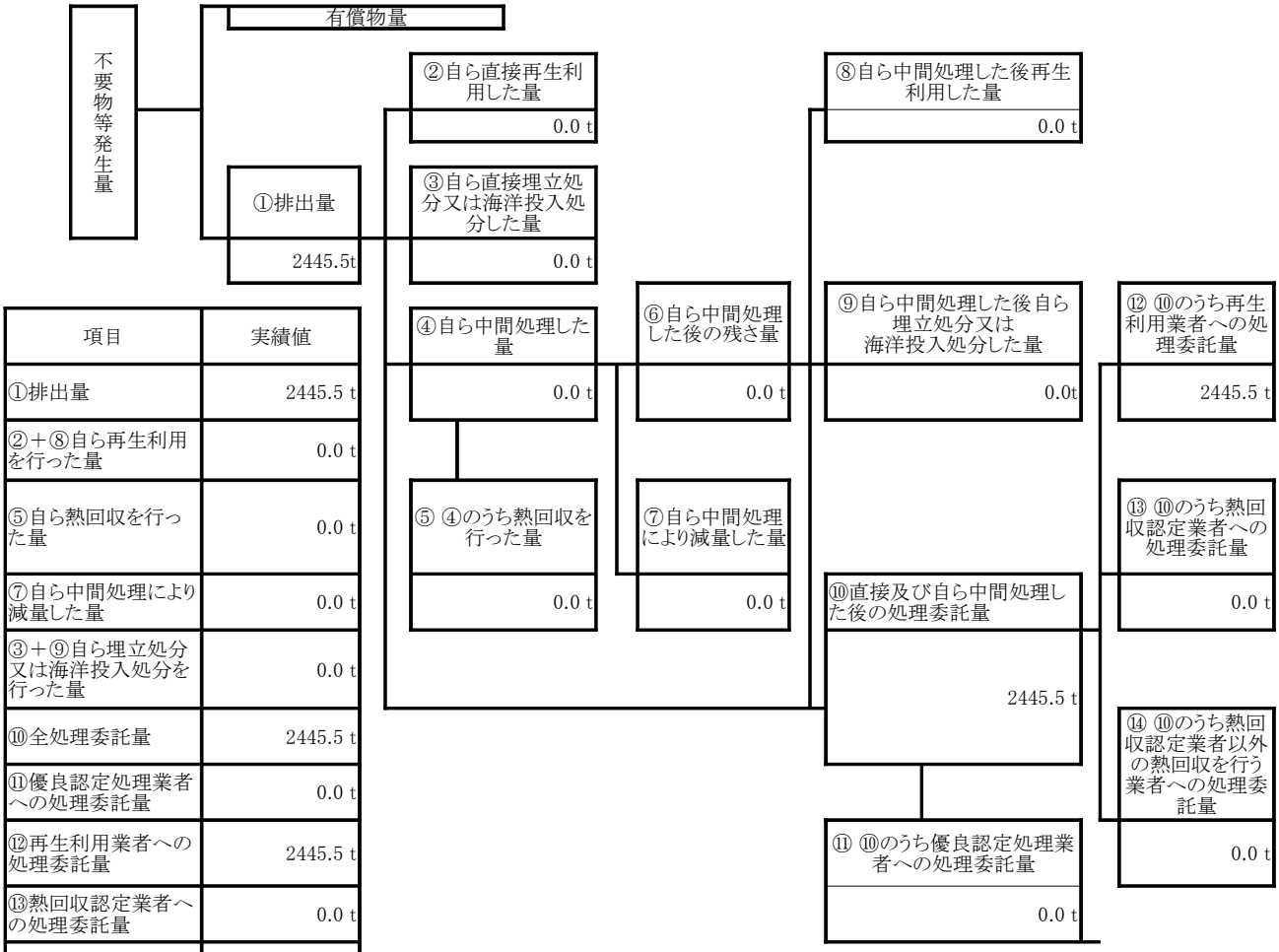
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1521 t	全処理委託量	1521 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1521 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

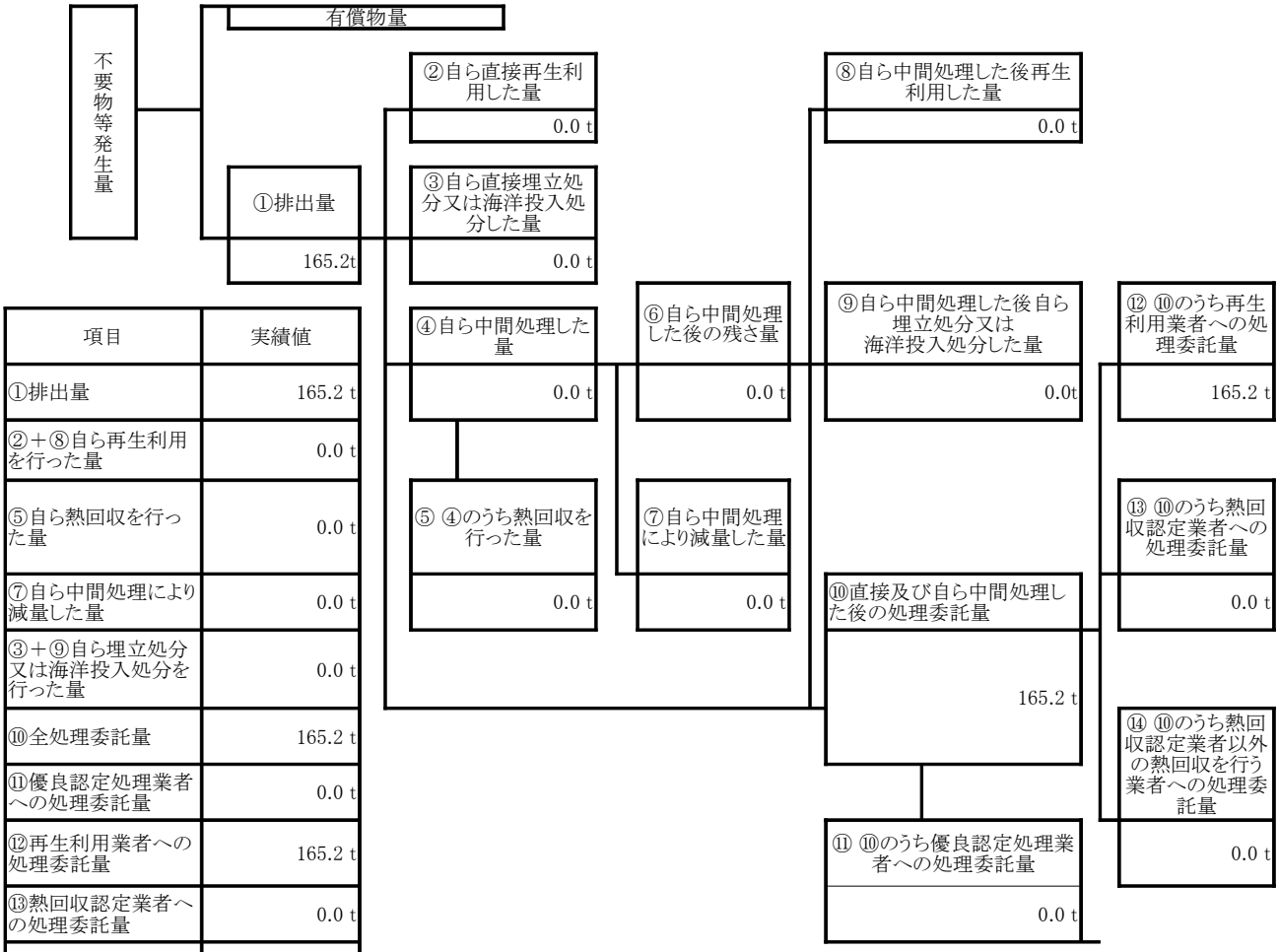


項目	実績値
①排出量	2445.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2445.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2445.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

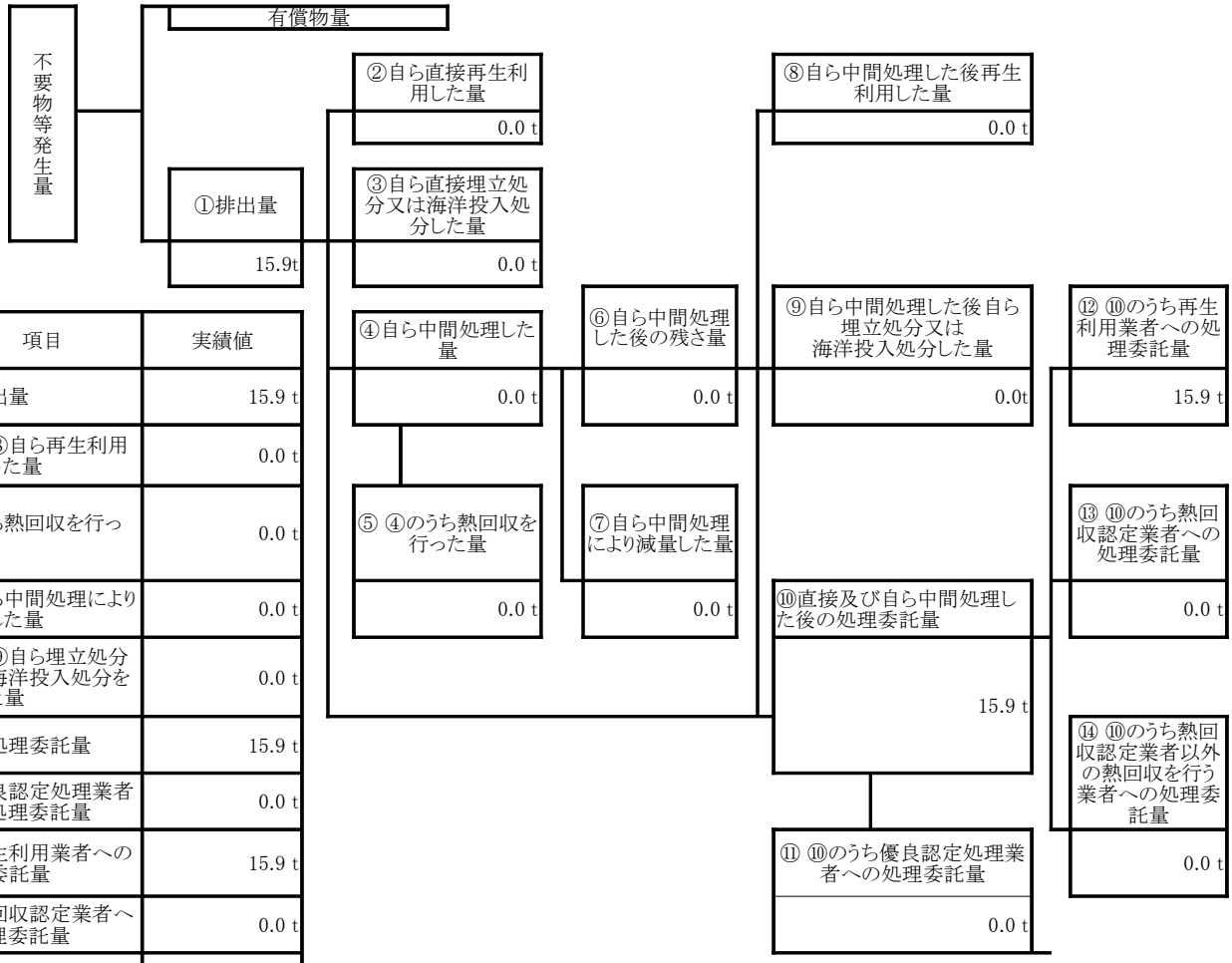


項目	実績値
①排出量	165.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	165.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	165.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

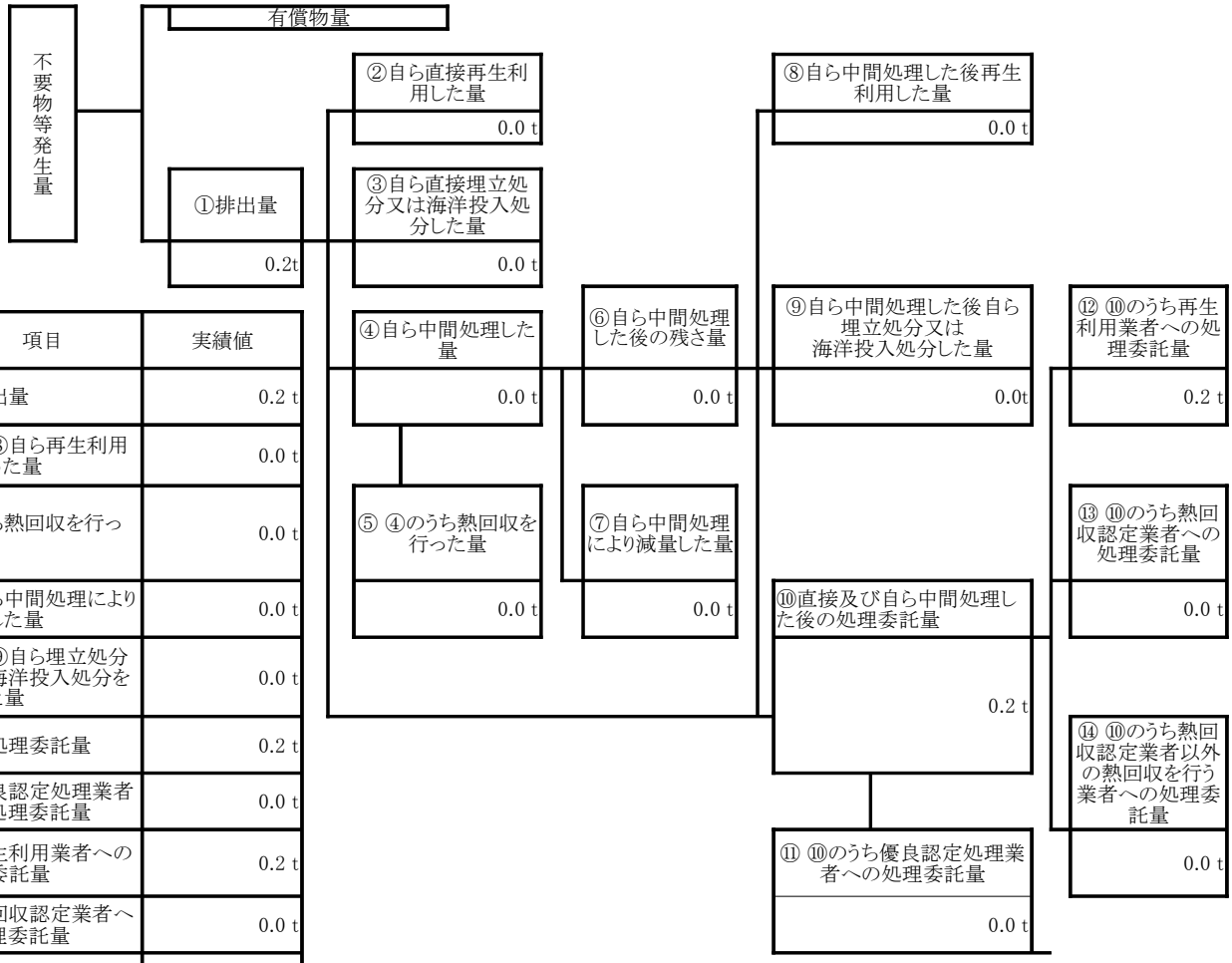


項目	実績値
①排出量	15.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

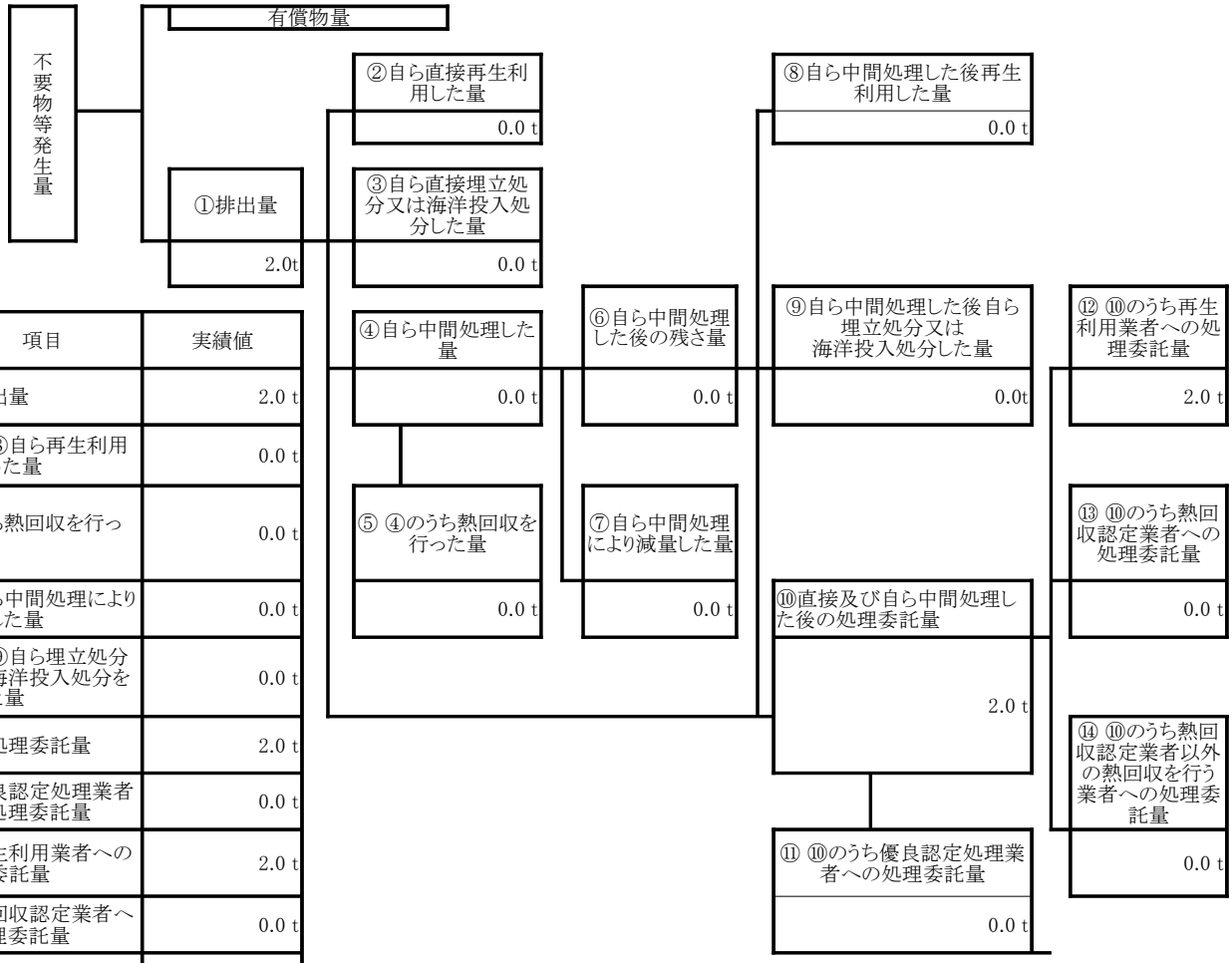


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類（石綿含有）**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



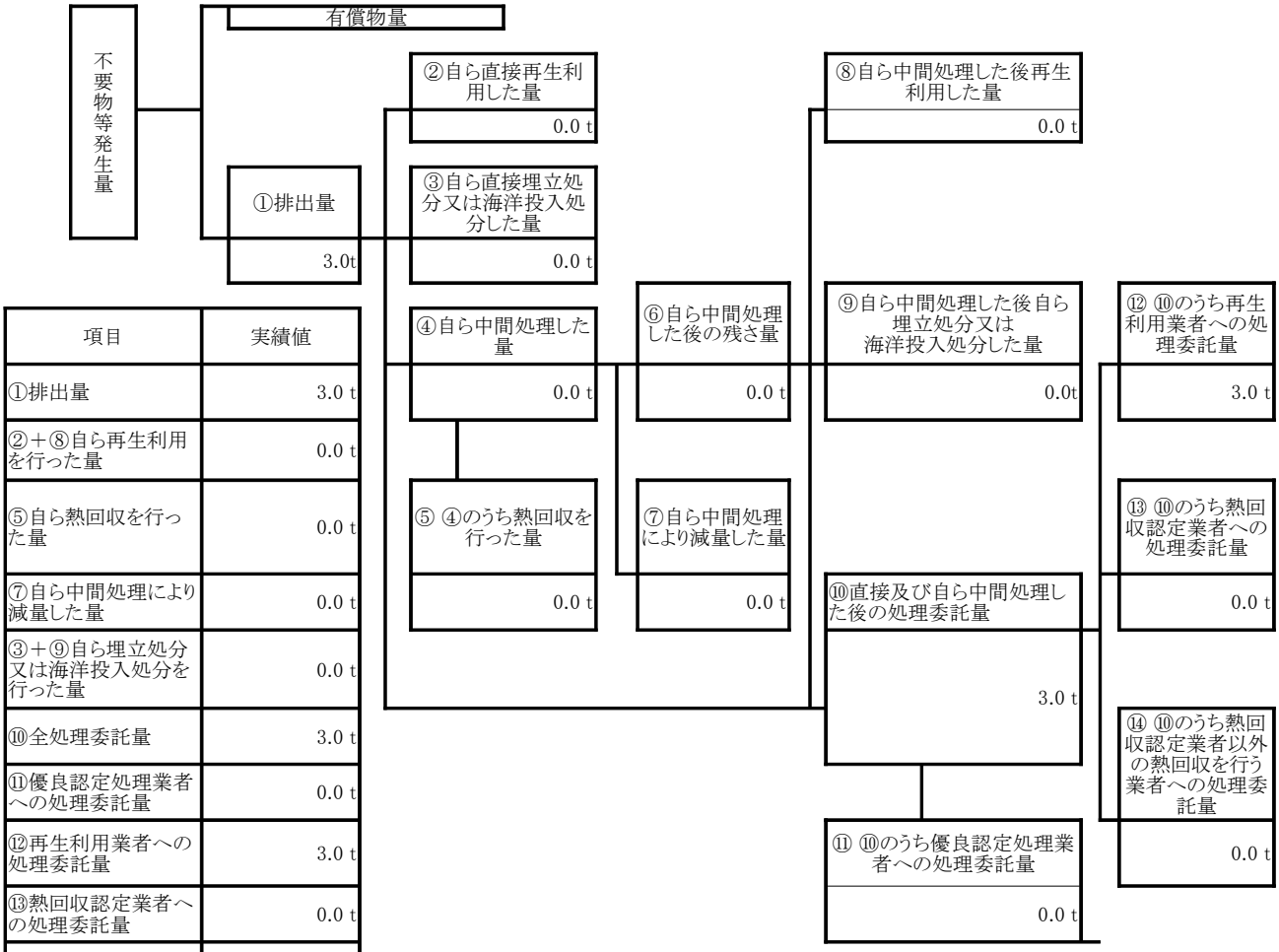
項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒289-2613

住　所　千葉県旭市後草２３６４番地の３

氏　名　鈴木建設株式会社

代表取締役　鈴木　和彦

電話番号　　0479-55-3222

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鈴木建設株式会社
事業場の所在地	千葉県内（政令市を除く）の各作業所
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	建設業　総合工事業
②　事業の規模	前年度の元請完成工事高　４２億円
③　従業員数	５０名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	作業所　→　中間業者へ委託　→　販売、最終処分 作業所　→　最終処分業者へ委託

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
廃棄物処理統括責任者 → 各部門 → 各作業所（現場責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	合計数量	
別紙のとおり	3,095.37 t	t

（これまでに実施した取組）
・アスファルト・コンクリート等の再生資源化が可能なものは、ほぼ全て中間処理場を経由して再生資源利用施設へ搬入。
・再資源化を前提とした受入可能な処理施設を選定・利用。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	合計数量	
排出量	2,800 t	t

（今後実施する予定の取組）
・現状を継続維持

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・再資源化可能品目は現場で品目別に分別し、混合廃棄物排出削減
・アスコン・コンクリートは中間処理→再生資源利用施設へ全て搬入
・新規入場時、朝礼にて教育・指導実施

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・現状を継続維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	合計数量	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	合計数量	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	合計数量	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	合計数量	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	合計数量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	合計数量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	合計数量	
全処理委託量＿	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・産業廃棄物処理委託契約書の締結
・処分または再生場所の所在地、処分方法、施設の処理能力の把握
・最終処分の場所の所在地、処分方法、施設の処理能力の把握
（中間処理を委託する場合）

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	合　計　数　量	
		全　処　理　委　託　量＿	t	t
		優良認定処理業者への処　理　委　託　量	t	t
		再生利用業者への処　理　委　託　量	t	t
		認定熱回収業者への処　理　委　託　量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処　理　委　託　量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・現状を継続維持		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項　　別紙①

【前年度（令和6年度）実績】　　単位: t

産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	その他がれき類	木くず	混合廃棄物（管理型）	汚泥	金属くず
排出量	284.6	2667.5	141.3	0	0	1.97	0

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	鉱さい	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	廃石綿等	廃水銀等	―	合　計
排出量	0	0.0	0	0	0	―	3,095.37

【今年度（令和7年度）目標】　　単位: t

産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	その他がれき類	木くず	混合廃棄物（管理型）	汚泥	金属くず
排出量	250	2448.5	100.0	0	0	1.5	0

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	鉱さい	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	廃石綿等	廃水銀等	―	合　計
排出量	0	0	0	0.0	0	―	2,800

別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】　　単位: t

産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	その他がれき類	木くず	混合廃棄物（管理型）	汚泥	金属くず
全処理委託量	284.6	2667.5	141.3	0	0	1.97	0
優良認定処理業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	－
再生利用業者への処理委託量	284.6	2667.5	141.3	0	0	1.97	0

単位: t

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	鉱さい	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	廃石綿等	廃水銀等	－	合　計
全処理委託量	0	0	0	0	0	－	3,095.37
優良認定処理業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	0.00
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	－	3,095.37

【今年度（令和7年度）目標】　　単位: t

産業廃棄物の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	その他がれき類	木くず	混合廃棄物（管理型）	汚泥	金属くず
全処理委託量	250	2448.5	100	0	0	1.5	0
優良認定処理業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	－
再生利用業者への処理委託量	250	2448.5	100	0	0	1.5	0

単位: t

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	鉱さい	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	廃石綿等	廃水銀等	－	合　計
全処理委託量	0	0	0	0.0	0	－	2800
優良認定処理業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	－	2800

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒289-2613
住 所　千葉県旭市後草2364番地の3
氏 名　鈴木建設株式会社
代表取締役 鈴木 和彦
電話番号 0479-55-3222

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	鈴木建設株式会社
事業場の所在地	千葉県内(政令市を除く)の各作業所
事業の種類	建設業 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

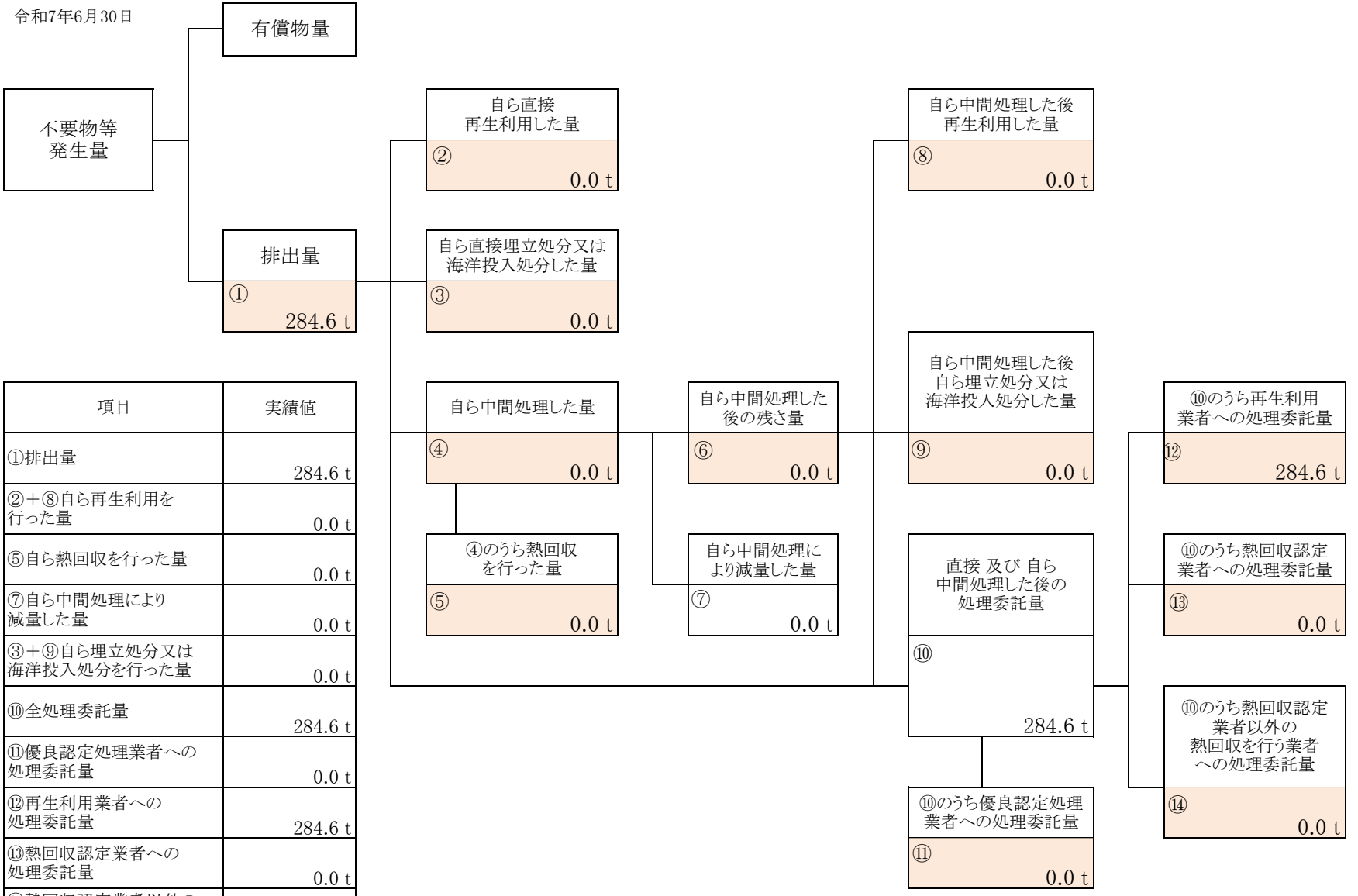
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2000.0 t	全処理委託量	2000.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	52.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1947.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

令和7年6月30日



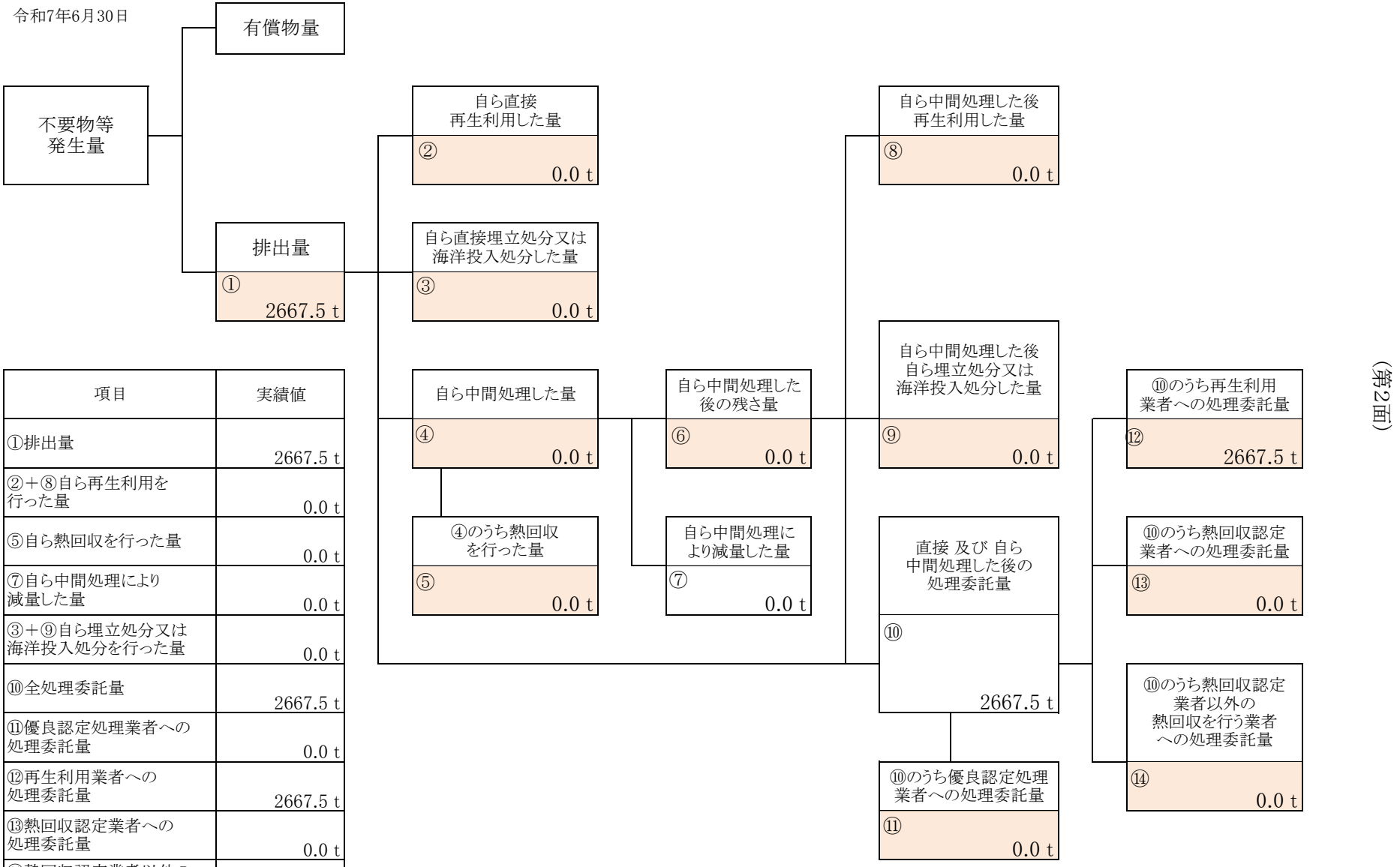
項目	実績値
①排出量	284.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	284.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	284.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

令和7年6月30日



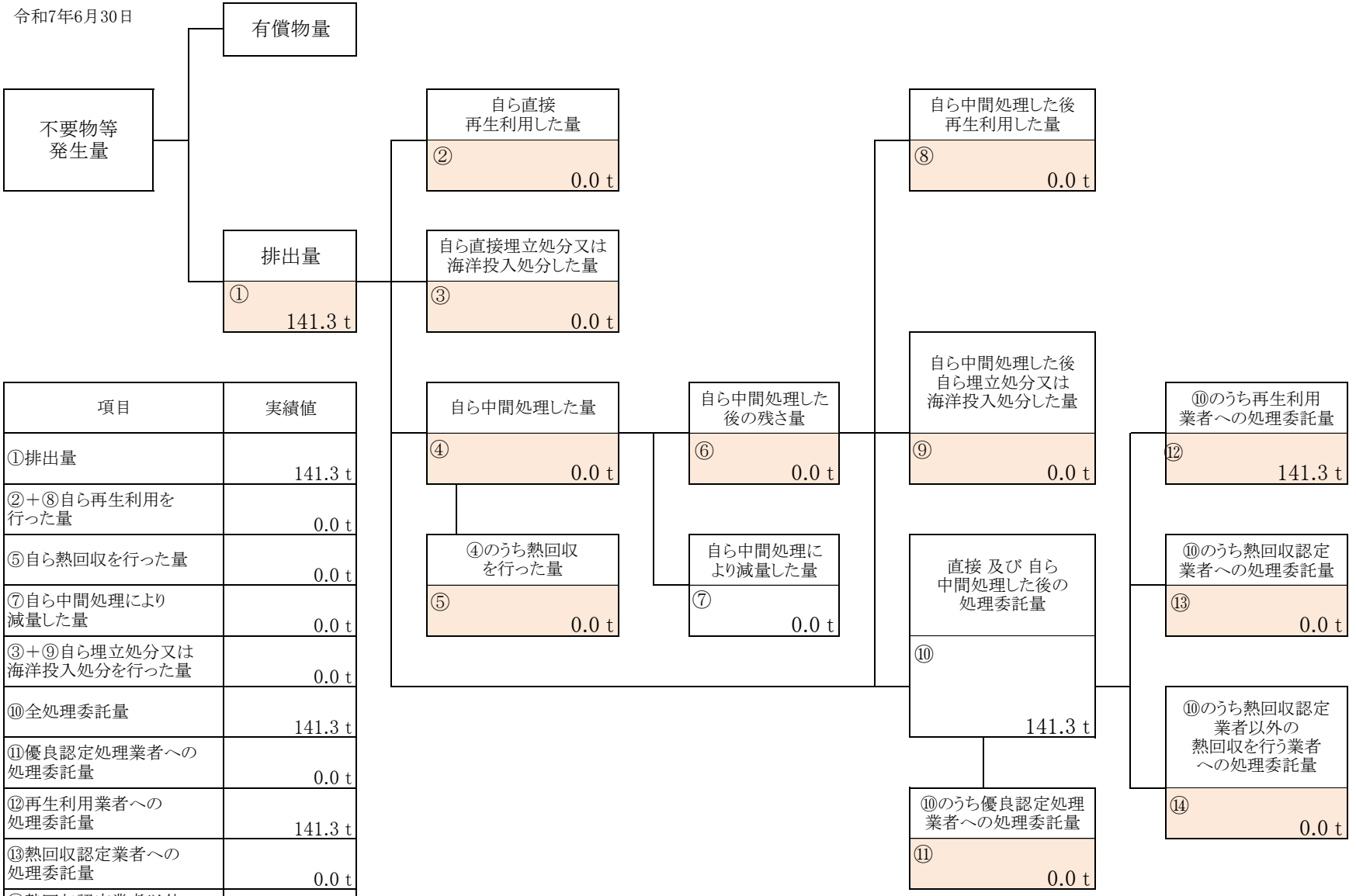
項目	実績値
①排出量	2667.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2667.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2667.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

令和7年6月30日



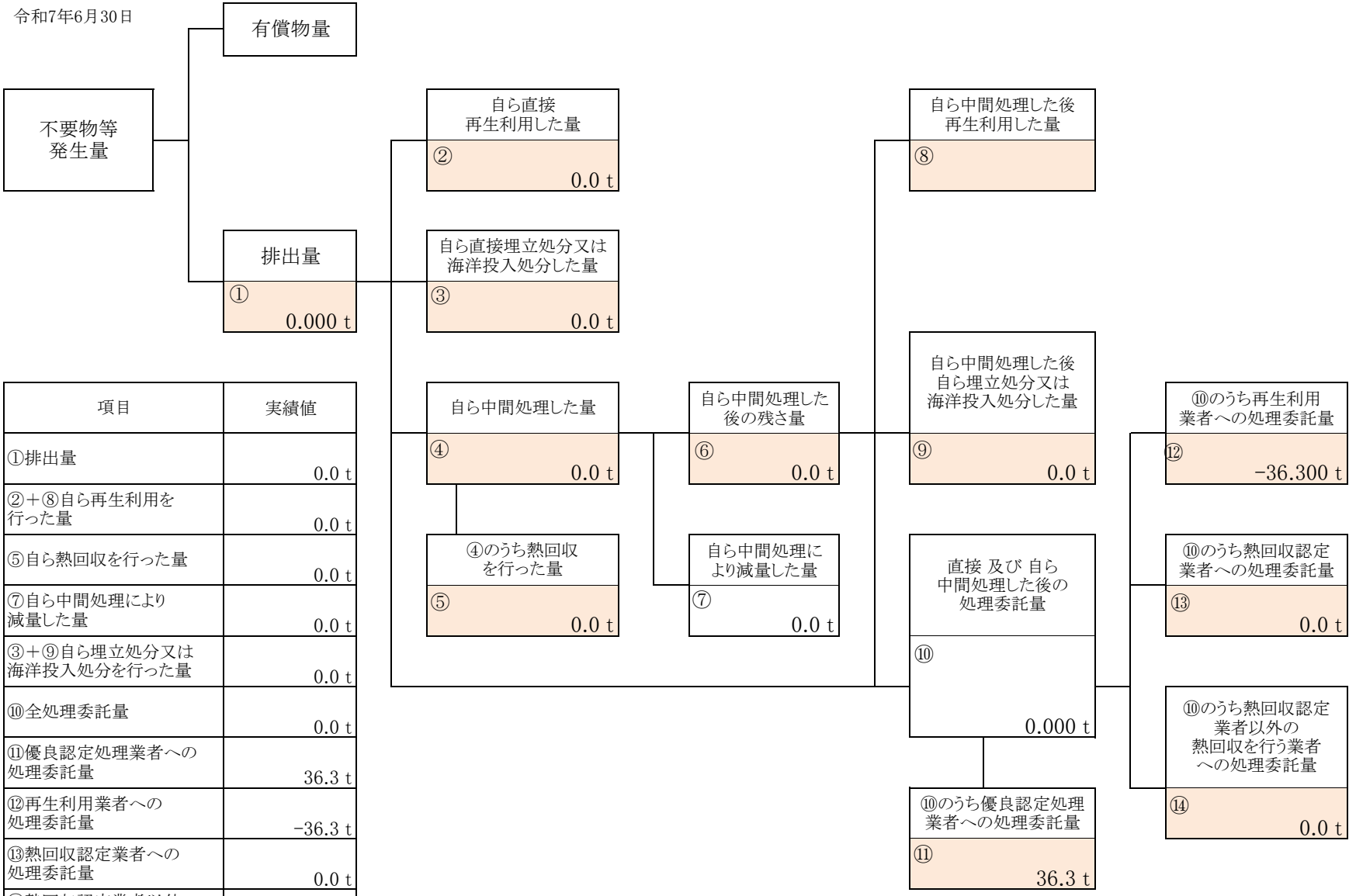
項目	実績値
①排出量	141.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	141.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	141.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

令和7年6月30日



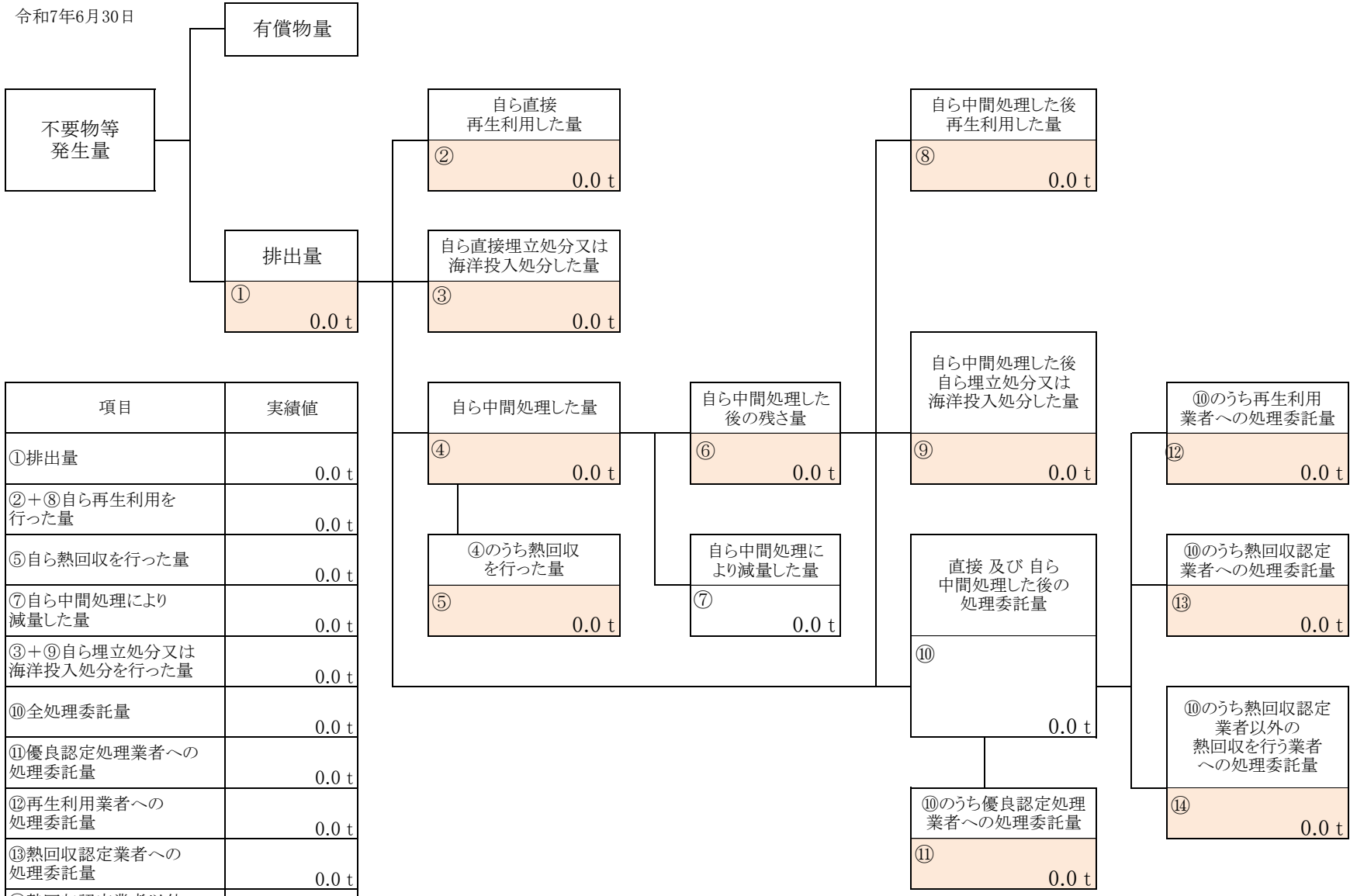
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	36.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	-36.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混合廃棄物**）

令和7年6月30日



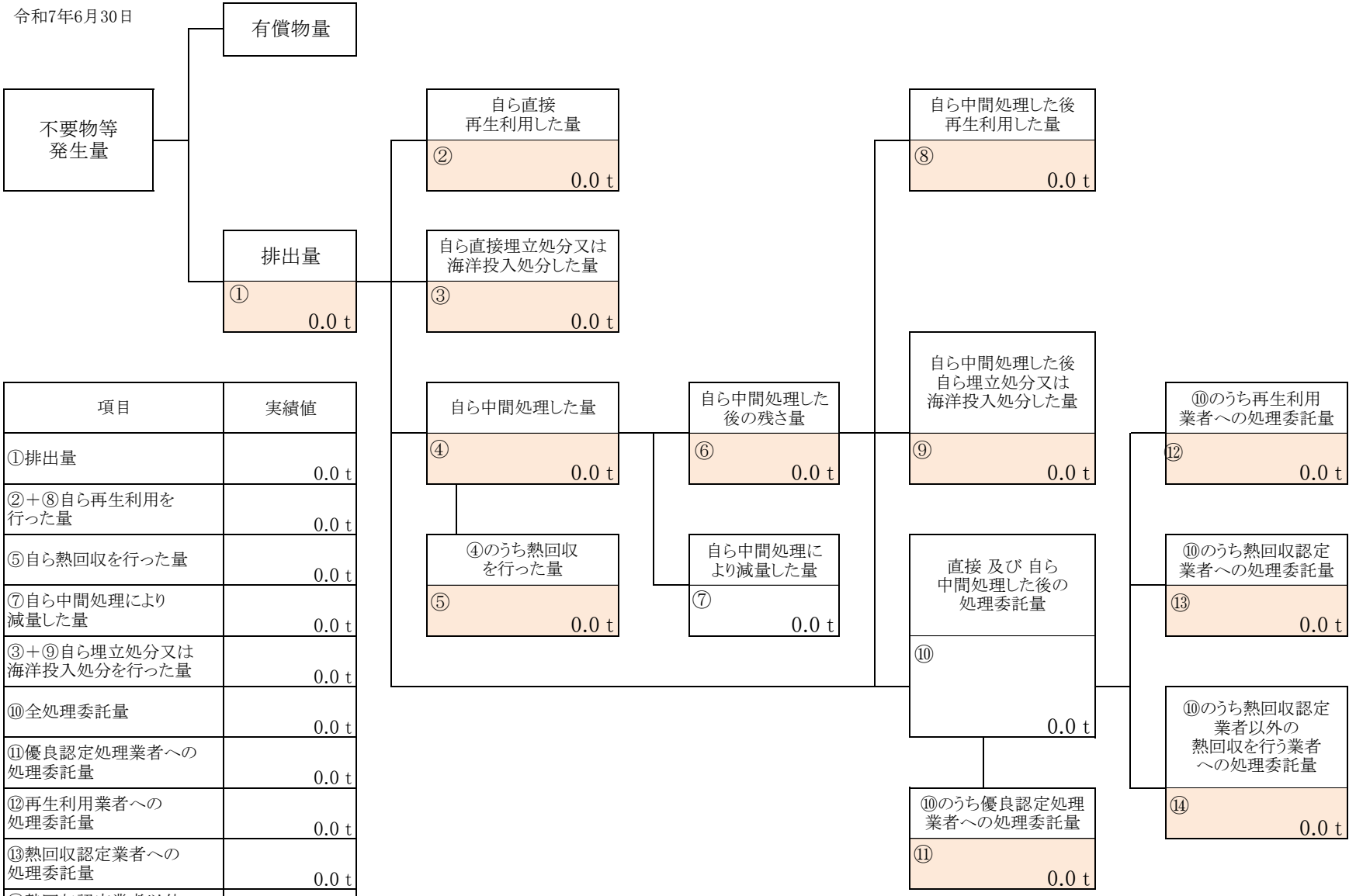
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃石綿等**）

令和7年6月30日



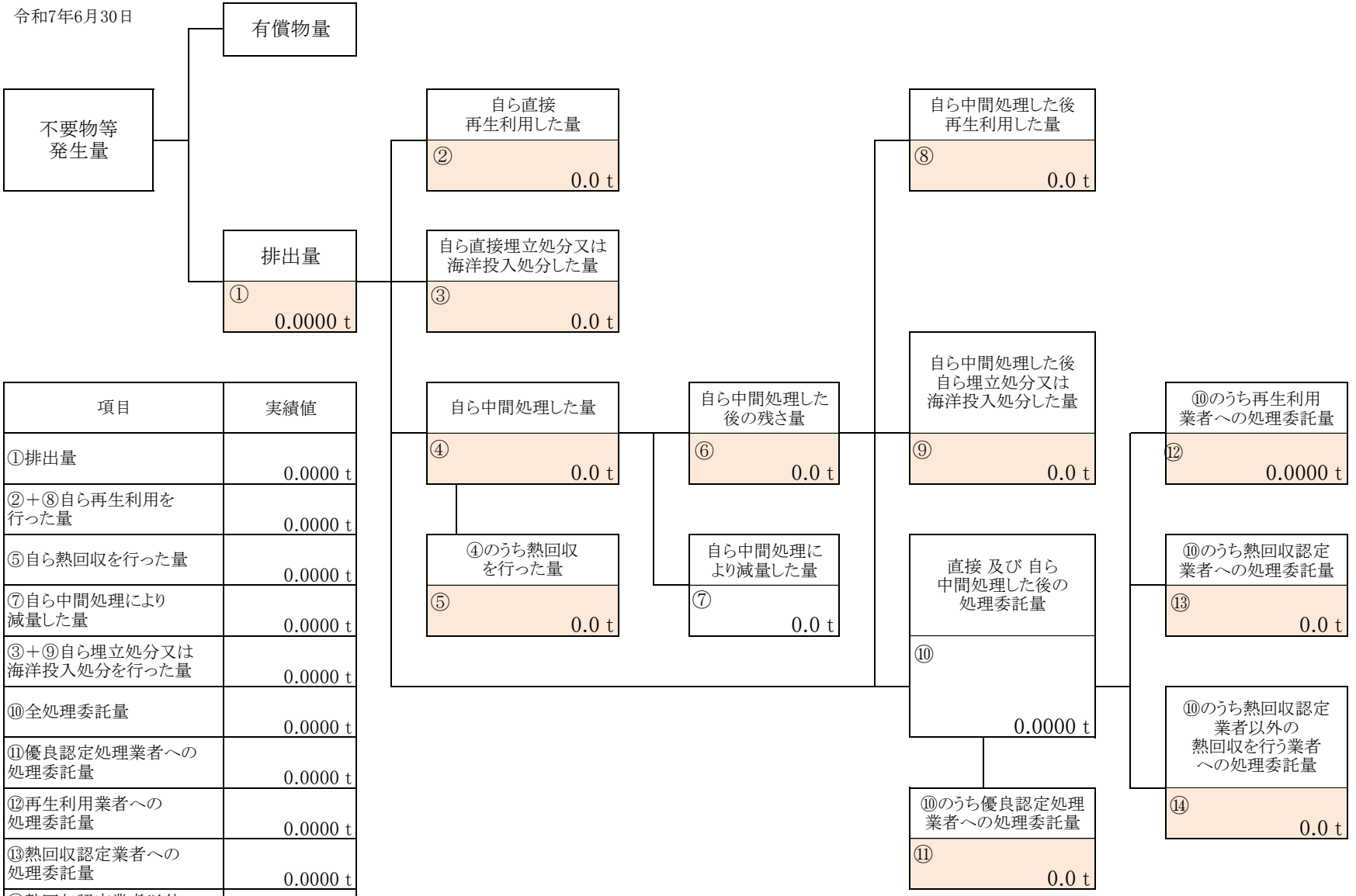
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃水銀等** ）

令和7年6月30日



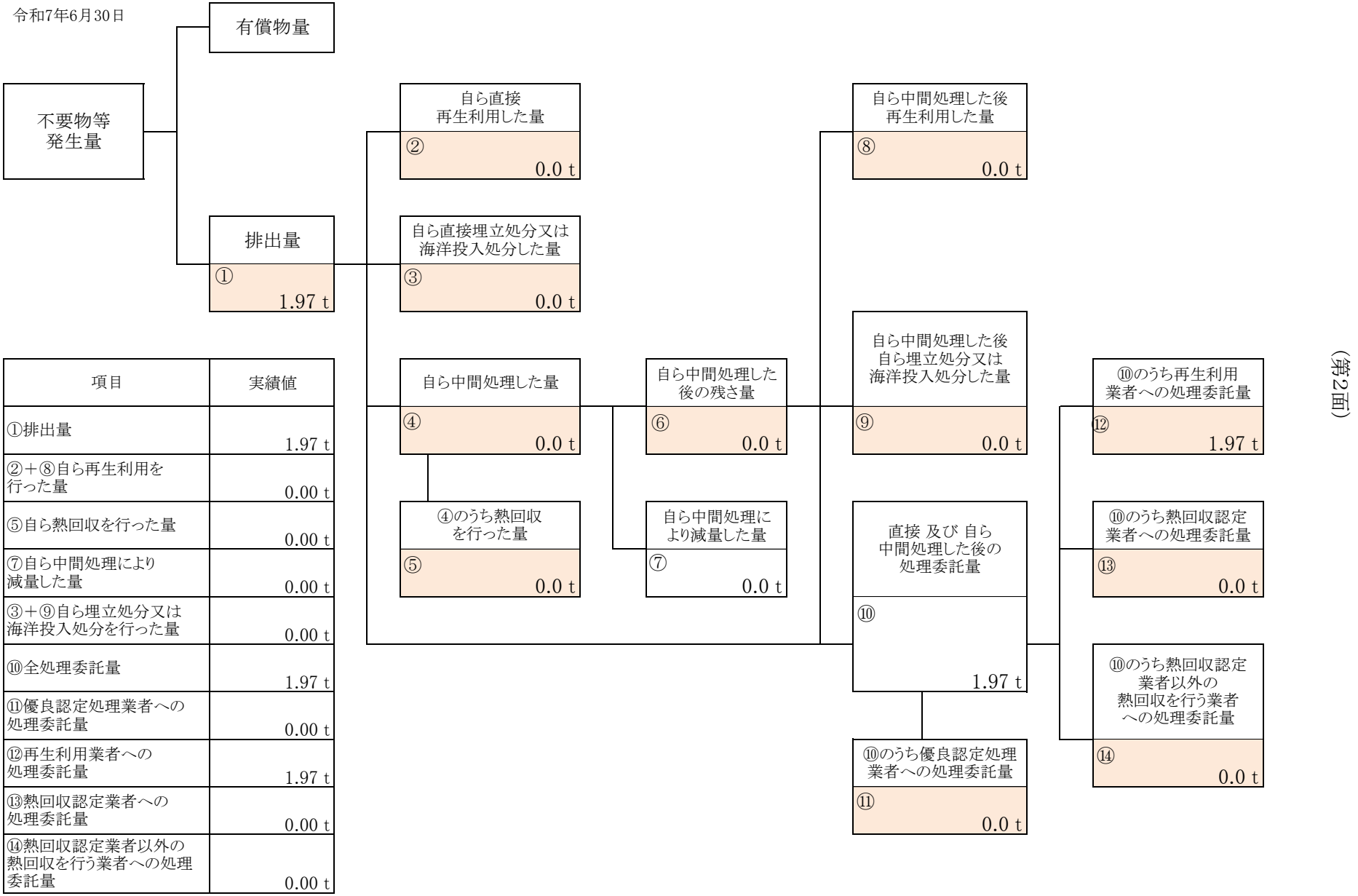
項目	実績値
①排出量	0.0000 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000 t
⑩全処理委託量	0.0000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：汚泥）

令和7年6月30日



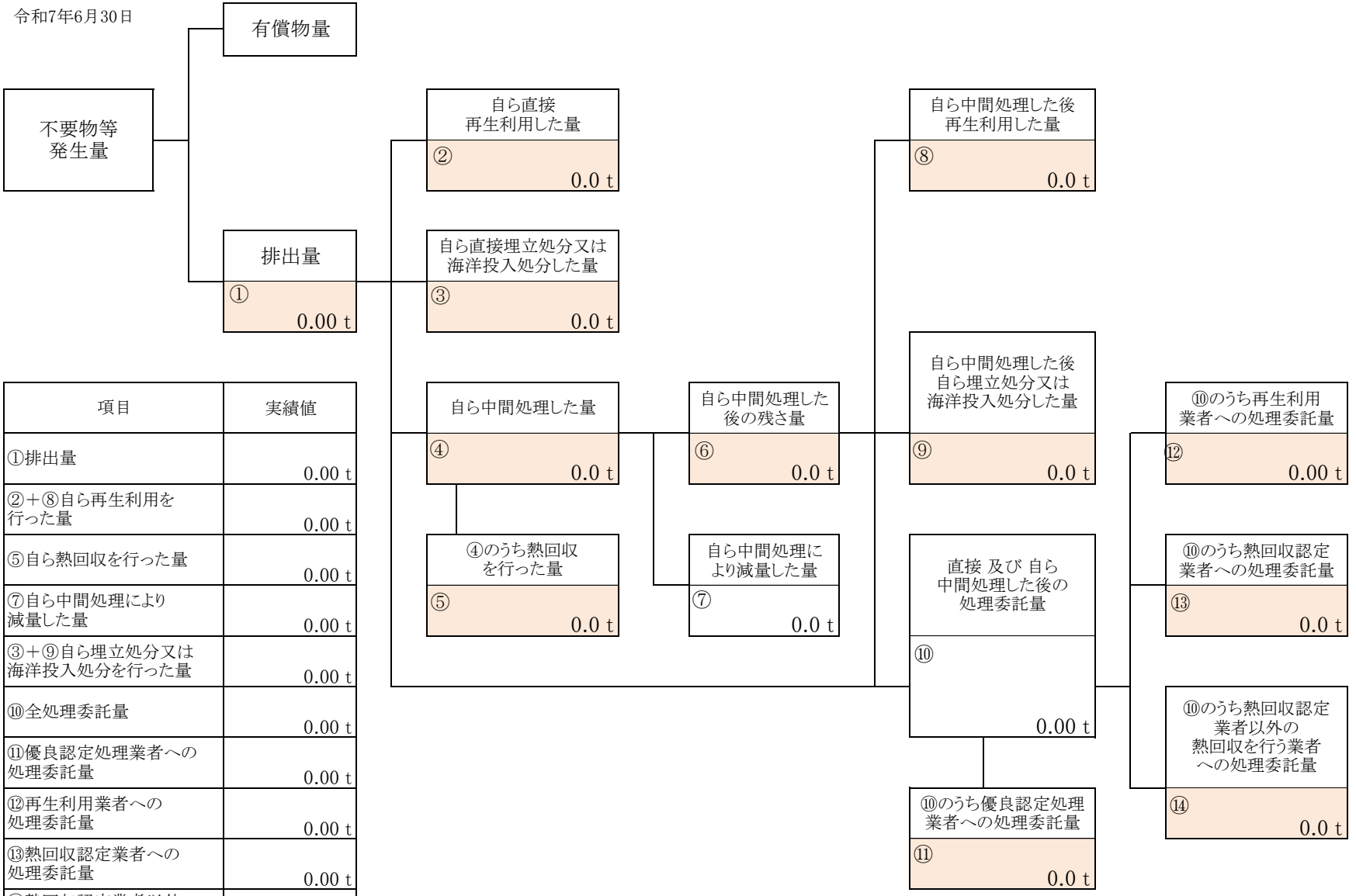
項目	実績値
①排出量	1.97 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.97 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.97 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

令和7年6月30日



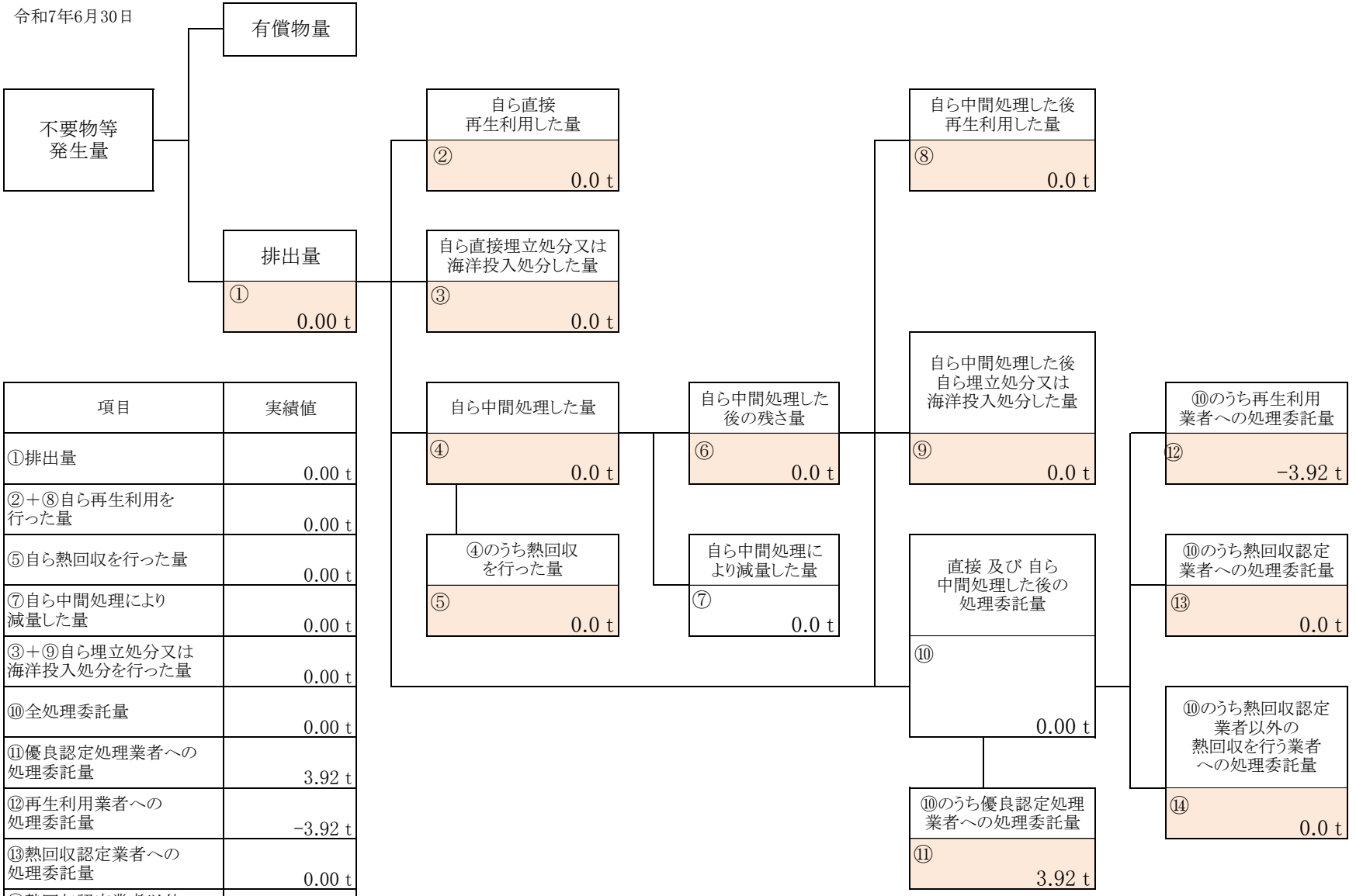
項目	実績値
①排出量	0.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

令和7年6月30日



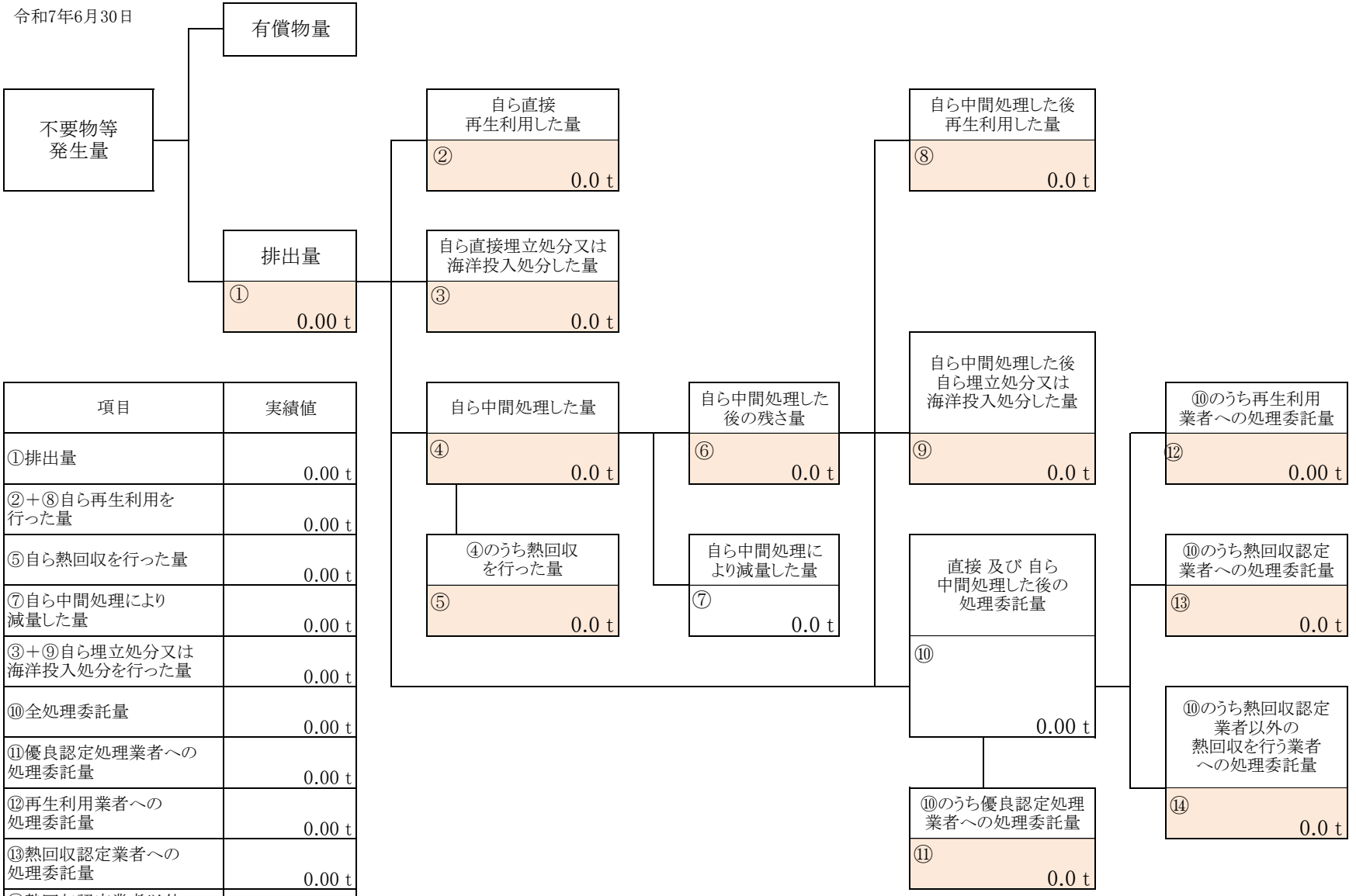
項目	実績値
①排出量	0.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.92 t
⑫再生利用業者への処理委託量	-3.92 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

令和7年6月30日



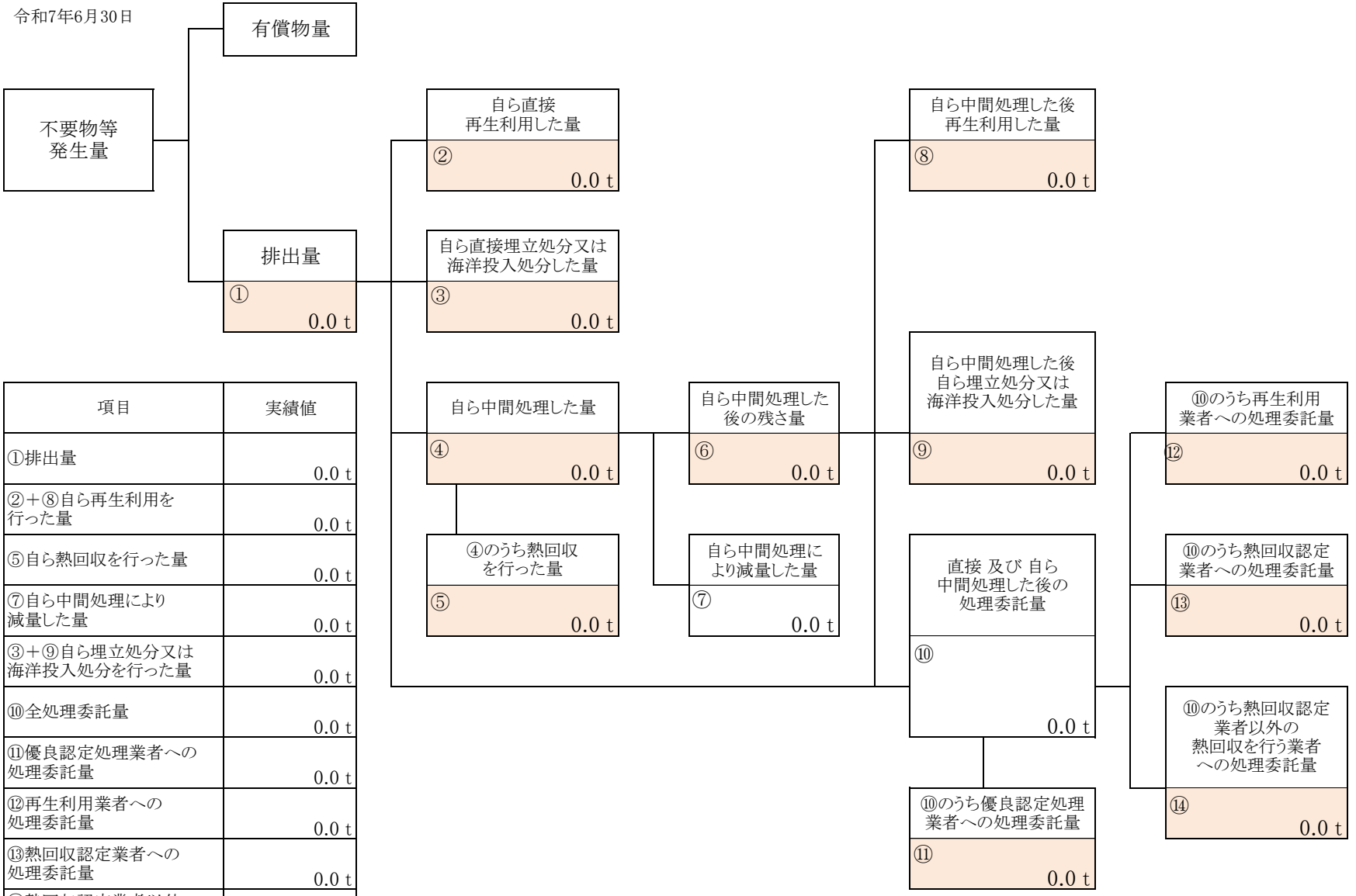
項目	実績値
①排出量	0.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：鉱さい）

令和7年6月30日



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3 「産業廃棄物処理計画におけ令和7年6月30日
した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月7日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-3211

住　所　千葉県大網白里市細草1624番地1

法人名　鈴木土建株式会社

代表者　内山 弘通

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0475-77-6111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鈴木土建株式会社
事業場の所在地	千葉県大網白里市細草1624番地1
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　9.3億円
③従業員数	28名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	作業所 → 委託処理(中間処理) → 再資源化 ↓　↓ 委託処理(最終処分場)　委託処理(最終処分場)

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

社　長　←　処理計画統括責任者
　↓　　→　総務部(処理計画作成担当者)
工務部
　↓
作業所(廃棄物担当)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
排出量	1016.89 t	437.18 t

（これまでに実施した取組）
設計図書に基づき適正な処理を行う。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
排出量	1016 t	437 t

（今後実施する予定の取組）
現状取り組みを維持する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別解体の計画、建設産業廃棄物委託契約書ごとの分別を行い、適切に処理を行っている。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現状実施している取り組みを適切に継続。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		アスファルトコンクリートがら	コンクリートがら
全処理委託量		1016.89 t	437.18 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1016.89 t	437.18 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

建設産業廃棄物委託契約に基づき適正な処理を行った。
マニフェストの適切な管理を行った。

<table>
<tr><td></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アスファルトコンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1016 t</td><td>437 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1016 t</td><td>437 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
建設産業廃棄物委託契約に基づき適正な処理を行う。
マニフェストの適切な管理を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
		排　出　量	83.28 t	1.98 t	2.53 t	1.96 t	5.05 t	10.8 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
		排　出　量	83 t	1 t	2 t	1 t	5 t	10 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
	全処理委託量	83.28 t	1.98 t	2.53 t	1.96 t	5.05 t	10.8 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	83.28 t	1.98 t	2.53 t	1.96 t	5.05 t	10.8 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック	混合廃棄物	汚泥(廃ｱﾙｶﾘ)	木くず	汚泥		
	全処理委託量	83 t	1 t	2 t	1 t	5 t	10 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	83 t	1 t	2 t	1 t	5 t	10 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　264-0028

住　所　千葉県千葉市若葉区桜木2-1-8

法人名　スマート株式会社

代表者　大沼 唱司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-301-6650

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	スマート株式会社
事業場の所在地	千葉県千葉市若葉区桜木2-1-8
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	前年度の請負金額　487,061,991円
③従業員数	20人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートがら
排出量	358.57 t	5218.23 t

（これまでに実施した取組）

分別解体を心掛け、品目別に仕分けをし分別する。
リサイクル（再利用）できる物は、分別を徹底する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートがら
排出量	300 t	4800 t

（今後実施する予定の取組）

前年度の取組みを引き続き実施する。
品目別ごとに数量を計画し、発生する廃棄物について可能な限り分別・再利用に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

木くず：解体過程で生ずる木材は効率的に分別を行い廃棄物の排出の抑制を行う。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

混合廃棄物：解体過程で生ずる廃棄物を出来るだけ細分化し分別処理を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

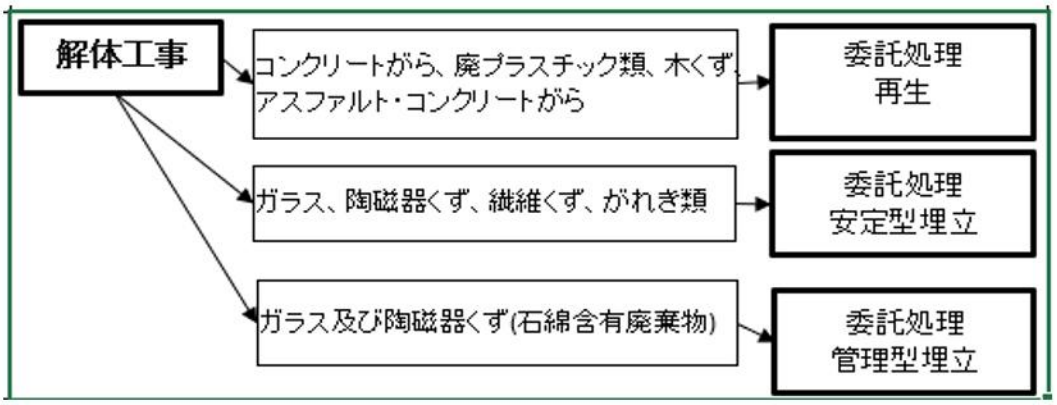
産業廃棄物の種類		木くず	コンクリートがら
全処理委託量		358.57 t	5218.23 t
	優良認定処理業者への処理委託量	302.89 t	1247 t
	再生利用業者への処理委託量	290.79 t	1426 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

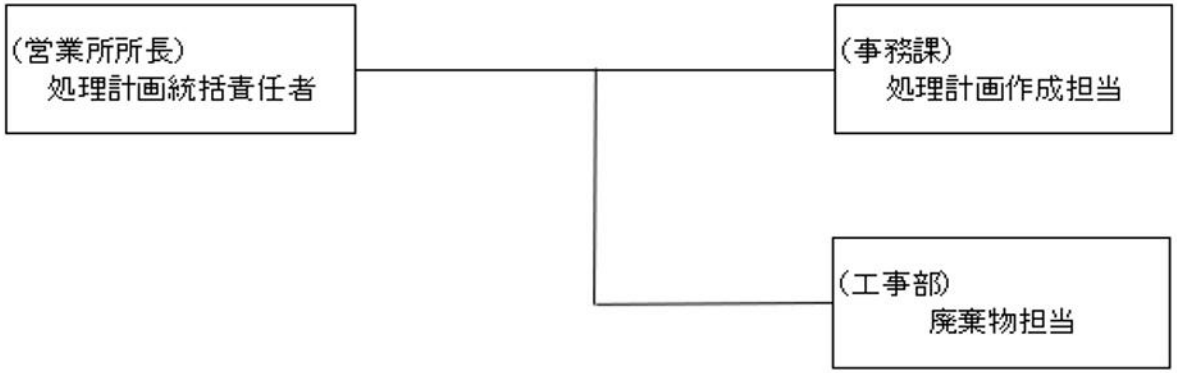
（これまでに実施した取組）

再利用に努め、最終処分の廃棄物の削減に努める。
産業廃棄物の処理は、委託契約書を締結した業者のみに委託することを徹底している。また、マニフェストにより最終処分までの工程を確認している。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>300 t</td><td>4800 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>280 t</td><td>4500 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>300 t</td><td>4800 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
分別解体を心掛け、品目別に仕分けをし、分別する。
リサイクル（再利用）できる物は分別を徹底する。
再利用に努め、廃棄物の削減に努める。
可能な限り優良認定処理業者から選定する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


解体工事
コンクリートがら、廃プラスチック類、木くず、
アスファルト・コンクリートがら
委託処理
再生
ガラス、陶磁器くず、繊維くず、がれき類
委託処理
安定型埋立
ガラス及び陶磁器くず(石綿含有廃棄物)
委託処理
管理型埋立


(営業所所長)
処理計画統括責任者
(事務課)
処理計画作成担当
(工事部)
廃棄物担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
		排　出　量	193 t	409.73 t	194.33 t	19.05 t	3.316 t	60.294 t	46.39 t	0.26 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
		排　出　量	160 t	300 t	160 t	10 t	1.5 t	40 t	25 t	0.1 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
全処理委託量	193 t	409.73 t	194.33 t	19.05 t	3.316 t	60.294 t	46.39 t	0.26 t
優良認定処理業者への処理委託量	17.02 t	10.55 t	89.83 t	0.35 t	0.8 t	39.39 t	37.4 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	17.02 t	8 t	80 t	0.35 t	0 t	38.87 t	37.4 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	アスファルト・コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設混合廃棄物
全処理委託量	160 t	300 t	160 t	10 t	1.5 t	40 t	25 t	0.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	50 t	50 t	50 t	5 t	1 t	20 t	15 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	160 t	300 t	160 t	10 t	0 t	40 t	25 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
		排　出　量	11.384 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
		排　出　量	8 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
	全処理委託量	11.384 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有産業廃棄物）							
	全処理委託量	8 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	5 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 17日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒264-0028
住 所　千葉県千葉市若葉区桜木2-1-8
氏 名　スマート株式会社 代表取締役 大沼唱司
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-301-6650

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	スマート株式会社
事業場の所在地	千葉県千葉市若葉区桜木2-1-8
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

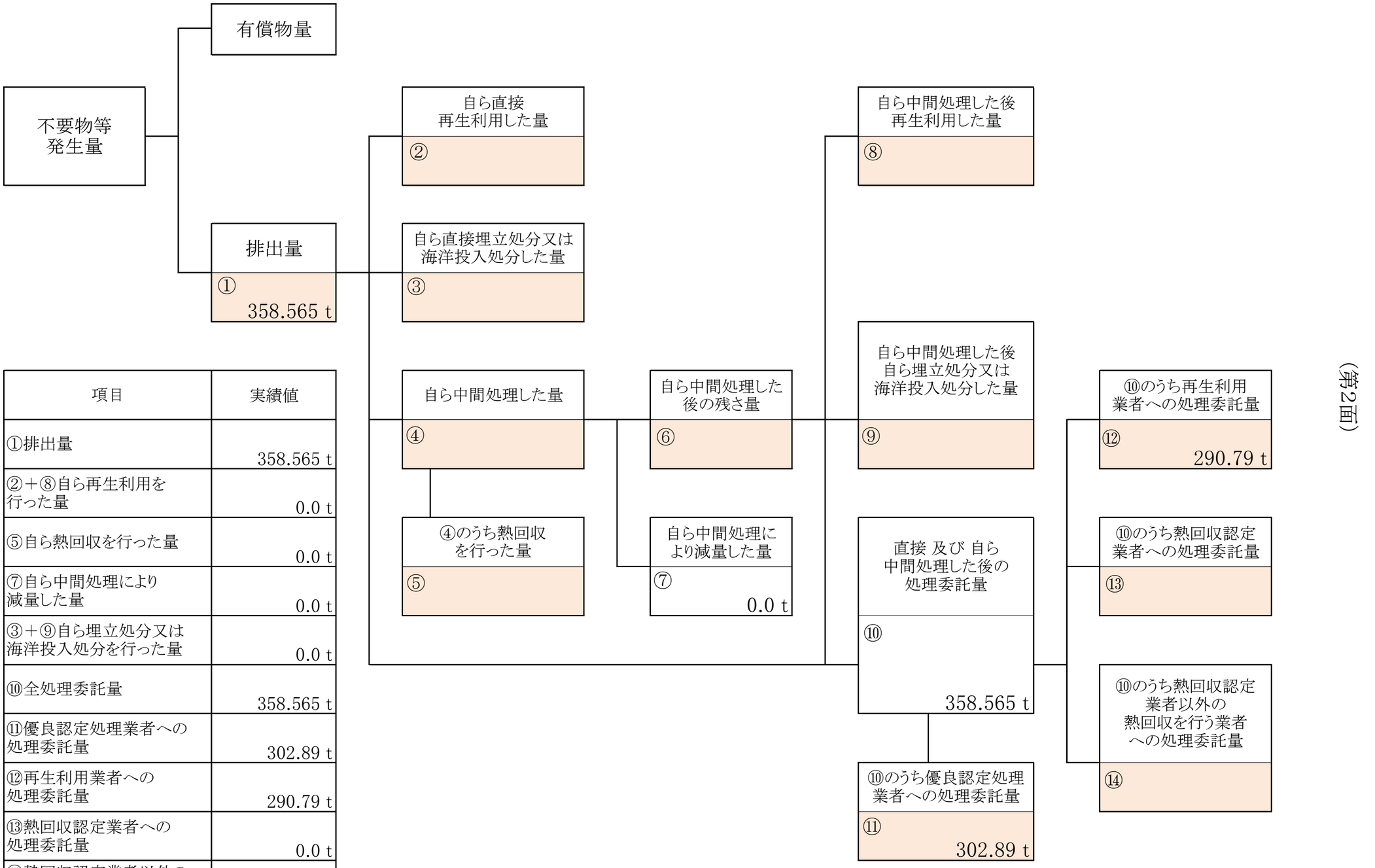
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2458.0 t	全処理委託量	2458.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	1985.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2256.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

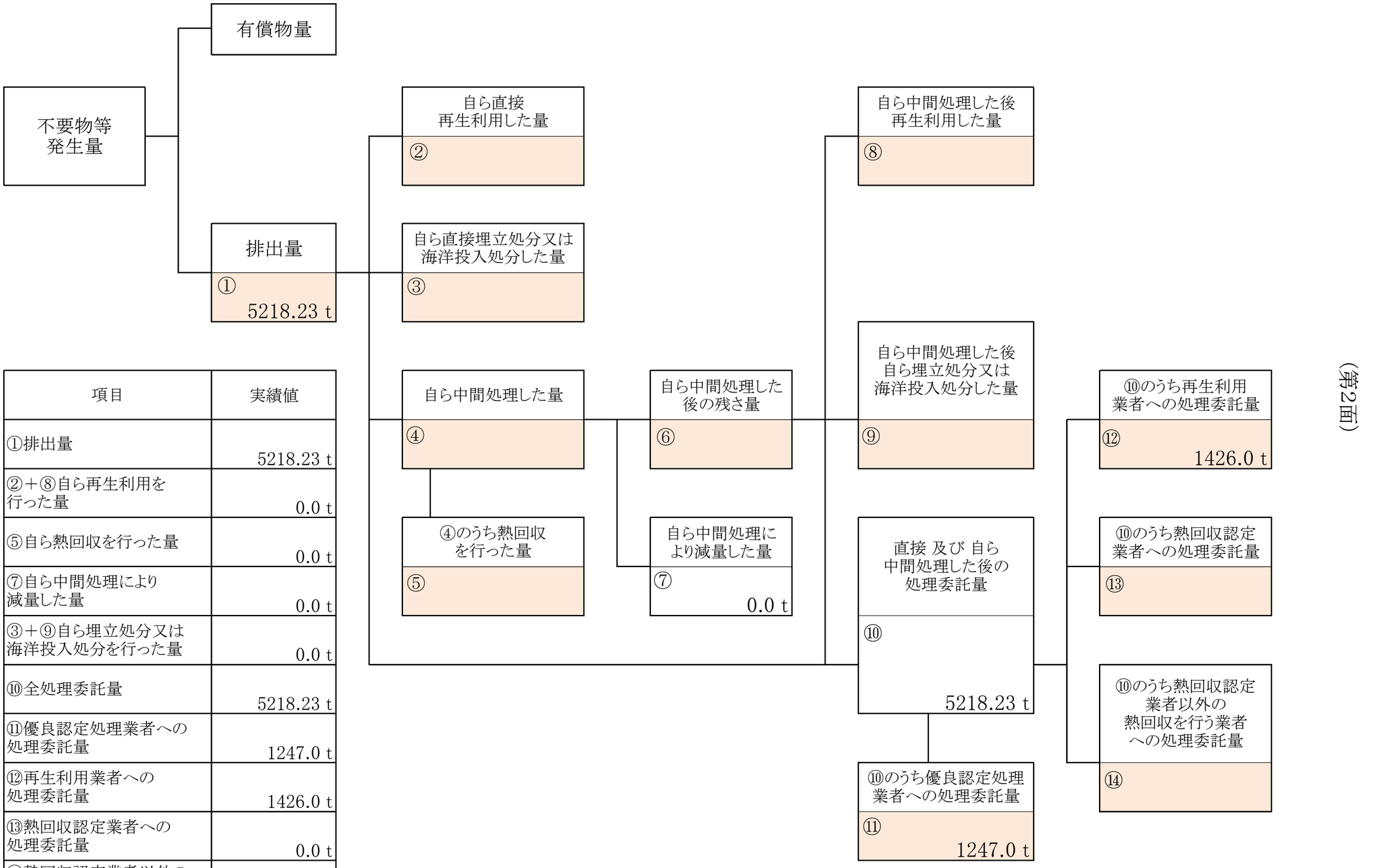


項目	実績値
①排出量	358.565 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	358.565 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	302.89 t
⑫再生利用業者への処理委託量	290.79 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

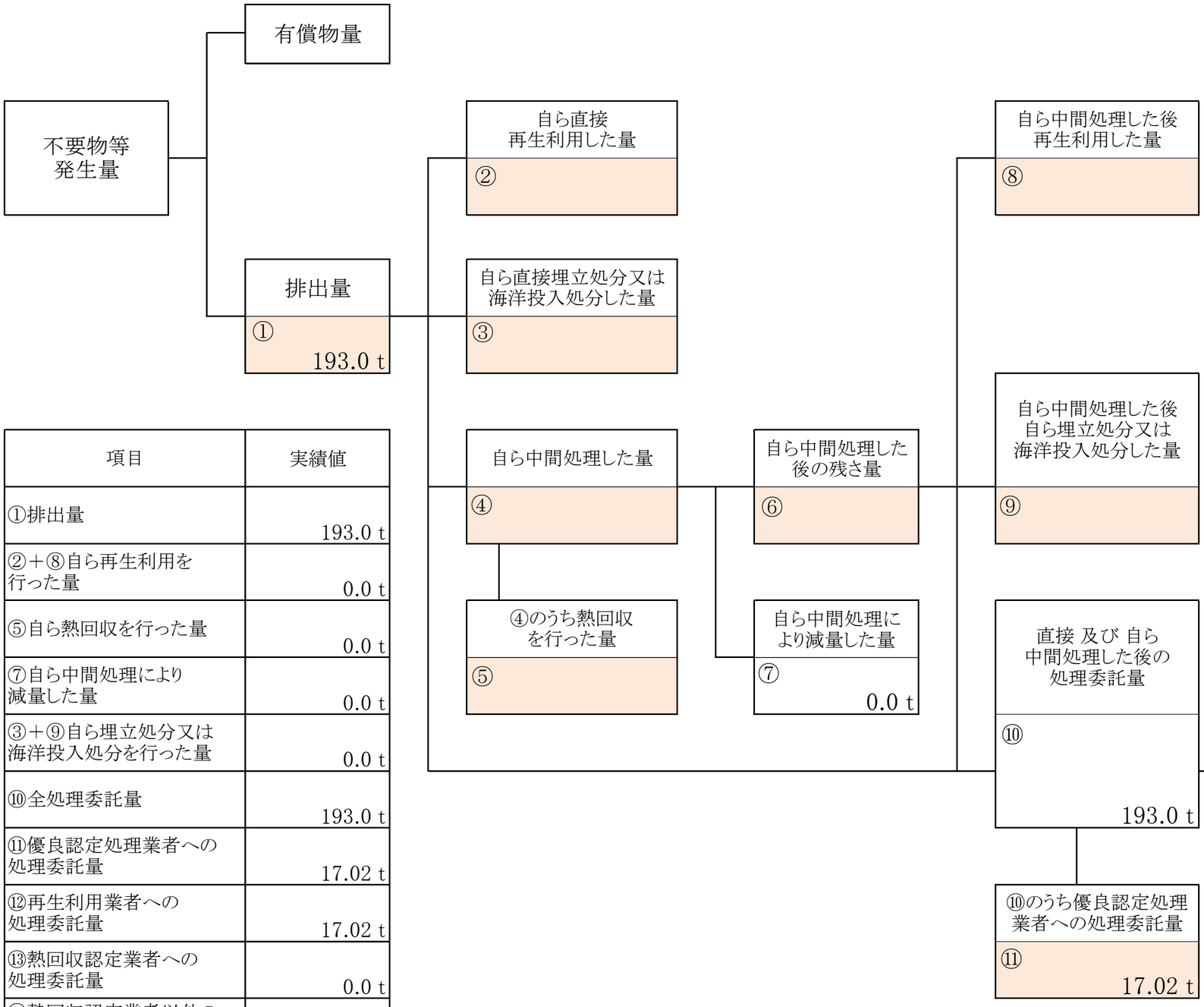


項目	実績値
①排出量	5218.23 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5218.23 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1247.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1426.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

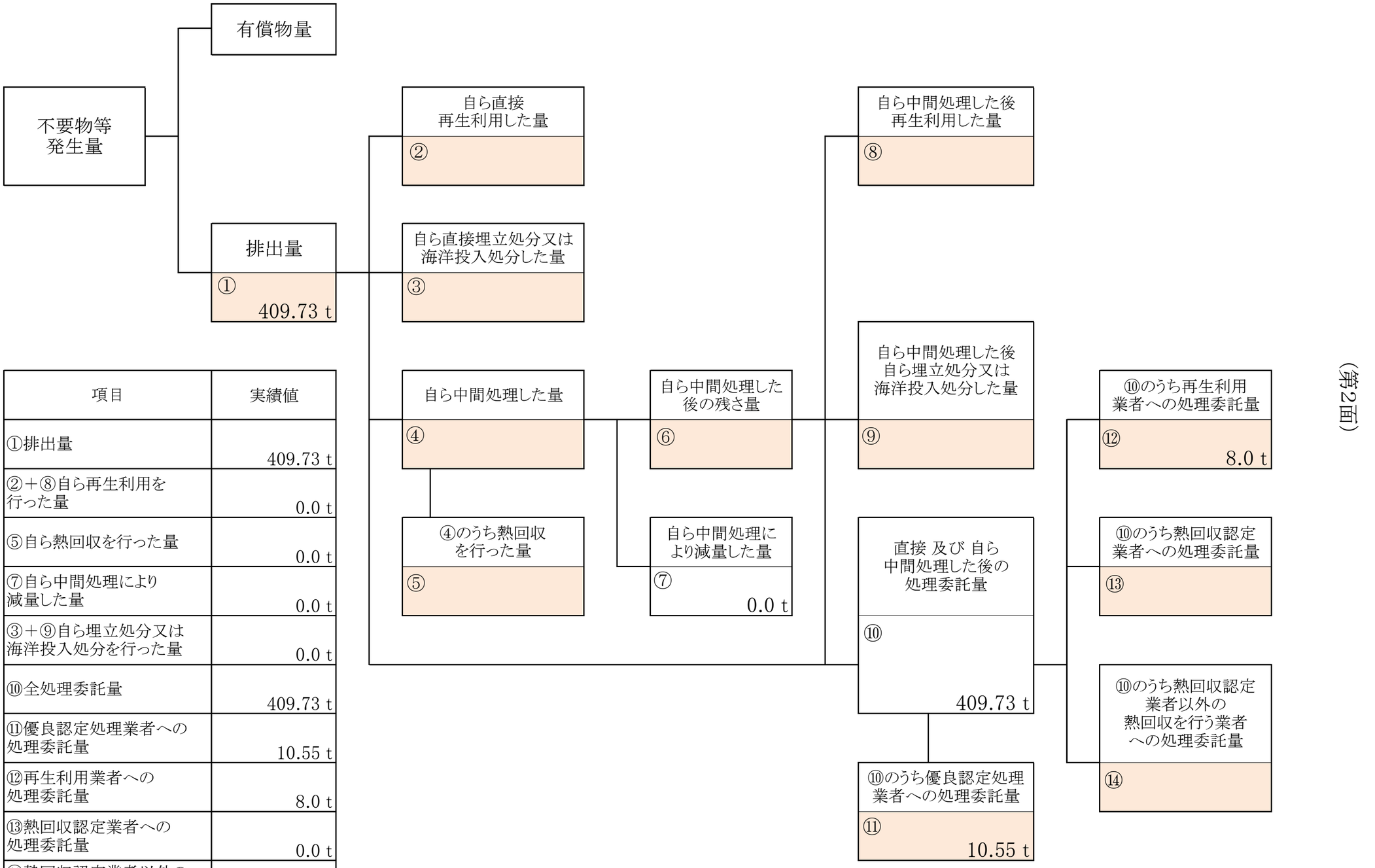


項目	実績値
①排出量	193.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	193.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.02 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.02 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

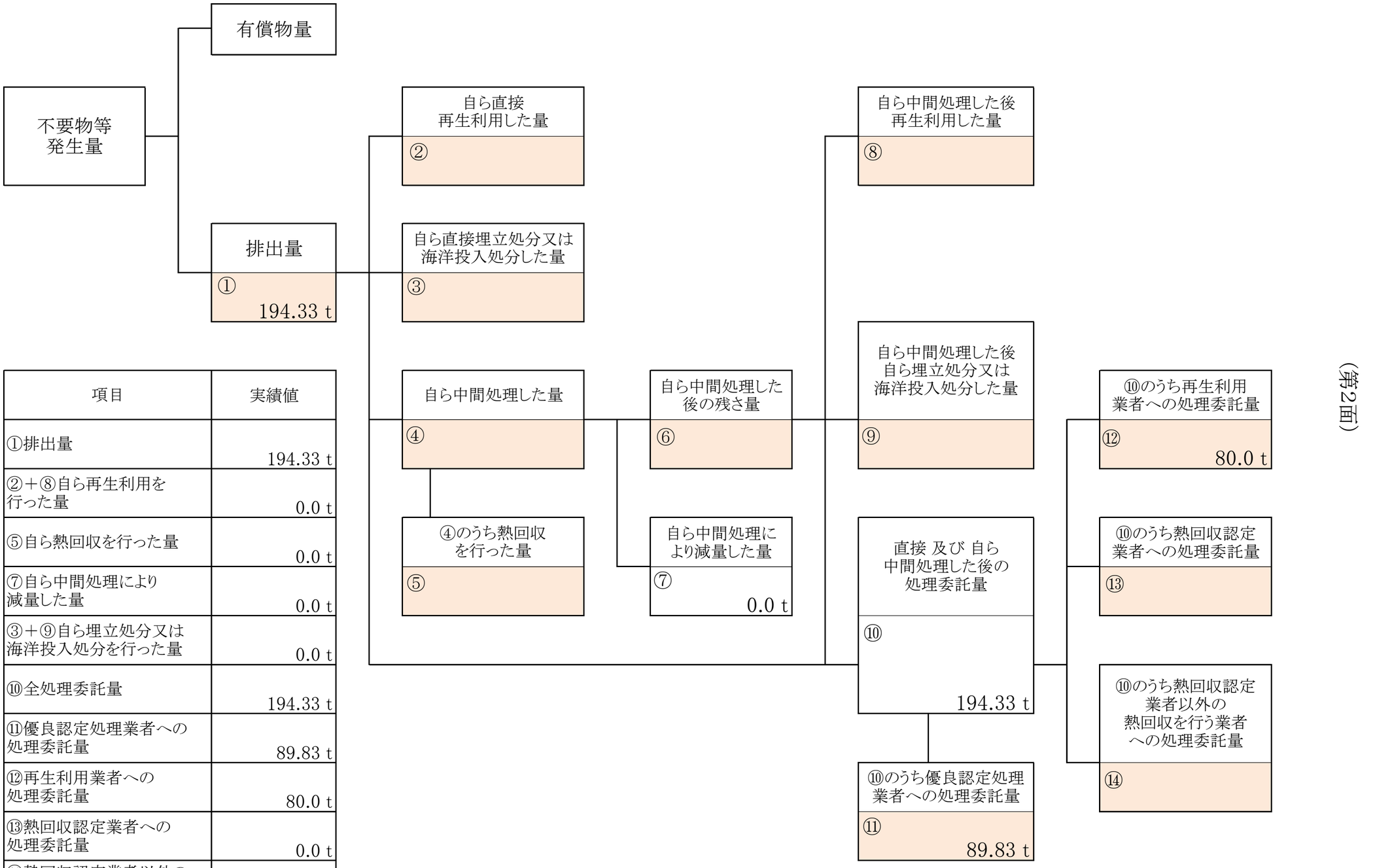


項目	実績値
①排出量	409.73 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	409.73 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.55 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

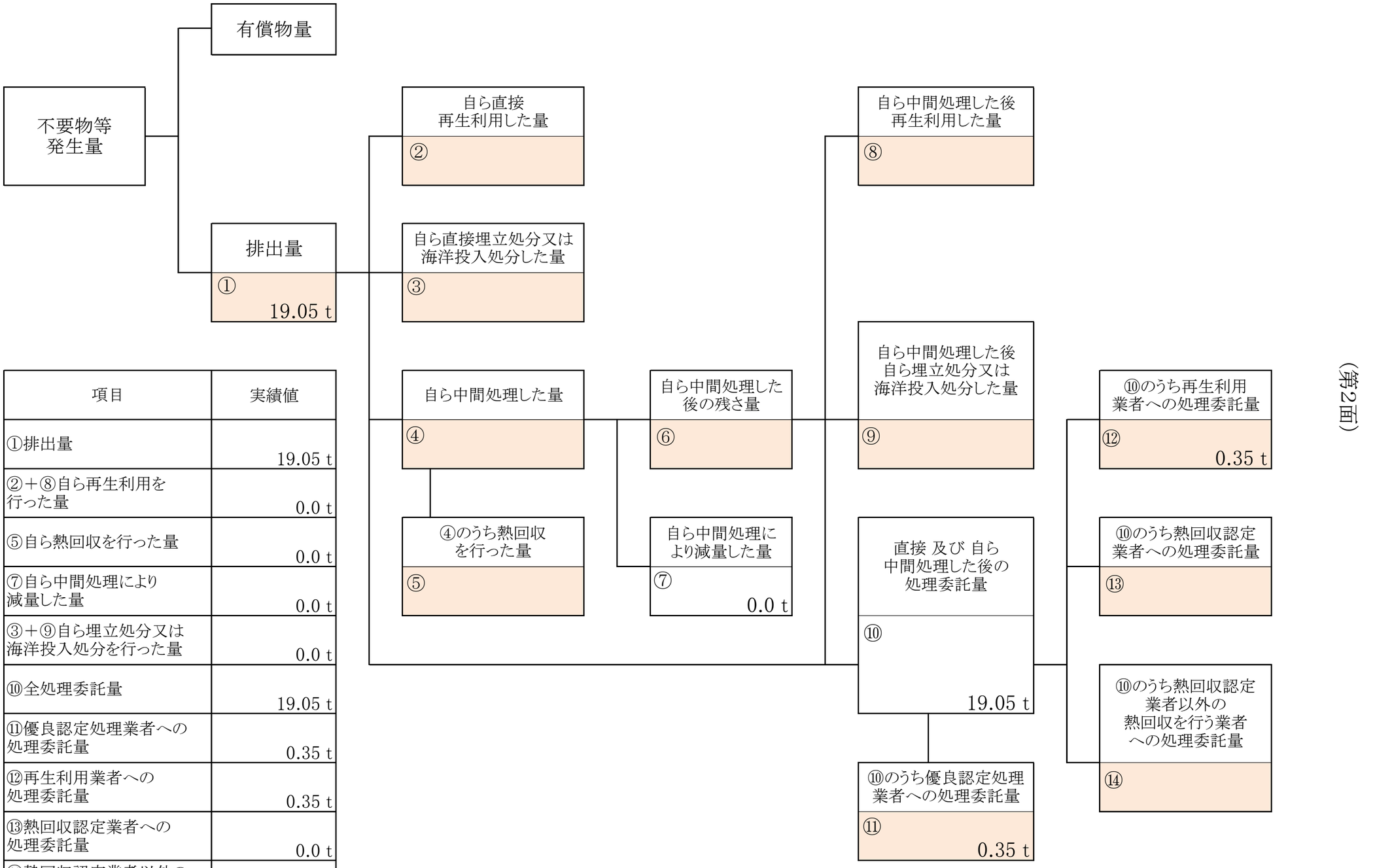


項目	実績値
①排出量	194.33 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	194.33 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.83 t
⑫再生利用業者への処理委託量	80.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

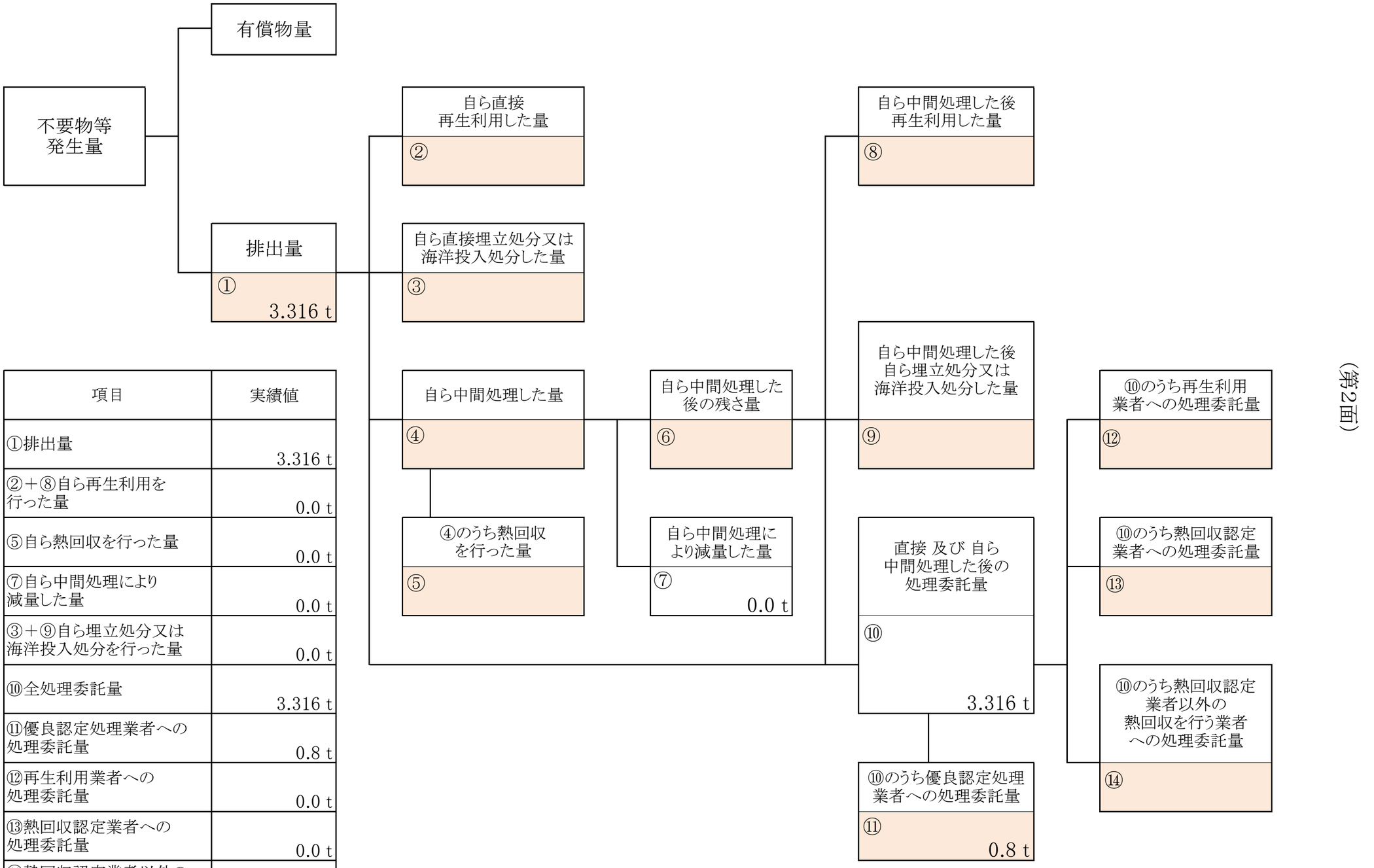


項目	実績値
①排出量	19.05 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.05 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.35 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.35 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）

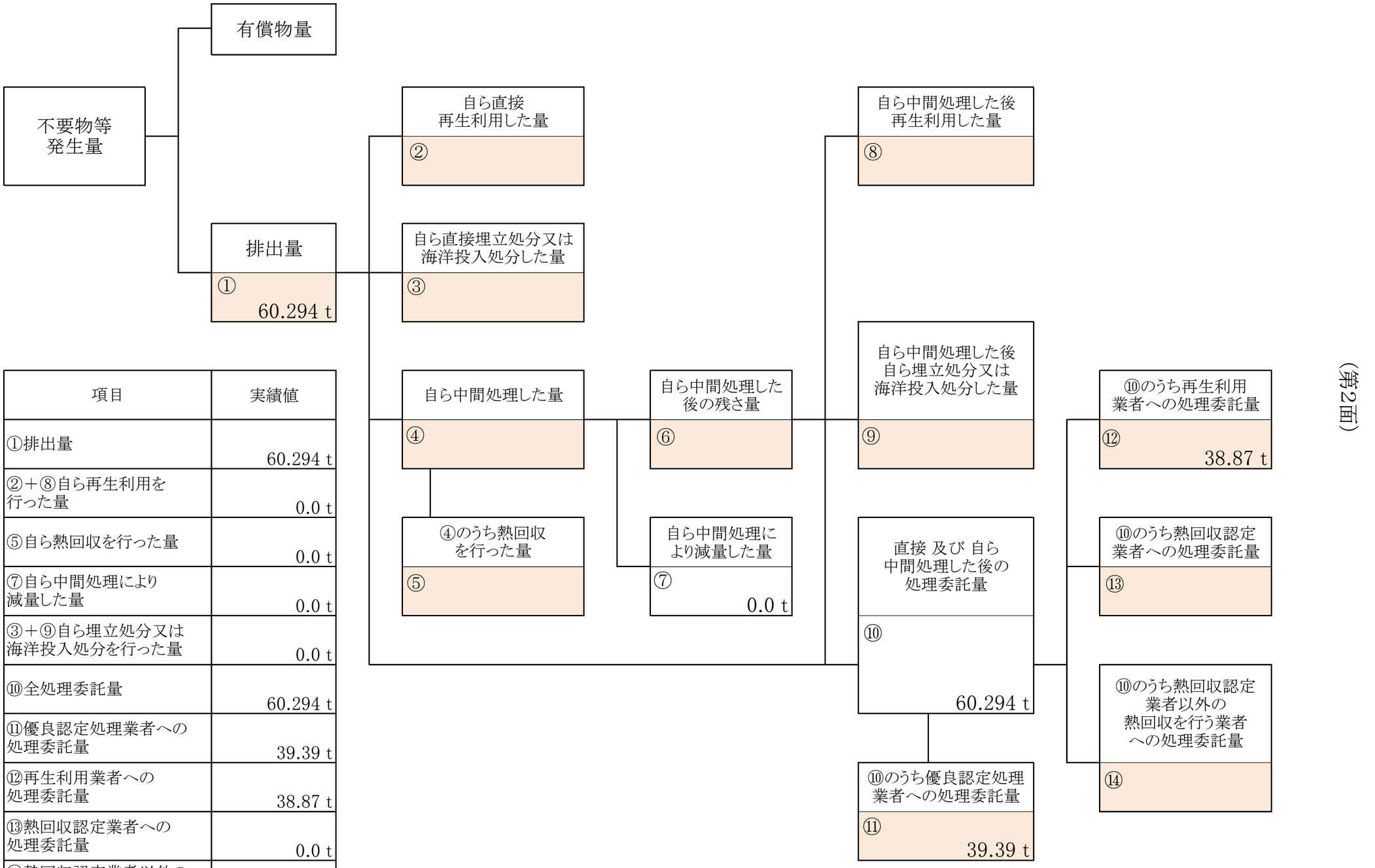


項目	実績値
①排出量	3.316 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.316 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混合廃棄物**）

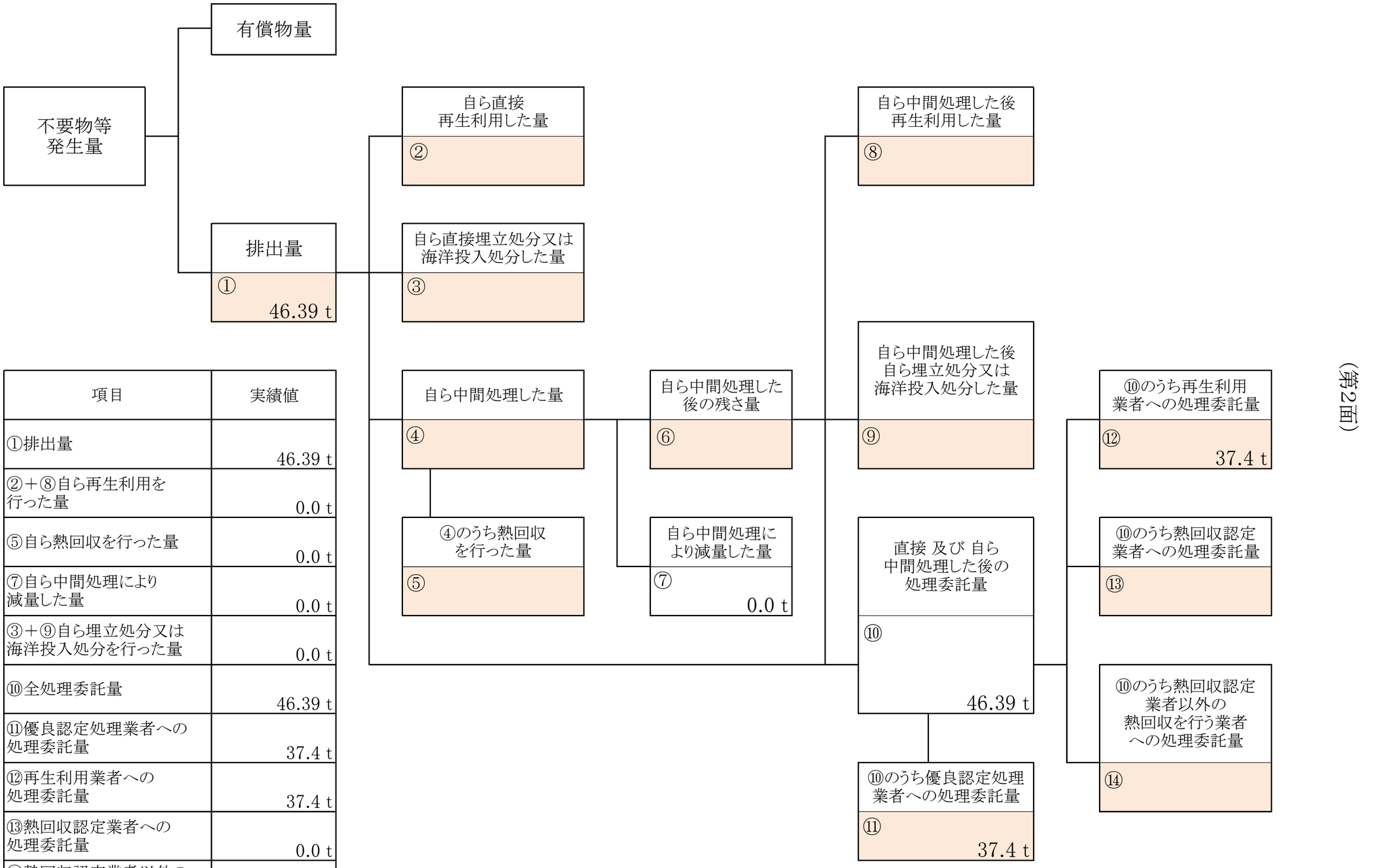


項目	実績値
①排出量	60.294 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.294 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.39 t
⑫再生利用業者への処理委託量	38.87 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**安定型混合廃棄物**）

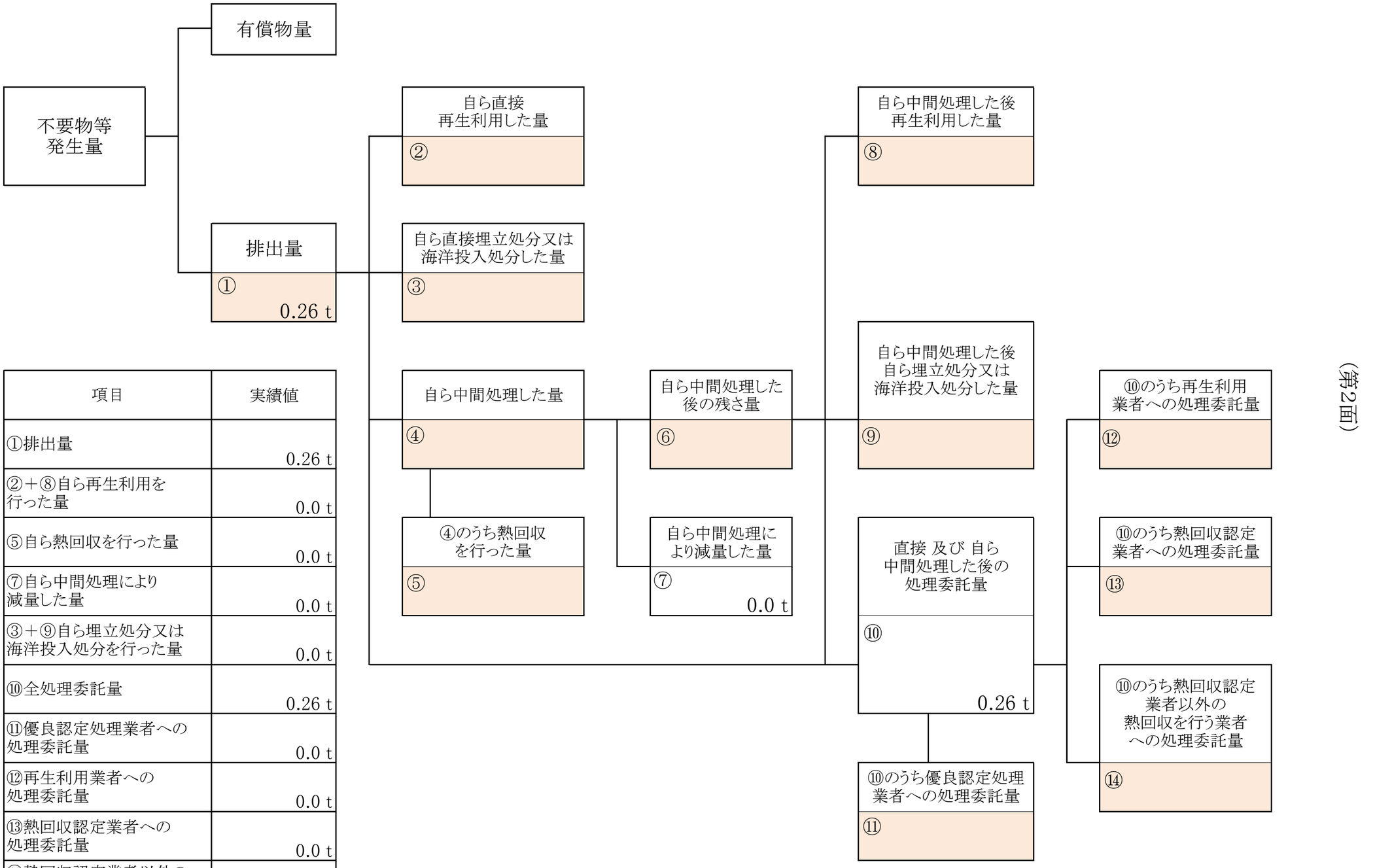


項目	実績値
①排出量	46.39 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.39 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	37.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	37.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

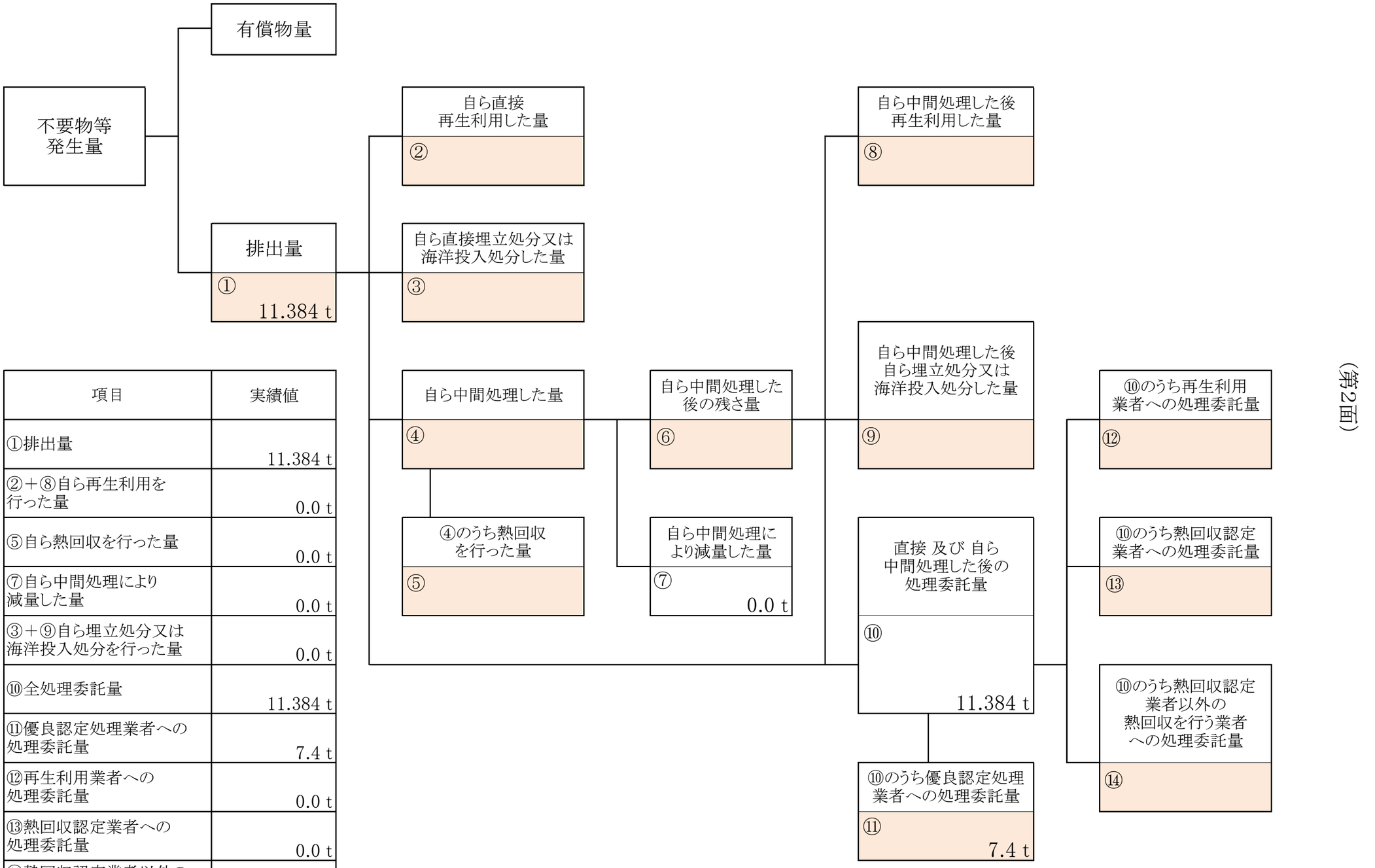


項目	実績値
①排出量	0.26 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.26 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（石綿含有産業廃棄物）**）



項目	実績値
①排出量	11.384 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.384 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 7月 1 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒261-7128

住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬２－６－１
WBGマリブイースト２８階

氏　名　住友不動産ハウジング株式会社

新築そっくりさん事業本部　首都圏事業部

千葉エリア統括　中内智宏

電話番号　050-3112-6692

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部　首都圏事業部　千葉エリア
事業場の所在地	千葉市美浜区中瀬２－６－１　マリブイースト２８階
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	3,800百万円（税別）
③従業員数	70名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列4番）

千葉県 7.7.01 収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり
排出量	t　　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり
排出量	t　　t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	別紙のとおり	
全処理委託量_	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
	排出量	4 t	129.7 t	1.1 t	1.3 t	54.1 t	13.0 t	795.0 t	3.7 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
	排出量	0 t	115 t	1 t	1.2 t	50 t	12 t	750 t	3.5 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
全処理委託量	4.0 t	129.7 t	1.1 t	1.3 t	54.1 t	13.0 t	795.0 t	3.7 t
優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t	117.7 t	0.9 t	1.2 t	49.3 t	11.2 t	722.8 t	0.7 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	95.1 t	0.8 t	0.2 t	39.7 t	10.1 t	583.0 t	2.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	4.1 t	0.0 t	0.0 t	2.1 t	0.1 t	5.3 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.1 t	0.1 t	1.0 t	4.6 t	1.7 t	111.2 t	0.7 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え柄	廃プラスチック類	紙くず	建設工事の紙くず	ダンボール	木くず	建設工事の木くず	繊維くず
全処理委託量	0 t	115 t	1 t	1.2 t	50 t	12 t	750 t	3.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	110 t	0.8 t	1.1 t	45 t	10 t	680 t	0.6 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	90 t	0.7 t	0.2 t	36 t	9 t	550 t	2.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	3 t	0 t	0 t	2 t	0.1 t	5 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	1 t	0.1 t	0.9 t	4 t	1.5 t	105 t	0.6 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
		排　出　量	12.0 t	144.8 t	405.2 t	106.9 t	265.0 t	19.5 t	6.8 t	189.4 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
		排　出　量	11 t	135 t	370 t	95 t	240 t	18 t	5.6 t	170 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
全処理委託量	12.0 t	144.8 t	405.2 t	106.9 t	265.0 t	19.5 t	6.8 t	189.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	10.9 t	144.8 t	339.5 t	16.4 t	265.0 t	19.5 t	6.2 t	172.5 t
再生利用業者への処理委託量	8.8 t	144.8 t	339.6 t	16.7 t	265.0 t	19.5 t	4.8 t	138.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	1.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.2 t	4.4 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合産業廃棄物
全処理委託量	11 t	135 t	370 t	95 t	240 t	18 t	5.6 t	170 t
優良認定処理業者への処理委託量	10 t	135 t	310 t	15 t	240 t	18 t	5.6 t	160 t
再生利用業者への処理委託量	8 t	135 t	310 t	15 t	240 t	18 t	4.5 t	125 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.9 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0.2 t	4 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯					
	排　出　量	98.6　t	4.4　t	21.5　t	0.1　t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯					
	排　出　量	90　t	4　t	20　t	0.1　t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

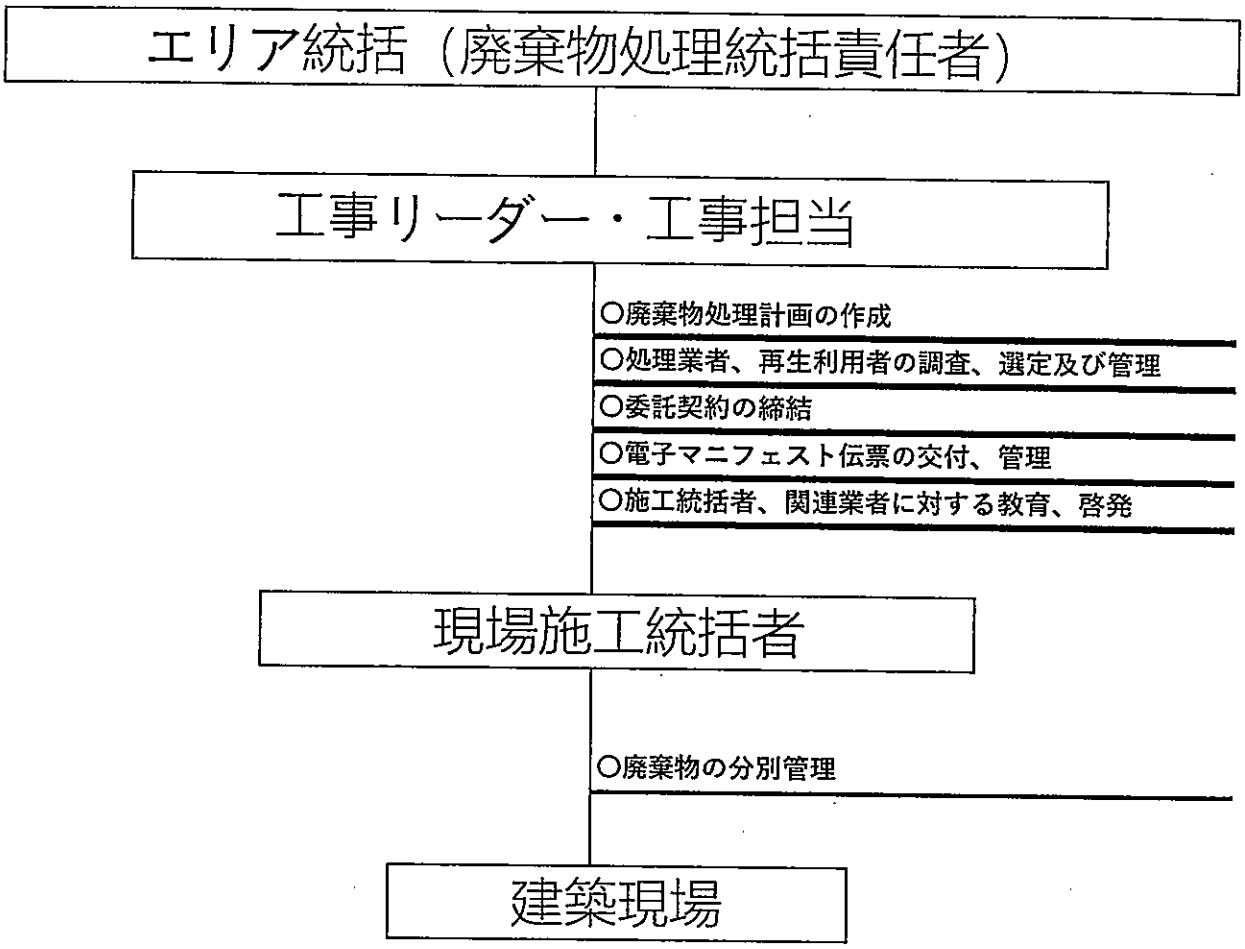
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

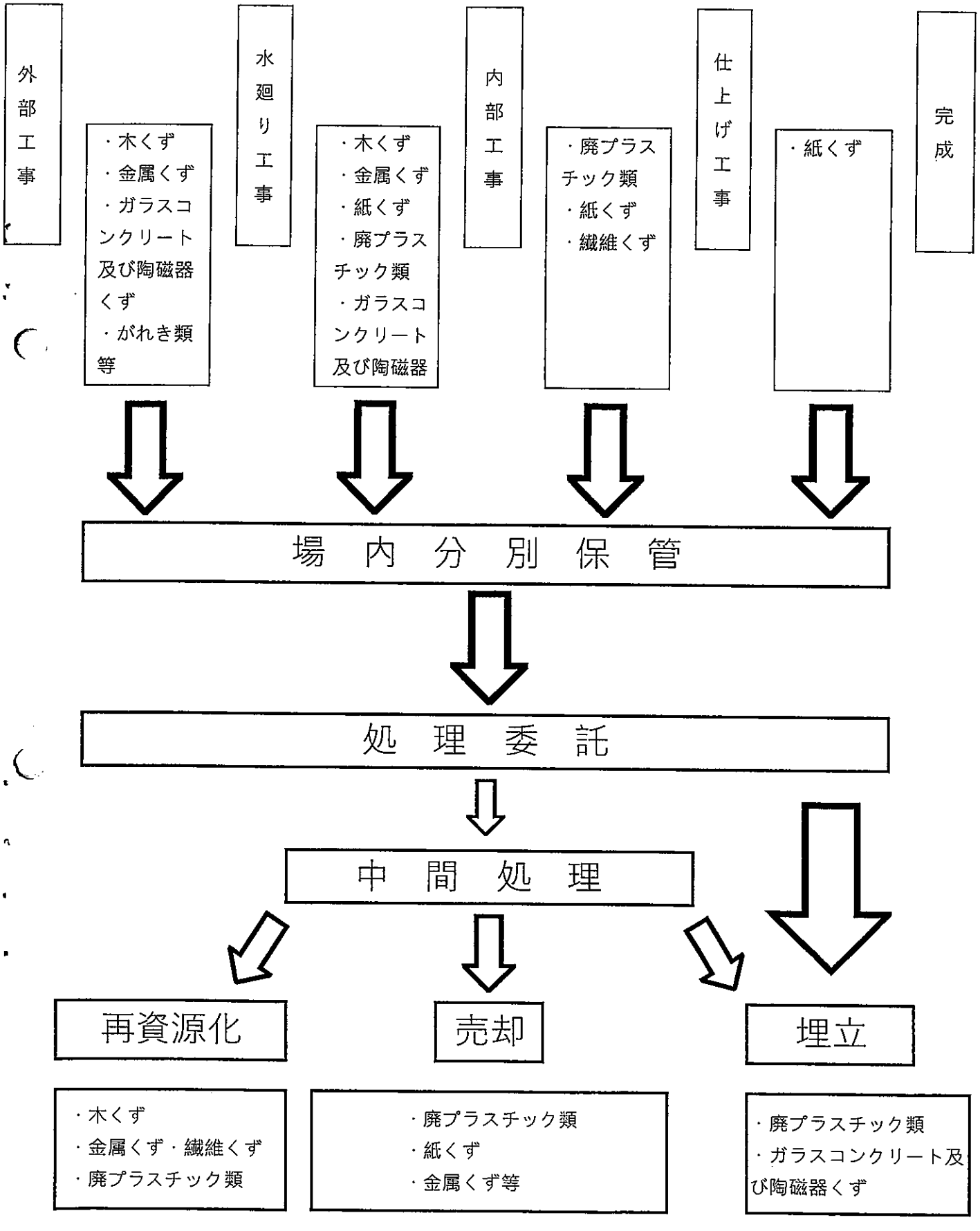
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯				
	全処理委託量	98.6 t	4.4 t	21.5 t	0.1 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	98.6 t	4.4 t	21.5 t	0.1 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.1 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿）	廃プラスチック類（石綿）	がれき類（石綿）	蛍光灯				
	全処理委託量	90 t	4 t	20 t	0.1 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	90 t	4 t	20 t	0.1 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0.1 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理に係る管理体制による事項

【管理体制図】



④産業廃棄物の一連の処理工程



様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年7月1日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒261-7128
住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬2－6－1
WBGマリブイースト28階
氏　名　住友不動産ハウジング株式会社
新築そっくりさん事業本部
千葉エリア統括　中内智宏
電話番号　050-3112-6692

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部　首都圏事業部　千葉エリア
事業場の所在地	千葉市美浜区中瀬2－6－1　マリブイースト28階
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

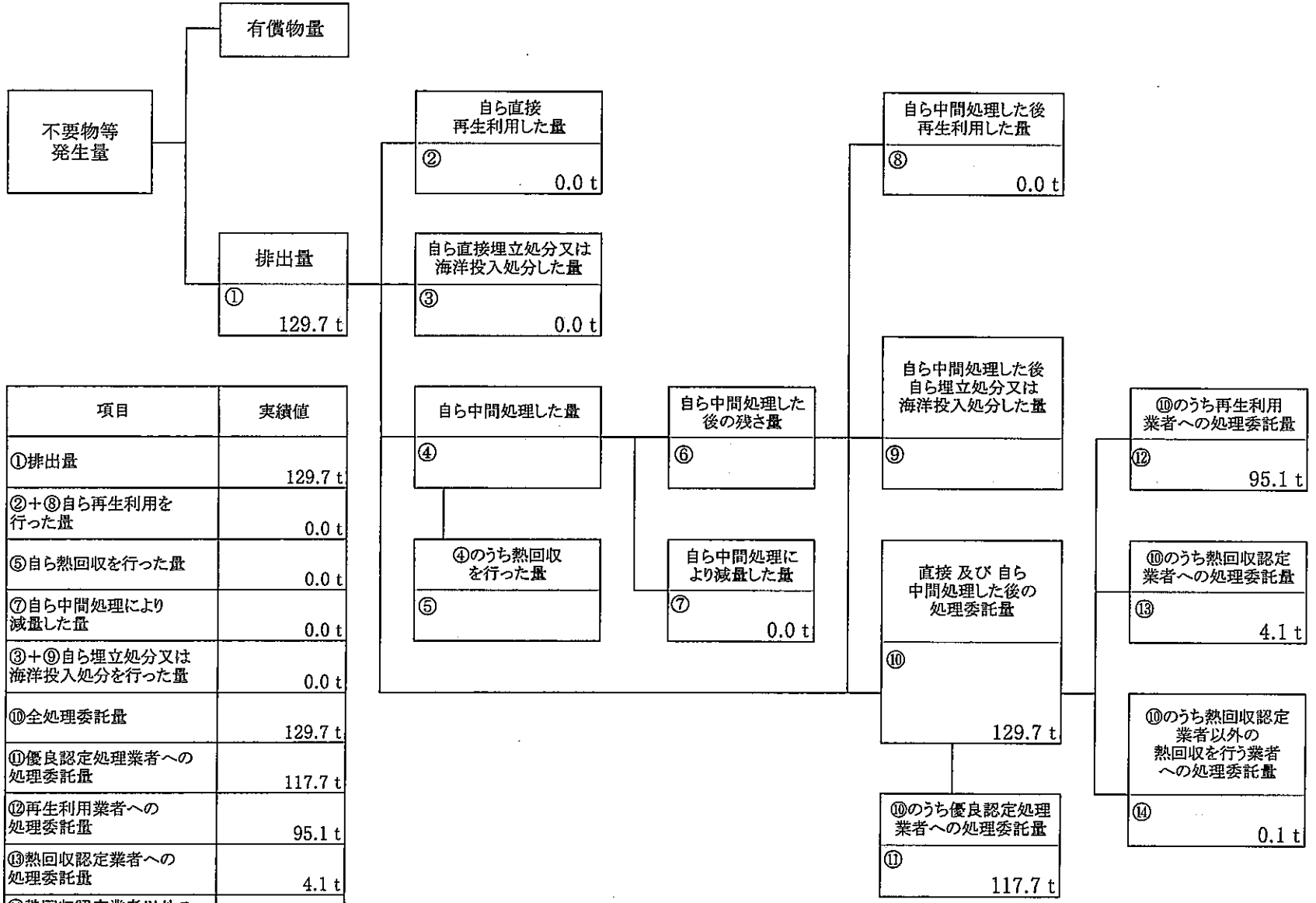
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2520.2 t	全処理委託量	2520.2 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	2520.2 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2072.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	100.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.5 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

千葉県 7.7.01 収受

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類）

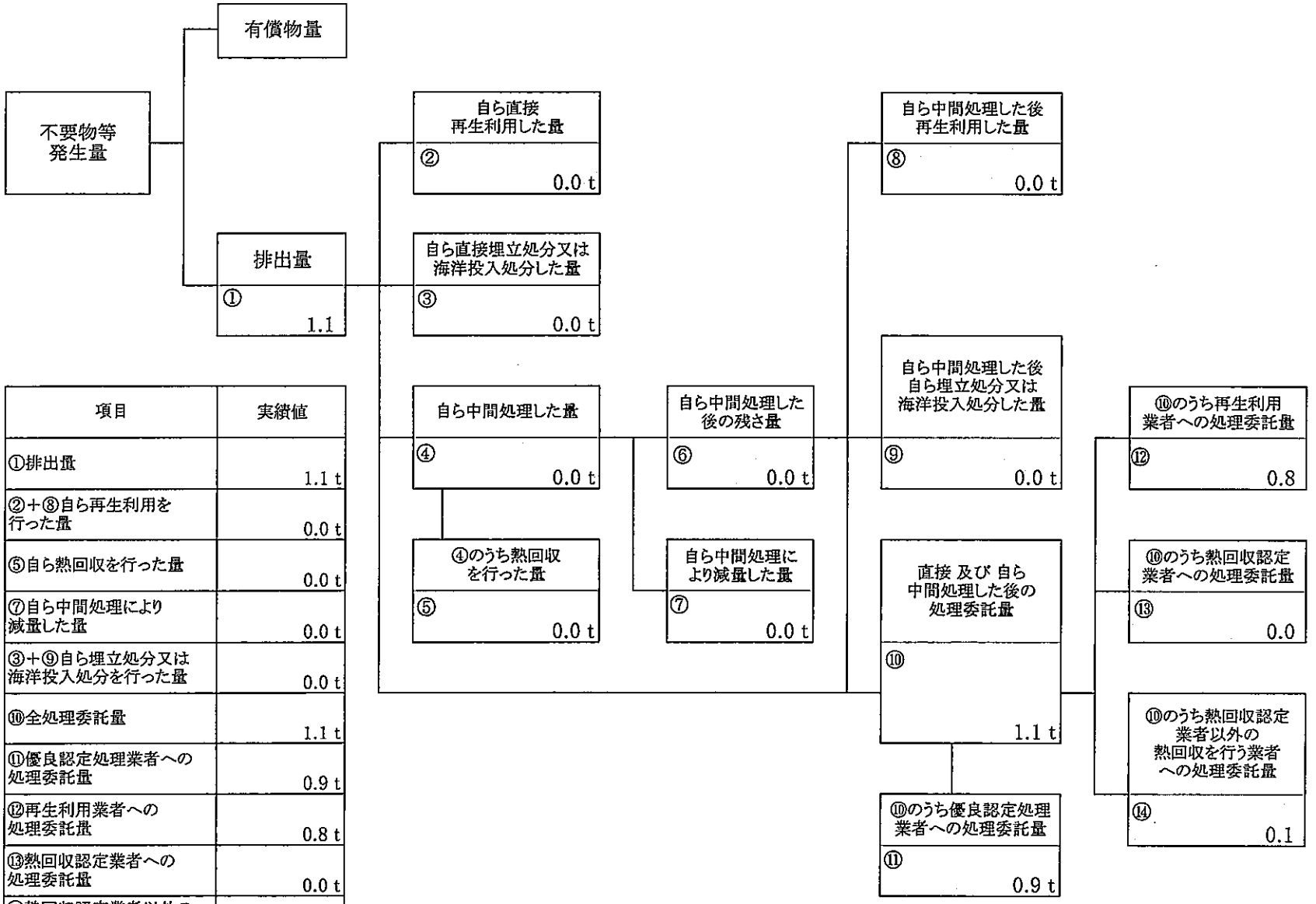


項目	実績値
①排出量	129.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	129.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	117.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	95.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

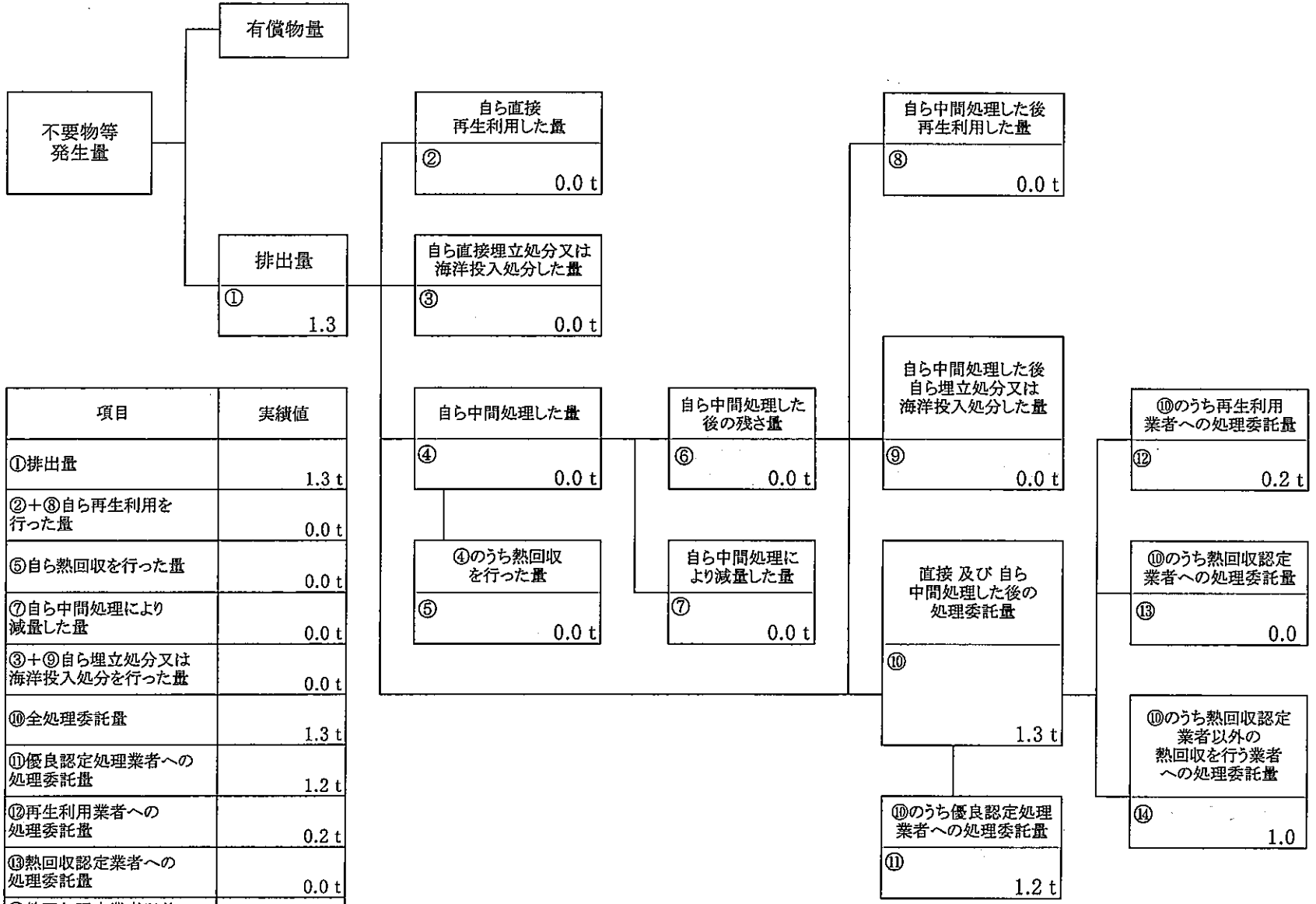


項目	実績値
①排出量	1.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：建設工事の紙くず）

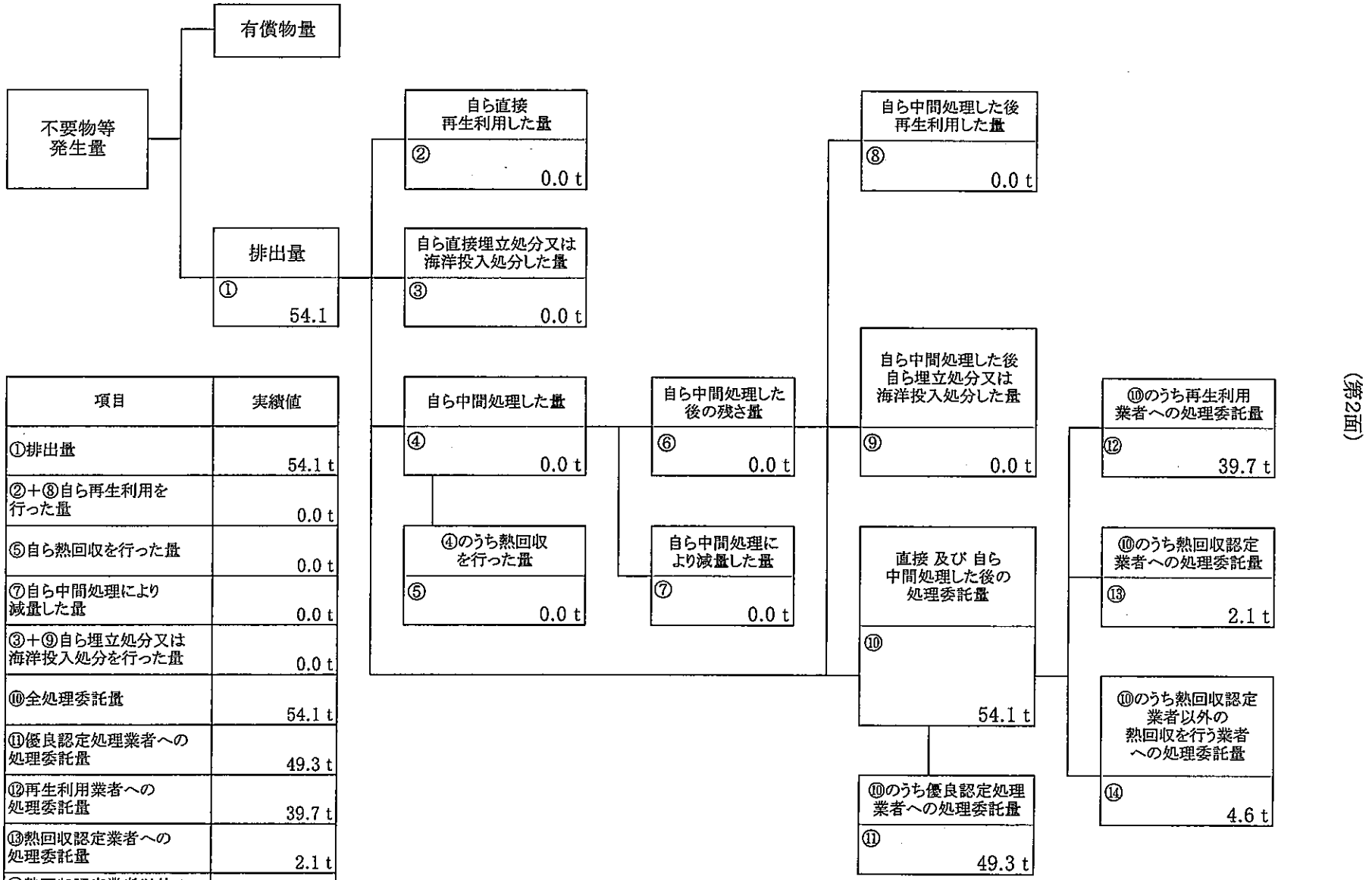


項目	実績値
①排出量	1.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ダンボール）

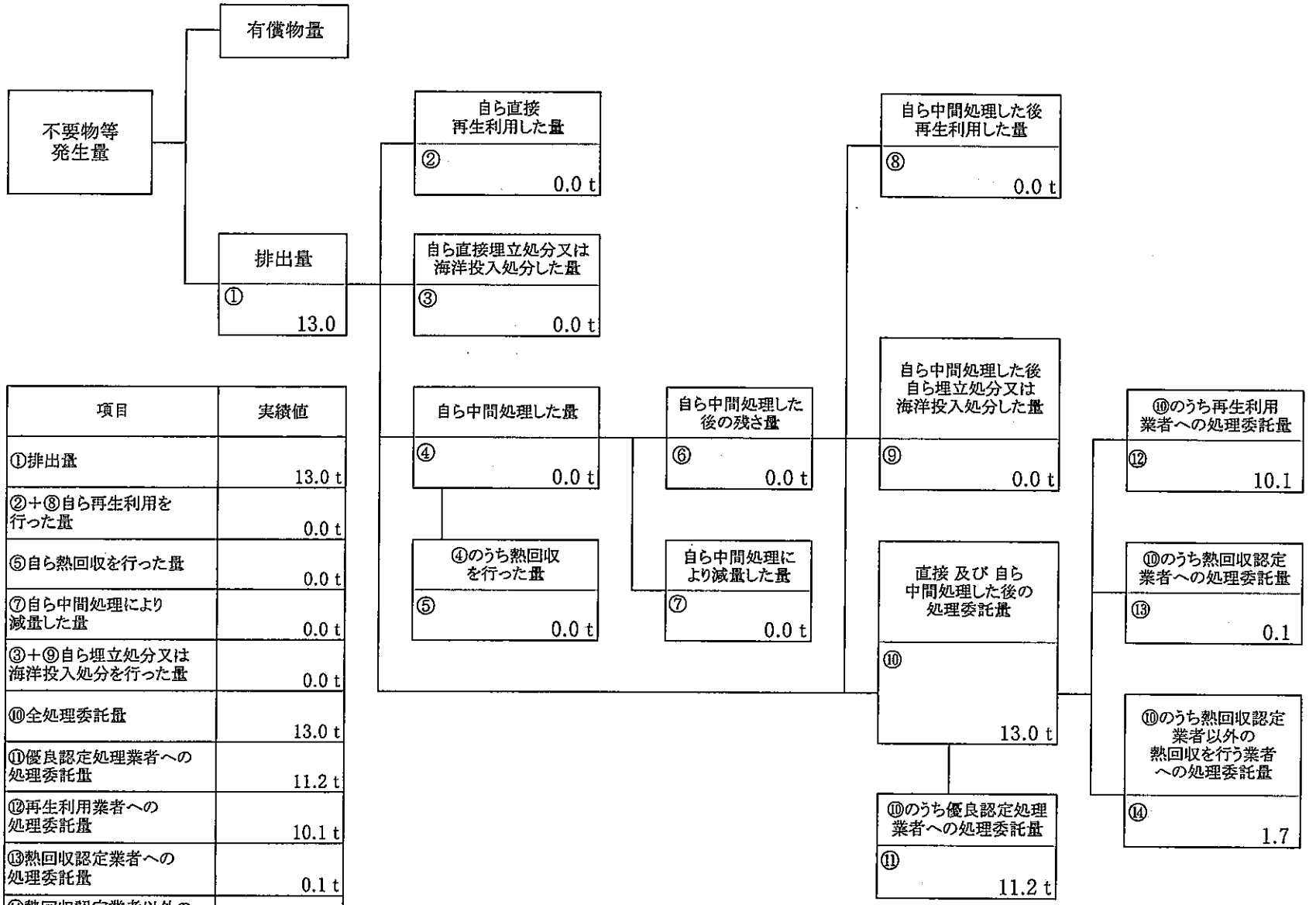


項目	実績値
①排出量	54.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	54.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	49.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	39.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.6 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

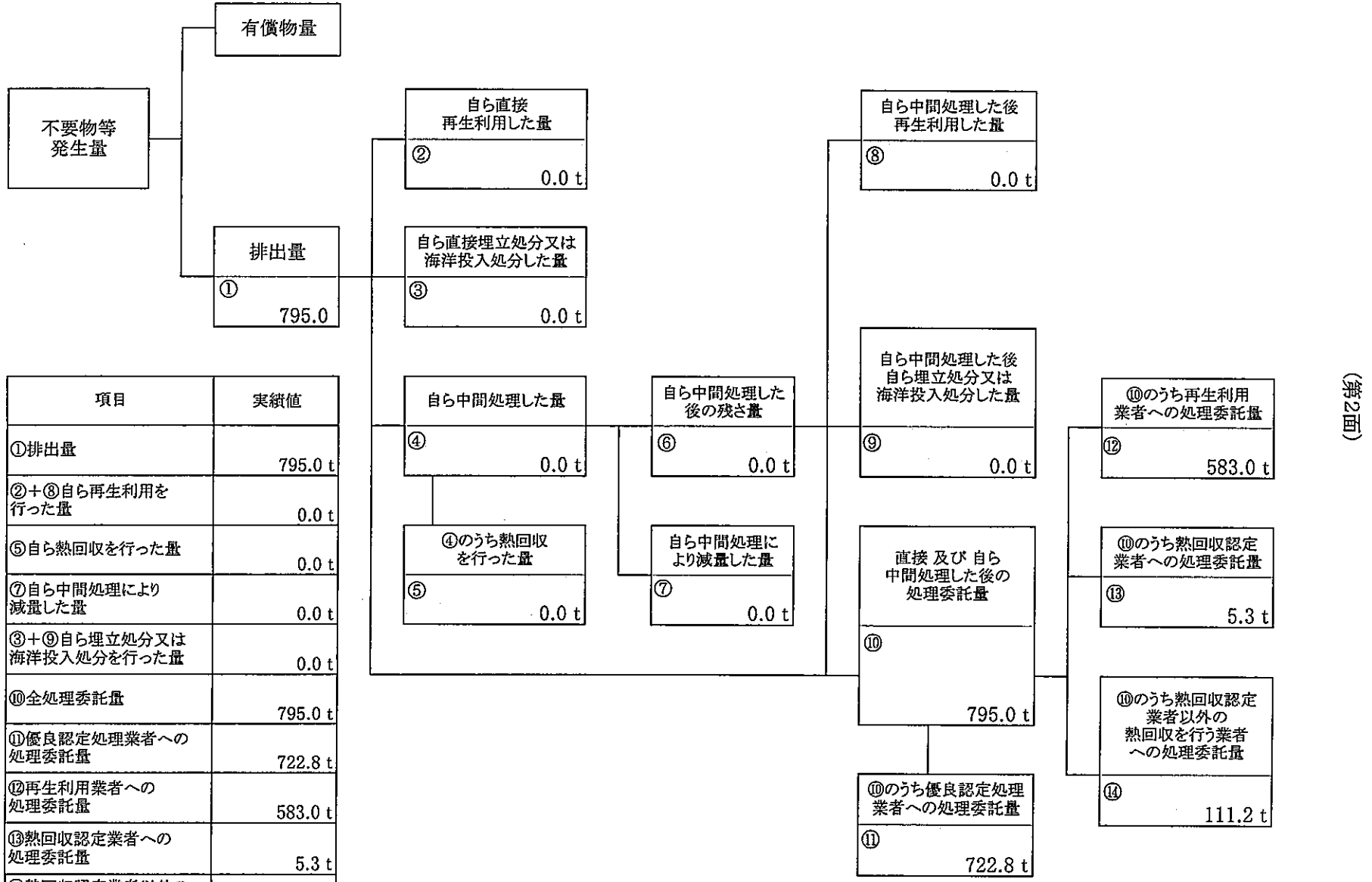


項目	実績値
①排出量	13.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：建設工事の木くず）

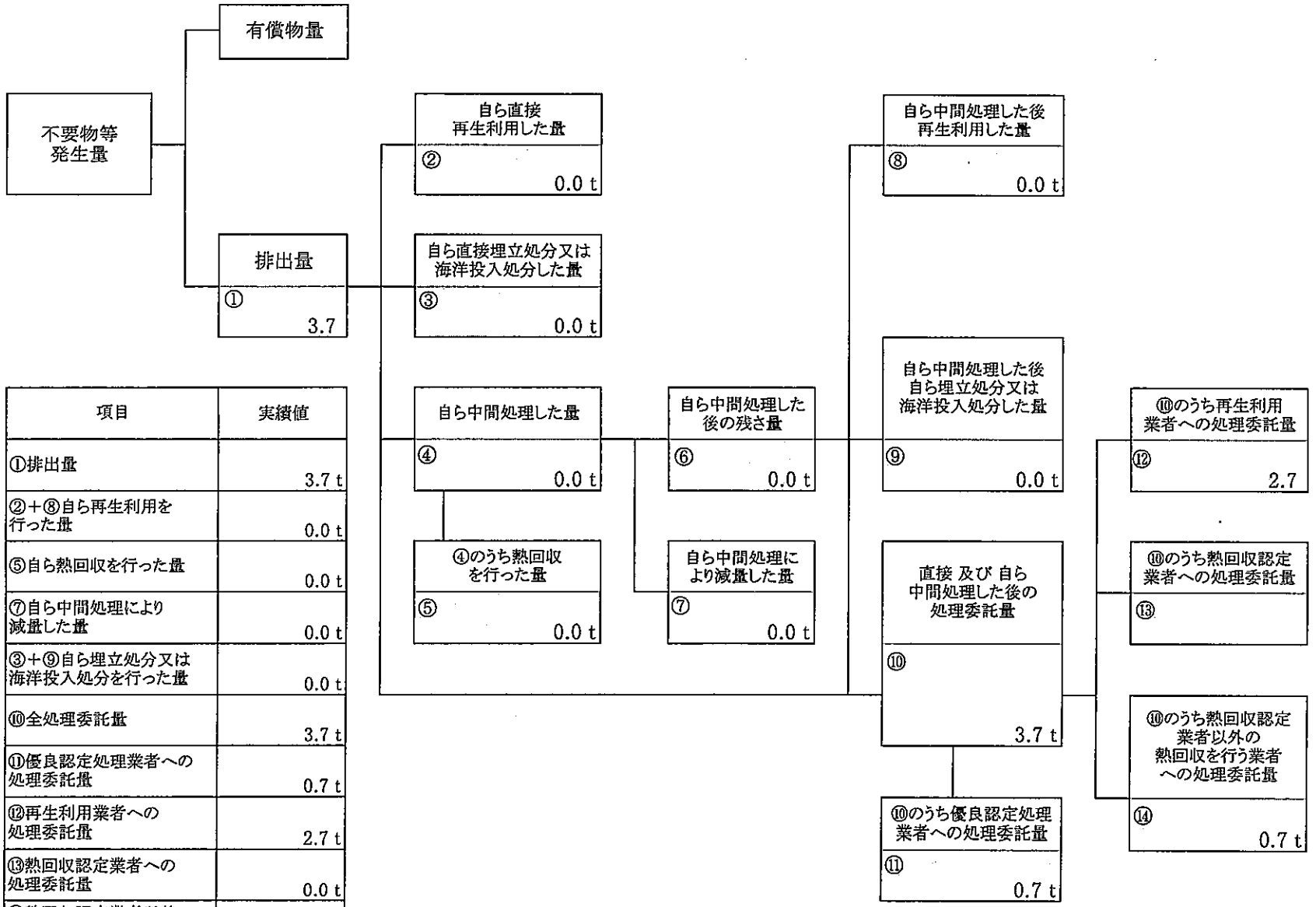


項目	実績値
①排出量	795.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	795.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	722.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	583.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	5.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	111.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：繊維くず）

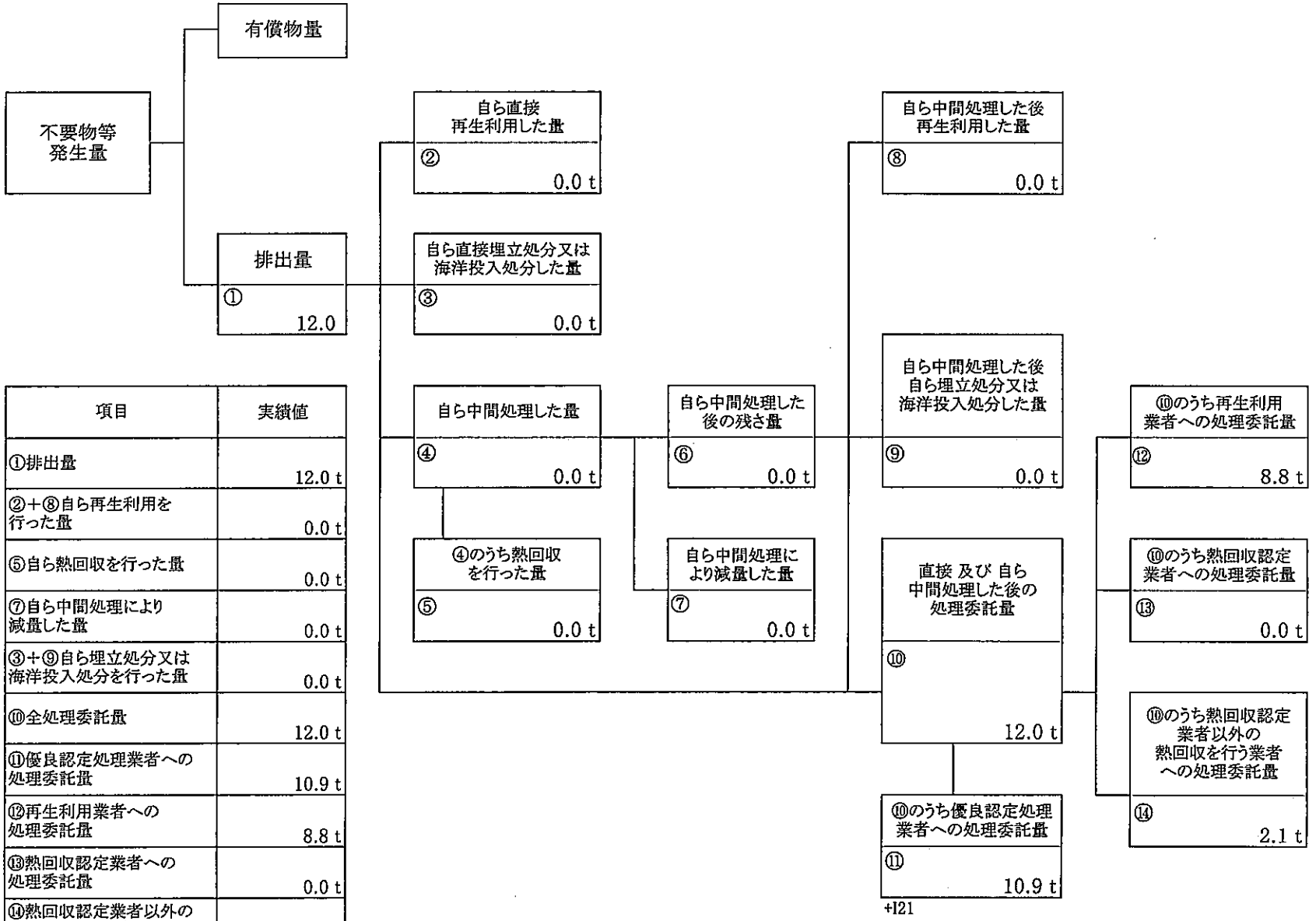


項目	実績値
①排出量	3.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：建設工事の繊維くず）



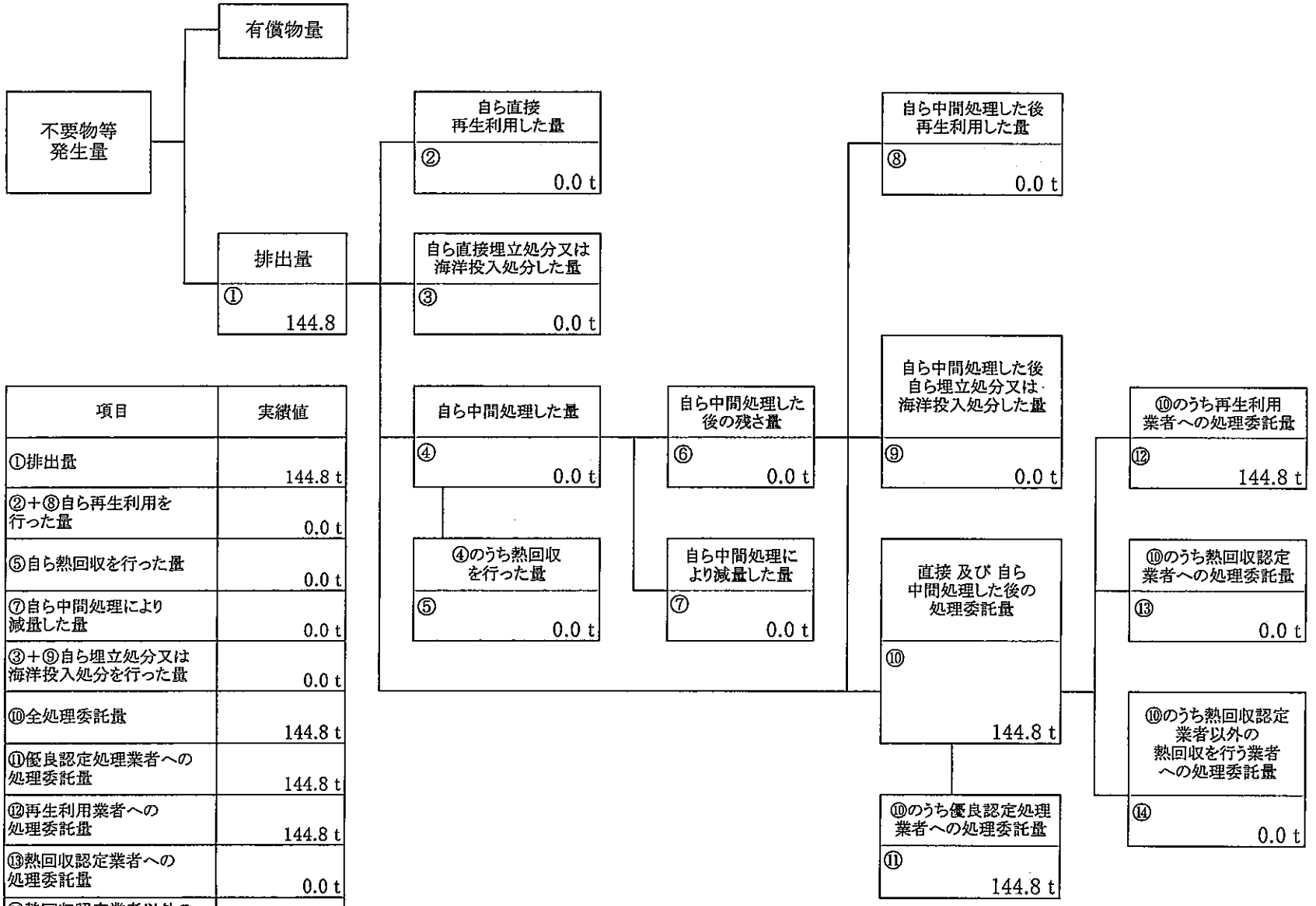
項目	実績値
①排出量	12.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.1 t

+121

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：金属くず）

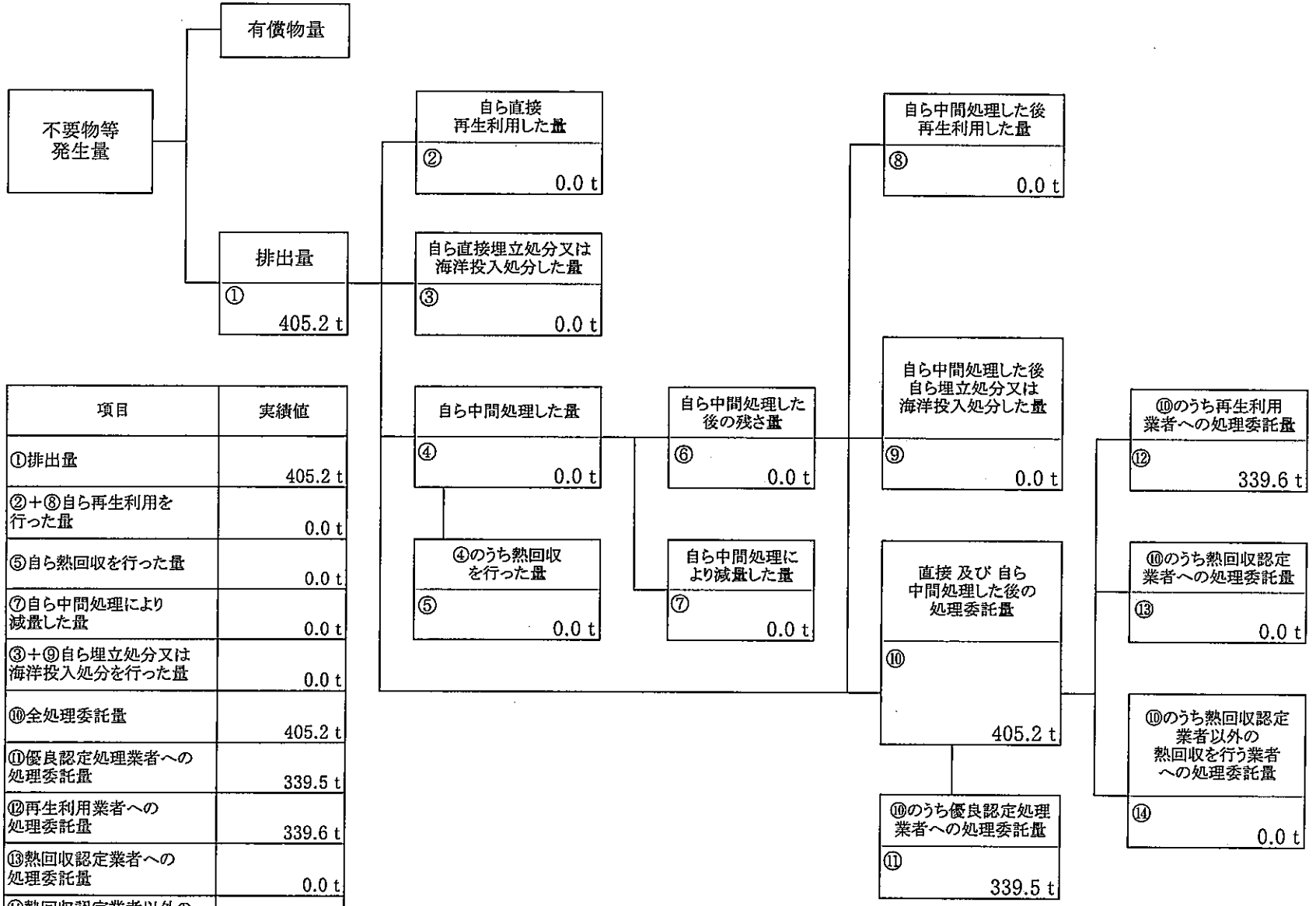


項目	実績値
①排出量	144.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	144.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	144.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	144.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）

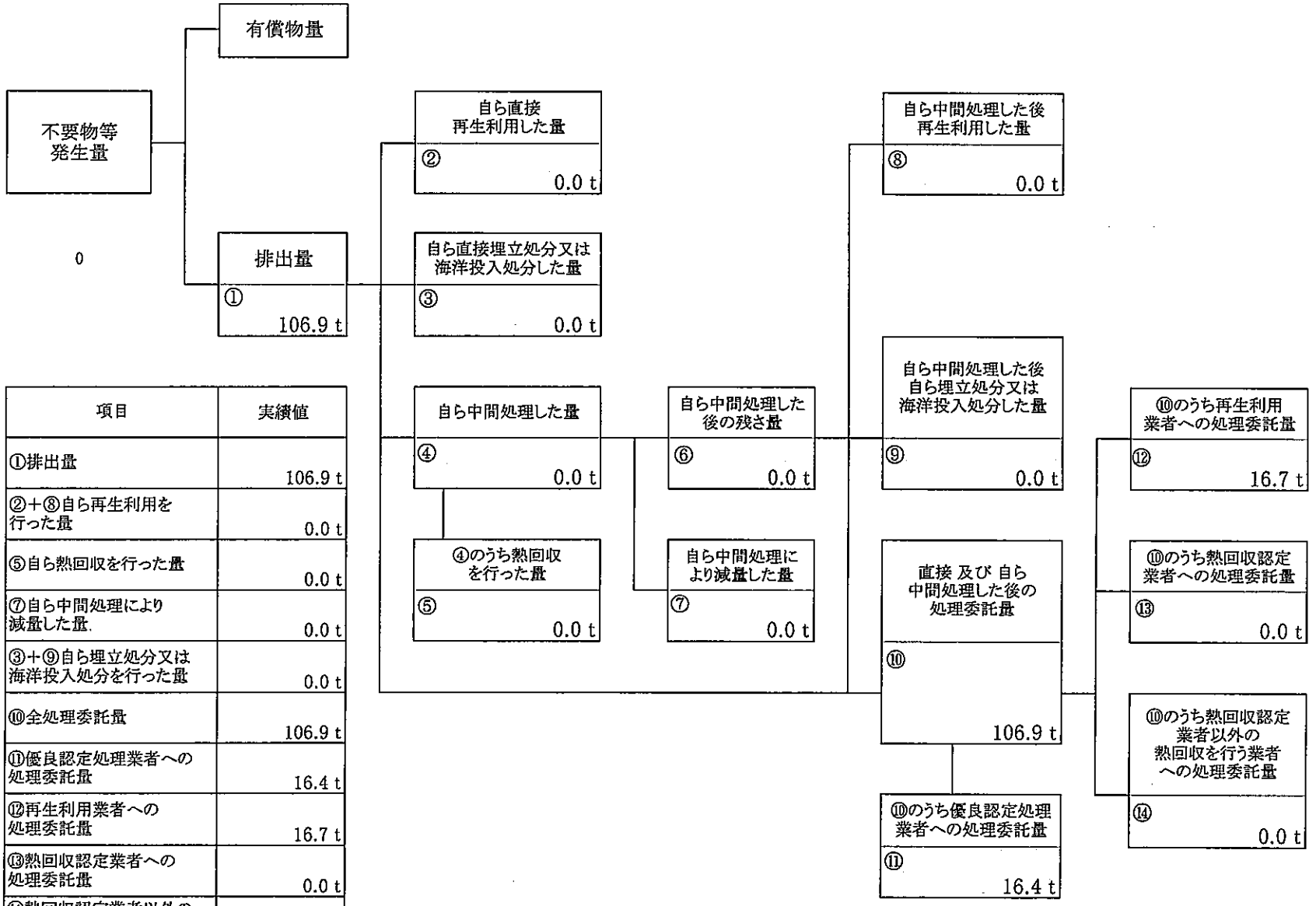


項目	実績値
①排出量	405.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	405.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	339.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	339.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石膏ボード）

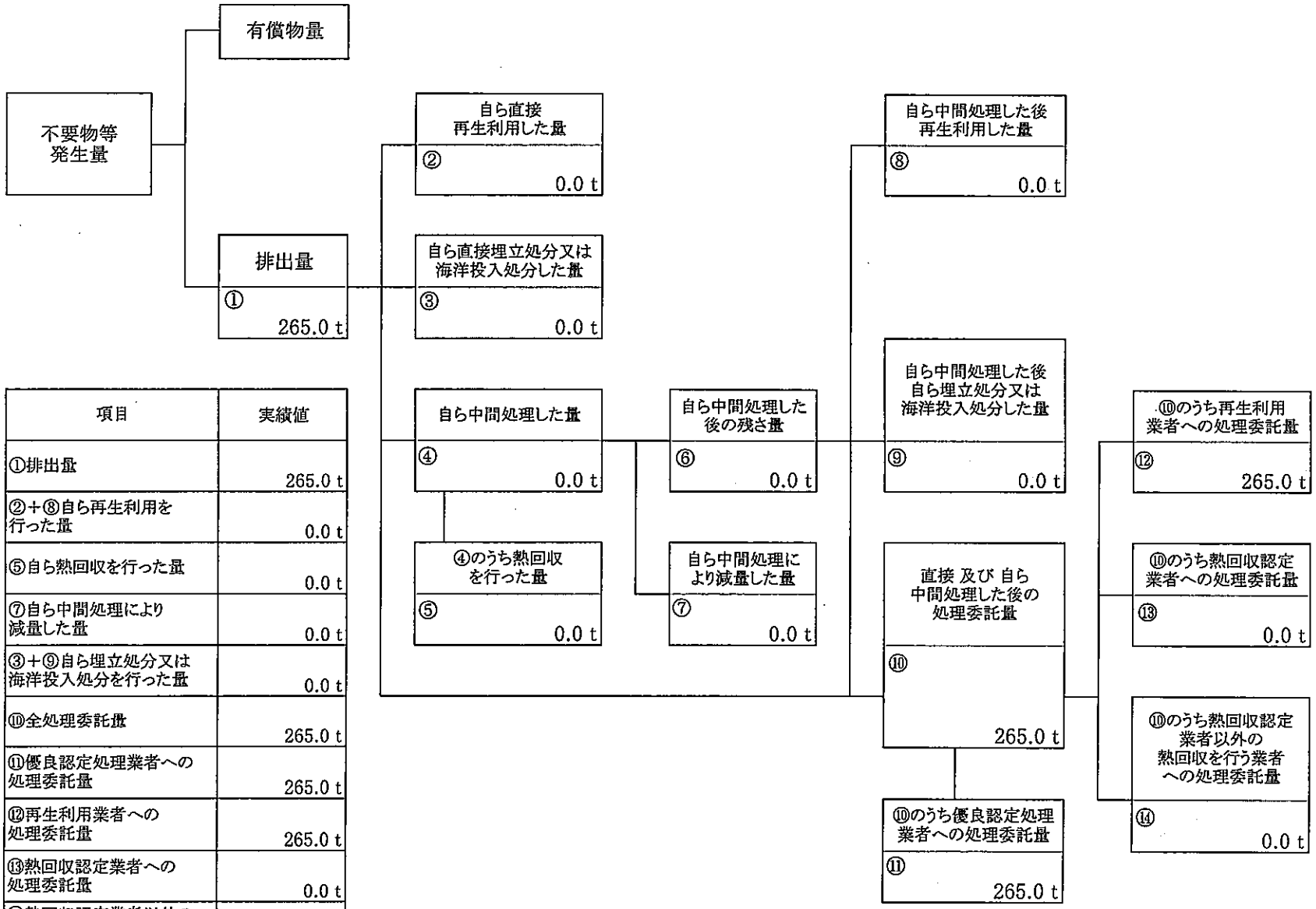


項目	実績値
①排出量	106.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	106.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	16.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき類）

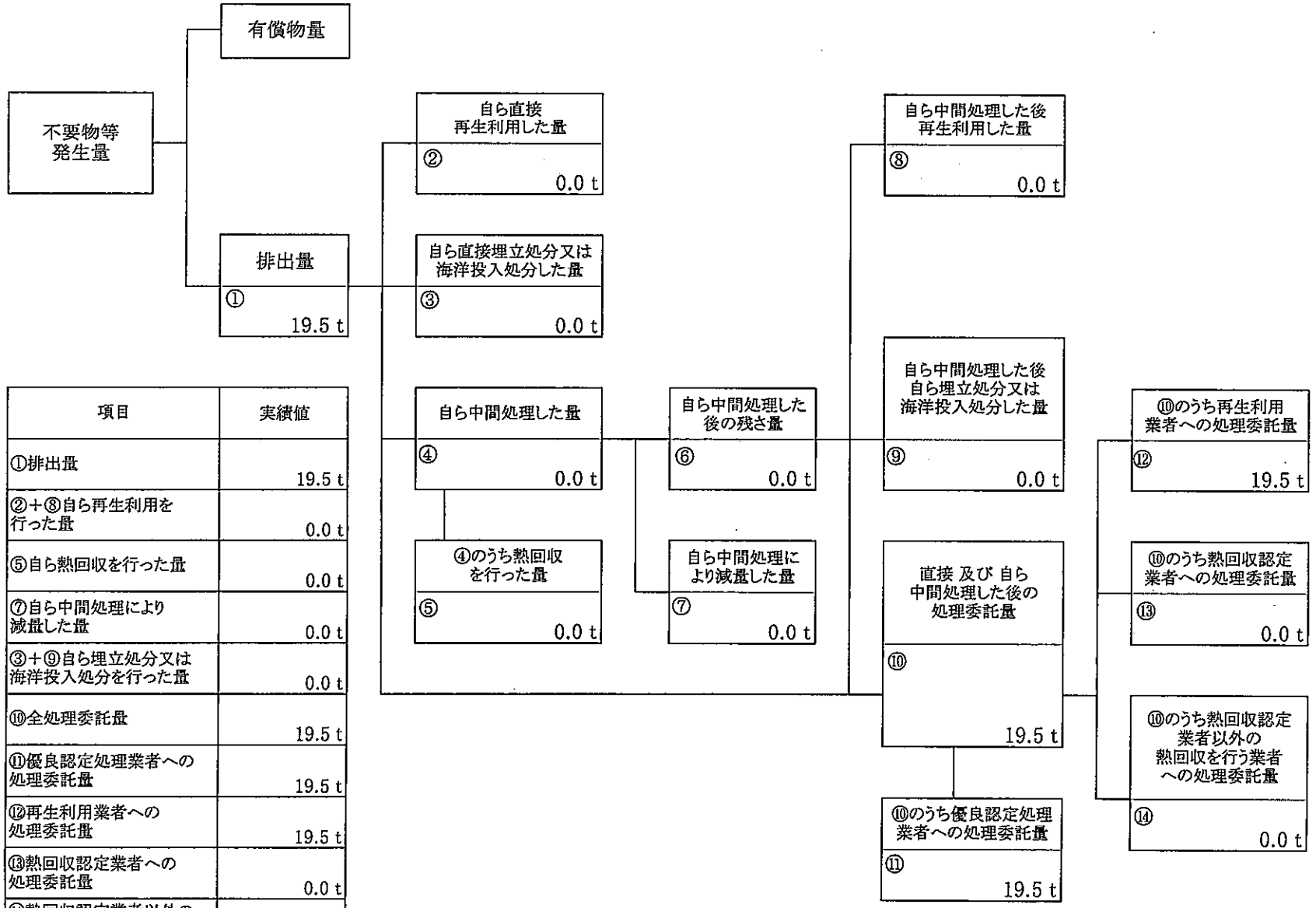


項目	実績値
①排出量	265.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	265.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	265.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	265.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリート破片）

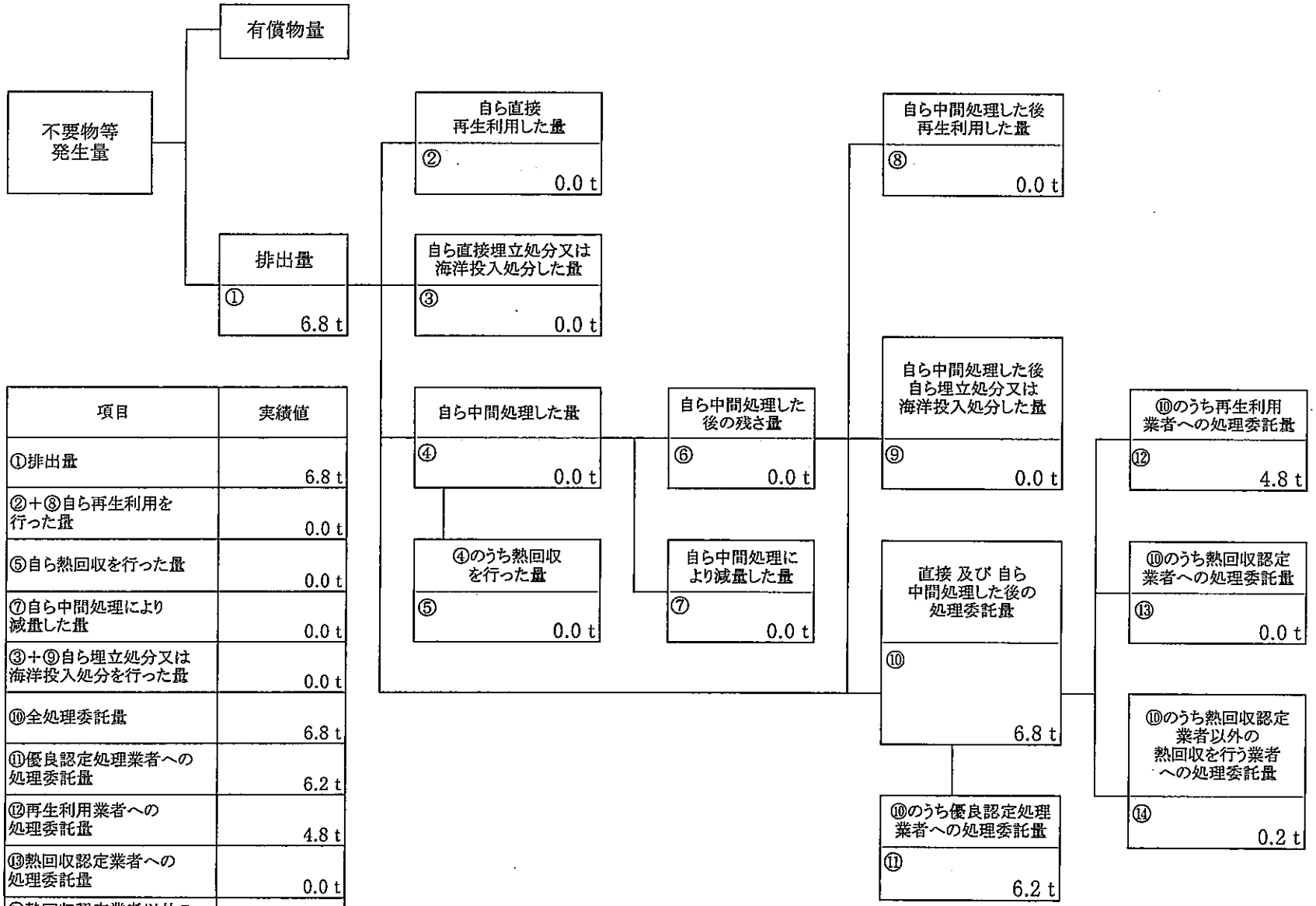


項目	実績値
①排出量	19.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：安定型建設混合廃棄物）

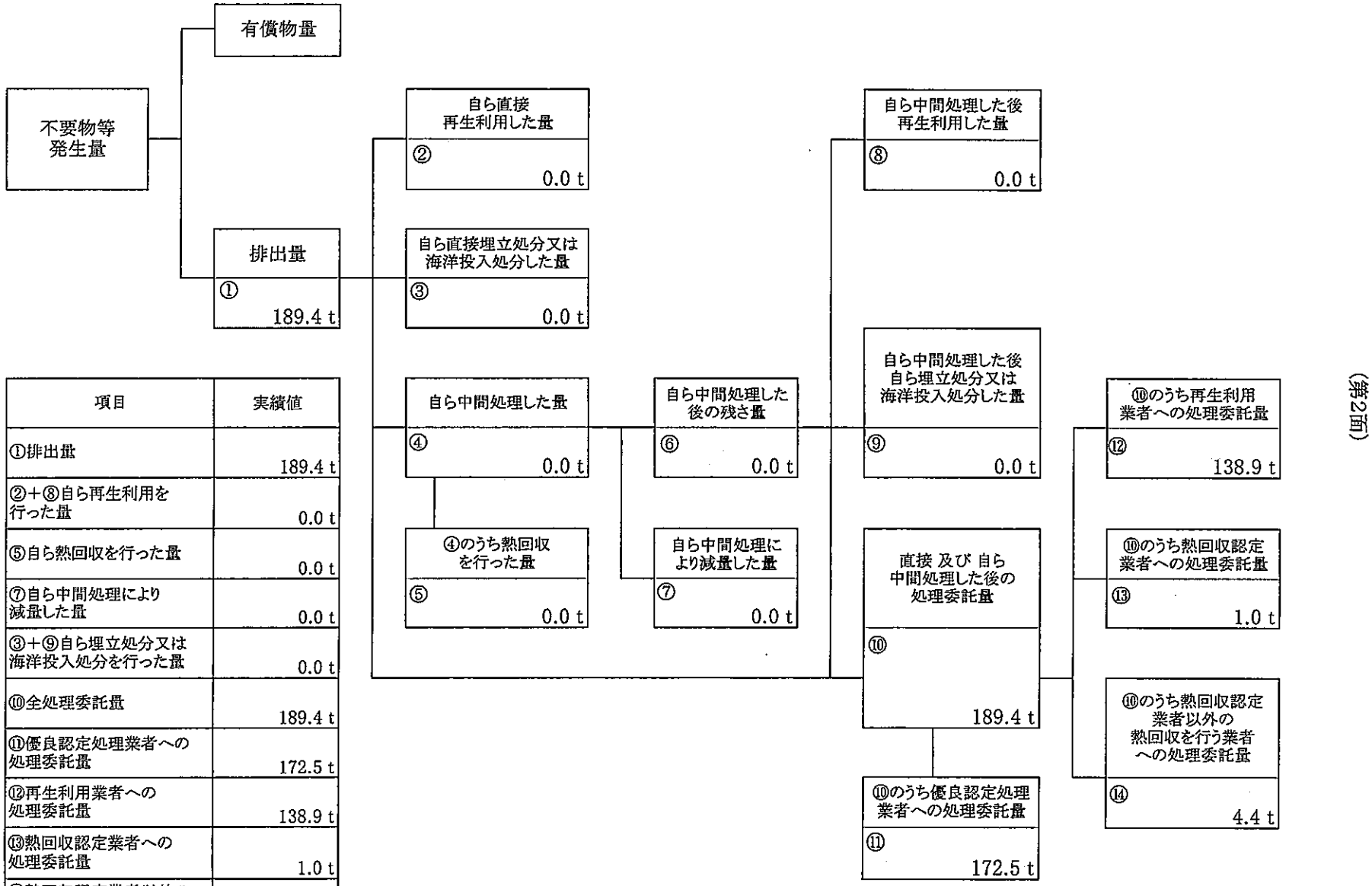


項目	実績値
①排出量	6.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：管理型建設混合産業廃棄物）

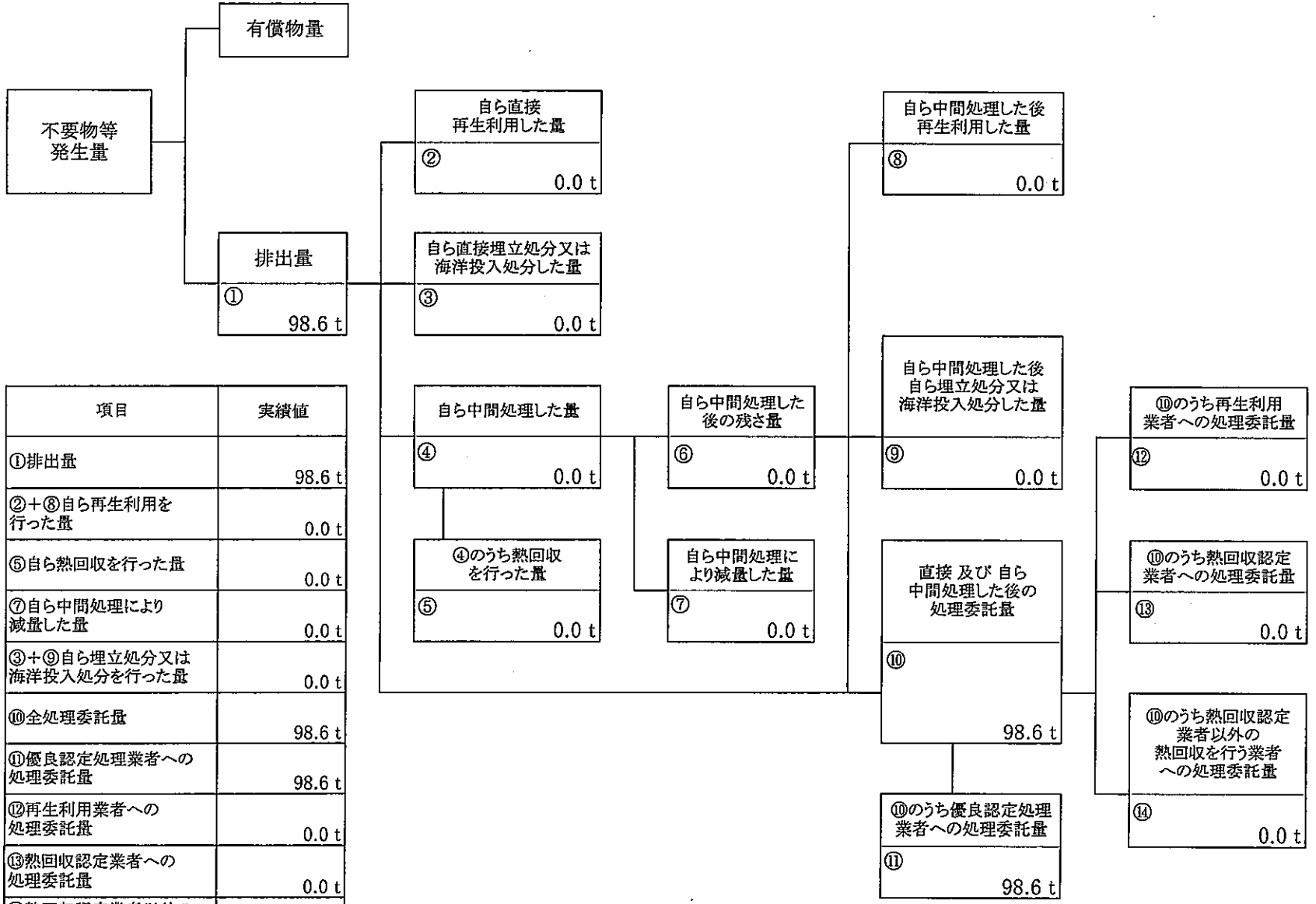


項目	実績値
①排出量	189.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	189.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	172.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	138.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず（石綿））

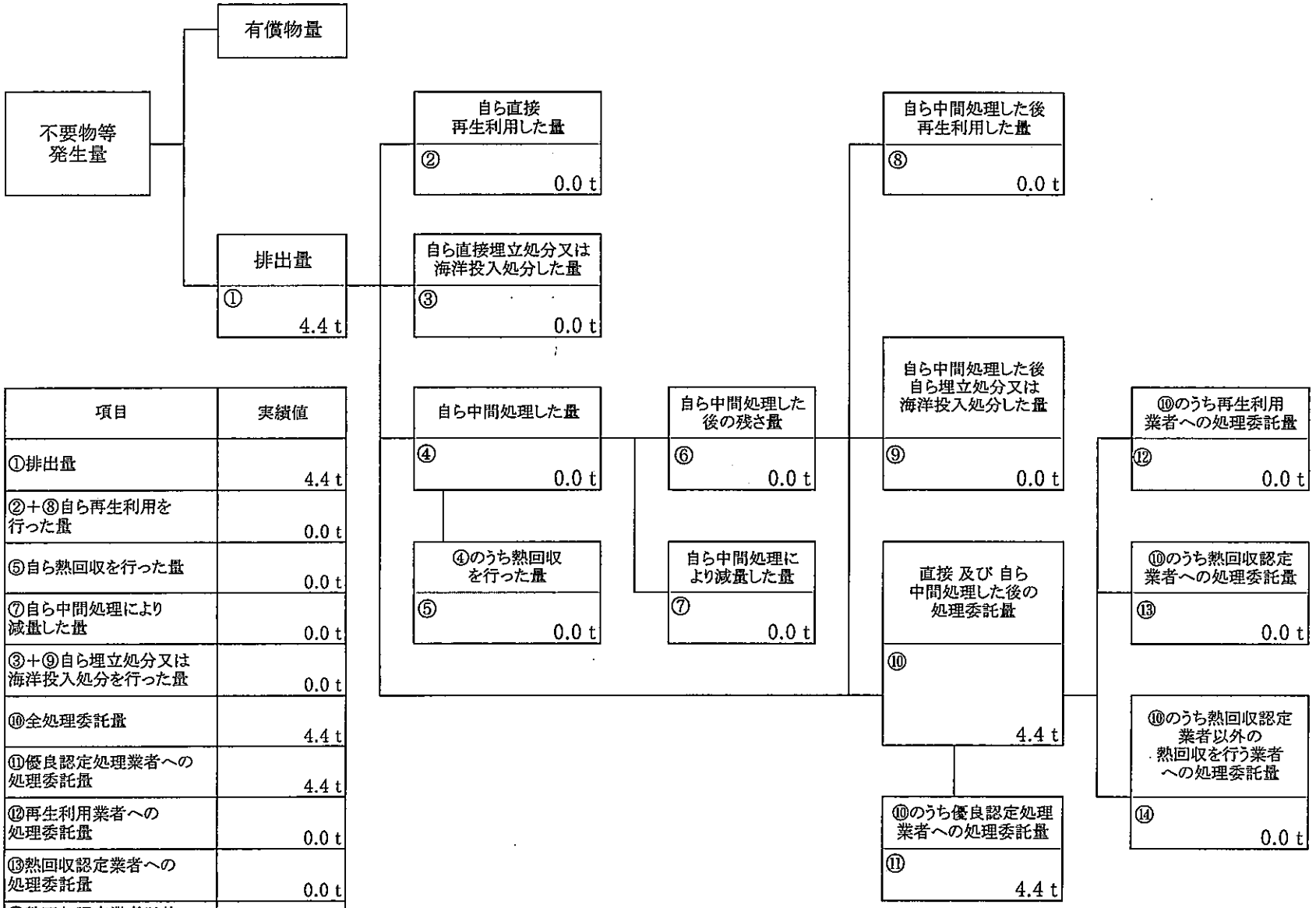


項目	実績値
①排出量	98.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	98.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	98.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類（石綿））

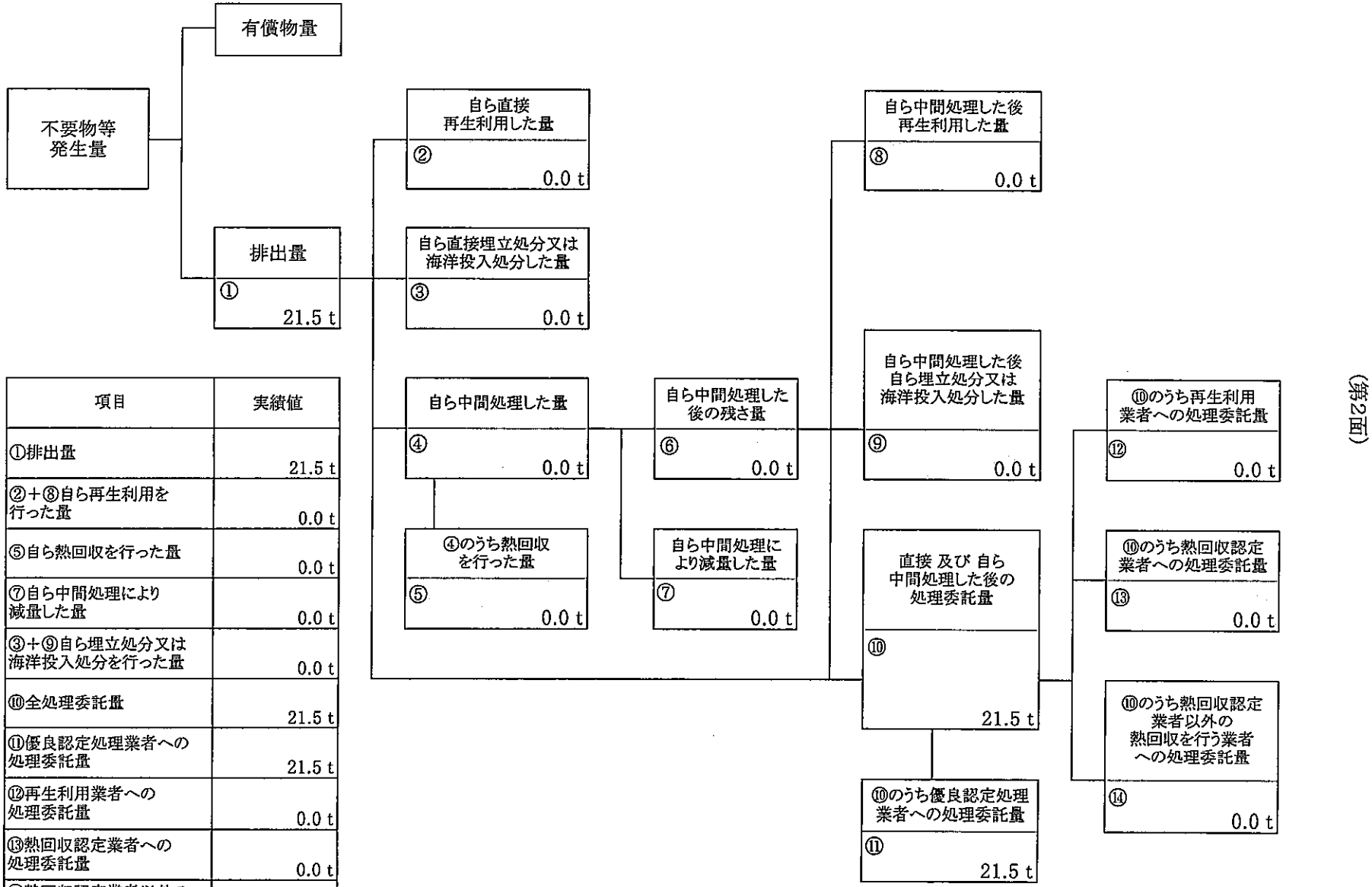


項目	実績値
①排出量	4.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき類（石綿））

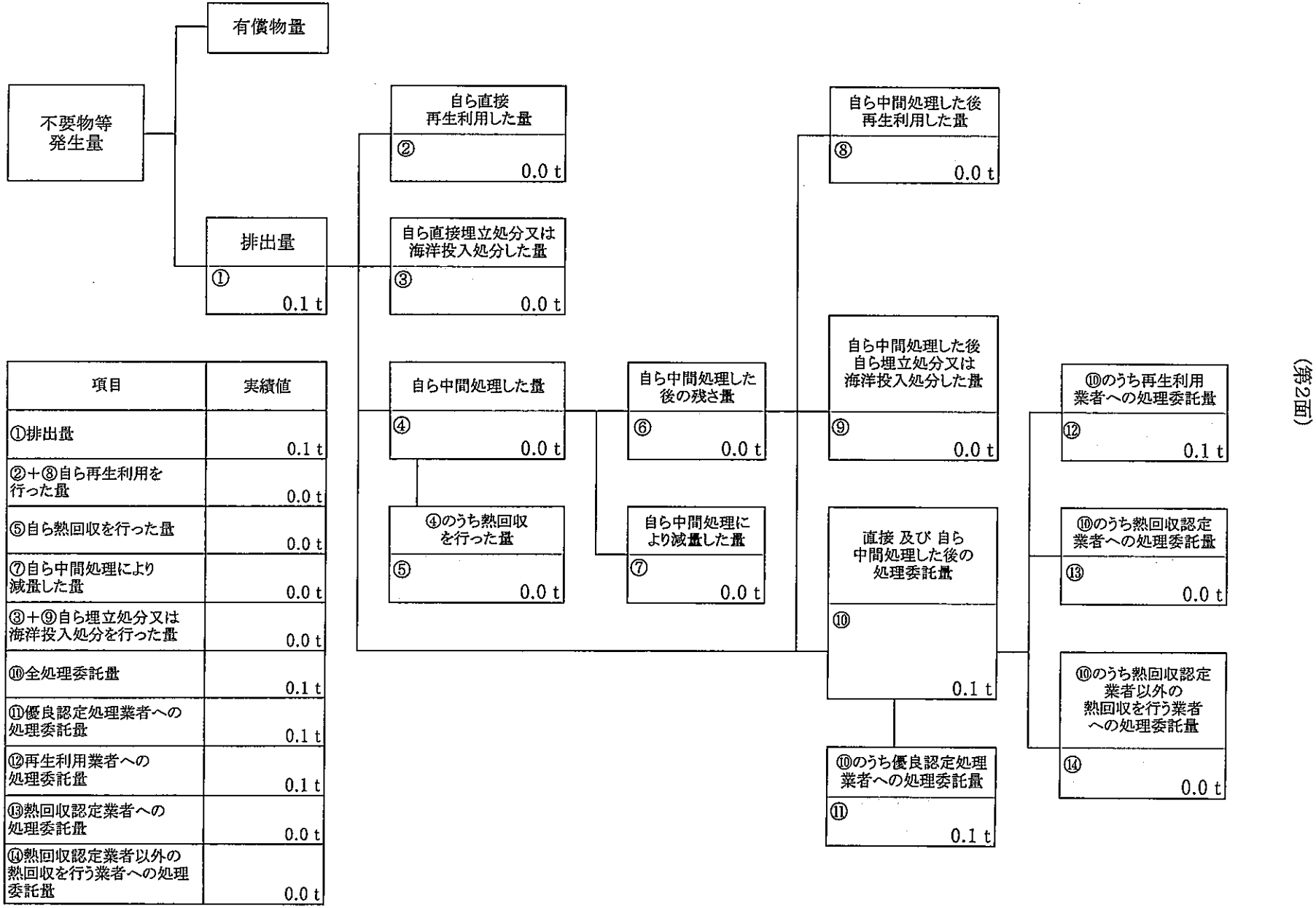


項目	実績値
①排出量	21.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：蛍光灯）

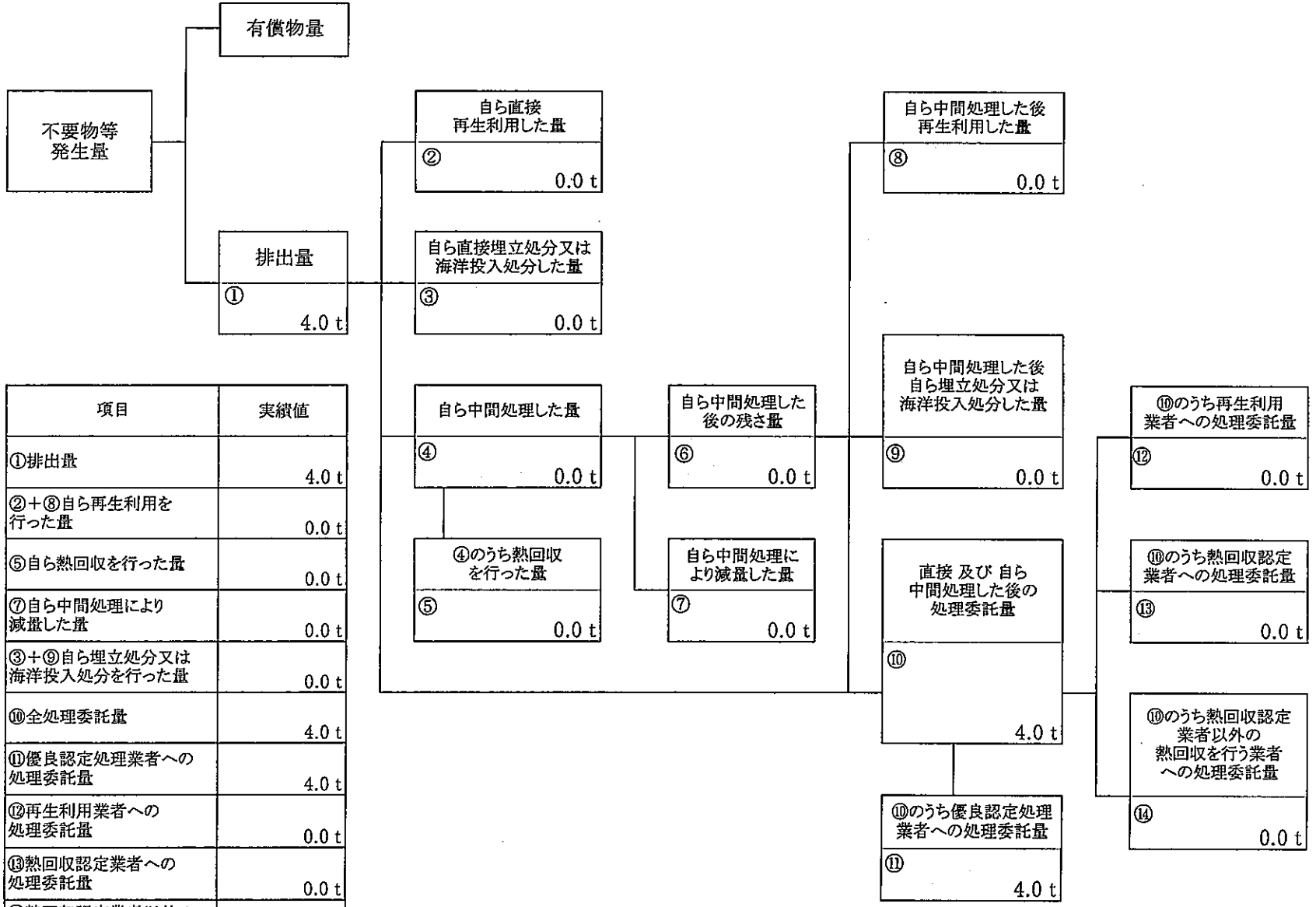


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：燃え柄）



項目	実績値
①排出量	4.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6　月　3　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒261-7128

住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
ﾜｰﾙﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽｶﾞｰﾃﾞﾝﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ28階

氏　名　住友不動産ハウジング株式会社
注文住宅事業本部　千葉事業所
橋本　康平

電話番号 050-3112-7209

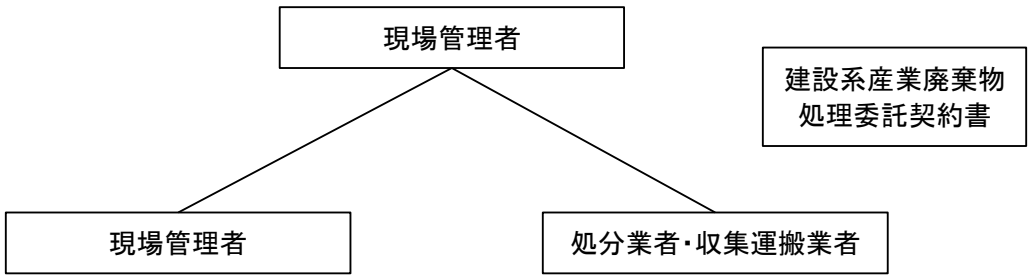
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友不動産ハウジング株式会社　注文住宅事業本部　千葉事業所
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1　ﾜｰﾙﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽｶﾞｰﾃﾞﾝﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ28階
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　100億
③　従業員数	118名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	全ての産業廃棄物を業者に委託 ※別紙参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	420.105 t	261.720 t

（これまでに実施した取組）
産業廃棄物の現場内分別の実施・管理

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	399.100 t	248.630 t

（今後実施する予定の取組）
　昨年に引き続き、分別・再資源化を再度徹底し適切な処理を行うことで排出量削減を目指していく。
また、適切な発注を行うことで、産業廃棄物の削減にも繋がるため、現場にて余材が発生した場合については原因を検証し適切な発注を行うことを努めていく。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
紙くず：廃材を現場にて選別し回収する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
廃プラスチック類：廃プラスチック類の分別を再度徹底し原材料として再利用できるものを分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t

（今後実施する予定の取組）
特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t

（今後実施する予定の取組）
特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t

（今後実施する予定の取組）
特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量＿	420.105 t	261.720 t
優良認定処理業者への処理委託量	210.180 t	114.030 t
再生利用業者への処理委託量	102.655 t	102.840 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.270 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）
再生利用業者への委託。
事前に委託基本契約を締結した上で、収集運搬・処理を委託する。
電子マニフェスト導入。

【目標】

産業廃棄物の種類＿		廃プラスチック類		紙くず	
全処理委託量＿		399.100	t	248.630	t
	優良認定処理業者への処理委託量	199.670	t	108.330	t
	再生利用業者への処理委託量	97.520	t	97.700	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	t	0.260	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	t	0.000	t

②計画

（今後実施する予定の取組）

■昨年に引き続き。分別・再資源化を再度徹底し適切な処理を行うことで排出量削減を目指していく。

《具体的取組》
産業廃棄物に対して産廃処理を適正に行うよう呼びかけを強化。

引き続き、産業廃棄物の再生処理率の向上に努めている中間処理業者に委託する。

■適切な発注を行うことで、産業廃棄物の削減にも繋がるため、現場にて余材が発生した場合について原因を検証し適正な発注を行うことを努めていく。

《具体的取組》
無駄な産業廃棄物を出すことがないよう社内での呼びかけを強化。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
		排　出　量	66.300 t	891.390 t	0.780 t	1.668 t	92.208 t	761.400 t	161.130 t	354.164 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
		排　出　量	62.990 t	846.820 t	0.740 t	1.580 t	87.600 t	723.330 t	153.070 t	336.460 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	全処理委託量	66.300 t	891.390 t	0.780 t	1.668 t	92.208 t	761.400 t	161.130 t	354.164 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	556.835 t	0.000 t	0.168 t	41.132 t	350.300 t	59.430 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	66.300 t	619.455 t	0.780 t	1.500 t	43.618 t	190.600 t	59.100 t	354.164 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	23.870 t	0.000 t	1.500 t	0.0000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.0000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	伐採材・伐根材	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）
	全処理委託量	62.990 t	846.820 t	0.740 t	1.580 t	87.600 t	723.330 t	153.070 t	336.460 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	528.990 t	0.000 t	0.160 t	39.080 t	332.790 t	56.460 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	62.990 t	588.480 t	0.740 t	1.430 t	41.440 t	181.070 t	56.150 t	336.460 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	22.680 t	0.000 t	1.430 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）				
		排　　出　　量	343.820　t	0.104　t	93.496　t	1.750　t	22.200　t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）				
		排　　出　　量	326.630　t	0.100　t	88.820　t	1.660　t	21.090　t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	0.000　t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）			
	全処理委託量	343.820 t	0.104 t	93.496 t	1.750 t	22.200 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	22.496 t	0.104 t	3.120 t	1.750 t	22.200 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	293.500 t	0.000 t	90.376 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）			
	全処理委託量	326.630 t	0.100 t	88.820 t	1.660 t	21.090 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	21.370 t	0.100 t	2.960 t	1.660 t	21.090 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	278.830 t	0.000 t	85.860 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6 月 3 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒261-7128
住 所　千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
ﾜｰﾙﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽｶﾞｰﾃﾞﾝﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ28階
氏 名　住友不動産ハウジング株式会社
注文住宅事業本部 千葉事業所
橋本 康平
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 050-3112-7209

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住友不動産ハウジング株式会社 注文住宅事業本部 千葉事業所
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 ﾜｰﾙﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽｶﾞｰﾃﾞﾝﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ28階
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

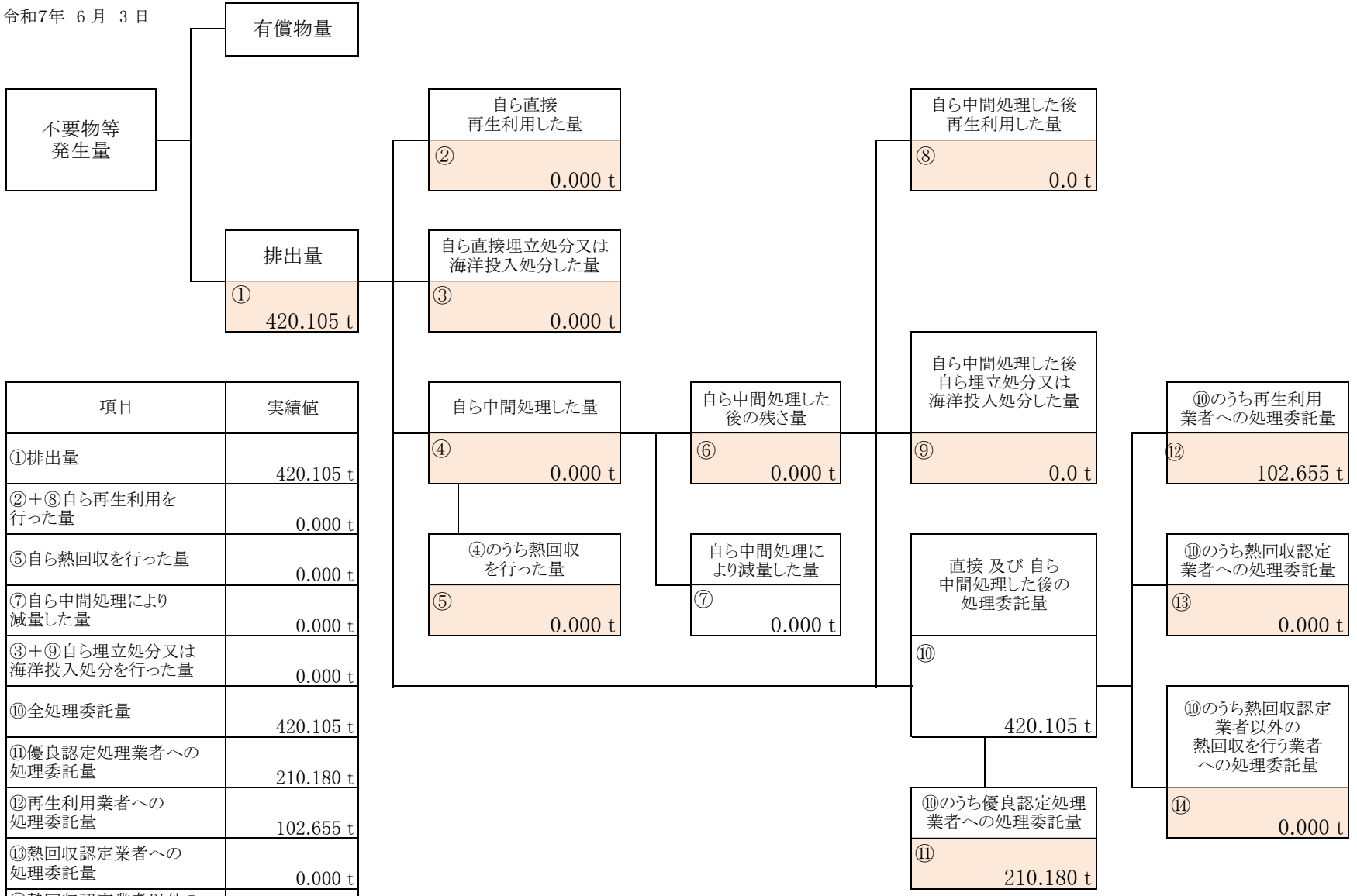
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3112.760 t	全処理委託量	3112.760 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	1527.810 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	1856.160 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	21.170 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃プラスチック類** ）

令和7年 6 月 3 日



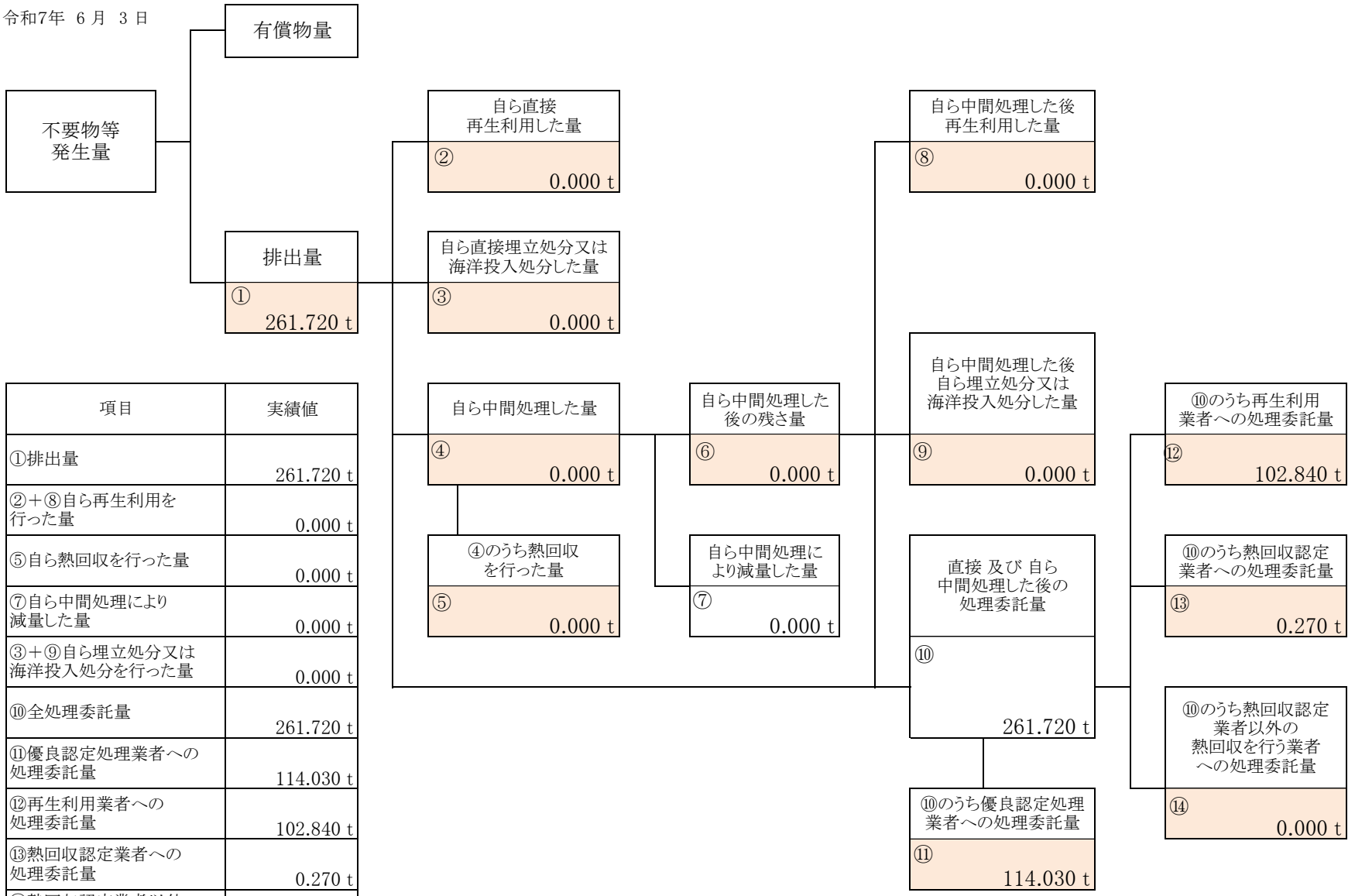
項目	実績値
①排出量	420.105 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	420.105 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	210.180 t
⑫再生利用業者への処理委託量	102.655 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

令和7年 6 月 3 日



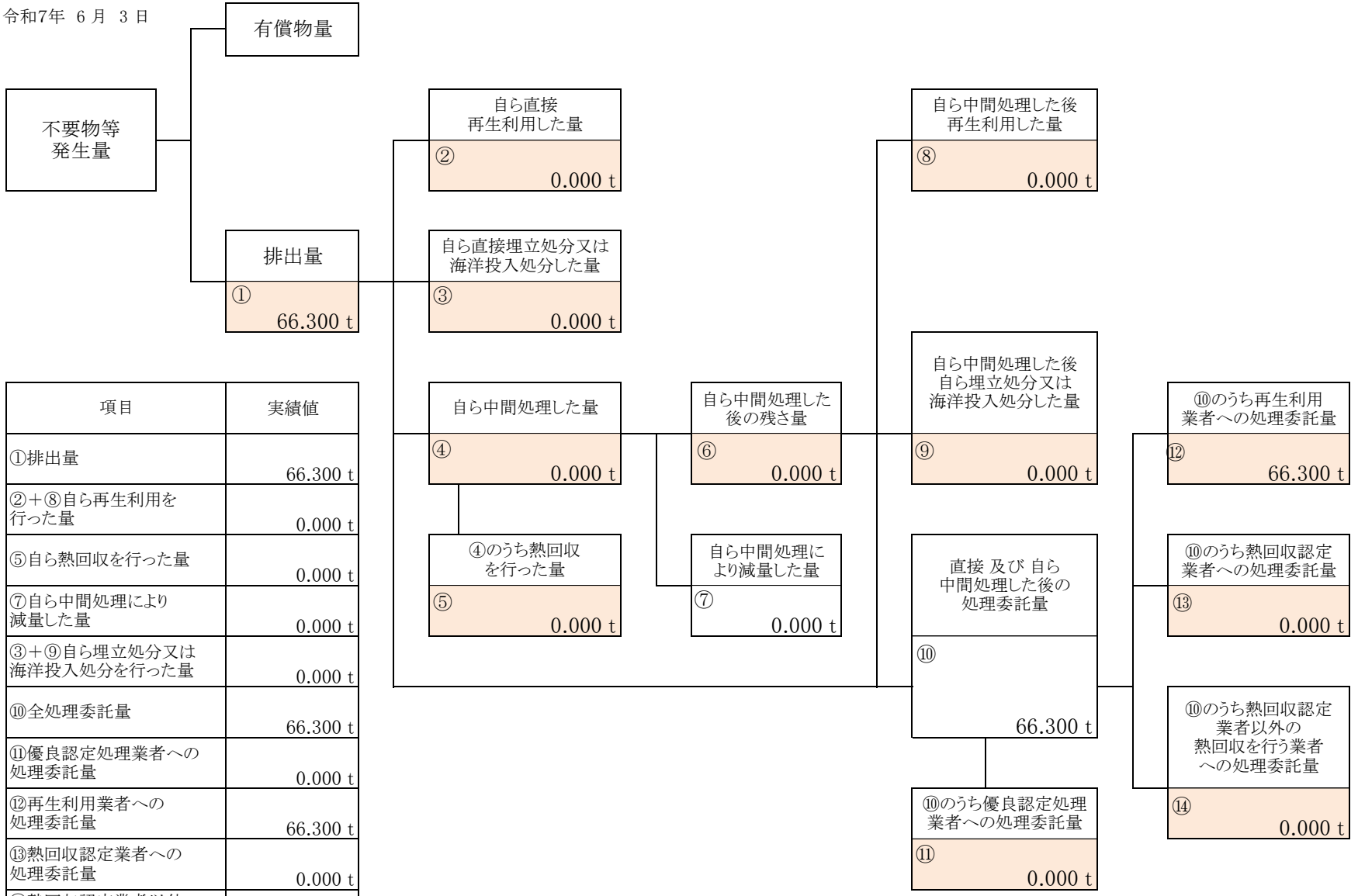
項目	実績値
①排出量	261.720 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	261.720 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	114.030 t
⑫再生利用業者への処理委託量	102.840 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.270 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ダンボール**）

令和7年 6 月 3 日



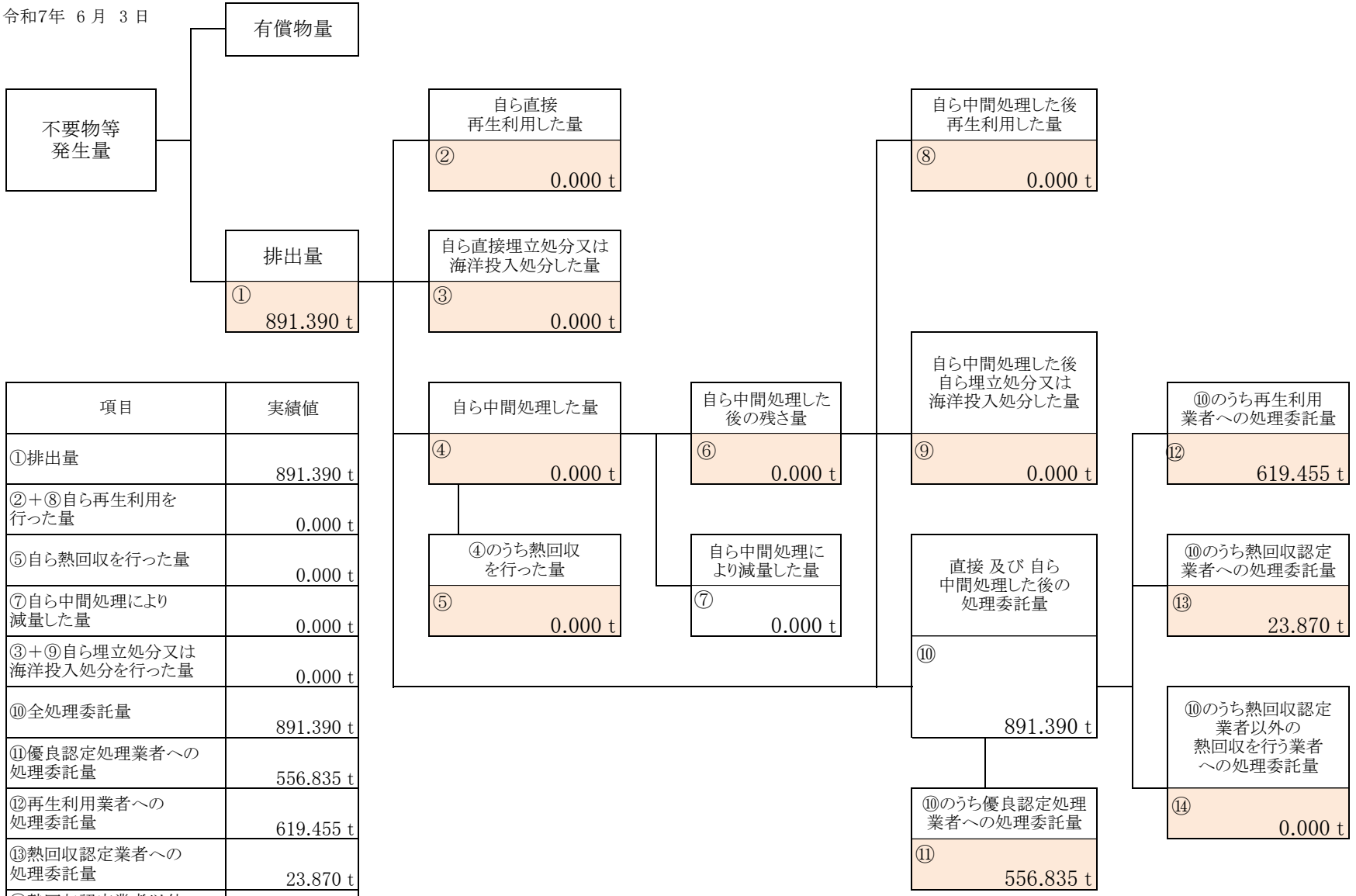
項目	実績値
①排出量	66.300 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	66.300 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	66.300 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

令和7年 6 月 3 日



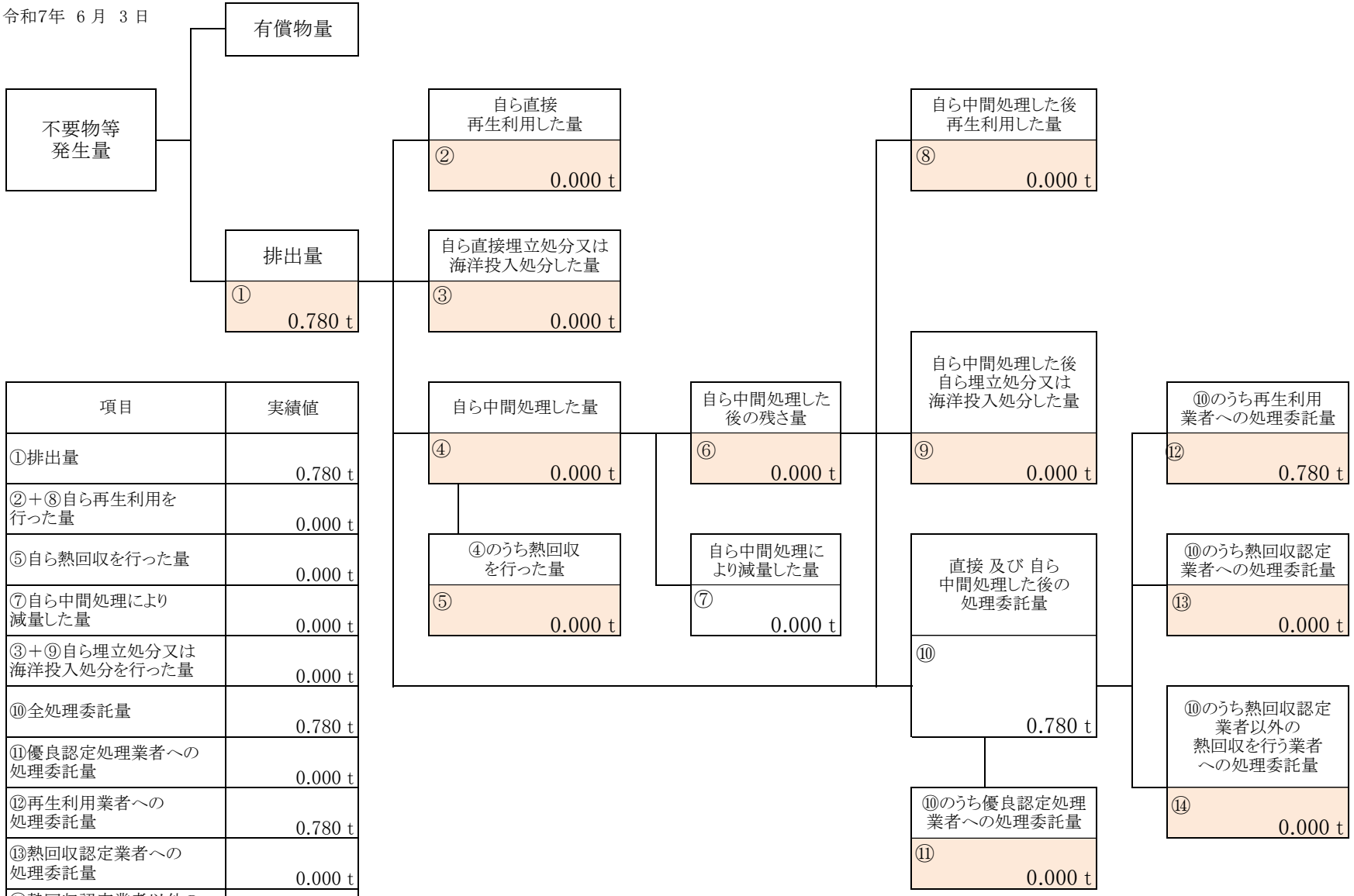
項目	実績値
①排出量	891.390 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	891.390 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	556.835 t
⑫再生利用業者への処理委託量	619.455 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	23.870 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **伐採材・伐根材** ）

令和7年 6 月 3 日



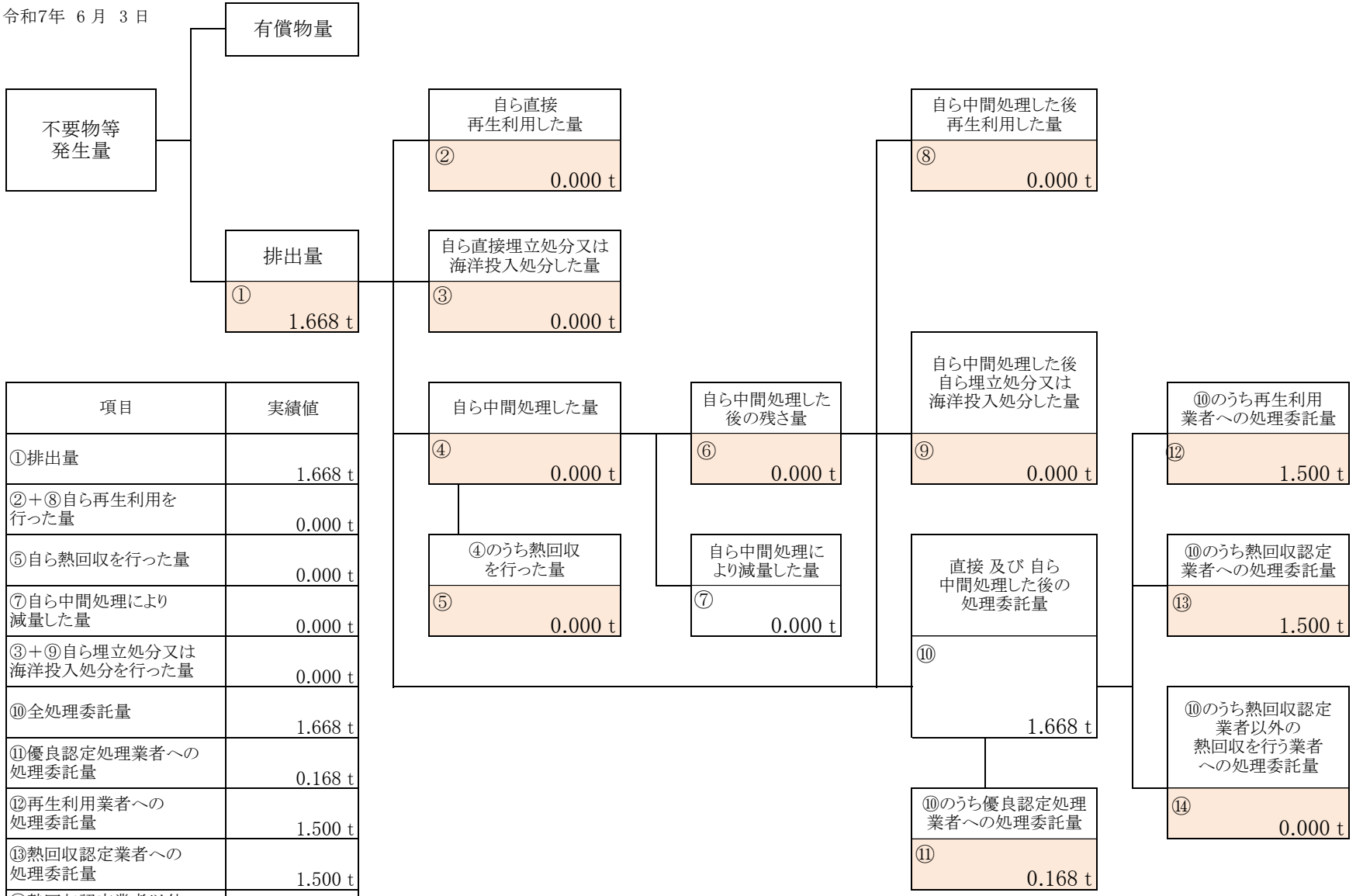
項目	実績値
①排出量	0.780 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.780 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.780 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **繊維くず** ）

令和7年 6 月 3 日



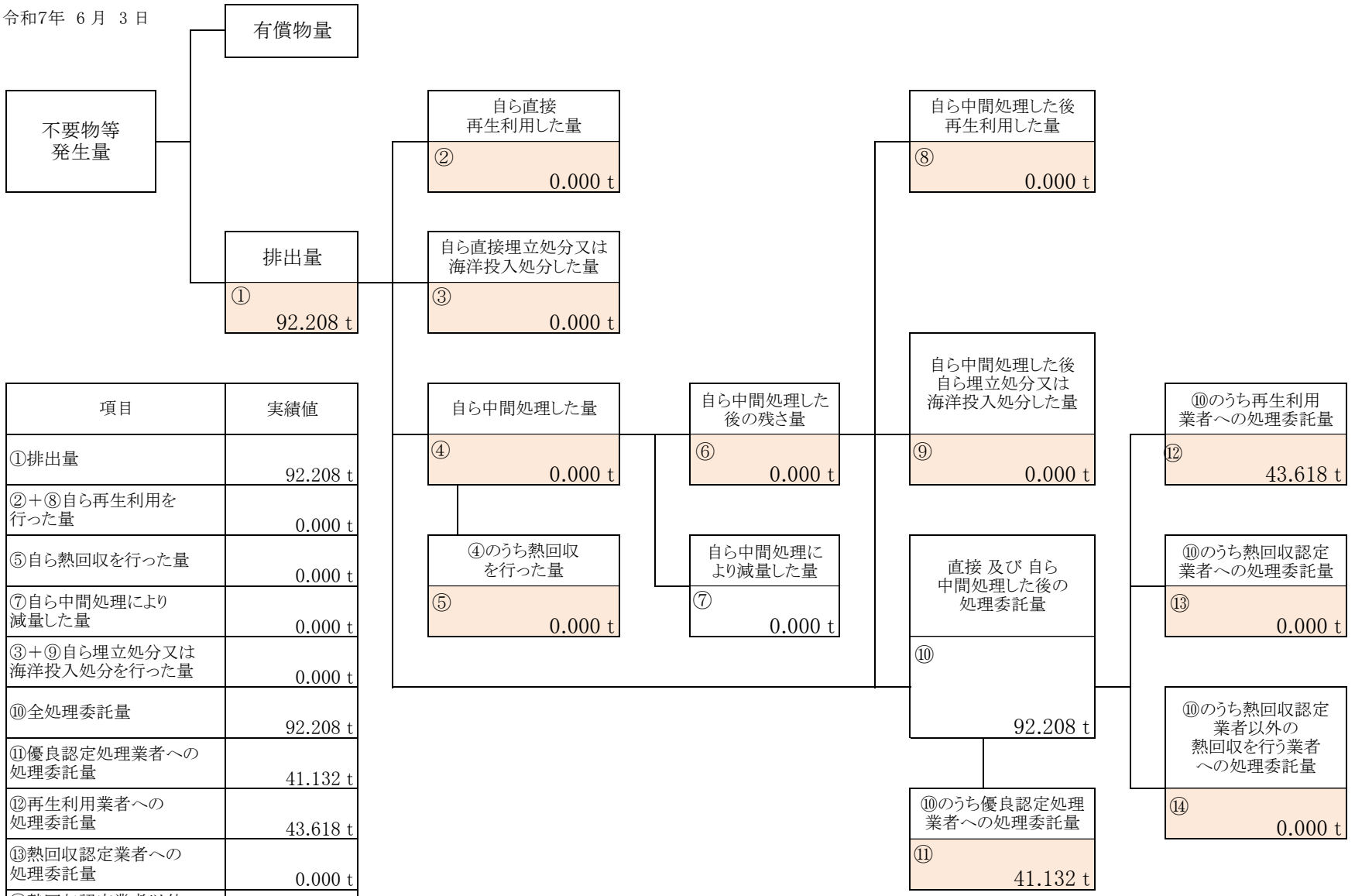
項目	実績値
①排出量	1.668 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	1.668 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.168 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.500 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.500 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **金属くず** ）

令和7年 6 月 3 日



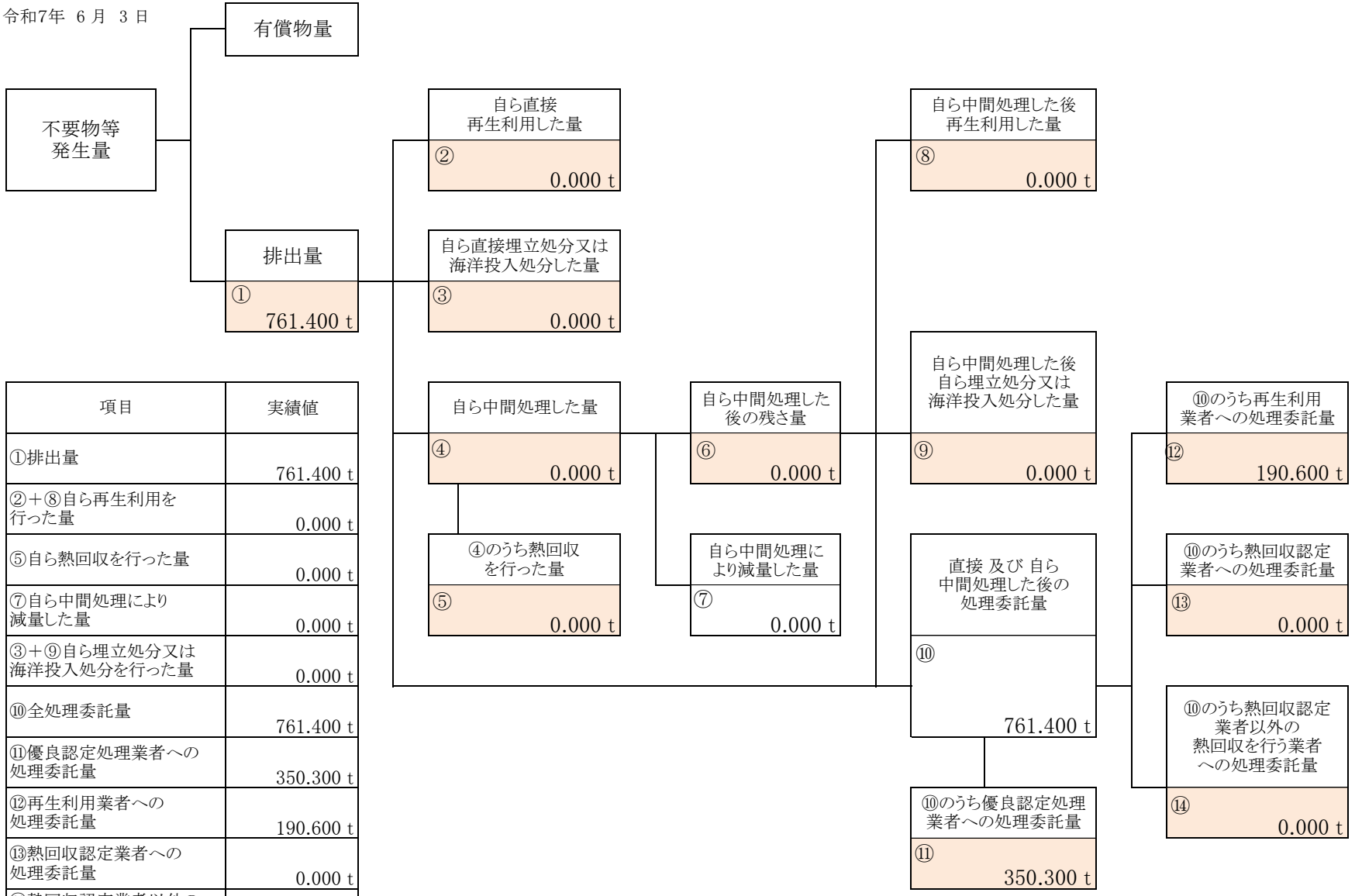
項目	実績値
①排出量	92.208 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	92.208 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.132 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.618 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず**）

令和7年 6 月 3 日



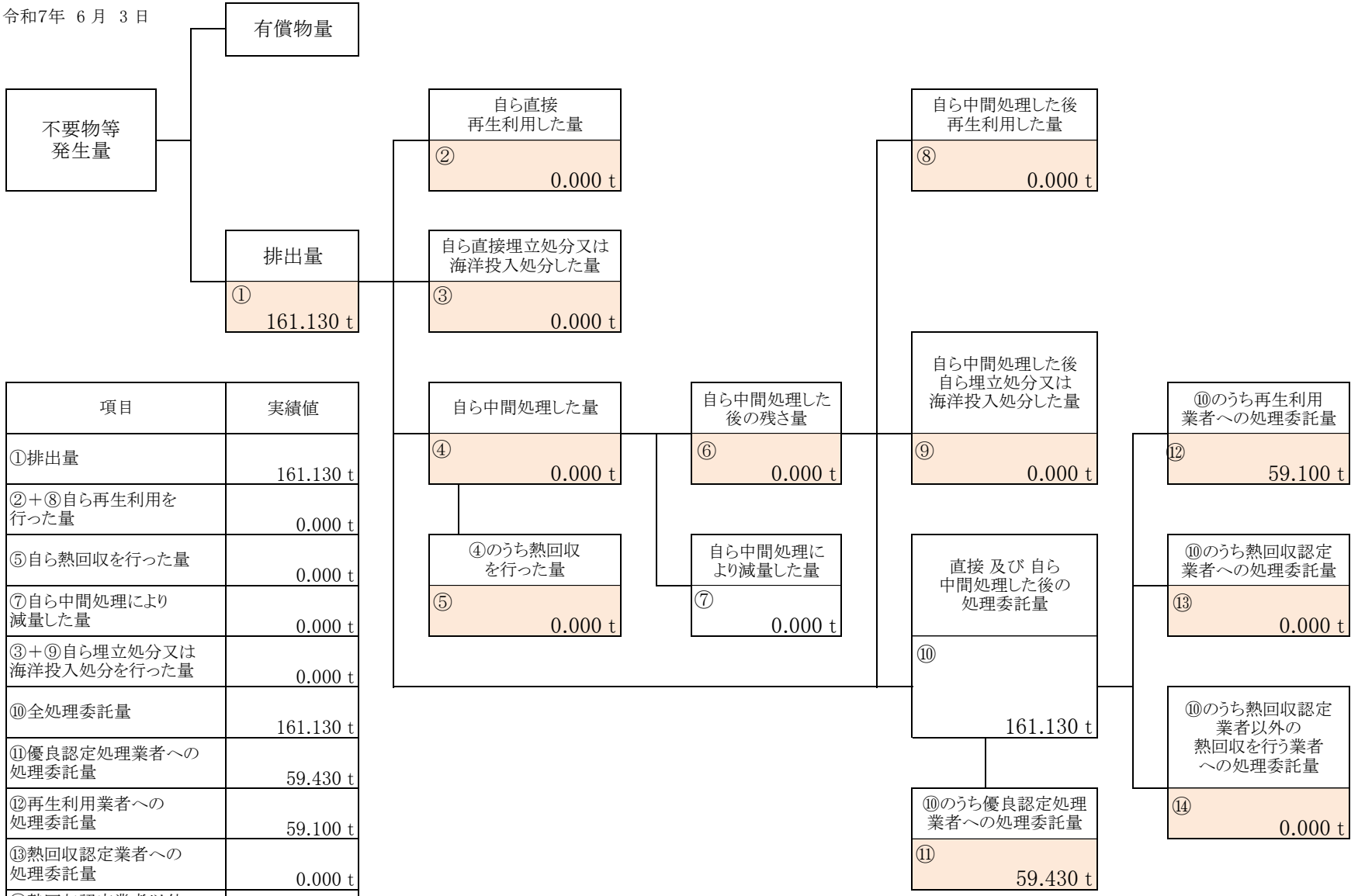
項目	実績値
①排出量	761.400 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	761.400 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	350.300 t
⑫再生利用業者への処理委託量	190.600 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 石膏ボード ）

令和7年 6 月 3 日



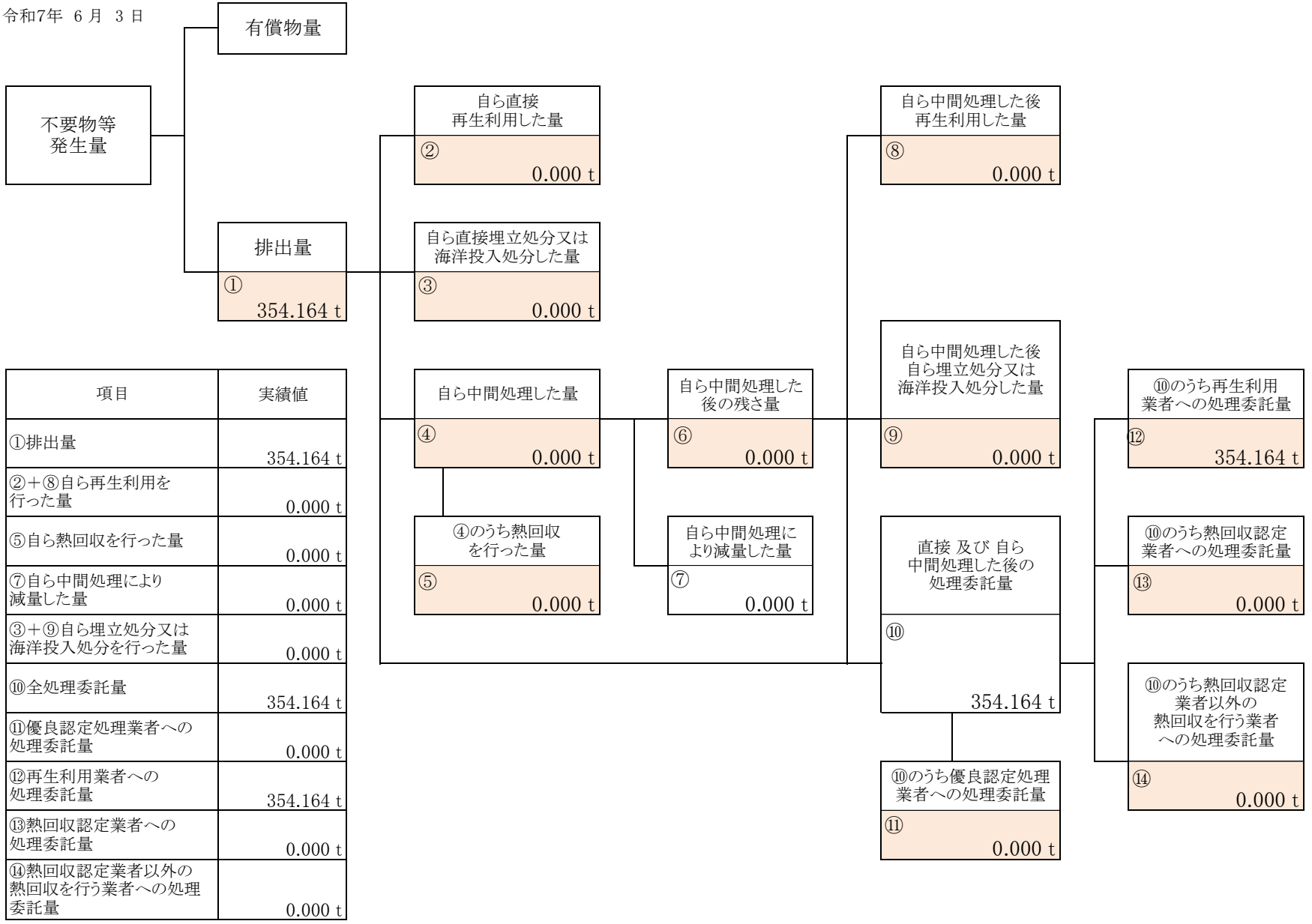
項目	実績値
①排出量	161.130 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	161.130 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	59.430 t
⑫再生利用業者への処理委託量	59.100 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）**）

令和7年 6 月 3 日



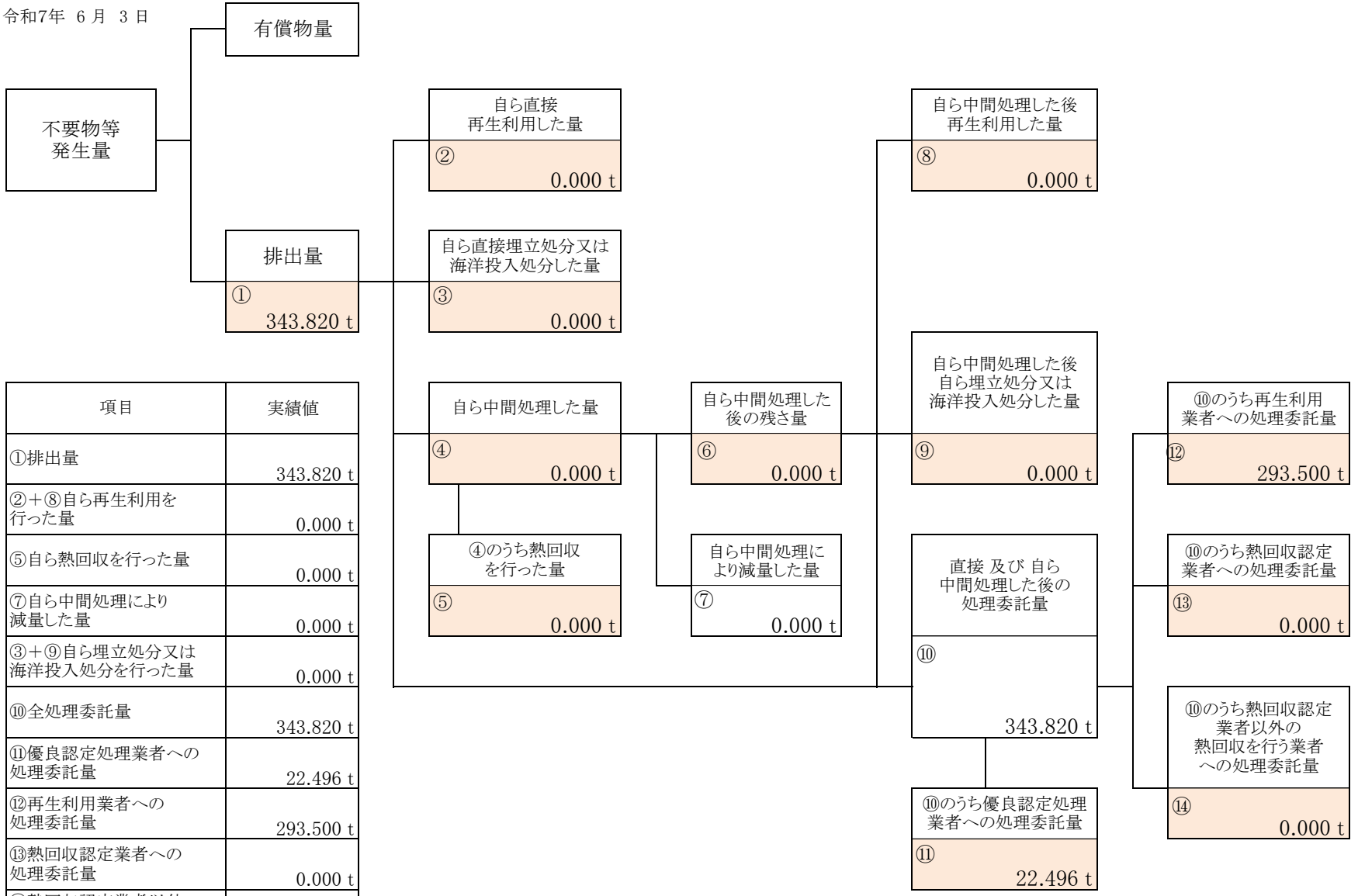
項目	実績値
①排出量	354.164 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	354.164 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	354.164 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリート破片）

令和7年 6 月 3 日



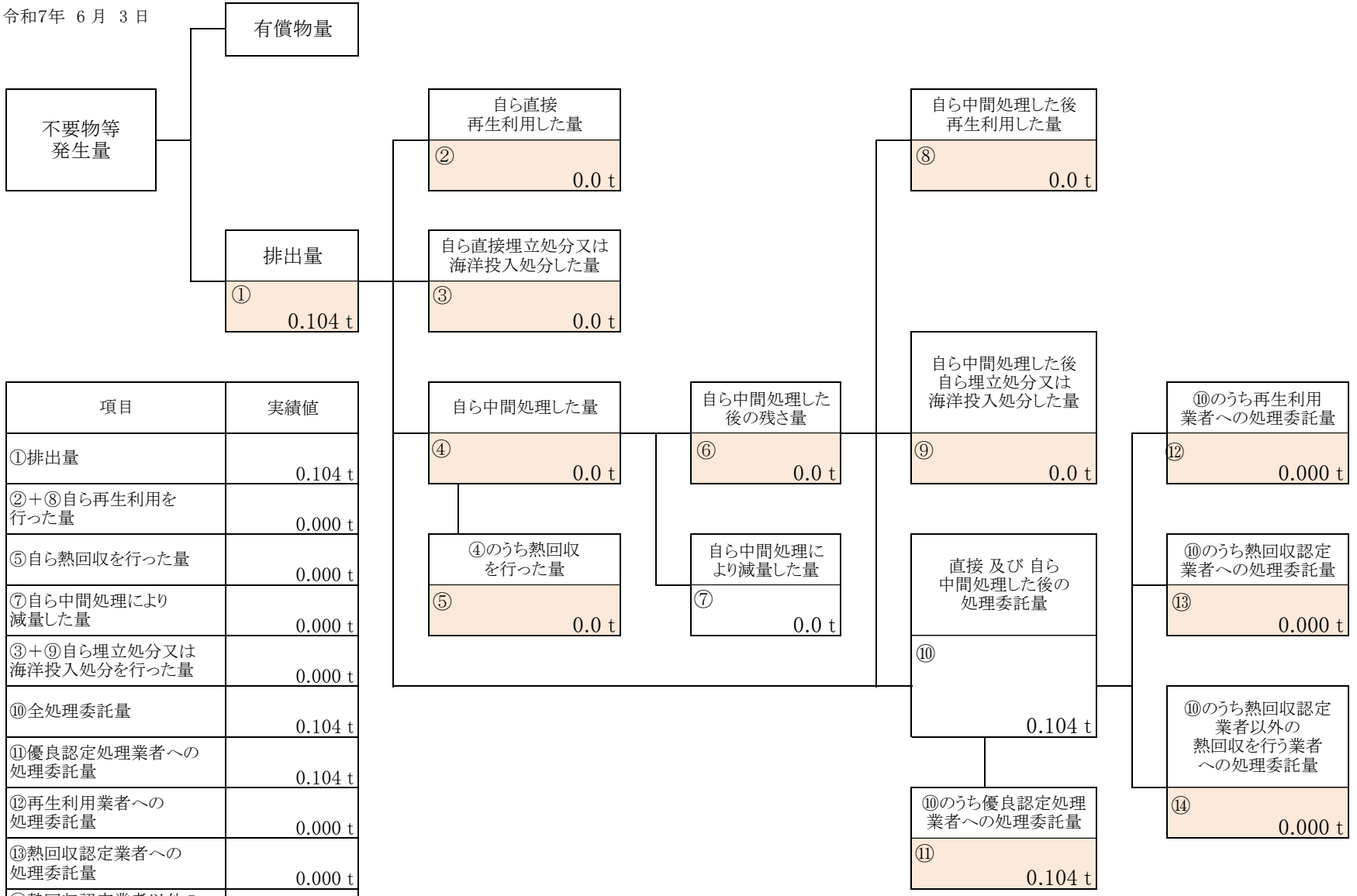
項目	実績値
①排出量	343.820 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	343.820 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.496 t
⑫再生利用業者への処理委託量	293.500 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

令和7年 6 月 3 日



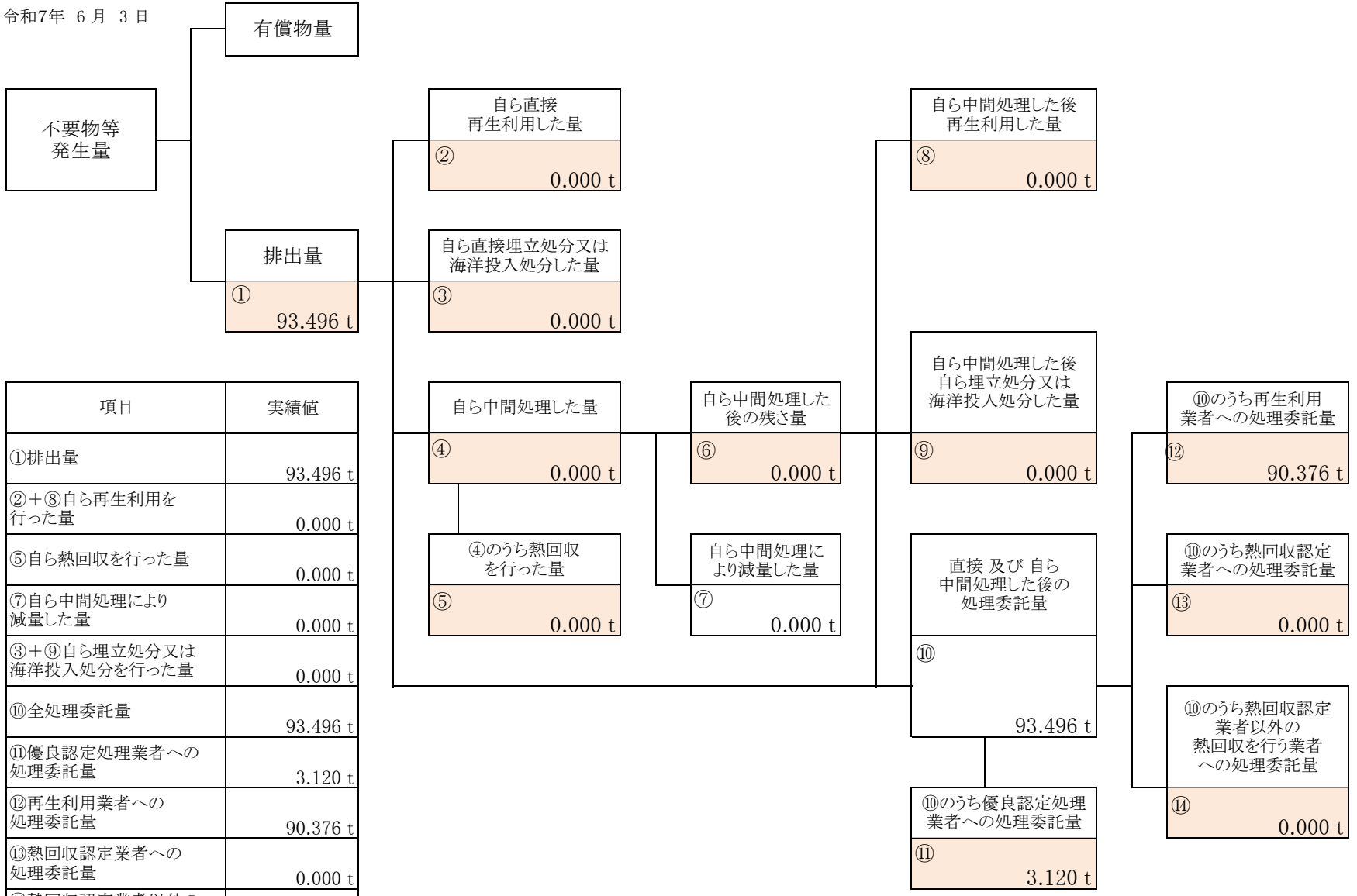
項目	実績値
①排出量	0.104 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.104 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.104 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型建設混合廃棄物**）

令和7年 6 月 3 日



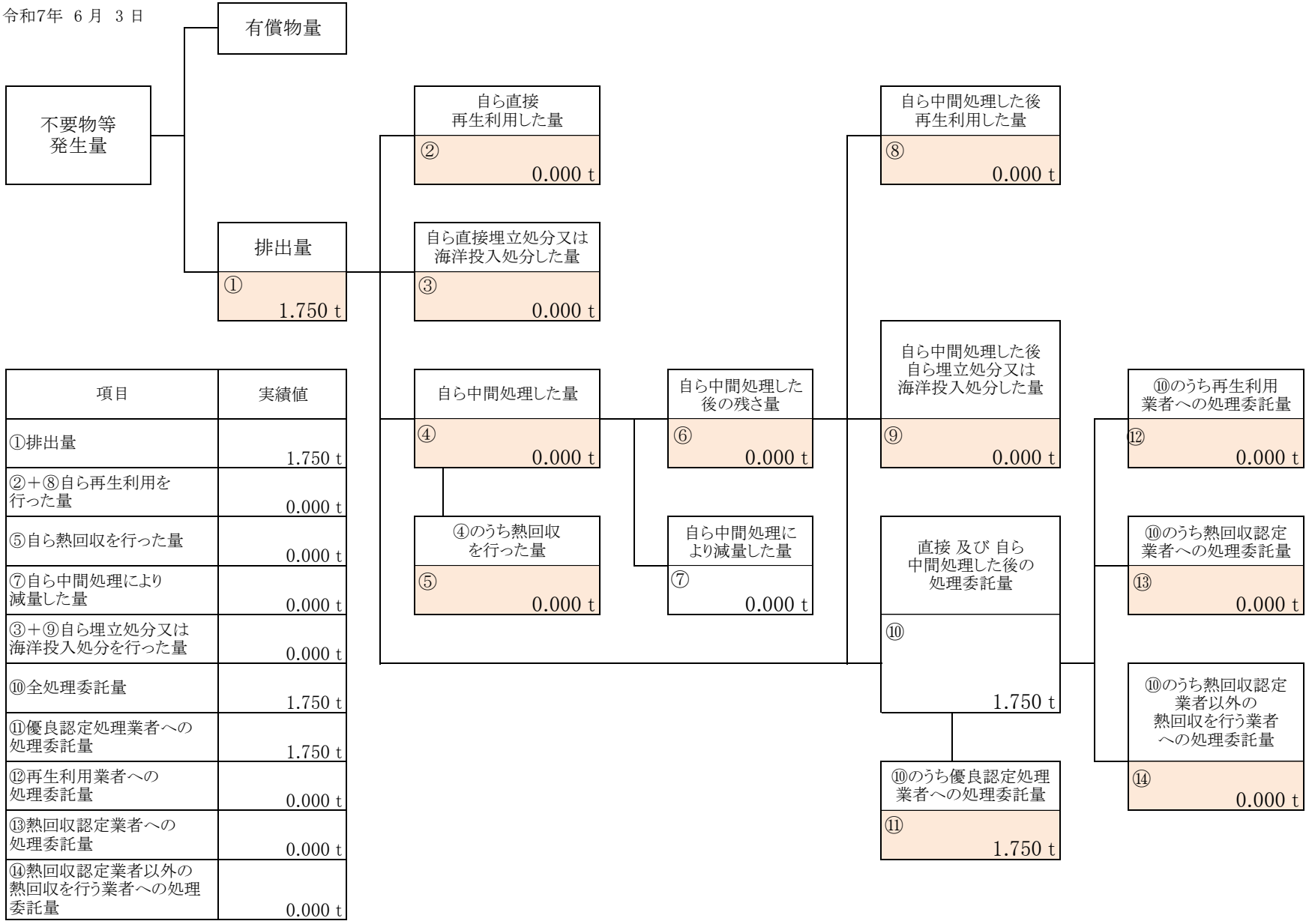
項目	実績値
①排出量	93.496 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	93.496 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.120 t
⑫再生利用業者への処理委託量	90.376 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）**）

令和7年 6 月 3 日



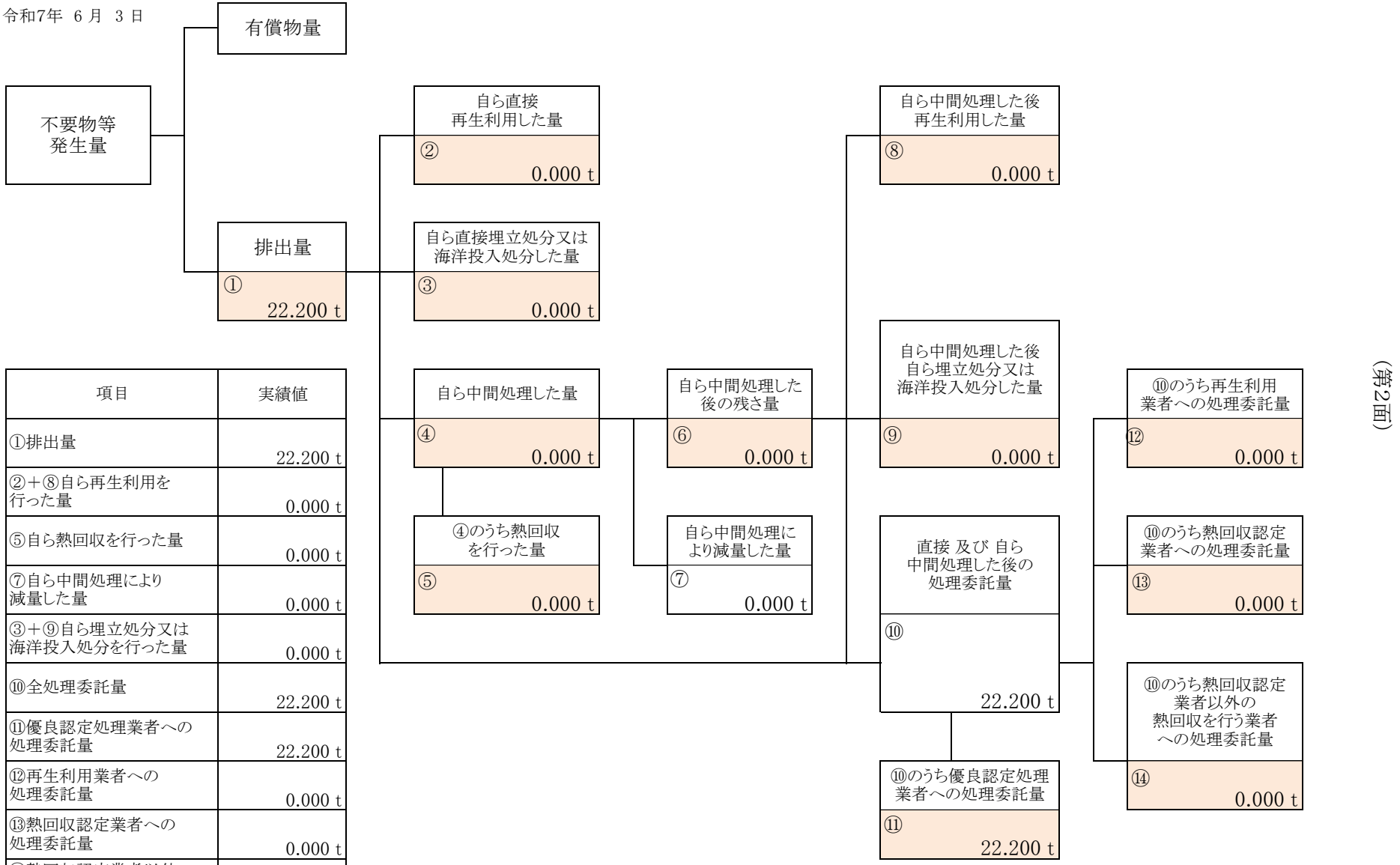
項目	実績値
①排出量	1.750 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	1.750 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.750 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）**）

令和7年 6 月 3 日



項目	実績値
①排出量	22.200 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	22.200 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.200 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月21日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒100-8270

住　所　東京都千代田区大手町１－３－２
経団連会館

氏　名　住友林業株式会社　住宅事業本部
安全・環境・検査室長　小瀧　元一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０３－３２１４－３３７１

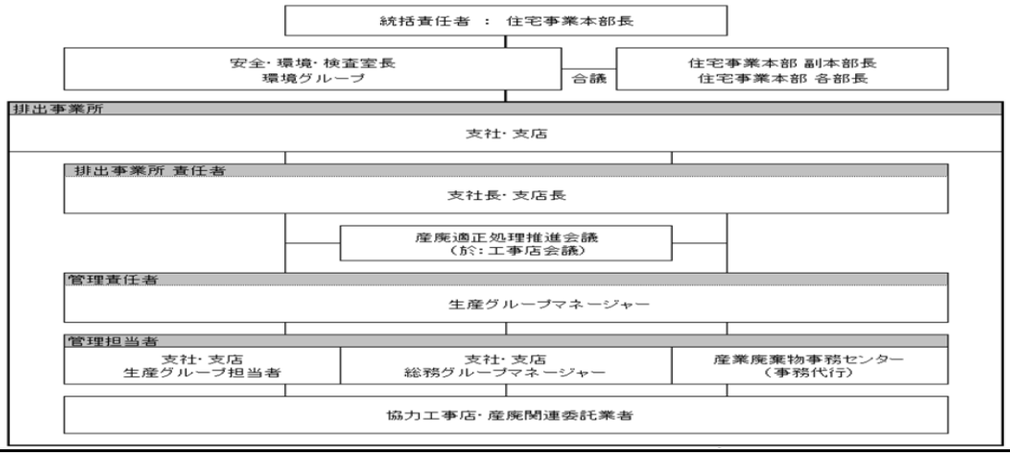
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友林業㈱　住宅事業本部　安全・環境・検査室 首都圏資源化センター
事業場の所在地	埼玉県加須市鴻茎３２０１－５
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	売上高（連結）2,053,650百万円(2024/12期)
③　従業員数	住友林業㈱ 6,095名（2025/5）（首都圏資源化センター　在籍2名）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	【新築】　別紙１の通り 【解体】 現場　⇒　収集運搬（委託）　⇒　中間処理場（品目により破砕等の処理）（委託） 再生　⇒　建設資材等に再資源化 ⇒　再生出来ない物　⇒　最終処分場（埋立処理）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
	排出量	206.92 t	428.95 t
	（これまでに実施した取組） ・基礎鉄筋のユニット化　・パレット、リン木の再利用 ・未利用品の廃棄撲滅　・配線、配管工事の工場加工化 ・梱包材、養生材の簡素化　・養生部材の再利用 ・プレカット導入 屋根スレート　外壁下地材　サイディング　内装材、外装材 石膏ボード（セミプレカット）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
	排出量	196.57 t	407.5 t
	（今後実施する予定の取組） ・資材規格寸法の見直し　・施工方法の見直し ・資材梱包材のリユース化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 新築工事現場に産業廃棄物一覧ポスターを掲示し、11種類の分別を指導している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 当社分別施設に集積した廃棄物の分別状況を、現場へフィードバックし、分別指導を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
全処理委託量	206.92 t	428.95 t
優良認定処理業者への処理委託量	206.92 t	428.95 t
再生利用業者への処理委託量	14.48 t	428.95 t
認定熱回収業者への処理委託量	192.44 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

原則、再生業者のみに委託する。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>廃プラスチック類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量＿</td><td>196.57 t</td><td>407.5 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>196.57 t</td><td>407.5 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>13.76 t</td><td>407.5 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>182.82 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
原則、再生業者のみに委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	グラスウール	石膏ボード				
		排　出　量	46.7 t	127.25 t	112.8 t	243.6 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
		排　出　量	44.37 t	120.89 t	107.16 t	231.42 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
	全処理委託量	46.7 t	127.25 t	112.8 t	243.6 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	46.7 t	127.25 t	112.8 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	46.7 t	0 t	0 t	243.6 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	グラスウール	石膏ボード				
	全処理委託量	44.37 t	120.89 t	107.16 t	231.42 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	44.37 t	120.89 t	107.16 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	44.37 t	0 t	0 t	231.42 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月21日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒100-8270
住　所　東京都千代田区大手町1－3－2
経団連会館
氏　名　住友林業株式会社　住宅事業本部
安全・環境・検査室長　小瀧　元一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　03－3214－3371

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住友林業㈱　住宅事業本部　安全・環境・検査室 首都圏資源化センター
事業場の所在地	埼玉県加須市鴻茎3201－5
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

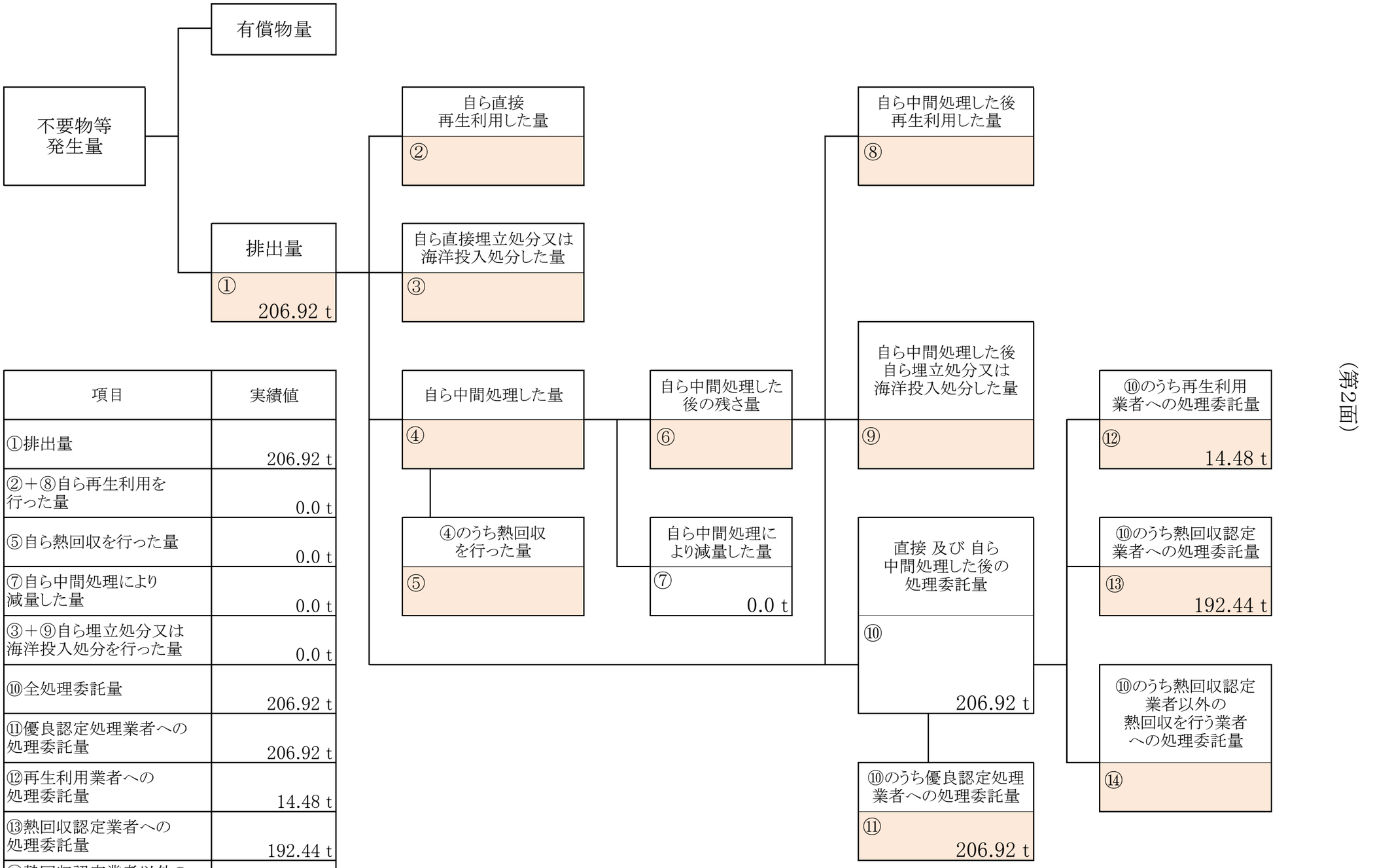
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2431.9ｔ	全処理委託量	2431.9ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	2202.2ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	1427.1ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	661.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

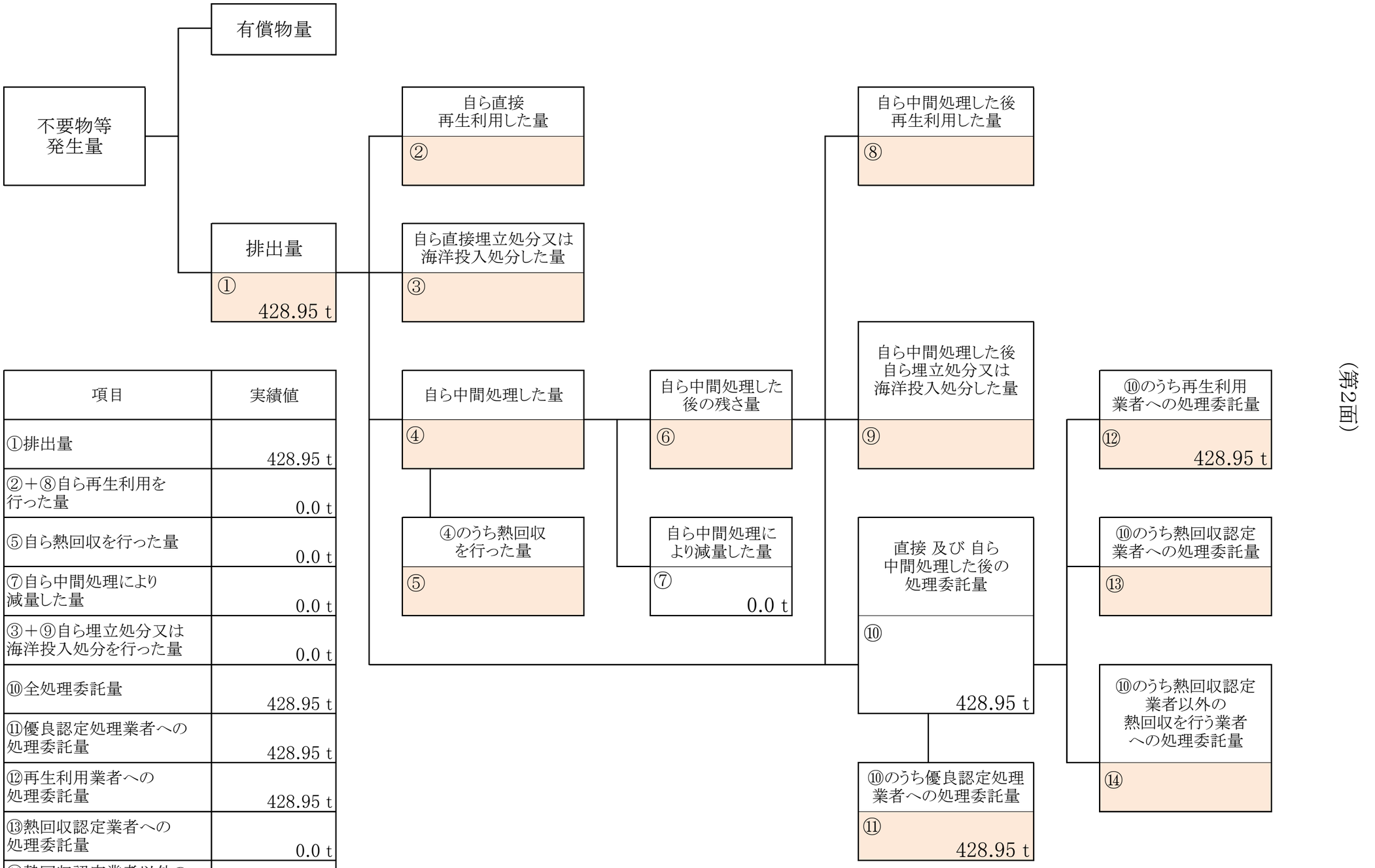


項目	実績値
①排出量	206.92 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	206.92 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	206.92 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.48 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	192.44 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

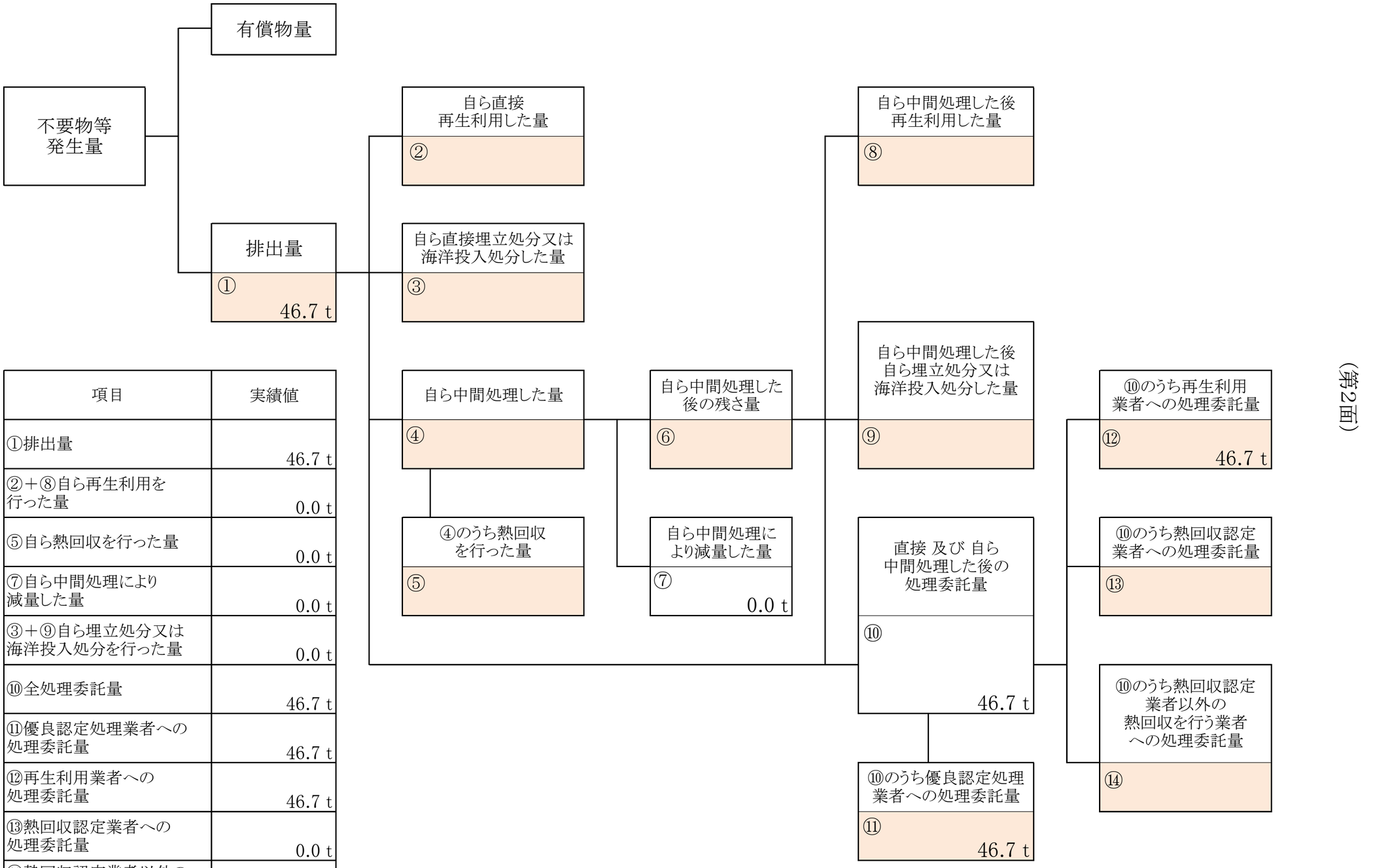


項目	実績値
①排出量	428.95 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	428.95 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	428.95 t
⑫再生利用業者への処理委託量	428.95 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

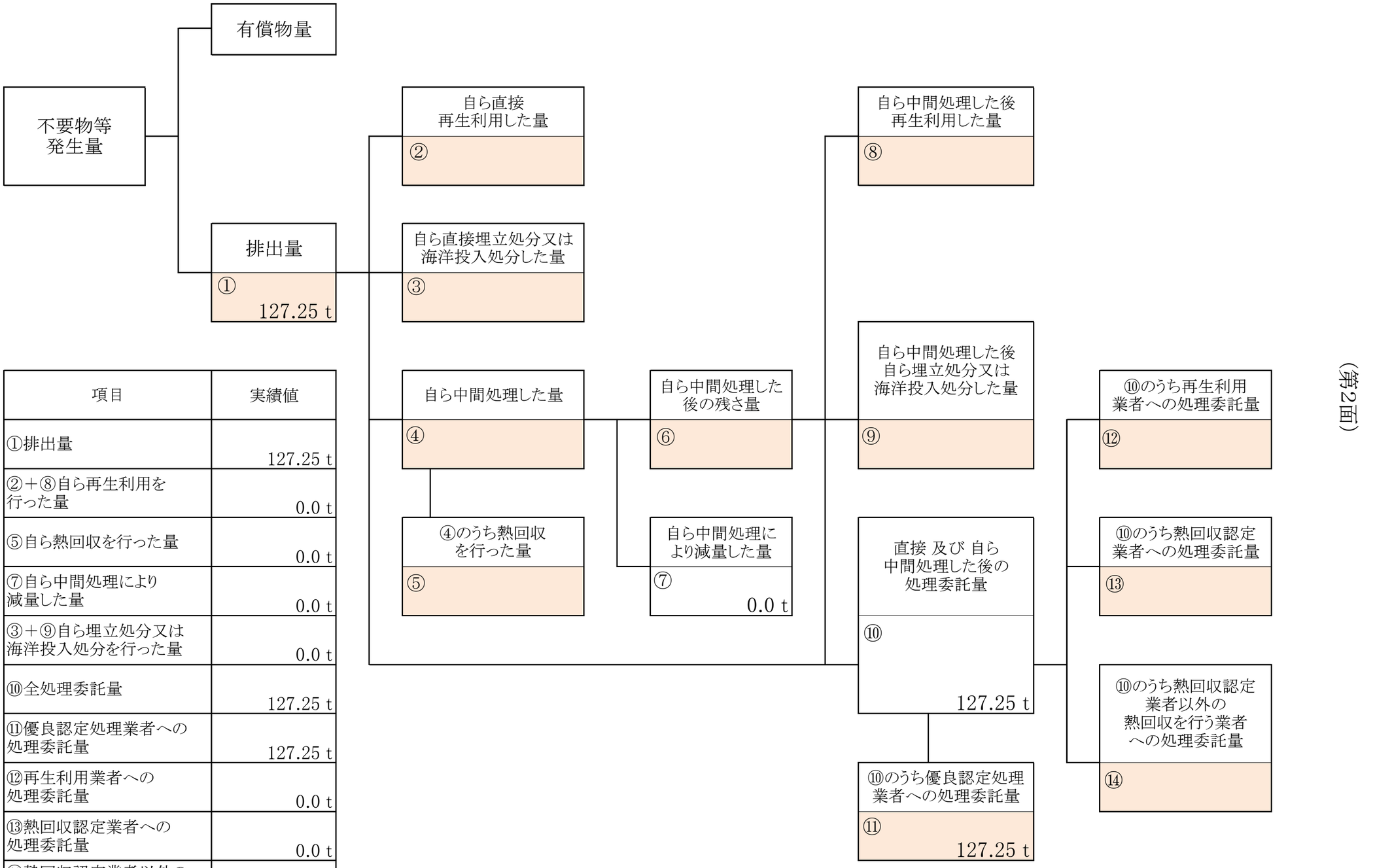


項目	実績値
①排出量	46.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず**）

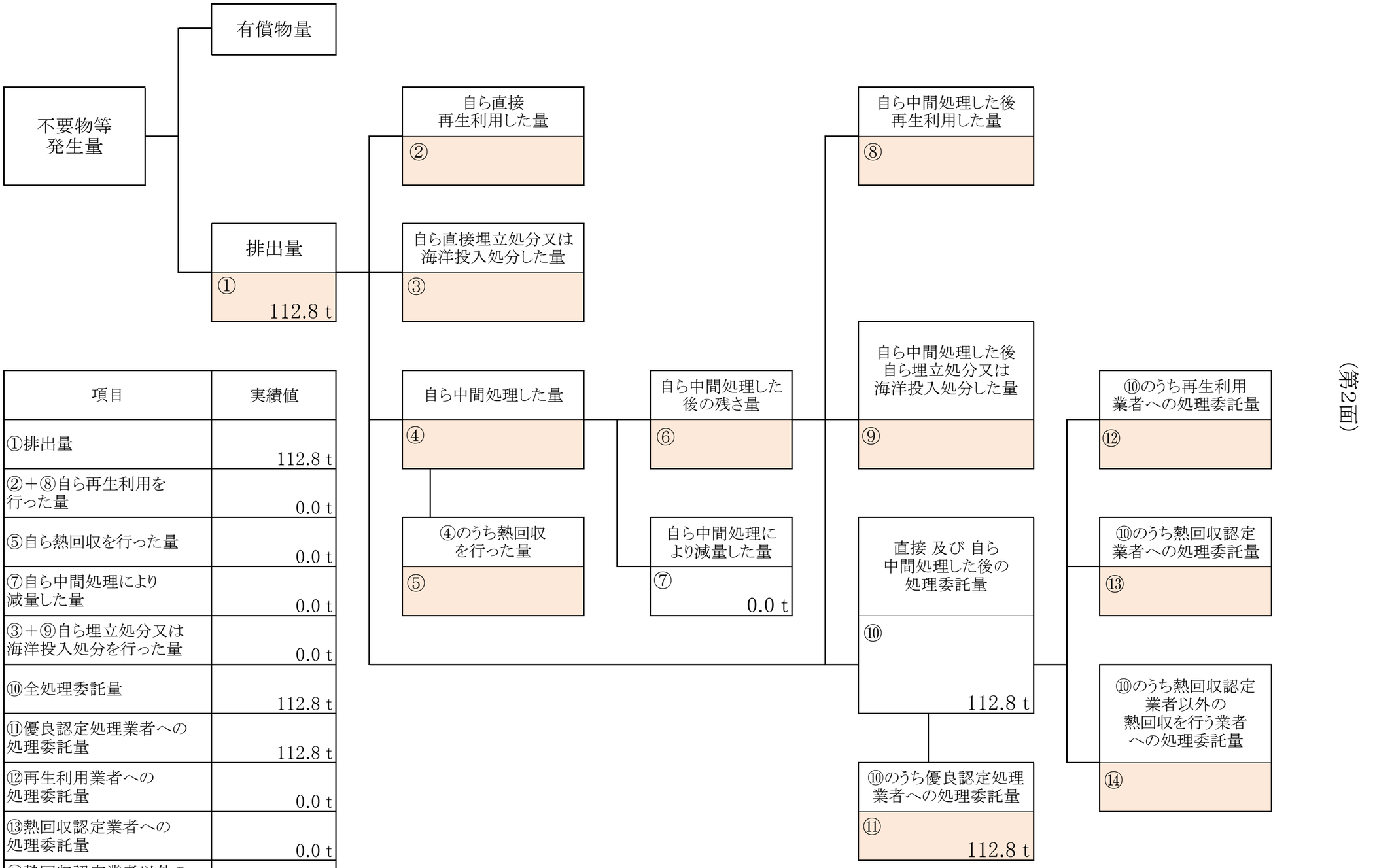


項目	実績値
①排出量	127.25 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	127.25 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	127.25 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：グラスウール）

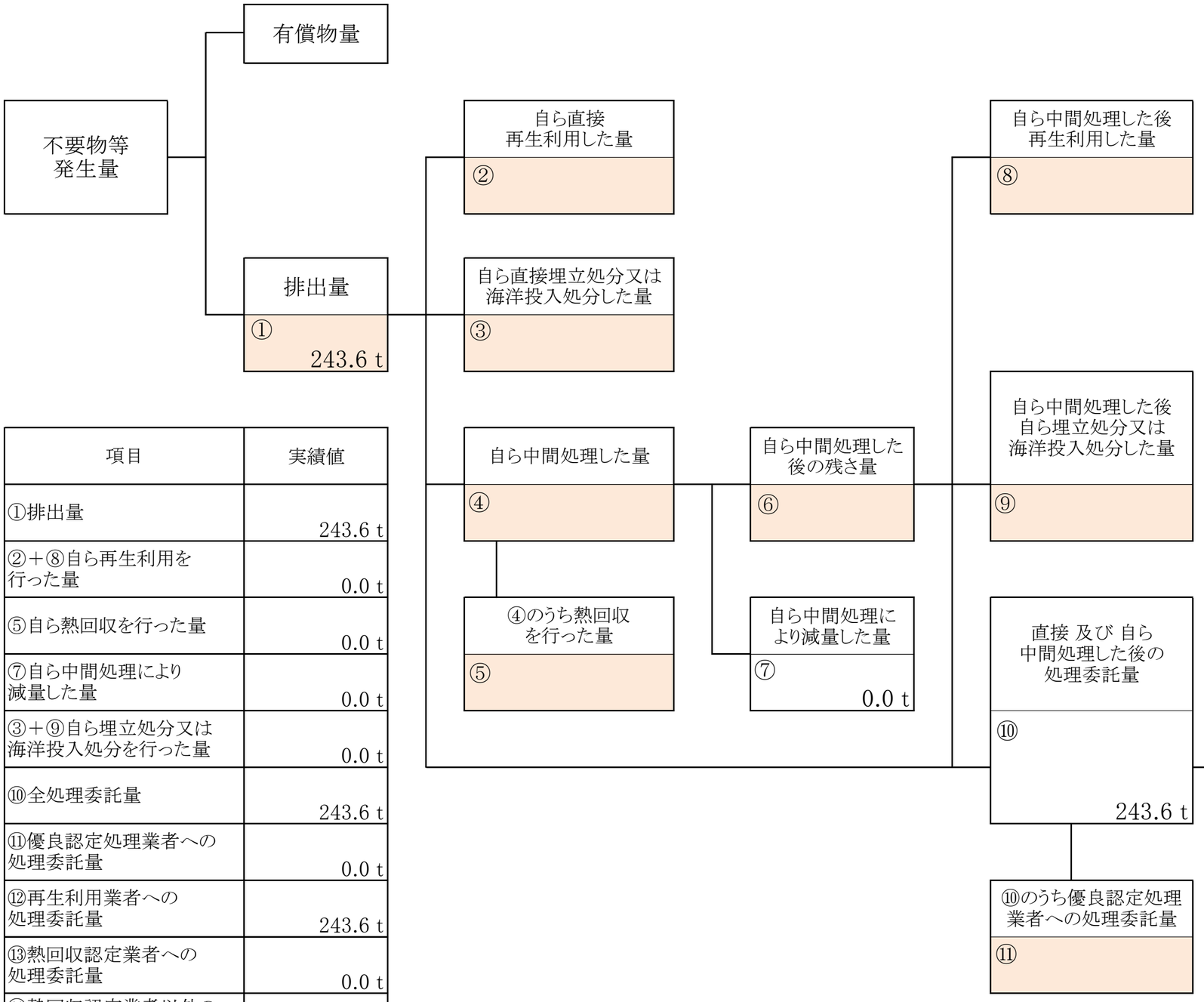


項目	実績値
①排出量	112.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	112.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	112.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石膏ボード**）



項目	実績値
①排出量	243.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	243.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	243.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

正

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7 年　6 月 26 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒277-0842
住　所　千葉県柏市末広町14-1
ＳＫ柏ビル11Ｆ
氏　名　住友林業株式会社
住宅事業本部　柏支店
支店長　　小木曽　成作
電話番号　04-7199-5770

千葉県
-7.6.30
収受

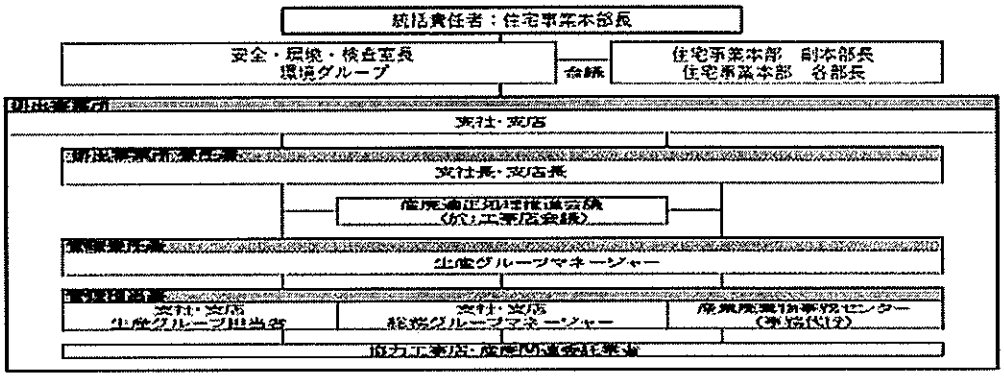
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので提出します。

事業場の名称	住友林業株式会社　住宅事業本部　柏支店
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	売上高（連結）　2,053,650百万円(2024/12期)
③　従業員数	住友林業株式会社　　6,090名（2025/4）（柏支店　　72名）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	3.58 t	59.43 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	3.40 t	56.46 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

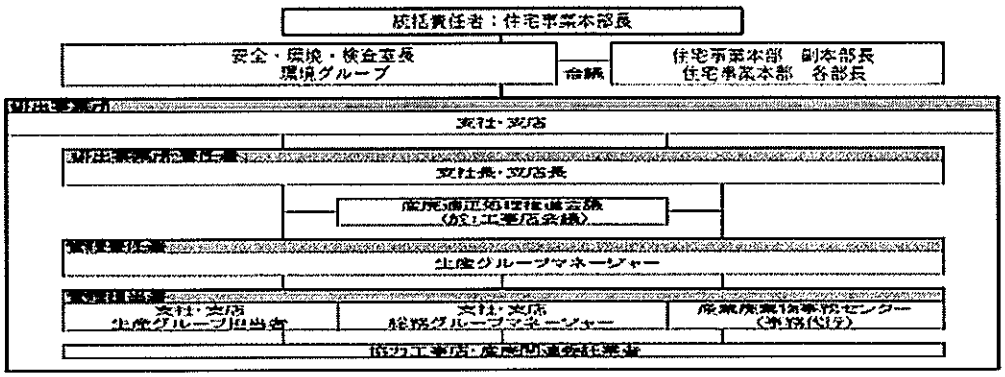
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
排出量	351.78　t	791.64　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
排出量	334.19　t	752.06　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

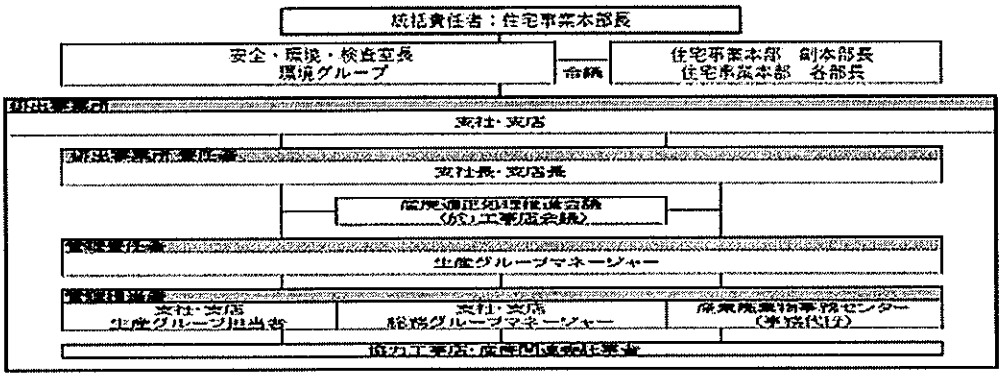
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
排出量	1.70 t	57.25 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
排出量	1.62 t	54.39 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

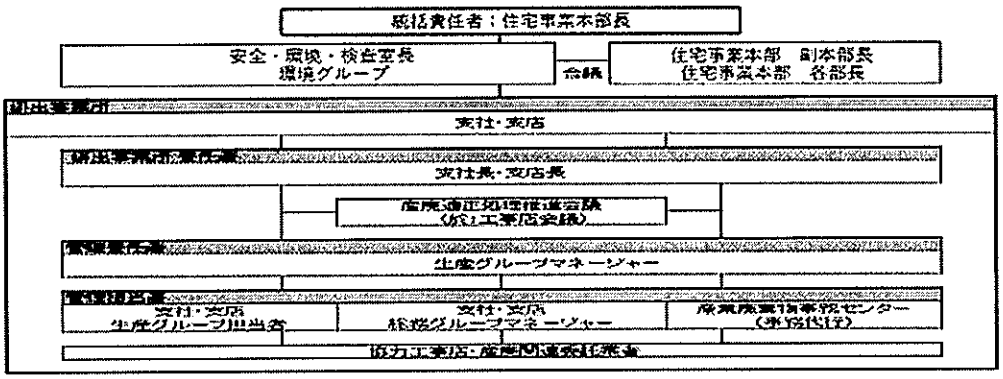
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
排出量	43.78 t	3.52 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
排出量	41.59 t	3.34 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

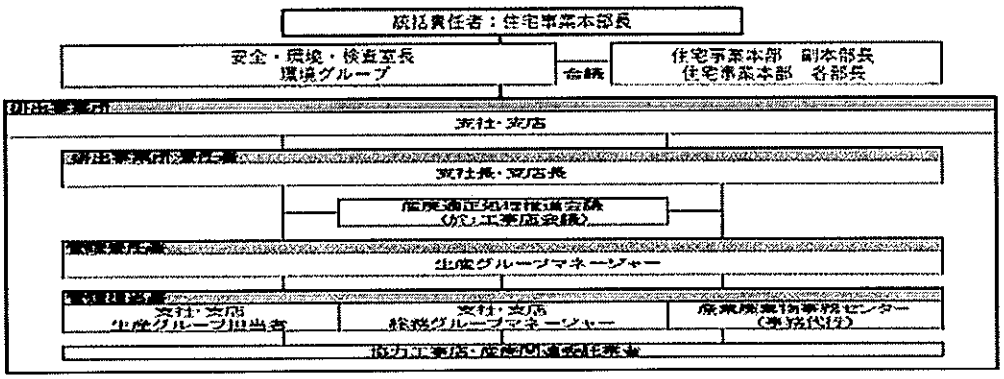
②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
排出量	8.87　t	263.17　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
排出量	8.43　t	250.01　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

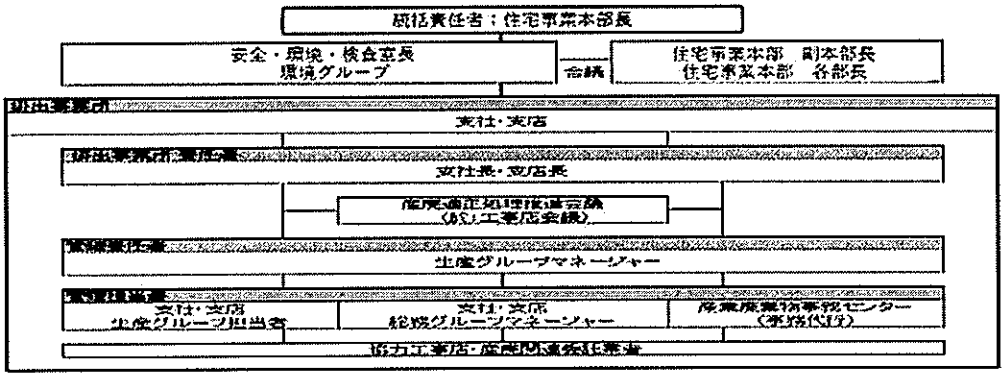
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃プラスチック類
排出量	49.38 t	12.78 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃プラスチック類
排出量	46.91 t	12.14 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

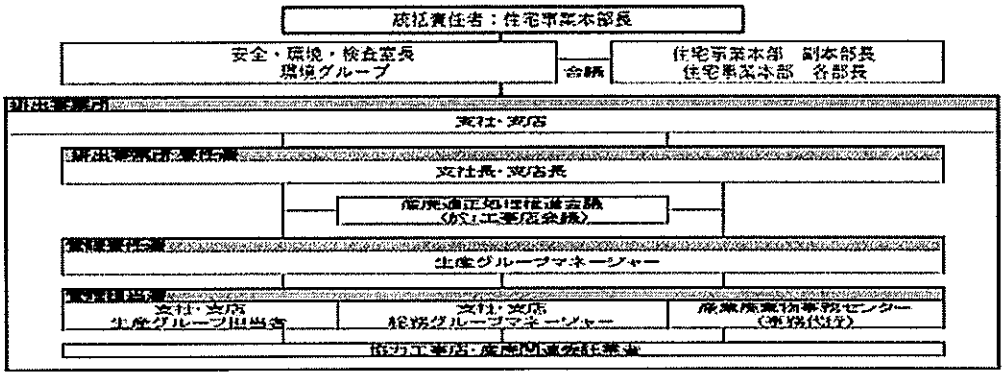
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
排出量	26.07　t	0　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
排出量	24.77　t	0　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

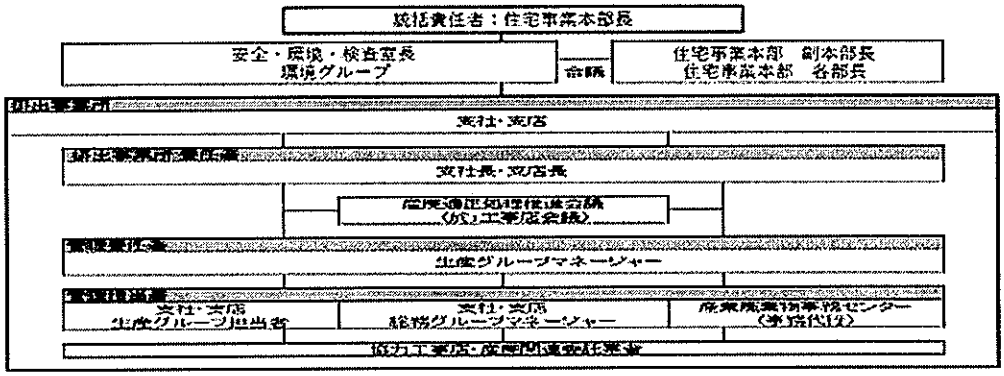
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
排出量	0　t	11.86　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
排出量	0　t	11.27　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自己処理は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自己処理の予定は無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自己処理は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自己処理の予定は無し。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

自己処理は無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自己処理の予定は無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	3.58 t	59.43 t
優良認定処理業者への処理委託量	3.58 t	21.37 t
再生利用業者への処理委託量	3.58 t	59.43 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	3.40 t	56.46 t
優良認定処理業者への処理委託量	3.40 t	20.30 t
再生利用業者への処理委託量	3.40 t	56.46 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

自己処理は無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自己処理の予定は無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	351.78 t	791.64 t
優良認定処理業者への処理委託量	68.54 t	397.01 t
再生利用業者への処理委託量	351.78 t	791.64 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類		コンクリート破片	
全処理委託量	334.19	t	752.06	t
優良認定処理業者への処理委託量	65.11	t	377.16	t
再生利用業者への処理委託量	334.19	t	752.06	t
認定熱回収業者への処理委託量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

自己処理は無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自己処理の予定は無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	1.70 t	57.25 t
優良認定処理業者への処理委託量	1.04 t	32.23 t
再生利用業者への処理委託量	1.70 t	57.25 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール		管理型建設混合廃棄物	
全処理委託量	1.62	t	54.39	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.99	t	30.62	t
再生利用業者への処理委託量	1.62	t	54.39	t
認定熱回収業者への処理委託量		t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

自己処理は無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自己処理の予定は無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の種類＿	金属くず	紙くず
全処理委託量＿	43.78 t	3.52 t
優良認定処理業者への処理委託量	22.47 t	1.96 t
再生利用業者への処理委託量	43.78 t	3.52 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
全処理委託量	41.59 t	3.34 t
優良認定処理業者への処理委託量	21.35 t	1.86 t
再生利用業者への処理委託量	41.59 t	3.34 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

自己処理は無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自己処理の予定は無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
全処理委託量	8.87 t	263.17 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.12 t	91.86 t
再生利用業者への処理委託量	8.78 t	263.17 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.09 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
全処理委託量	8.43 t	250.01 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.01 t	87.27 t
再生利用業者への処理委託量	8.34 t	250.01 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.08 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

自己処理は無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自己処理の予定は無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類＿	石膏ボード	廃プラスチック類
全処理委託量＿	49.38 t	12.78 t
優良認定処理業者への処理委託量	16.41 t	4.71 t
再生利用業者への処理委託量	49.38 t	12.66 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	0.12 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード		廃プラスチック類	
全処理委託量	46.91	t	12.14	t
優良認定処理業者への処理委託量	15.59	t	4.47	t
再生利用業者への処理委託量	46.91	t	12.03	t
認定熱回収業者への処理委託量		t	0.11	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

自己処理は無し。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自己処理の予定は無し。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類＿	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
全処理委託量＿	26.07 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.30 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	26.07 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
全処理委託量	24.77 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.19 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	24.77 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	0		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自己処理は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自己処理の予定は無し。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	0		
	産業廃棄物の種類_	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	全処理委託量_	0 t	11.86 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	11.85 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。		

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿	安定型建設混合廃棄物		石綿含有廃棄物	
		全処理委託量＿	0	t	11.27	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0	t	11.26	t
		再生利用業者への処理委託量	0	t	0.00	t
		認定熱回収業者への処理委託量		t		t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t
		（今後実施する予定の取組） ・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。 ・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。				
※事務処理欄						

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

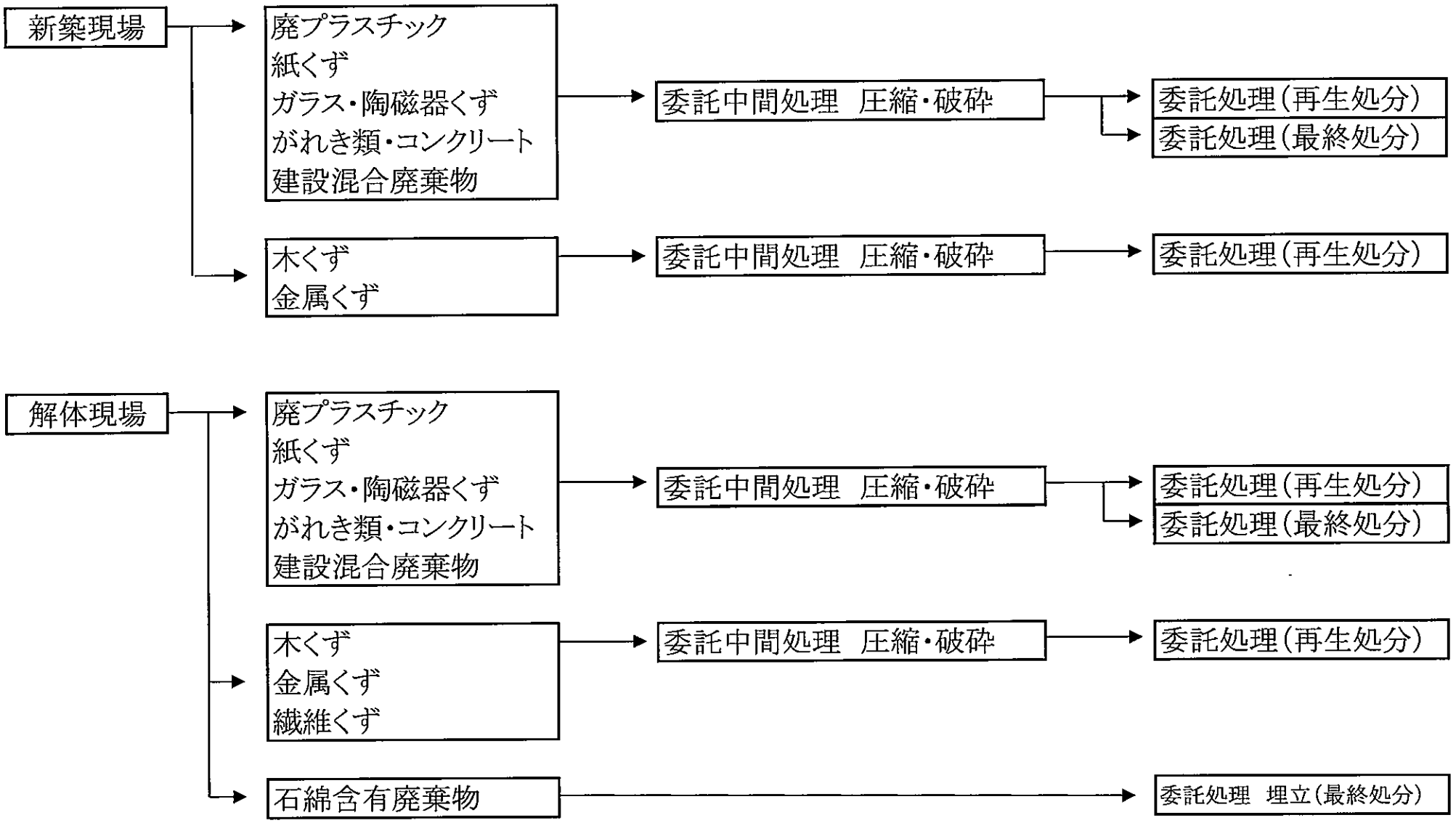
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1 《 産業廃棄物の一連の処理の工程 》



正

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 26 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

千葉県 -7.6.30 収受

提出者　〒277-0842
住 所　千葉県柏市末広町14-1 SK柏ビル11F
氏 名　住友林業株式会社
住宅事業本部 柏支店
支店長　小木曽 成作
電話番号 04-7199-5770

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住友林業株式会社 住宅事業本部 柏支店
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

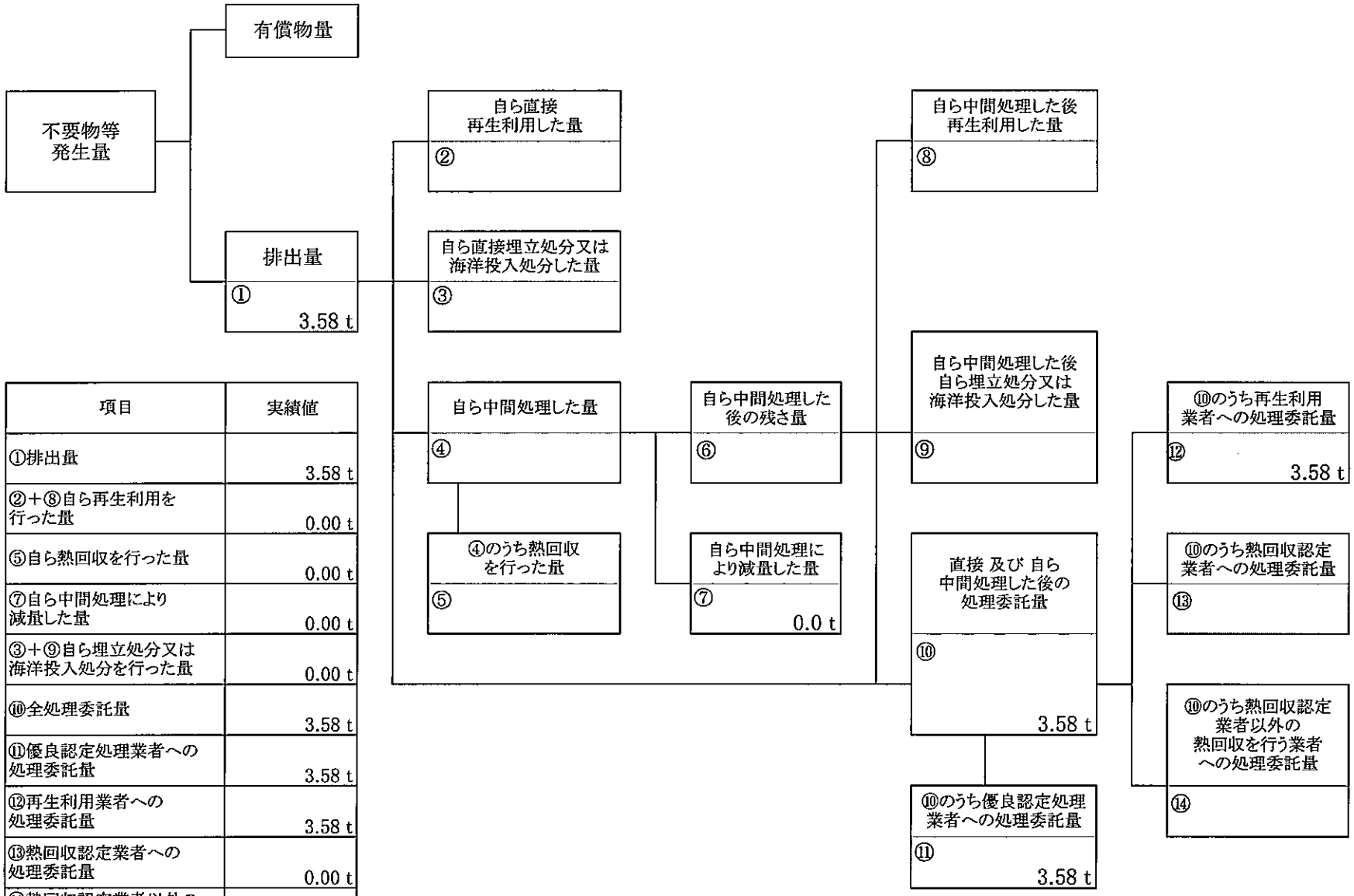
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1550.69 t	全処理委託量	1550.69 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	837.92 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1525.21 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリート破片　）

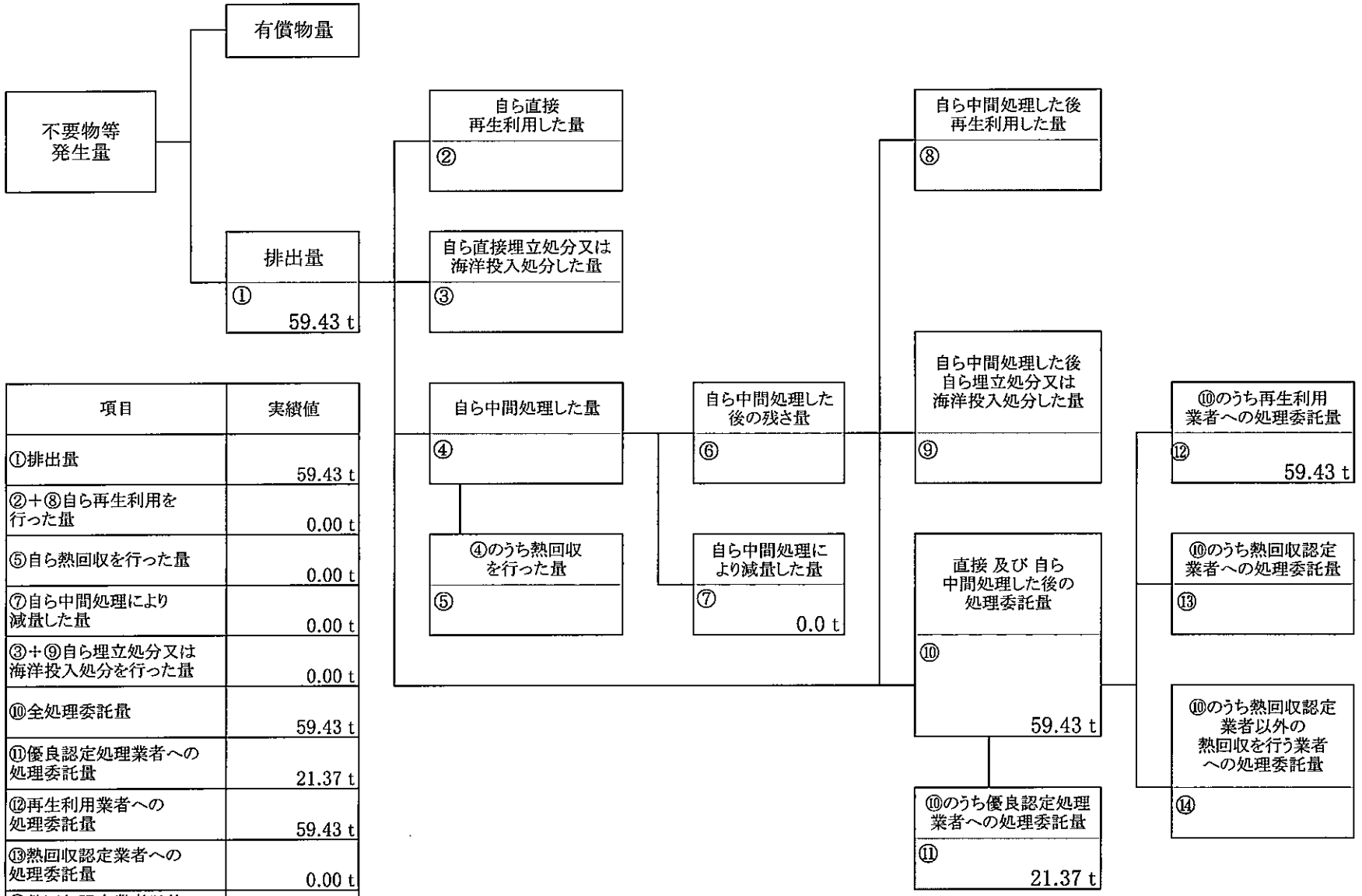


項目	実績値
①排出量	3.58 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	3.58 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.58 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.58 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）

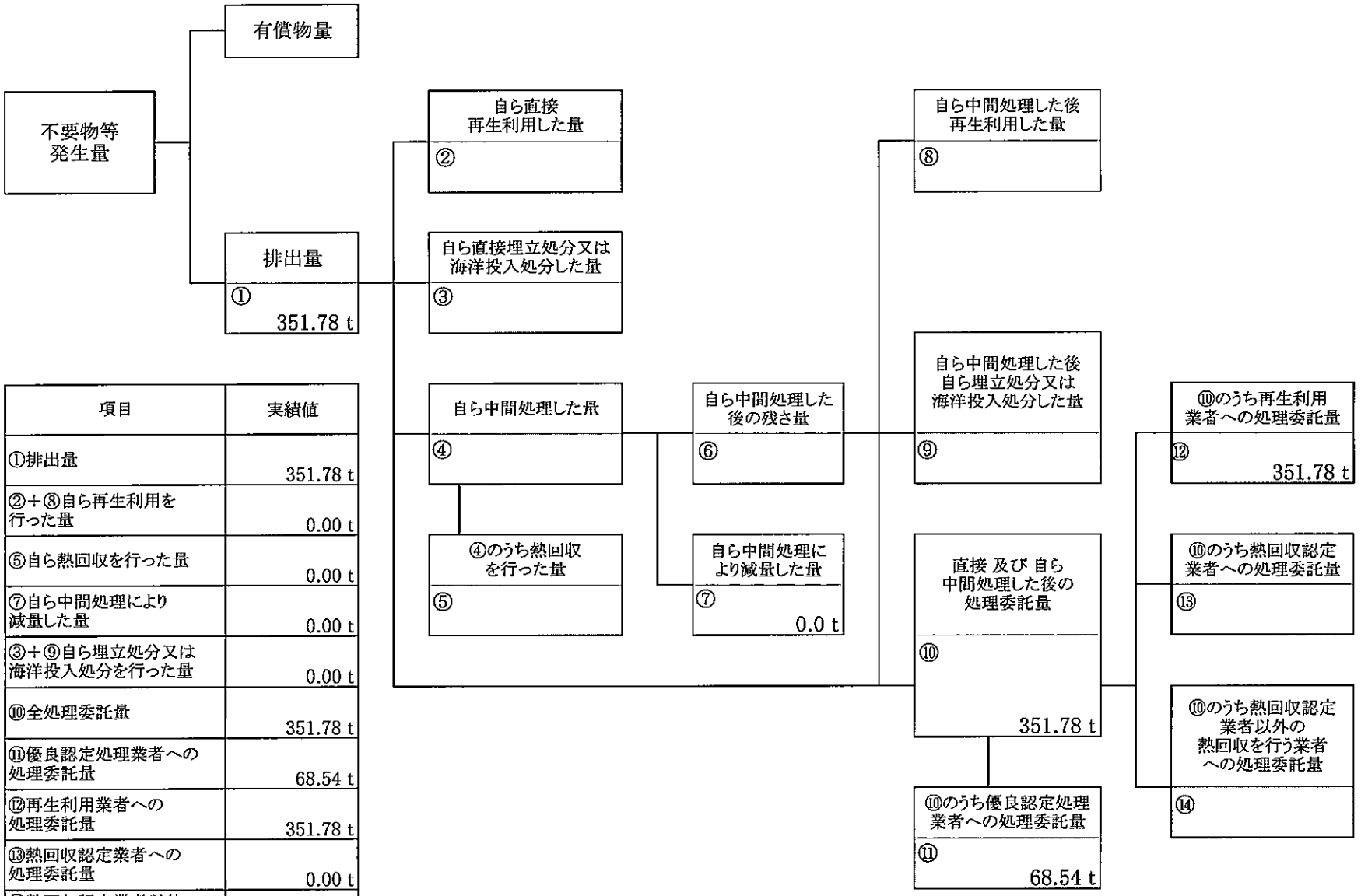


項目	実績値
①排出量	59.43 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	59.43 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.37 t
⑫再生利用業者への処理委託量	59.43 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

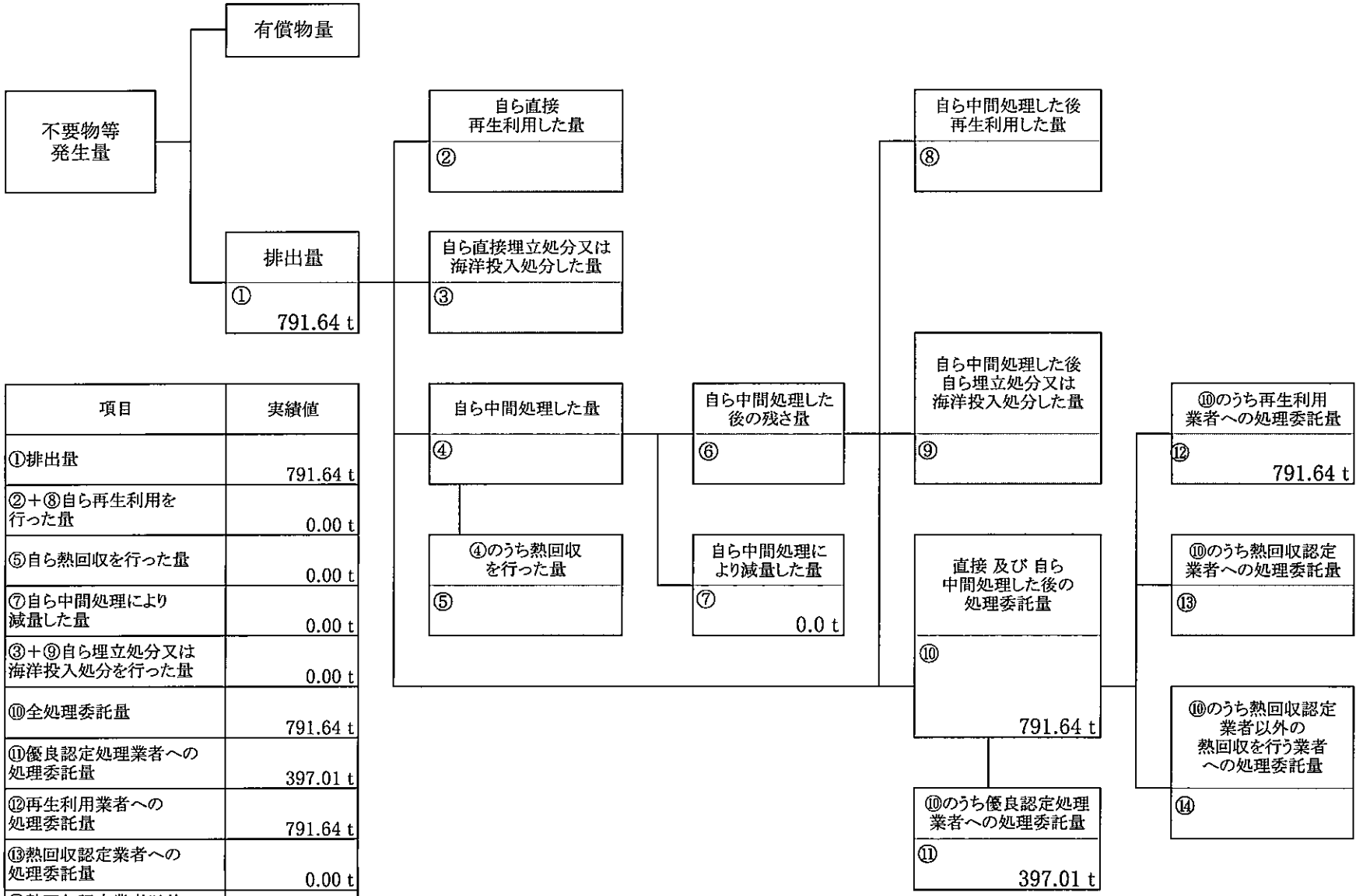


項目	実績値
①排出量	351.78 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	351.78 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.54 t
⑫再生利用業者への処理委託量	351.78 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリート破片　）

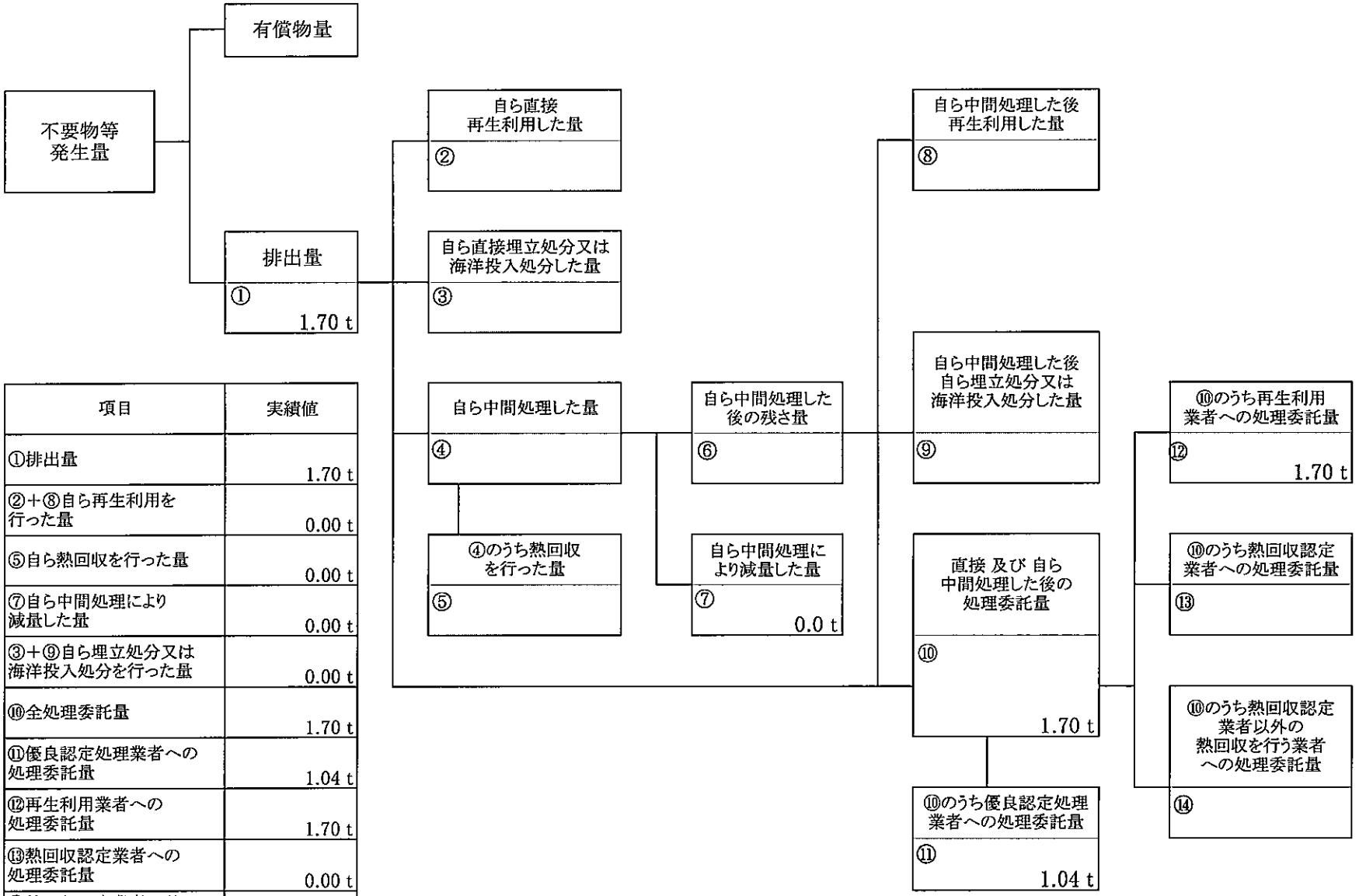


項目	実績値
①排出量	791.64 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	791.64 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	397.01 t
⑫再生利用業者への処理委託量	791.64 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　ダンボール　　）

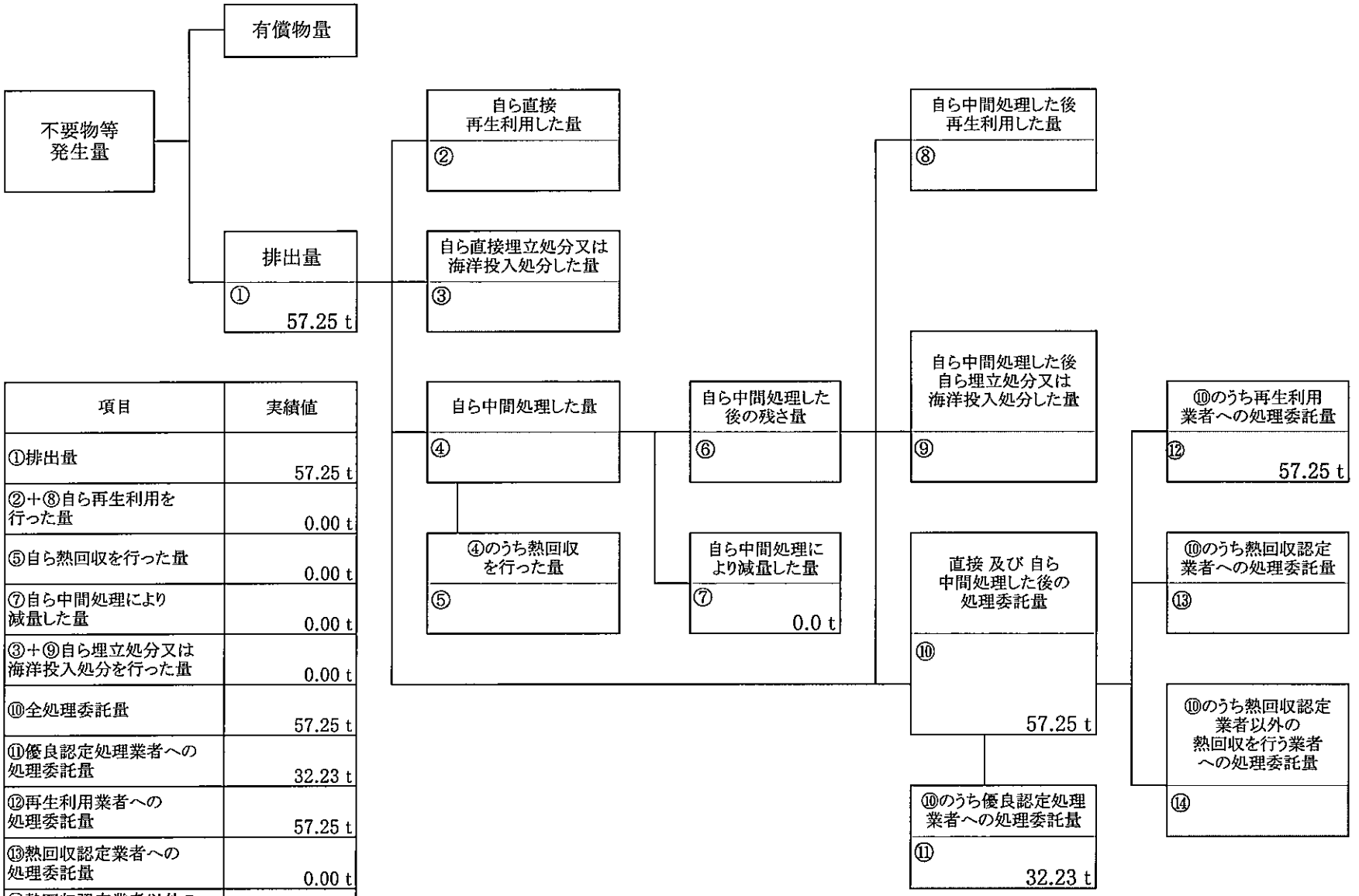


項目	実績値
①排出量	1.70 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.70 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.04 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.70 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　管理型建設混合廃棄物　）

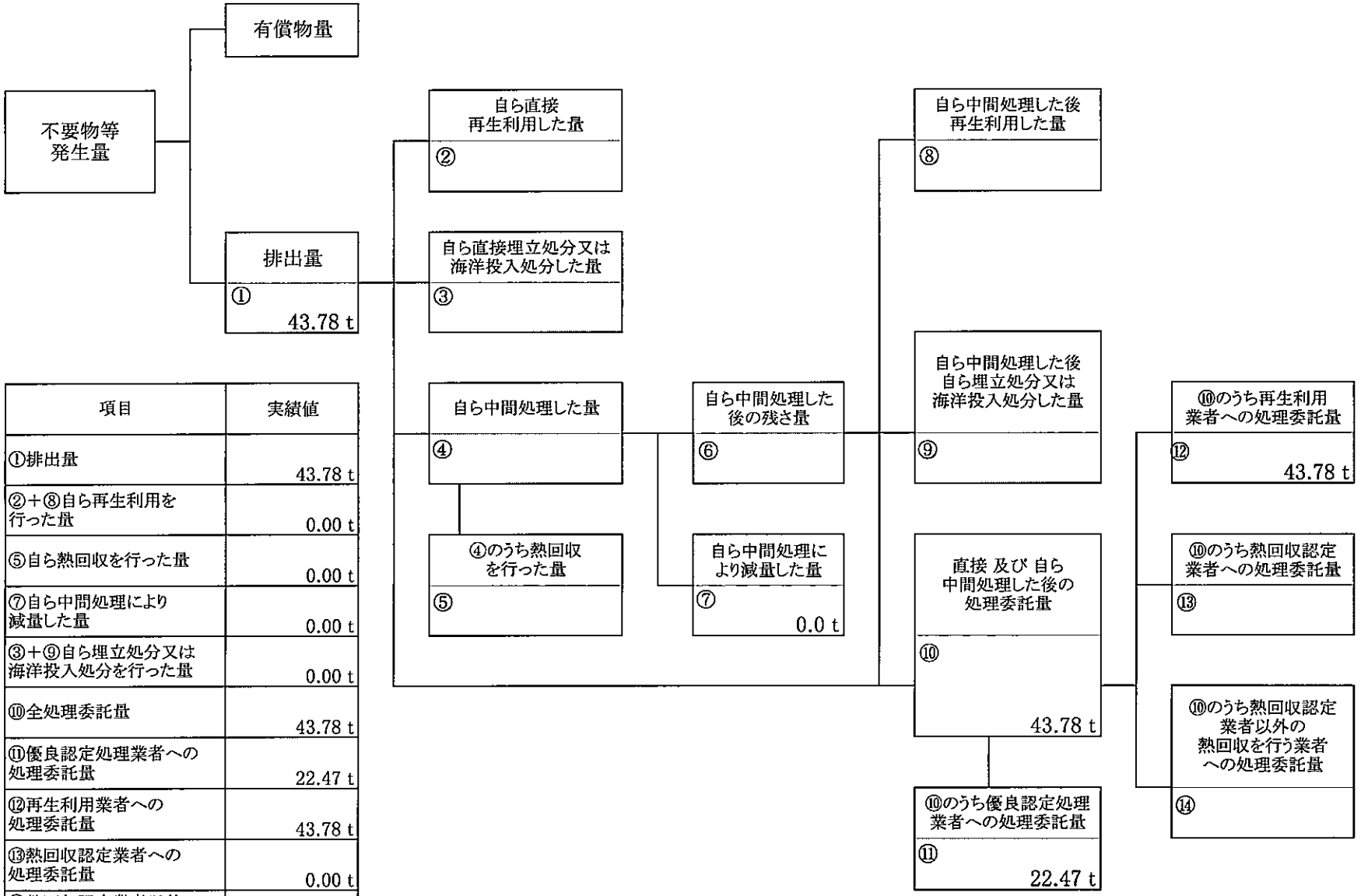


項目	実績値
①排出量	57.25 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	57.25 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	32.23 t
⑫再生利用業者への処理委託量	57.25 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

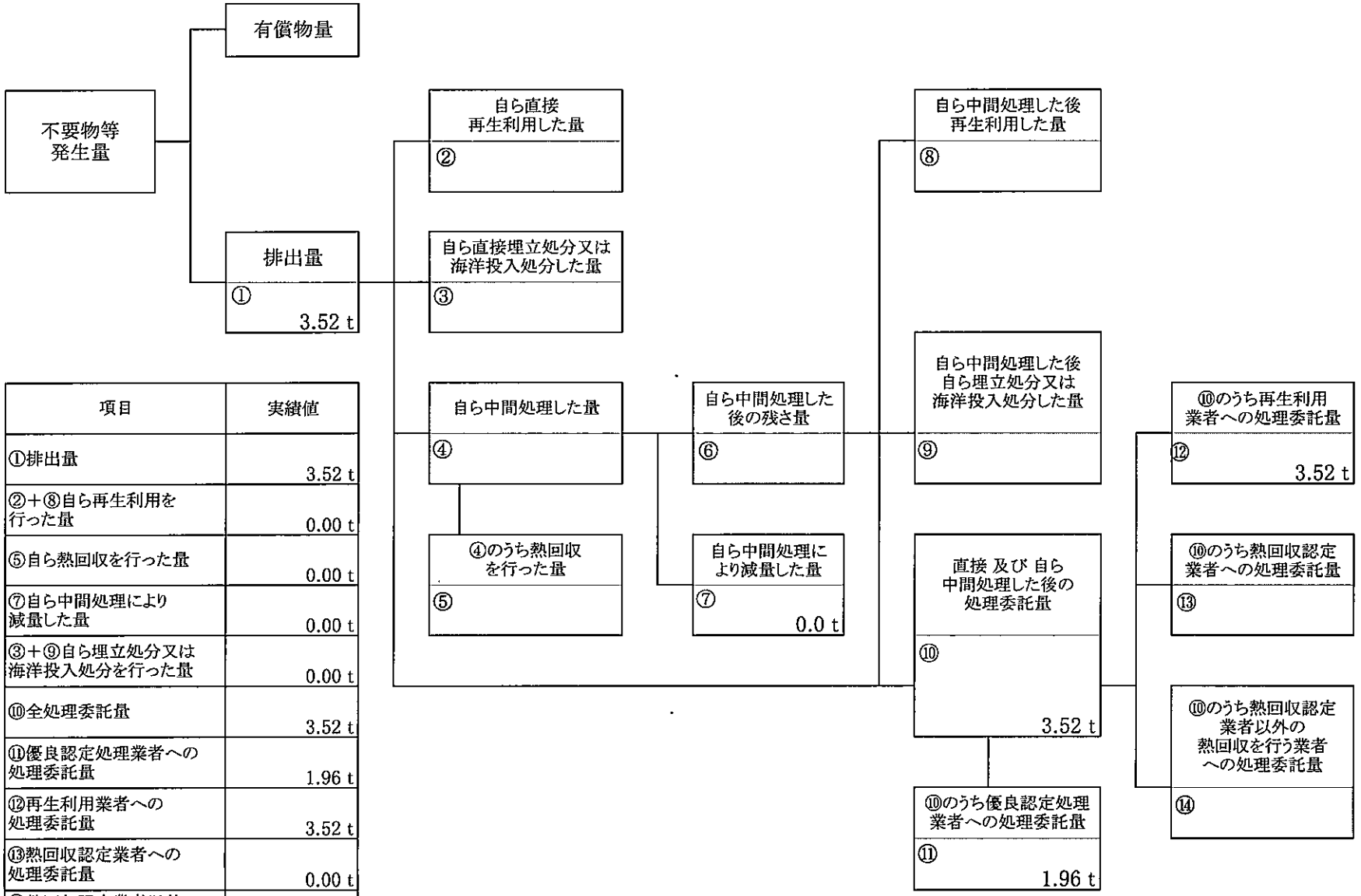


項目	実績値
①排出量	43.78 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	43.78 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.47 t
⑫再生利用業者への処理委託量	43.78 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

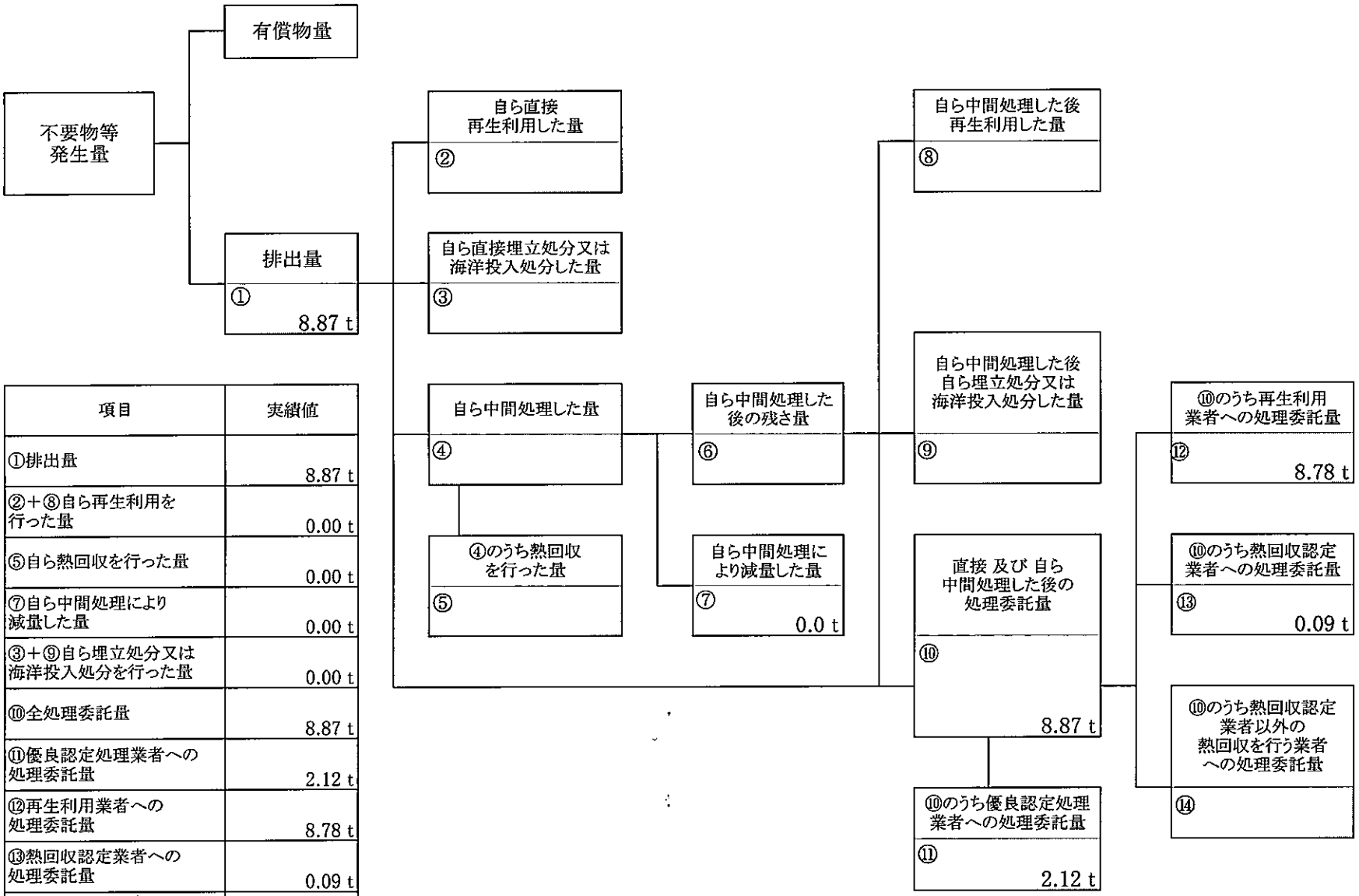


項目	実績値
①排出量	3.52 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	3.52 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.96 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.52 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　繊維くず　）

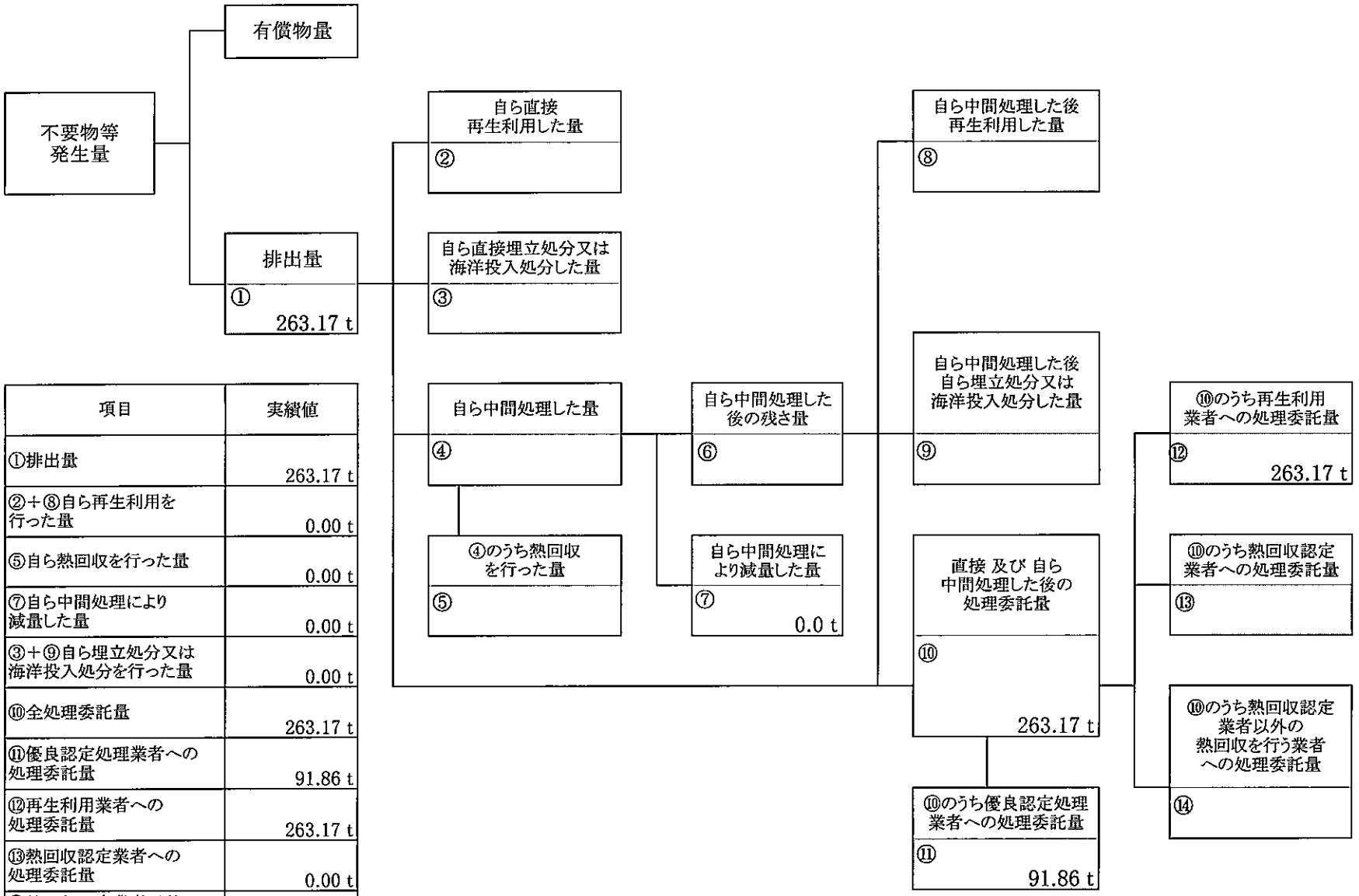


項目	実績値
①排出量	8.87 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	8.87 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.12 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.78 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.09 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

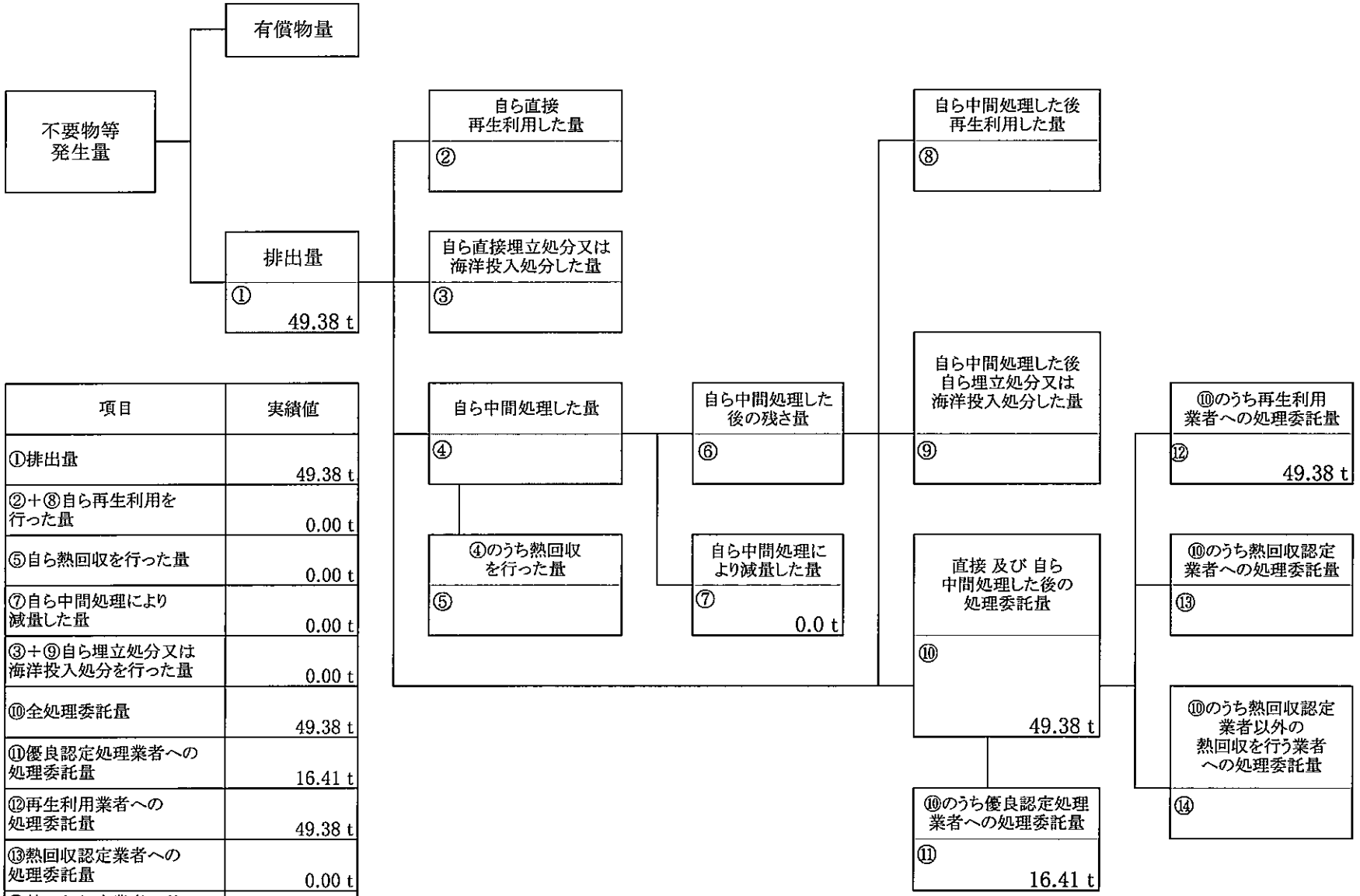


項目	実績値
①排出量	263.17 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	263.17 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	91.86 t
⑫再生利用業者への処理委託量	263.17 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石膏ボード　）

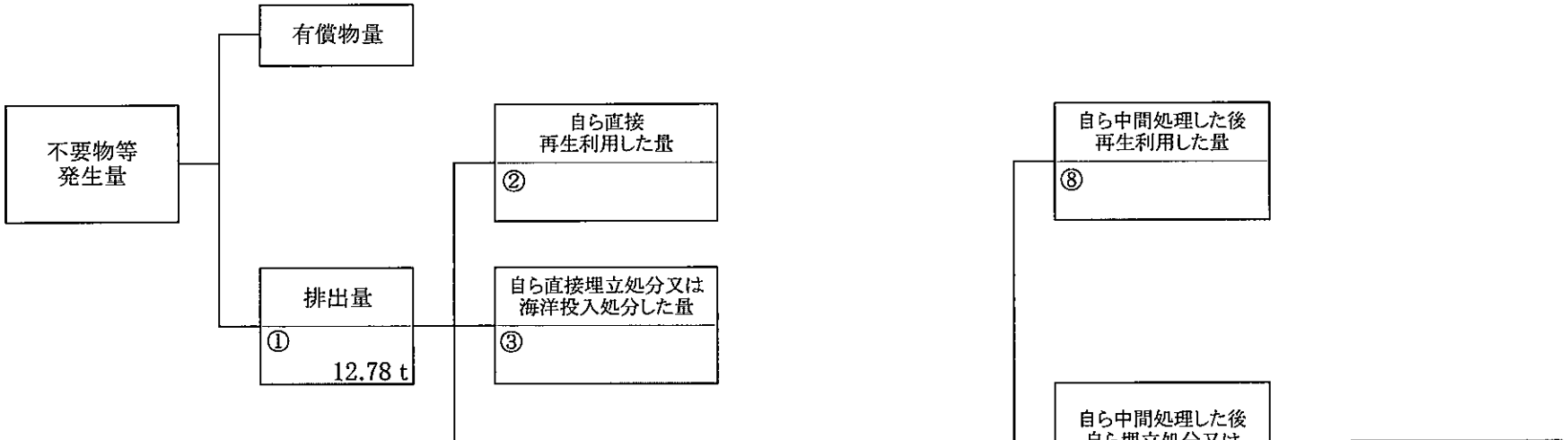


項目	実績値
①排出量	49.38 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	49.38 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.41 t
⑫再生利用業者への処理委託量	49.38 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

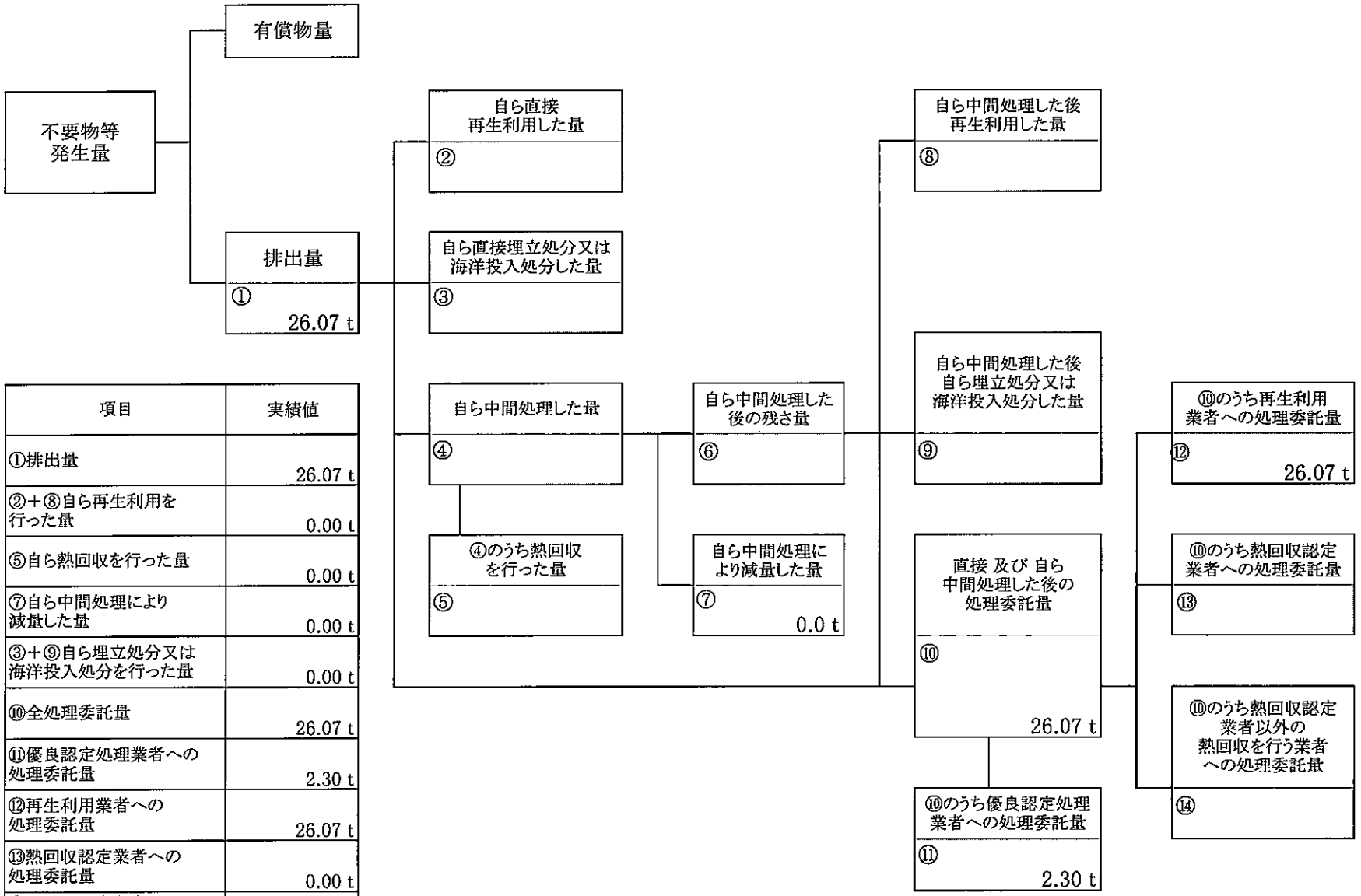


項目	実績値
①排出量	12.78 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	12.78 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.71 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.66 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.12 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　伐採材・伐根材　）

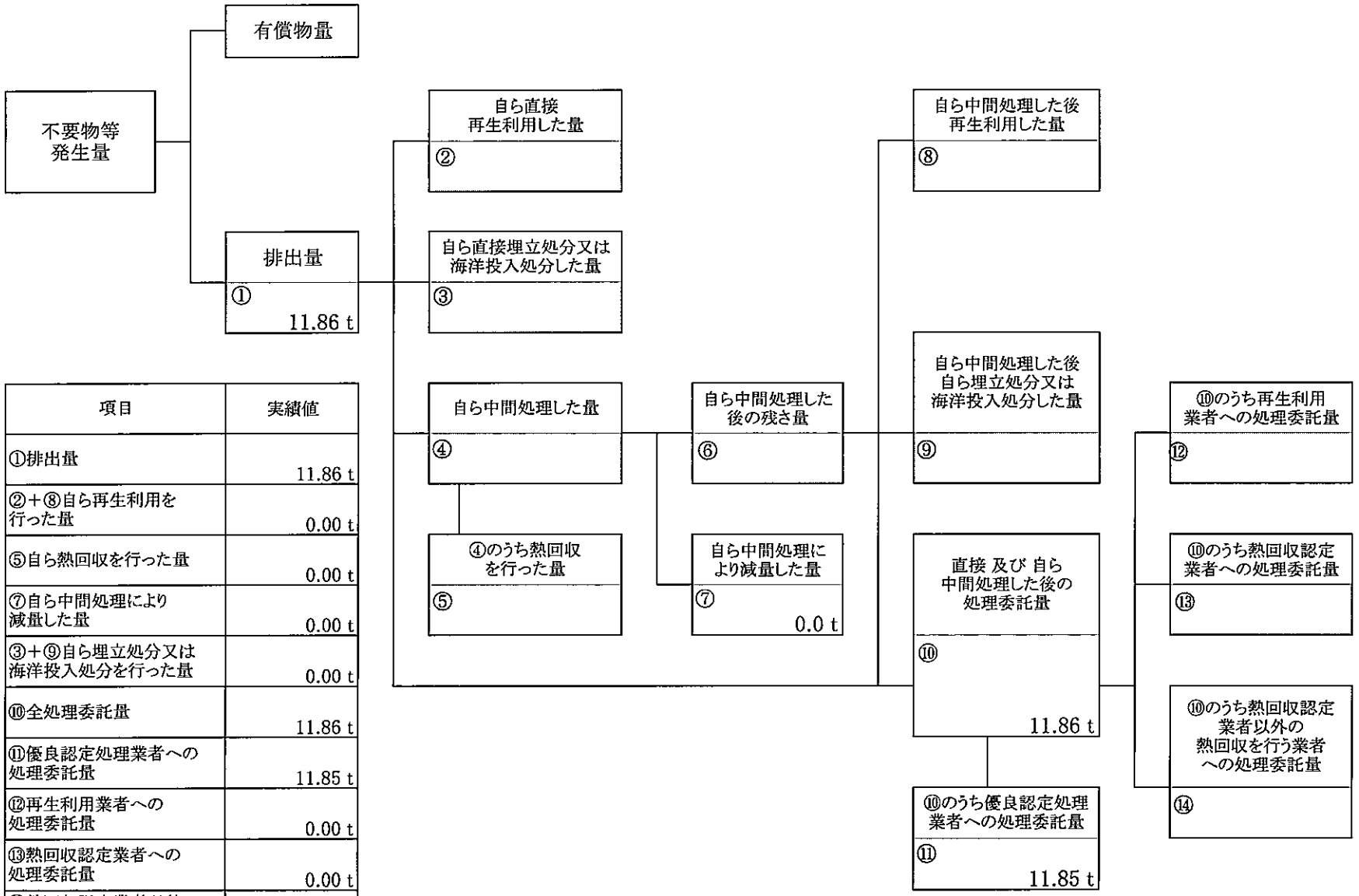


項目	実績値
①排出量	26.07 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	26.07 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.30 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.07 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	11.86 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	11.86 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.85 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月5日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　261-0023

住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟7階

法人名　住友林業株式会社　住宅事業本部　千葉支店

代表者　丸島 敏

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-296-6831

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友林業株式会社　住宅事業本部　千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟7階
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	2,053,650百万円(2024/12期)
③従業員数	6,090名（2025/4）（千葉支店 169名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	20.11 t	153.26 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	19.1 t	145.6 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量		20.11 t	153.26 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.14 t	55.69 t
	再生利用業者への処理委託量	20.11 t	153.26 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

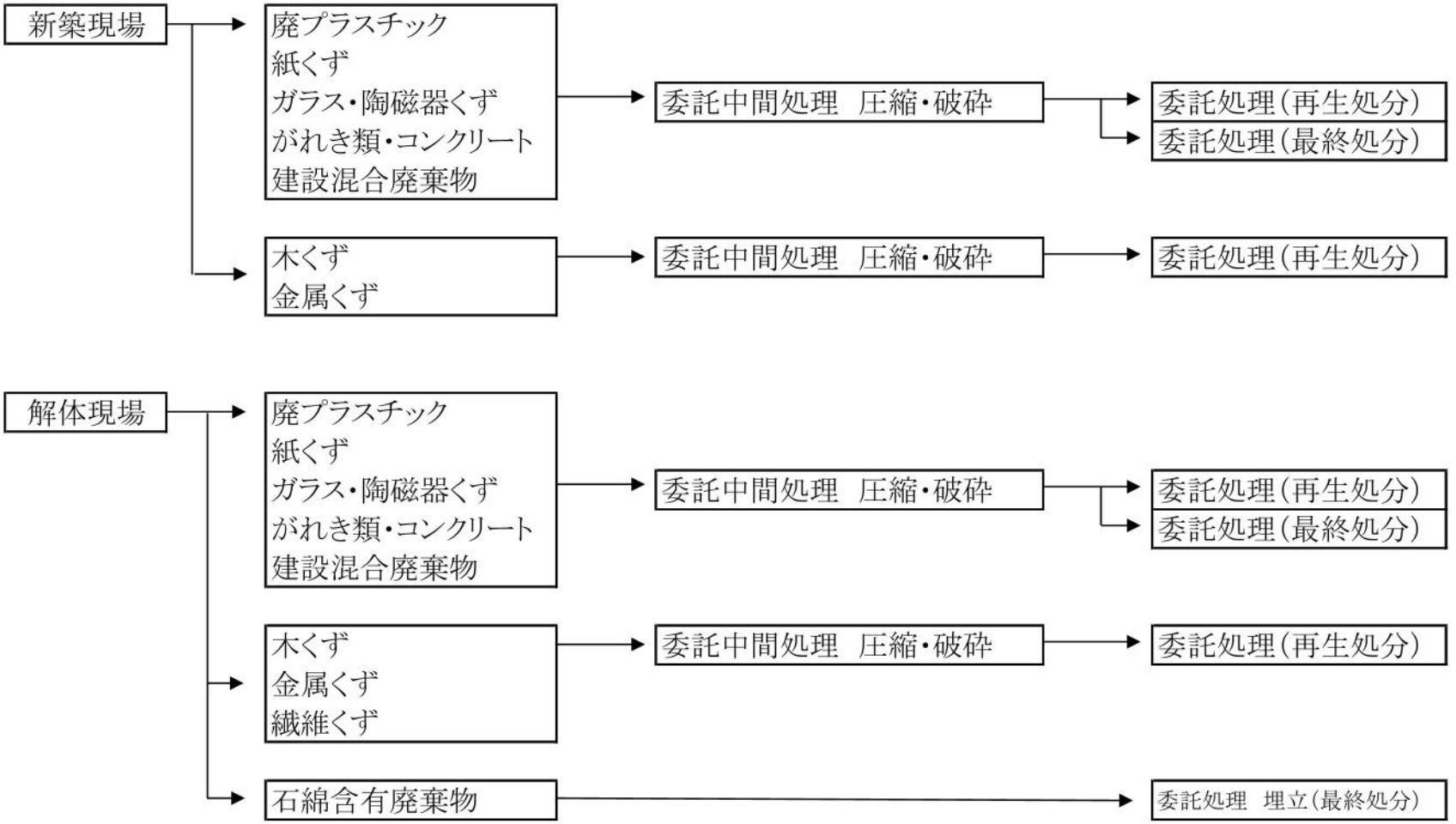
（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリート破片</td><td>ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>19.1 t</td><td>145.6 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>2.03 t</td><td>52.91 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>19.1 t</td><td>145.6 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別紙1 《 産業廃棄物の一連の処理の工程 》



統括責任者：住宅事業本部長
安全・環境・検査室長
環境グループ
合議
住宅事業本部　副本部長
住宅事業本部　各部長
排出事業所
支社・支店
排出事業所 責任者
支社長・支店長
産廃適正処理推進会議
（於：工事店会議）
管理責任者
生産グループマネージャー
管理担当者
支社・支店
生産グループ担当者
支社・支店
総務グループマネージャー
産業廃棄物事務センター
（事務代行）
協力工事店・産廃関連委託業者

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年　６　月　５　日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒261-0023
住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬１－３
幕張テクノガーデンB棟7階
氏　名　住友林業株式会社
住宅事業本部　千葉支店
支店長　丸島　敏
電話番号　043-296-6831

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので提出します。

事業場の名称	住友林業株式会社　住宅事業本部　千葉支店
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	売上高（連結）　2,053,650百万円(2024/12期)
③　従業員数	住友林業株式会社　　6,090名（2025/4）（千葉支店 169名）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	20.11　t	153.26　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	19.10　t	145.60　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
排出量	734.10　t	1494.26　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
排出量	697.40　t	1419.55　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
排出量	7.76　t	149.01　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
排出量	7.37　t	141.56　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
排出量	79.82 t	4.07 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
排出量	75.83 t	3.87 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
排出量	13.06　t	439.87　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
排出量	12.41　t	417.88　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃プラスチック類
排出量	79.77 t	20.07 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃プラスチック類
排出量	75.78 t	19.07 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
排出量	78.98　t	t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
排出量	75.03　t	t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	排出量	t	55.01 t
	（これまでに実施した取組） ・基礎鉄筋のユニット化 ・内装材、外装材のプレカット化 ・配線、配管工事の工場加工化 ・梱包材、養生材の簡素化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	排出量	t	52.26 t
	（今後実施する予定の取組） ・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。 ・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。 ・解体工事においても、現場での分別を推進している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。 ・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	20.11 t	153.26 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.14 t	55.69 t
再生利用業者への処理委託量	20.11 t	153.26 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	19.10 t	145.60 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.03 t	52.91 t
再生利用業者への処理委託量	19.10 t	145.60 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の種類＿	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量＿	734.10 t	1494.26 t
優良認定処理業者への処理委託量	132.46 t	567.10 t
再生利用業者への処理委託量	734.09 t	1494.26 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿		がれき類	コンクリート破片
		全処理委託量＿		697.40 t	1419.55 t
			優良認定処理業者への処理委託量	125.84 t	538.75 t
			再生利用業者への処理委託量	697.39 t	1419.55 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。 ・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。			
※事務処理欄					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類＿	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量＿	7.76 t	149.01 t
優良認定処理業者への処理委託量	7.56 t	58.47 t
再生利用業者への処理委託量	7.76 t	139.04 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	9.95 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿		ダンボール	管理型建設混合廃棄物
		全処理委託量＿		7.37 t	141.56 t
			優良認定処理業者への処理委託量	7.18 t	55.55 t
			再生利用業者への処理委託量	7.37 t	132.09 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	9.45 t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。 ・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。			
※事務処理欄					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の種類＿	金属くず	紙くず
全処理委託量＿	79.82 t	4.07 t
優良認定処理業者への処理委託量	39.42 t	3.94 t
再生利用業者への処理委託量	79.82 t	4.07 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>金属くず</td><td>紙くず</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量＿</td><td>75.83 t</td><td>3.87 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>37.45 t</td><td>3.74 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>75.83 t</td><td>3.87 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
全処理委託量	13.06 t	439.87 t
優良認定処理業者への処理委託量	4.89 t	231.25 t
再生利用業者への処理委託量	11.19 t	439.87 t
認定熱回収業者への処理委託量	1.87 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>繊維くず</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>12.41 t</td><td>417.88 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>4.65 t</td><td>219.69 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>10.63 t</td><td>417.88 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>1.78 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を
推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類＿	石膏ボード	廃プラスチック類
全処理委託量＿	79.77 t	20.07 t
優良認定処理業者への処理委託量	22.79 t	7.18 t
再生利用業者への処理委託量	79.77 t	18.45 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	1.62 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿		石膏ボード	廃プラスチック類
		全処理委託量＿		75.78 t	19.07 t
			優良認定処理業者への処理委託量	21.65 t	6.82 t
			再生利用業者への処理委託量	75.78 t	17.53 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	1.54 t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。 ・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。			
※事務処理欄					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類＿	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
全処理委託量＿	78.98 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	41.09 t	t
再生利用業者への処理委託量	78.98 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="4">
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>伐採材・伐根材</td><td>建設混合廃棄物</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>75.03　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>39.04　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>75.03　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

0

産業廃棄物の種類＿	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
全処理委託量＿	t	55.01 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	54.99 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
		全処理委託量＿	t	52.26 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	52.24 t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。 ・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

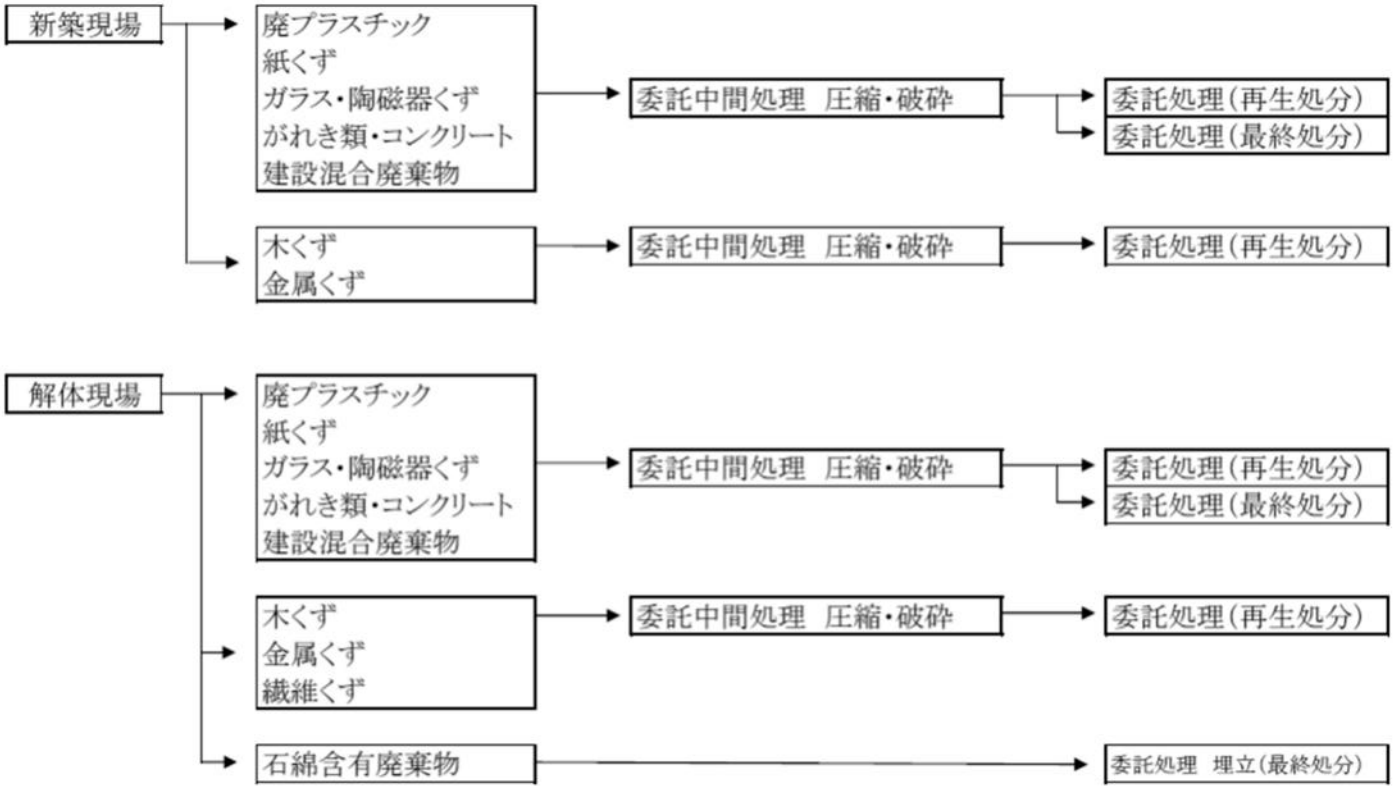
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙1 《 産業廃棄物の一連の処理の工程 》



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月5日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　261-0023

住所　千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟7階

法人名 住友林業株式会社 住宅事業本部 千葉支店

代表者 丸島 敏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-296-6831

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住友林業株式会社 住宅事業本部 千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1-3幕張テクノガーデンB棟7階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

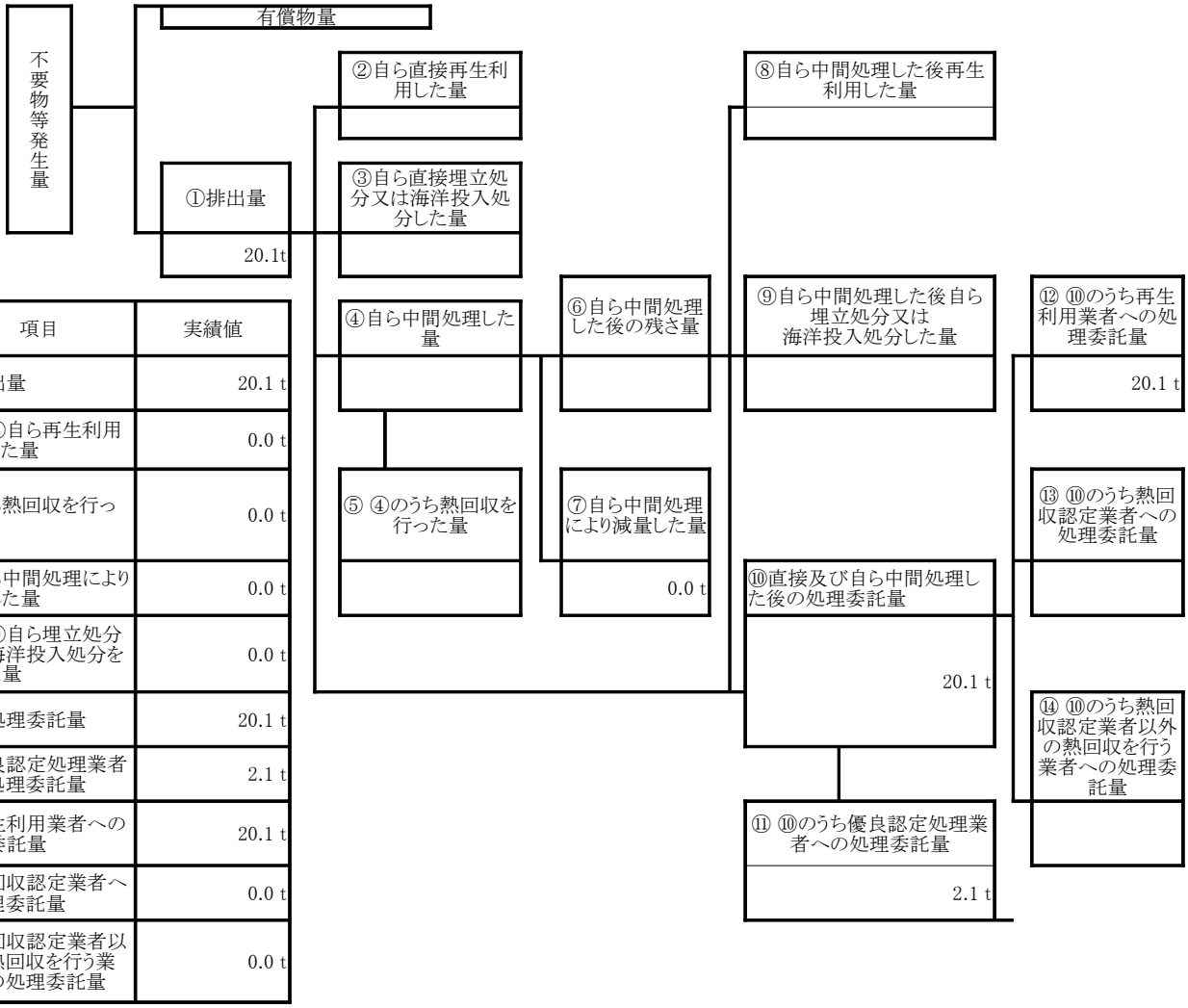
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4982.77 t	全処理委託量	4982.77 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1982.73 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4828.93 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリート破片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

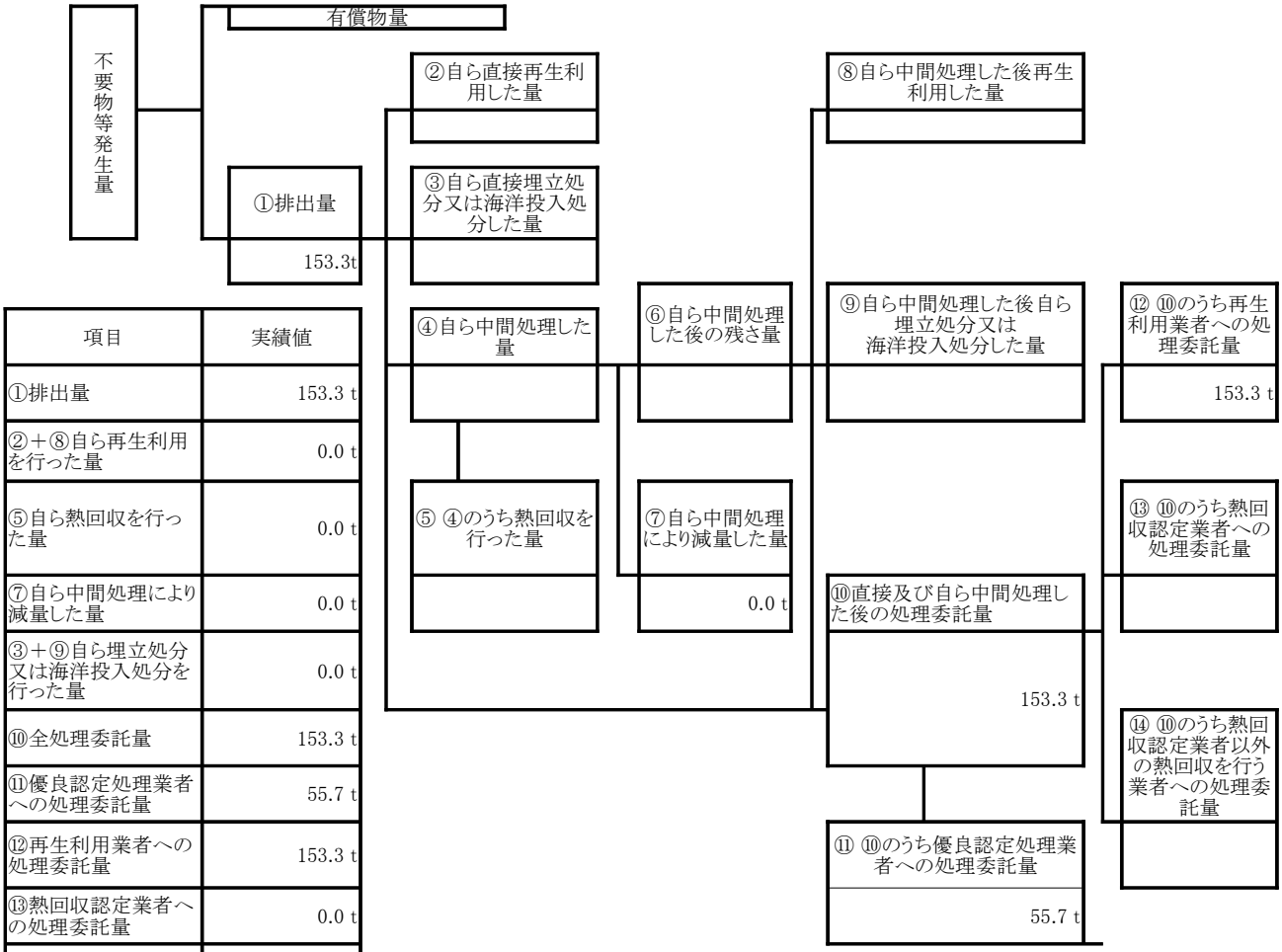


項目	実績値
①排出量	20.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　くず、コンクリートくず及び陶磁器）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

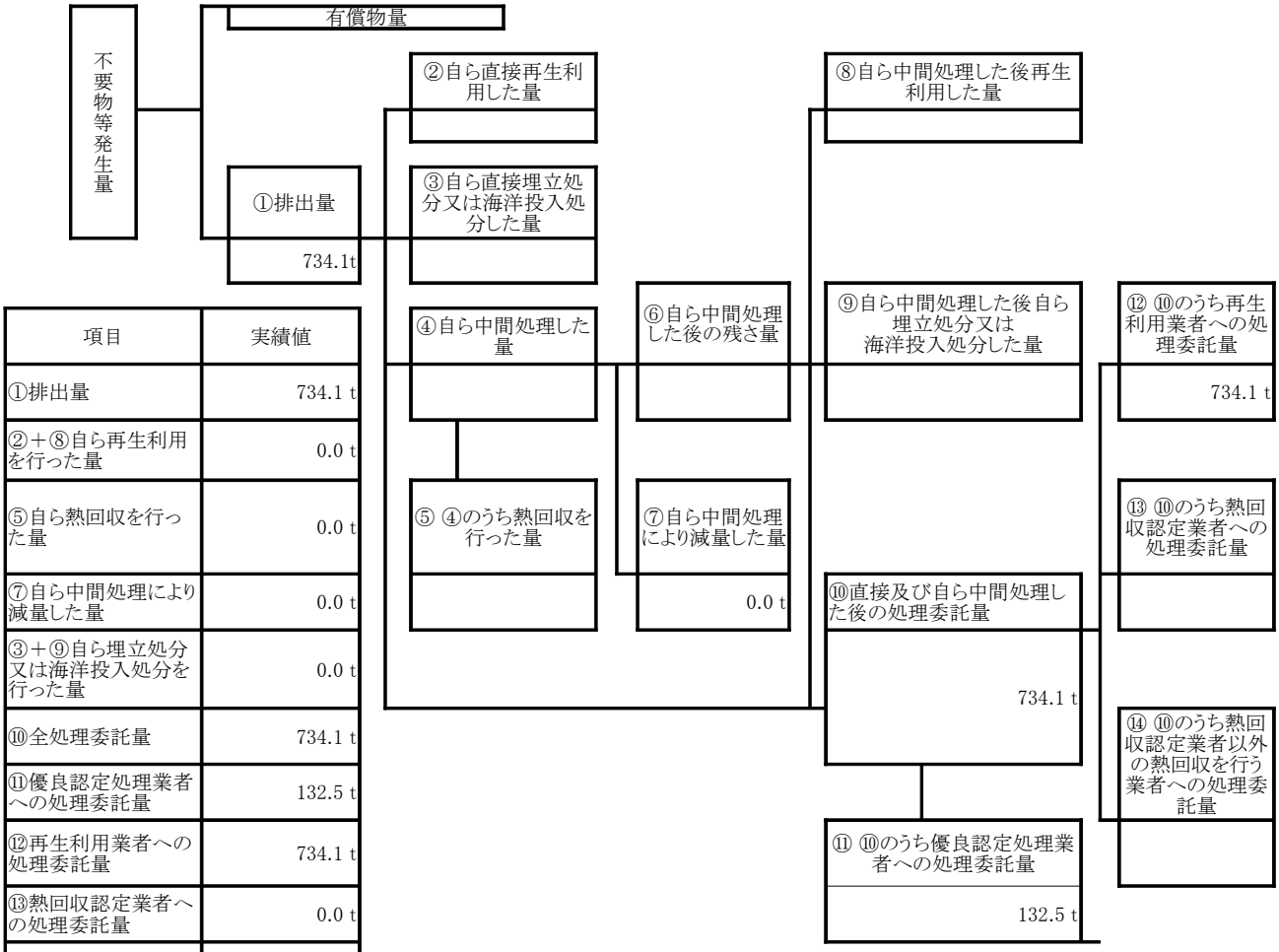


項目	実績値
①排出量	153.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	153.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	153.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

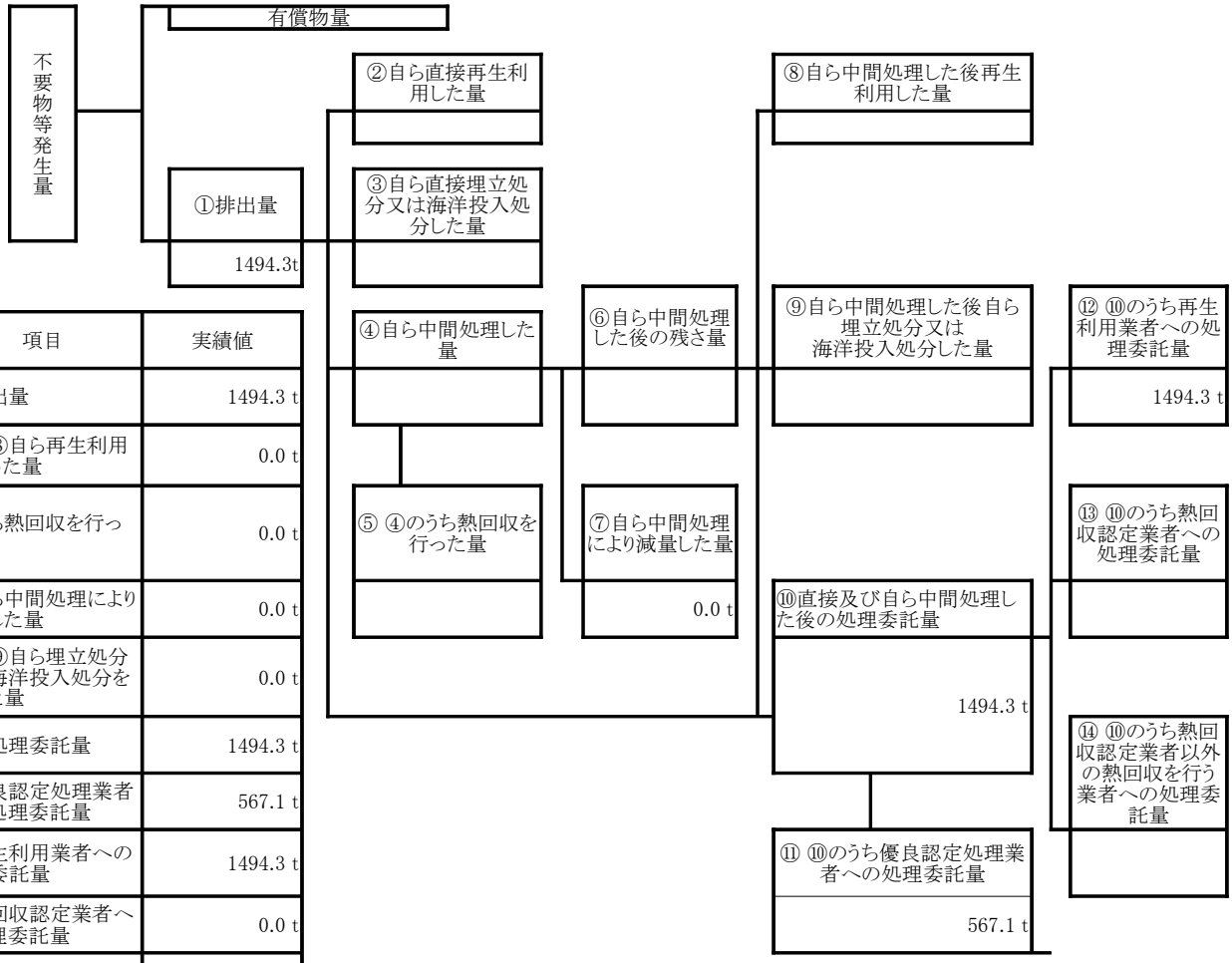


項目	実績値
①排出量	734.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	734.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	734.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート破片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



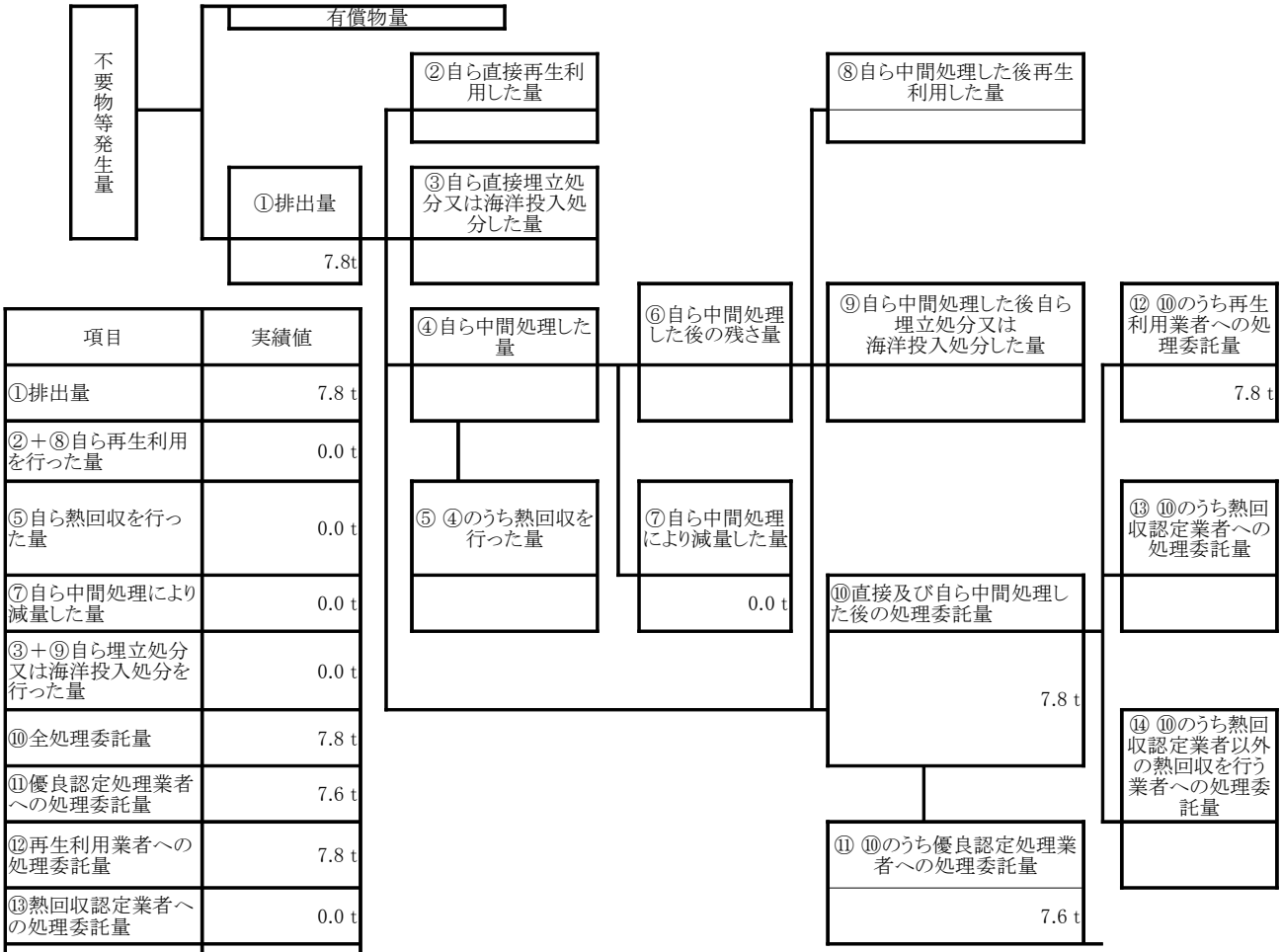
項目	実績値
①排出量	1494.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1494.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	567.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1494.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ダンボール　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

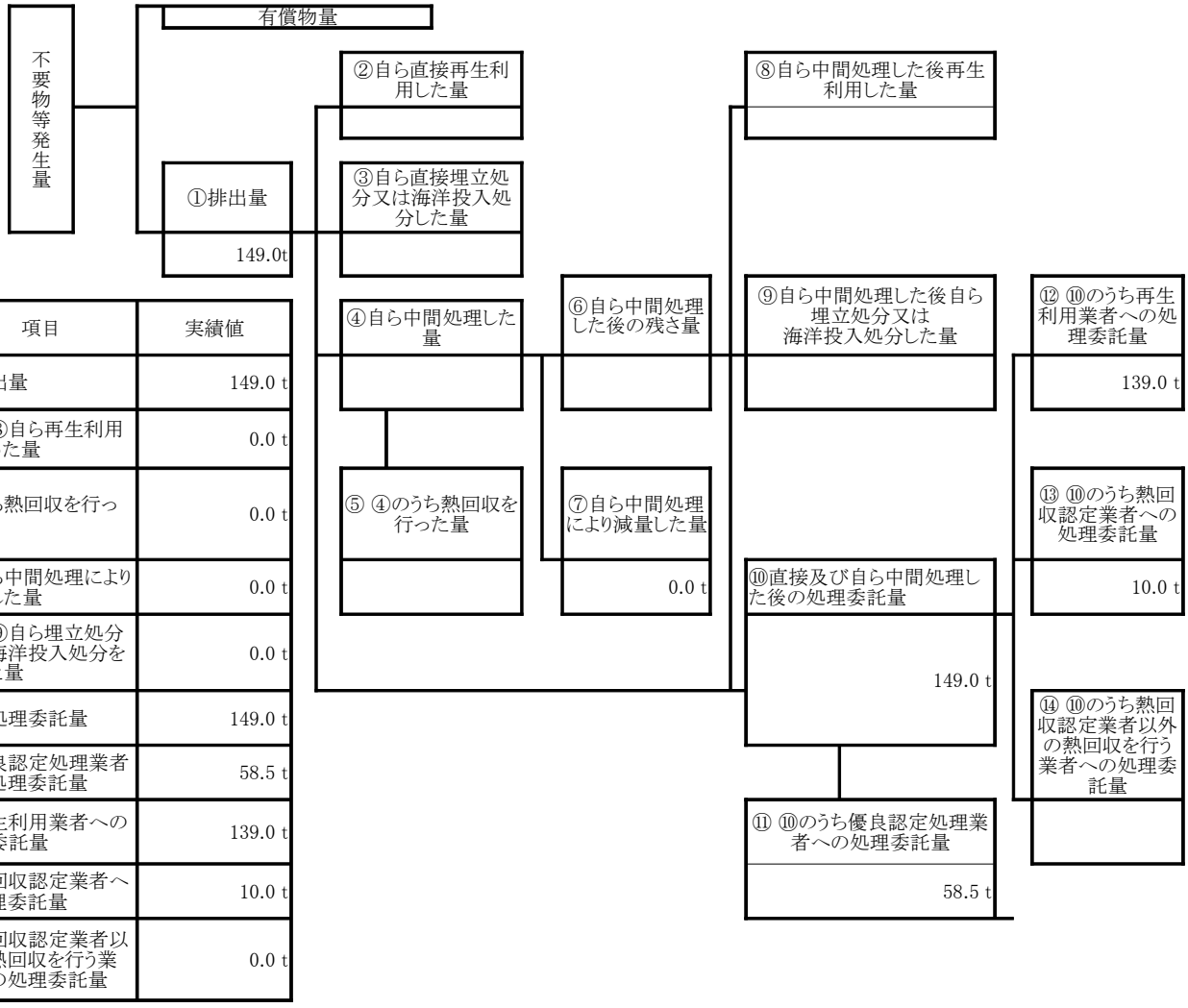


項目	実績値
①排出量	7.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

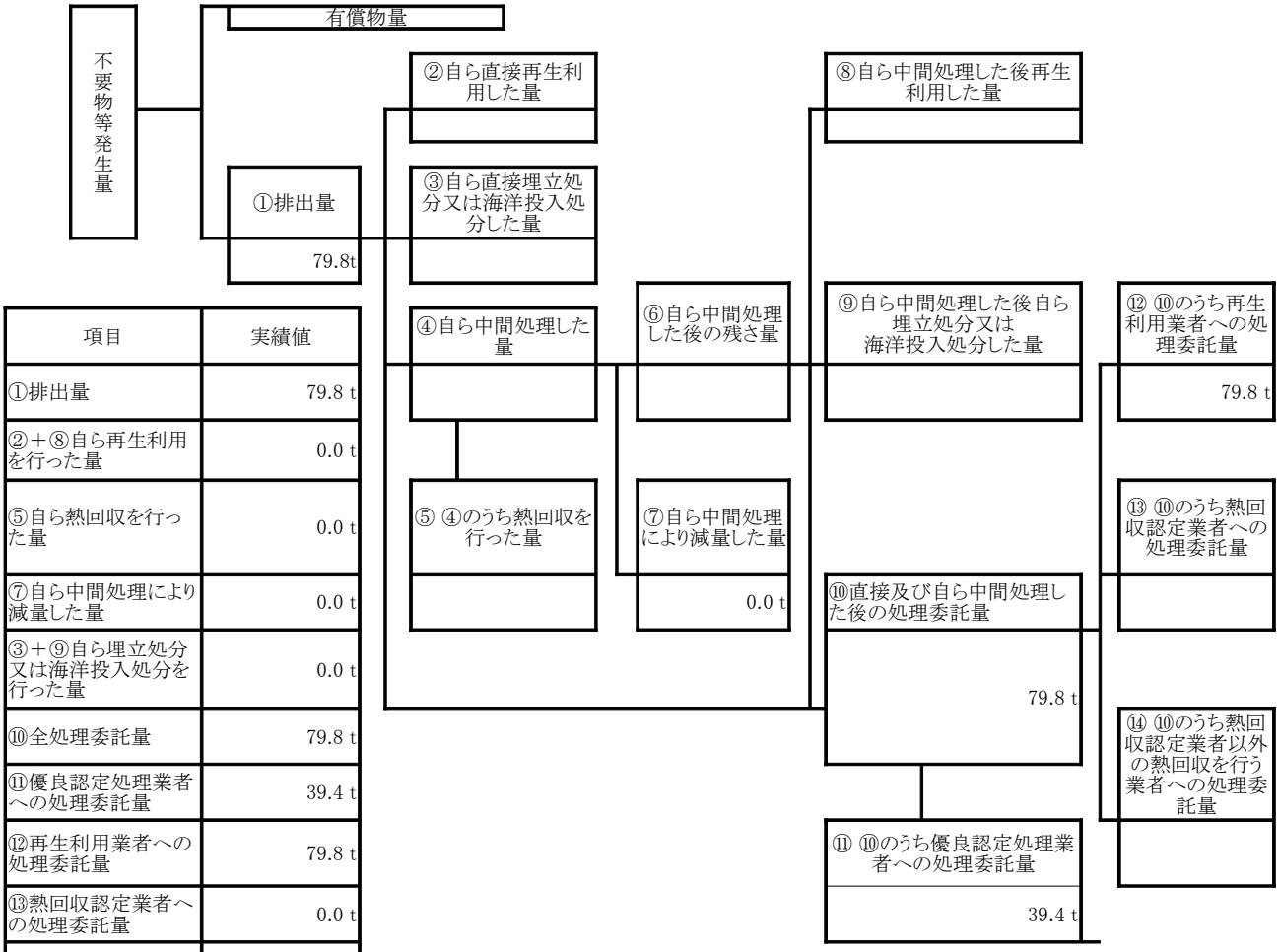


項目	実績値
①排出量	149.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	149.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	139.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	10.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



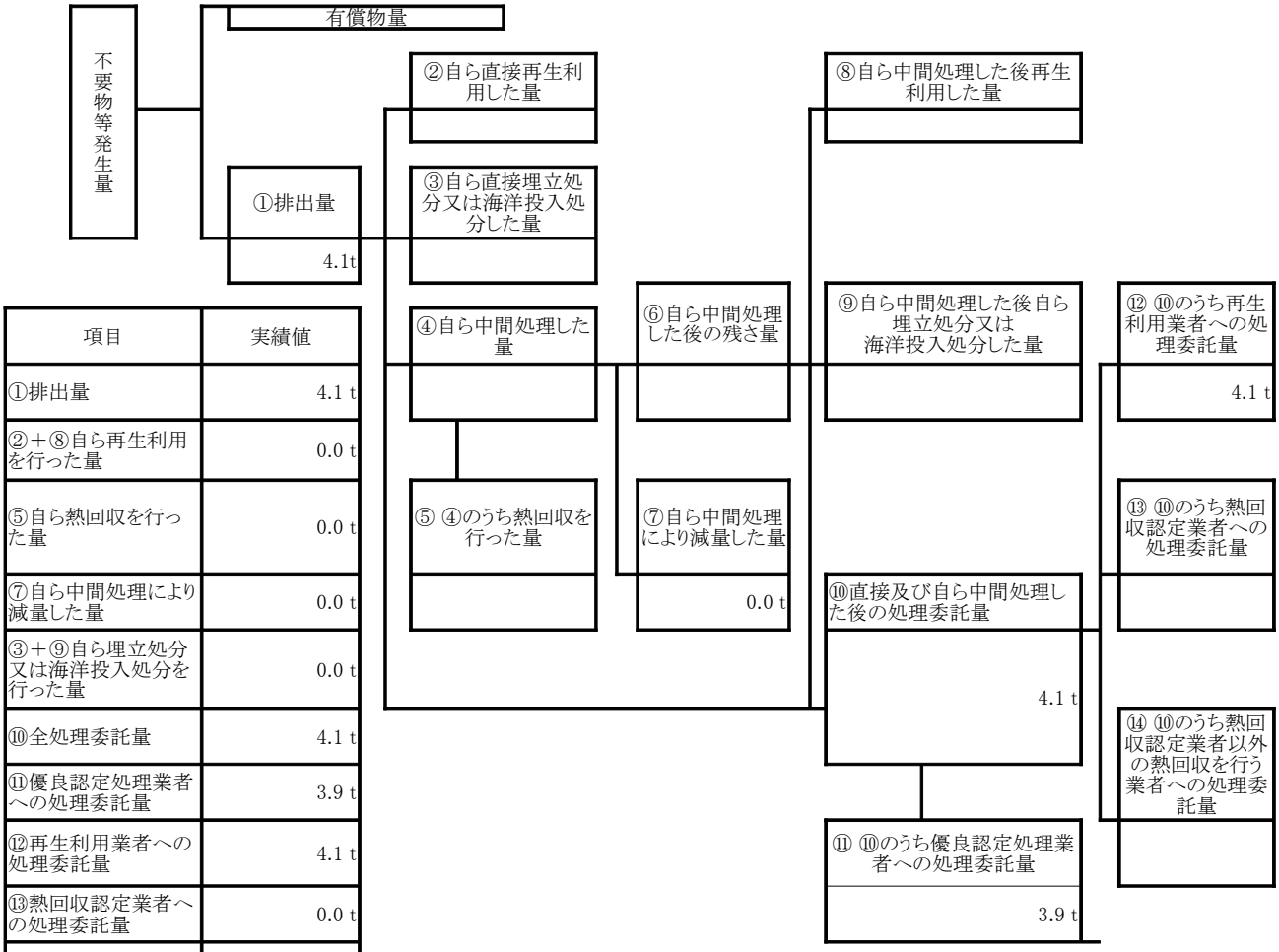
項目	実績値
①排出量	79.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	79.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	79.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

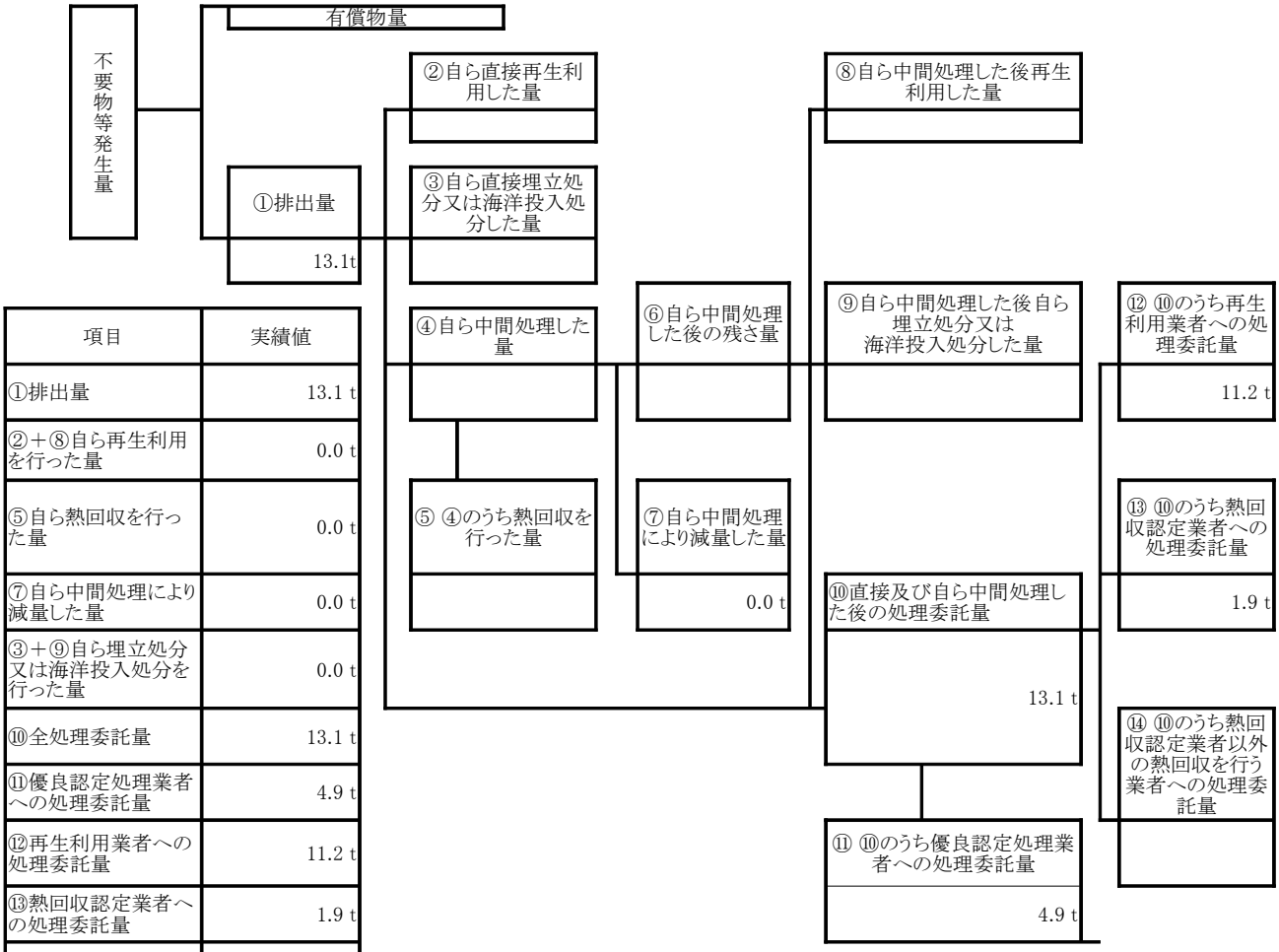


項目	実績値
①排出量	4.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

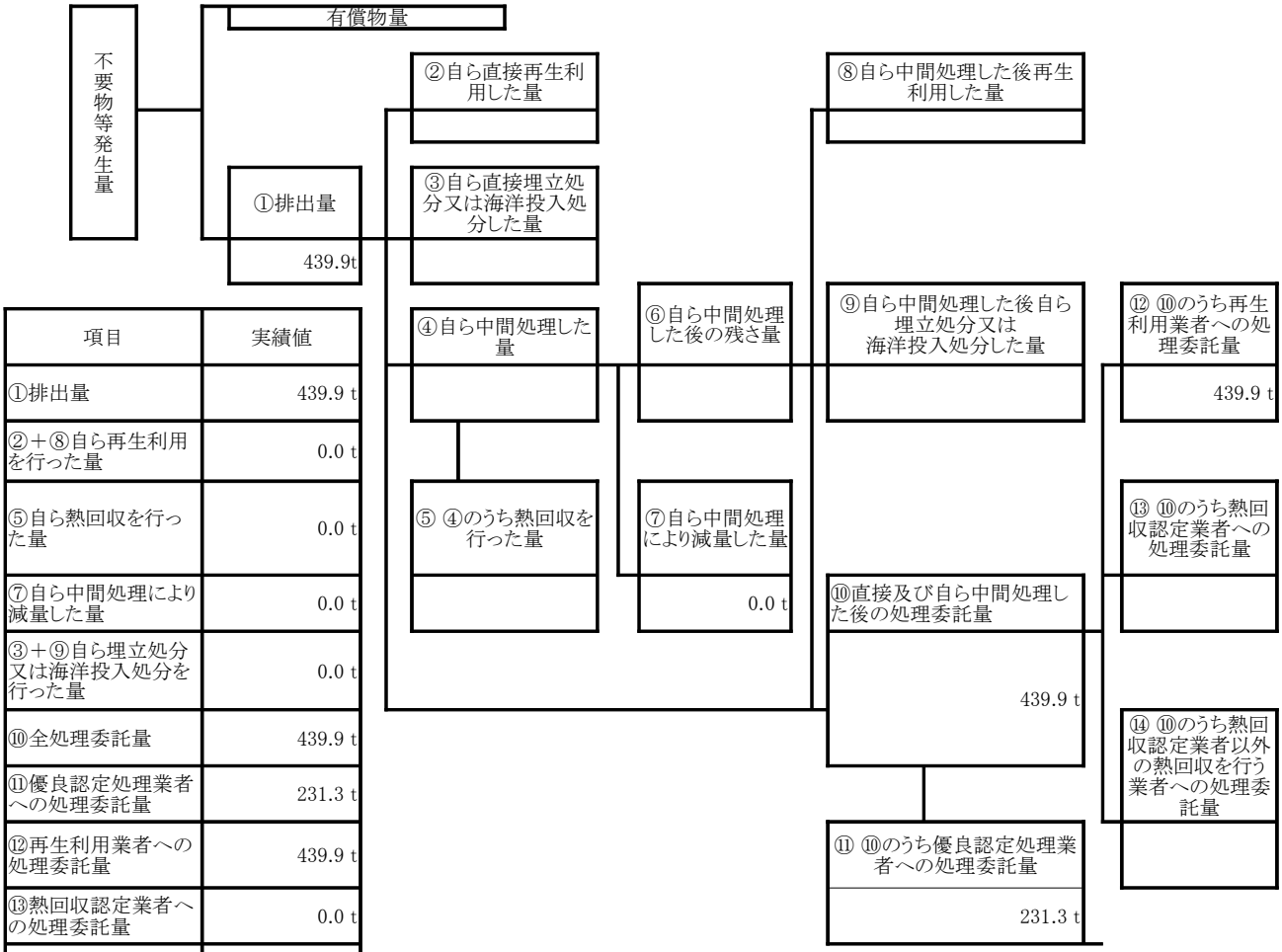


項目	実績値
①排出量	13.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

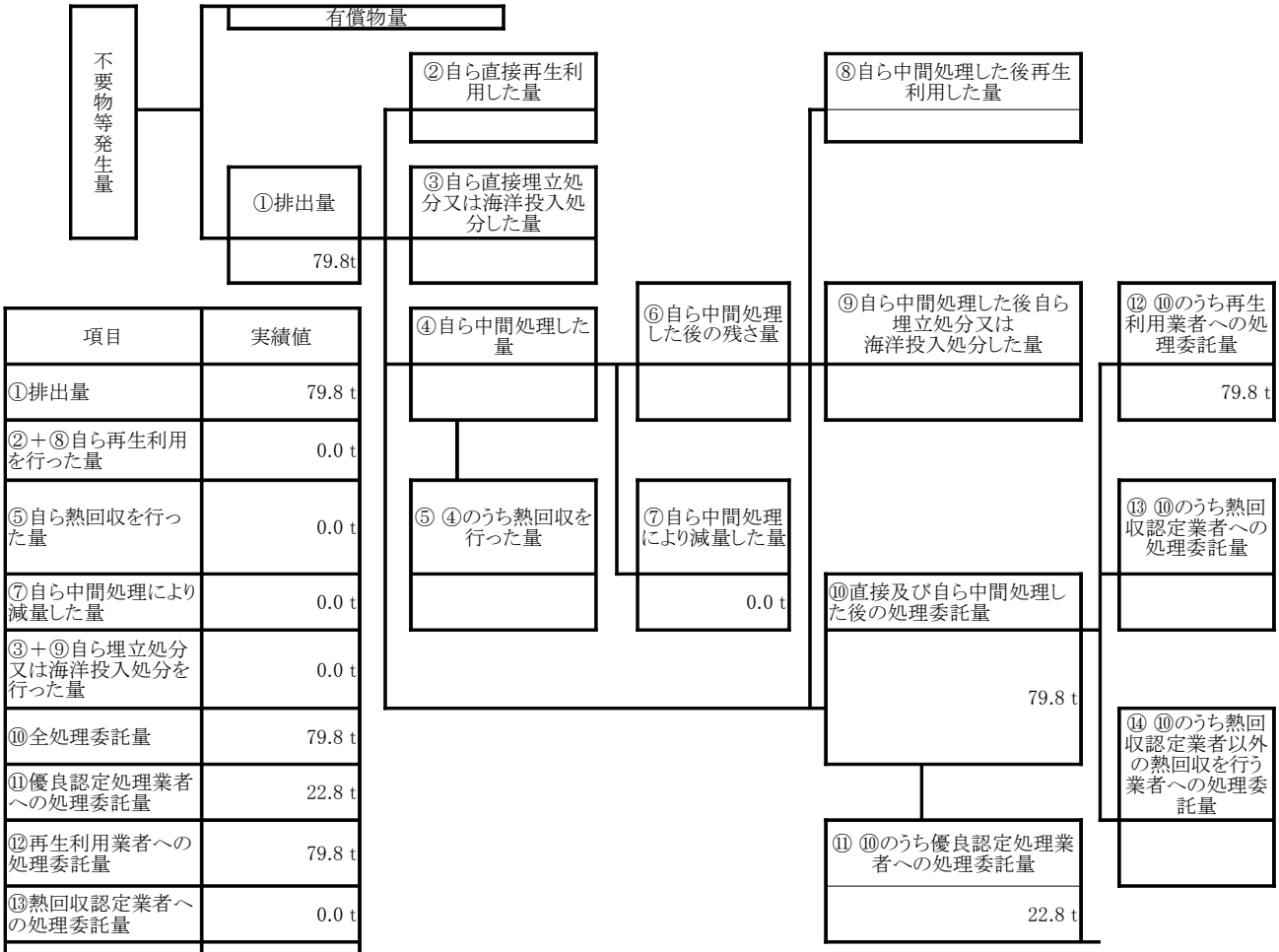


項目	実績値
①排出量	439.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	439.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	231.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	439.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

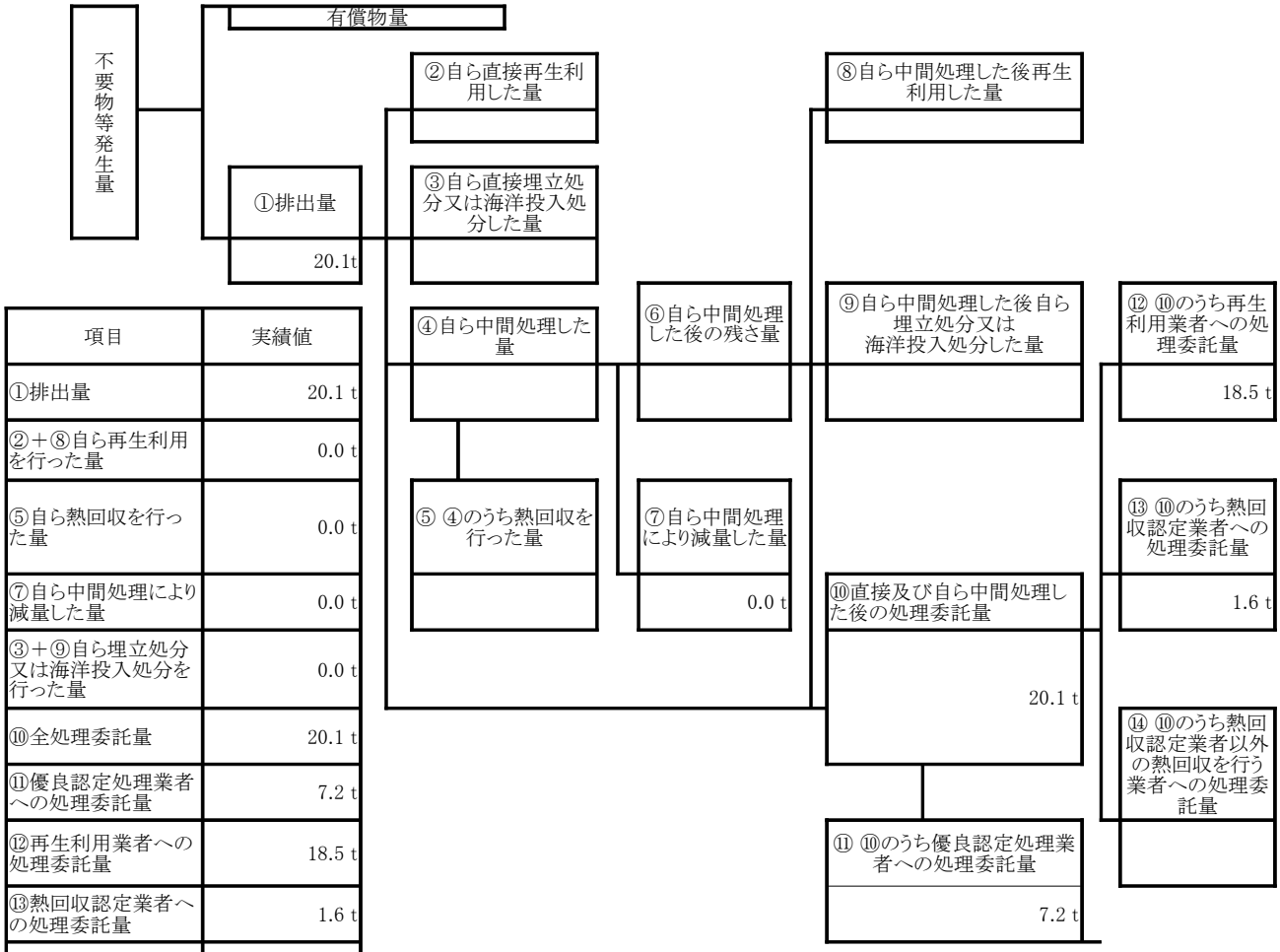


項目	実績値
①排出量	79.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	79.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	79.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

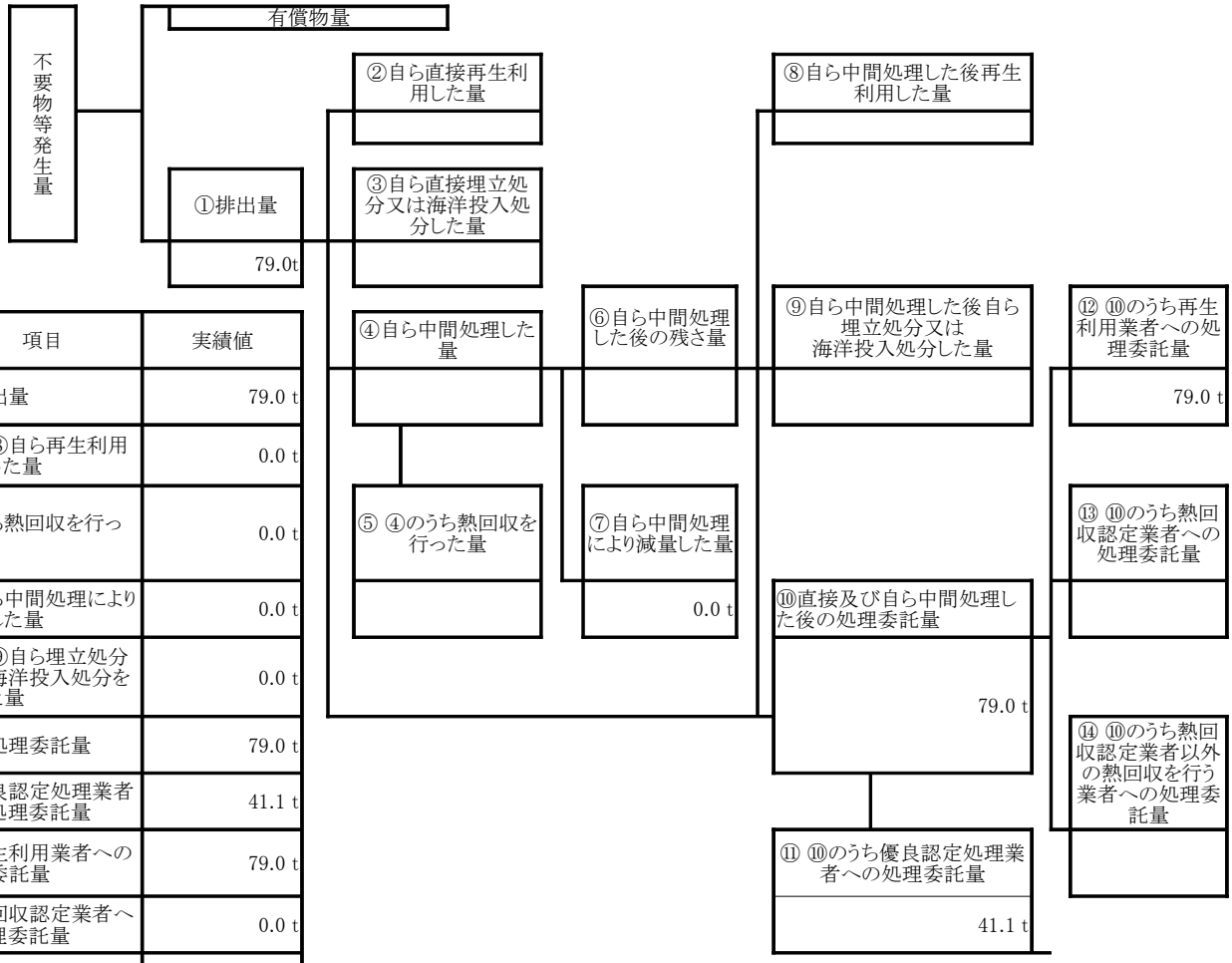


項目	実績値
①排出量	20.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　伐採材・伐根材　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

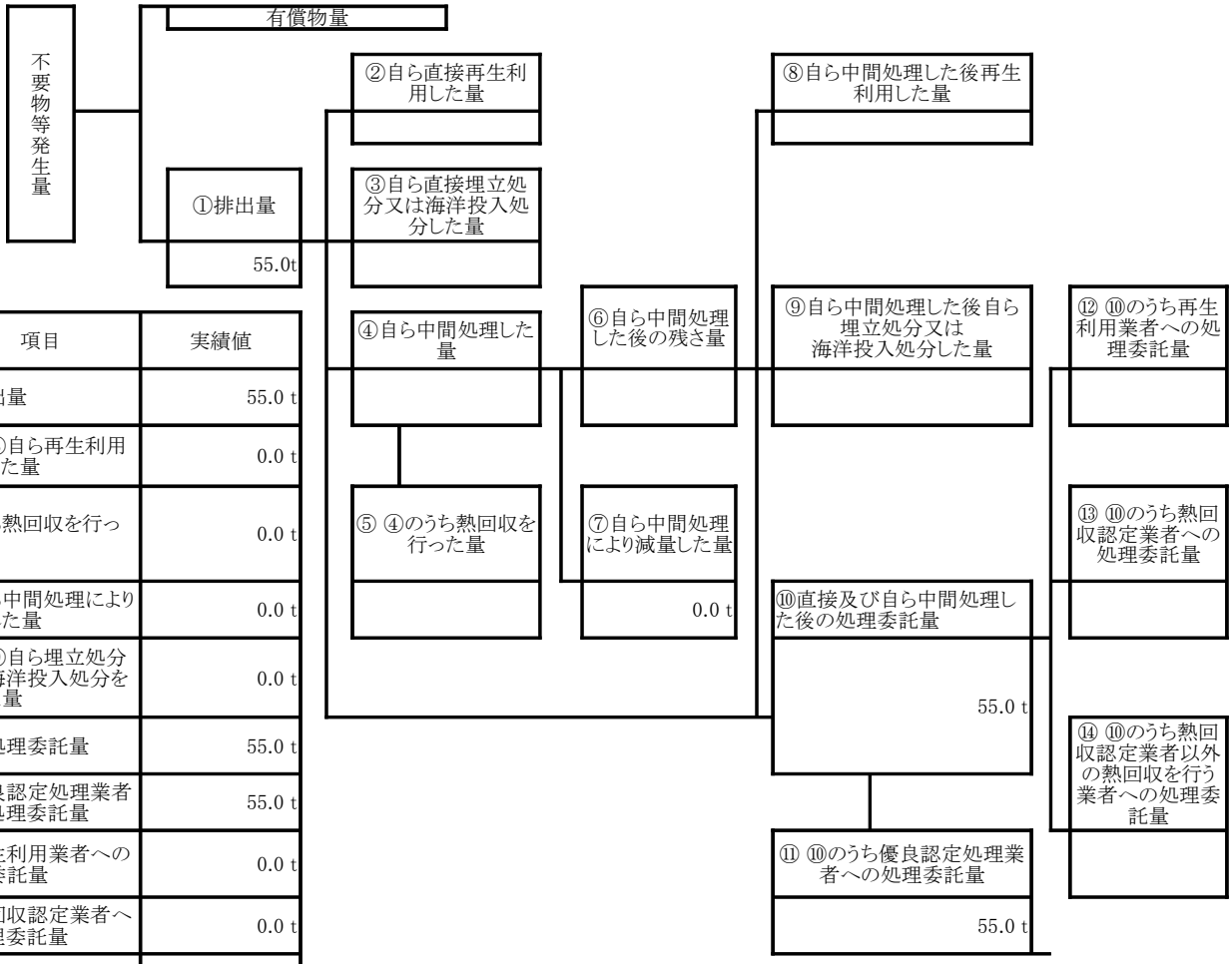


項目	実績値
①排出量	79.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	79.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	79.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石綿含有廃棄物　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	55.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	55.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年　6月　28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒286-0033
住　所　千葉県成田市花崎町９６９
D0ビル花崎町５－５階
氏　名　住友林業株式会社
住宅事業本部　成田支店
支店長　　老川　達也
電話番号　0476-24-3722

印旛地域振興事務所 7.6.30 収受

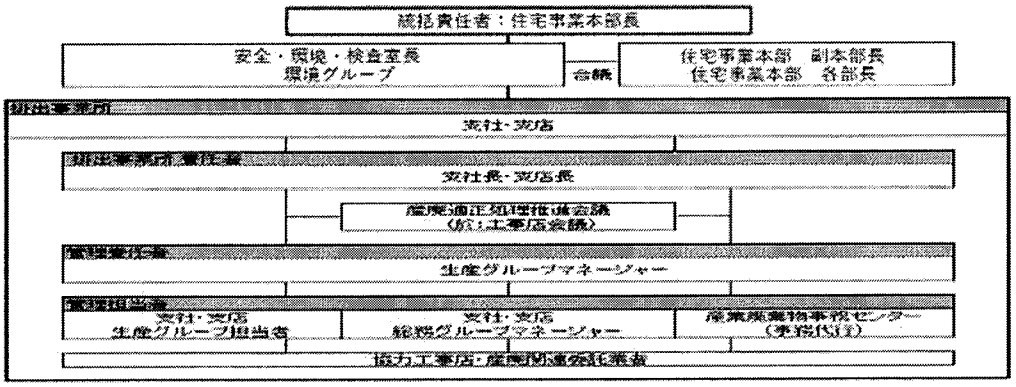
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので提出します。

事業場の名称	住友林業株式会社　住宅事業本部　成田支店
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	売上高（連結）　2,053,650百万円(2024/12期)
③従業員数	住友林業株式会社　　6,090名（2025/4）（成田支店　　56名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	2.63　t	81.19　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	2.50　t	77.13　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

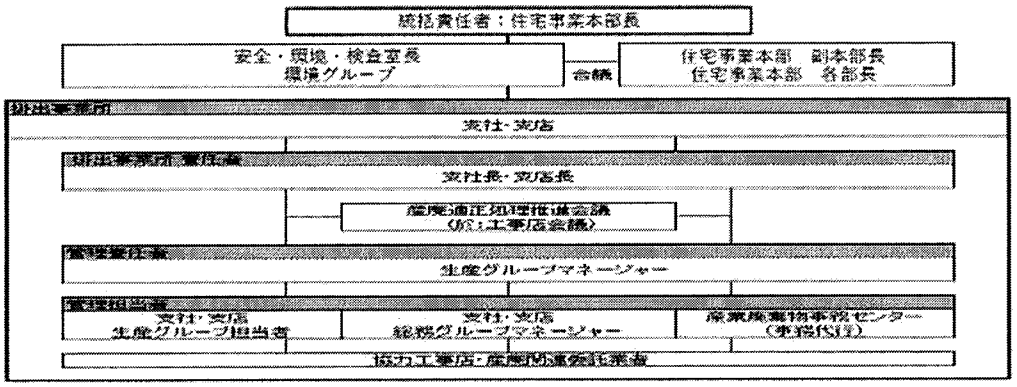
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
排出量	161.83　t	524.68　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
排出量	153.74　t	498.45　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

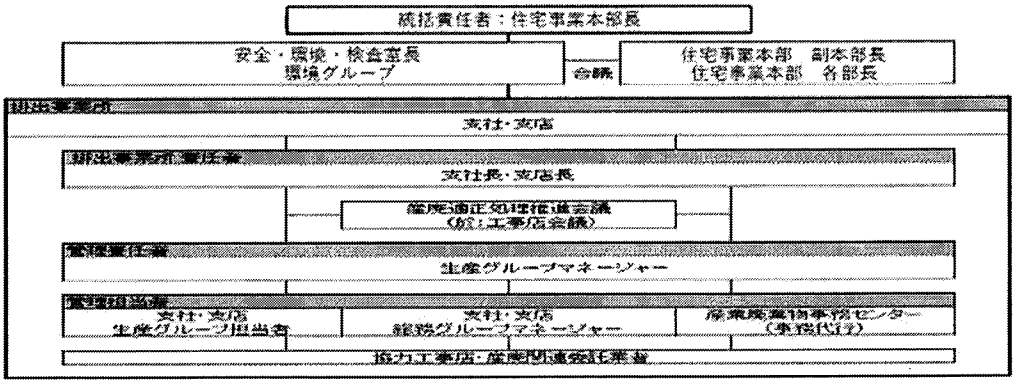
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
排出量	1.55　t	59.61　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
排出量	1.47　t	56.63　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

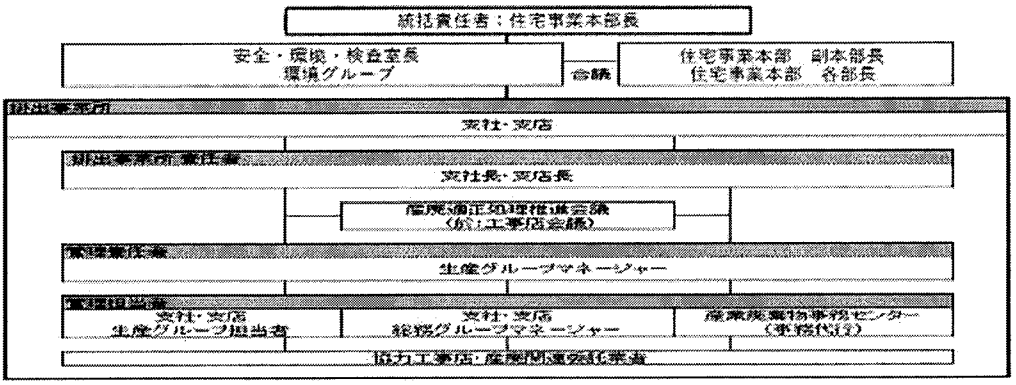
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
排出量	38.81　t	0.55　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
排出量	36.87　t	0.52　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

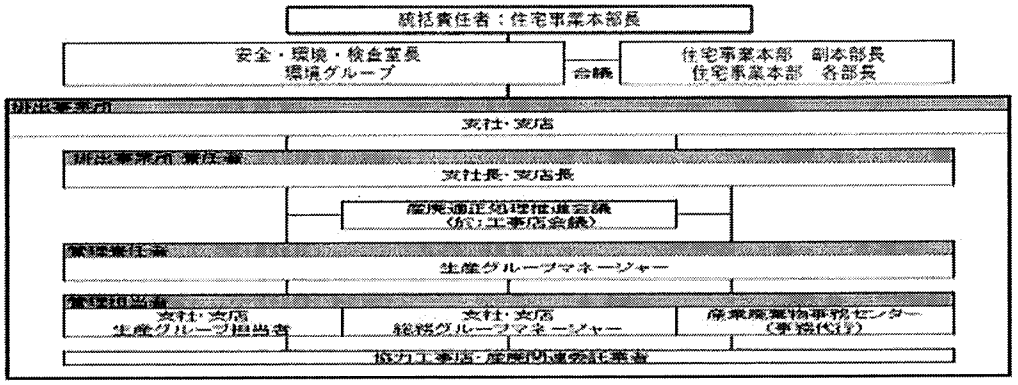
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
排出量	8.70　t	200.40　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
排出量	8.27　t	190.38　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

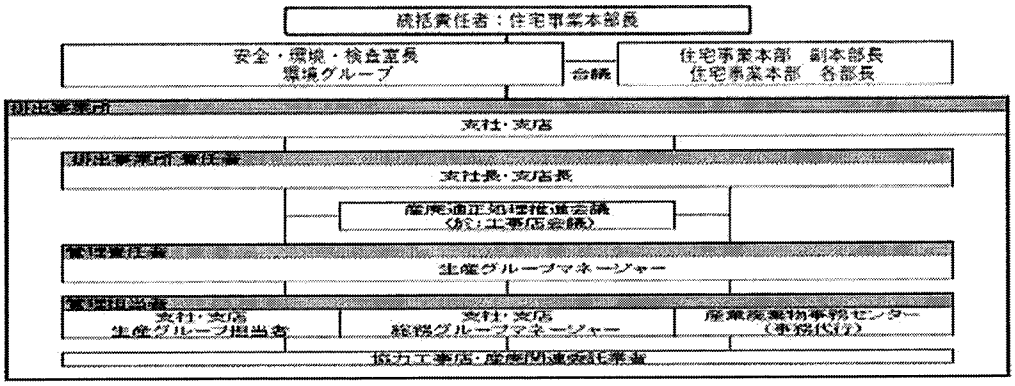
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃プラスチック類
排出量	36.86 t	11.35 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃プラスチック類
排出量	35.02 t	10.78 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

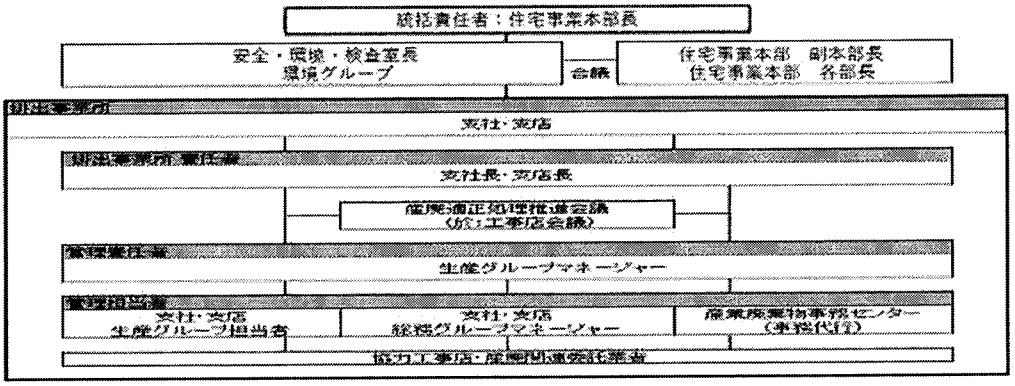
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
排出量	41.02　t	59.61　t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
排出量	38.97　t	56.63　t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

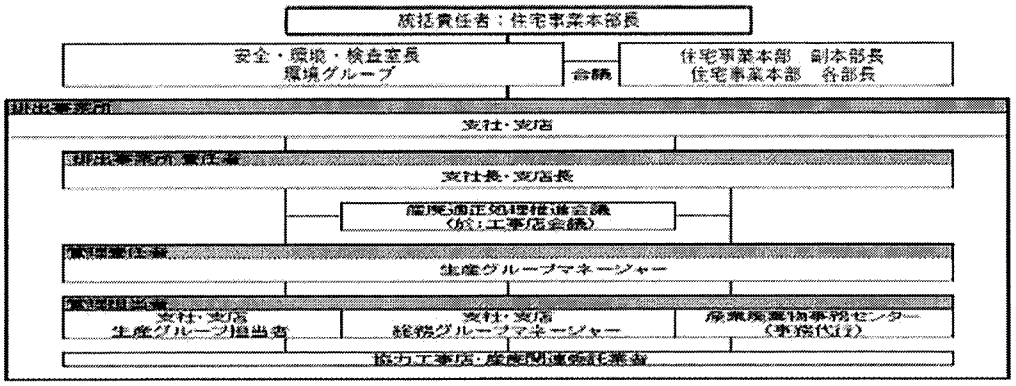
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
排出量	t	21.65 t

（これまでに実施した取組）

・基礎鉄筋のユニット化
・内装材、外装材のプレカット化
・配線、配管工事の工場加工化
・梱包材、養生材の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
排出量	t	20.57 t

（今後実施する予定の取組）

・新築系の廃棄物については、資材のプレカット化、端材の再生化等、３Ｒ化を推進する。
・解体系の廃棄物については、解体工事による分別化を、より徹底的に行うことで、混合廃棄物を最小化に抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場にて１１品目の分別を指導している。
・解体工事においても、現場での分別を推進している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・新築工事では、現場の全職方に分別の徹底を指導する。
・解体工事でも現場での分別を徹底し、混合廃棄物を最小限にする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	2.63 t	81.19 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.63 t	26.97 t
再生利用業者への処理委託量	2.63 t	81.19 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
		全処理委託量		2.50 t	77.13 t
			優良認定処理業者への処理委託量	2.50 t	25.62 t
			再生利用業者への処理委託量	2.50 t	77.13 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。 ・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。			
※事務処理欄					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	161.83 t	524.68 t
優良認定処理業者への処理委託量	26.75 t	296.02 t
再生利用業者への処理委託量	161.83 t	524.68 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	153.74 t	498.45 t
優良認定処理業者への処理委託量	25.41 t	281.22 t
再生利用業者への処理委託量	153.74 t	498.45 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	ダンボール	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量＿	1.55 t	59.61 t
優良認定処理業者への処理委託量	1.26 t	30.01 t
再生利用業者への処理委託量	1.55 t	59.61 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿	ダンボール		管理型建設混合廃棄物
		全処理委託量＿	1.47	t	56.63 t
		優良認定処理業者への処理委託量	1.20	t	28.51 t
		再生利用業者への処理委託量	1.47	t	56.63 t
		認定熱回収業者への処理委託量		t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
		（今後実施する予定の取組） ・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。 ・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。			
※事務処理欄					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
全処理委託量	38.81 t	0.55 t
優良認定処理業者への処理委託量	28.33 t	0.12 t
再生利用業者への処理委託量	38.81 t	0.55 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
全処理委託量	36.87 t	0.52 t
優良認定処理業者への処理委託量	26.91 t	0.11 t
再生利用業者への処理委託量	36.87 t	0.52 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
全処理委託量	8.70 t	200.40 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.94 t	76.33 t
再生利用業者への処理委託量	8.70 t	200.40 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
全処理委託量	8.27 t	190.38 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.79 t	72.51 t
再生利用業者への処理委託量	8.27 t	190.38 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃プラスチック類
全処理委託量	36.86 t	11.35 t
優良認定処理業者への処理委託量	14.51 t	3.92 t
再生利用業者への処理委託量	36.86 t	11.35 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	0.96 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	石膏ボード		廃プラスチック類	
全処理委託量	35.02	t	10.78	t
優良認定処理業者への処理委託量	13.78	t	3.72	t
再生利用業者への処理委託量	35.02	t	10.78	t
認定熱回収業者への処理委託量		t	0.91	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
全処理委託量	41.02 t	59.61 t
優良認定処理業者への処理委託量	27.83 t	t
再生利用業者への処理委託量	41.02 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	9.60 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	伐採材・伐根材	建設混合廃棄物
全処理委託量	38.97 t	56.63 t
優良認定処理業者への処理委託量	26.44 t	t
再生利用業者への処理委託量	38.97 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	9.12 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
	全処理委託量_	t	21.65 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	21.65 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 新規中間処理委託業者との契約に当たっては、厳正な審査により締結しており、契約した処理工場には年２回の施設確認（踏査）を実施している。		

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	安定型建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物
全処理委託量	t	20.57 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	20.57 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・従来の契約済処分場の現地踏査を、年１～２回継続実施する。
・新規採用においては、優良認定処理業者や再生利用業者の採用を推進するが、処理委託する業者で未取得業者には取得推進を促す。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

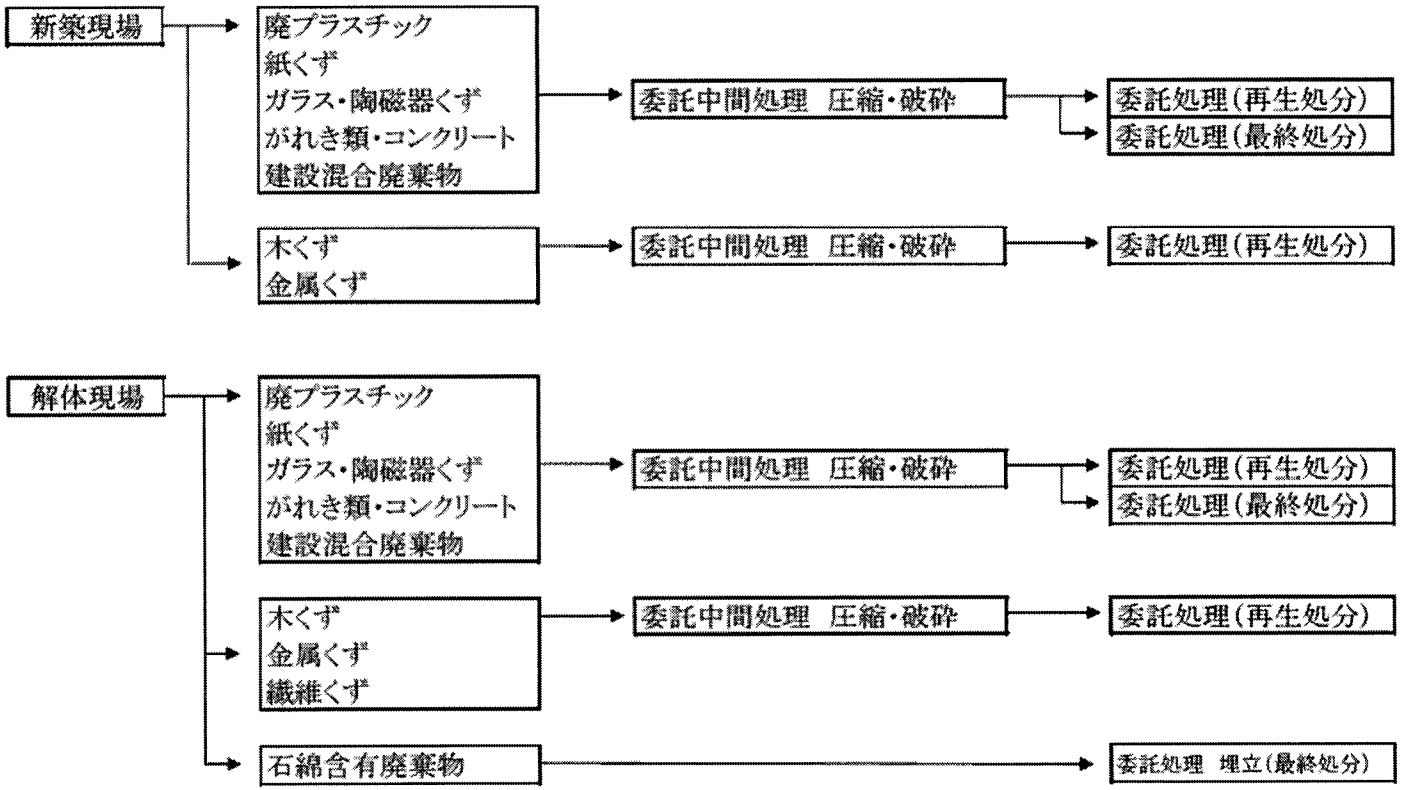
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙1 《 産業廃棄物の一連の処理の工程 》



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒260-2825

住　所　千葉市中央区村田町1106番地

氏　名　世紀東急工業株式会社
千葉営業所　所長　栗谷川　宏

電話番号　043-382-7001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	世紀東急工業株式会社　千葉営業所
事業場の所在地	千葉市中央区村田町1106番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
②事業の規模	前年度完成工事高　23億円
③従業員数	20名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	排出量	2206.2 t	382.5 t
	（これまでに実施した取組） 現場発生品の分別徹底 再資源化		
②計画	【目標】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	排出量	2000 t	300 t
	（今後実施する予定の取組） 再資源化 設計数量を守り、余分に発生させない		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類、 汚泥、木くず、管理型混合廃棄物、強酸、繊維くず、廃石綿等 現場内で発生と共に分別を徹底し、再資源化をする。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類、 汚泥、木くず、管理型混合廃棄物、強酸、繊維くず、廃石綿等 現場内で発生と共に分別を徹底し、再資源化をする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2206.2 t	382.5 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2000 t	300 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　別紙のとおり

産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】　別紙のとおり

産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　別紙のとおり

産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
全処理委託量	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

現場発生品の分別徹底
再資源化

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アスコンがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
現場発生品の分別徹底
再資源化</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

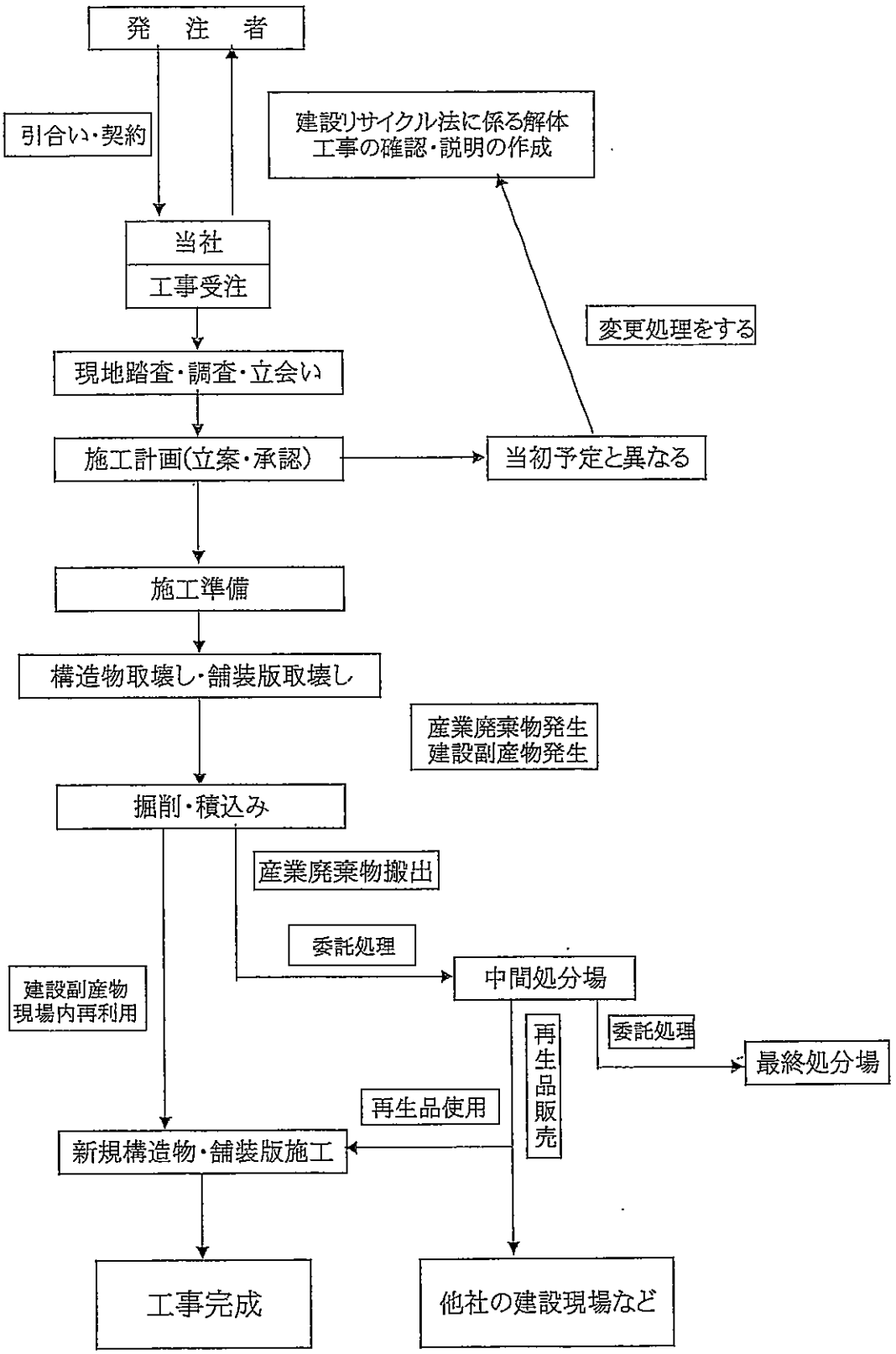
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

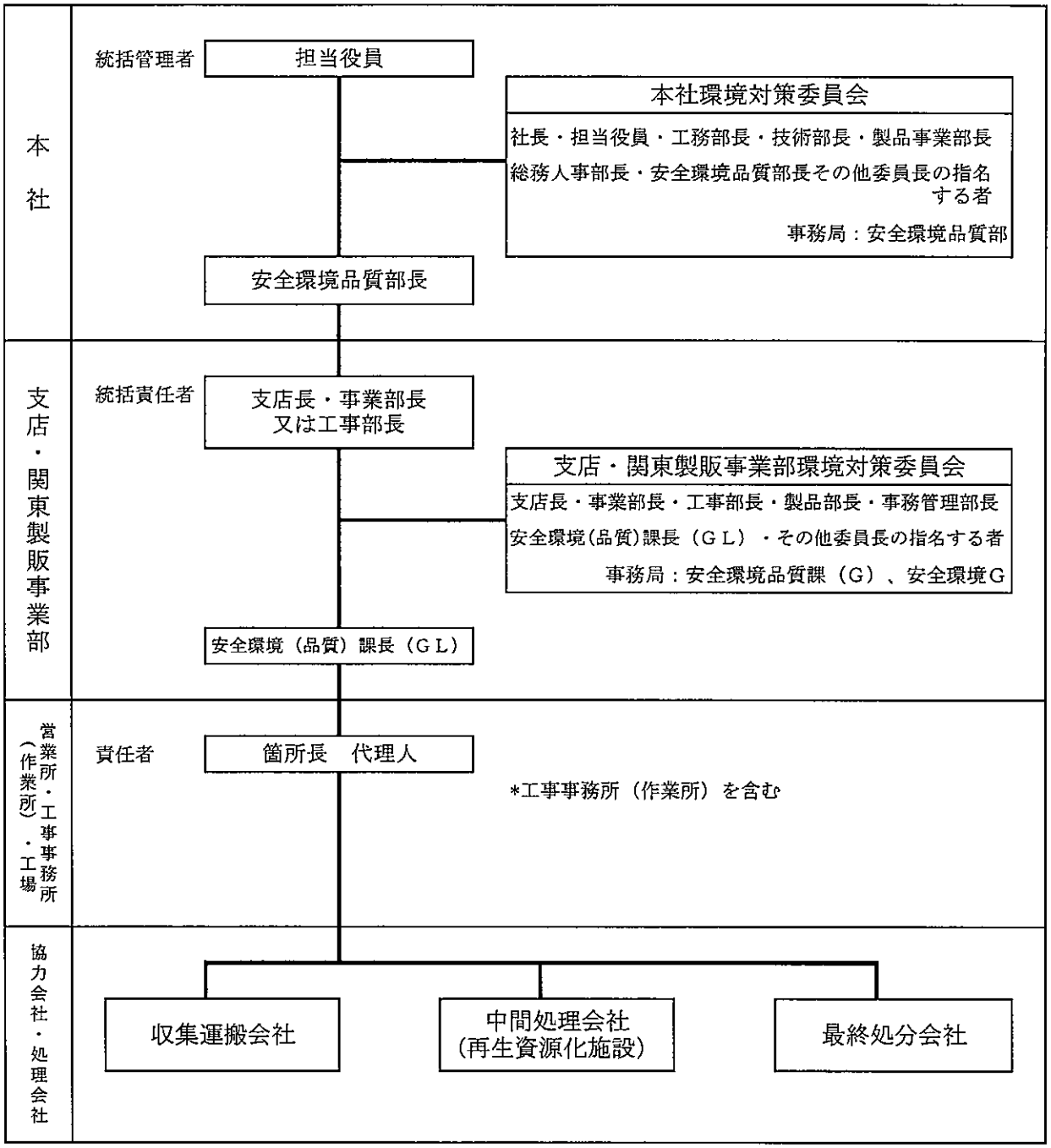
7　※欄は記入しないこと。

別紙1

排出・処理等のフローシート



別紙2


本社
統括管理者
担当役員
本社環境対策委員会
社長・担当役員・工務部長・技術部長・製品事業部長
総務人事部長・安全環境品質部長その他委員長の指名する者
事務局：安全環境品質部
安全環境品質部長
支店・関東製販事業部
統括責任者
支店長・事業部長
又は工事部長
支店・関東製販事業部環境対策委員会
支店長・事業部長・工事部長・製品部長・事務管理部長
安全環境(品質)課長（ＧＬ）・その他委員長の指名する者
事務局：安全環境品質課（Ｇ）、安全環境Ｇ
安全環境（品質）課長（ＧＬ）
営業所・工事事務所（作業所）・工場
責任者
箇所長　代理人
*工事事務所（作業所）を含む
協力会社・処理会社
収集運搬会社
中間処理会社
(再生資源化施設)
最終処分会社

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
		排　出　量	14.67 t	0.13 t	602.34 t	68.1 t	0.35 t	11.83 t	2.34 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
		排　出　量	14 t	0 t	600 t	60 t	1 t	11 t	0 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	39.58 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	100 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
	全処理委託量	14.67 t	0.13 t	562.76 t	68.1 t	0.35 t	11.83 t	2.34 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	68.1 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	泥（特別管理型）	がれき類	木くず	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	PCB汚染物	
	全処理委託量	14 t	0 t	500 t	60 t	1 t	11 t	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	14 t	t	500 t	60 t	1 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	14 t	t	500 t	60 t	1 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 26日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒260-0825
住 所　千葉県千葉市中央区村田町1106
氏 名　世紀東急工業株式会社 千葉営業所
営業所長 栗谷川 宏
電話番号　043-382-7001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	世紀東急工業株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉市中央区村田町1106番地
事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

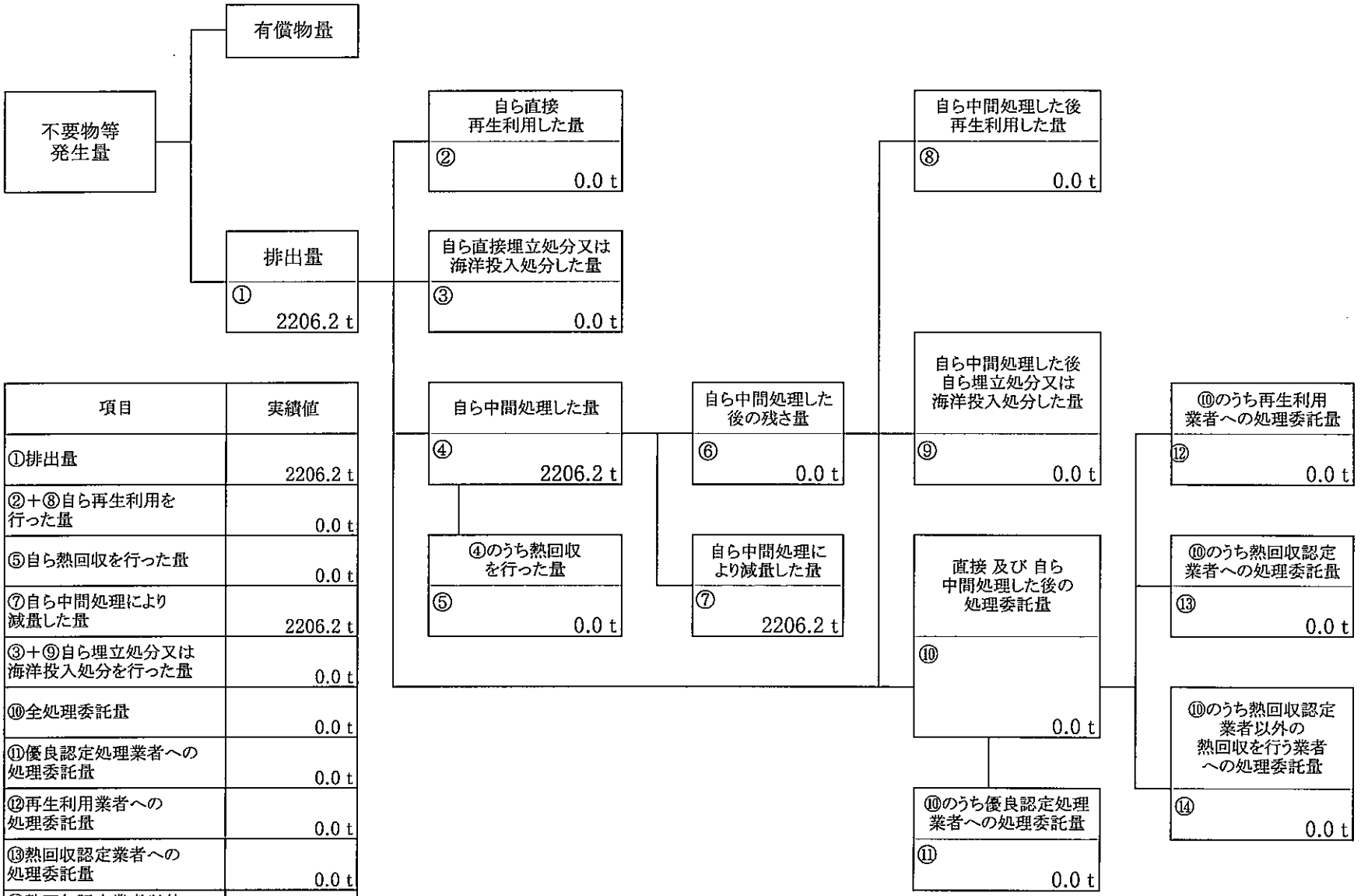
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2500.0 t	全処理委託量	950.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	950.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1550.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスコンがら　）

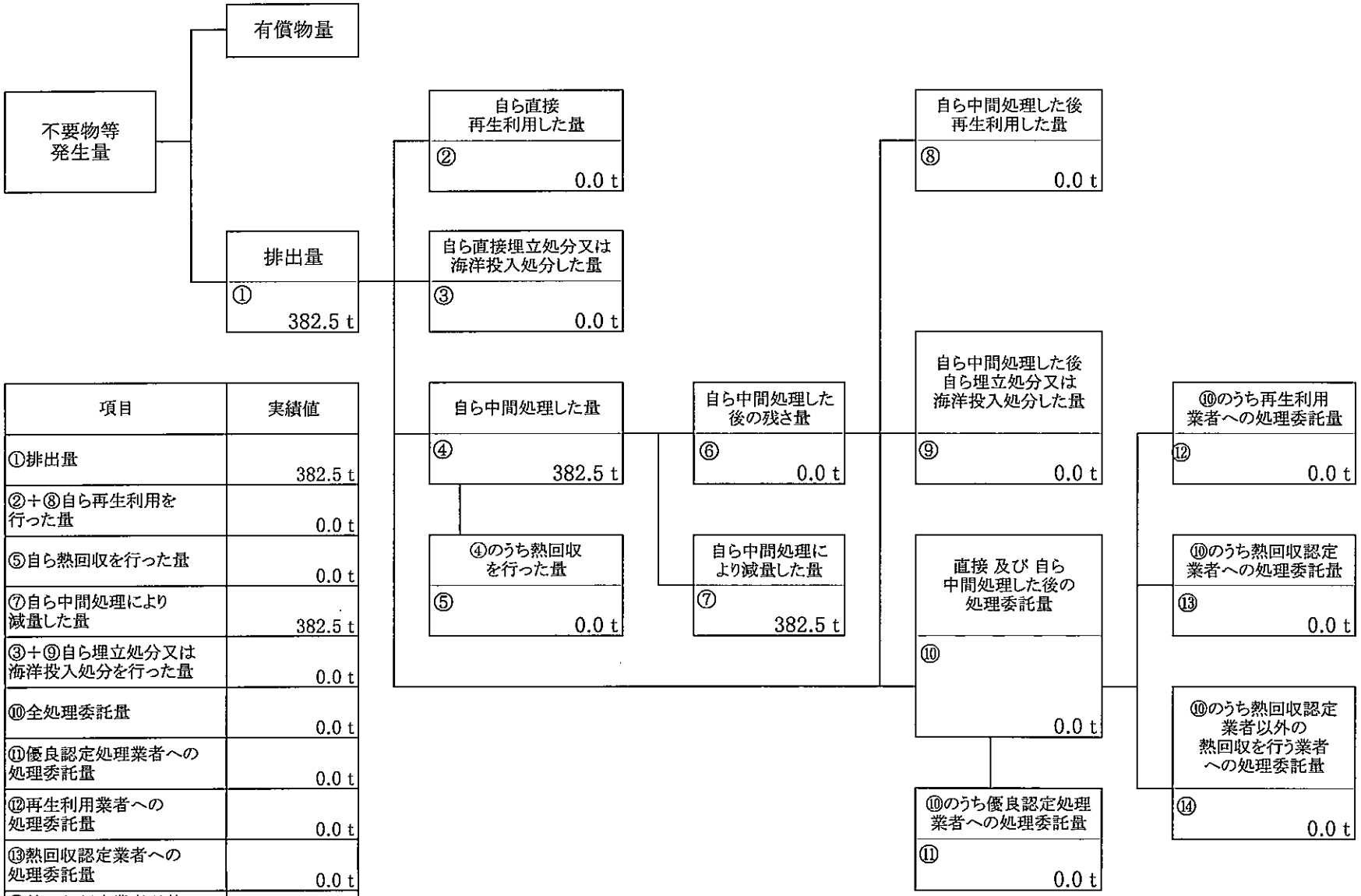


項目	実績値
①排出量	2206.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	2206.2 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）

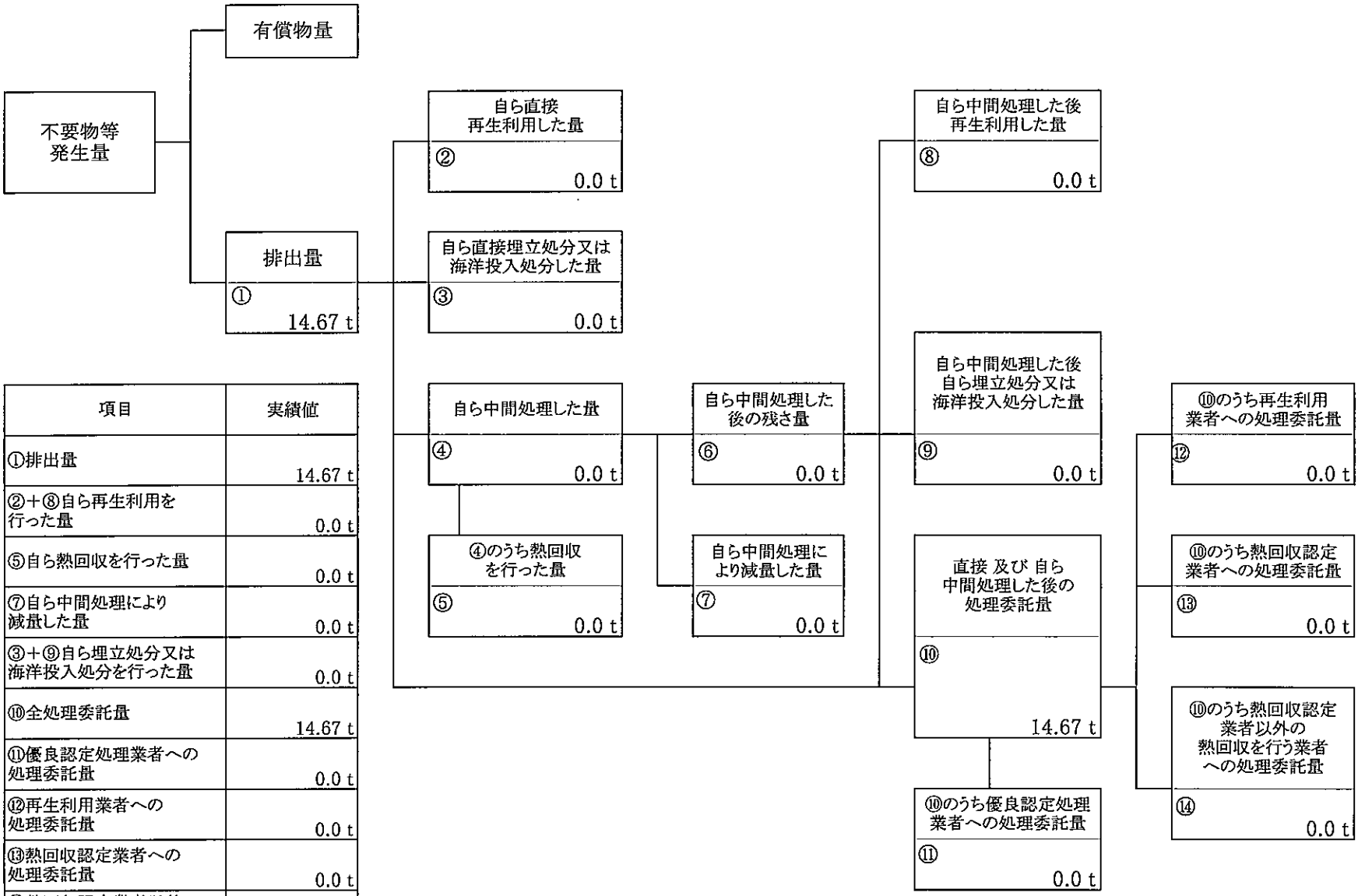


項目	実績値
①排出量	382.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	382.5 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）

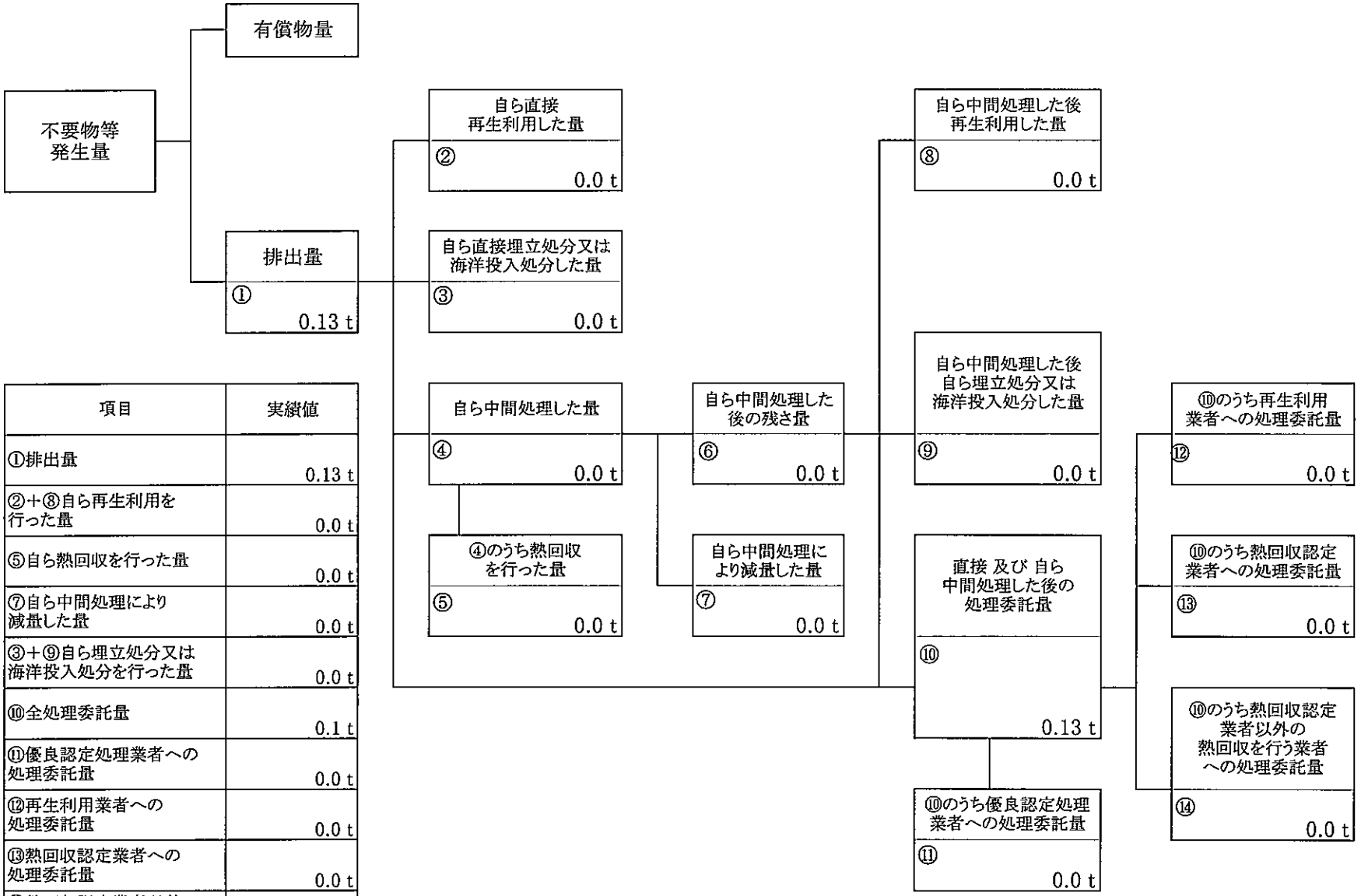


項目	実績値
①排出量	14.67 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.67 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥（特別管理型）　　）

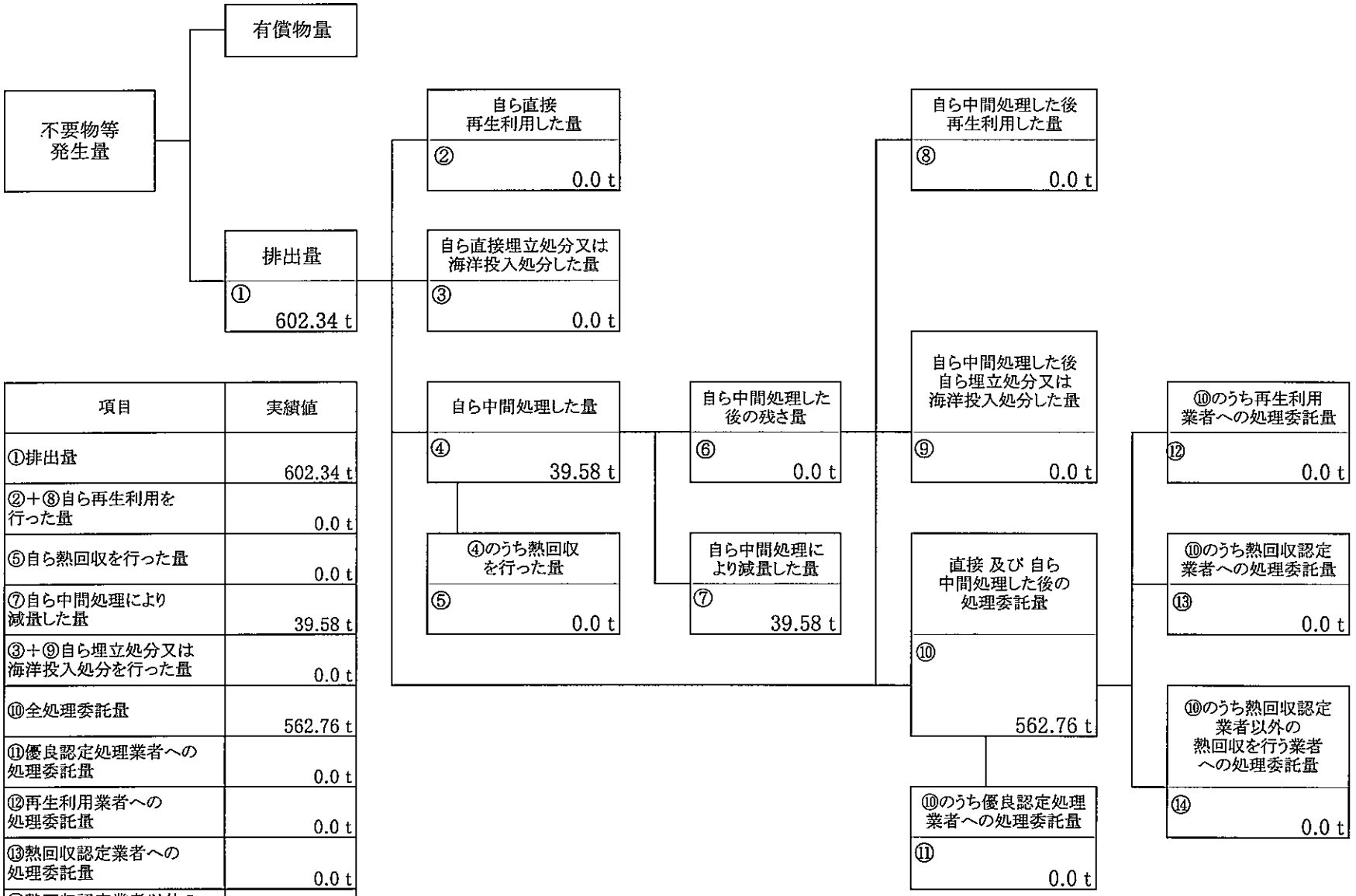


項目	実績値
①排出量	0.13 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

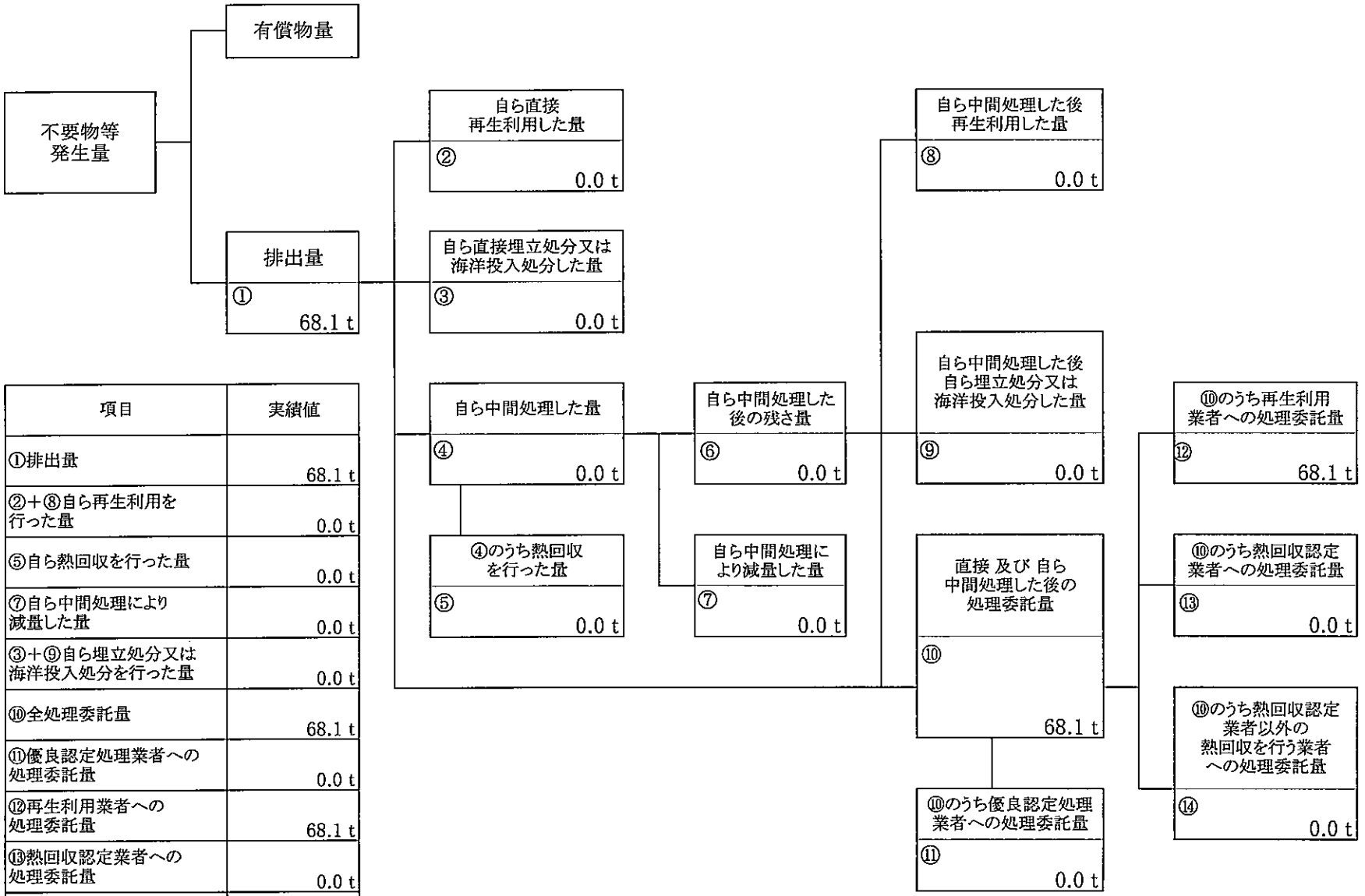


項目	実績値
①排出量	602.34 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	39.58 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	562.76 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

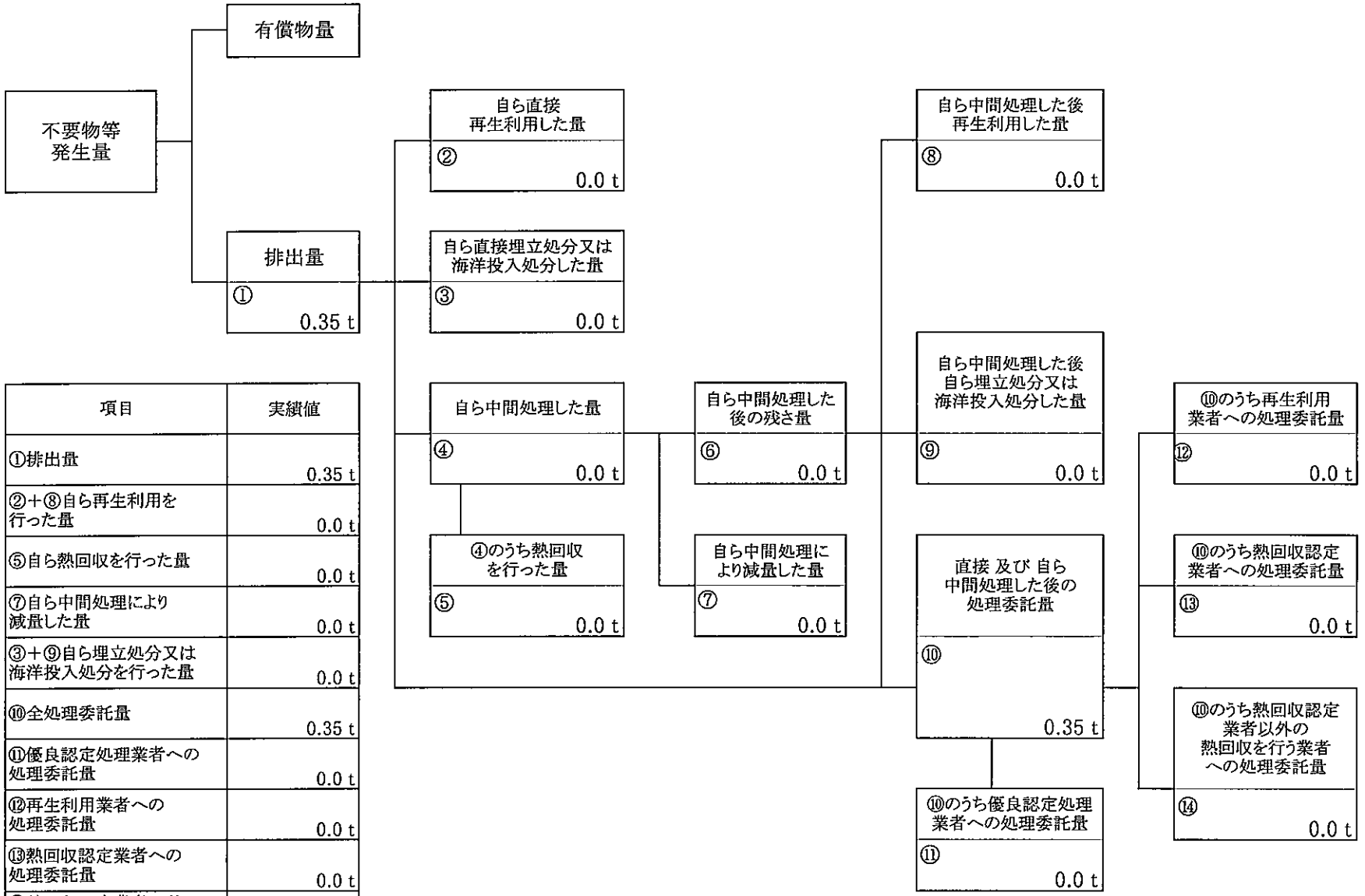


項目	実績値
①排出量	68.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	68.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	68.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック　　）

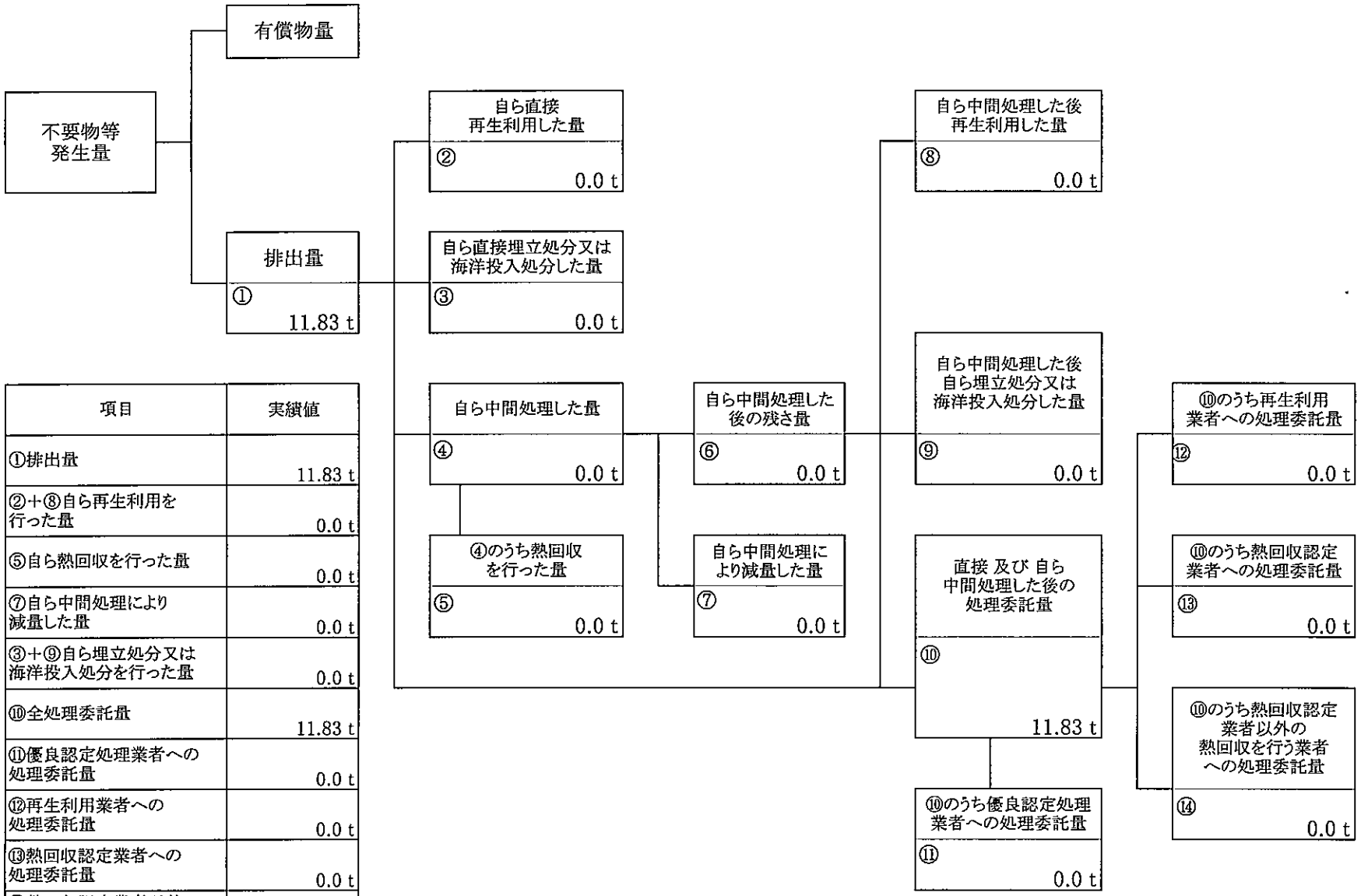


項目	実績値
①排出量	0.35 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.35 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　管理型混合廃棄物　）

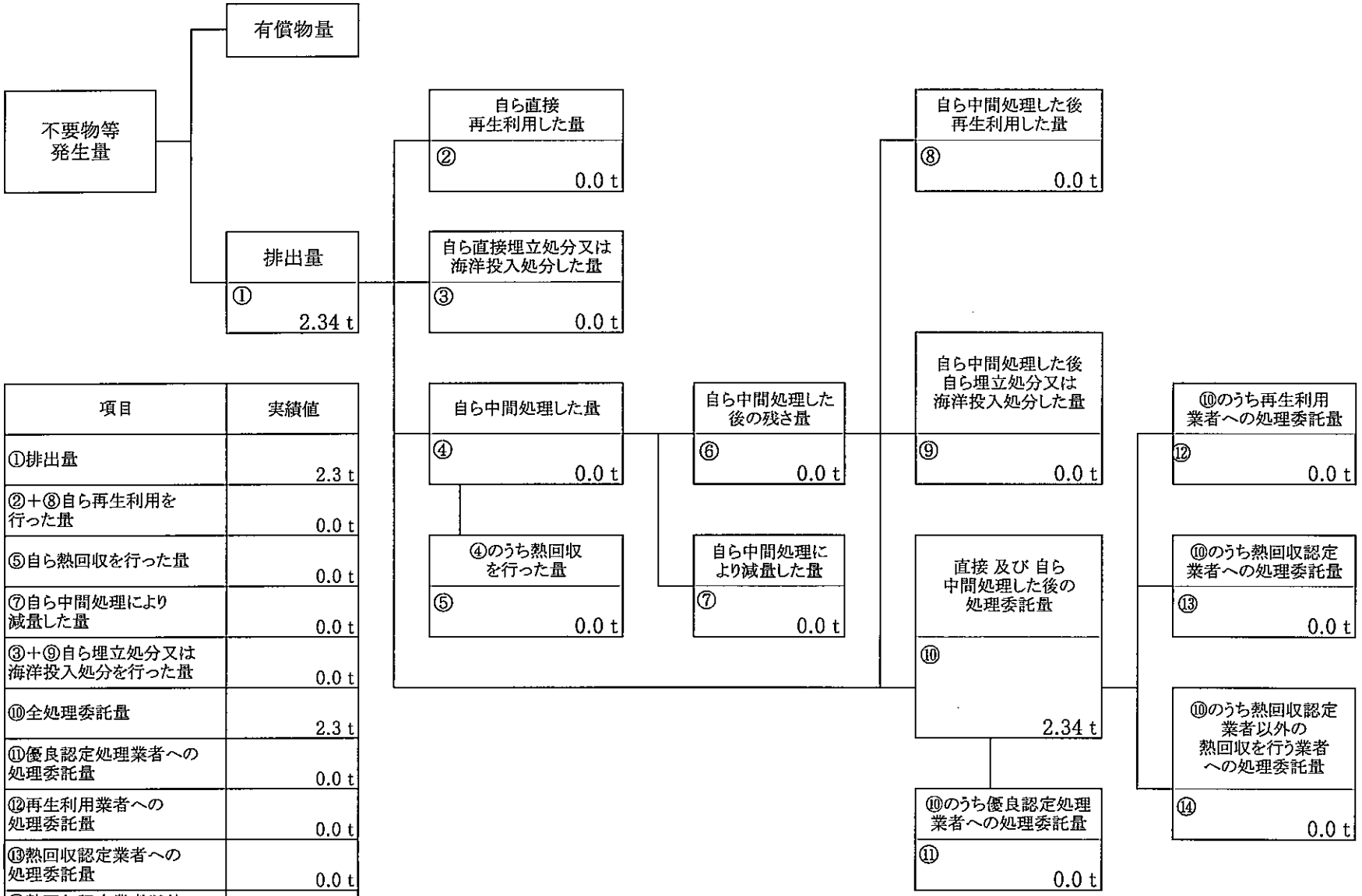


項目	実績値
①排出量	11.83 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.83 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　PCB汚染物　　）



項目	実績値
①排出量	2.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7 年 6 月 22 日

都道府県知事
（市長）　千葉県知事　殿

提出者
住　所　千葉県船橋市本町１－３－１
（Ｆａｃｅ１３階）
氏　名　積水ハウス株式会社
京葉支店
和田　修一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-420-5211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社 京葉支店
事業場の所在地	千葉県船橋市本町１－３－１ （Ｆａｃｅ１３階）　電話番号　047-420-5211
計画期間	令和7年4月1日　～ 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６　総合工事業
②事業の規模	¥10,829,729,000
③従業員数	125名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本工業規格 Ａ列４番）

令和7年6月22日 作成

事業所名	京葉支店

【 廃棄物管理体制図 】

廃棄物処理総括責任者	支店長
廃棄物処理総括責任者代理	副支店長
廃棄物処理責任者	建築長
廃棄物処理副責任者	

(副責任者を任命する場合)

特別管理産業廃棄物管理責任者	3　名

適正処理推進員(現場監督員)	担当者	役職
	建築長	課長
	建築担当者	係長
	建築担当者	主任
	建築担当者	
	建築担当者	
	建築担当者	
	建築担当者	

産業廃棄物の一連の処理の工程　　（別紙1-Ⅰ）

解体工事

コンクリート	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
コンクリート	→	破砕　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
アスコン	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生アスファルト
がれき類その他	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
がれき類その他	→	破砕　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
がれき類その他	→	破砕　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
ガラス・陶磁器	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
ガラス・陶磁器	→	破砕　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
ガラス・陶磁器	→	破砕　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
廃プラスチック類	→	破砕　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
廃プラスチック類	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
廃プラスチック類	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
廃プラスチック類	→	圧縮　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
廃プラスチック類	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
金属くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
金属くず	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
金属くず	→	切断　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
紙くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用
紙くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生利用

紙くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
紙くず	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
木くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
木くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
木くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用
木くず	→	焼却　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
繊維くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
繊維くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
繊維くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用
繊維くず	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
廃石膏ボード	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
廃石膏ボード	→	破砕　（処理業者に委託）	→	焼却
廃石膏ボード	→	破砕　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
廃石膏ボード	→	切断　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
建設混合廃棄物	→	破砕　（処理業者に委託）	→	再生
がれき類（廃石	→	埋立　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
ガラス・陶磁器（廃石	→	埋立　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
水銀使用製品産業廃棄物	→	破砕　（処理業者に委託）	→	再生原料

産業廃棄物の一連の処理の工程　　（別紙1-Ⅱ）

新築工事

コンクリート	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
アスコン	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
がれき類その他	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
ガラス・陶磁器	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
廃プラスチック類	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
金属くず	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
紙くず	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
木くず	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
繊維くず	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
廃石膏ボード	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
その他（混合廃棄物	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
	→		→	

産業廃棄物の処理に関わる管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
	排出量	2168.22 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 新築施工現場では２７分別を行いQRラベルによる廃棄物量の実測を行っている ・ 梱包材の簡素化 ・ 解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2のとおり	
	排出量	1951.40 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 梱包材の簡素化、余剰材の削減 ・ プレカット品の推進（石膏ボード等） ・ 工法の改善（複合化率のアップ） ・ 解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組む		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 新築工事については、現場にて27分別を実施。解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	211.43 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 新築廃棄物は、現地にて27分別を実施し資源循環センターに搬入 ・ 資源循環センターでは、広域認定制度（第２７９号）に基づき運用 ・ 資源循環センターでは、持ち込まれた廃棄物を最大80品目に分別 ・ 資源循環センターでは、マテリアルリサイクル率９０％を達成		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	190.29 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 現状を維持して継続する		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和6　　年度）　実績】

産業廃棄物の種類	―	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和6　　年度）　実績】

産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
全処理委託量	1956.79 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	543.29 t	t
再生利用業者への処理委託量	1792.98 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t

（これまでに実施した取組）

・ 当社規定のマニュアルに従い業者選定をし、契約を締結している
・ 契約を締結している中間最終処理業者の施設確認を半年に一回実施している

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>別表2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>1761.11 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>488.96 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1613.68 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・優良認定処理業者の採用を推進する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月３０日までに提出すること

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は以下に従って記入すること。

(1)　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること

(2)　②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ、事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行いに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって、減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物への処理及び清掃に関する法律施工令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと

令和7年6月22日 作成

千葉県知事　殿

令和6　年度　産業廃棄物処理計画実施状況報告書　別表1

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の**排出の抑制**に関する事項	自ら行う産業廃棄物の**再生利用**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**中間処理**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**埋立処分又は海洋投入分**に関する事項	産業廃棄物の**処理の委託**に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	769.84	0.00	22.60	0.00	0.00	0.00	747.24	0.00	747.24	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	10.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.10	0.00	10.10	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	234.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	234.86	141.34	199.64	0.00	0.00	35.22	0.00
ガラス・陶磁器	118.94	0.00	22.34	0.00	0.00	0.00	96.60	56.60	56.60	0.00	0.00	40.00	0.00
廃プラスチック類	84.35	0.00	28.21	0.00	0.00	0.00	56.14	22.89	56.14	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	16.65	0.00	9.63	0.00	0.00	0.00	7.02	7.02	7.02	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	37.66	0.00	37.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	673.14	0.00	31.57	0.00	0.00	0.00	641.57	200.20	641.58	0.00	0.00	-0.01	0.00
繊維くず	2.12	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	2.09	0.97	0.97	0.00	0.00	1.12	0.00
廃石膏ボード	92.00	0.00	58.37	0.00	0.00	0.00	33.63	29.88	33.63	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	1.02	0.00	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	84.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	84.39	84.39	40.06	0.00	0.00	44.33	0.00
（石綿）がれき類その他	3.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.85
（石綿）ガラス・陶磁器	39.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	39.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	39.30
（石綿）廃プラスチック類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2168.22	0.00	211.43	0.00	0.00	0.00	1956.79	543.29	1792.98	0.00	0.00	120.66	43.15

令和7年6月22日　作成

千葉県知事　殿

令和7　年度　産業廃棄物処理計画書　別表2

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の**排出の抑制**に関する事項	自ら行う産業廃棄物の**再生利用**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**中間処理**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**埋立処分又は海洋投入分**に関する事項	産業廃棄物の**処理の委託**に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用する量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	692.86	0.00	20.34	0.00	0.00	0.00	672.52	0.00	672.52	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	9.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.09	0.00	9.09	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	211.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	211.37	127.21	179.68	0.00	0.00	31.70	0.00
ガラス・陶磁器	107.05	0.00	20.11	0.00	0.00	0.00	86.94	50.94	50.94	0.00	0.00	36.00	0.00
廃プラスチック類	75.92	0.00	25.39	0.00	0.00	0.00	50.53	20.60	50.53	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	14.99	0.00	8.67	0.00	0.00	0.00	6.32	6.32	6.32	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	33.89	0.00	33.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	605.83	0.00	28.41	0.00	0.00	0.00	577.41	180.18	577.42	0.00	0.00	-0.01	0.00
繊維くず	1.91	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	1.88	0.87	0.87	0.00	0.00	1.01	0.00
廃石膏ボード	82.80	0.00	52.53	0.00	0.00	0.00	30.27	26.89	30.27	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.92	0.00	0.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	75.95	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	75.95	75.95	36.05	0.00	0.00	39.90	0.00
（石綿）がれき類その他	3.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.47
（石綿）ガラス・陶磁器	35.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	35.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	35.37
（石綿）廃プラスチック類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1951.40	0.00	190.29	0.00	0.00	0.00	1761.11	488.96	1613.68	0.00	0.00	108.59	38.84

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7 年 6 月 22 日

都道府県知事
（市長）　千葉県知事　殿

提出者
住　所　千葉県船橋市本町１－３－１
（Ｆａｃｅ１３階）
氏　名　積水ハウス株式会社
京葉支店
和田　修一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-420-5211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第１０項の規定に基づき、　令和6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社 京葉支店
事業場の所在地	千葉県船橋市本町１－３－１ （Ｆａｃｅ１３階）　電話番号　047-420-5211
事業の種類	０６　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　～ 令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

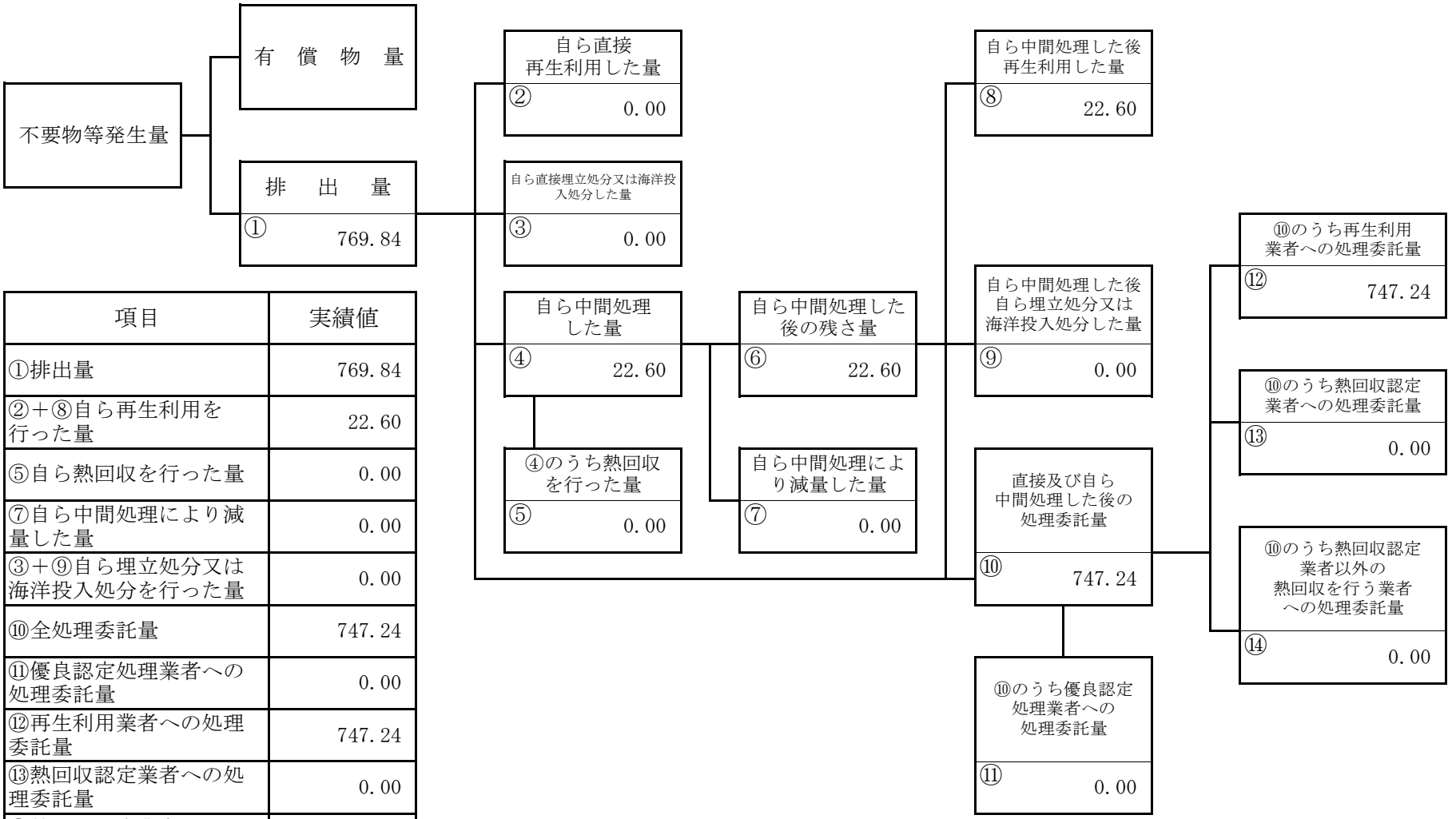
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1931.45　t	全処理委託量	1727.77　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	203.68　t	優良認定処理業者への処理委託量	532.93　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00　t	再生利用業者への処理委託量	1606.10　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00　t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00　t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00　t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00　t

※事務処理欄	

（日本工業規格　Ａ列４番）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： コンクリート ）

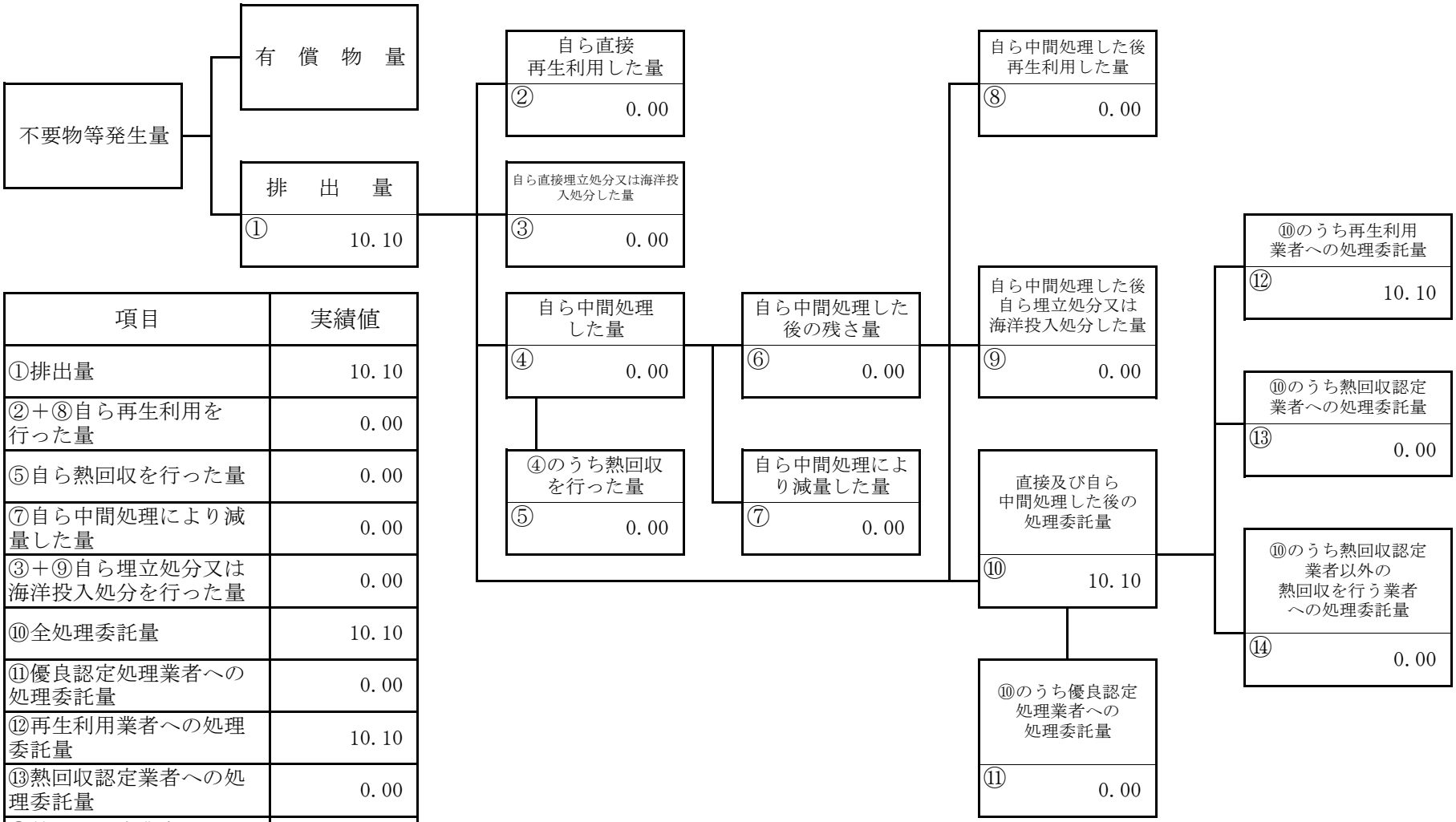


項目	実績値
①排出量	769.84
②＋⑧自ら再生利用を行った量	22.60
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	747.24
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	747.24
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： アスコン ）

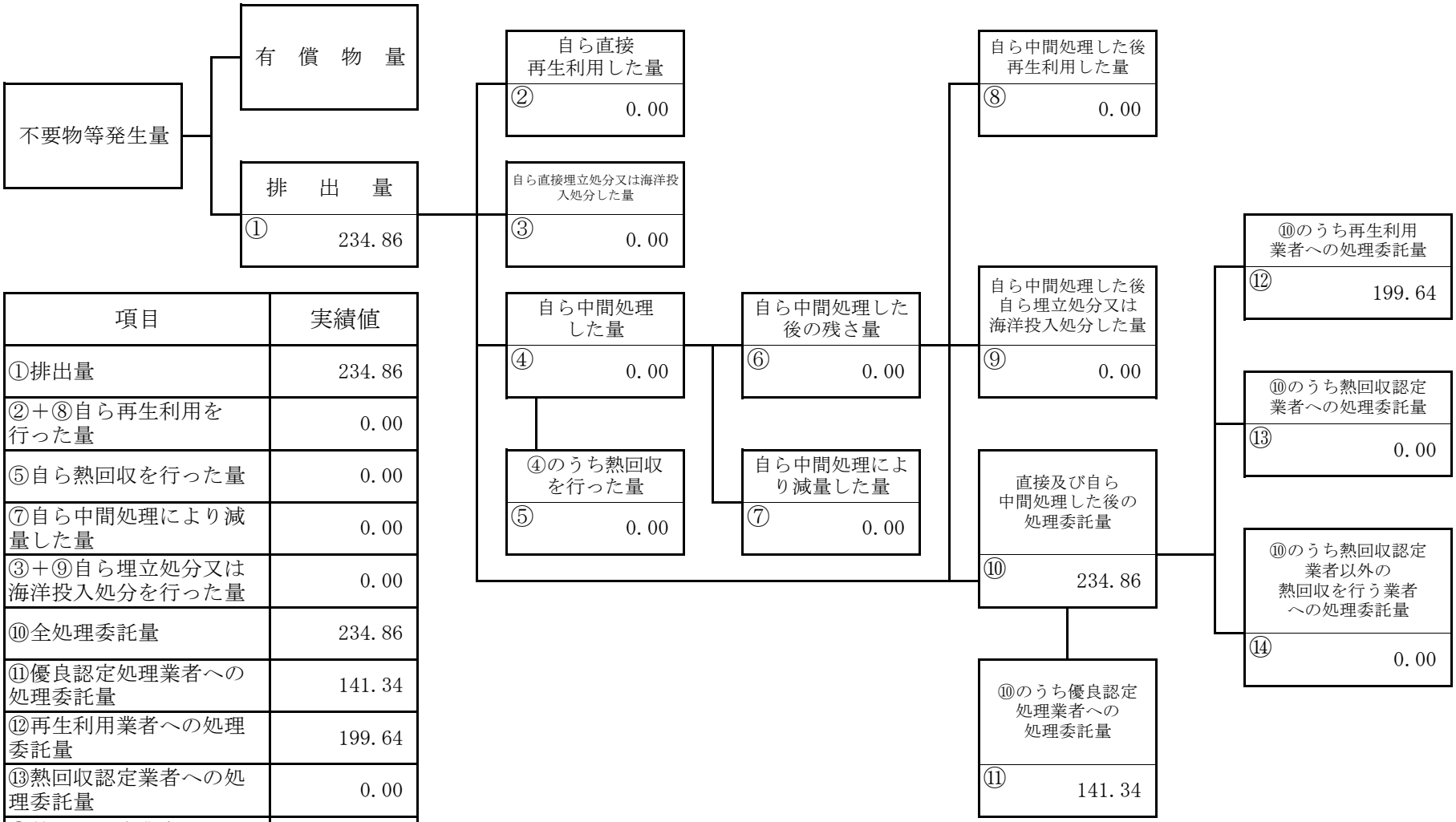


項目	実績値
①排出量	10.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	10.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	10.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： がれき類 ）

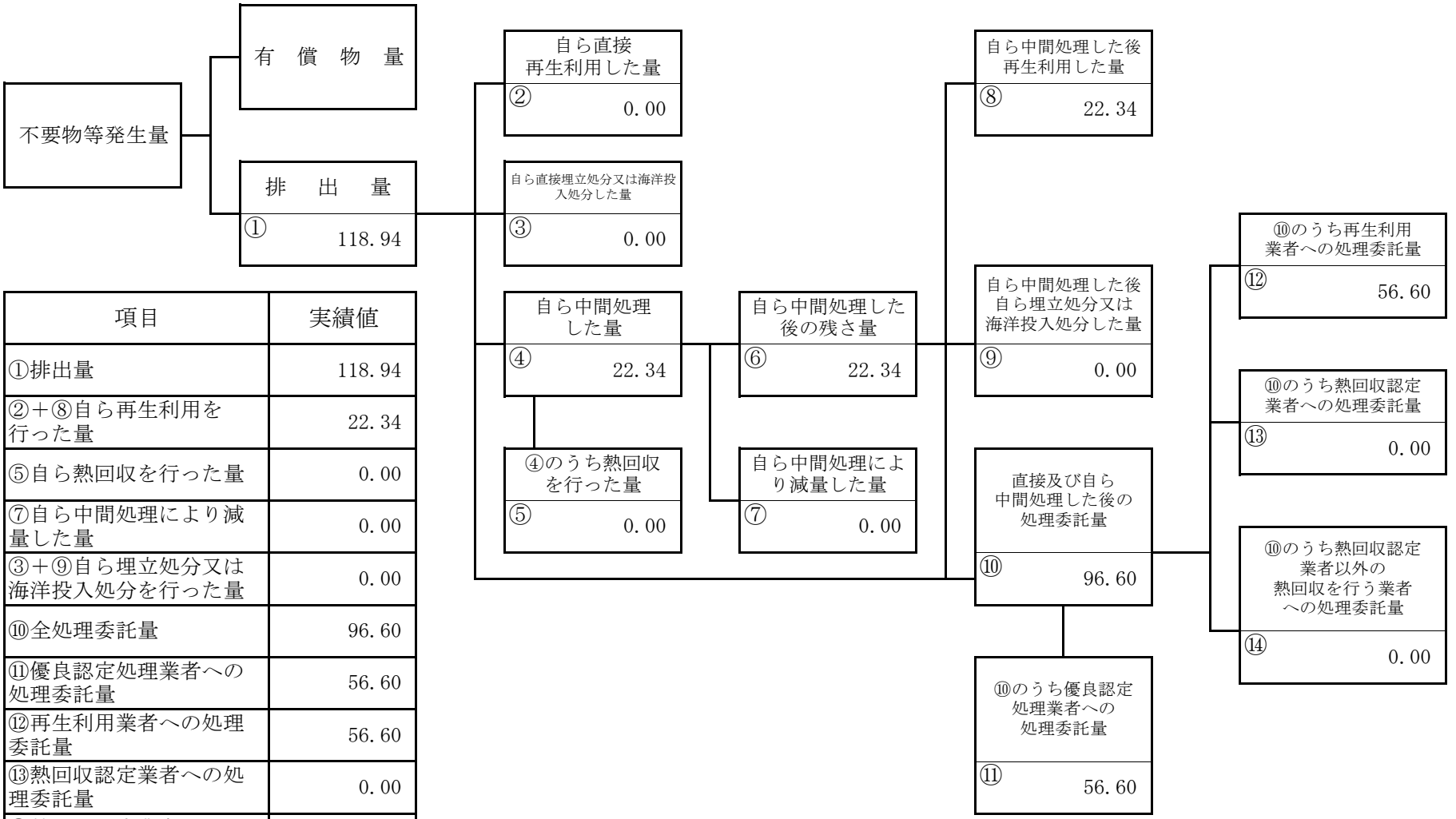


項目	実績値
①排出量	234.86
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	234.86
⑪優良認定処理業者への処理委託量	141.34
⑫再生利用業者への処理委託量	199.64
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： ガラス陶磁器くず ）

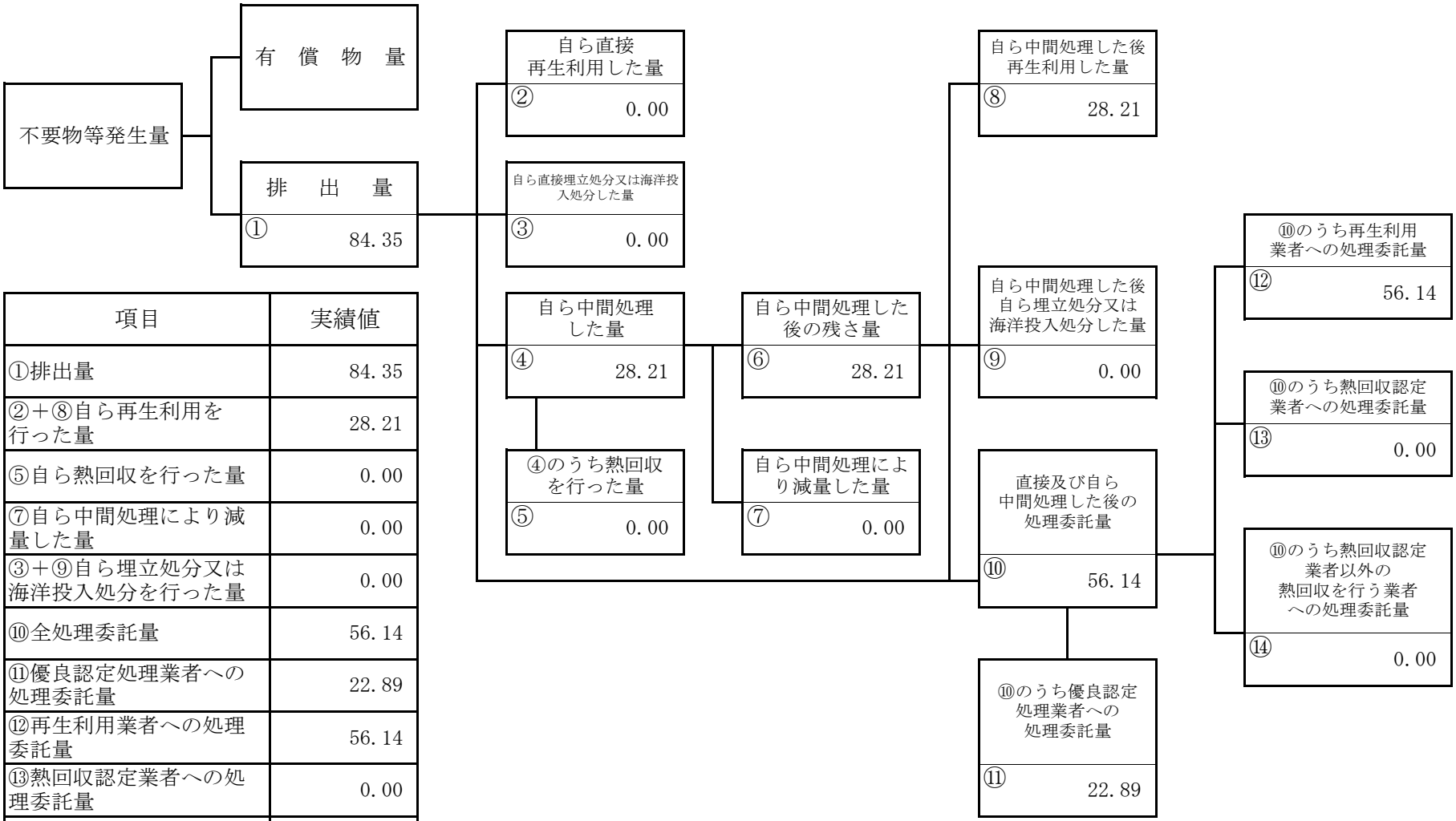


項目	実績値
①排出量	118.94
②＋⑧自ら再生利用を行った量	22.34
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	96.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.60
⑫再生利用業者への処理委託量	56.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 廃プラスチック ）

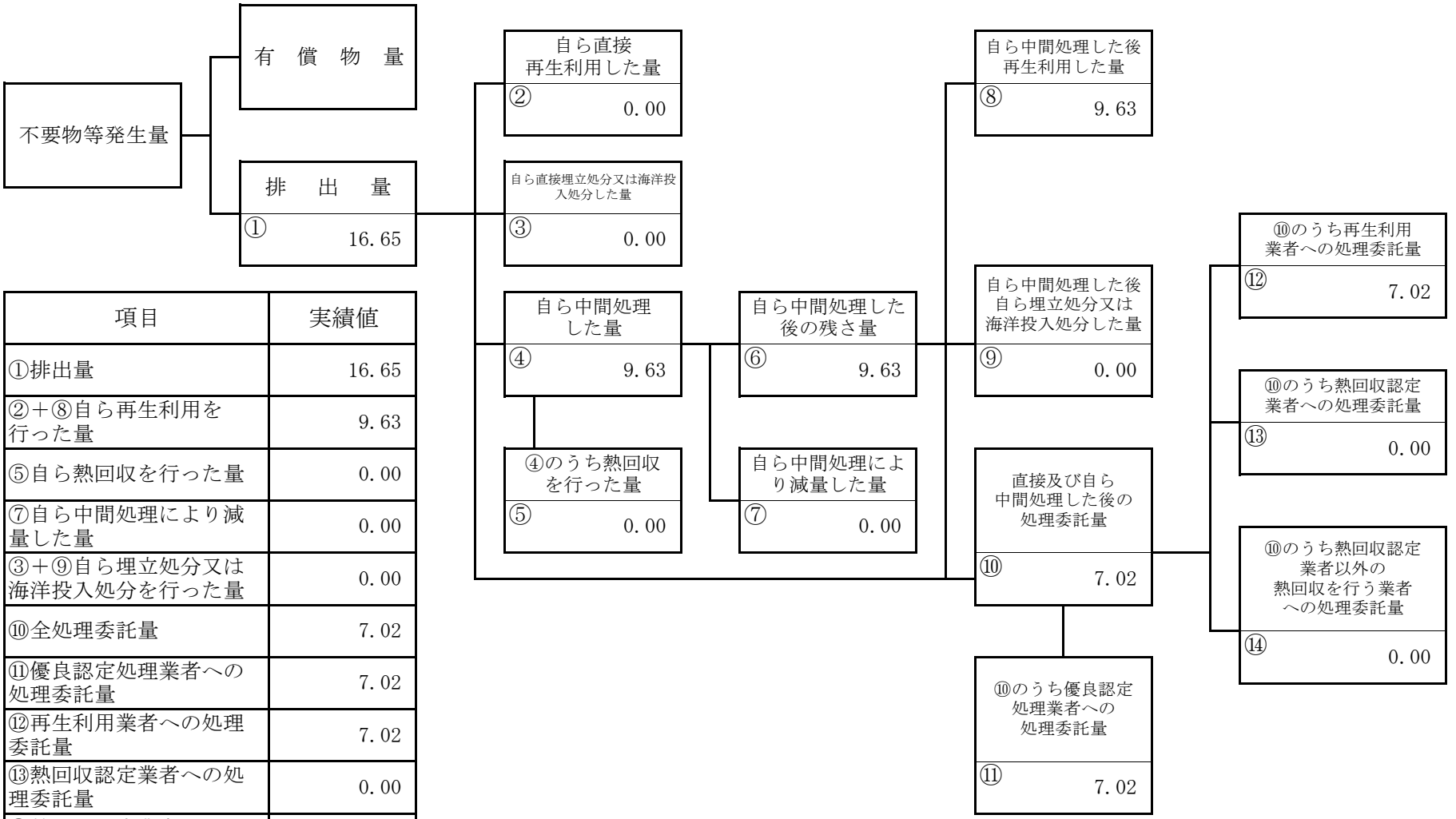


項目	実績値
①排出量	84.35
②＋⑧自ら再生利用を行った量	28.21
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	56.14
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.89
⑫再生利用業者への処理委託量	56.14
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 金属くず ）

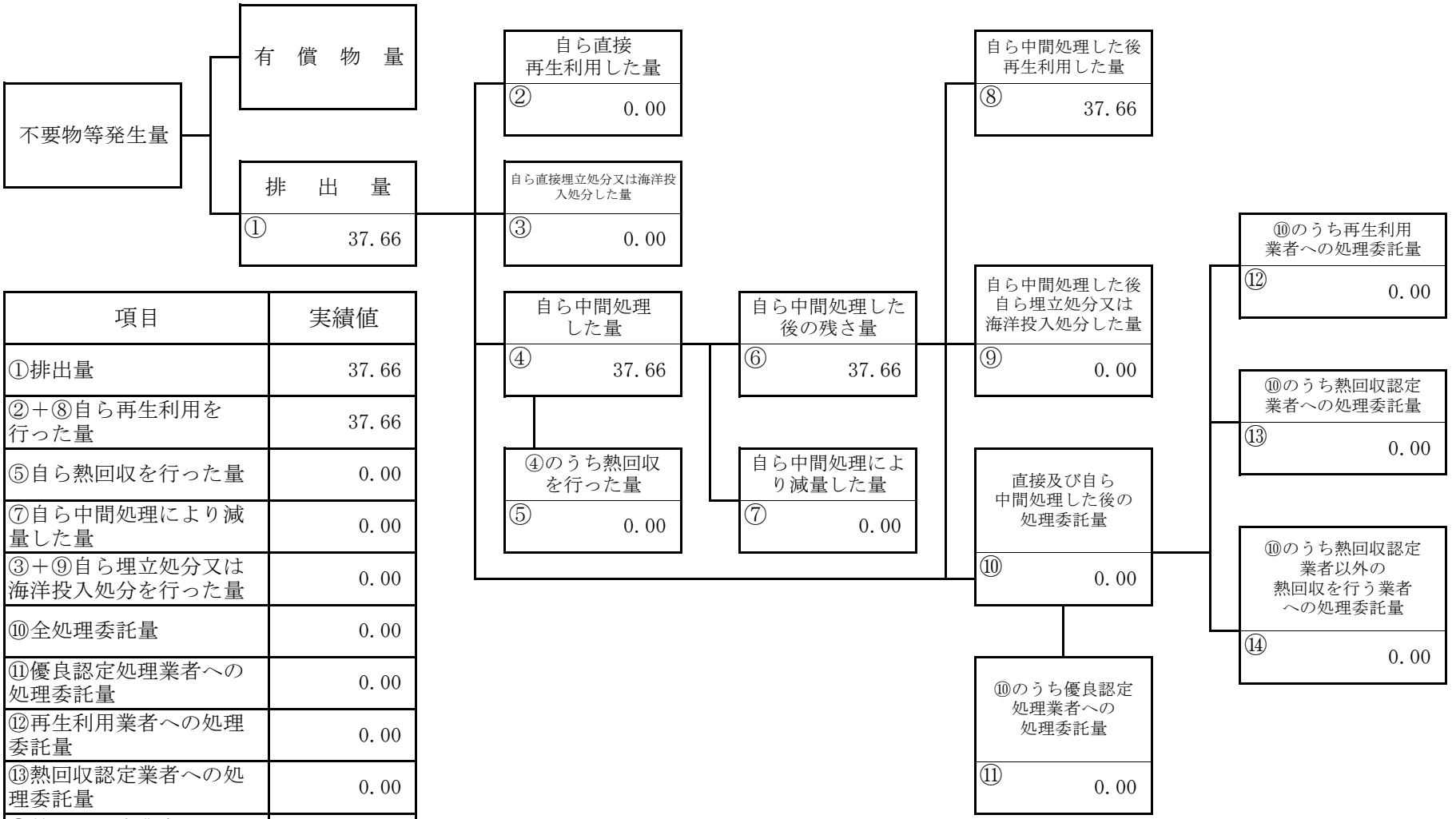


項目	実績値
①排出量	16.65
②＋⑧自ら再生利用を行った量	9.63
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	7.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.02
⑫再生利用業者への処理委託量	7.02
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 紙くず ）

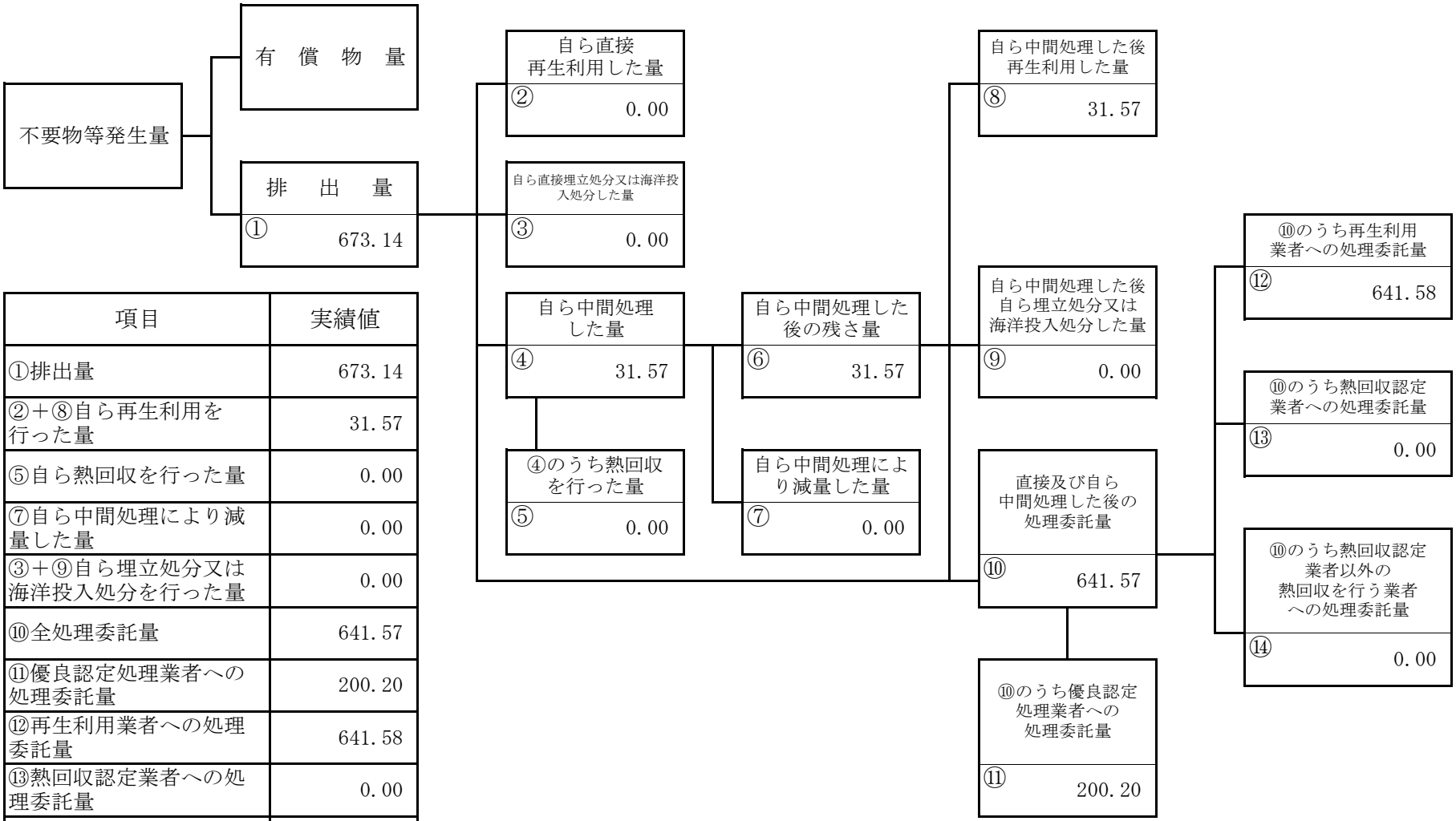


項目	実績値
①排出量	37.66
②＋⑧自ら再生利用を行った量	37.66
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 木くず ）

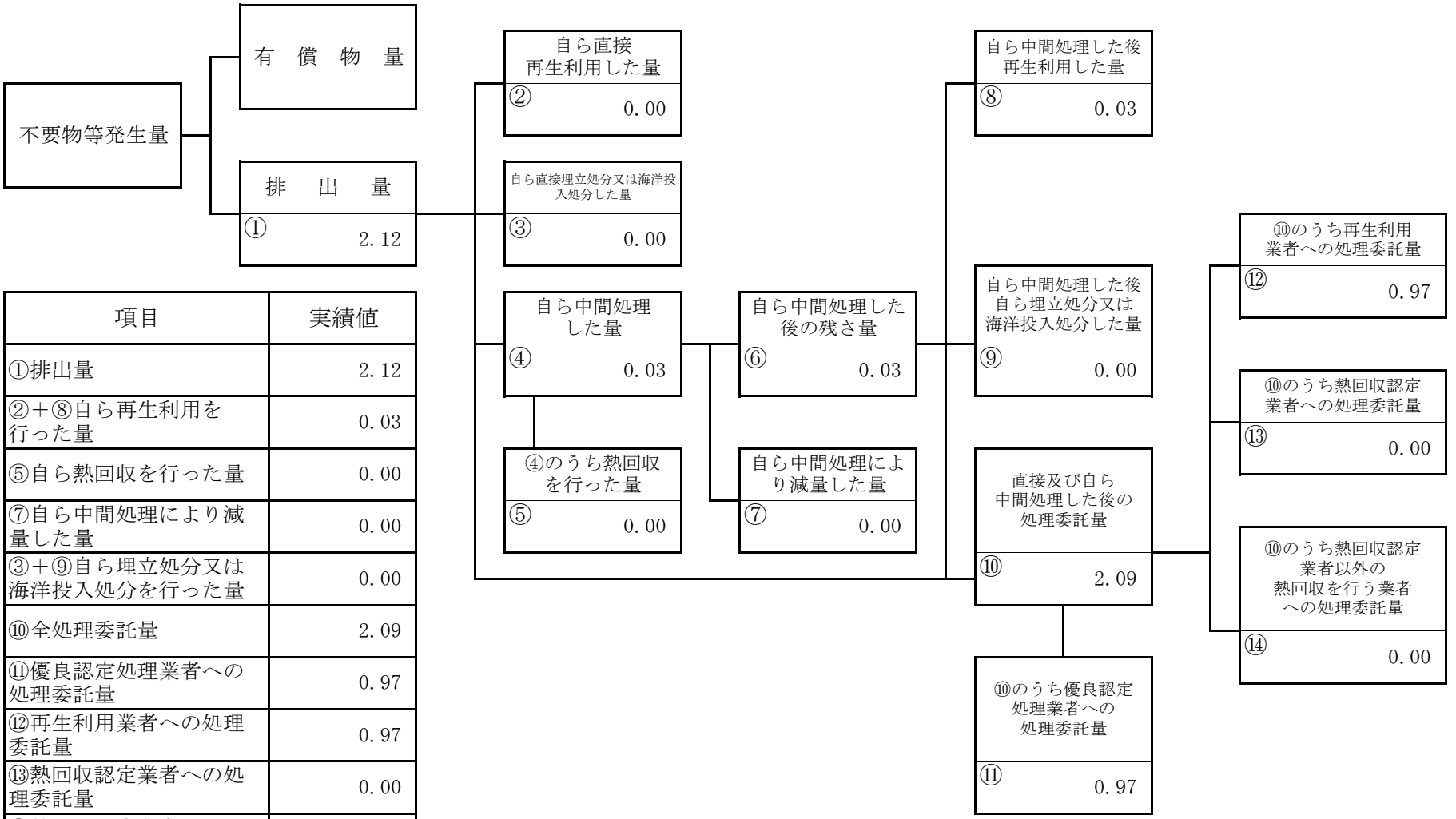


項目	実績値
①排出量	673.14
②＋⑧自ら再生利用を行った量	31.57
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	641.57
⑪優良認定処理業者への処理委託量	200.20
⑫再生利用業者への処理委託量	641.58
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 繊維くず ）

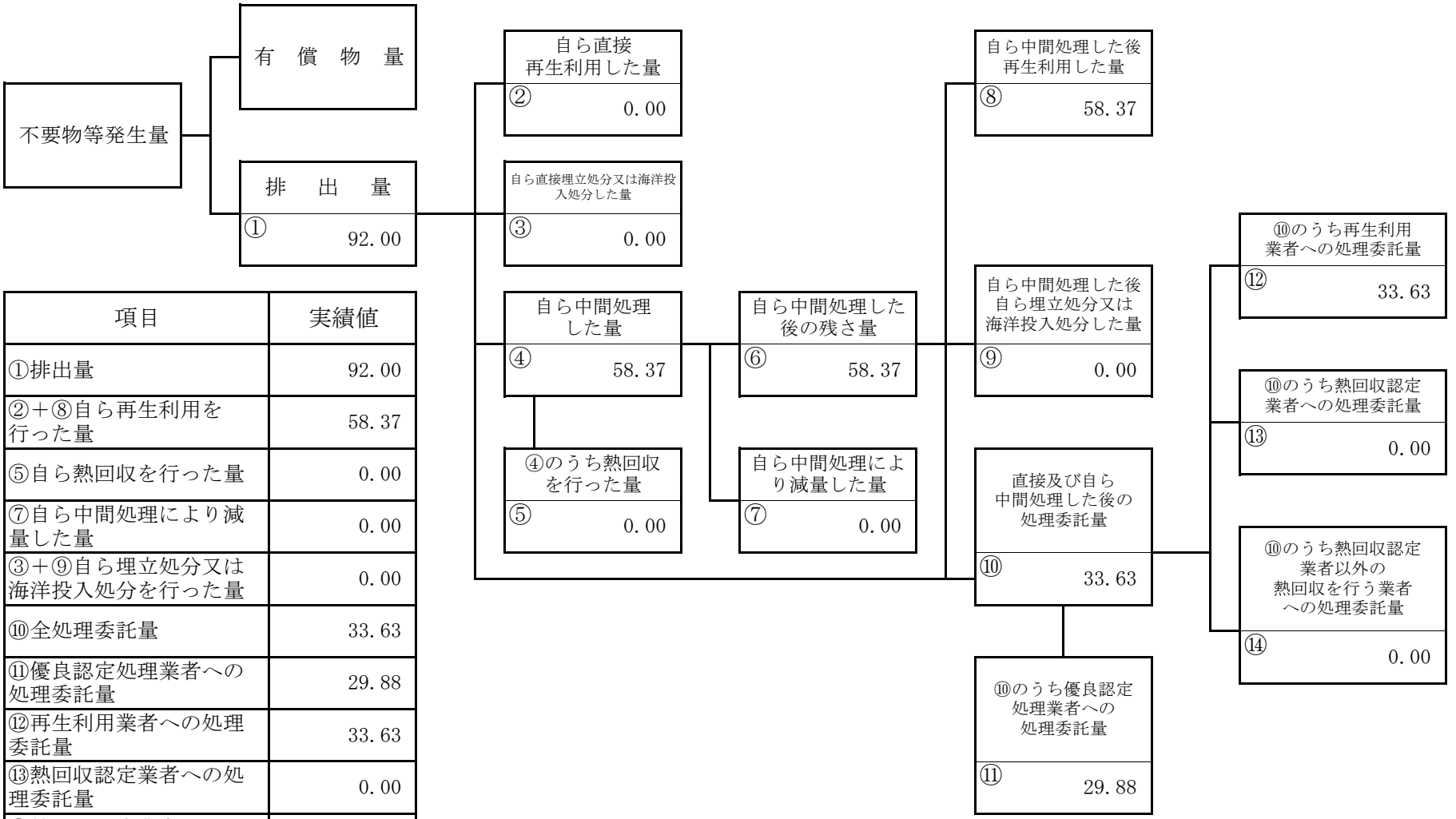


項目	実績値
①排出量	2.12
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.03
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.09
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.97
⑫再生利用業者への処理委託量	0.97
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード ）

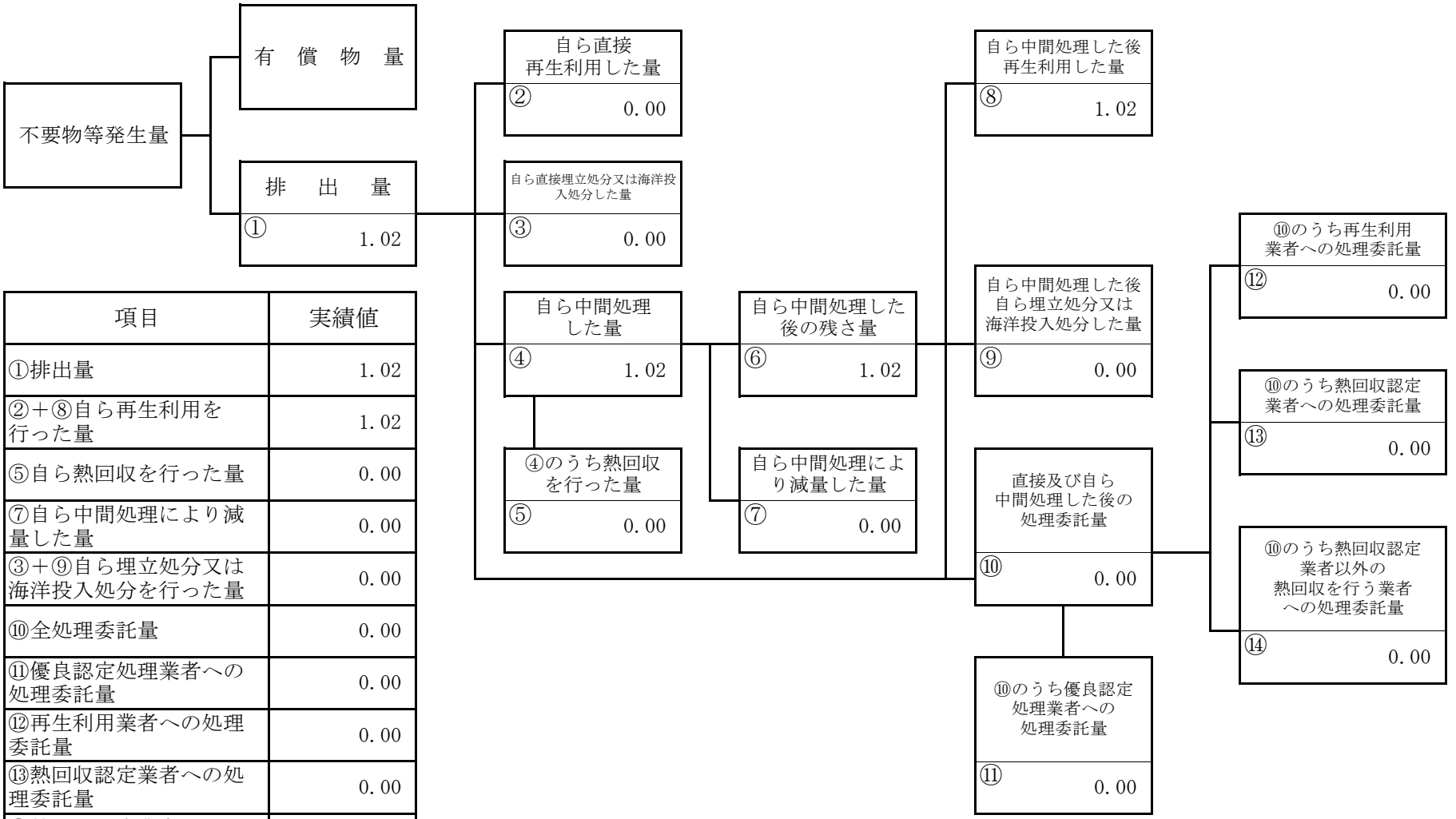


項目	実績値
①排出量	92.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	58.37
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	33.63
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.88
⑫再生利用業者への処理委託量	33.63
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： その他 ）

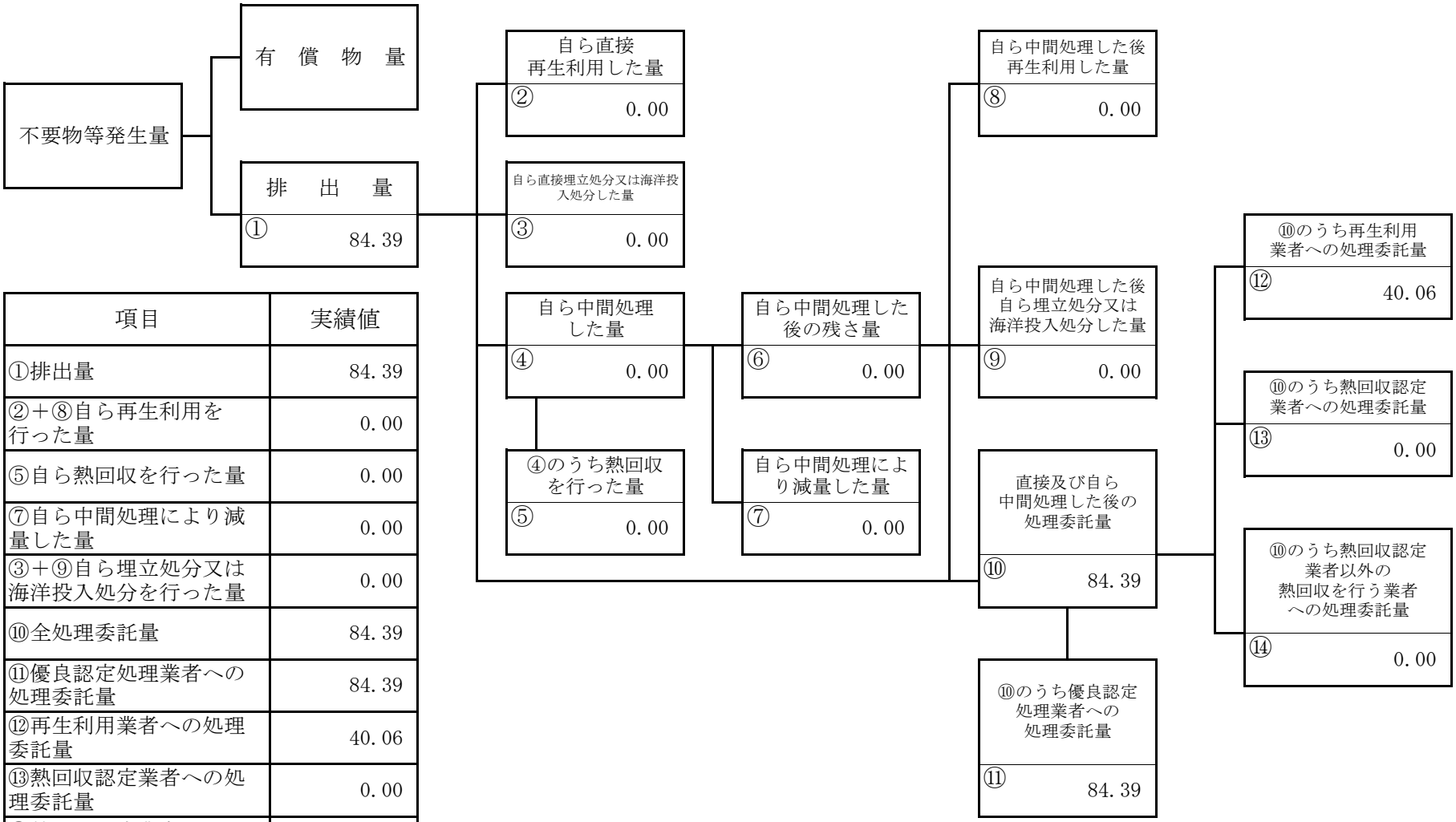


項目	実績値
①排出量	1.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	1.02
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物 ）

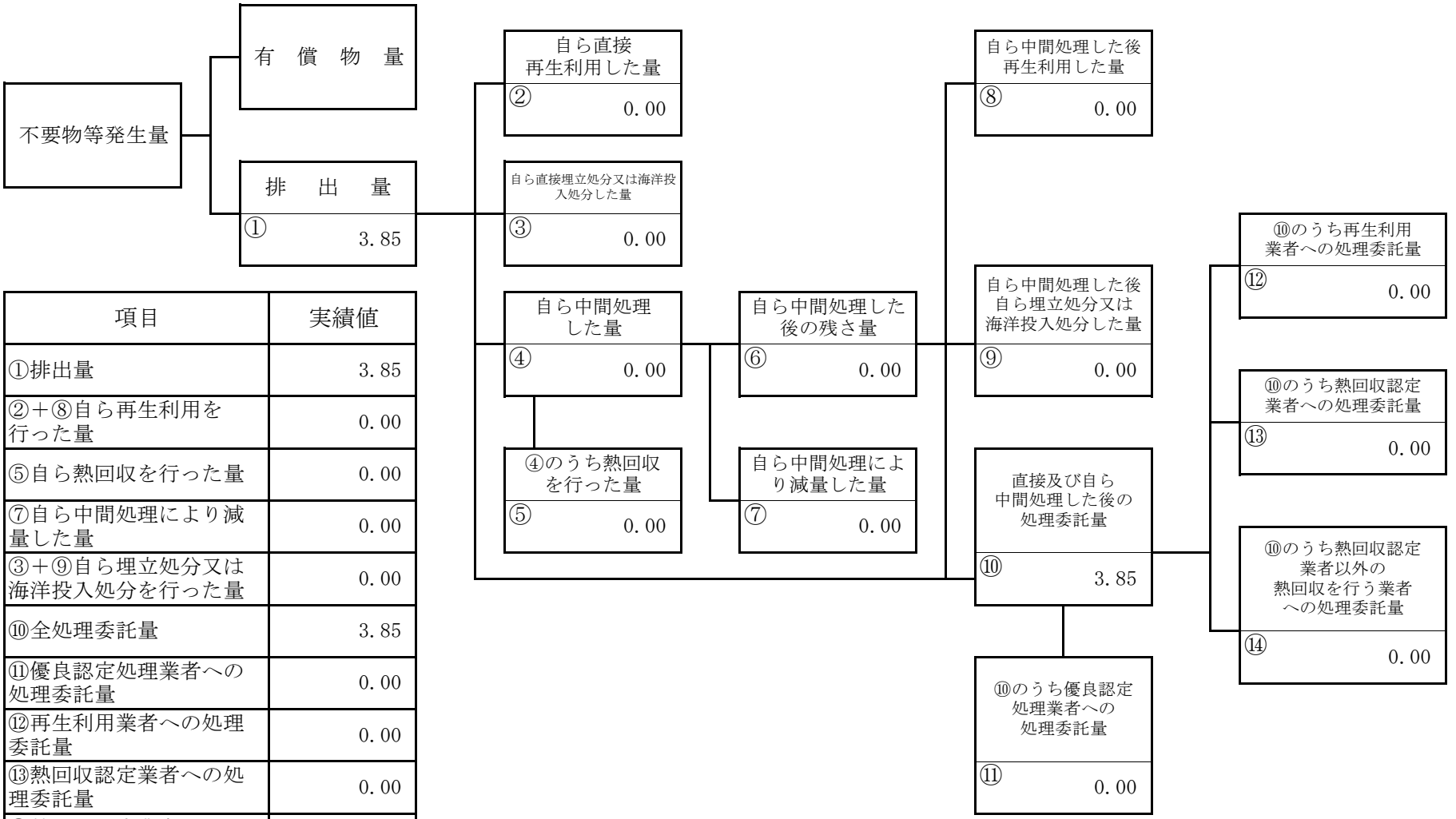


項目	実績値
①排出量	84.39
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	84.39
⑪優良認定処理業者への処理委託量	84.39
⑫再生利用業者への処理委託量	40.06
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： （石綿）がれき類 ）

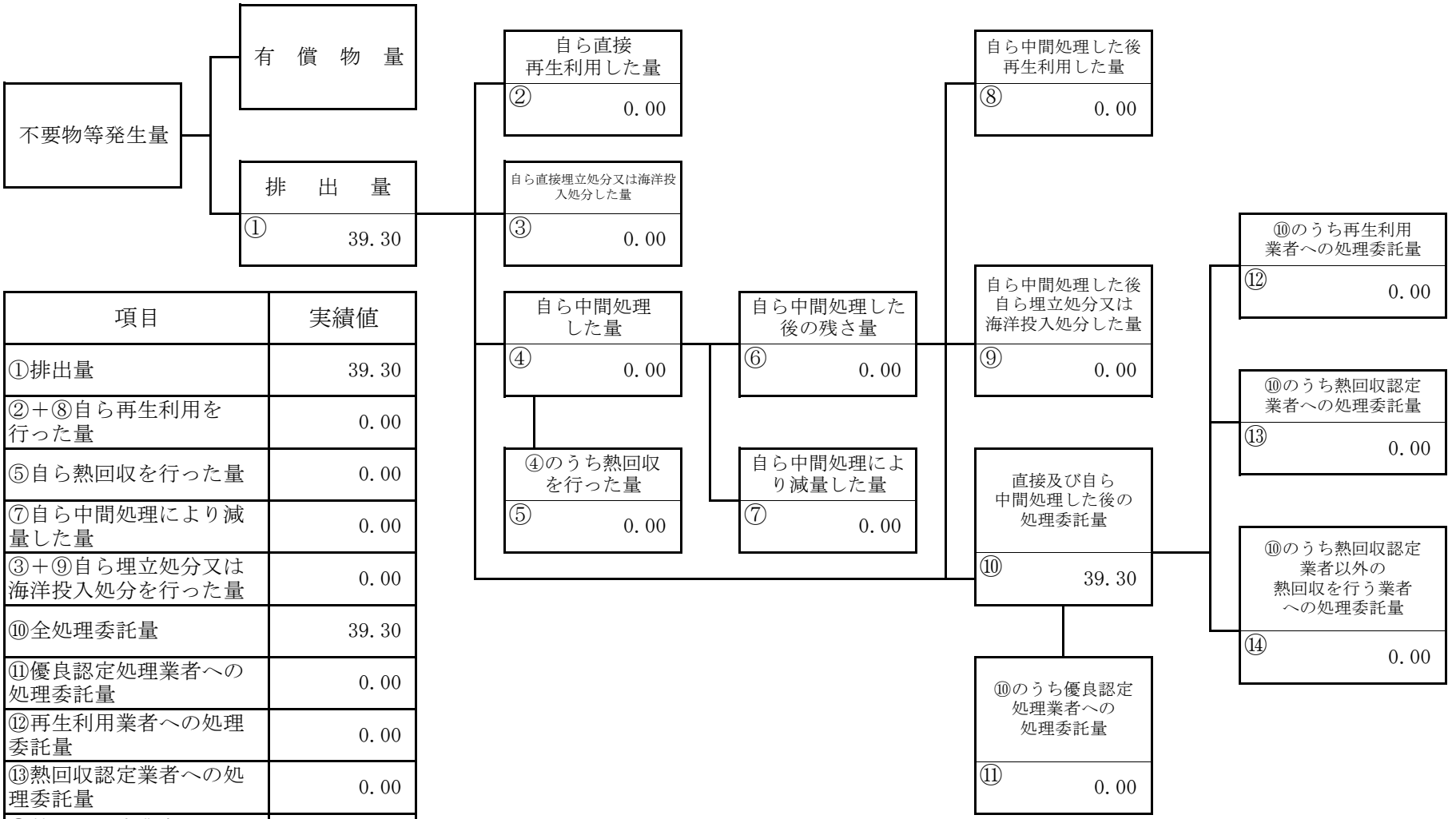


項目	実績値
①排出量	3.85
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3.85
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： （石綿）ガラス陶磁器くず ）

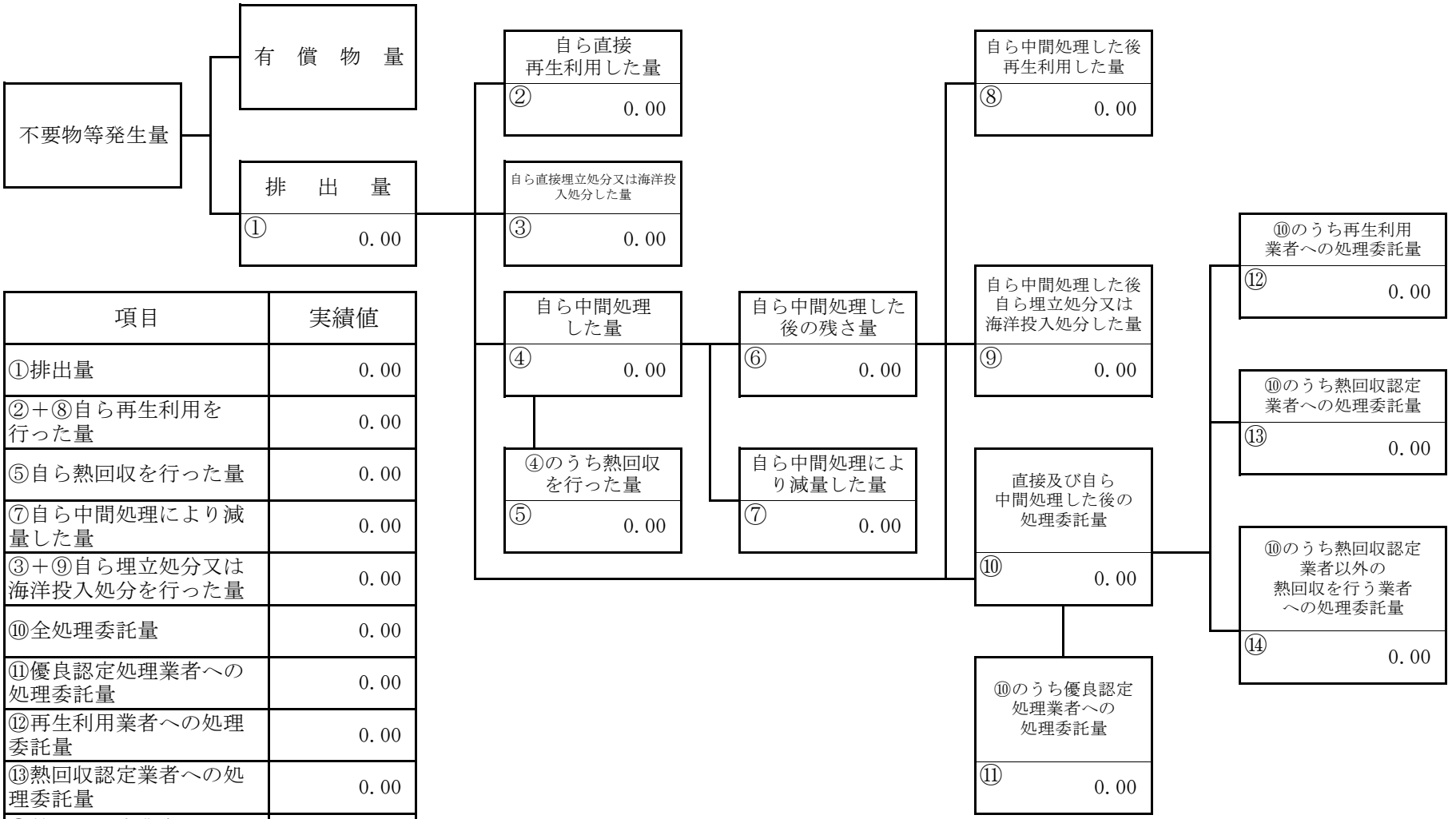


項目	実績値
①排出量	39.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	39.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： ）



項目	実績値
①排出量	0.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、（１）から（１４）に掲げる量を記入すること

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施工令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

令和7年6月22日　作成

千葉県知事　殿

令和6　年度　産業廃棄物処理計画実施状況報告書　別表1

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の**排出の抑制**に関する事項	自ら行う産業廃棄物の**再生利用**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**中間処理**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**埋立処分又は海洋投入分**に関する事項	産業廃棄物の**処理の委託**に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	769.84	0.00	22.60	0.00	0.00	0.00	747.24	0.00	747.24	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	10.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.10	0.00	10.10	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	234.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	234.86	141.34	199.64	0.00	0.00	35.22	0.00
ガラス・陶磁器	118.94	0.00	22.34	0.00	0.00	0.00	96.60	56.60	56.60	0.00	0.00	40.00	0.00
廃プラスチック類	84.35	0.00	28.21	0.00	0.00	0.00	56.14	22.89	56.14	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	16.65	0.00	9.63	0.00	0.00	0.00	7.02	7.02	7.02	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	37.66	0.00	37.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	673.14	0.00	31.57	0.00	0.00	0.00	641.57	200.20	641.58	0.00	0.00	-0.01	0.00
繊維くず	2.12	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	2.09	0.97	0.97	0.00	0.00	1.12	0.00
廃石膏ボード	92.00	0.00	58.37	0.00	0.00	0.00	33.63	29.88	33.63	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	1.02	0.00	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	84.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	84.39	84.39	40.06	0.00	0.00	44.33	0.00
（石綿）がれき類その他	3.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.85
（石綿）ガラス・陶磁器	39.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	39.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	39.30
（石綿）廃プラスチック類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2168.22	0.00	211.43	0.00	0.00	0.00	1956.79	543.29	1792.98	0.00	0.00	120.66	43.15

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7 年 6 月 26 日

都道府県知事
熊谷　俊人 千葉県知事　殿

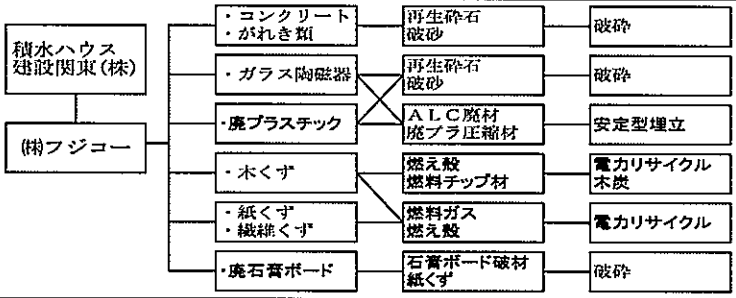
提出者
住　所　　埼玉県さいたま市見沼区東大宮6－14－10

氏　名
積水ハウス建設関東株式会社
代表取締役　木下　昭彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　048-686-7331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	積水ハウス建設関東株式会社
事業場の所在地	埼玉県さいたま市見沼区東大宮6－14－10 電話番号　048-686-7331
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06　総合工事業
②事業の規模	前年度　売上高　227億円
③従業員数	常務社員　154人（令和7年6月現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に関わる管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
	排出量	1033.51 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 新築施工現場では２７分別を行いＩＣタグによる廃棄物量の実測を行っている ・ 梱包材の簡素化 ・ 解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2のとおり	
	排出量	930.16 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 梱包材の簡素化、余剰材の削減 ・ プレカット品の推進（石膏ボード等） ・ 工法の改善（複合化率のアップ） ・ 解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組む		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 新築工事については、現場にて27分別を実施。解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 新築廃棄物は、現地にて27分別を実施し資源循環センターに搬入 ・ 資源循環センターでは、広域認定制度（第２７９号）に基づき運用 ・ 資源循環センターでは、持ち込まれた廃棄物を最大80品目に分別 ・ 資源循環センターでは、マテリアルリサイクル率９０％を達成		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 現状を維持して継続する		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	―	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和6　　年度）　実績】

産業廃棄物の種類	―	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和6　　年度）　実績】

産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
全処理委託量	1033.51 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	353.78 t	t
再生利用業者への処理委託量	964.81 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t

（これまでに実施した取組）

・ 当社規定のマニュアルに従い業者選定をし、契約を締結している
・ 契約を締結している中間最終処理業者の施設確認を半年に一回実施している

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別表2のとおり	
		全処理委託量	930.16 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	318.40 t	t
		再生利用業者への処理委託量	868.33 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t
		（今後実施する予定の取組） ・ 優良認定処理業者の採用を推進する		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月３０日までに提出すること

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は以下に従って記入すること。

(1)　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること

(2)　②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ、事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行いに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって、減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物への処理及び清掃に関する法律施工令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと

令和7年6月26日 作成

事業所名	積水ハウス建設関東株式会社

【 廃棄物管理体制図 】

廃棄物処理総括責任者	齋藤　光一（千葉支店長）
廃棄物処理総括責任者代理	森田　和史（千葉支店次長）
廃棄物処理責任者	小舟　玄二郎（安全品質指導課）
廃棄物処理副責任者	石井　悟（解体工事課）

（副責任者を任命する場合）

特別管理産業廃棄物管理責任者	4　名

適正処理推進員（現場監督員）	担当者	役職
	森田　和史	千葉支店次長
	石井　悟	チームリーダー
	大滝　正之	
	岡本　昭紀	

令和7年6月26日　作成

熊谷　俊人 千葉県知事　殿

令和6　年度　産業廃棄物処理計画実施状況報告書　別表1

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	290.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	290.36	0.00	290.36	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	77.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	77.05	7.25	77.05	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	109.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	109.33	101.63	77.21	0.00	0.00	32.12	0.00
ガラス・陶磁器	38.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	38.70	26.60	27.10	0.00	0.00	11.60	0.00
廃プラスチック類	20.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.06	7.35	20.06	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	6.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.55	0.11	6.55	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	3.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.30	0.63	0.63	0.00	0.00	2.67	0.00
木くず	178.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	178.97	135.63	178.97	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.24	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	19.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	19.50	16.50	19.50	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	268.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	268.94	43.53	267.14	0.00	0.00	1.80	0.00
（石綿）がれき類その他	2.96	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.96	2.96	0.00	0.00	0.00	0.00	2.96
（石綿）ガラス・陶磁器	17.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.20	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.20
（石綿）廃プラスチック類	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1033.51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1033.51	353.78	964.81	0.00	0.00	48.19	20.51

令和7年6月26日　作成

熊谷　俊人 千葉県知事　殿

令和7　年度　産業廃棄物処理計画書　別表2

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用する量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	261.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	261.32	0.00	261.32	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	69.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	69.35	6.53	69.35	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	98.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	98.40	91.47	69.49	0.00	0.00	28.91	0.00
ガラス・陶磁器	34.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	34.83	23.94	24.39	0.00	0.00	10.44	0.00
廃プラスチック類	18.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	18.05	6.62	18.05	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	5.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.90	0.10	5.90	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	2.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.97	0.57	0.57	0.00	0.00	2.40	0.00
木くず	161.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	161.07	122.07	161.07	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.22	0.22	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	17.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.55	14.85	17.55	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）がれき類その他	242.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	242.05	39.18	240.43	0.00	0.00	1.62	0.00
（石綿）ガラス・陶磁器	2.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.66	2.66	0.00	0.00	0.00	0.00	2.66
（石綿）廃プラスチック類	15.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.48	9.90	0.00	0.00	0.00	0.00	15.48
（石綿）金属くず	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.32	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.32
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	930.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	930.16	318.40	868.33	0.00	0.00	43.37	18.46

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7 年 6 月 26 日

都道府県知事
熊谷　俊人 千葉県知事　殿

提出者
住　所　　埼玉県さいたま市見沼区東大宮6－14－10

氏　名
積水ハウス建設関東株式会社
代表取締役　木下　昭彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　048-686-7331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第１０項の規定に基づき、　令和6　年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	積水ハウス建設関東株式会社
事業場の所在地	埼玉県さいたま市見沼区東大宮6－14－10 電話番号　048-686-7331
事業の種類	06　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

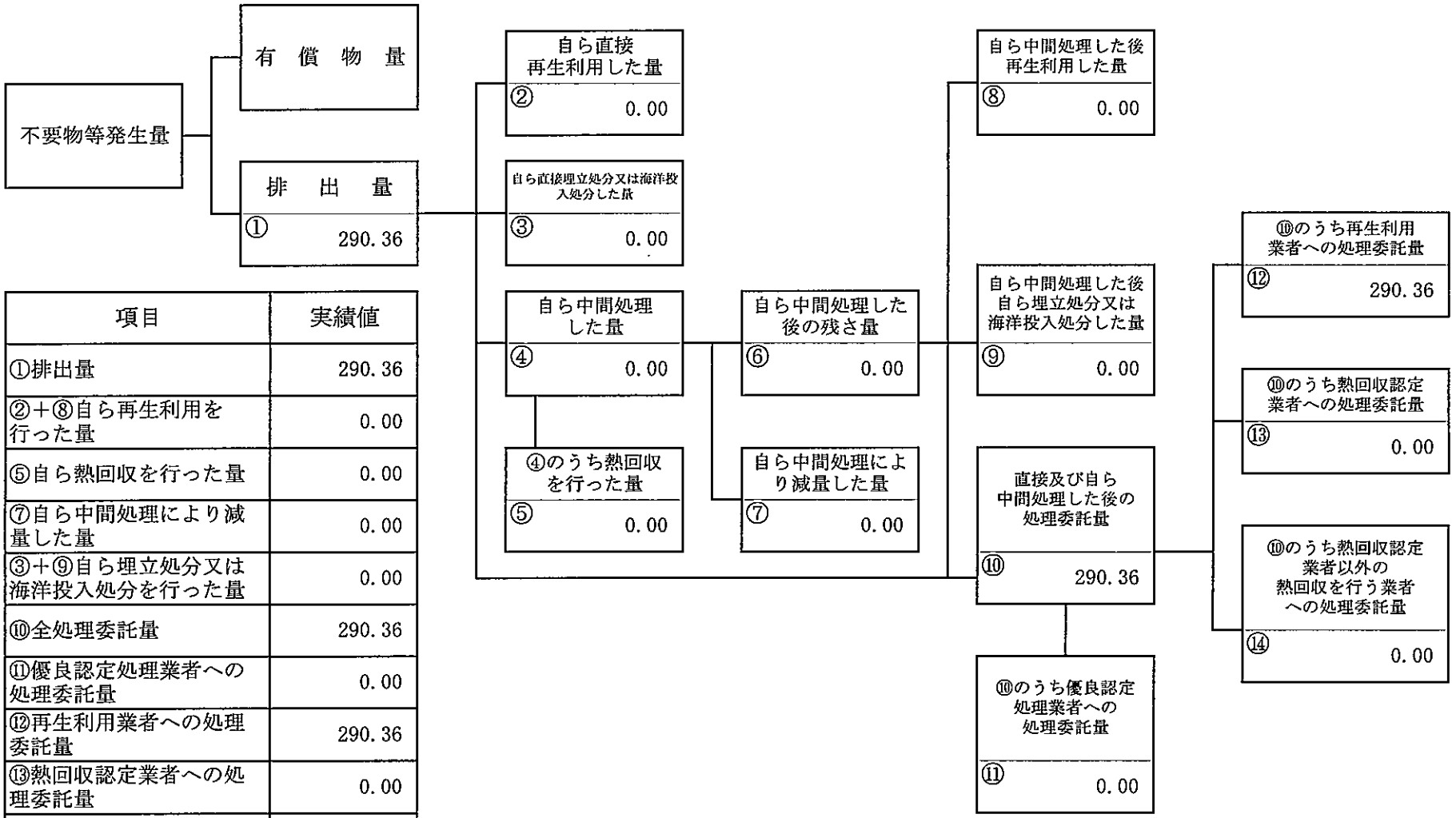
項目	目標値	項目	目標値
排出量	0.00 t	全処理委託量	0.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： コンクリート ）

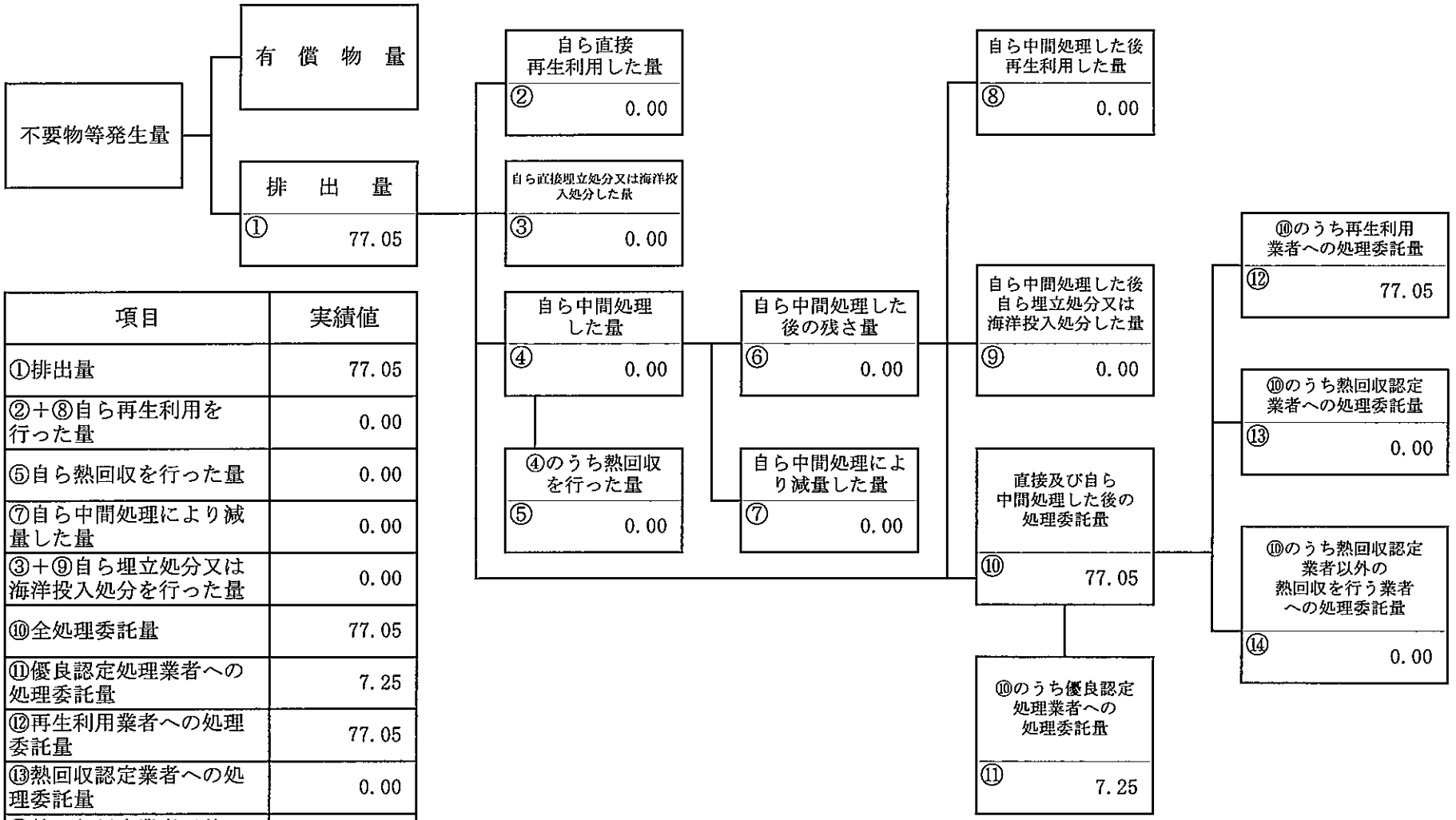


項目	実績値
①排出量	290.36
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	290.36
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	290.36
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： アスコン ）

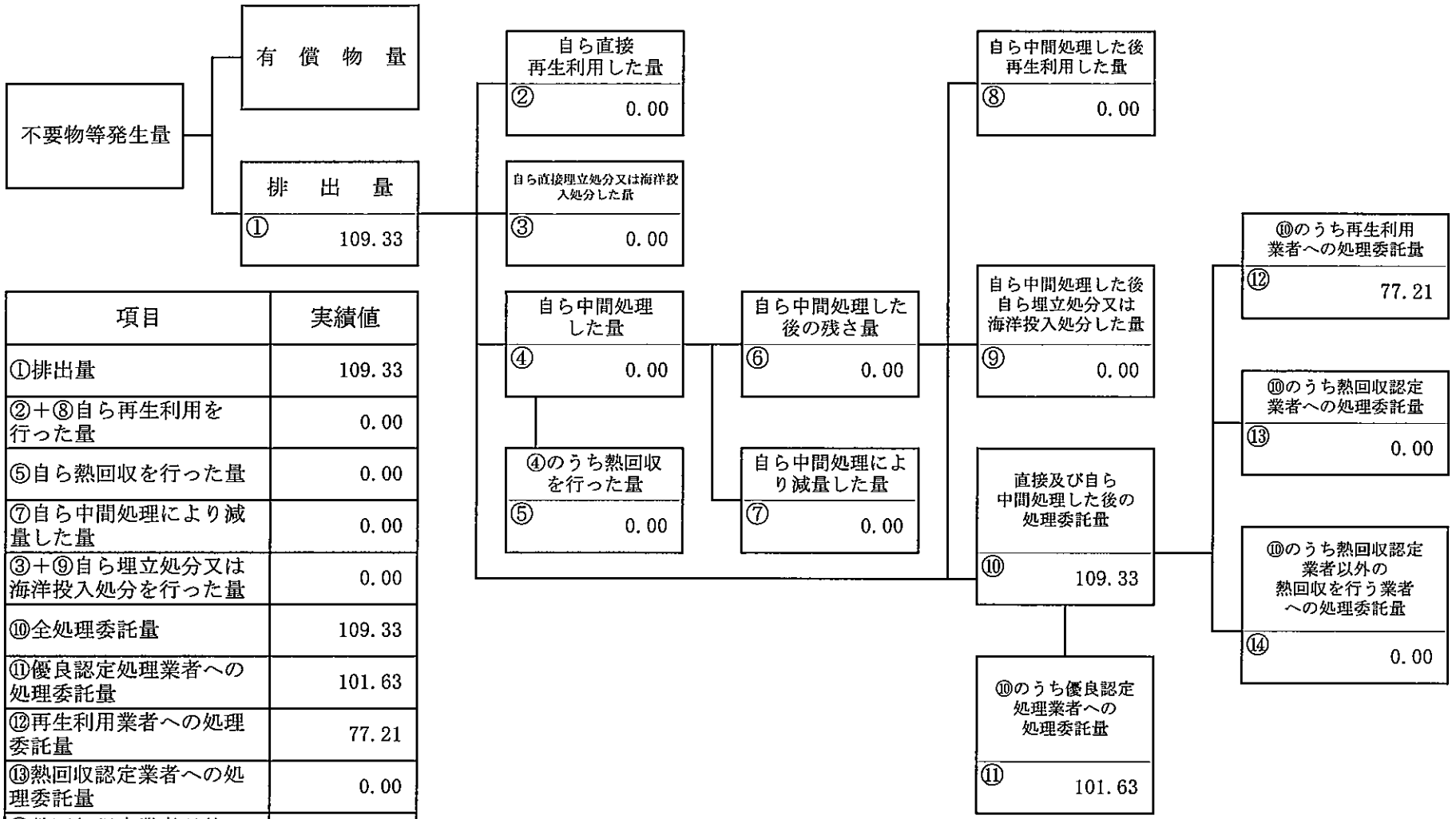


項目	実績値
①排出量	77.05
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	77.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.25
⑫再生利用業者への処理委託量	77.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

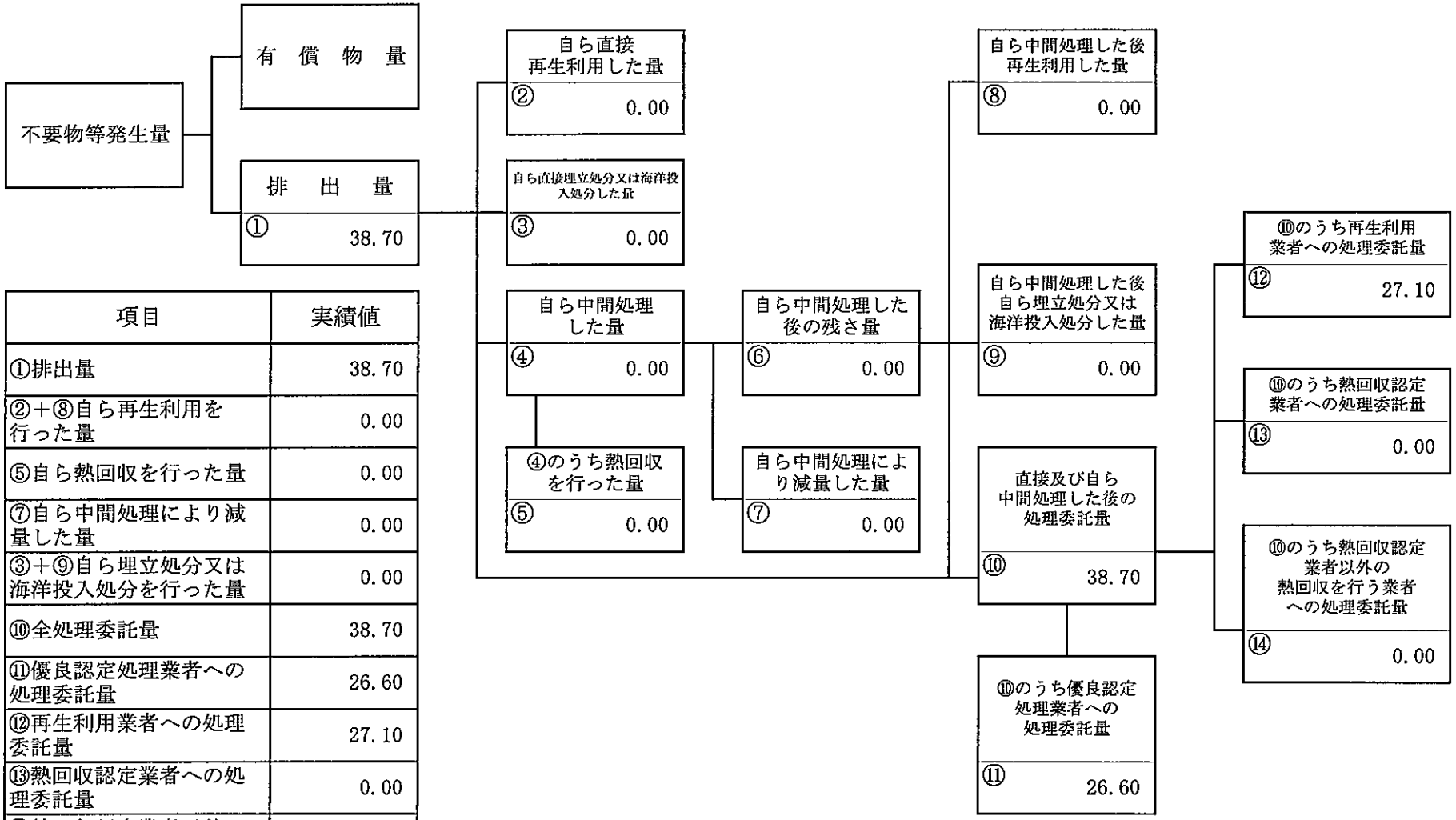
（ 産業廃棄物の種類： がれき類 ）



項目	実績値
①排出量	109.33
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	109.33
⑪優良認定処理業者への処理委託量	101.63
⑫再生利用業者への処理委託量	77.21
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： ガラス陶磁器くず ）

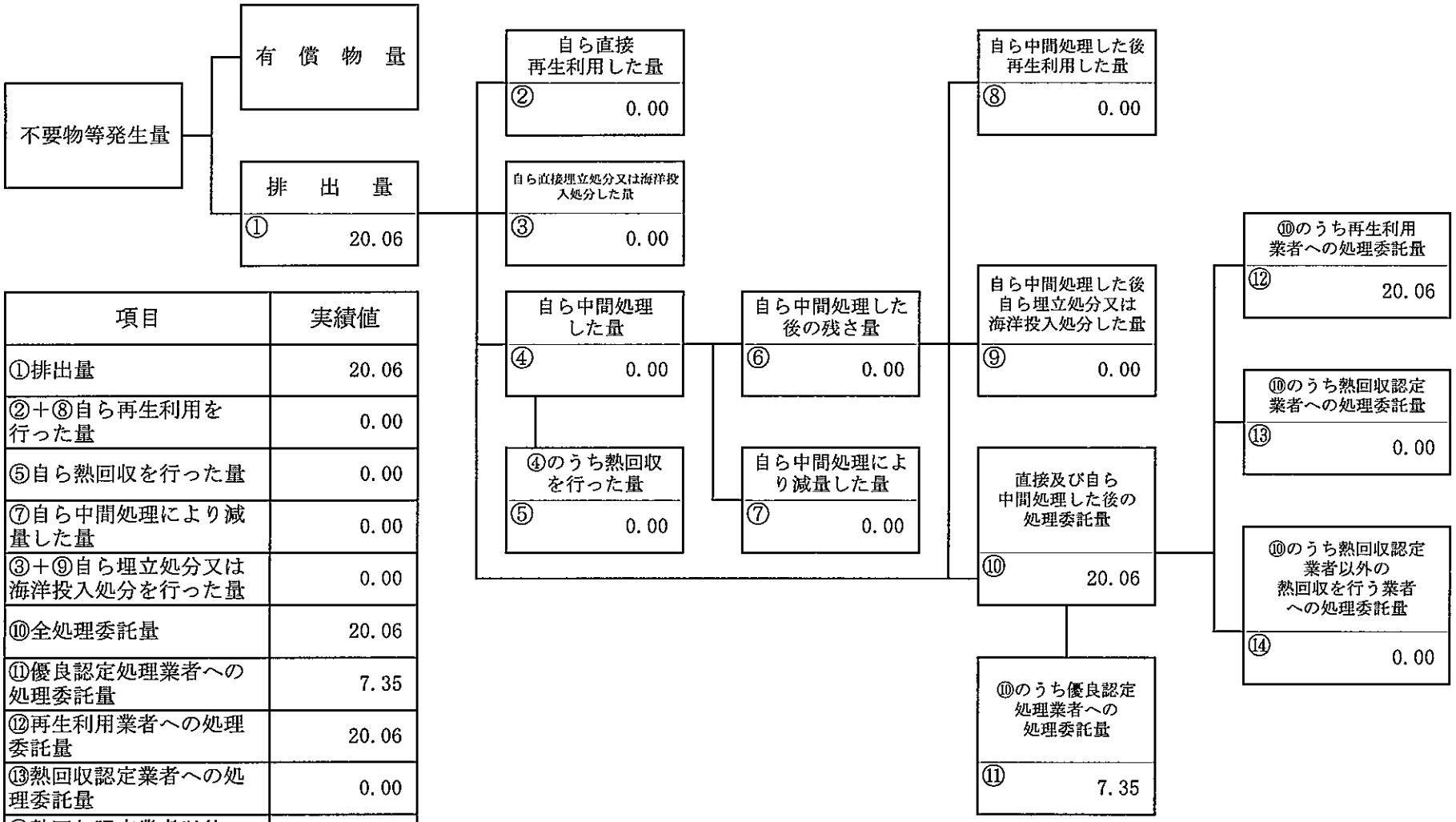


項目	実績値
①排出量	38.70
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	38.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.60
⑫再生利用業者への処理委託量	27.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

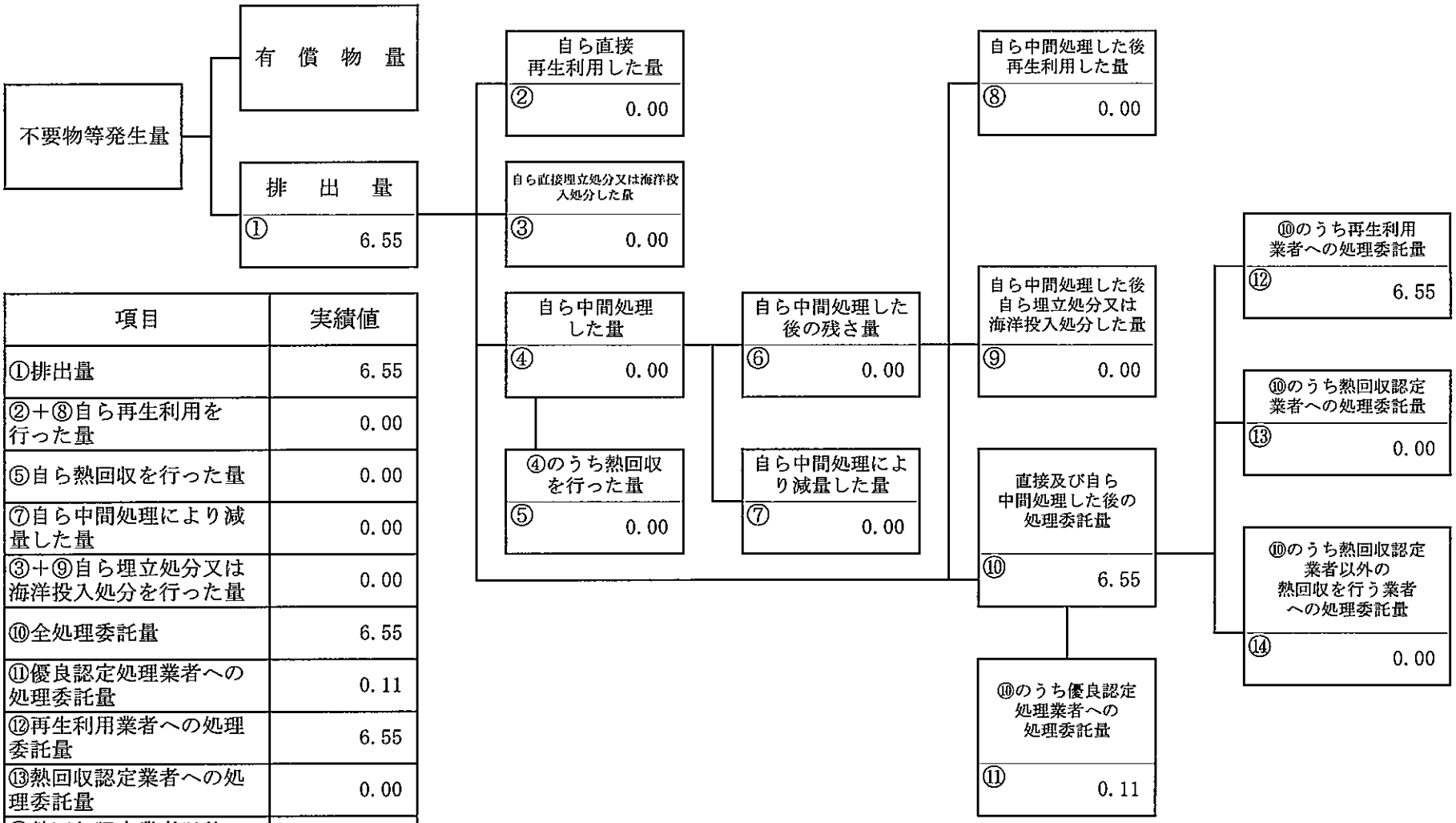
（ 産業廃棄物の種類： 廃プラスチック ）



項目	実績値
①排出量	20.06
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	20.06
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.35
⑫再生利用業者への処理委託量	20.06
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

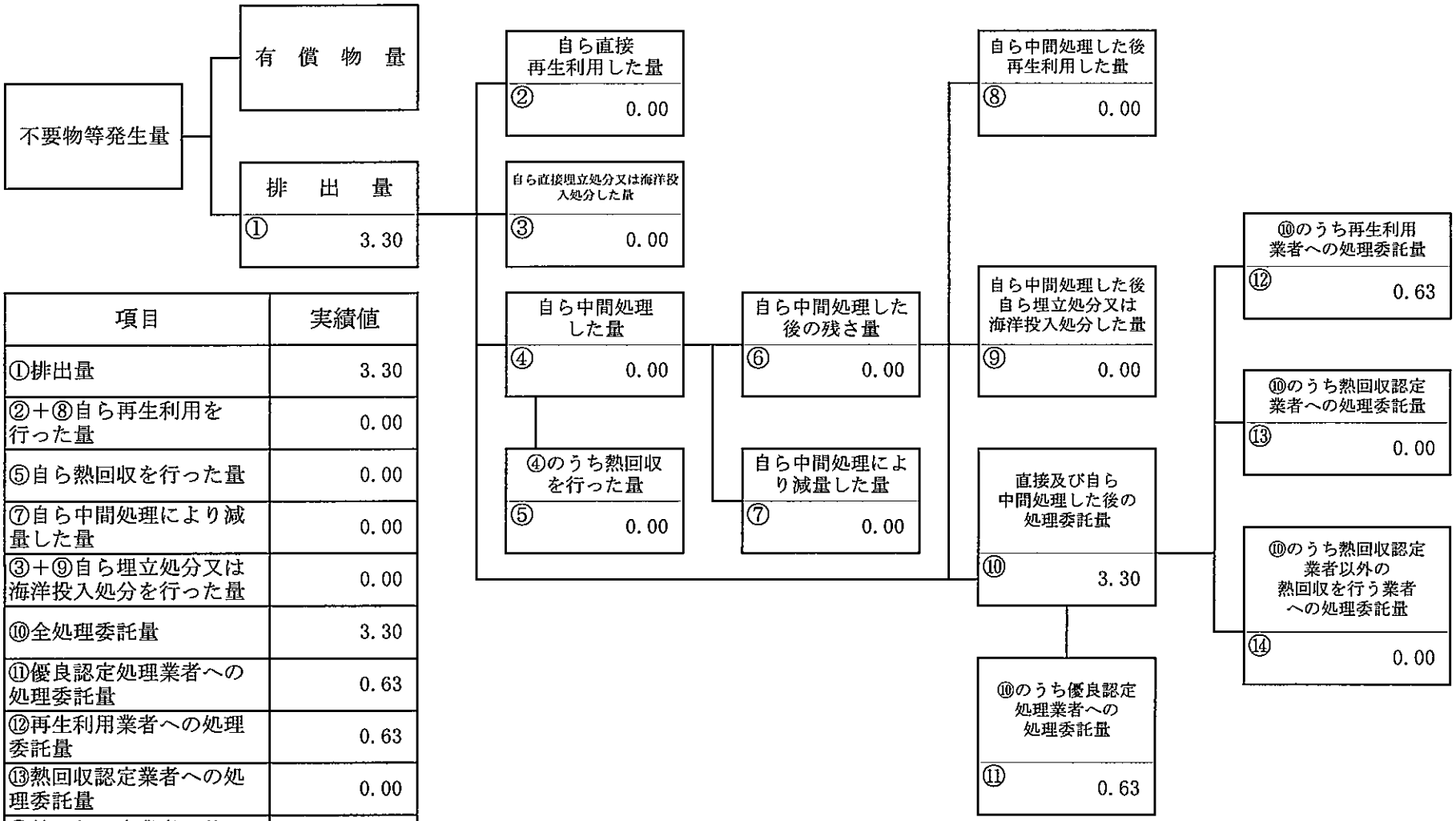
（ 産業廃棄物の種類： 金属くず ）



項目	実績値
①排出量	6.55
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	6.55
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.11
⑫再生利用業者への処理委託量	6.55
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

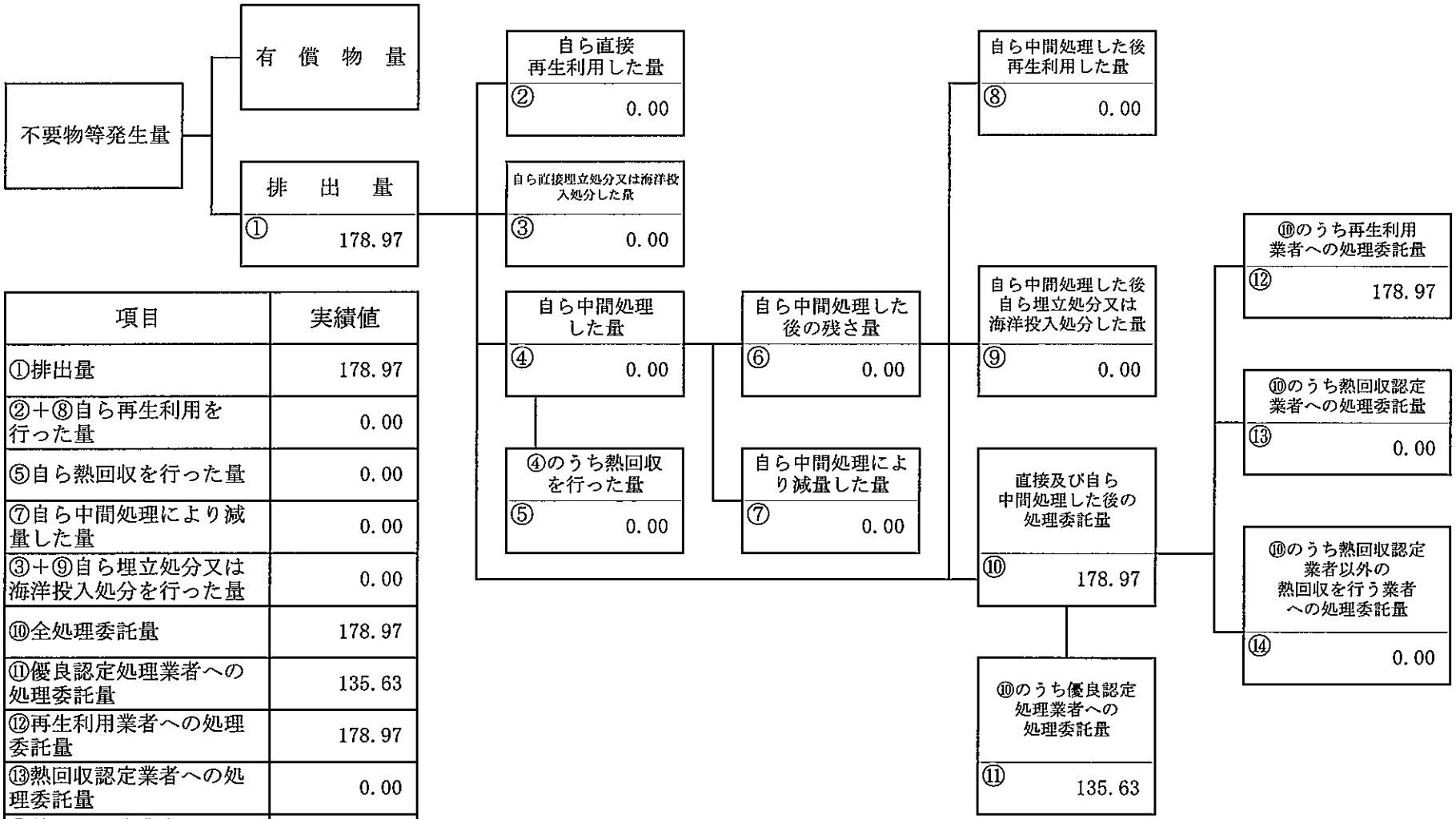
（ 産業廃棄物の種類： 紙くず ）



項目	実績値
①排出量	3.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	3.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.63
⑫再生利用業者への処理委託量	0.63
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 木くず ）

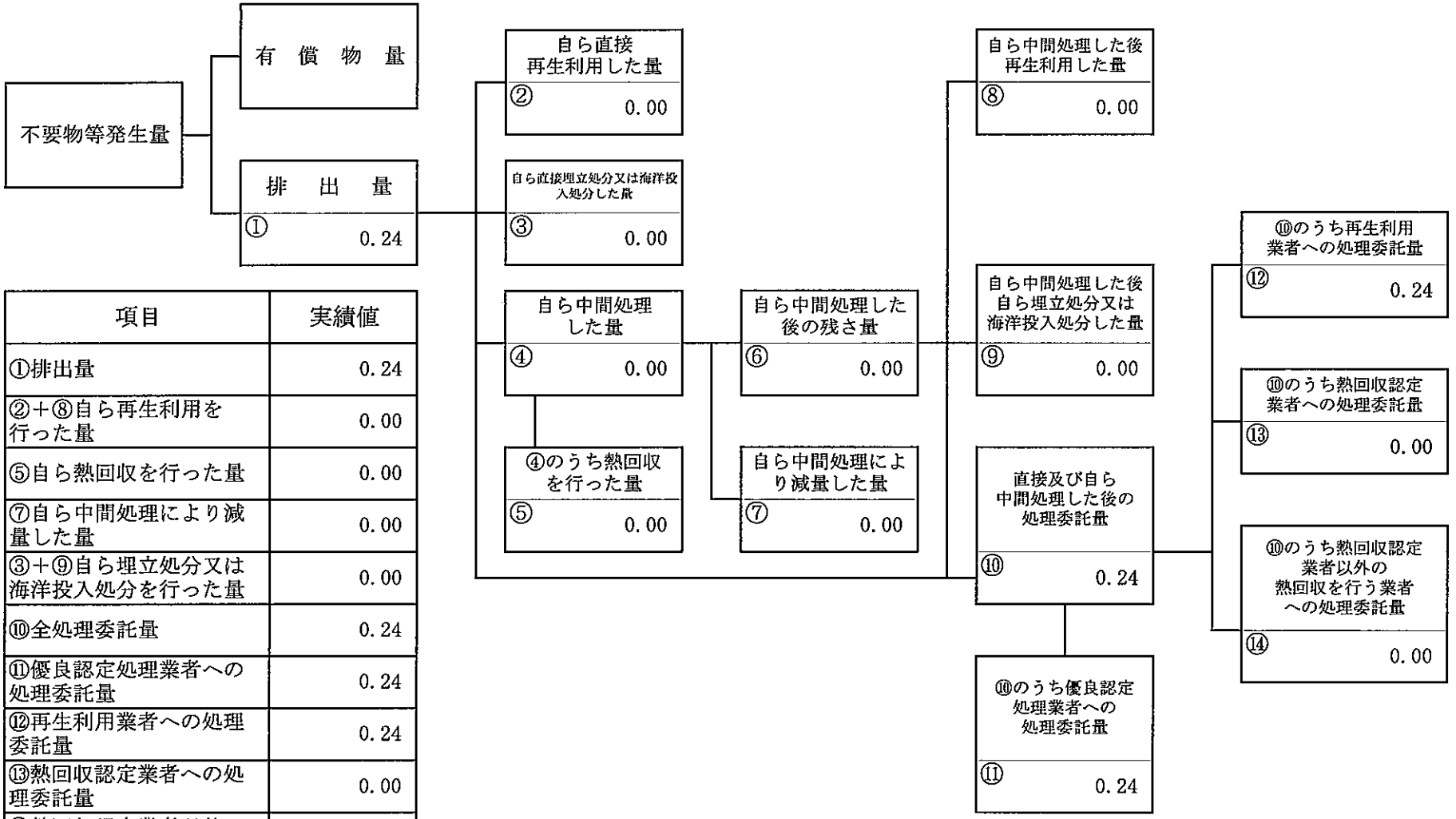


項目	実績値
①排出量	178.97
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	178.97
⑪優良認定処理業者への処理委託量	135.63
⑫再生利用業者への処理委託量	178.97
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 繊維くず ）

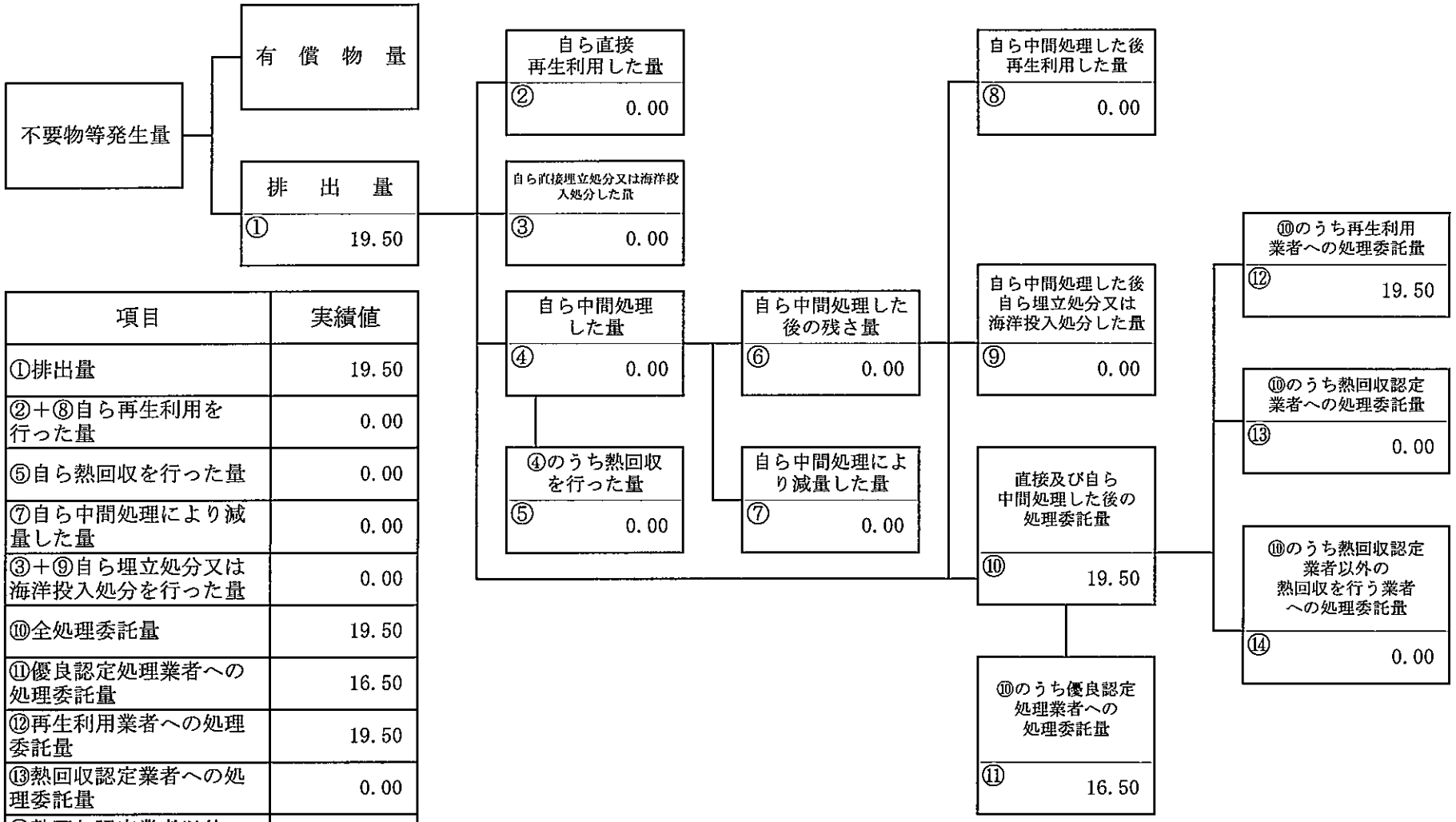


項目	実績値
①排出量	0.24
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.24
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.24
⑫再生利用業者への処理委託量	0.24
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード ）

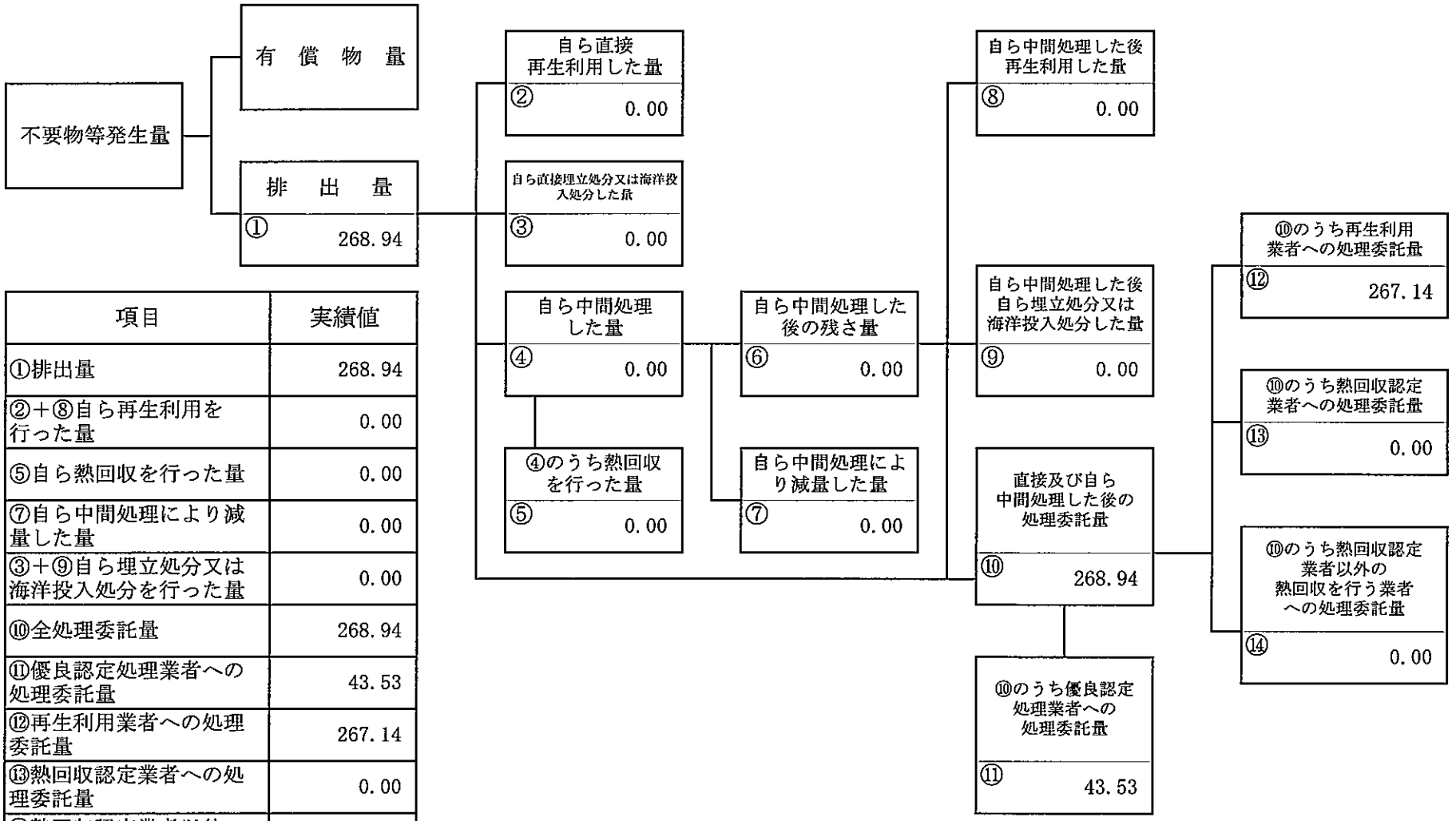


項目	実績値
①排出量	19.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	19.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.50
⑫再生利用業者への処理委託量	19.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物 ）

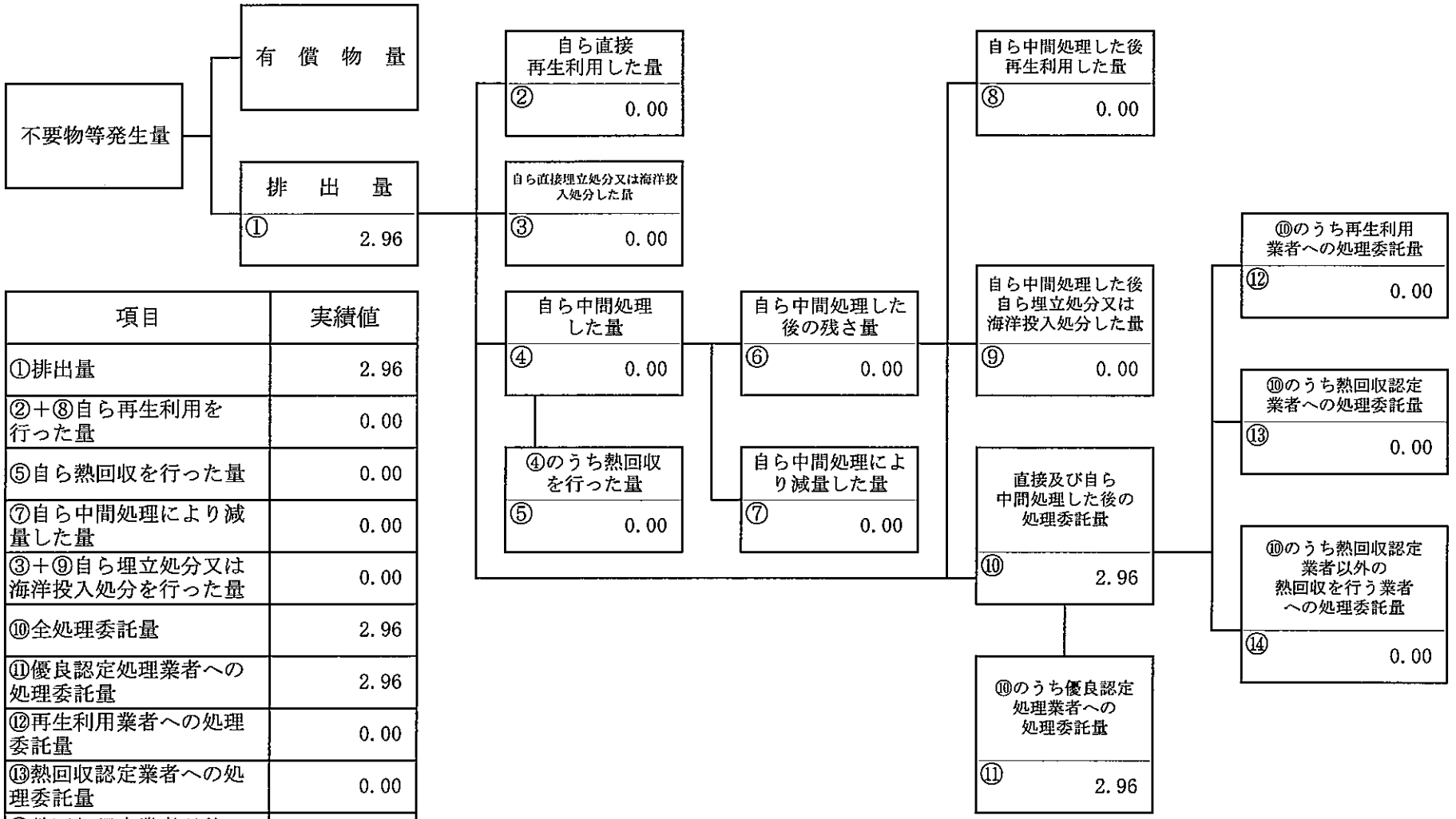


項目	実績値
①排出量	268.94
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	268.94
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.53
⑫再生利用業者への処理委託量	267.14
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： （石綿）がれき類 ）

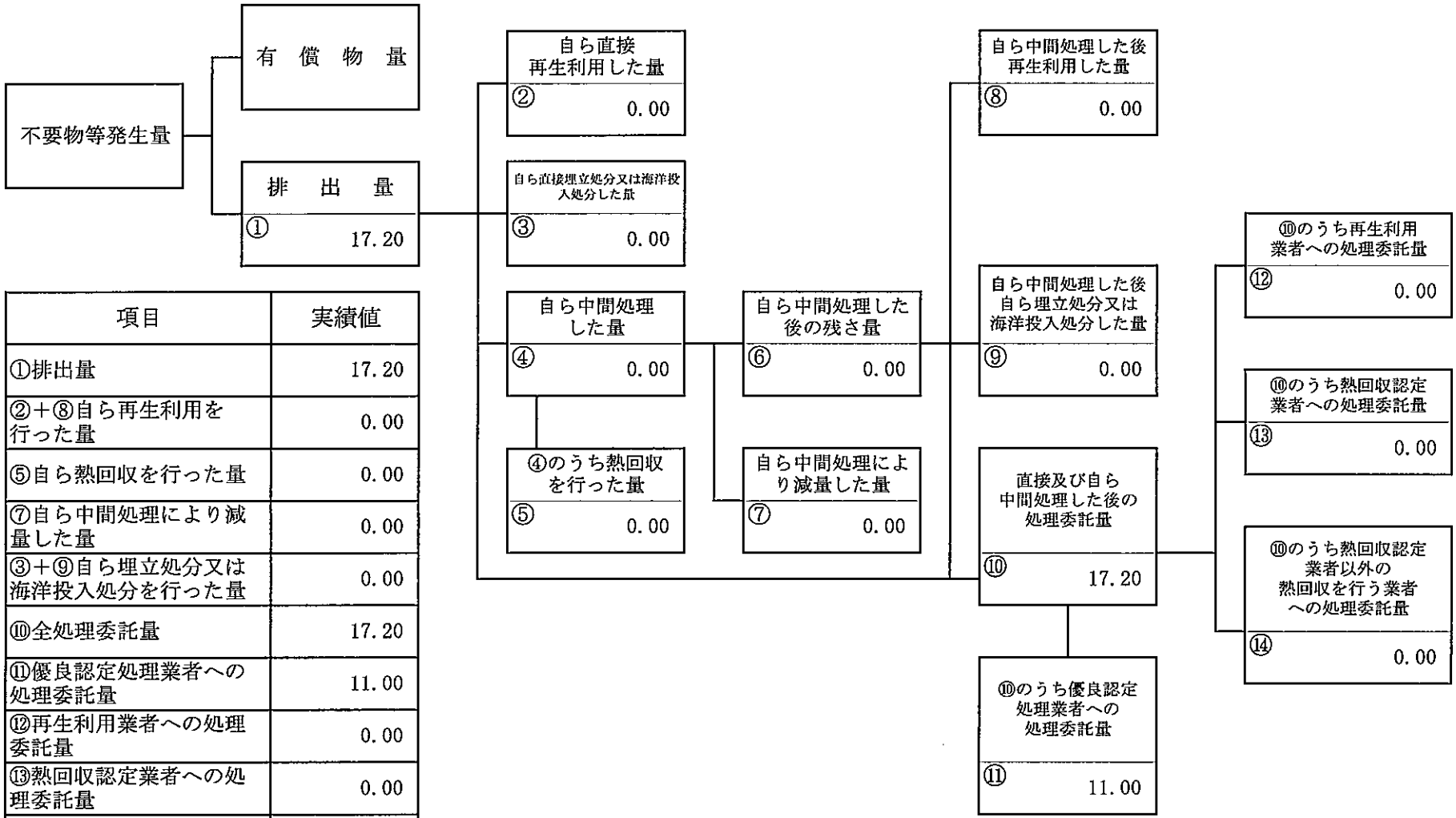


項目	実績値
①排出量	2.96
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.96
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： （石綿）ガラス陶磁器くず ）

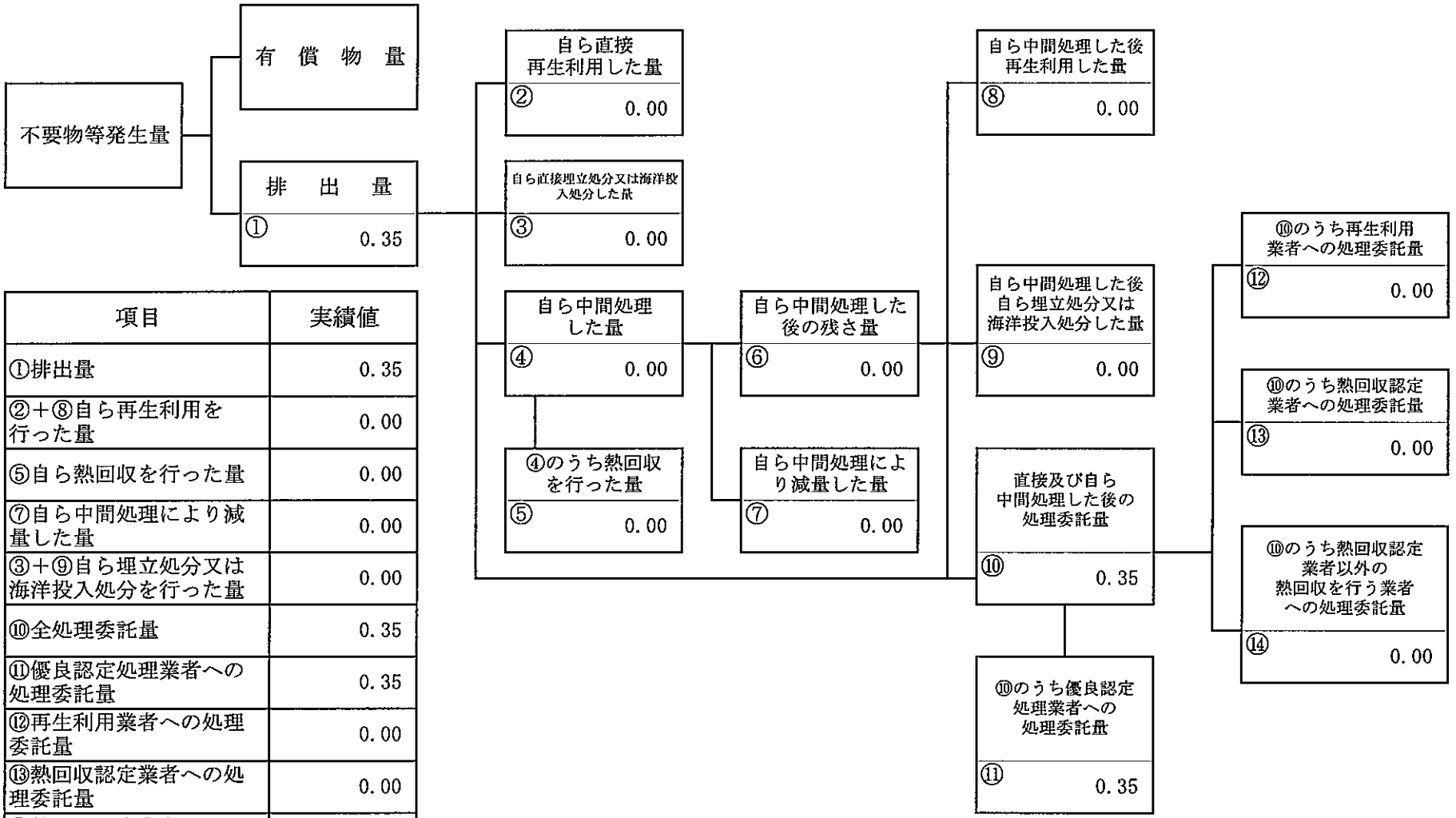


項目	実績値
①排出量	17.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	17.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： （石綿）廃プラスチック ）

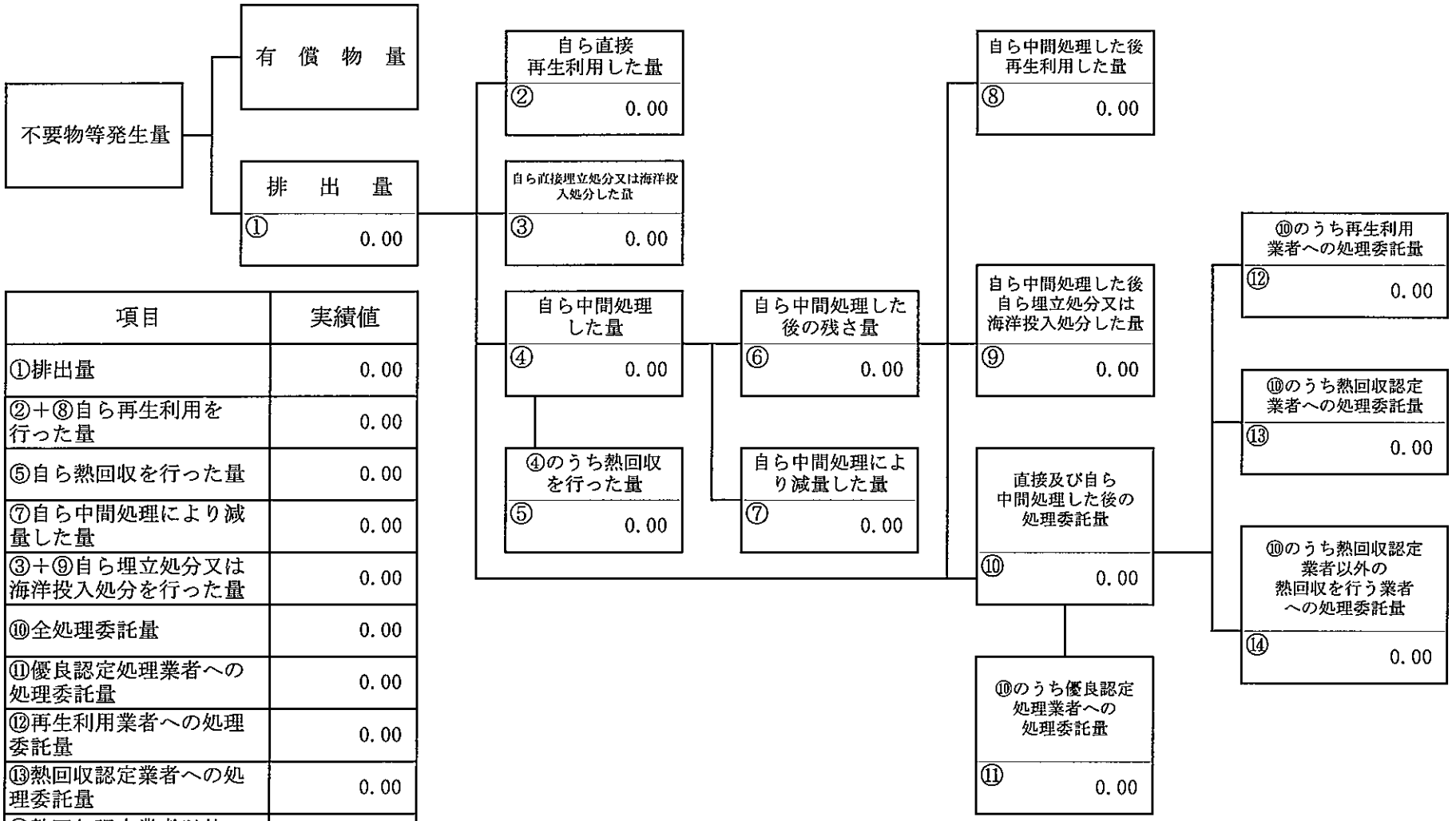


項目	実績値
①排出量	0.35
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.35
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.35
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： ）



項目	実績値
①排出量	0.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、（１）から（１４）に掲げる量を記入すること

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施工令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

令和7年6月26日　作成

熊谷　俊人 千葉県知事　殿

令和6　年度　産業廃棄物処理計画実施状況報告書　別表1

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-②）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-②-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	290.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	290.36	0.00	290.36	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	77.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	77.05	7.25	77.05	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	109.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	109.33	101.63	77.21	0.00	0.00	32.12	0.00
ガラス・陶磁器	38.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	38.70	26.60	27.10	0.00	0.00	11.60	0.00
廃プラスチック類	20.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.06	7.35	20.06	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	6.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.55	0.11	6.55	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	3.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.30	0.63	0.63	0.00	0.00	2.67	0.00
木くず	178.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	178.97	135.63	178.97	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.24	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	19.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	19.50	16.50	19.50	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	268.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	268.94	43.53	267.14	0.00	0.00	1.80	0.00
（石綿）がれき類その他	2.96	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.96	2.96	0.00	0.00	0.00	0.00	2.96
（石綿）ガラス・陶磁器	17.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.20	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.20
（石綿）廃プラスチック類	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1033.51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1033.51	353.78	964.81	0.00	0.00	48.19	20.51

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7 年 6 月 20 日

都道府県知事
（市長）　千葉県知事　殿

提出者
住　所　千葉県千葉市中央区問屋町１－３５
千葉ポートサイドタワー１０階
氏　名　積水ハウス株式会社
千葉支店
島田　正彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-246-3337

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区問屋町１－３５ 千葉ポートサイドタワー１０階　電話番号　043-246-3337
計画期間	令和7年4月1日　～ 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６　総合工事業
②事業の規模	¥11,210,082,000
③従業員数	125名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本工業規格 Ａ列４番）

令和7年6月20日 作成

事業所名	千葉支店

【 廃棄物管理体制図 】

廃棄物処理総括責任者	支店長
廃棄物処理総括責任者代理	副支店長
廃棄物処理責任者	建築長
廃棄物処理副責任者	

(副責任者を任命する場合)

特別管理産業廃棄物管理責任者	1　名

適正処理推進員(現場監督員)	担当者	役職
	建築長	課長
	建築担当者	係長
	建築担当者	主任
	建築担当者	
	建築担当者	
	建築担当者	
	建築担当者	

令和7年6月20日 作成

千葉県知事　殿

令和6　年度　産業廃棄物処理計画実施状況報告書　別表1

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の**排出の抑制**に関する事項	自ら行う産業廃棄物の**再生利用**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**中間処理**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**埋立処分又は海洋投入分**に関する事項	産業廃棄物の**処理の委託**に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	563.32	0.00	12.20	0.00	0.00	0.00	551.12	102.12	551.12	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	25.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.40	0.00	25.40	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	96.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	96.06	96.05	96.05	0.00	0.00	0.01	0.00
ガラス・陶磁器	56.82	0.00	25.12	0.00	0.00	0.00	31.70	31.70	31.70	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	52.92	0.00	42.91	0.00	0.00	0.00	10.01	8.79	10.01	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	16.38	0.00	16.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	54.36	0.00	54.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	384.60	0.00	59.71	0.00	0.00	0.00	324.89	303.44	324.89	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	0.76	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.71	0.71	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	116.02	0.00	99.82	0.00	0.00	0.00	16.20	16.20	16.20	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	117.96	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	117.96	117.96	117.96	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）がれき類その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）ガラス・陶磁器	16.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	16.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	16.60
（石綿）廃プラスチック類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1501.20	0.00	310.55	0.00	0.00	0.00	1190.65	676.97	1174.04	0.00	0.00	0.01	16.60

令和7年6月20日　作成

千葉県知事　殿

令和7　年度　産業廃棄物処理計画書　別表2

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の**排出の抑制**に関する事項	自ら行う産業廃棄物の**再生利用**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**中間処理**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**埋立処分又は海洋投入分**に関する事項	産業廃棄物の**処理の委託**に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用する量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	506.99	0.00	10.98	0.00	0.00	0.00	496.01	91.91	496.01	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	22.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22.86	0.00	22.86	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	86.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	86.45	86.45	86.45	0.00	0.00	0.01	0.00
ガラス・陶磁器	51.14	0.00	22.61	0.00	0.00	0.00	28.53	28.53	28.53	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	47.63	0.00	38.62	0.00	0.00	0.00	9.01	7.91	9.01	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	14.74	0.00	14.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	48.92	0.00	48.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	346.14	0.00	53.74	0.00	0.00	0.00	292.40	273.10	292.40	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	0.68	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.63	0.63	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	104.42	0.00	89.84	0.00	0.00	0.00	14.58	14.58	14.58	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	106.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	106.16	106.16	106.16	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）がれき類その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）ガラス・陶磁器	14.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14.94
（石綿）廃プラスチック類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1351.08	0.00	279.50	0.00	0.00	0.00	1071.59	609.27	1056.64	0.00	0.00	0.01	14.94

産業廃棄物の処理に関わる管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
	排出量	1501.20 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 新築施工現場では２７分別を行いQRラベルによる廃棄物量の実測を行っている ・ 梱包材の簡素化 ・ 解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2のとおり	
	排出量	1351.08 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 梱包材の簡素化、余剰材の削減 ・ プレカット品の推進（石膏ボード等） ・ 工法の改善（複合化率のアップ） ・ 解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組む		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 新築工事については、現場にて27分別を実施。解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状維持

産業廃棄物の一連の処理の工程　　（別紙1-Ⅰ）

解体工事

コンクリート	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
コンクリート	→	破砕　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
アスコン	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生アスファルト
がれき類その他	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
がれき類その他	→	破砕　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
がれき類その他	→	破砕　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
ガラス・陶磁器	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
ガラス・陶磁器	→	破砕　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
ガラス・陶磁器	→	破砕　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
廃プラスチック類	→	破砕　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
廃プラスチック類	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
廃プラスチック類	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
廃プラスチック類	→	圧縮　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
廃プラスチック類	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
金属くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
金属くず	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
金属くず	→	切断　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
紙くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用
紙くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生利用

紙くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
紙くず	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
木くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
木くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
木くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用
木くず	→	焼却　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
繊維くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
繊維くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
繊維くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用
繊維くず	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
廃石膏ボード	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
廃石膏ボード	→	破砕　（処理業者に委託）	→	焼却
廃石膏ボード	→	破砕　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
廃石膏ボード	→	切断　（処理業者に委託）	→	管理型埋立
建設混合廃棄物	→	破砕　（処理業者に委託）	→	再生
がれき類（廃石	→	埋立　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
ガラス・陶磁器（廃石	→	埋立　（処理業者に委託）	→	安定型埋立
水銀使用製品産業廃棄物	→	破砕　（処理業者に委託）	→	再生原料

産業廃棄物の一連の処理の工程　　（別紙1-Ⅱ）

新築工事

コンクリート	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
アスコン	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
がれき類その他	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
ガラス・陶磁器	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
廃プラスチック類	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
金属くず	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
紙くず	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
木くず	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
繊維くず	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
廃石膏ボード	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
その他（混合廃棄物	→	積水ハウスの広域認定第279号による再資源化処理	→	再生原料
	→		→	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	310.55 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 新築廃棄物は、現地にて27分別を実施し資源循環センターに搬入 ・ 資源循環センターでは、広域認定制度（第２７９号）に基づき運用 ・ 資源循環センターでは、持ち込まれた廃棄物を最大80品目に分別 ・ 資源循環センターでは、マテリアルリサイクル率９０％を達成		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	279.50 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 現状を維持して継続する		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　令和6　　年度）　実績】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和6　　年度）　実績】

産業廃棄物の種類	―	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和6　　年度）　実績】

産業廃棄物の種類	別表1のとおり	
全処理委託量	1190.65 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	676.97 t	t
再生利用業者への処理委託量	1174.04 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t

（これまでに実施した取組）

・ 当社規定のマニュアルに従い業者選定をし、契約を締結している
・ 契約を締結している中間最終処理業者の施設確認を半年に一回実施している

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		別表2のとおり	
		全処理委託量		1071.59 t	t
			優良認定処理業者への処理委託量	609.27 t	t
			再生利用業者への処理委託量	1056.64 t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t
		（今後実施する予定の取組） ・ 優良認定処理業者の採用を推進する			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月３０日までに提出すること

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は以下に従って記入すること。

(1)　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること

(2)　②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ、事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行いに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって、減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物への処理及び清掃に関する法律施工令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7 年 6 月 20 日

都道府県知事
（市長）　千葉県知事　殿

提出者
住　所　千葉県千葉市中央区問屋町１－３５
千葉ポートサイドタワー１０階
氏　名　積水ハウス株式会社
千葉支店
島田　正彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-246-3337

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第１０項の規定に基づき、　令和6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区問屋町１－３５ 千葉ポートサイドタワー１０階　電話番号　043-246-3337
事業の種類	０６　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　～ 令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

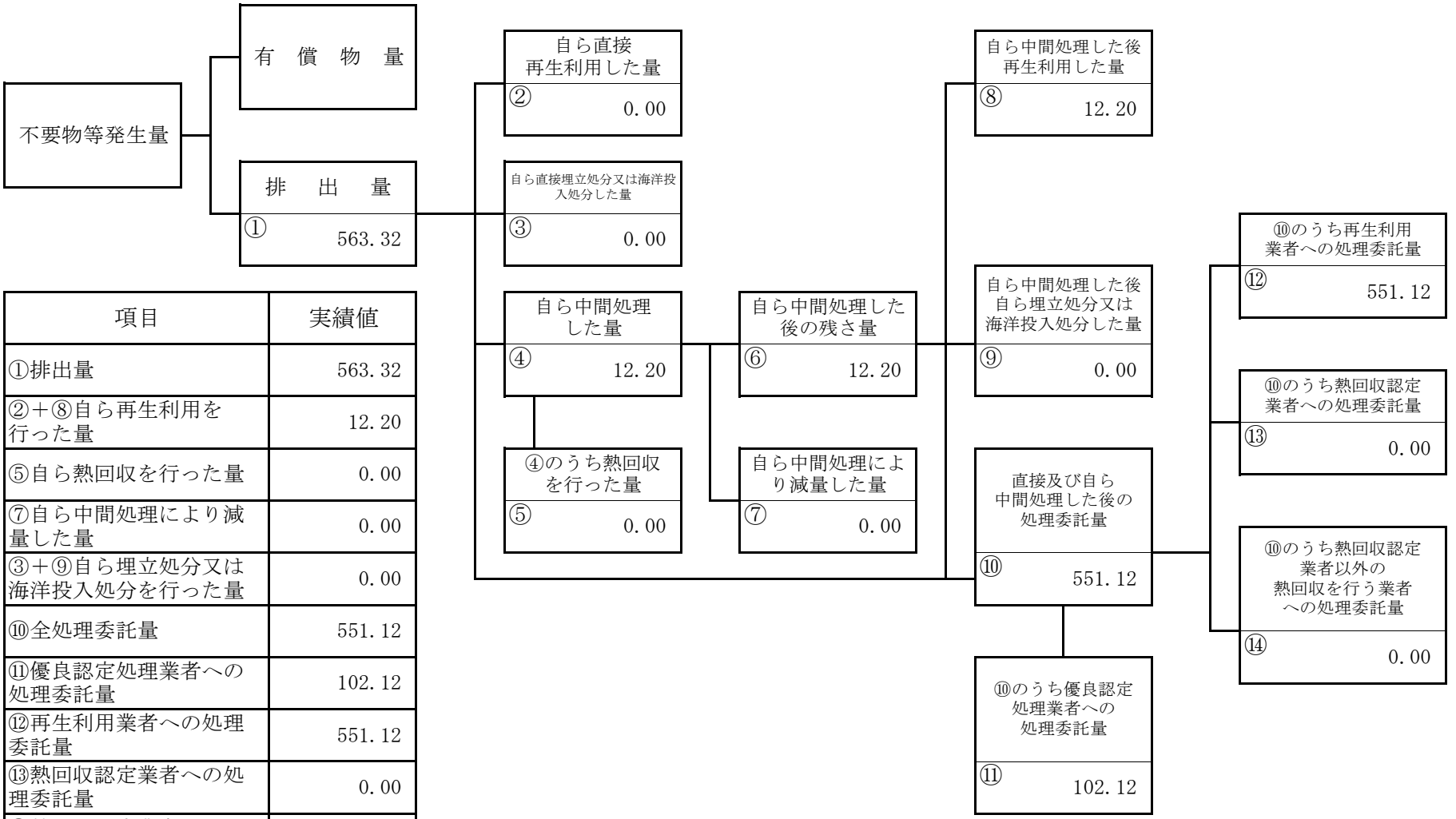
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1521.56　t	全処理委託量	1181.21　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	340.34　t	優良認定処理業者への処理委託量	692.90　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00　t	再生利用業者への処理委託量	1143.63　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00　t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00　t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00　t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00　t

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： コンクリート ）

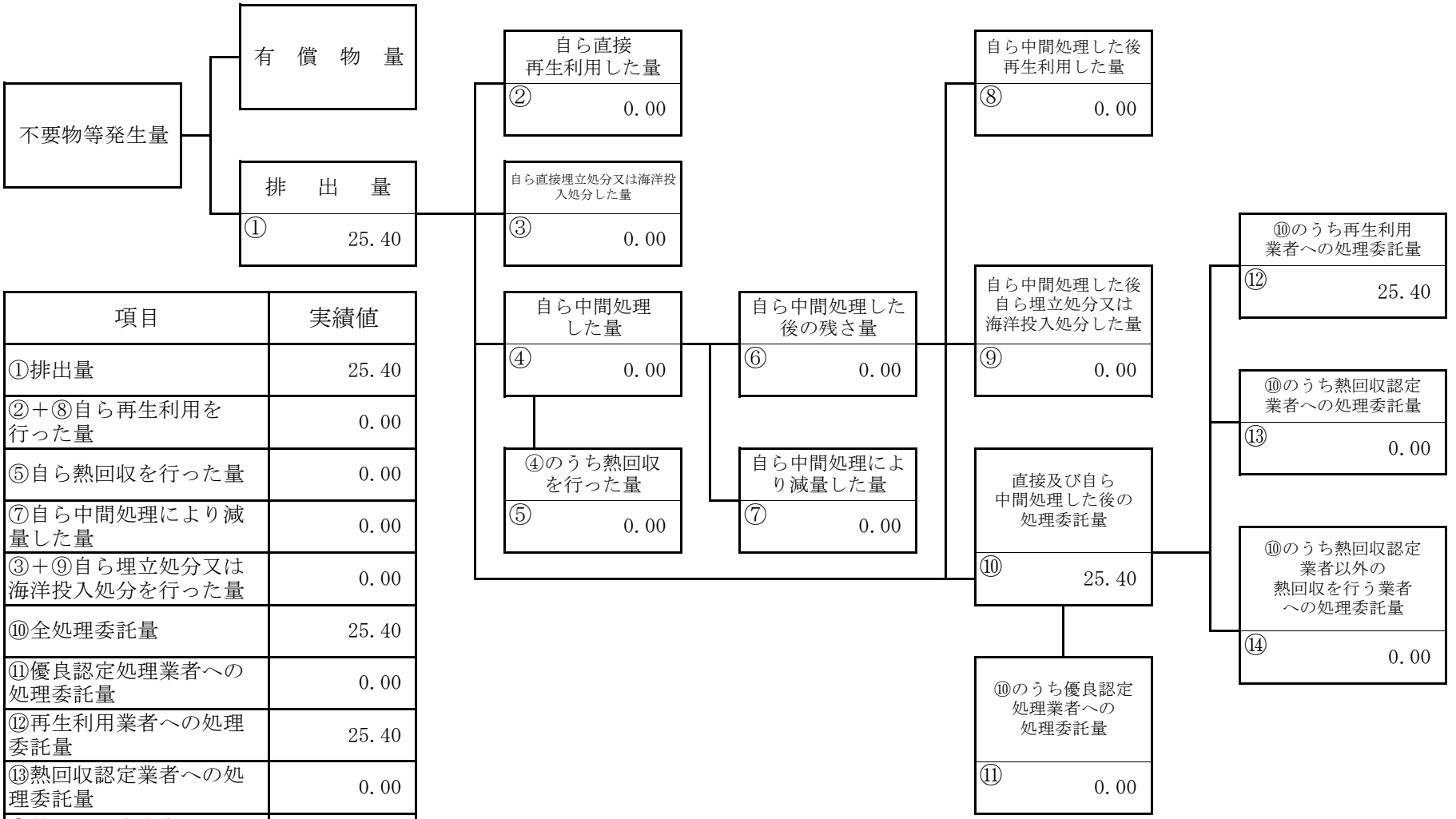


項目	実績値
①排出量	563.32
②＋⑧自ら再生利用を行った量	12.20
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	551.12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	102.12
⑫再生利用業者への処理委託量	551.12
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： アスコン ）

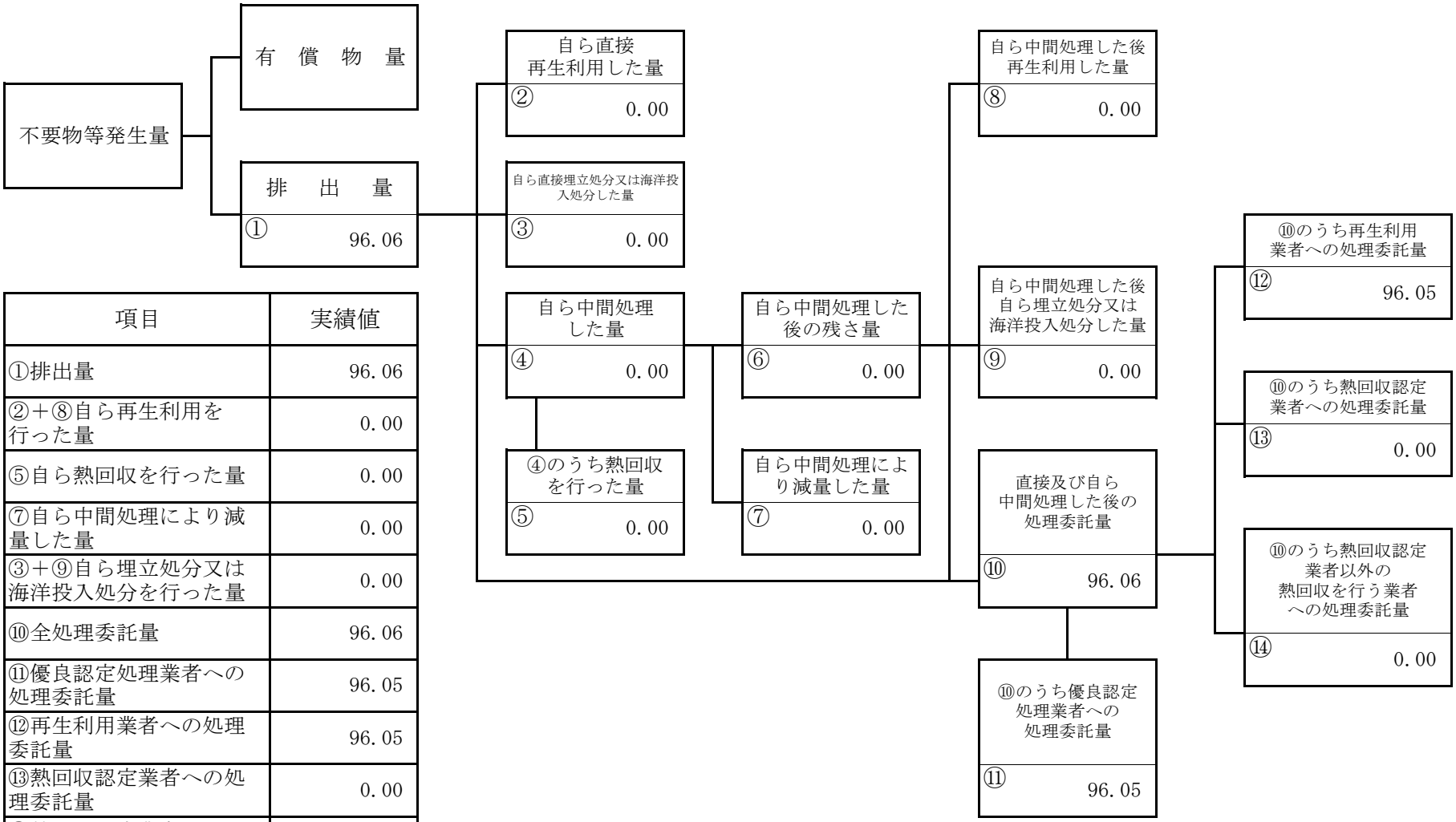


項目	実績値
①排出量	25.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	25.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	25.40
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： がれき類 ）

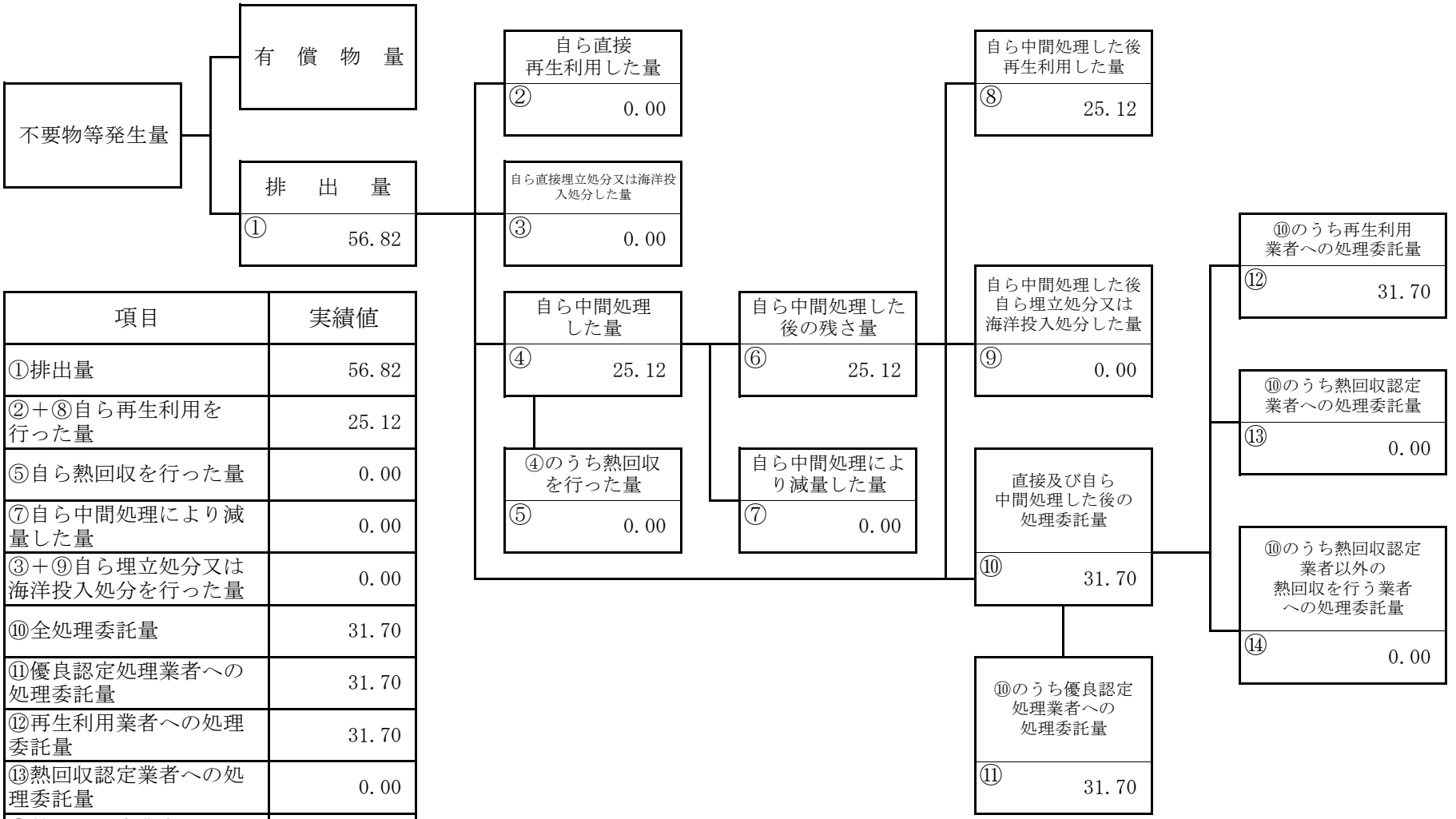


項目	実績値
①排出量	96.06
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	96.06
⑪優良認定処理業者への処理委託量	96.05
⑫再生利用業者への処理委託量	96.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： ガラス陶磁器くず ）

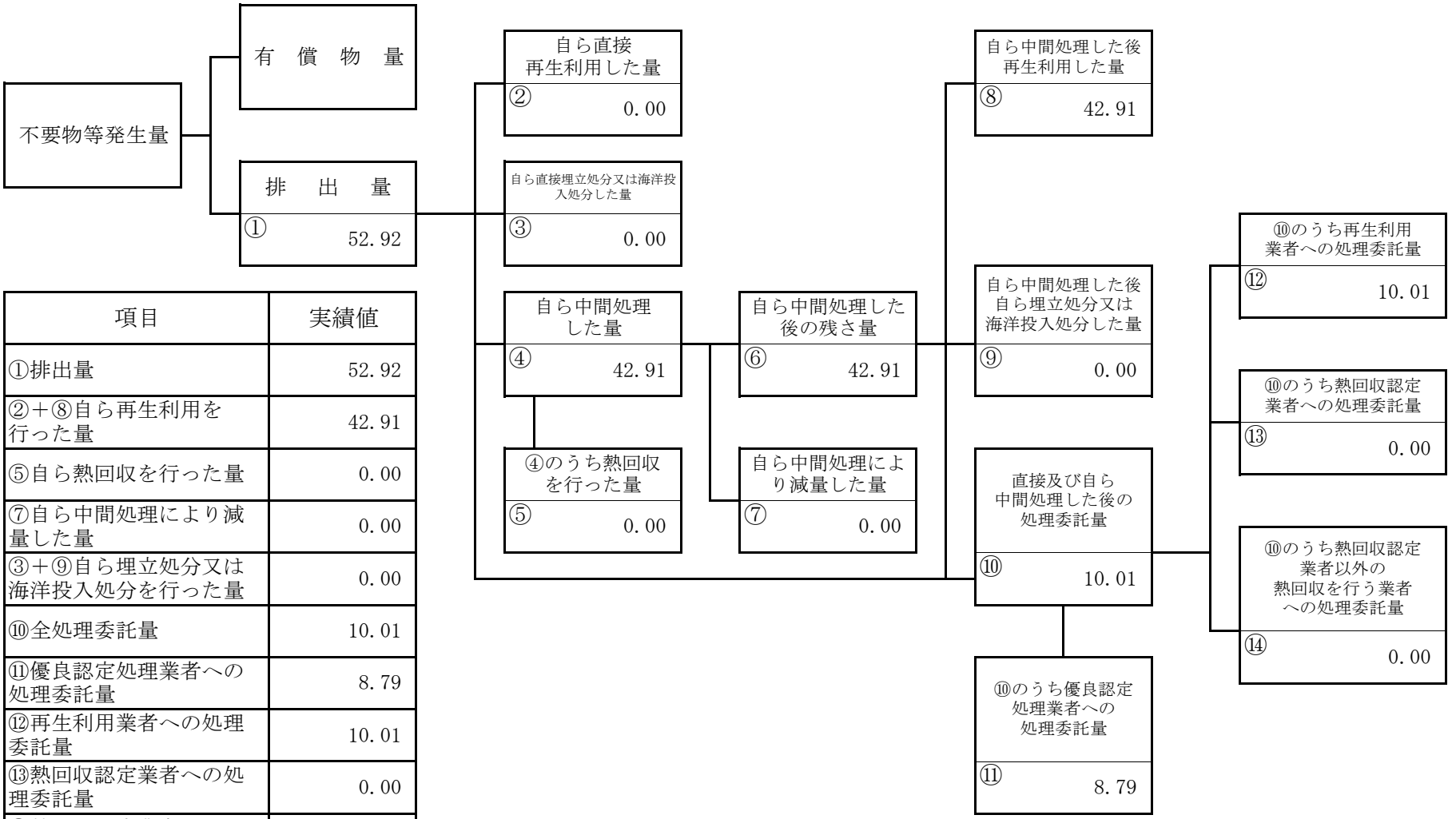


項目	実績値
①排出量	56.82
②＋⑧自ら再生利用を行った量	25.12
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	31.70
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.70
⑫再生利用業者への処理委託量	31.70
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 廃プラスチック ）

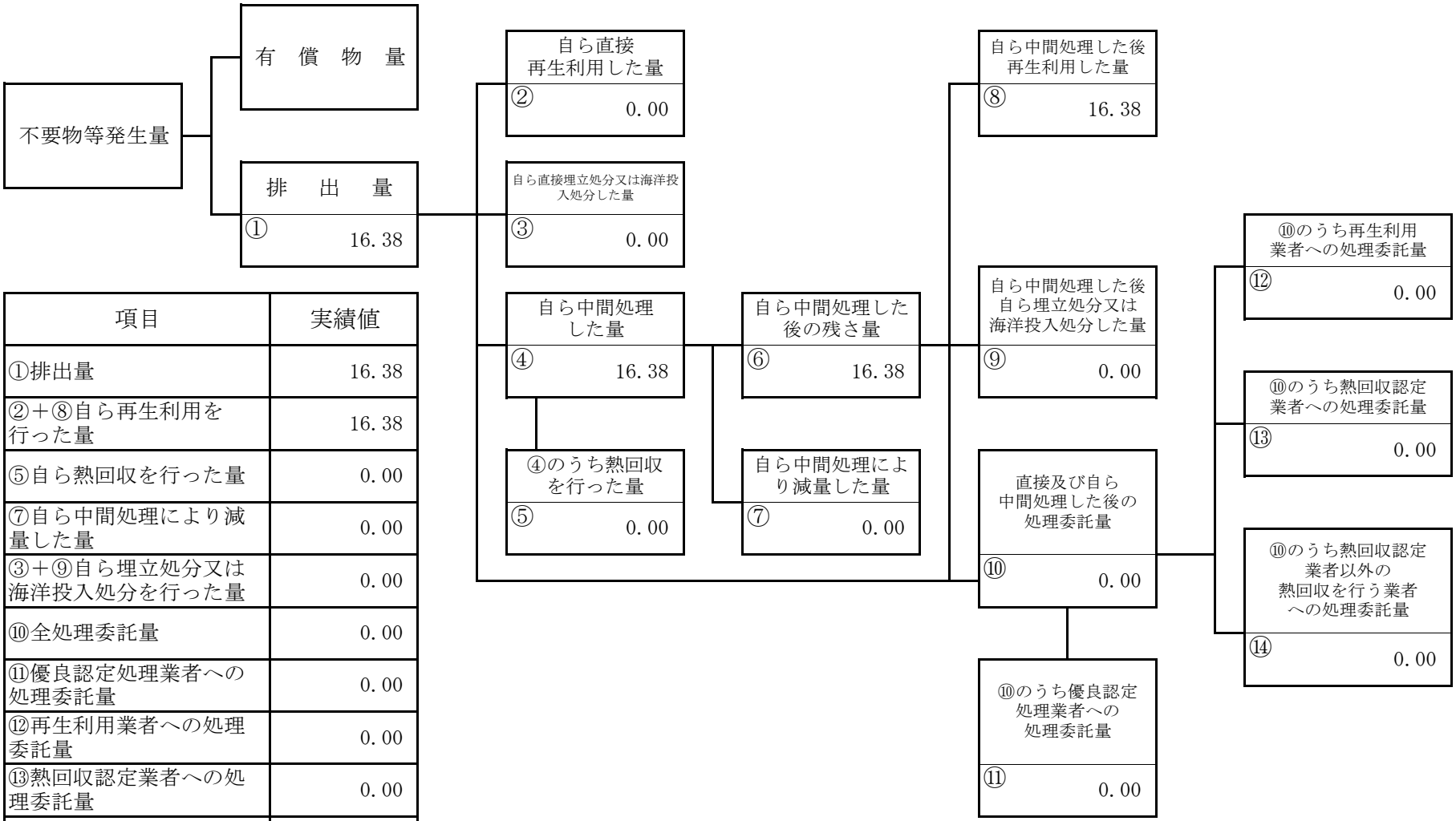


項目	実績値
①排出量	52.92
②＋⑧自ら再生利用を行った量	42.91
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	10.01
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.79
⑫再生利用業者への処理委託量	10.01
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 金属くず ）

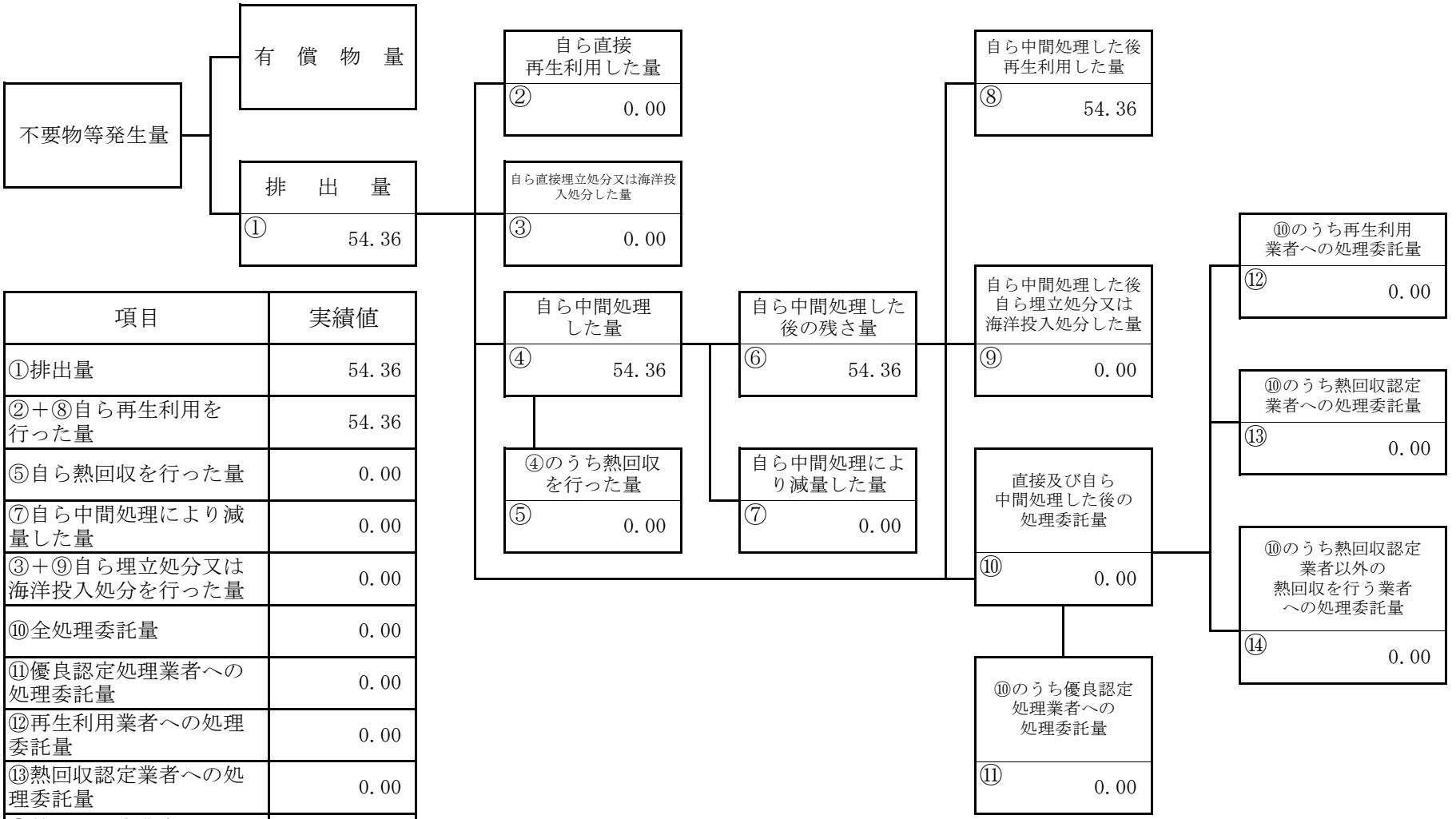


項目	実績値
①排出量	16.38
②＋⑧自ら再生利用を行った量	16.38
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 紙くず ）

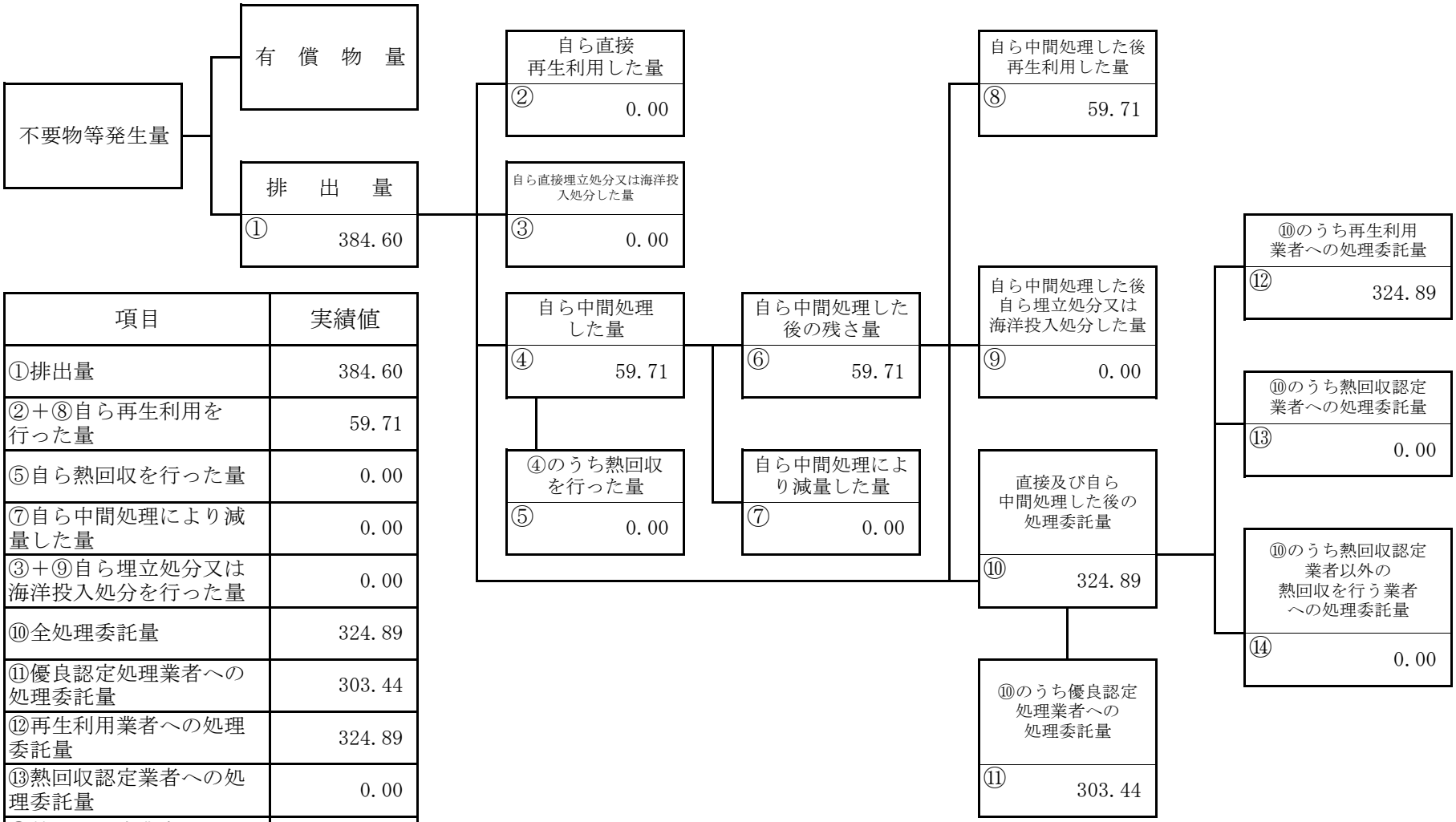


項目	実績値
①排出量	54.36
②＋⑧自ら再生利用を行った量	54.36
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 木くず ）

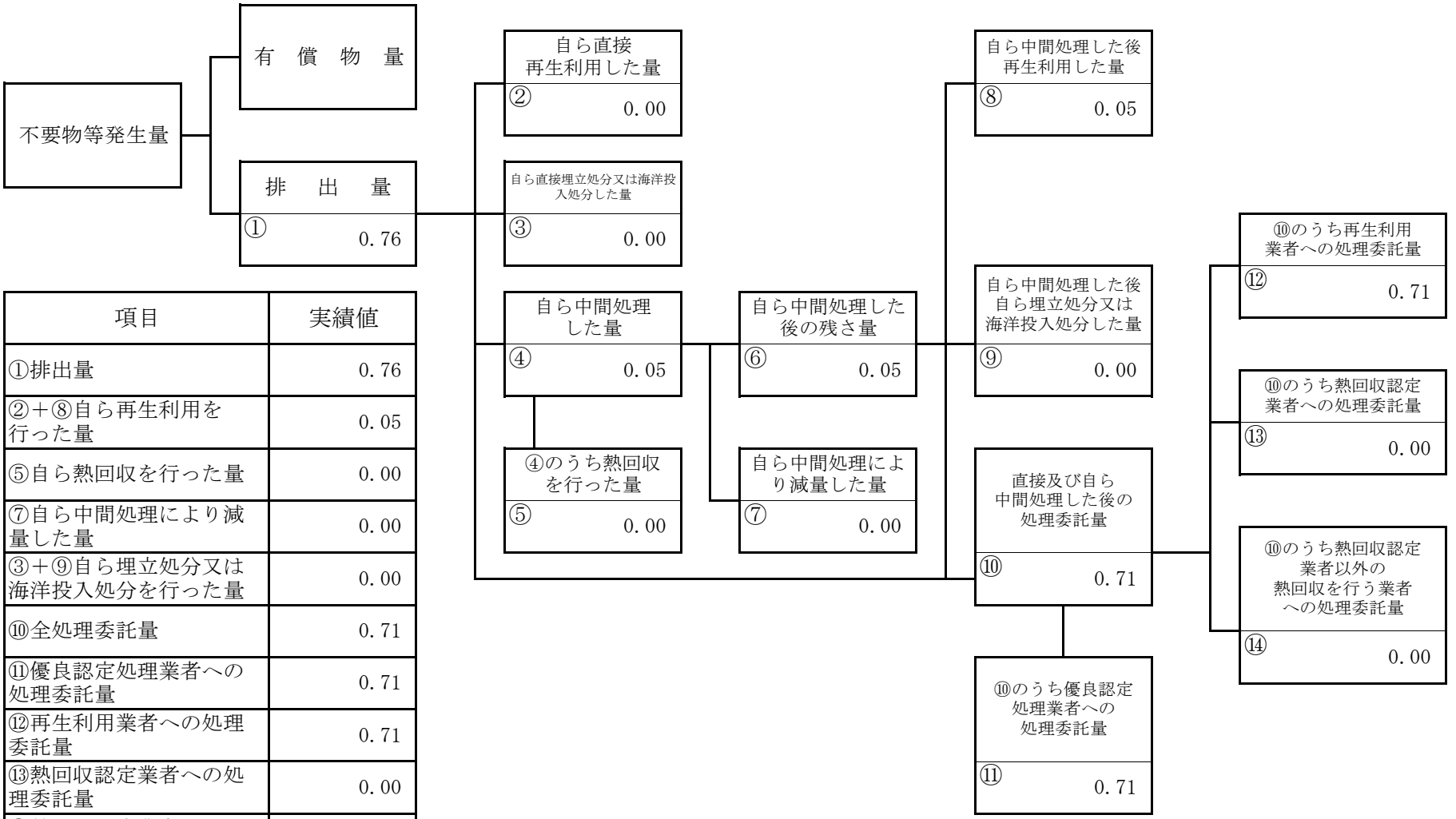


項目	実績値
①排出量	384.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	59.71
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	324.89
⑪優良認定処理業者への処理委託量	303.44
⑫再生利用業者への処理委託量	324.89
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 繊維くず ）

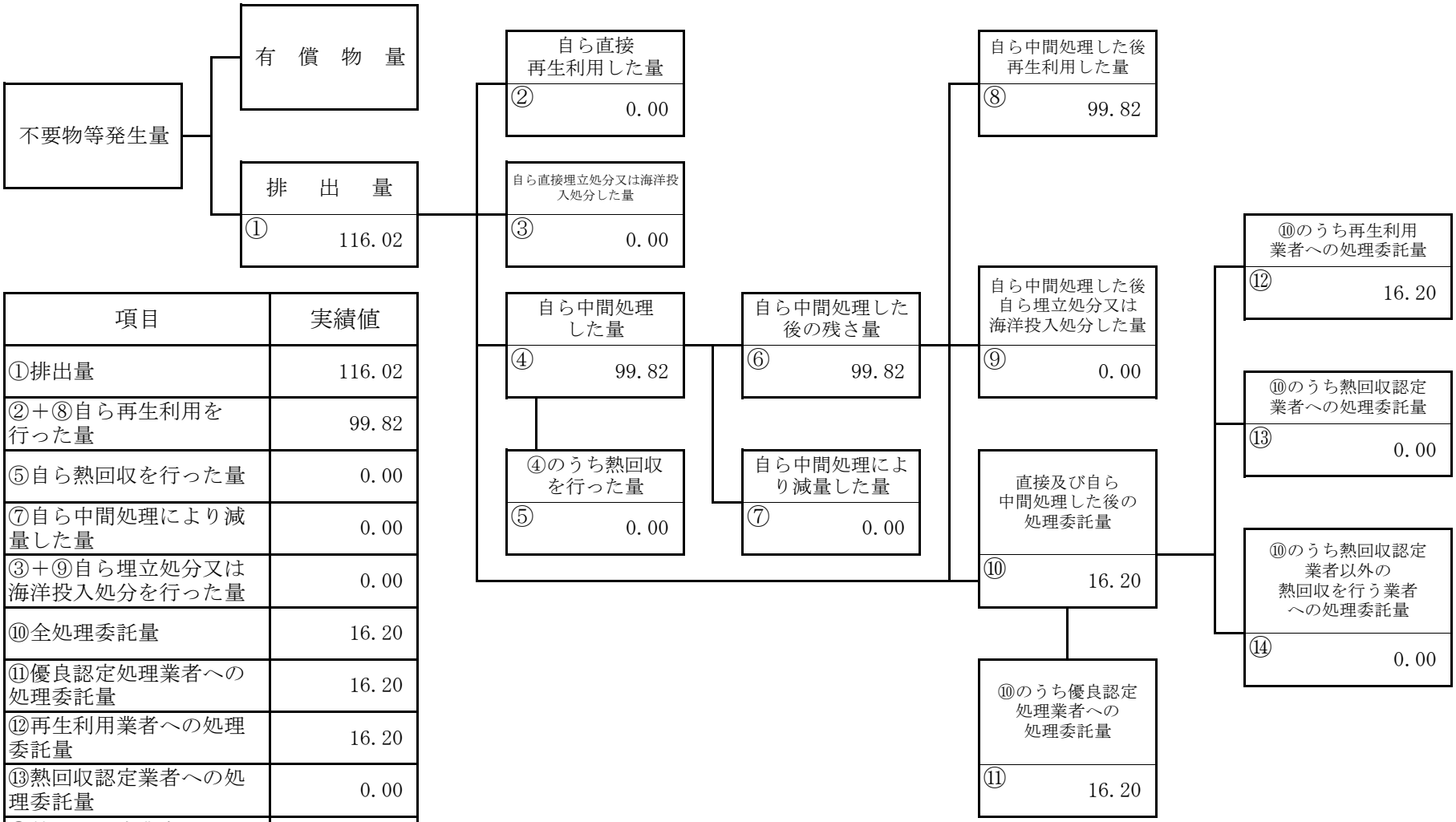


項目	実績値
①排出量	0.76
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.05
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.71
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.71
⑫再生利用業者への処理委託量	0.71
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード ）

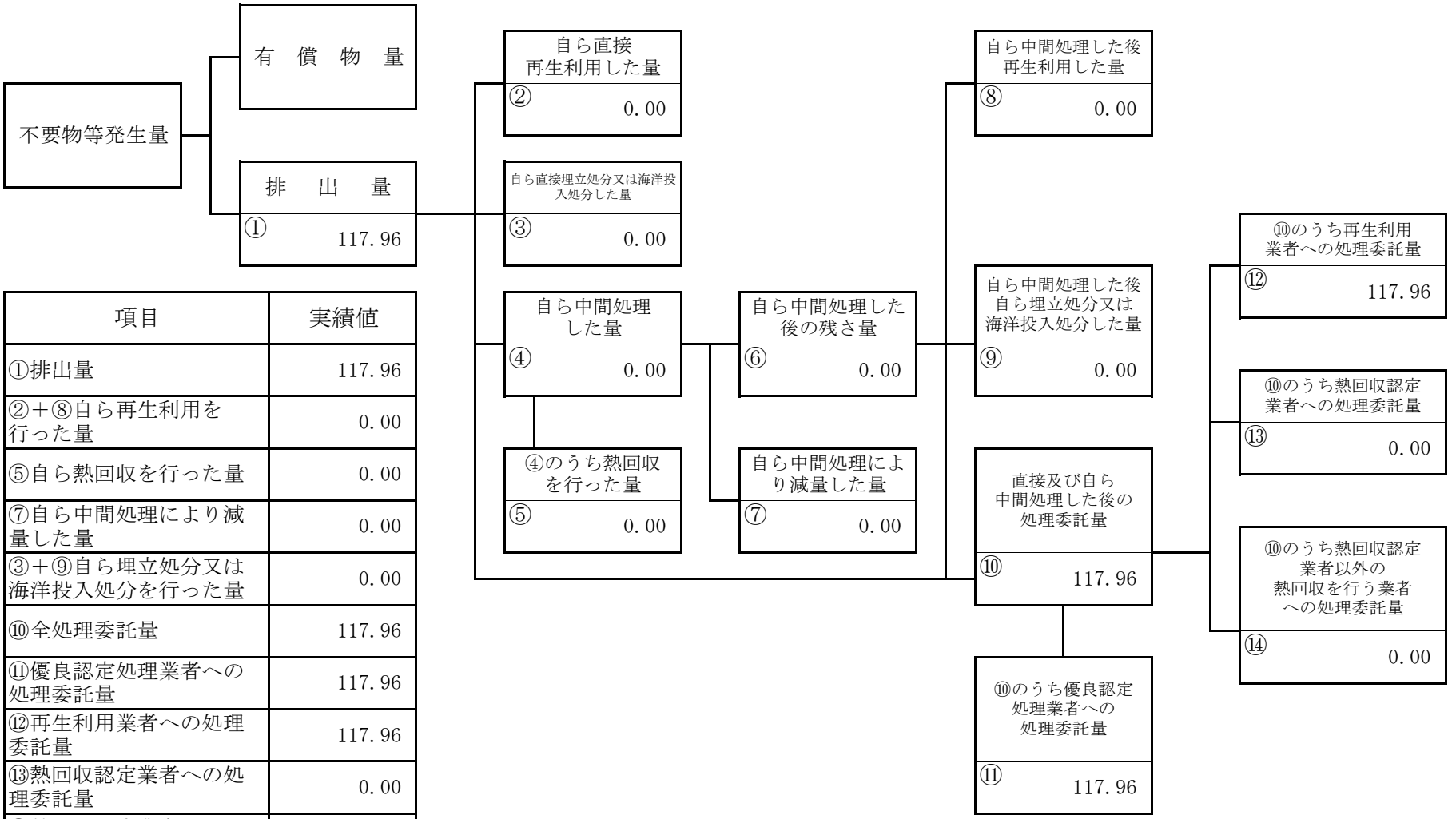


項目	実績値
①排出量	116.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	99.82
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.20
⑫再生利用業者への処理委託量	16.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物 ）

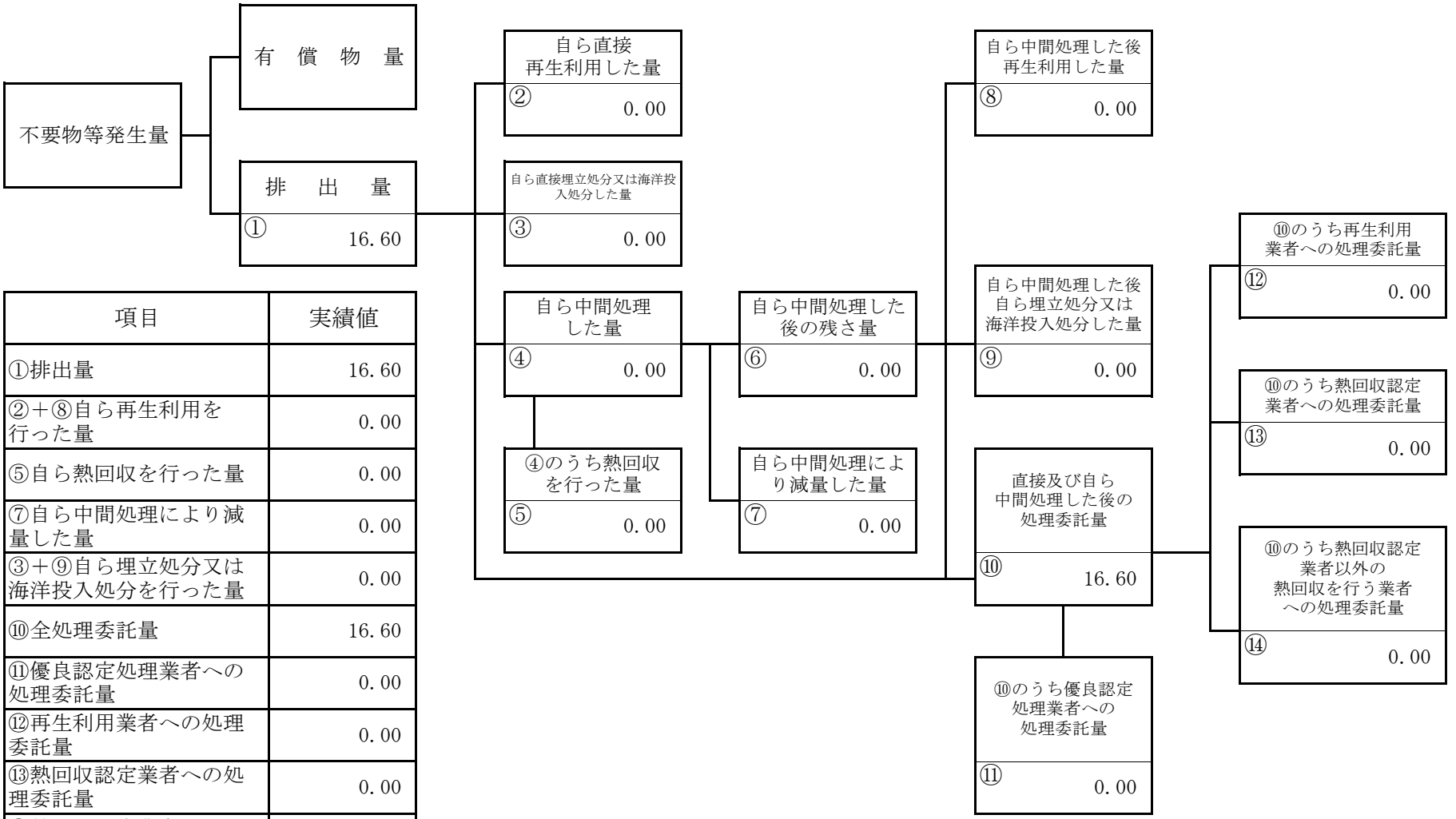


項目	実績値
①排出量	117.96
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	117.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	117.96
⑫再生利用業者への処理委託量	117.96
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： （石綿）ガラス陶磁器くず ）

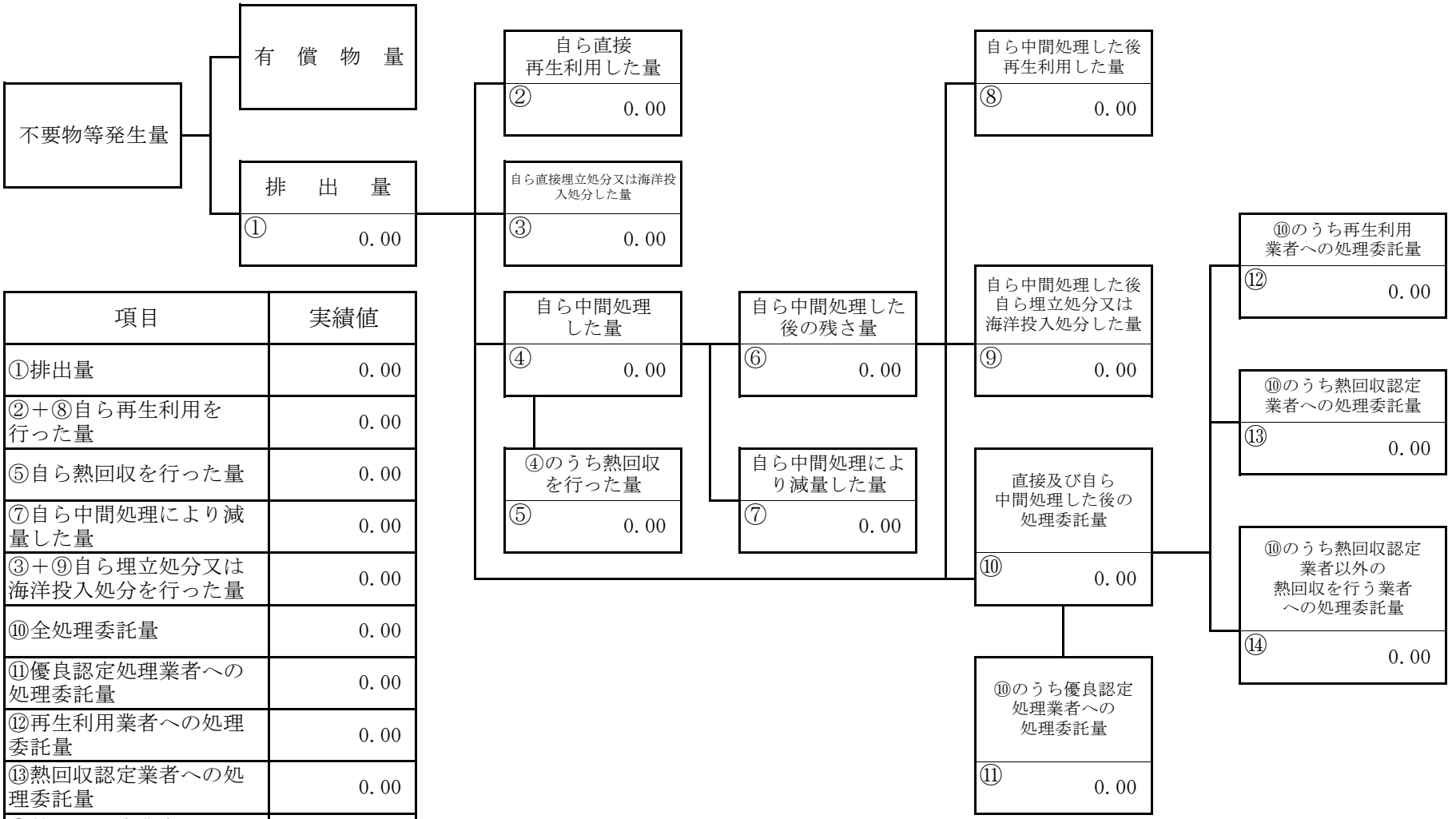


項目	実績値
①排出量	16.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

（ 産業廃棄物の種類： ）



項目	実績値
①排出量	0.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、（１）から（１４）に掲げる量を記入すること

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施工令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

令和7年6月20日　作成

千葉県知事　殿

令和6　年度　産業廃棄物処理計画実施状況報告書　別表1

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の**排出の抑制**に関する事項	自ら行う産業廃棄物の**再生利用**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**中間処理**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**埋立処分又は海洋投入分**に関する事項	産業廃棄物の**処理の委託**に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	563.32	0.00	12.20	0.00	0.00	0.00	551.12	102.12	551.12	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	25.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.40	0.00	25.40	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	96.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	96.06	96.05	96.05	0.00	0.00	0.01	0.00
ガラス・陶磁器	56.82	0.00	25.12	0.00	0.00	0.00	31.70	31.70	31.70	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	52.92	0.00	42.91	0.00	0.00	0.00	10.01	8.79	10.01	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	16.38	0.00	16.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	54.36	0.00	54.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	384.60	0.00	59.71	0.00	0.00	0.00	324.89	303.44	324.89	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	0.76	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.71	0.71	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	116.02	0.00	99.82	0.00	0.00	0.00	16.20	16.20	16.20	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	117.96	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	117.96	117.96	117.96	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）がれき類その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）ガラス・陶磁器	16.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	16.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	16.60
（石綿）廃プラスチック類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1501.20	0.00	310.55	0.00	0.00	0.00	1190.65	676.97	1174.04	0.00	0.00	0.01	16.60

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月18日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　261-0023

住　所　千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-1

法人名　積水ハウス株式会社千葉シャーメゾン支店

代表者　中村 勝

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-212-1213

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社千葉シャーメゾン支店
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-1住友ｹﾐｶﾙｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝﾌﾞｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ25階
計画期間	令和7年4月1日　から　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	26092（百万）
③従業員数	248人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	添付ファイル参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
添付ファイル参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
排出量	4858.04 t	t

（これまでに実施した取組）
新築施工現場では２７分別を行いQRラベルによる廃棄物量の実測を行っている
梱包材の簡素化
解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
排出量	4372.24 t	t

（今後実施する予定の取組）
梱包材の簡素化、余剰材の削減
プレカット品の推進（石膏ボード等）
工法の改善（複合化率のアップ）
解体工事では建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組む

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
新築工事については、現場にて27分別を実施。解体工事では建設リサイクル法の特定建設
資材以外もリサイクルに取り組んでいる

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	512.9 t	t

（これまでに実施した取組）

新築廃棄物は、現地にて27分別を実施し資源循環センターに搬入
資源循環センターでは、広域認定制度（第２７９号）に基づき運用
資源循環センターでは、持ち込まれた廃棄物を最大80品目に分別
資源循環センターでは、マテリアルリサイクル率９０％を達成

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	461.61 t	t

（今後実施する予定の取組）

現状を維持して継続する

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		添付ファイルの通り	
全 処 理 委 託 量		4345.14 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	496.35 t	t
	再生利用業者への処理委託量	4075 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

当社規定のマニュアルに従い業者選定をし、契約を締結している
契約を締結している中間最終処理業者の施設確認を半年に一回実施している

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	添付ファイルの通り	
		全 処 理 委 託 量	3910.62 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	446.72 t	t
		再生利用業者への処理委託量	3667.5 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） 優良認定処理業者の採用を推進する		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程

（別紙1－Ⅱ）

新築工事

コンクリート	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
コンクリート	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
アスコン	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
アスコン	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生アスファルト
がれき類その他	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
がれき類その他	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
がれき類その他	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	安定型埋立
ガラス・陶磁器	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
ガラス・陶磁器	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生砕石
ガラス・陶磁器	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	安定型埋立
廃プラスチック類	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
廃プラスチック類	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	安定型埋立
廃プラスチック類	→	圧縮　（再生処理業者に委託）	→	安定型埋立
金属くず	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
金属くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
金属くず	→	切断　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
紙くず	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
紙くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用

木くず	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
木くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
木くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用
繊維くず	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
繊維くず	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	循環利用
繊維くず	→	焼却　（再生処理業者に委託）	→	再生利用
廃石膏ボード	→	積水ハウスの広域認定第16号による再資源化処理	→	再生原料
廃石膏ボード	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	再生原料
廃石膏ボード	→	破砕　（再生処理業者に委託）	→	管理型埋立

令和　7年　6月　18日作成

事業所名	千葉シャーメゾン支店
記入者	建築課　建築長

【　廃棄物管理体制図 】

廃棄物処理総括責任者	支店長
廃棄物処理総括責任者代理	副支店長
廃棄物処理責任者	建築課　建築長
廃棄物処理副責任者	管理課　管理長

（副責任者を任命する場合）

石綿作業主任者	建築課　担当

注）「石綿作業主任者」記載欄を追加しました。

適正処理推進員（現場監督員）	所属	役職
	建築課	建築長（1名）
	建築課	担当（9名）

工事地区名称
千葉県

注）
工事地区名称は、事業所が営業エリアとしている都道府県及び政令市名称で

廃棄物処理実務	所属	役職	担当年数
契約書作成・管理	管理課	担当	2 年
マニフェスト伝票発行・管理	管理課	担当	2 年
ぐるっとメール管理	建築課	建築長	2 0 年
建設リサイクル法書類作成・管理	管理課	担当	2 年
行政対応（多量排出事業者報告書作成等）	管理課	担当	2 年
CANVASオペレーター	管理課	担当	2 年

処理業者

令和7年6月18日 作成

千葉県知事　殿

令和6　年度　産業廃棄物処理計画実施状況報告書　別表1

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の**排出の抑制**に関する事項	自ら行う産業廃棄物の**再生利用**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**中間処理**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**埋立処分又は海洋投入分**に関する事項	産業廃棄物の**処理の委託**に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	2476.76	0.00	48.73	0.00	0.00	0.00	2428.03	0.00	2428.03	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	615.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	615.38	0.00	615.38	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	156.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	156.18	139.12	129.20	0.00	0.00	26.98	0.00
ガラス・陶磁器	194.15	0.00	32.98	0.00	0.00	0.00	161.17	76.80	76.80	0.00	0.00	84.37	0.00
廃プラスチック類	182.36	0.00	81.39	0.00	0.00	0.00	100.97	29.40	100.97	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	30.25	0.00	29.68	0.00	0.00	0.00	0.57	0.57	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	94.83	0.00	94.47	0.00	0.00	0.00	0.36	0.36	0.36	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	667.48	0.00	59.91	0.00	0.00	0.00	607.57	120.18	607.57	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	6.68	0.00	1.14	0.00	0.00	0.00	5.54	2.95	2.95	0.00	0.00	2.59	0.00
廃石膏ボード	208.49	0.00	163.67	0.00	0.00	0.00	44.82	42.12	44.82	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.93	0.00	0.93	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	84.65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	84.65	84.65	68.15	0.00	0.00	16.50	0.00
（石綿）がれき類その他	93.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	93.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	93.20
（石綿）ガラス・陶磁器	36.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	36.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	36.80
（石綿）廃プラスチック類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	9.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.70
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	4858.04	0.00	512.90	0.00	0.00	0.00	4345.14	496.35	4075.00	0.00	0.00	130.44	139.70

令和7年6月18日　作成

千葉県知事　殿

令和7　年度　産業廃棄物処理計画書　別表2

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の**排出の抑制**に関する事項	自ら行う産業廃棄物の**再生利用**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**中間処理**に関する事項		自ら行う産業廃棄物の**埋立処分又は海洋投入分**に関する事項	産業廃棄物の**処理の委託**に関する事項						
	①排出量	②自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	⑧自ら中間処理した後再生利用する量	⑤自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	⑦自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	③自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	⑩全処理委託量（①-⑧）	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮その他の中間処理（①-⑧-⑫-⑬-⑭-⑯）	⑯直接埋立処分委託量
コンクリート	2229.08	0.00	43.86	0.00	0.00	0.00	2185.23	0.00	2185.23	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコン	553.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	553.84	0.00	553.84	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類その他	140.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	140.56	125.21	116.28	0.00	0.00	24.28	0.00
ガラス・陶磁器	174.74	0.00	29.68	0.00	0.00	0.00	145.05	69.12	69.12	0.00	0.00	75.93	0.00
廃プラスチック類	164.12	0.00	73.25	0.00	0.00	0.00	90.87	26.46	90.87	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	27.23	0.00	26.71	0.00	0.00	0.00	0.51	0.51	0.51	0.00	0.00	0.00	0.00
建設汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	85.35	0.00	85.02	0.00	0.00	0.00	0.32	0.32	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	600.73	0.00	53.92	0.00	0.00	0.00	546.81	108.16	546.81	0.00	0.00	0.00	0.00
繊維くず	6.01	0.00	1.03	0.00	0.00	0.00	4.99	2.66	2.66	0.00	0.00	2.33	0.00
廃石膏ボード	187.64	0.00	147.30	0.00	0.00	0.00	40.34	37.91	40.34	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.84	0.00	0.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	0.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.18	0.18	0.18	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	76.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	76.19	76.19	61.34	0.00	0.00	14.85	0.00
（石綿）がれき類その他	83.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	83.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	83.88
（石綿）ガラス・陶磁器	33.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	33.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	33.12
（石綿）廃プラスチック類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）金属くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）木くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）廃石膏ボード	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（石綿）建設混合廃棄物	8.73	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.73	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.73
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	4372.24	0.00	461.61	0.00	0.00	0.00	3910.63	446.72	3667.50	0.00	0.00	117.40	125.73

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月18日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　261-0023

住所 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-1

法人名 積水ハウス株式会社千葉シャーメゾン支店

代表者 中村 勝

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-212-1213

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社千葉シャーメゾン支店
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-1住友ケミカルエンジニアリングセンタービル
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

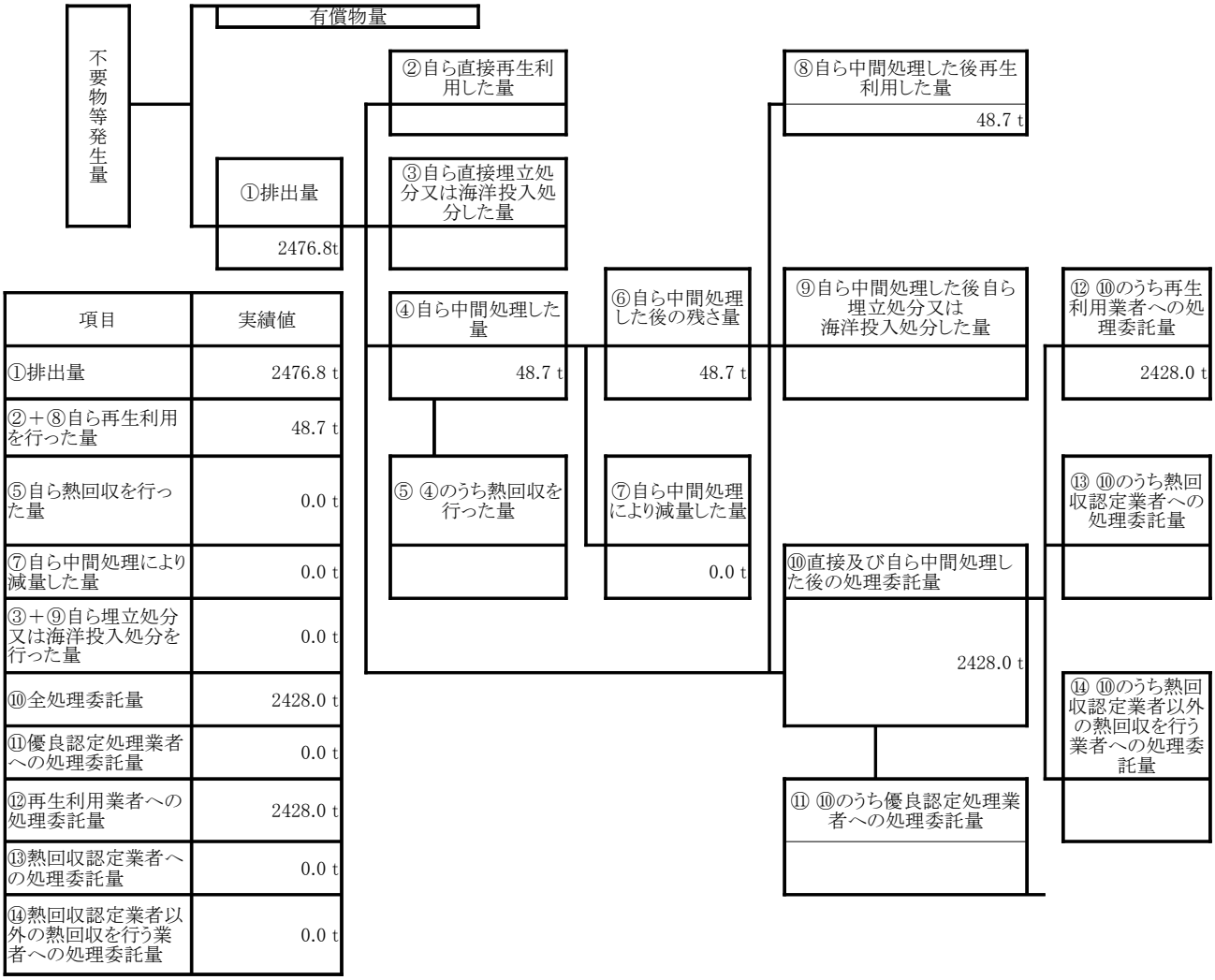
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4051.4 t	全処理委託量	3573.95 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	477.5 t	優良認定処理業者への処理委託量	1209.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3390.24 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

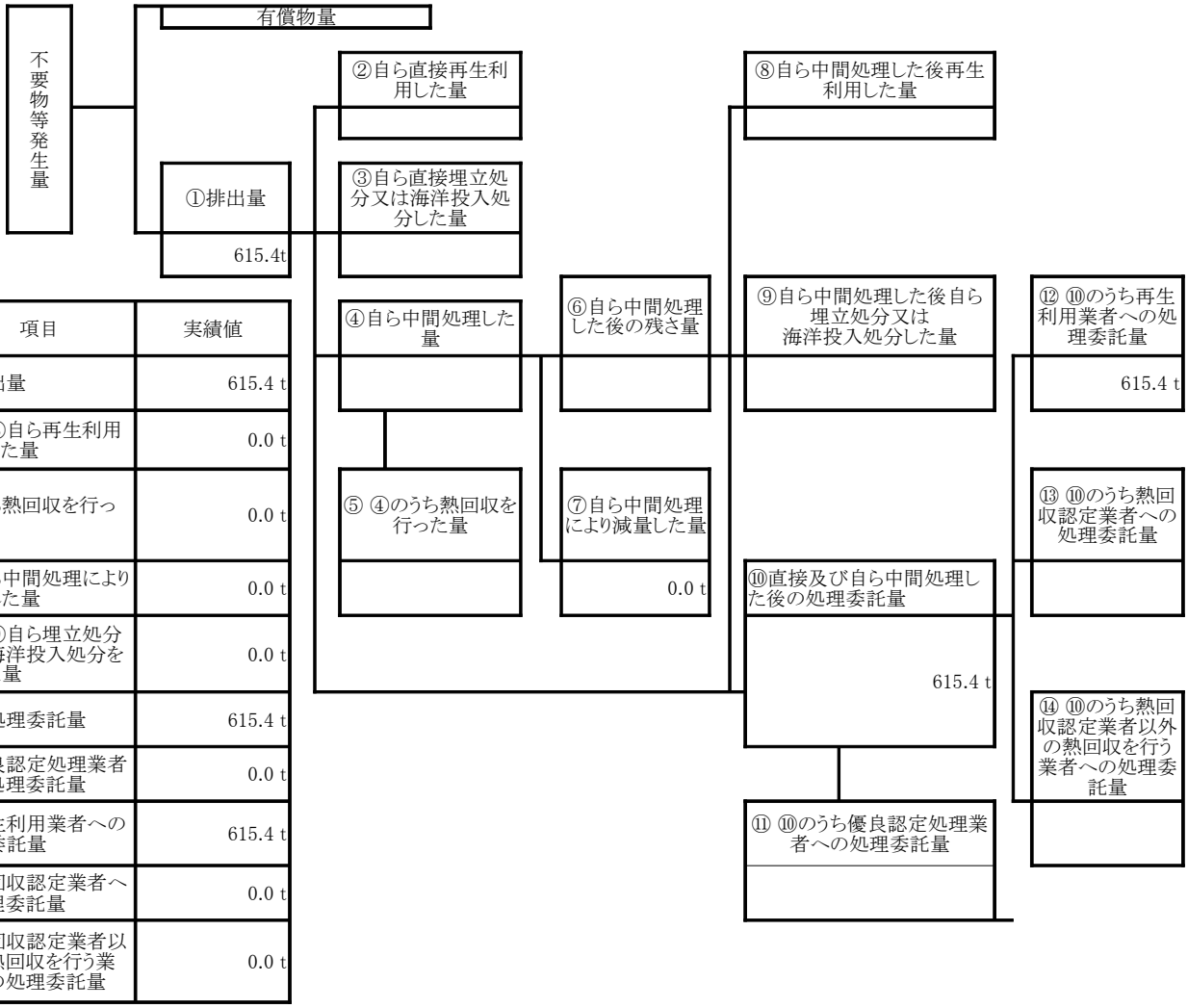


項目	実績値
①排出量	2476.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	48.7 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2428.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2428.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスコン　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

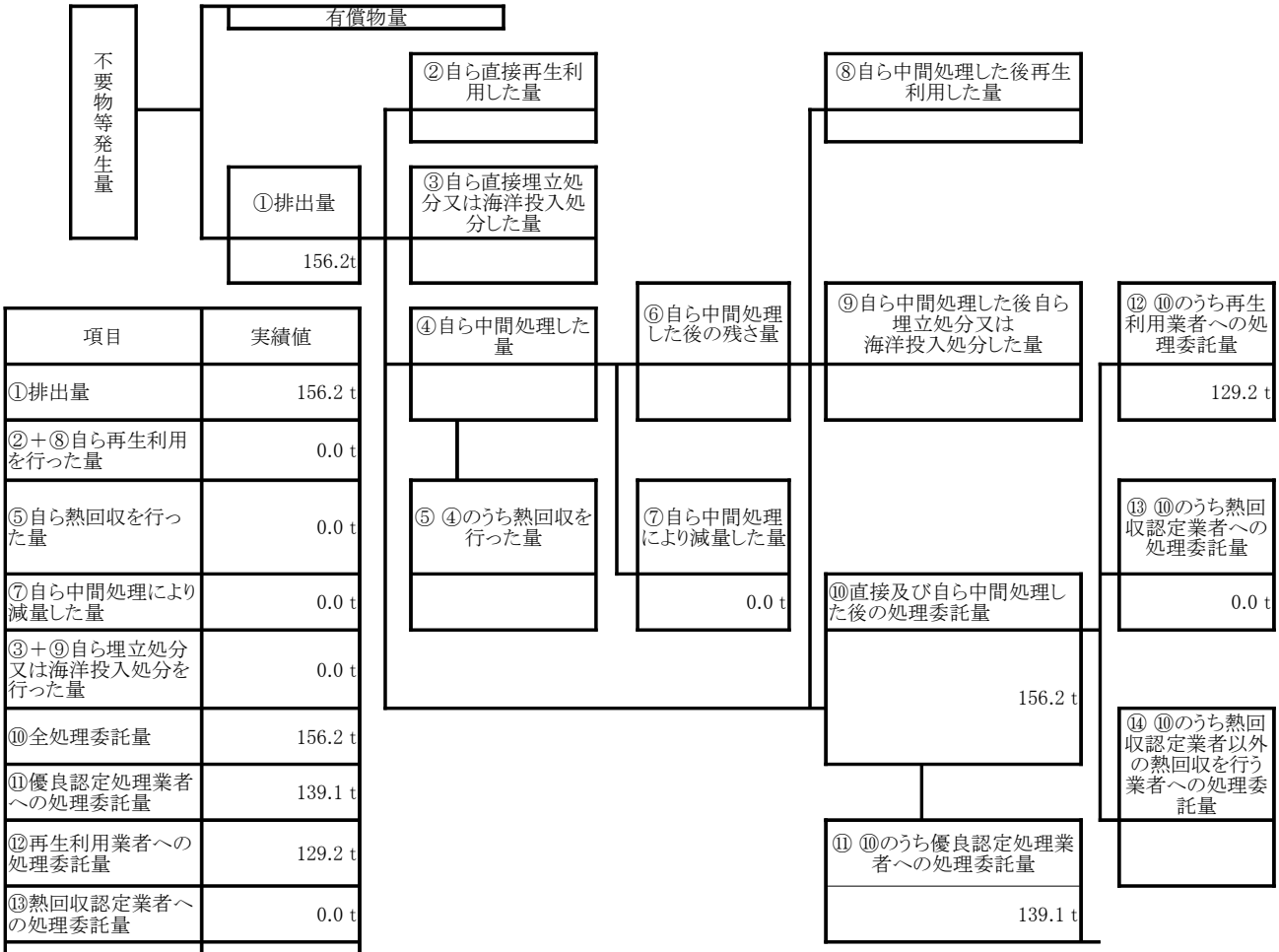


項目	実績値
①排出量	615.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	615.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	615.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類その他**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

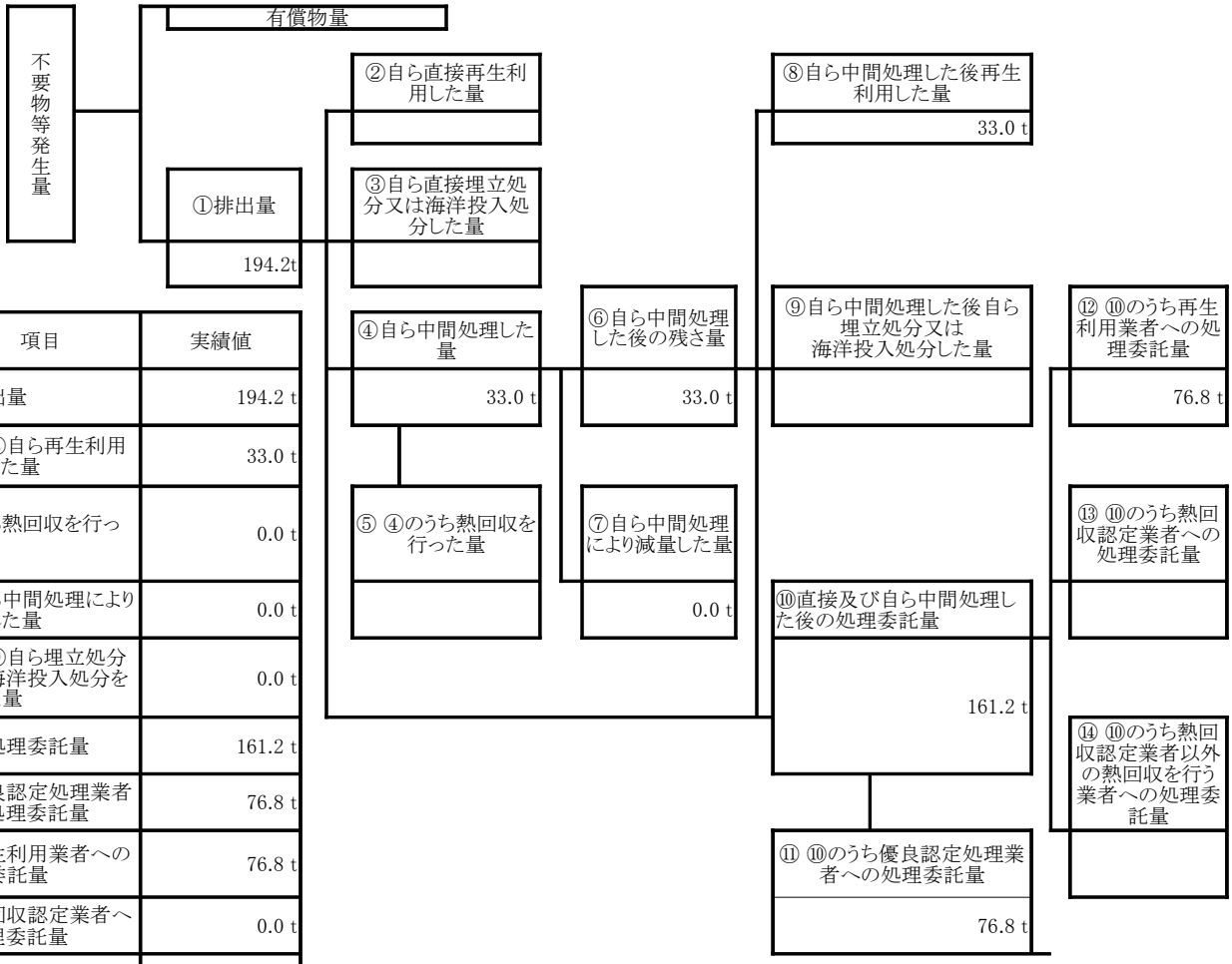


項目	実績値
①排出量	156.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	156.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	139.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	129.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **ガラス・陶器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

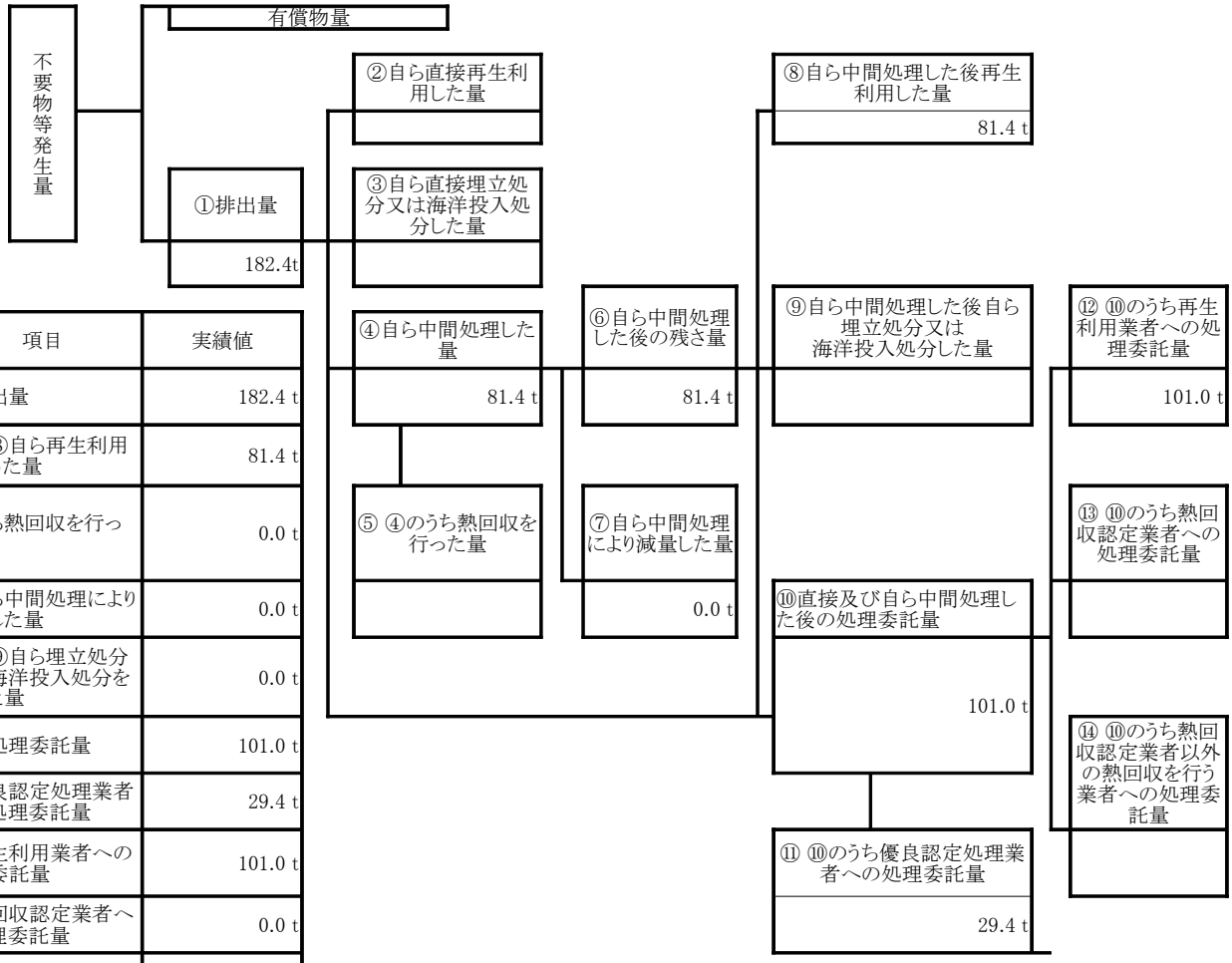


項目	実績値
①排出量	194.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	33.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	161.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	76.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	76.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



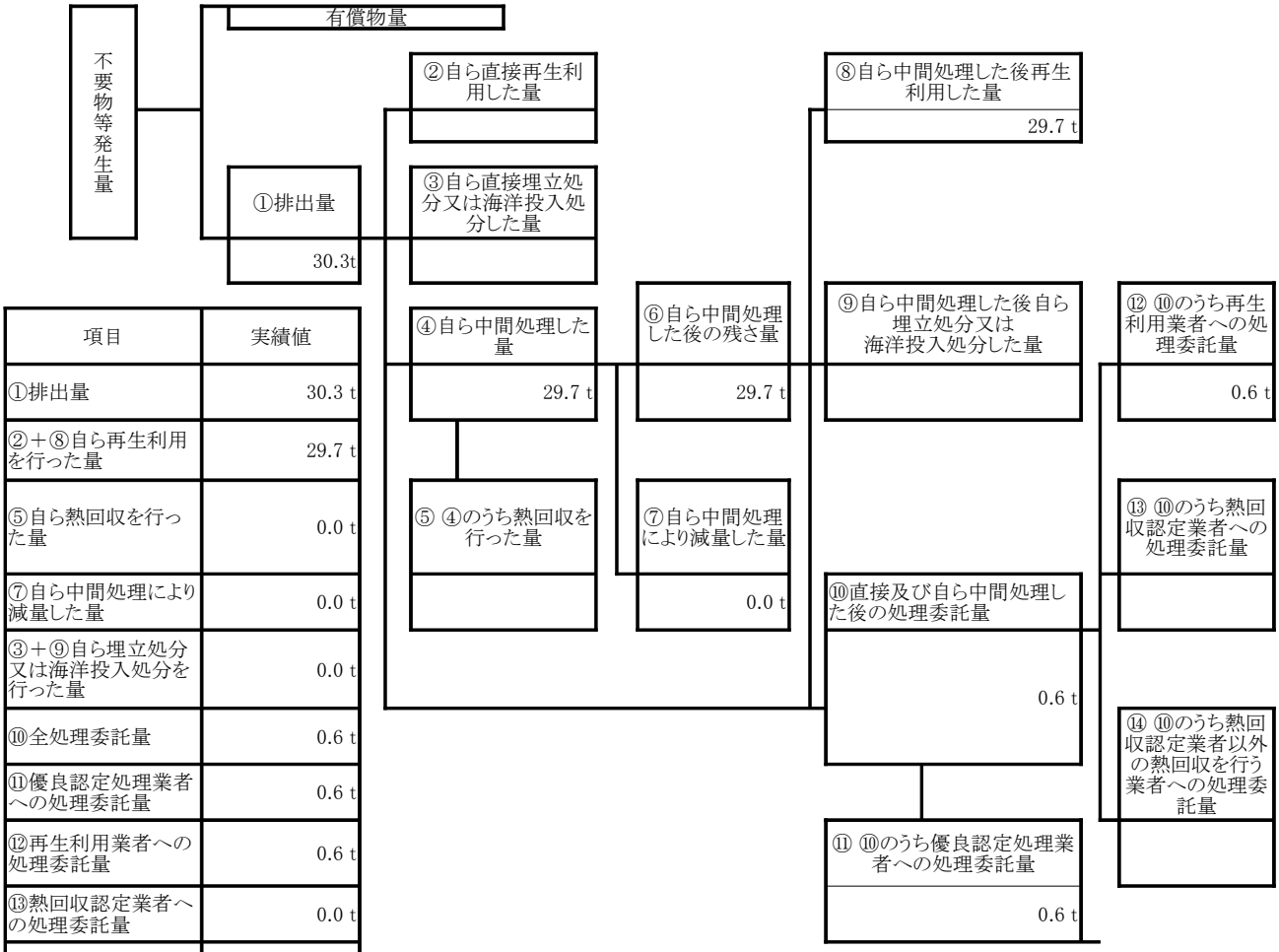
項目	実績値
①排出量	182.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	81.4 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	101.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	101.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



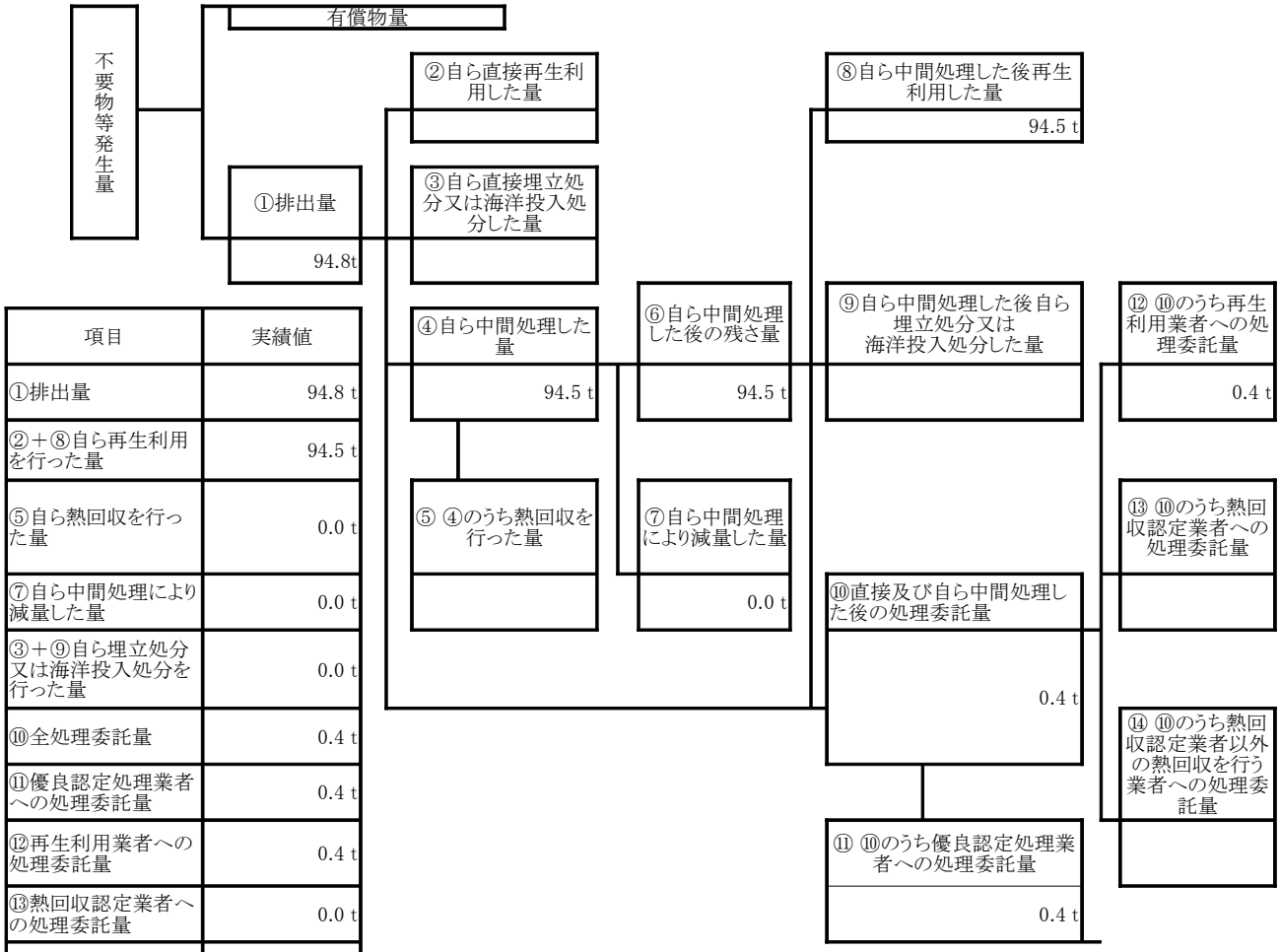
項目	実績値
①排出量	30.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	29.7 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



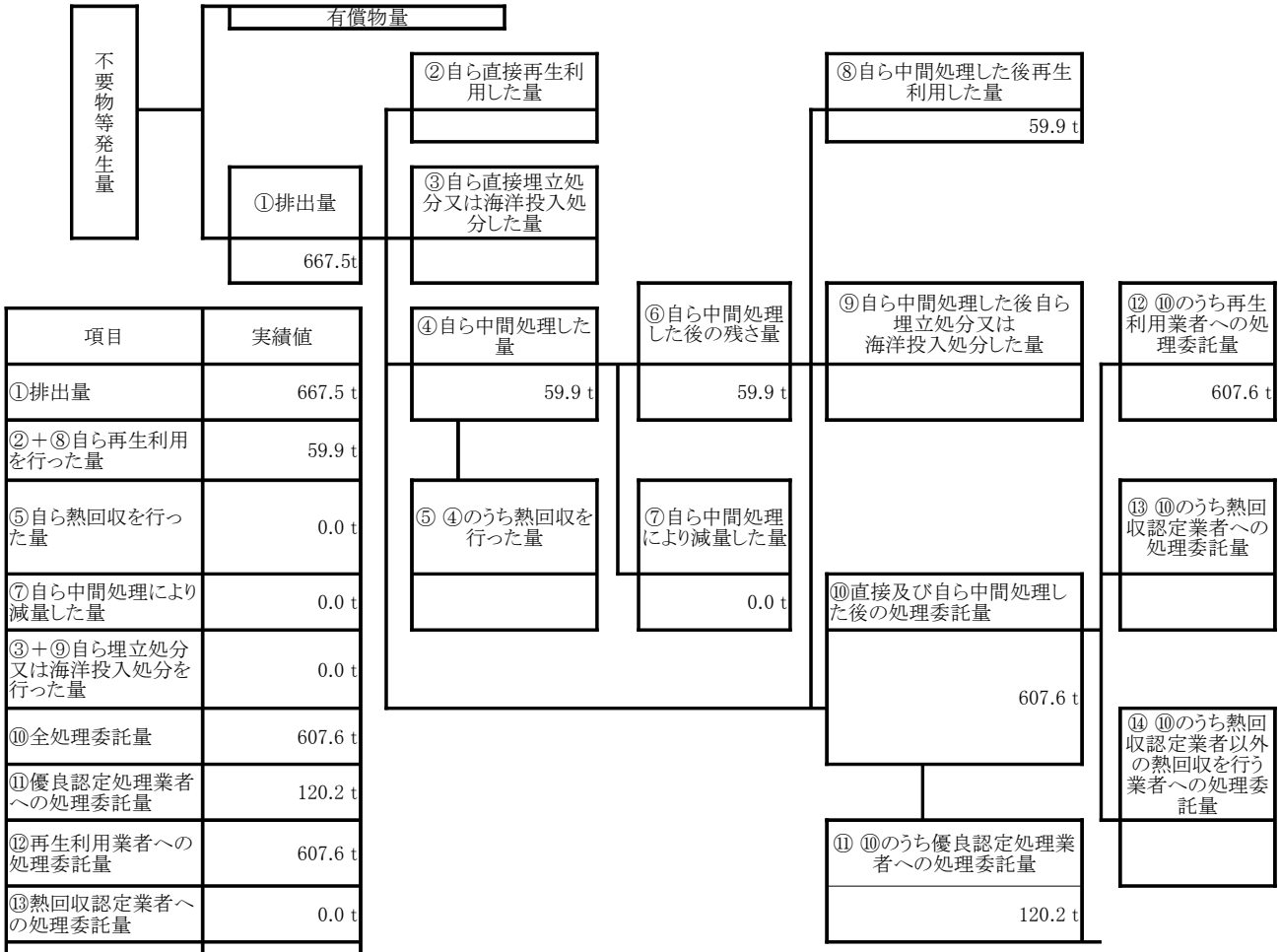
項目	実績値
①排出量	94.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	94.5 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

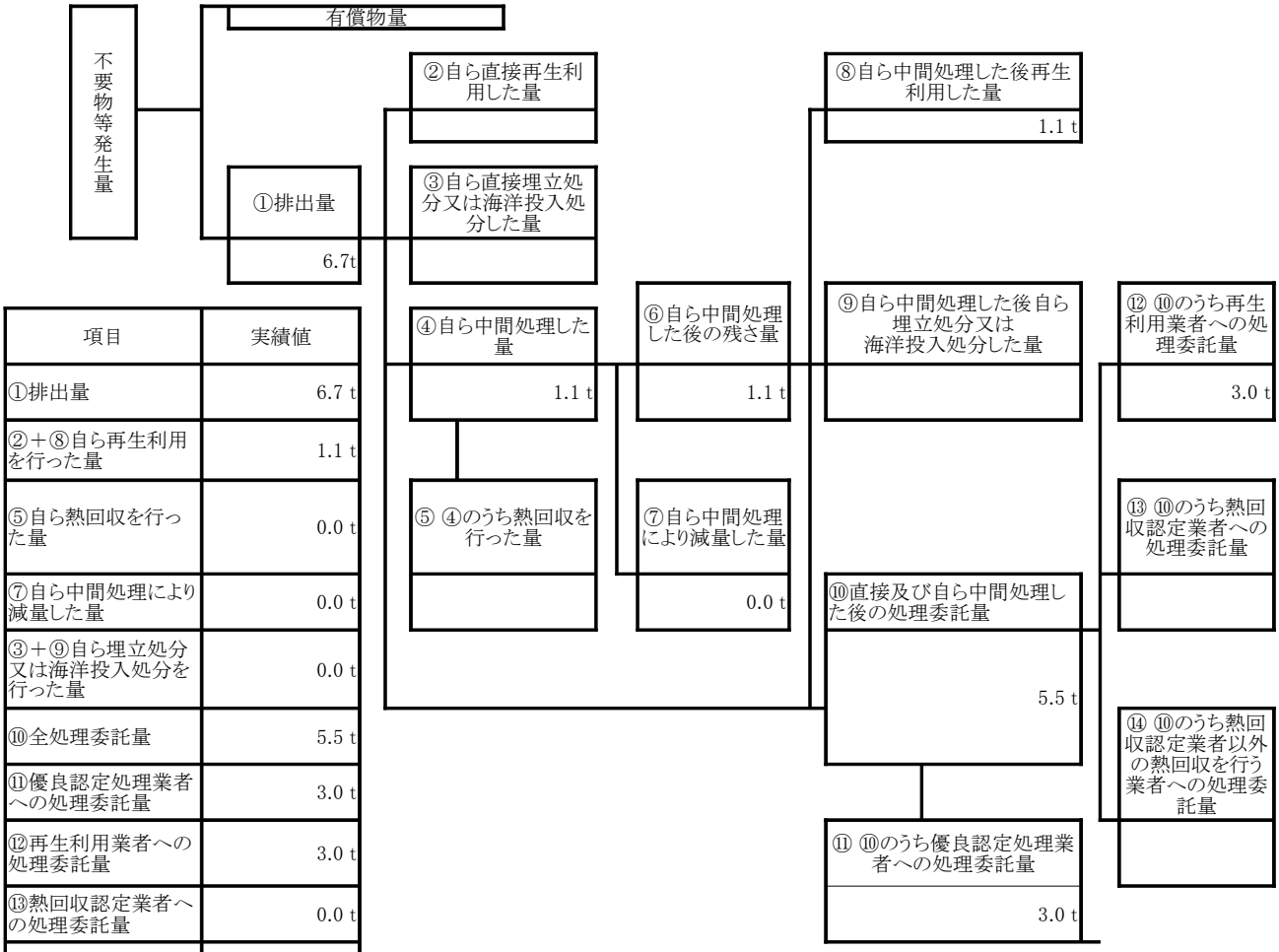


項目	実績値
①排出量	667.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	59.9 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	607.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	120.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	607.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

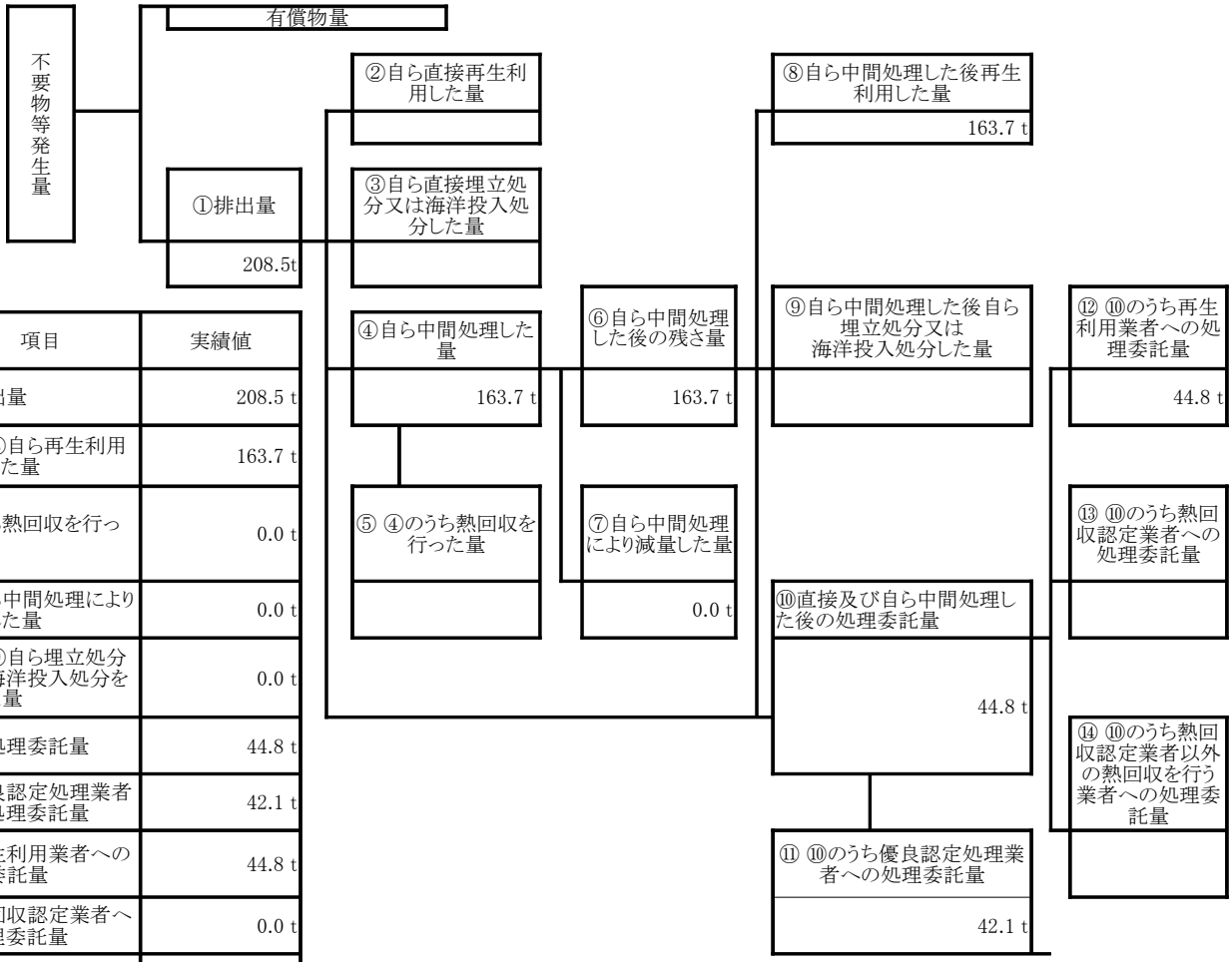


項目	実績値
①排出量	6.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	1.1 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

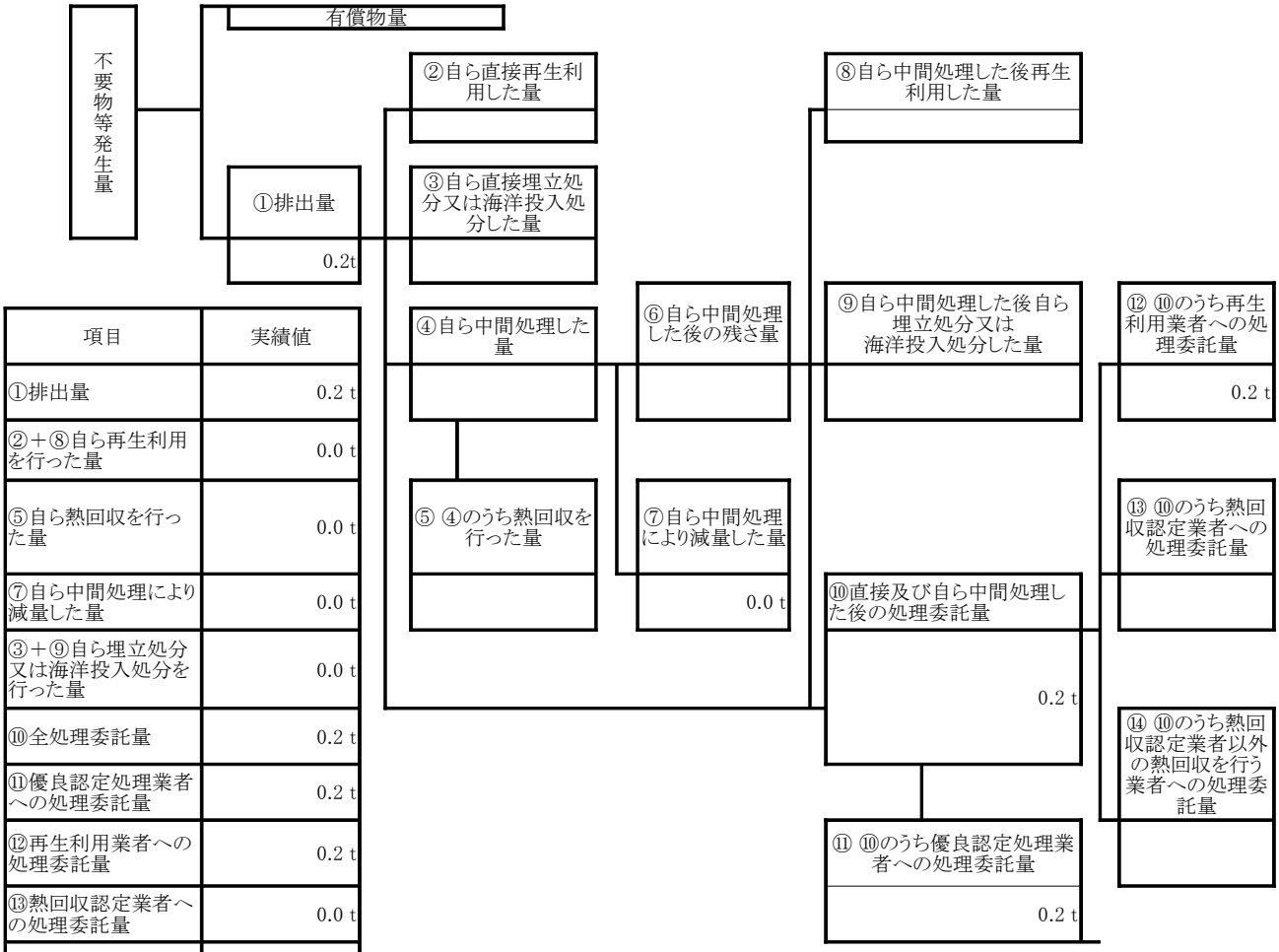


項目	実績値
①排出量	208.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	163.7 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	44.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**水銀使用製品**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

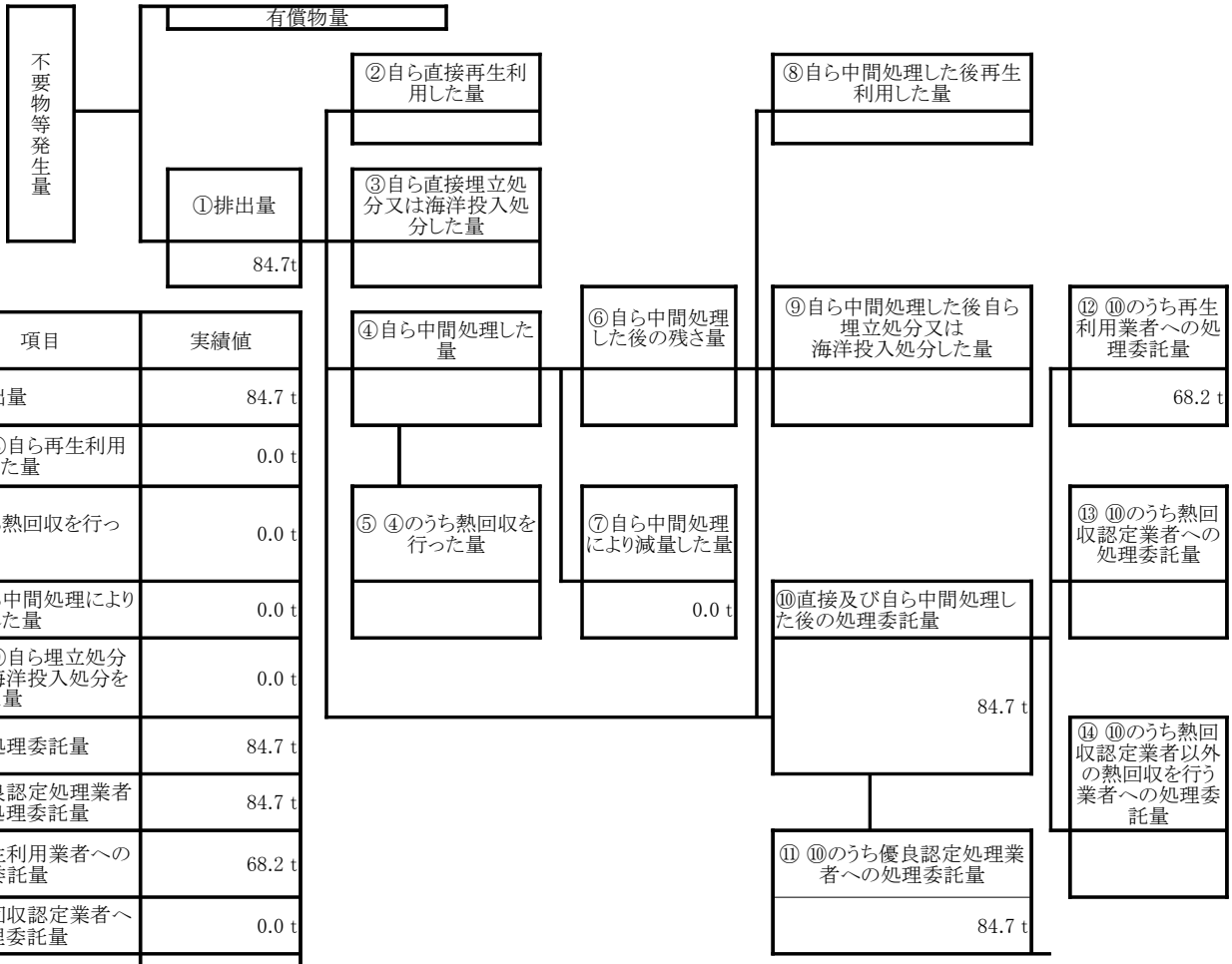


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

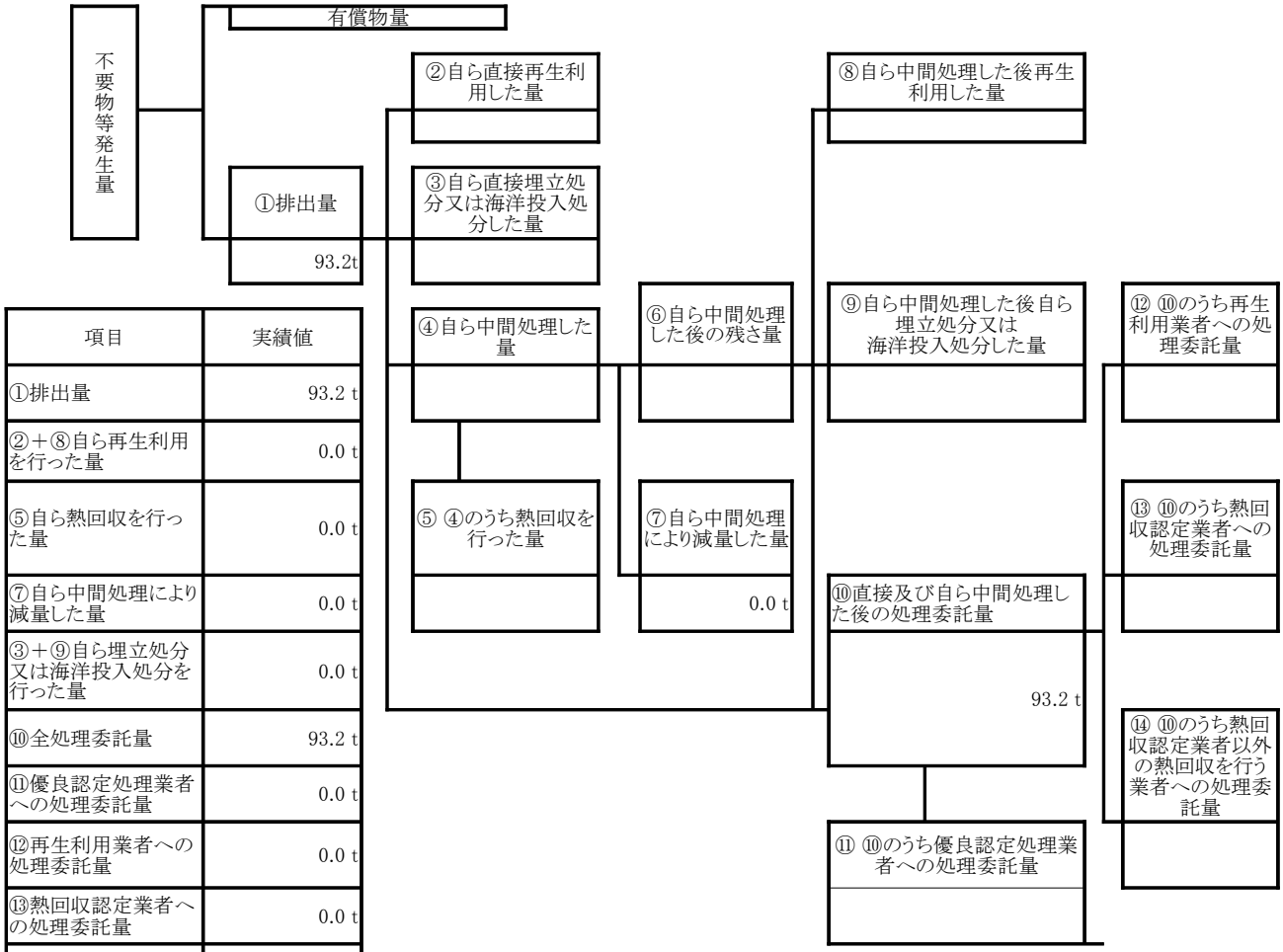


項目	実績値
①排出量	84.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	84.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	84.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	68.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**（石綿）がれき類その他**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

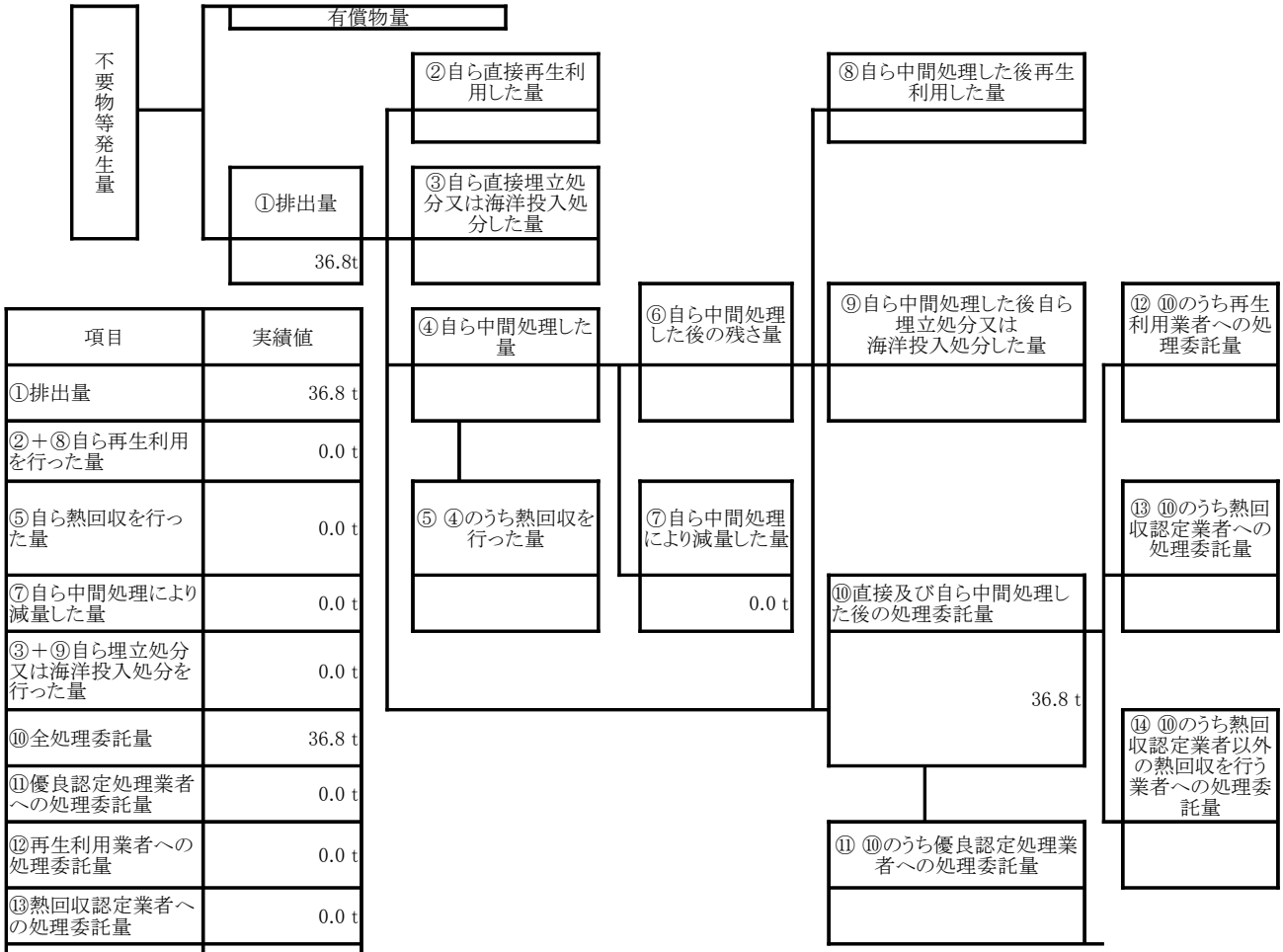


項目	実績値
①排出量	93.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	93.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**（石綿）ガラス陶器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

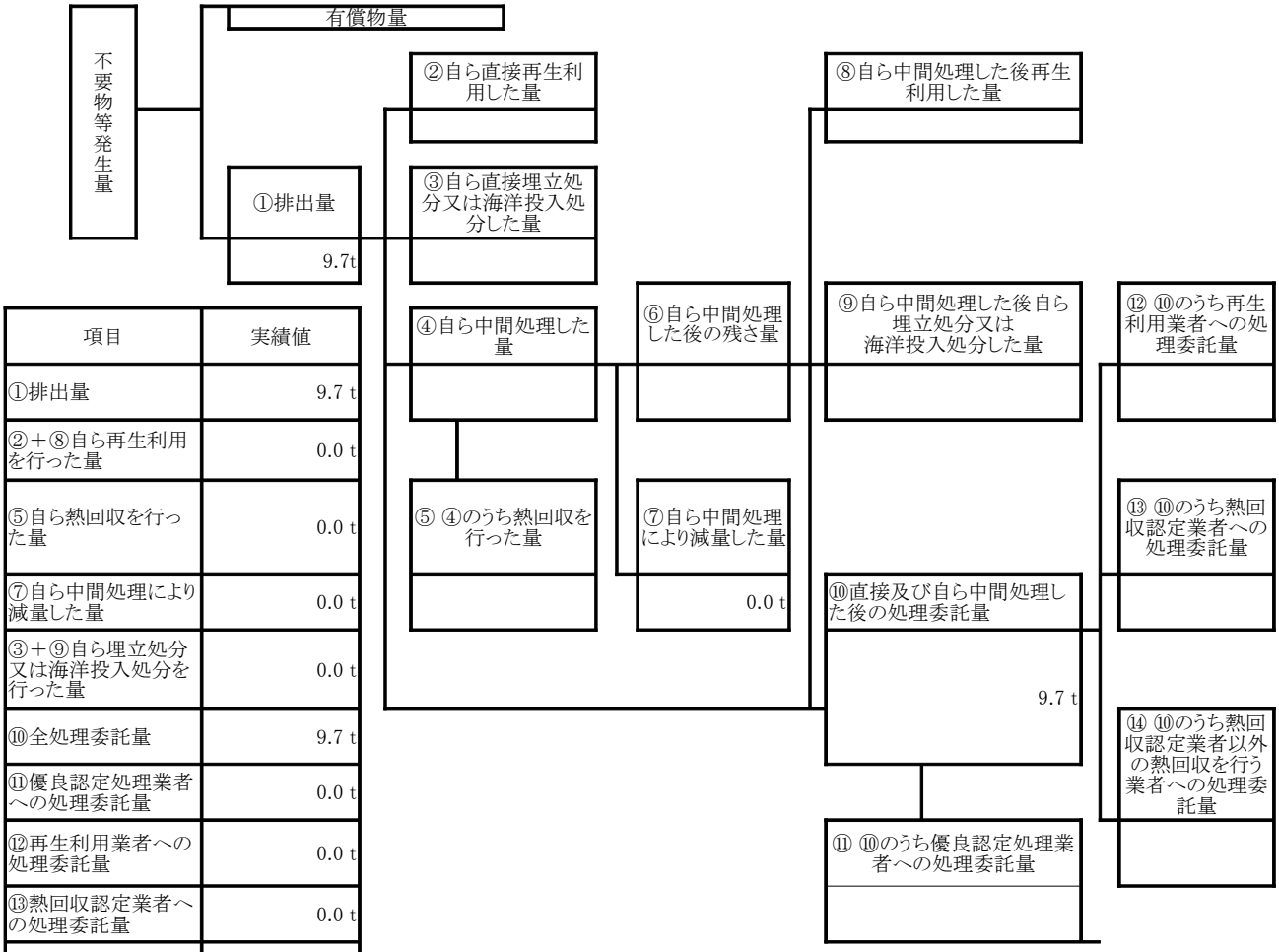


項目	実績値
①排出量	36.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	36.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**（石綿）建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	9.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　102-8678

住　所　東京都千代田区一番町31

法人名　株式会社錢高組東京支社

代表者　西尾　嘉洋

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3265-4611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社錢高組東京支社
事業場の所在地	東京都千代田区一番町31（現場：市原市）
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	東京支社前年度完成工事高340億円
③従業員数	469人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙資料－１　廃棄物処理フロー図参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙資料－２、資料２－１　参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	5206.85 t	40.1 t

（これまでに実施した取組）

・施工高あたりの新築系産業廃棄物(汚泥除く)排出量に管理目標値を設け、総排出量の削減を図る。
・新築建設工事の混合廃棄物について目標値を設け、発生の抑制を図る。
・施工方法を考慮することにより産業廃棄物の発生の抑制を図る。
・メーカーによる過剰梱包材による持込監視の強化を行う。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	0 t	10 t

（今後実施する予定の取組）

・上記現状　の取り組みを継続し、各作業所への指導教育の強化を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ、木くず、紙くず、ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ、繊維くず、廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、ｶﾞﾗｽ陶磁器くず、コンクリート塊、廃アスファルト、金属くず、その他がれき類、混合廃棄物、石綿含有廃棄物、廃油
　水銀使用廃棄物の15種類
・ゼロエミッション活動による分別の徹底

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・上記現状　の取り組みを継続し、各作業所への指導教育の強化を図る。
・ゼロエミッション活動の更なる推進により混合廃棄物の削減を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量		5206.85 t	40.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	40.1 t
	再生利用業者への処理委託量	5206.85 t	30.79 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	5.93 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

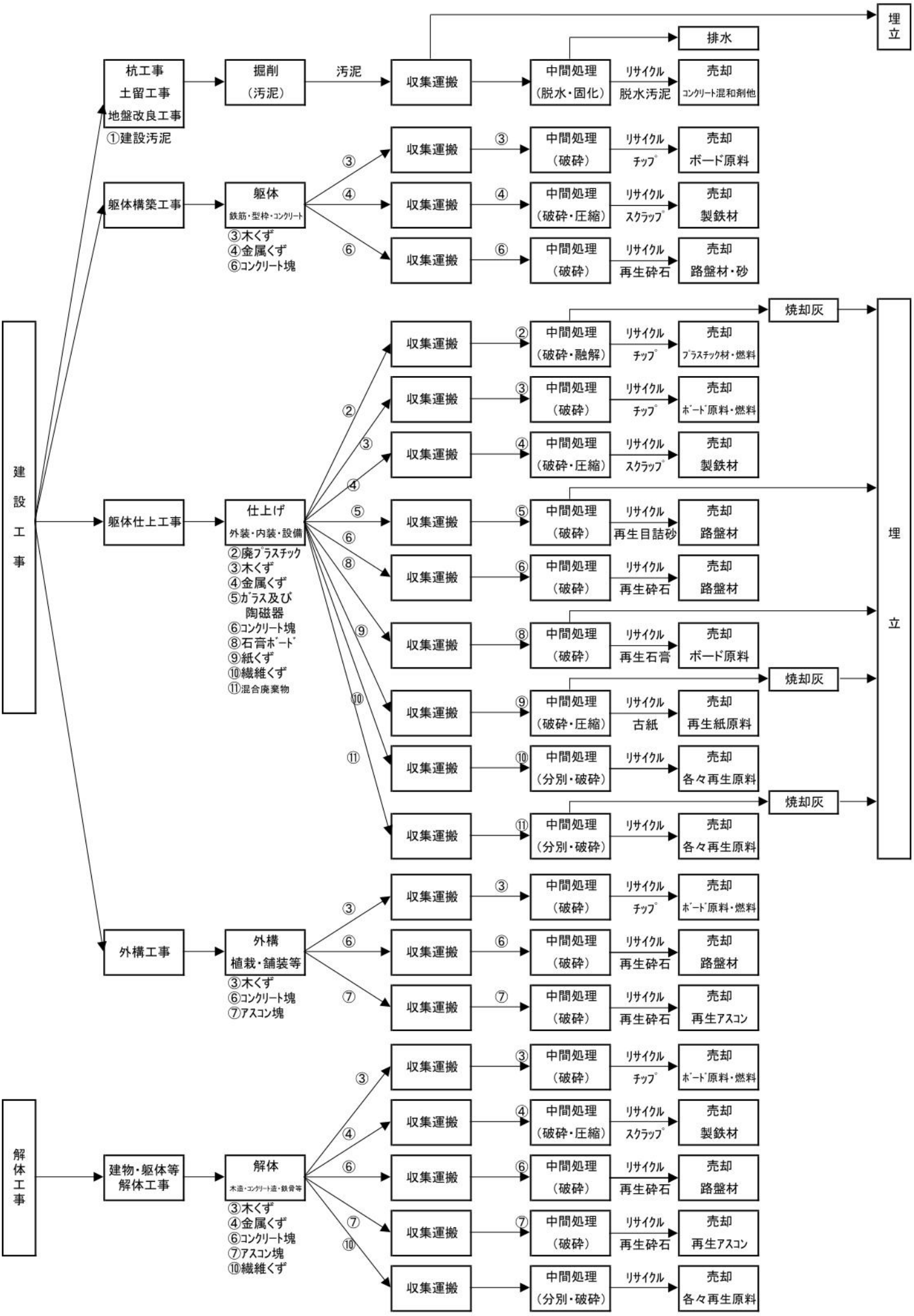
（これまでに実施した取組）

・業者選定時に於ける優良認定処理事業者の確認徹底を図る。
・優良認定処理事業者及び認定熱回収業者について、作業所への
　教育を徹底するとともに、幅広い採用を図る。・業者選定時に於ける優良認定処理事業者の確認徹底を図る。
・優良認定処理事業者及び認定熱回収業者について、作業所への

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>０ｔ</td><td>10 ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>10 ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>９ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>１ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・現状で行っていることを継続して行う。
・リサイクル率の高い業者の開拓を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

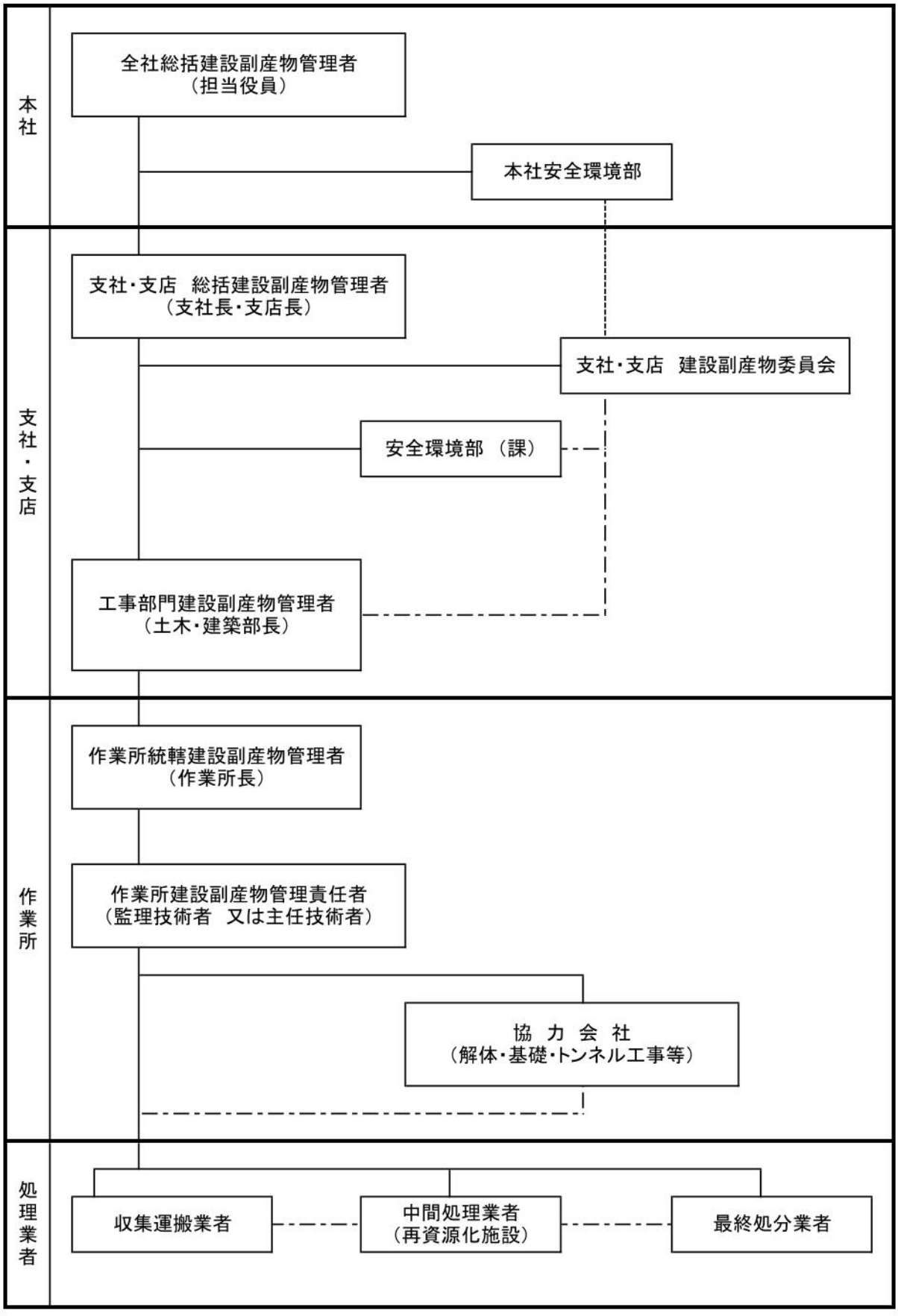
備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

廃棄物処理フロー図


建設工事
杭工事
土留工事
地盤改良工事
①建設汚泥
掘削
（汚泥）
汚泥
収集運搬
中間処理
（脱水・固化）
リサイクル
脱水汚泥
売却
ｺﾝｸﾘｰﾄ混和剤他
排水
埋立
躯体構築工事
躯体
鉄筋・型枠・ｺﾝｸﾘｰﾄ
③木くず
④金属くず
⑥ｺﾝｸﾘｰﾄ塊
③
④
⑥
収集運搬
中間処理
（破砕）
リサイクル
ﾁｯﾌﾟ
売却
ボード原料
中間処理
（破砕・圧縮）
リサイクル
ｽｸﾗｯﾌﾟ
売却
製鉄材
中間処理
（破砕）
リサイクル
再生砕石
売却
路盤材・砂
躯体仕上工事
仕上げ
外装・内装・設備
②廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ
③木くず
④金属くず
⑤ｶﾞﾗｽ及び陶磁器
⑥ｺﾝｸﾘｰﾄ塊
⑧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
⑨紙くず
⑩繊維くず
⑪混合廃棄物
②
③
④
⑤
⑥
⑧
⑨
⑩
⑪
収集運搬
中間処理
（破砕・融解）
リサイクル
ﾁｯﾌﾟ
売却
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ材・燃料
中間処理
（破砕）
リサイクル
ﾁｯﾌﾟ
売却
ﾎﾞｰﾄﾞ原料・燃料
中間処理
（破砕・圧縮）
リサイクル
ｽｸﾗｯﾌﾟ
売却
製鉄材
中間処理
（破砕）
リサイクル
再生目詰砂
売却
路盤材
中間処理
（破砕）
リサイクル
再生砕石
売却
路盤材
中間処理
（破砕）
リサイクル
再生石膏
売却
ボード原料
中間処理
（破砕・圧縮）
リサイクル
古紙
売却
再生紙原料
中間処理
（分別・破砕）
リサイクル
売却
各々再生原料
焼却灰
焼却灰
焼却灰
埋立
外構工事
外構
植栽・舗装等
③木くず
⑥ｺﾝｸﾘｰﾄ塊
⑦ｱｽｺﾝ塊
③
⑥
⑦
収集運搬
中間処理
（破砕）
リサイクル
ﾁｯﾌﾟ
売却
ﾎﾞｰﾄﾞ原料・燃料
中間処理
（破砕）
リサイクル
再生砕石
売却
路盤材
中間処理
（破砕）
リサイクル
再生砕石
売却
再生ｱｽｺﾝ
解体工事
建物・躯体等
解体工事
解体
木造・ｺﾝｸﾘｰﾄ造・鉄骨等
③木くず
④金属くず
⑥ｺﾝｸﾘｰﾄ塊
⑦ｱｽｺﾝ塊
⑩繊維くず
③
④
⑥
⑦
⑩
収集運搬
中間処理
（破砕）
リサイクル
ﾁｯﾌﾟ
売却
ﾎﾞｰﾄﾞ原料・燃料
中間処理
（破砕・圧縮）
リサイクル
ｽｸﾗｯﾌﾟ
売却
製鉄材
中間処理
（破砕）
リサイクル
再生砕石
売却
路盤材
中間処理
（破砕）
リサイクル
再生砕石
売却
再生ｱｽｺﾝ
中間処理
（分別・破砕）
リサイクル
売却
各々再生原料

資料－2

銭高組建設副産物管理体制組織図



作業所建設副産物管理機構図

支社・支店名	東京支社	作業所名	

本社

全社総括建設副産物管理者
（担当役員）

支社・支店

支社・支店　総括建設副産物管理者
（支社長・支店長）

支社・支店　建設副産物委員会

工事部門建設副産物管理者
（土木・建築部長）

安全環境部 （課）

作業所統轄建設副産物管理者
（作業所長）

協 力 会 社
（作業所責任者）

作業所建設副産物管理責任者
（監理技術者　又は主任技術者）

収集運搬業者

処 分 業 者
（中間・最終）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	排出量	35.78 t	9.61 t	4846.45 t	3.45 t	26.70 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	排出量	10.00 t	10.00 t	30.00 t	10.00 t	30.00 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	全処理委託量	35.78 t	9.61 t	4846.45 t	3.45 t	26.70 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	34.68 t	9.61 t	52.17 t	3.45 t	26.70 t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	35.78 t	6.86 t	4840.05 t	2.55 t	11.26 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0.90 t	9.31 t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	紙くず	建設混合廃棄物				
	全処理委託量	10.00 t	10.00 t	30.00 t	10.00 t	30.00 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	10.00 t	10.00 t	30.00 t	10.00 t	30.00 t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	10.00 t	10.00 t	30.00 t	9.00 t	22.00 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	1.00 t	2.00 t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月26日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　102-8678

住所 東京都千代田区一番町31

法人名 株式会社錢高組東京支社

代表者 西尾 嘉洋

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3265-4611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社錢高組東京支社
事業場の所在地	東京都千代田区一番町31(現場:市原市)
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2750 t	全処理委託量	2750 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	230 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2743 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	5 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

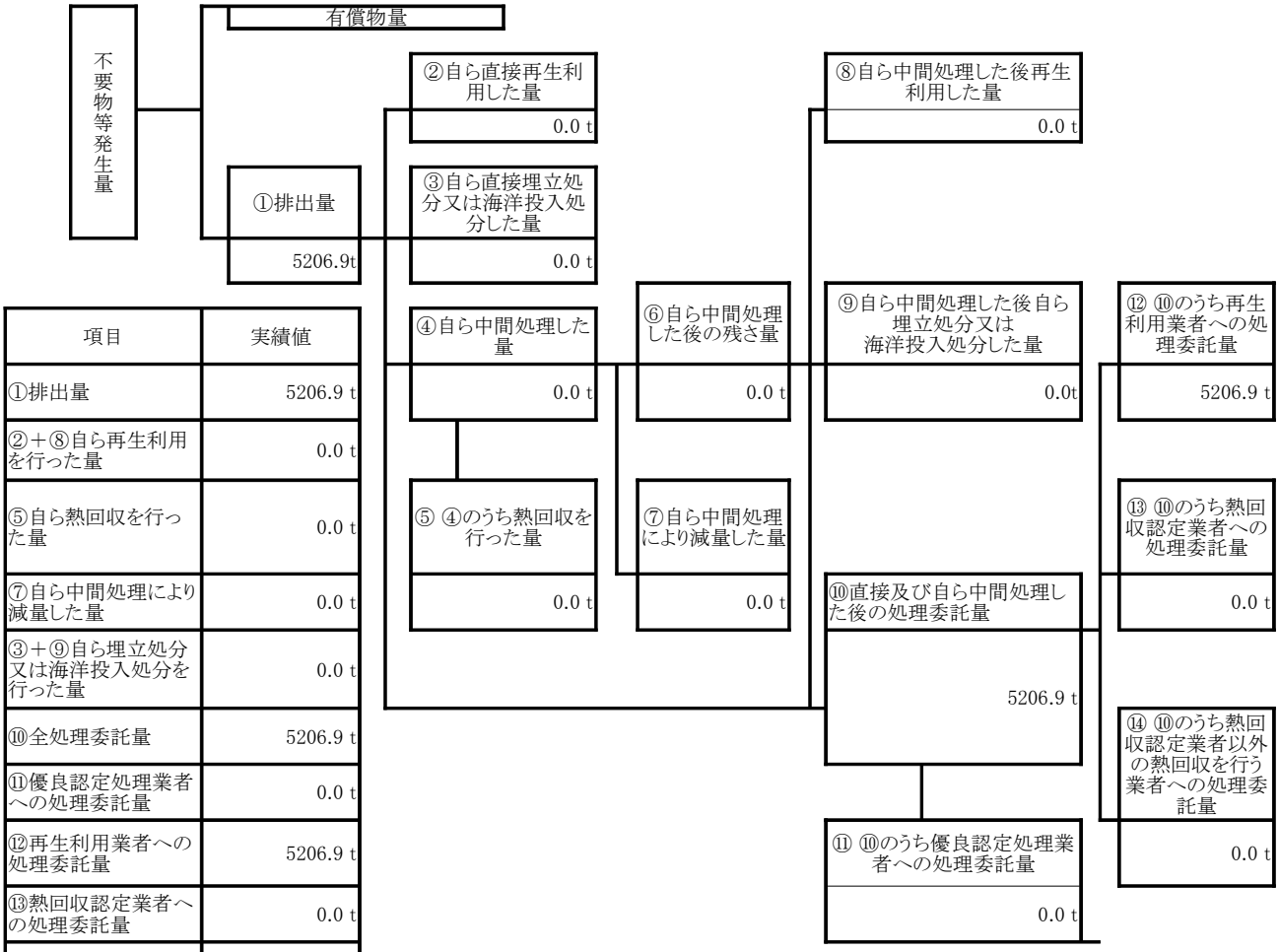
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

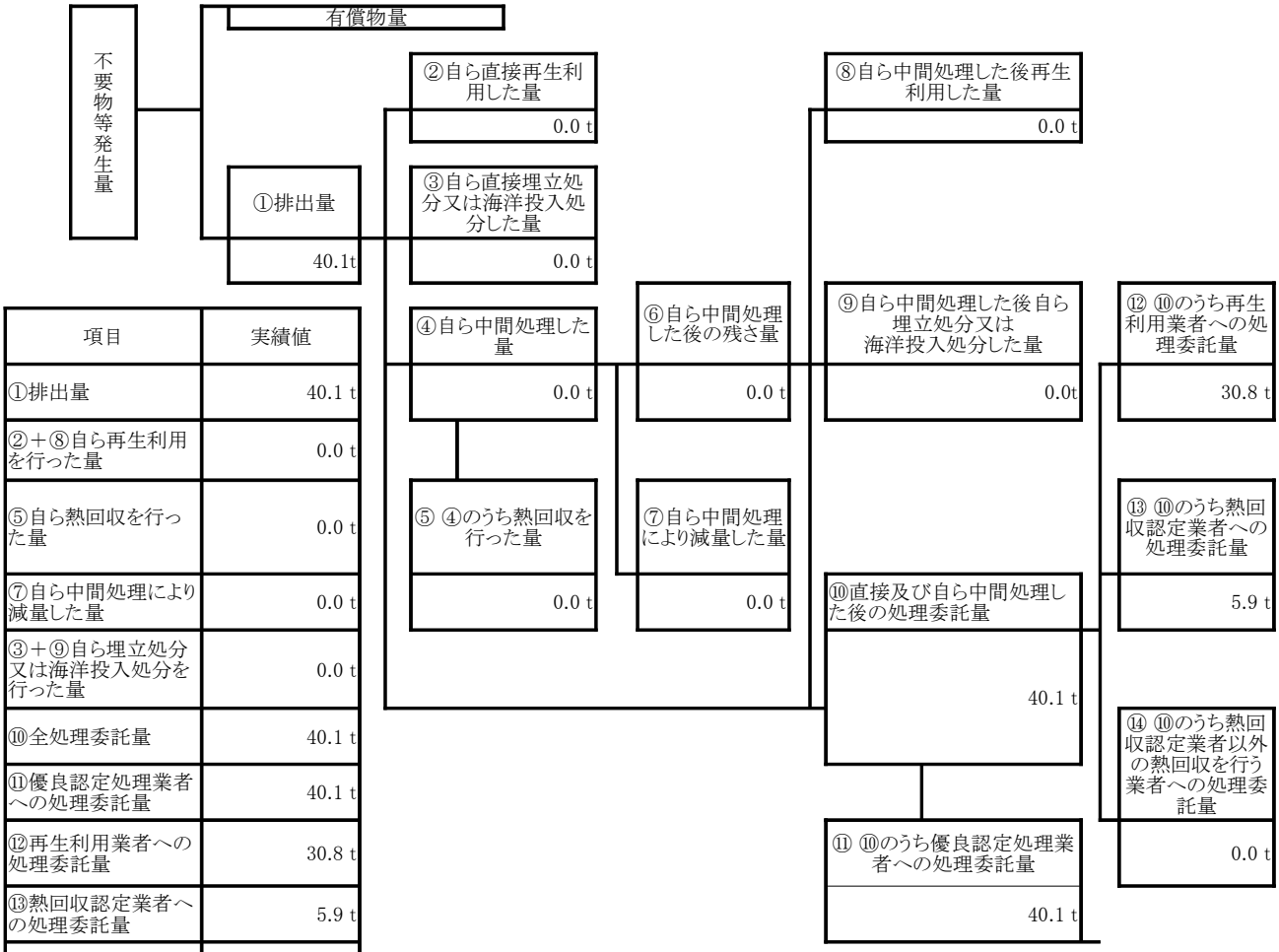


項目	実績値
①排出量	5206.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5206.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5206.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

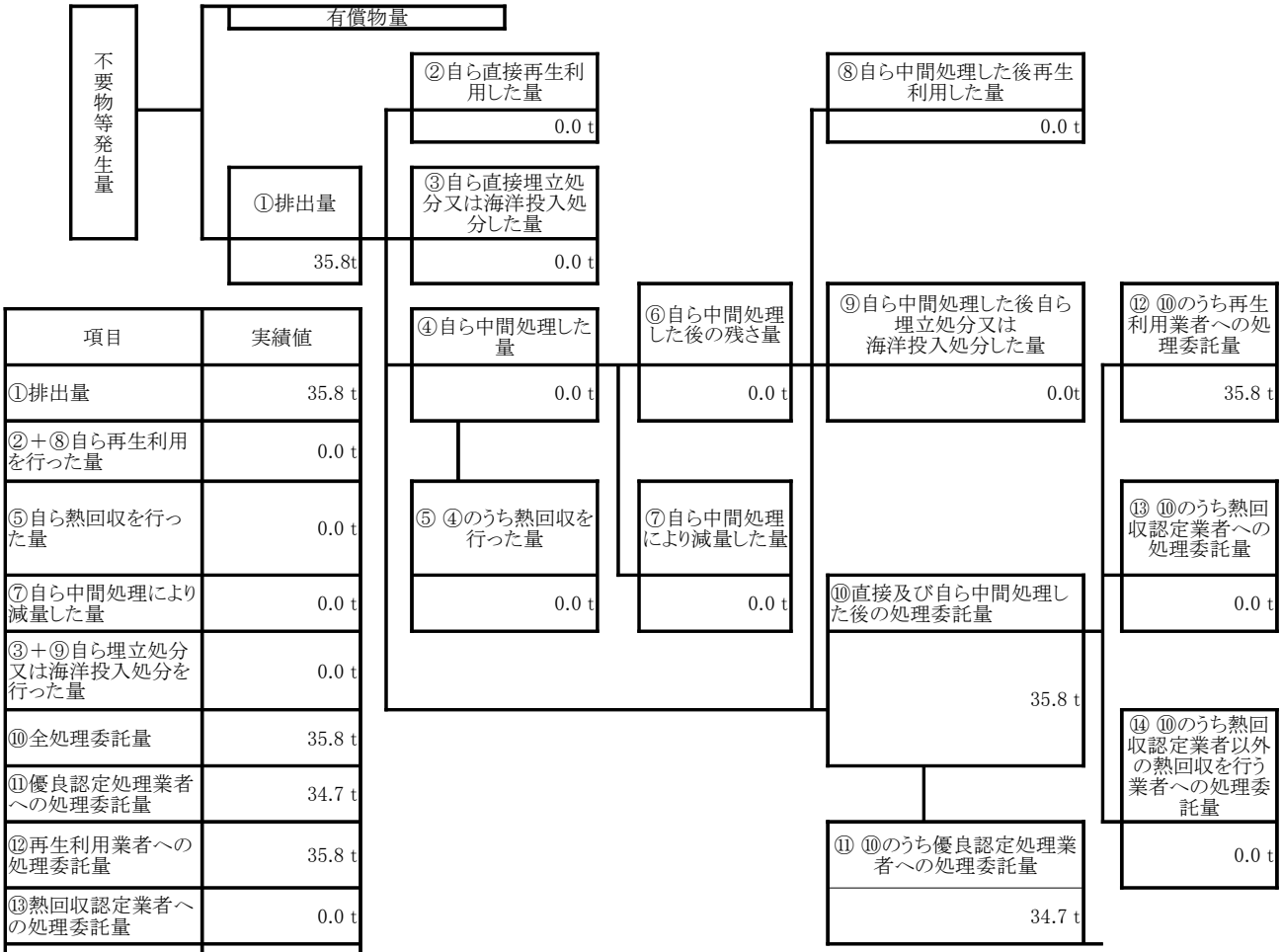


項目	実績値
①排出量	40.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	40.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	30.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	5.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

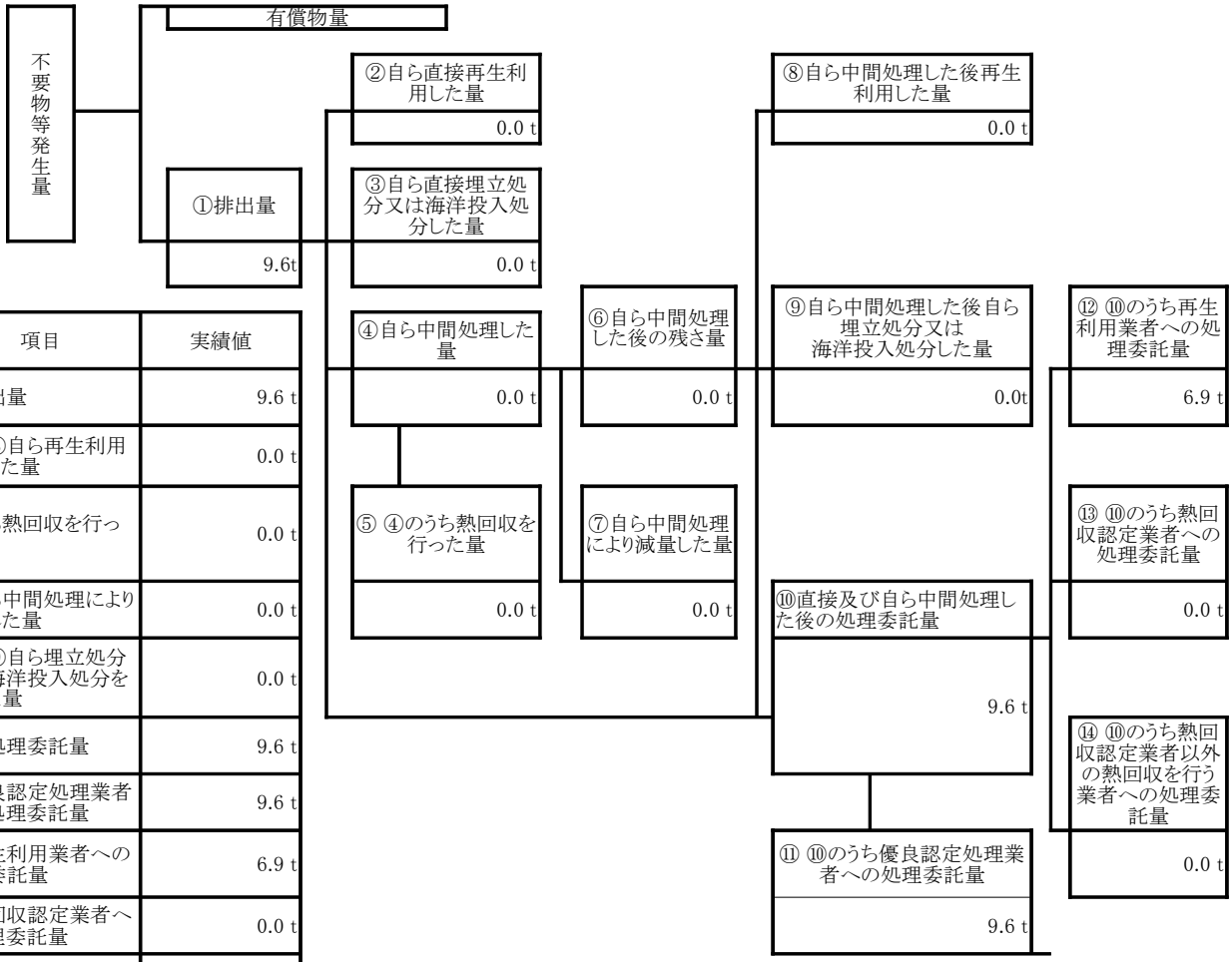


項目	実績値
①排出量	35.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	35.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス陶磁器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



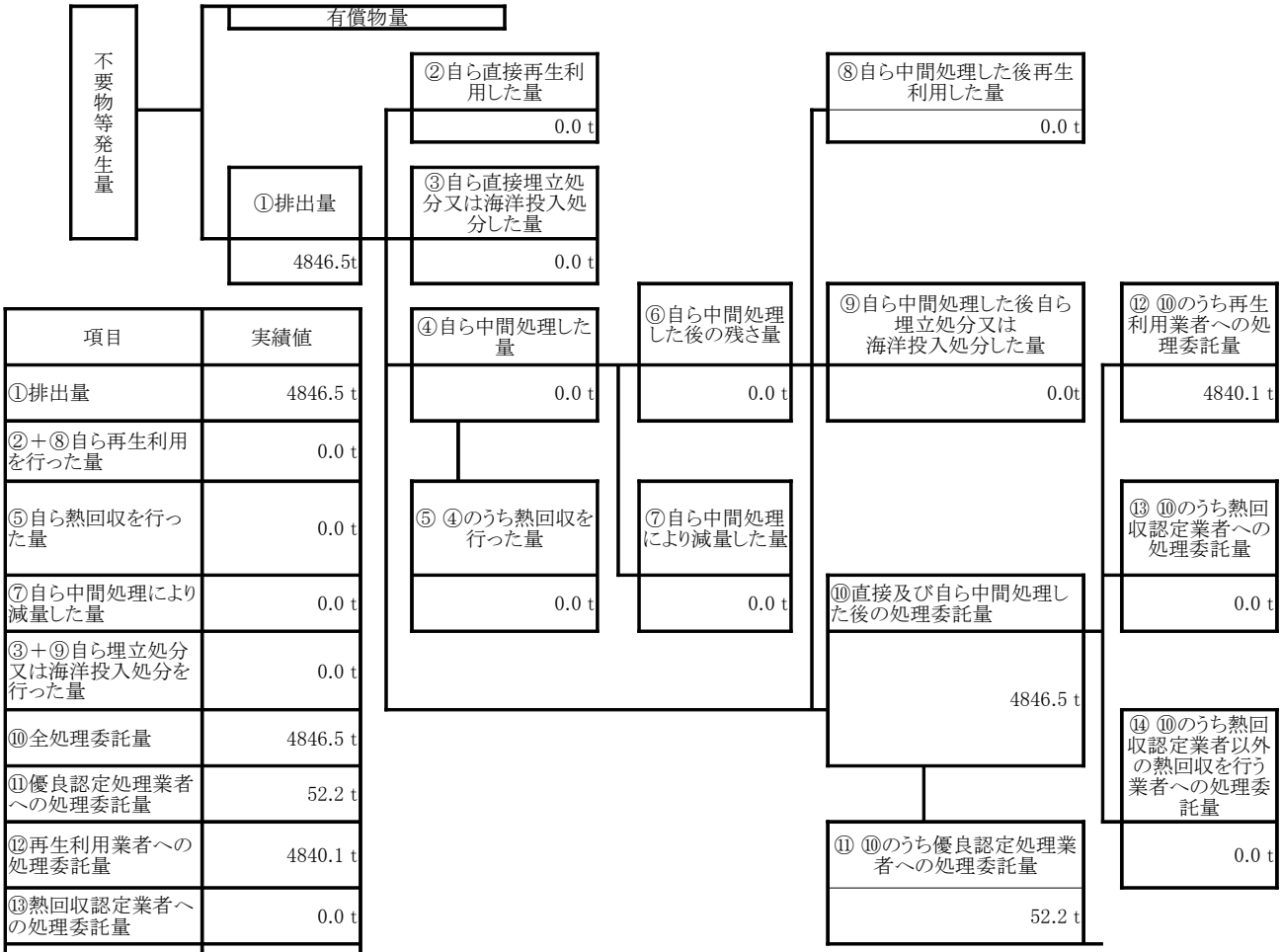
項目	実績値
①排出量	9.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

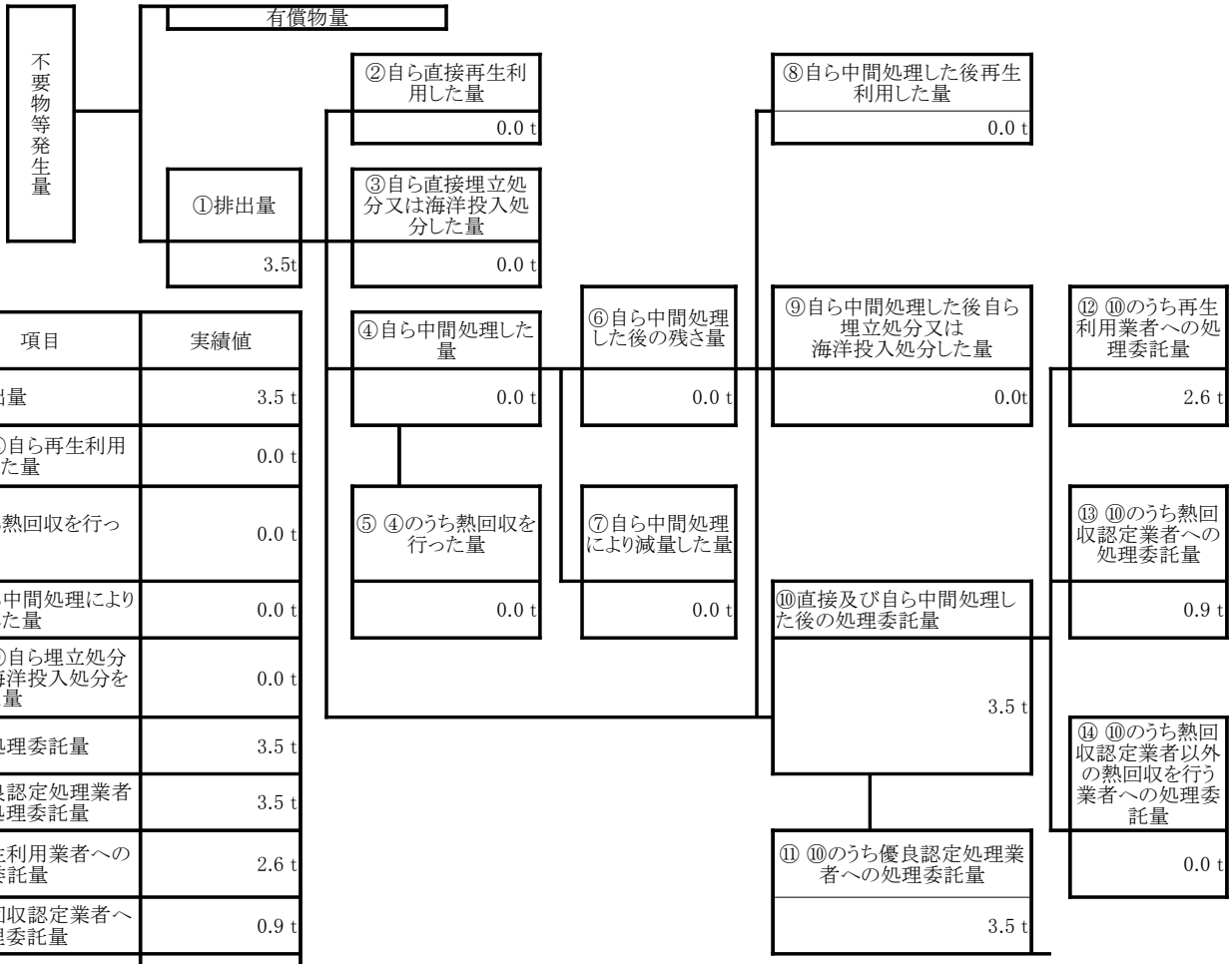


項目	実績値
①排出量	4846.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4846.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	52.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4840.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

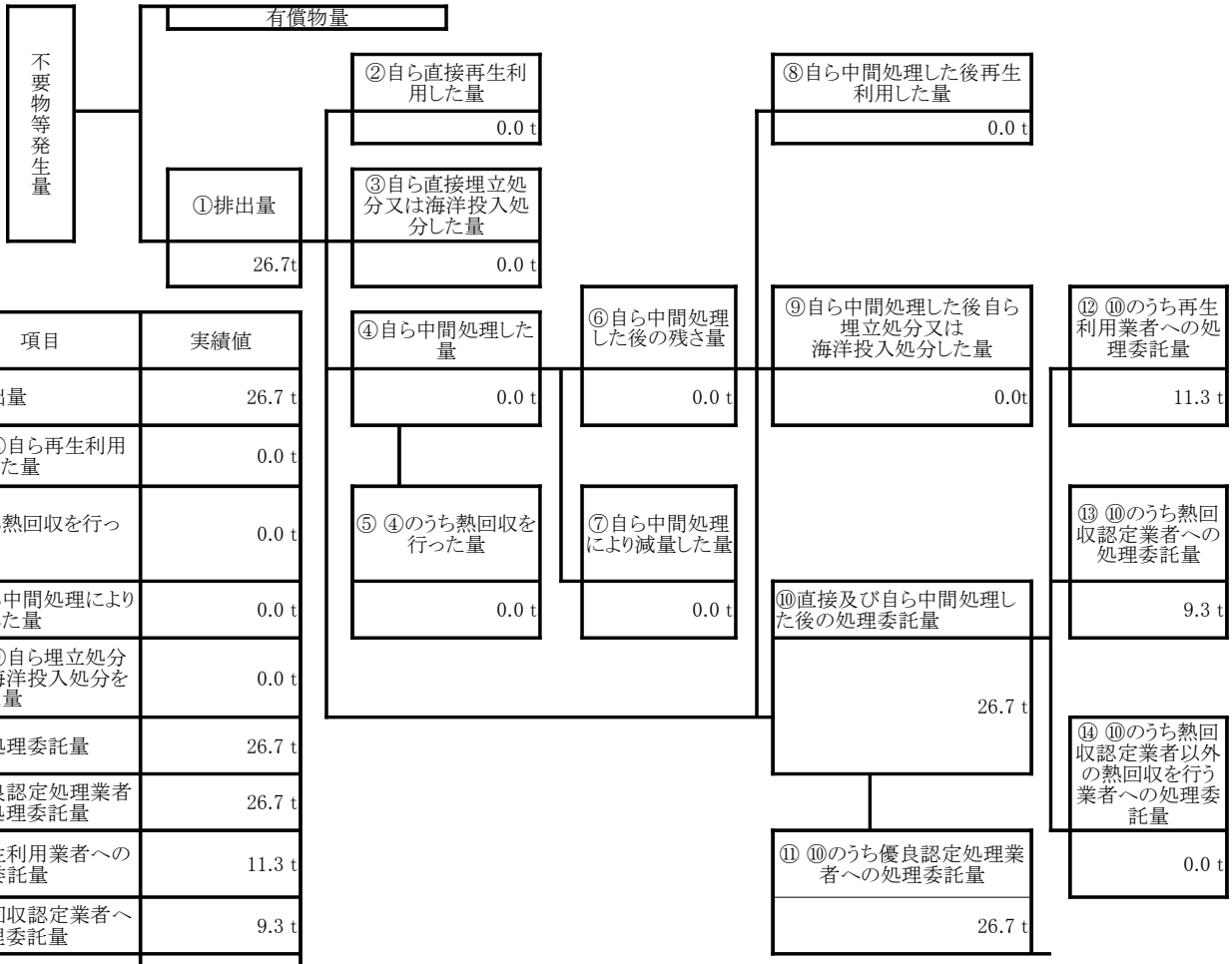


項目	実績値
①排出量	3.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	26.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	9.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 5月 15日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

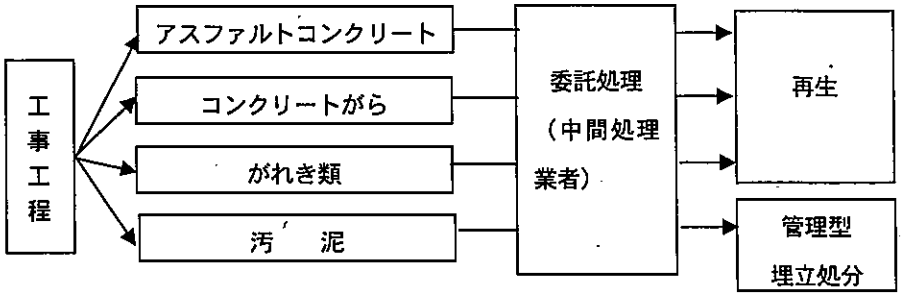
提出者　浦安市堀江４丁目４番２６号
住　所　袖浦設備工業株式会社
氏　名　代表取締役　渡　辺　勝
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７（３５２）４０７７

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	袖浦設備工業株式会社
事業場の所在地	浦安市堀江４丁目４番２６号
計画期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

千葉県 葛南地域振興事務所 -7.5.15 収受

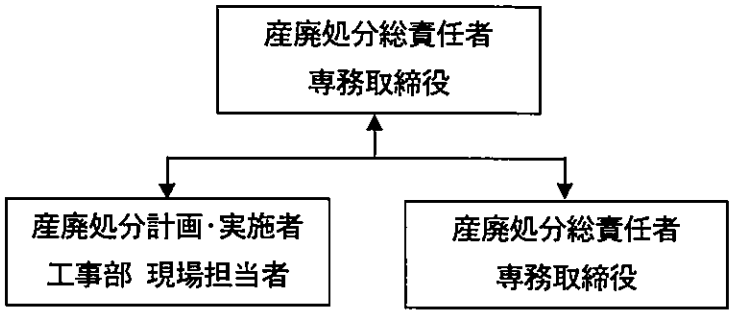
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　1.8 億円
③従業員数	10 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
排　出　量	1177.5ｔ	9.0ｔ	1380.5ｔ	2.6ｔ

（これまでに実施した取組）

再資源化の促進

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
排　出　量	1170.0ｔ	8.0ｔ	1375.0ｔ	2.0ｔ

（今後実施する予定の取組）

再資源化の促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：
工事工程で生じるがら、がれき類は、種類毎に分別している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

アスファルト・コンクリートがら、コンクリートがら、がれき類：
原材料として再生利用できる種類毎に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状

【前年度（　６　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

特になし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　６　年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
全処理委託量	1177.5ｔ	9.0ｔ	1380.5ｔ	2.6ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	ｔ		ｔ	
再生利用業者への処理委託量	1177.5ｔ	9.0ｔ	1380.5ｔ	2.6ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	ｔ		ｔ	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ		ｔ	

（これまでに実施した取組）

分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者に処理を委託している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら	がれき類	汚泥
全処理委託量	1170.0ｔ	8.0ｔ	1375.0ｔ	2.0ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	ｔ		ｔ	
再生利用業者への処理委託量	1170.0ｔ	8.0ｔ	1375.0ｔ	2.0ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	ｔ		ｔ	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ		ｔ	

（今後実施する予定の取組）

分別を徹底して全てリサイクルとして有効利用できる処理業者へ委託を行う。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 5 月 15 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住所　浦安市堀江４丁目4番２６号
氏名　袖浦設備工業株式会社
　　代表取締役　渡邊　勝
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　047-352-4077

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和６年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	袖浦設備工業株式会社
事業場の所在地	浦安市堀江4丁目4番26号
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月～令和7年3月

千葉県 葛南地域振興事務所 -7.5.15 収受

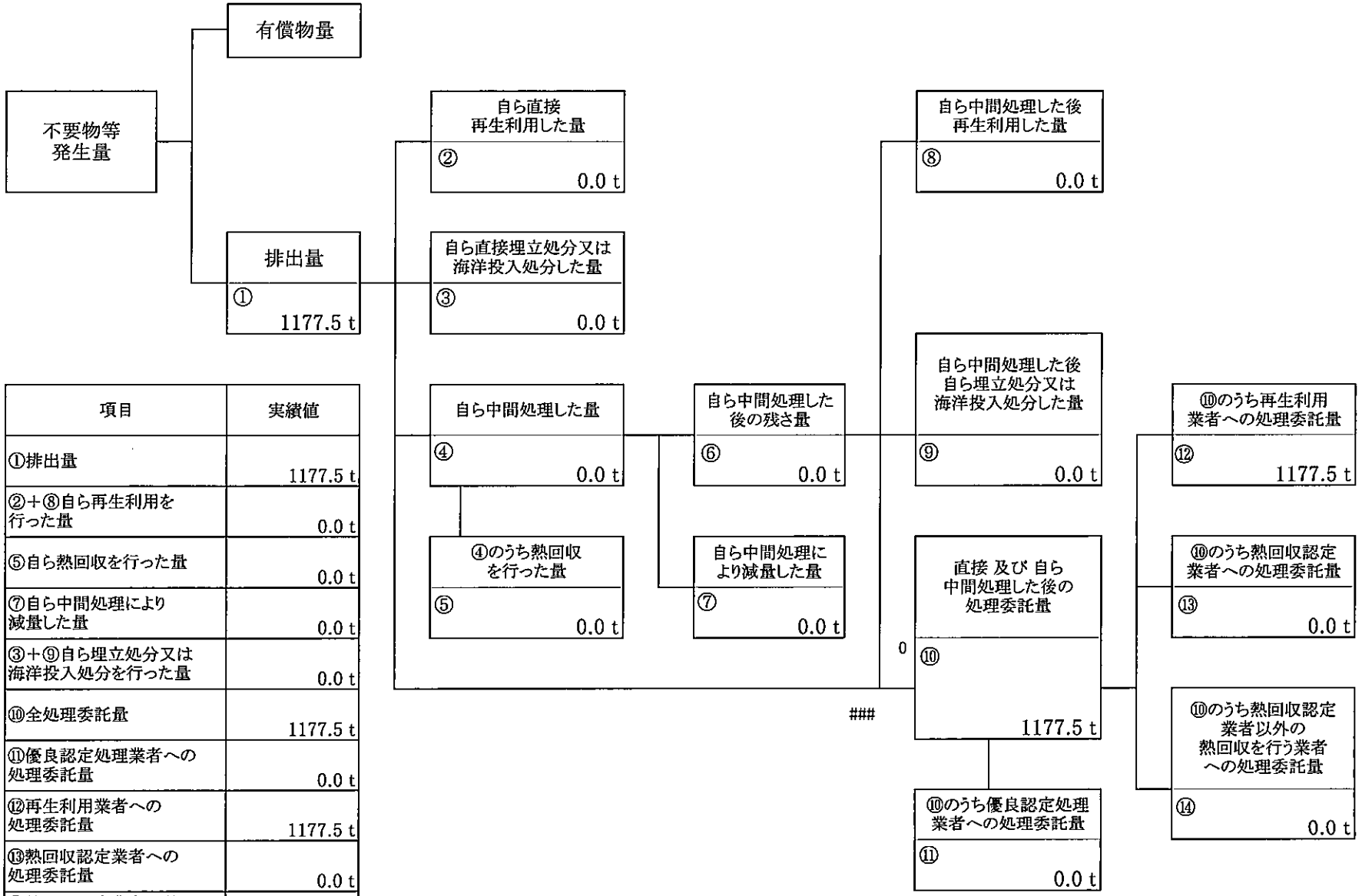
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,422.0 t	全処理委託量	1,422.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1,422.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格　A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　アスファルト・コンクリートがら　　）

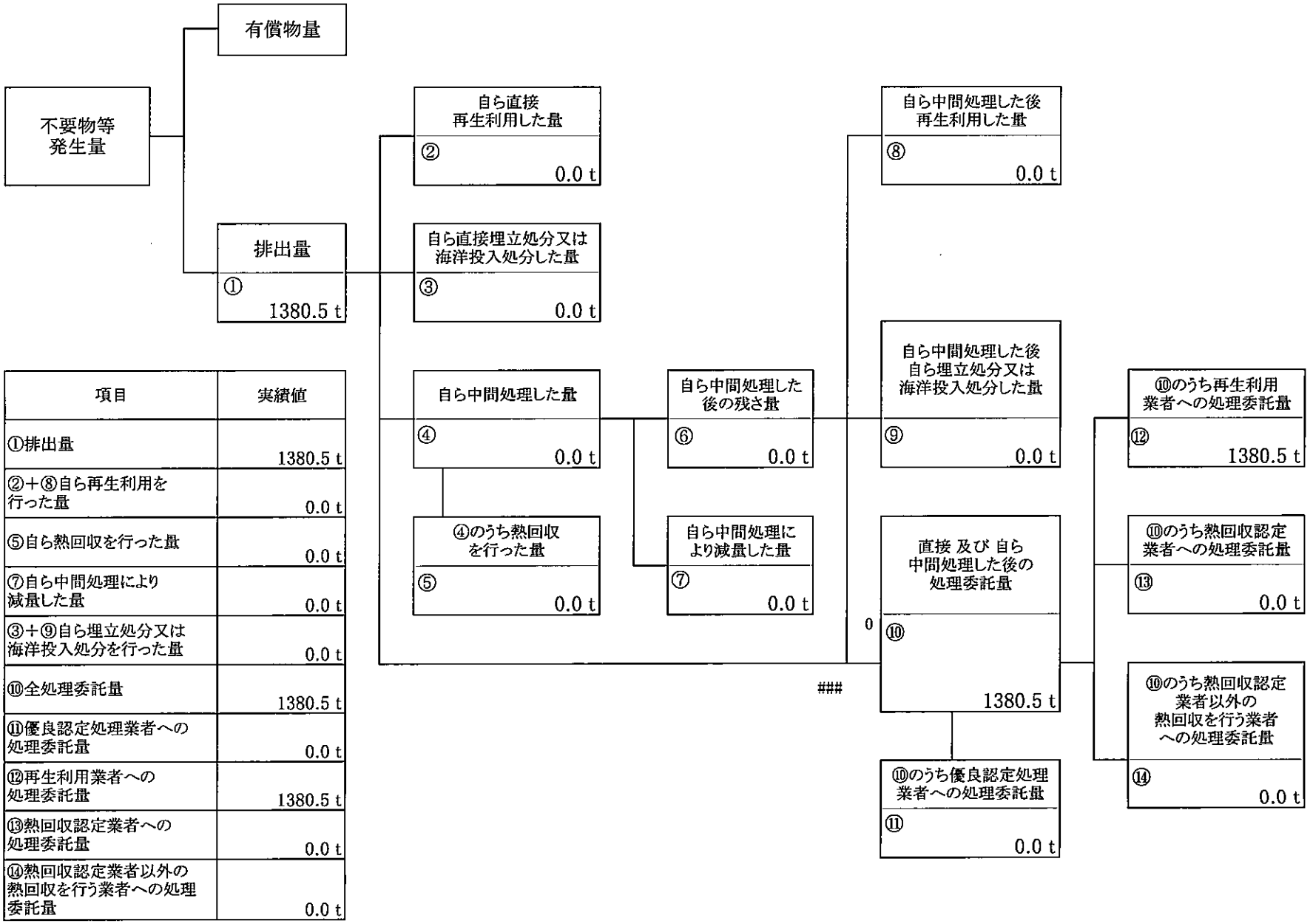


項目	実績値
①排出量	1177.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1177.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1177.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

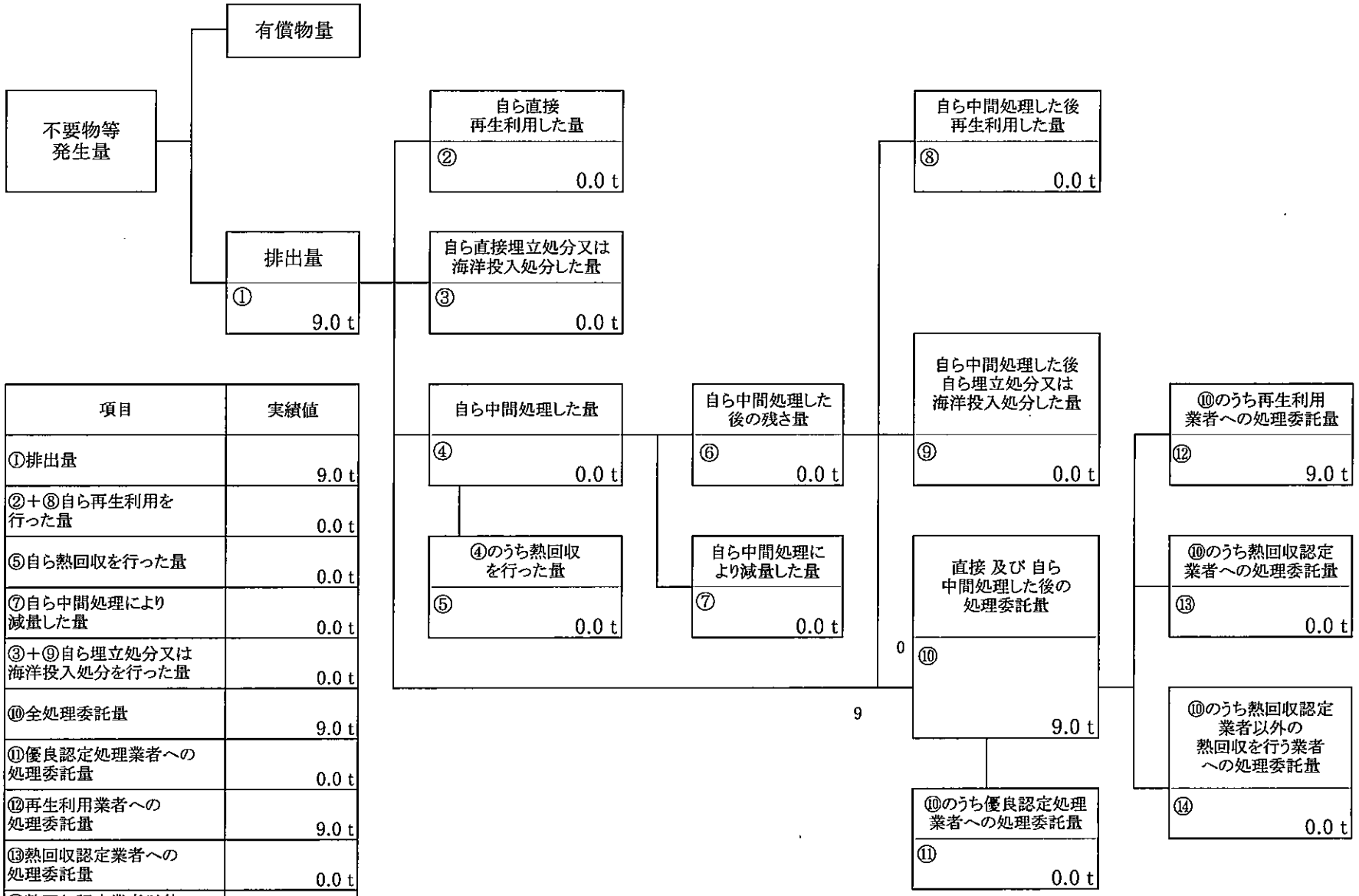


項目	実績値
①排出量	1380.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1380.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1380.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）

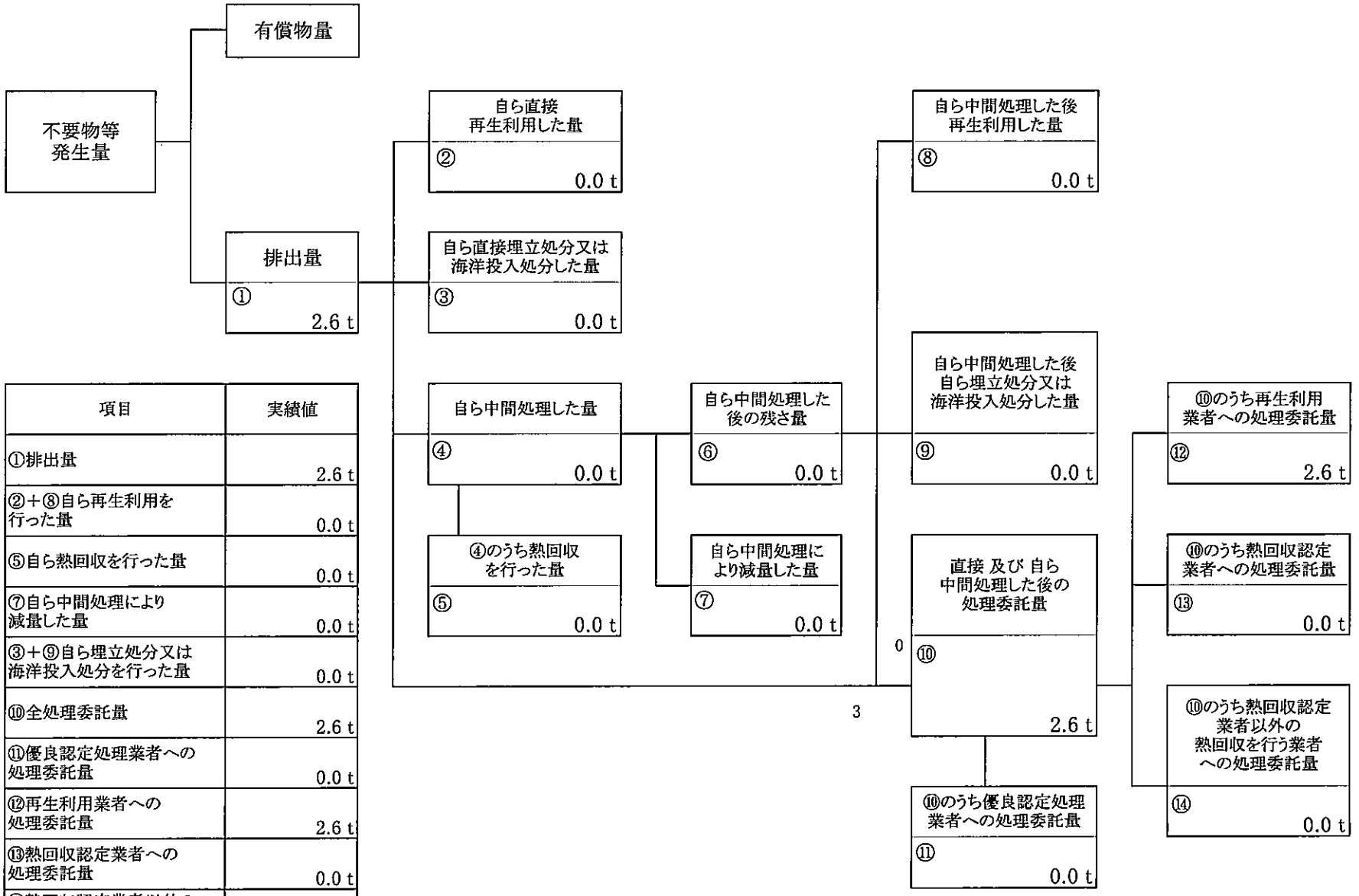


項目	実績値
①排出量	9.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	2.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。